

長野自動車道
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事

設計図

令和 8 年 6 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 長野工事事務所

位置図 S=1 : 17000



長野自動車道 安曇野インターチェンジランプ橋（鋼上落工）工事			
図面の種類	位置図		
縮 尺	1/17000	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区 車庫事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事 設計図 図面目録 （1／1）

図 番	図 面 名 称
1	数量総括表
2	工事用道路経路図
3	安曇野北インターチェンジランプ橋 橋梁一般図
4	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 上部工構造一般図
5 ～ 7	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 線形図 (その1) ～ (その3)
8	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承配置図
9	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 キャンバー図
10 ～ 11	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 断面構成図 (その1) ～ (その2)
12 ～ 16	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 共通詳細図 (その1) ～ (その5)
17 ～ 41	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1 (その1) ～ (その25)
42 ～ 66	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2 (その1) ～ (その25)
67 ～ 68	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 端支点上横桁 (その1) ～ (その2)
69 ～ 71	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間支点上横桁 (その1) ～ (その3)
72 ～ 74	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間横桁 (その1) ～ (その3)
75	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間ダイアフラム
76 ～ 79	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図 (その1) ～ (その4)
80 ～ 83	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 巻き立てコンクリート (その1) ～ (その4)
84	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 合成床版割付図
85 ～ 88	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 壁高欄配筋図 (その1) ～ (その4)
89	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中央分離帯配筋図
90 ～ 91	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 塗装区分図 (その1) ～ (その2)
92 ～ 96	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承詳細図 (その1) ～ (その5)
97 ～ 100	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 伸縮装置詳細図 (その1) ～ (その4)
101 ～ 108	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図 (その1) ～ (その8)
109 ～ 111	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1橋台構造一般図(参考図) (その1) ～ (その3)
112 ～ 113	安曇野北インターチェンジランプ橋 P1橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その2)
114 ～ 115	安曇野北インターチェンジランプ橋 P2橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その2)
116 ～ 117	安曇野北インターチェンジランプ橋 P3橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その2)
118 ～ 120	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その3)

図 番	図 面 名 称
121 ～ 127	安曇野北インターチェンジランプ橋 クローラクレーンの地組ステップ図(参考図) (その1) ～ (その7)
128 ～ 131	安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図(参考図) (その1) ～ (その4)
132	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 上部工構造一般図
133 ～ 134	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 線形図 (その1) ～ (その2)
135	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承配置図
136	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 キャンバー図
137 ～ 140	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図 (その1) ～ (その4)
141 ～ 146	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図 (その1) ～ (その6)
147 ～ 160	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1 (その1) ～ (その14)
161 ～ 175	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2 (その1) ～ (その15)
176 ～ 177	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 端支点横桁 (その1) ～ (その2)
178	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間支点横桁
179 ～ 181	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間横桁 (その1) ～ (その3)
182	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 横リブ
183 ～ 196	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁 (その1) ～ (その14)
197 ～ 200	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中縦桁 (その1) ～ (その4)
201 ～ 214	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図 (その1) ～ (その14)
215	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 照明柱受け台
216 ～ 218	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 壁高欄配筋図 (その1) ～ (その3)
219	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中央分離帯配筋図
220 ～ 221	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 塗装区分図 (その1) ～ (その2)
222 ～ 224	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図 (その1) ～ (その3)
225 ～ 226	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 伸縮装置詳細図 (その1) ～ (その2)
227 ～ 234	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図 (その1) ～ (その8)
235 ～ 237	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その3)
238 ～ 239	安曇野北インターチェンジランプ橋 P5橋脚構造一般図(参考図) (その1) ～ (その2)
240 ～ 242	安曇野北インターチェンジランプ橋 A2橋台構造一般図(参考図) (その1) ～ (その3)
243 ～ 253	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工 (その1) ～ (その11)
254 ～ 256	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通保安要員配置図 (その1) ～ (その3)

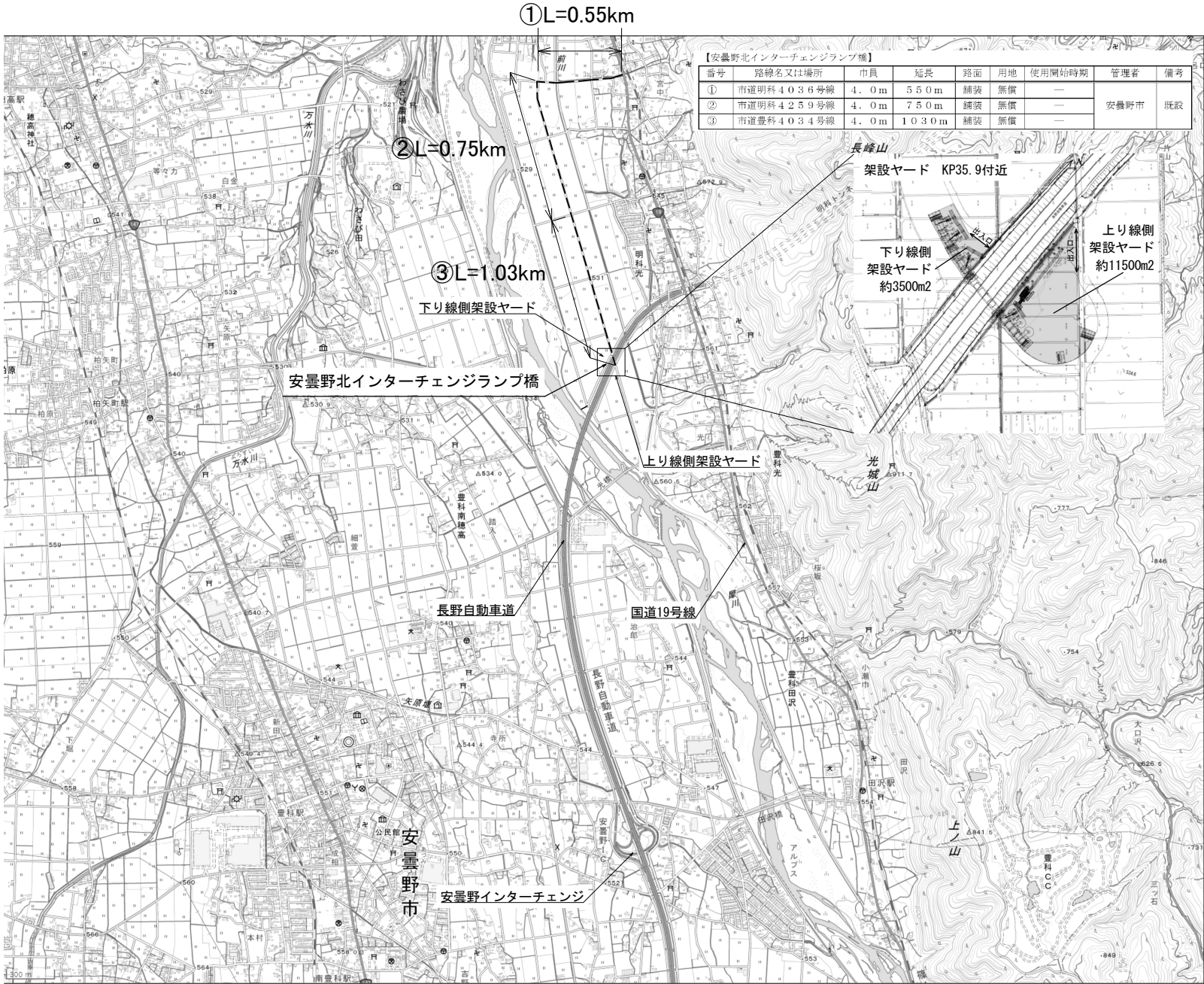
数量総括表

項目番号		8-(1)				8-(2)			8-(3)		10-(1)	10-(2)							
項目名称		コンクリート				型わく			鉄筋		鋼構造物の詳細設計	鋼構造物の製作							
区 分		A1-1A (A)	A1-1B (A)	A1-1C (A)	A1-4 (A)	A1 (A)	A2 (A)	A3 (A)	A (A)	A (E) (A)	鋼構造物の詳細設計 (A)	製作材料費 (鋼板) A (A)	製作材料費 (鋼板) B (A)	製作材料費 (形鋼) A (A)	製作材料費 (スタットジベル) (A)	大型部材の製作 (A)	小型部材の製作 (A)	中間接合部材の製作 (A)	
単 位		m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	t	t	式	t	t	t	t	個	個	個	
安芸野北 ランプ橋 鋼上部工	上部工	98.1	1,007.4		155.1	135.6	724.5	74.8	25.705	0.362	1.0	49.969	600.283	26.937	11.825	215.0	3,357.0	18.0	
	A1橋台			2.9					0.300										
	P1橋脚																		
	P2橋脚																		
	P3橋脚																		
	P4橋脚			2.3					0.351										
	小計	98.1	1,007.4	5.2	155.1	135.6	724.5	74.8	26.356	0.362		49.969	600.283	26.937	11.825	215.0	3,357.0	18.0	
	上部工	32.7		464.6	76.0	1,605.6	406.1		178.684	0.181		66.680	400.735	0.158	2.177	251.0	5,232.0		
	P4橋脚																		
	P5橋脚																		
	A2橋台			3.1					0.328										
	小計	32.7		467.7	76.0	1,605.6	406.1		179.012	0.181		66.680	400.735	0.158	2.177	251.0	5,232.0		
	計	130.8	1,007.4	472.9	231.1	1,741.2	1,130.6	74.8	205.368	0.543		116.649	1,001.018	27.095	14.002	466.0	8,589.0	18.0	
	合計		検測数量	130.8	1,007.4	472.9	231.1	1,741.2	1,130.6	74.8		205.368	0.543	1.0	116.649	1,001.018	27.095	14.002	466.0
		数量	131	1,007	473	231	1,741	1,131	75	205.37	0.54	1	116.65	1,001.02	27.10	14.00	466	8,589	18

項目番号		1 0-(2)		1 0-(3)		1 0-(4)		1 0-(5)		1 1-(1)								
項目名称		鋼構造物の製作		鋼構造物の防錆		鋼構造物の輸送		鋼構造物の架設		支 承								
区 分		T 継手溶接工 (A)	マンホール部材の 製作 (A)	鋼構造物の塗装 C-5 (A)	鋼構造物の塗装 D-4 (A)	鋼橋の輸送 (A)	鋼橋の架設 A (A)	鋼橋の架設 B (A)	鋼橋の架設 C (A)	高力ボルト本締工 (A)	E-1 (A)	E-2 (A)	E-3 (A)	E-4 (A)	E-5 (A)	E-6 (A)	E-7 (A)	E-8 (A)
単 位		m	箇所	m ²	m ²	t	t	t	t	t	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
安芸野北 インターチェンジ ランプ橋 鋼上部工	上部工	3,430.5	16.0	13,125.1	10,208.5	687.152	277.149	226.994	183.009	19.166								
	A1橋台										2.0							
	P1橋脚															2.0		
	P2橋脚																	
	P3橋脚																	
	P4橋脚													2.0				2.0
	小計	3,430.5	16.0	13,125.1	10,208.5	687.152	277.149	226.994	183.009	19.166	2.0			2.0		2.0		2.0
	上部工	2,434.2	6.0	12,773.5	7,778.3	467.574			467.574	16.183								
	P4橋脚												2.0					
	P5橋脚																	2.0
	A2橋台														2.0			
	小計	2,434.2	6.0	12,773.5	7,778.3	467.574			467.574	16.183		2.0		2.0				2.0
	計	5,864.7	22.0	25,898.6	17,986.8	1,154.726	277.149	226.994	650.583	35.349	2.0	2.0		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
合計		検測数量	5,864.7	22.0	25,898.6	17,986.8	1,154.726	277.149	226.994	650.583	35.349	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		数量	5,865	22	25,899	17,987	1,154.73	277.15	226.99	650.58	35.35	2	2	2	2	2	2	2

項目番号		11-(2)			11-(8)				19-(1)				19-(2)	特-(1)		特-(2)		特-(6)	
項目名称		伸縮装置			落橋防止構造				交通規制工				交通保安要員	合成床版工		緩衝ゴム設置工		車計上工事に関する事項	
区 分		E1 (A)	E2 (A)	E3 (A)	P1-1488 (175) (A)	P1-1503 (250) (A)	P1-1767 (300) (A)	P1-2176 (175) (A)	本線通行止めA (夜) (A)	本線通行止めB (夜) (A)	ランプ閉鎖A (夜) (A)	休憩施設閉鎖 (夜) (A)	交通誘導警備員B (夜) (A)	A (A)	B (A)	A (A)	B (A)		
単 位		m	m	m	本	本	本	本	回	回	回	回	人・日	m2	m2	枚	枚	式	
安芸野北ICランプ橋 鋼上部工	上部工								1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2,256.7	848.4			1.0	
	A1橋台	13.3					4.0												
	P1橋脚																		
	P2橋脚																		
	P3橋脚																		
	P4橋脚		13.8					4.0											
	小計	13.3	13.8				4.0	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2,256.7	848.4				
	上部工															2.0	2.0		
	P4橋脚				4.0														
	P5橋脚																		
	A2橋台			14.6		4.0											2.0		2.0
	小計			14.6	4.0	4.0										2.0	2.0		
	計	13.3	13.8	14.6	4.0	4.0	4.0	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2,256.7	848.4	2.0	2.0		
合計	検測数量	13.3	13.8	14.6	4.0	4.0	4.0	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2,256.7	848.4	2.0	2.0	1.0	
	数量	13	14	15	4	4	4	4	1	1	1	1	4	2,257	848	2	2		

長 野 自 動 車 道 安芸野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	数量総括表		
縮 尺	-	図面番号	1 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		



「出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/#15/36.320416/137.921505/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f2>) 」

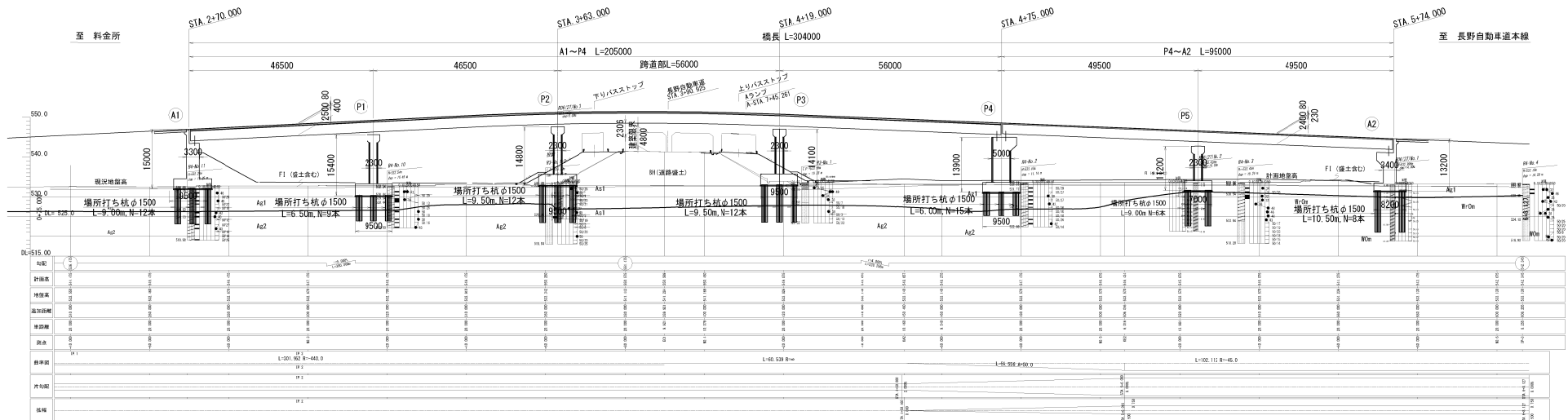
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	工事用道路経路図		
縮尺	1:25000	図面番号	2 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 橋梁一般図

側面図

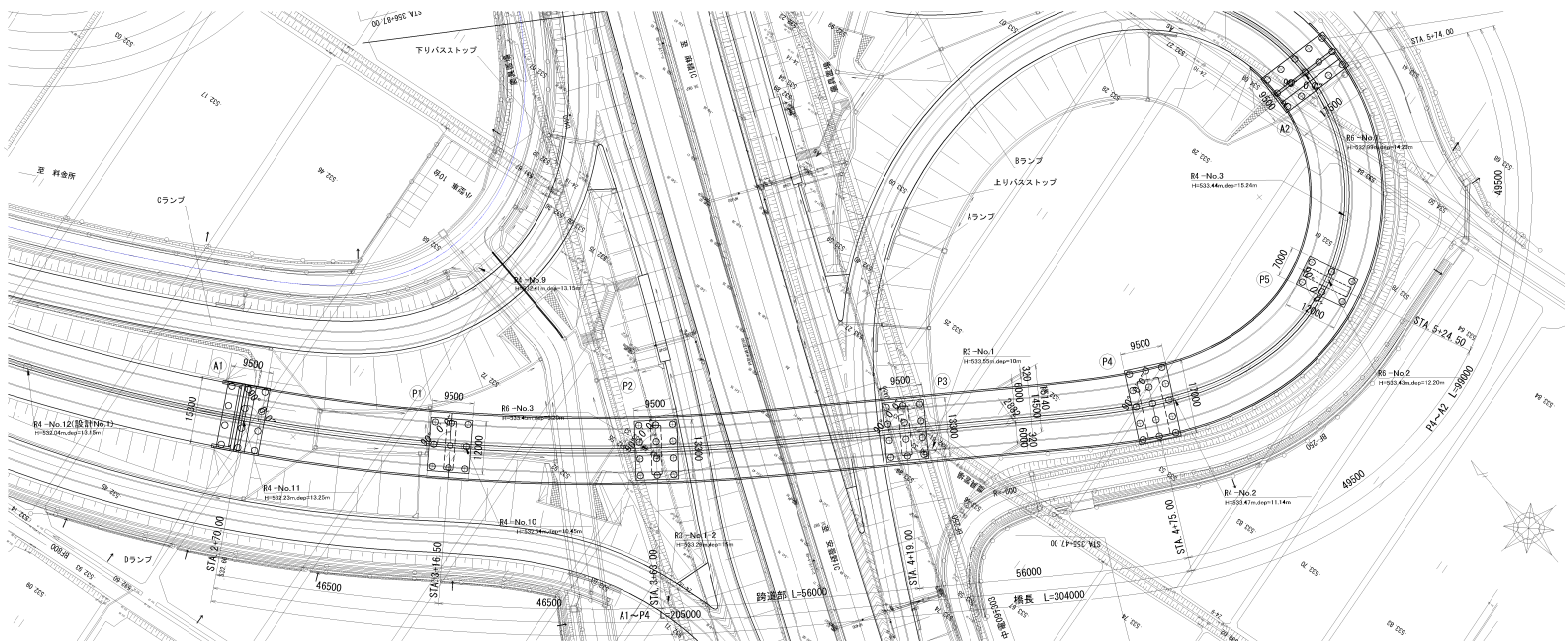
S=1:1100

A1~P4:鋼4径間連続細幅箱桁橋 P4~A2:鋼2径間連続箱桁橋



平面図

S=1:1200



設計条件

路線名		(主) 大町明科線 松本系北川連絡道路 安曇野道路 安曇野北IC(仮称)	
道路規格		IC区分: 2級、道路区分: 第1種3級	
ランプ規格		A規格	
設計速度		V=35km/h	
橋長		L=205.000m(A1~P4)、L=94.000m(P4~A2)	
支間長		L=45.500m+46.500m+56.00m+55.250m(A1~P4)、L=48.750m+48.500m(P4~A2)	
形式	上部工	鋼4径間連続細幅箱桁橋(A~P4)、鋼2径間連続箱桁橋(P4~A2)	
	下部工	橋脚: 壁式橋脚	
	基礎工	A1、A2橋台: 場所打ち杭φ500、P1~P5橋脚: 場所打ち杭φ1500	
有効幅員		6.96m ~ 6.625m + 7.385m + 6.846m (道路中心上)	
標準幅員		W=14.50m (車線 W=3.50m、左路肩 W=2.50m、右路肩 W=1.00m)	
平面線形		R=440m ~ R=∞ ~ A=50m ~ R=45m	
縦断線形		i=4.100% ~ i=4.000%	
横断線形		i=2.00% ~ i=8.00% (片勾配)	
斜角		θ=90°	
支持地盤		Ag2(砂礫層)、W0m(砂礫層)	
公差条件		長野自動車道本線上下線、下りバスストップ、上りバスストップ、Aランプ橋	
耐震性能	橋の重要度区分	B種の橋	
	地盤種別	I種地盤	
	設計震度	水平震度 Kh=0.25(L1)、土砂 Kh=0.2	
適用基準			
道路橋示方書・同解説I~V編(平成29年11月)			
NEX(設計要領第二集(平成28年6月))			
長野県設計業務共通仕様書(令和1年)			

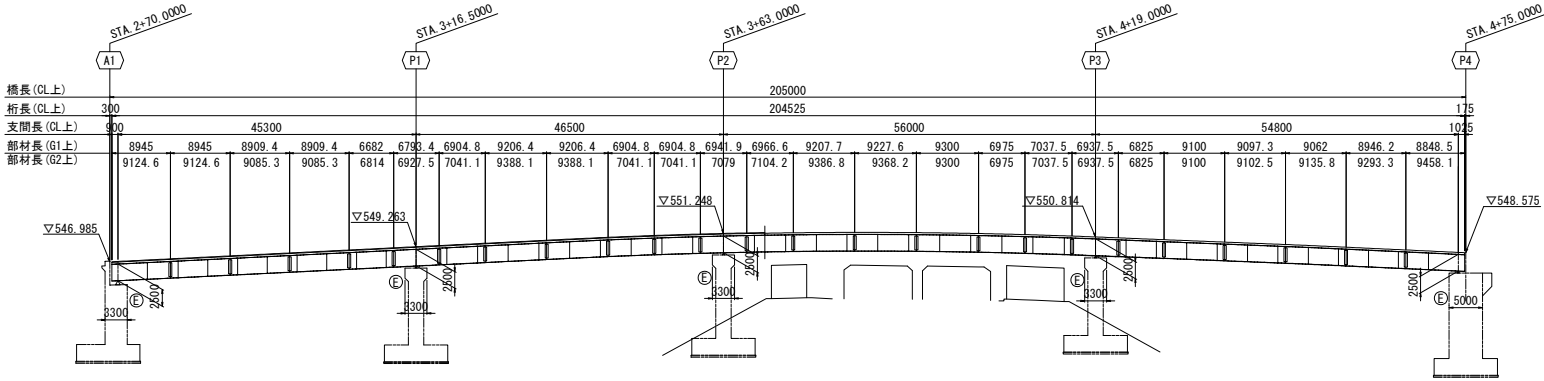
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 上部工構造一般図

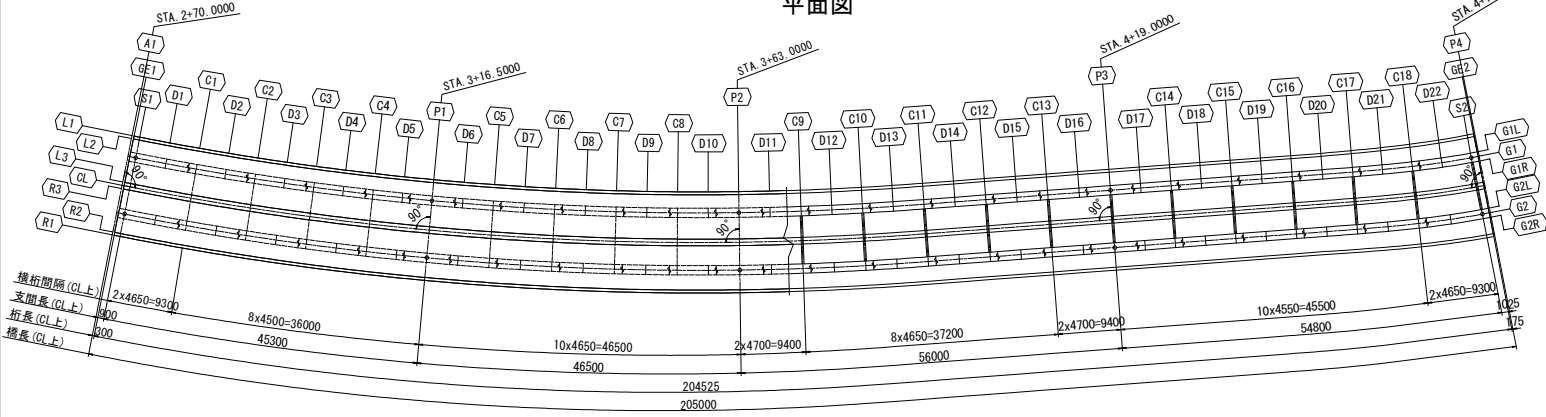
4 / 256

S=1:800

側面図

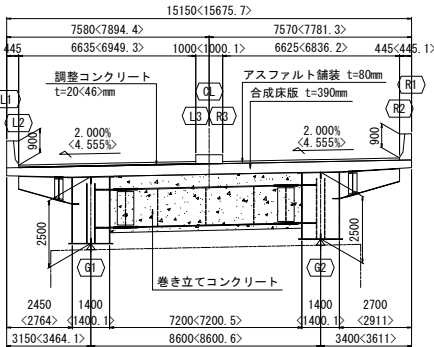


平面図

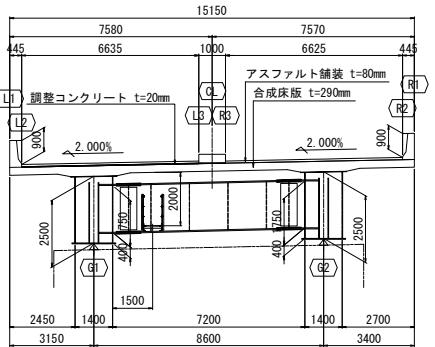


断面図 S=1:200

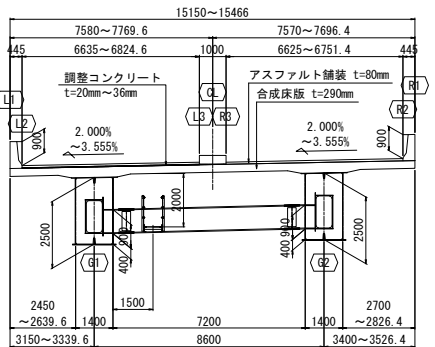
S1<S2>端支点上横桁



P1、P2、P3中間支点上横桁



C1～C18中間横桁



構造諸元に関する設計条件	
橋 種	鋼道橋
道路規格	B規格
設計速度	V=35km/h
構造形式	鋼4径間連続細幅合成桁
床 版	合成床版 t = 290 mm
橋 長	205.000 m (CL上)
桁 長	204.525 m (CL上)
支 間 長	45.300+46.500+56.000+54.800m (CL上)
支条件	免震支承
斜 角	A1橋台: 90° 00' 00" , P1～P4橋脚: 90° 00' 00"
平面線形	R = 440 ~ R=∞ ~ A = 50 ~ R=45
縦断勾配	4.900% ~ 4.000% (VCL=80)
横断勾配	2.0% ~ 8.0% (片勾配)
舗 装	アスファルト舗装: t = 80 mm
有効幅員	13.260 m ~ 13.812 m = 6.635 ~ 6.966 + 6.625 ~ 6.846
総 幅 員	15.150 m ~ 15.702 m
架設工法	クレーン・ベント架設

耐荷性能に関する設計条件	
活 荷 重	B活荷重
雪 荷 重	考慮しない
型 枠	合成床版に含む
防護欄	剛性防護欄 (フロリダ型 SC種)
投下防止柵	2.00 kN/m (P2～P3 (交差部))
遮 音 壁	無し
検 査 路	1.00 kN/m (1条)
添 架 物	無し
温度変化	鋼構造 -30℃～+50℃ (寒冷な地方) 基準温度+10℃ 支束及び伸縮装置の移動量算定時 -20℃～+40℃ (寒冷な地方)
温 度 差	10度
衝突荷重	F = 35 kN (天端線荷重 P = 13 kN/m)
地盤種別	II 種地盤
地域区分	A2地域 C _z =1.0, C _I =1.0, C _{II} =1.0
設計水平震度	kh = 0.25x1.00 = 0.25 (レベル1地震動) ki h = 1.30x1.00 = 1.30 (レベル2地震動, タイプ I) kii h = 1.75x1.00 = 1.75 (レベル2地震動, タイプ II)
主要材料	鋼材 SMA490Y, SM400, SS400 (降伏点一定鋼使用) 添接 トルシア形高力ボルト M22 (S10T) 無機ジンク塗布 コンクリート σ _{ck} = 30 N/mm ² (床版) σ _{ck} = 30 N/mm ² (壁高欄, 巻立て) 鉄筋 SD345

耐久性能に関する設計条件	
部材の設計耐久期間	100年
疲労設計の照査荷重	疲労設計荷重 (F荷重)
塩害対策	不要
防せい防食	重防食仕様

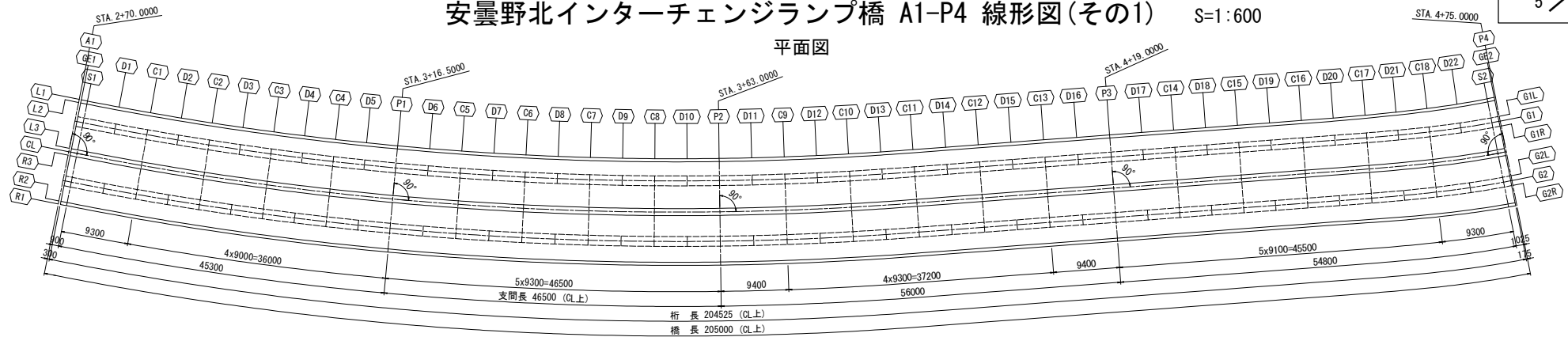
適用基準	
道路橋示方書・同解説 (I)～(V)	(平成29年11月 日本道路協会)
設計要領第二集	(平成28年8月 東日本高速道路株式会社)
長野県設計業務共通仕様書	(令和1年)

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 上部工構造一般図	図 示	図面番号 4 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社	事務所名	長 野 工 事 事 務 所

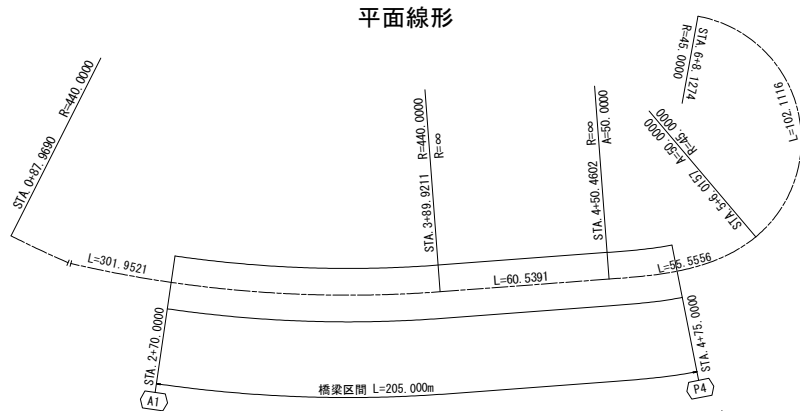
安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 線形図(その1) S=1:600

5 / 256

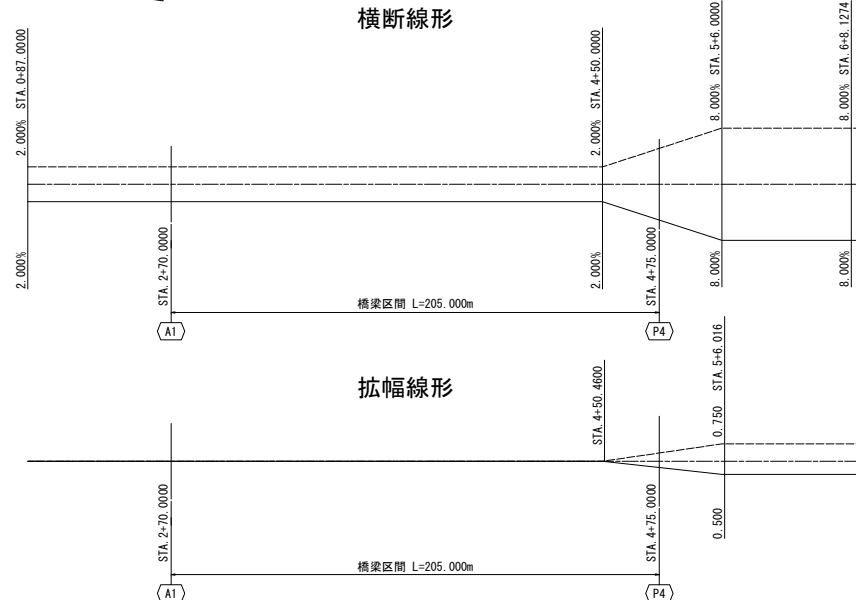
平面図



平面線形

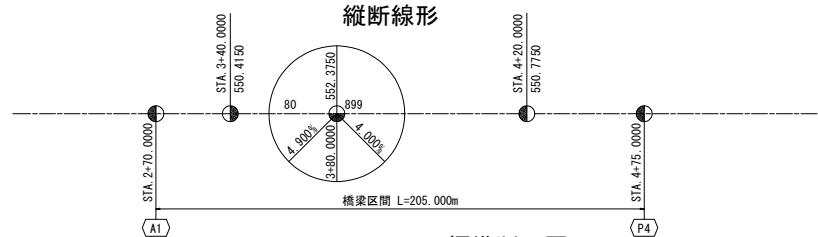


横断線形

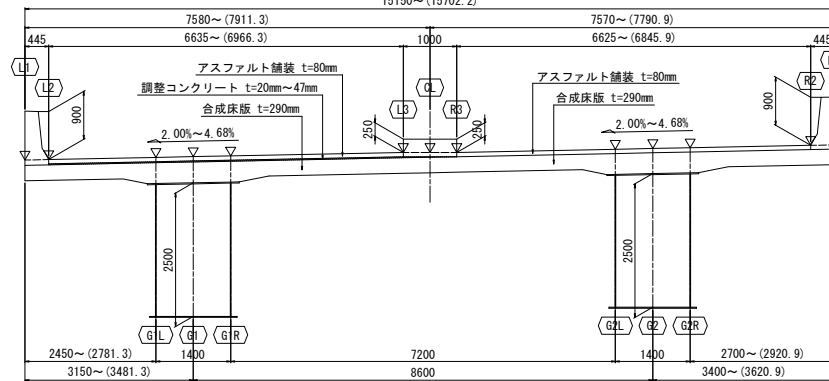


拡幅線形

縦断線形



標準断面図 S=1:50



() 内寸法はP4を示す。

桁配置要領

1. 橋台、橋脚の設定

橋台前線A1は、CLライン上でSTA. 2+70.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋脚中心線P1は、CLライン上でSTA. 3+16.5000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋脚中心線P2は、CLライン上でSTA. 3+63.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋脚中心線P3は、CLライン上でSTA. 4+19.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋脚中心線P4は、CLライン上でSTA. 4+75.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。

2. 桁端線、支承線の設定

桁端線GE1は、A1からP4に向かってCLライン上で0.300mの位置でA1に平行にセットする。
支承線S1は、A1からP4に向かってCLライン上で1.200mの位置でA1に平行にセットする。
支承線S2は、P4からA1に向かってCLライン上で1.200mの位置でP4に平行にセットする。
桁端線GE2は、P4からA1に向かってCLライン上で0.175mの位置でP4に平行にセットする。

3. 主桁の設定

G1 : 道路中心線 (CL) からL1側に 4.430m の平行線とする。
G2 : 道路中心線 (CL) からR1側に 4.170m の平行線とする。
G1L・G1R : G1ラインよりL1方向・R1方向にそれぞれ0.700mの平行線とする。
G2L・G2R : G2ラインよりL1方向・R1方向にそれぞれ0.700mの平行線とする。

4. 横桁の設定

横桁配置は平面図の通りとし、CLラインに対して法線方向に設置する。

コントロール点の座標・方向角 (CL)

主要点名	測点	X座標値	Y座標値	線形要素
BC1	STA. 0+87.9690	36270.7130	-51988.7011	R = -440.0000
EC1	STA. 3+89.9211	36028.5795	-51818.3370	R = ∞
KA2	STA. 4+50.4602	35993.6740	-51768.8741	A = 50.0000
KE2	STA. 5+6.0157	35971.9297	-51718.7684	R = -45.0000
EC2	STA. 6+8.1274	36045.9573	-51684.5062	R = -45.0000

円曲線の半径、パラメーターに関する符号は、+ : 上に凸 (右回り)

長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上加工)工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 線形図(その1)			
縮尺	図示	図面番号	5 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 線形図(その2) S=1:600

6 / 256

小座標値

		A1	GE1	S1	D1	C1	D2	C2	D3	C3	D4	C4	D5	P1	D6	C5	D7	C6	D8	C7	D9	C8	D10	P2	D11
L1	X	1.4889	1.7831	2.6658	7.1436	11.6302	15.9899	20.3569	24.7308	29.1112	33.4976	37.8895	42.2865	46.6881	51.2408	55.7974	60.3574	64.9204	69.4857	74.0530	78.6216	83.1911	87.7610	92.3307	96.9489
	Y	7.4323	7.7375	7.1983	6.3387	5.5263	4.7837	4.0856	3.4323	2.8237	2.2599	1.7410	1.2671	0.8382	0.4423	0.0945	-0.2051	-0.4565	-0.6596	-0.8145	-0.9212	-0.9795	-0.9895	-0.9513	-0.8636
	Z	546.8434	546.8584	546.9032	547.1306	547.3579	547.5784	547.7989	548.0194	548.2399	548.4604	548.6809	548.9014	549.1219	549.3497	549.5776	549.8054	550.0333	550.2611	550.4782	550.6713	550.8492	550.9852	551.1061	551.2039
	X	1.4015	1.6957	2.5784	7.0614	11.5532	15.9174	20.2889	24.6673	29.0522	33.4431	37.8395	42.2411	46.6472	51.2046	55.7659	60.3306	64.8983	69.4683	74.0403	78.6136	83.1878	87.7624	92.3368	96.9597
L2	Y	6.9960	6.9372	6.7619	5.9013	5.0880	4.3446	3.6458	2.9918	2.3826	1.8183	1.2989	0.8245	0.3951	-0.0012	-0.3494	-0.6493	-0.9009	-1.1043	-1.2594	-1.3661	-1.4245	-1.4345	-1.3963	-1.3084
	Z	546.8523	546.8672	546.9121	547.1394	547.3668	547.5873	547.8078	548.0283	548.2488	548.4693	548.6898	548.9103	549.1308	549.3586	549.5865	549.8143	550.0422	550.2700	550.4871	550.6802	550.8492	550.9941	551.1150	551.2128
	X	1.0077	1.3018	2.1846	6.6911	11.2064	15.5908	19.9825	24.3813	28.7865	33.1977	37.6145	42.0364	46.4629	51.0414	55.6239	60.2097	64.7985	69.3898	73.9829	78.5774	83.1728	87.7685	92.3641	97.0085
	Y	5.0301	4.9712	4.7960	3.9308	3.1133	2.3664	1.6644	1.0073	0.3953	-0.1717	-1.1701	-1.6014	-1.9996	-2.3493	-2.6506	-2.9034	-3.1078	-3.2635	-3.3708	-3.4294	-3.4395	-3.4011	-3.3128	
G1L	Z	546.8924	546.9073	546.9519	547.1794	547.4069	547.6274	547.8479	548.0684	548.2889	548.5094	548.7299	548.9504	549.1709	549.3987	549.6266	549.8544	550.0823	550.3101	550.5272	550.7203	550.8893	551.0342	551.1551	551.2529
	X	0.8702	1.1643	2.0471	6.5618	11.0853	15.4768	19.8756	24.2814	28.6937	33.1120	37.5359	41.9649	46.3986	50.8485	55.3143	60.1675	64.7637	69.3623	73.9628	78.5648	83.1675	87.7702	92.3737	97.0255
	Y	4.3437	4.2849	4.1096	3.2429	2.4238	1.6757	0.9726	0.3145	-0.2985	-0.8664	-1.3890	-1.8664	-2.2985	-2.6973	-3.0476	-3.3494	-3.6026	-3.8072	-3.9632	-4.0707	-4.1294	-4.1395	-4.1010	-4.0126
	Z	546.9064	546.9212	546.9658	547.1933	547.4209	547.6414	547.8619	548.0824	548.3029	548.5234	548.7439	548.9644	549.1849	549.4127	549.6406	549.8684	550.0963	550.3241	550.5412	550.7343	550.9033	551.0482	551.1691	551.2669
G1R	X	0.7327	1.0268	1.9096	6.4325	10.9643	15.3627	19.7686	24.1815	28.6009	33.0263	37.4573	41.8935	46.3343	50.7275	55.1247	60.1253	64.7289	69.3349	73.9428	78.5521	83.1623	87.7729	92.3833	97.0426
	Y	3.6573	3.5985	3.4232	2.5549	1.7344	0.9851	0.2808	-0.3784	-0.9924	-1.5611	-2.0846	-2.5628	-2.9955	-3.3949	-3.7458	-4.0481	-4.3017	-4.5067	-4.6630	-4.7705	-4.8294	-4.8395	-4.8009	-4.7124
	Z	546.9204	546.9352	546.9797	547.2073	547.4349	547.6554	547.8759	548.0964	548.3169	548.5374	548.7579	548.9784	549.1989	549.4267	549.6546	549.8824	550.1103	550.3381	550.5552	550.7483	550.9173	551.0622	551.1831	551.2809
	X	0.0982	0.3924	1.2752	5.8359	10.4056	14.8366	19.2751	23.7207	28.1728	32.6310	37.0948	41.5638	46.0374	50.6647	55.2959	59.9306	64.5683	69.2084	73.8504	78.4938	83.1381	87.7828	92.4274	97.1212
L3	Y	0.4903	0.4314	0.2562	-0.6195	-1.4470	-2.2018	-2.9113	-3.5753	-4.1939	-4.7688	-5.2942	-5.7759	-6.2118	-6.6142	-6.9677	-7.2722	-7.5277	-7.7342	-7.8916	-8.0000	-8.0593	-8.0695	-8.0306	-7.9415
	Z	546.9850	546.9997	547.0439	547.2717	547.4995	547.7200	547.9405	548.1610	548.3815	548.6020	548.8225	549.0430	549.2635	549.4913	549.7192	549.9470	550.1749	550.4027	550.6198	550.8129	550.9819	551.1268	551.2477	551.3455
	X	0.0000	0.2942	1.1769	5.7435	10.3191	14.7552	19.1987	23.6493	28.1065	32.5698	37.0387	41.5127	45.9915	50.6240	55.2605	59.9005	64.5434	69.1888	73.8361	78.4848	83.1344	87.7844	92.4342	97.1333
	Y	0.0000	-0.0588	-0.2341	-1.1109	-1.9394	-2.6951	-3.4054	-4.0702	-4.6895	-5.2631	-5.7910	-6.2733	-6.7097	-7.1126	-7.4664	-7.7713	-8.0271	-8.2338	-8.3914	-8.4999	-8.5593	-8.5695	-8.5306	-8.4413
CL	Z	546.9850	546.9997	547.0438	547.2716	547.4995	547.7200	547.9405	548.1610	548.3815	548.6020	548.8225	549.0430	549.2635	549.4913	549.7192	549.9470	550.1749	550.4027	550.6198	550.8129	550.9819	551.1268	551.2477	551.3455
	X	-0.0982	0.1960	1.0787	5.6512	10.2326	14.6737	19.1223	23.5780	28.0402	32.5086	36.9825	41.4617	45.9455	50.5833	55.2251	59.8703	64.5185	69.1692	73.8218	78.4758	83.1307	87.7859	92.4410	97.1455
	Y	-0.4903	-0.5491	-0.7244	-1.6023	-2.4319	-3.1884	-3.8995	-4.5651	-5.1850	-5.7593	-6.2879	-6.7707	-7.2076	-7.6109	-7.9652	-8.2704	-8.5265	-8.7334	-8.8912	-8.9998	-9.0593	-9.0695	-9.0305	-8.9412
	Z	546.9850	546.9997	547.0437	547.2716	547.4995	547.7200	547.9405	548.1610	548.3815	548.6020	548.8225	549.0430	549.2635	549.4913	549.7192	549.9470	550.1749	550.4027	550.6198	550.8129	550.9819	551.1268	551.2477	551.3455
G2L	X	-0.6816	-0.3874	0.4953	5.1026	9.7189	14.1899	18.6685	23.1542	27.6466	32.1450	36.6492	41.1585	45.6726	50.3416	55.0147	59.6913	64.3708	69.0528	73.7368	78.4222	83.1084	87.7951	92.4816	97.2178
	Y	-3.4024	-3.4612	-3.6365	-4.5212	-5.3571	-6.1188	-6.8347	-7.5047	-8.1288	-8.7070	-9.2391	-9.7252	-10.1650	-10.5711	-10.9277	-11.2350	-11.4928	-11.7012	-11.8600	-11.9694	-12.0292	-12.0395	-12.0003	-11.9103
	Z	547.4044	547.0590	547.1027	547.3308	547.5589	547.7794	547.9999	548.2204	548.4409	548.6614	548.8819	549.1024	549.3229	549.5507	549.7786	549.9999	550.2243	550.4461	550.6621	550.8723	551.0775	551.2777	551.4729	551.6631
	X	-0.8191	-0.5249	0.3579	4.9733	9.5978	14.1759	18.6616	23.0544	27.5538	32.0593	36.5706	41.0871	45.6083	50.2847	54.9651	59.6491	64.3360	69.0254	73.7168	78.4095	83.1032	87.7972	92.4911	97.2348
G2	Y	-4.0888	-4.1476	-4.3229	-5.2092	-6.0466	-6.8094	-7.5264	-8.1975	-8.8227	-9.4017	-9.9347	-10.4215	-10.8621	-11.2687	-11.6260	-11.9337	-12.1919	-12.4006	-12.5597	-12.6693	-12.7292	-12.7395	-12.7002	-12.6101
	Z	547.0584	547.0730	547.1166	547.3448	547.5729	547.7934	548.0139	548.2344	548.4549	548.6754	548.8959	549.1164	549.3369	549.5647	549.7926	550.0204	550.2483	550.4761	550.6932	550.8863	551.0553	551.2002	551.3211	551.4189
	X	-0.9566	-0.6624	0.2204	4.8440	9.4767	13.9619	18.4546	22.9545	27.4610	31.9737	36.4920	41.0156	45.5440	50.2277	54.9155	59.6069	64.3012	68.9980	73.6967	78.3969	83.0980	87.7994	92.5007	97.2518
	Y	-4.7751	-4.8340	-5.0092	-5.8971	-6.7360	-7.5001	-8.2182	-8.8904	-9.5165	-10.0965	-10.6303	-11.1178	-11.5591	-11.9664	-12.3242	-12.6324	-12.8911	-13.1001	-13.2594	-13.3691	-13.4292	-13.4395	-13.4001	-13.3099
G2R	Z	547.0724	547.0869	547.1306	547.3587	547.5869	547.8074	548.0279	548.2484	548.4689	548.6894	548.9099	549.1304	549.3509	549.5787	549.8066	550.0344	550.2623	550.4901	550.7072	550.9003	551.0693	551.2142	551.3351	551.4329
	X	-1.3995	-1.1053	-0.2226	4.4274	9.0867	13.5946	18.1101	22.6328	27.1621	31.6977	36.2389	40.7854	45.3367	50.0442	54.7558	59.4709	64.1890	68.9096	73.6322	78.3562	83.0811	87.8064	92.5315	97.3067
	Y	-6.9862	-7.0450	-7.2203	-8.1133	-8.9570	-9.7250	-10.4467	-11.1223	-11.7516	-12.3345	-12.8710	-13.3611	-13.8046	-14.2139	-14.5735	-14.8833	-15.1433	-15.3533	-15.5135	-15.6238	-15.6841	-15.6945	-15.6549	-15.5642
	Z	547.1175	547.1320	547.1754	547.4037	547.6320	547.8525	548.0730	548.2935	548.5140	548.7345	548.9550	549.1755	549.3960	549.6238	549.8517	550.0795	550.3074	550.5352	550.7523	550.9454	551.1144	551.2593	551.3802	551.4780
R1	X	-1.4869	-1.1928	-0.3100	4.3452	9.0097	13.5221	18.0421	22.5693	27.1031	31.6432	36.1890	40.7400	45.2958	50.0080	54.7243	59.4441	64.1669	68.8922	73.6195	78.3482	83.0778	87.8077	92.5375	97.3175
	Y	-7.4225	-7.4814	-7.6567	-8.5507	-9.3953	-10.1640	-10.8865	-11.5628	-12.1927	-12.7762	-13.3132	-13.8037	-14.2477	-14.6575	-15.0174	-15.3275	-15.5877	-15.7980	-15.9583	-16.0687	-16.1291	-16.1395	-16.0999	-16.0091
	Z	547.1264	547.1409	547.1842	547.4126	547.6409	547.8614	548.0819	548.3024	548.5229	548.7434	548.9639	549.1844	549.4049	549.6327	549.8606	550.0884	550.3163	550.5441	550.7612	550.9543	551.1233	551.2682	551.3891	551.4869

小座標の設定

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 線形図(その3)

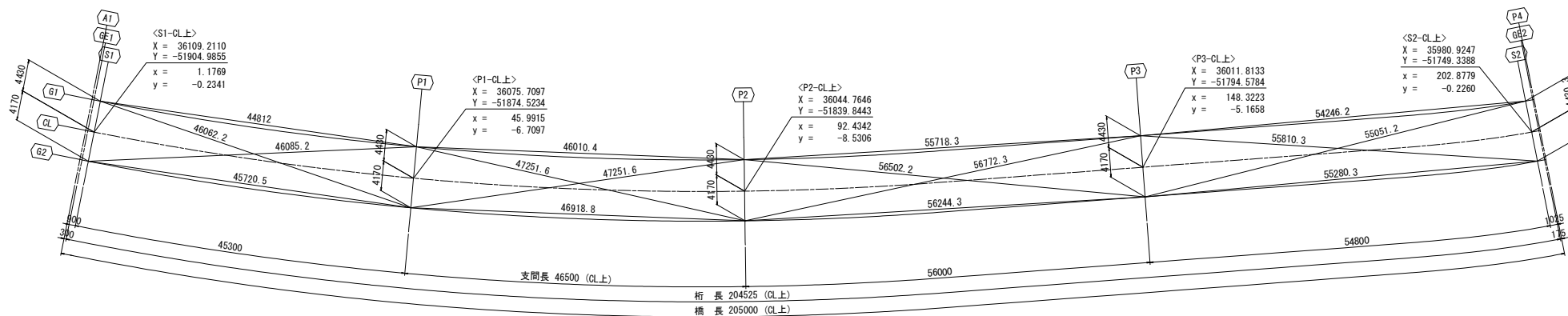
S=1:600

7 / 256

小座標値

		C9	D12	C10	D13	C11	D14	C12	D15	C13	D16	P3	D17	C14	D18	C15	D19	C16	D20	C17	D21	C18	D22	S2	GE2	P4
L1	X	101.5658	106.1320	110.6960	115.2665	119.8339	124.4709	129.1078	133.7448	138.3818	143.0687	147.7555	152.2928	156.8300	161.3673	165.9046	170.4418	174.9791	179.4975	184.0108	188.4067	192.7931	197.0830	201.3461	202.3501	202.5213
	Y	-0.7265	-0.5424	-0.3100	-0.0288	0.2994	0.6471	0.9948	1.3425	1.6901	2.0416	2.3930	2.7332	3.0734	3.4136	3.7538	4.0940	4.4342	4.7780	5.1862	5.6243	6.1389	6.7551	7.5183	7.7247	7.7610
	Z	551.2771	551.3253	551.3494	551.3495	551.3256	551.2776	551.2055	551.1094	550.9892	550.8433	550.6728	550.4914	550.3094	550.1274	549.9454	549.7634	549.5814	549.3937	549.1747	548.9576	548.7367	548.5160	548.2913	548.2375	548.2283
	X	101.5814	106.1523	110.7209	115.2956	119.8672	124.5041	129.1411	133.7781	138.4151	143.1019	147.7888	152.3260	156.8633	161.4006	165.9378	170.4751	175.0124	179.5319	184.0463	188.4497	192.8438	197.1516	201.4324	202.4365	202.6077
L2	Y	-1.1712	-0.9869	-0.7543	-0.4729	-0.1443	0.2034	0.5510	0.8987	1.2464	1.5978	1.9492	2.2894	2.6296	2.9698	3.3100	3.6502	3.9904	4.3343	4.7426	5.1814	5.6967	6.3154	7.0818	7.2881	7.3244
	Z	551.2860	551.3342	551.3583	551.3584	551.3345	551.2865	551.2144	551.1183	550.9981	550.8522	550.6817	550.5003	550.3183	550.1363	549.9543	549.7723	549.5903	549.4030	549.1862	548.9711	548.7525	548.5337	548.3112	548.2582	548.2491
	X	101.6516	106.2437	110.8335	115.4268	120.0171	124.6540	129.2910	133.9280	138.5650	143.2518	147.9387	152.4760	157.0132	161.5505	166.0877	170.6250	175.1623	179.6871	184.2112	188.6563	193.0940	197.4994	201.8824	202.8893	203.0610
	Y	-3.1750	-2.9898	-2.7562	-2.4736	-2.1437	-1.7960	-1.4483	-1.1007	-0.7530	-0.4016	-0.0502	0.2900	0.6302	0.9704	1.3106	1.6508	1.9910	2.3303	2.6775	3.0587	3.5165	4.0860	4.9987	5.0325	
G1L	Z	551.3261	551.3743	551.3984	551.3985	551.3746	551.3266	551.2545	551.1584	551.0382	550.8923	550.7218	550.5404	550.3584	550.1764	549.9944	549.8124	549.6304	549.4447	549.2396	549.0360	548.8305	548.6238	548.4151	548.3667	548.3584
	X	101.6761	106.2756	110.8728	115.4727	120.0694	124.7064	129.3434	133.9804	138.6173	143.3042	147.9910	152.5283	157.0656	161.6028	166.1401	170.6773	175.2146	179.7411	184.2670	188.7241	193.1738	197.6073	202.0183	203.0251	203.1968
	Y	-3.8746	-3.6891	-3.4550	-3.1721	-2.8417	-2.4941	-2.1464	-1.7987	-1.4510	-1.0996	-0.7482	-0.4080	-0.0678	0.2724	0.6126	0.9528	1.2930	1.6324	1.9797	2.3620	2.8211	3.3943	4.1201	4.3120	4.3458
	Z	551.3401	551.3883	551.4124	551.4125	551.3886	551.3406	551.2685	551.1724	551.0522	550.9063	550.7358	550.5544	550.3724	550.1904	550.0084	549.8264	549.6444	549.4593	549.2577	549.0573	548.8553	548.6518	548.4465	548.3992	548.3911
G1R	X	101.7006	106.3075	110.9120	115.5185	120.1217	124.7587	129.3957	134.0327	138.6697	143.3565	148.0434	152.5806	157.1179	161.6552	166.1924	170.7297	175.2670	179.7951	184.3227	188.7919	193.2537	197.7152	202.1541	203.1610	203.3327
	Y	-4.5741	-4.3884	-4.1539	-3.8706	-3.5398	-3.1921	-2.8444	-2.4968	-2.1491	-1.7977	-1.4463	-1.1061	-0.7659	-0.4257	-0.0855	0.2547	0.5949	0.9345	1.2819	1.6653	2.1256	2.7026	3.4333	3.6253	3.6591
	Z	551.3541	551.4023	551.4264	551.4265	551.4026	551.3546	551.2825	551.1864	551.0662	550.9203	550.7498	550.5684	550.3864	550.2044	550.0224	549.8404	549.6584	549.4738	549.2757	549.0786	548.8802	548.6798	548.4780	548.4318	548.4239
	X	101.8137	106.4546	111.0933	115.7299	120.3632	125.0002	129.6372	134.2742	138.9112	143.5980	148.2849	152.8221	157.3594	161.8967	166.4339	170.9712	175.5085	180.0445	184.5799	189.1046	193.6219	198.2132	202.7809	203.7877	203.9594
L3	Y	-7.8022	-7.6150	-7.3789	-7.0936	-6.7607	-6.4131	-6.0654	-5.7177	-5.3700	-5.0186	-4.6672	-4.3270	-3.9868	-3.6466	-3.3064	-2.9662	-2.6260	-2.2859	-1.9378	-1.5496	-1.0833	-0.4889	0.2645	0.4567	0.4905
	Z	551.4187	551.4669	551.4910	551.4911	551.4672	551.4192	551.3471	551.2510	551.1308	550.9849	550.8144	550.6330	550.4510	550.2690	550.0870	549.9050	549.7230	549.5410	549.3590	549.1771	548.9950	548.8092	548.6232	548.5820	548.5750
	X	101.8312	106.4774	111.1214	115.7626	120.4006	125.0376	129.6746	134.3116	138.9486	143.6354	148.3223	152.8595	157.3968	161.9340	166.4713	171.0086	175.5458	180.0831	184.6198	189.1531	193.6789	198.2903	202.8779	203.8847	204.0564
	Y	-8.3019	-8.1145	-7.8781	-7.5926	-7.2593	-6.9117	-6.5640	-6.2163	-5.8686	-5.5172	-5.1658	-4.8256	-4.4854	-4.1452	-3.8050	-3.4648	-3.1246	-2.7844	-2.4362	-2.0472	-1.5800	-0.9830	-0.2260	-0.0338	0.0000
QL	Z	551.4187	551.4669	551.4910	551.4911	551.4672	551.4192	551.3471	551.2510	551.1308	550.9849	550.8144	550.6330	550.4510	550.2690	550.0870	549.9050	549.7230	549.5410	549.3590	549.1770	548.9950	548.8090	548.6230	548.5820	548.5750
	X	101.8487	106.5002	111.1495	115.7953	120.4380	125.0750	129.7120	134.3490	138.9859	143.6728	148.3596	152.8969	157.4342	161.9714	166.5087	171.0460	175.5832	180.1217	184.6596	189.2015	193.7359	198.3673	202.9795	203.9818	204.1535
	Y	-8.8016	-8.6140	-8.3773	-8.0915	-7.7579	-7.4103	-7.0626	-6.7149	-6.3672	-6.0158	-5.6644	-5.3242	-4.9840	-4.6438	-4.3036	-3.9634	-3.6232	-3.2829	-2.9346	-2.5449	-2.0768	-1.4770	-0.7166	-0.5243	-0.4905
	Z	551.4187	551.4669	551.4910	551.4911	551.4672	551.4192	551.3471	551.2510	551.1308	550.9849	550.8144	550.6330	550.4510	550.2690	550.0870	549.9050	549.7230	549.5410	549.3590	549.1769	548.9950	548.8088	548.6228	548.5820	548.5750
G2L	X	101.9527	106.6356	111.3161	115.9897	120.6601	125.2971	129.9340	134.5710	139.2080	143.8949	148.5817	153.1190	157.6562	162.1935	166.7308	171.2680	175.8053	180.3510	184.8961	189.4391	194.0746	198.8252	203.5513	204.5581	204.7298
	Y	-11.7697	-11.5809	-11.3426	-11.0551	-10.7196	-10.3719	-10.0243	-9.6766	-9.3289	-8.9775	-8.6261	-8.2859	-7.9457	-7.6055	-7.2653	-6.9251	-6.5849	-6.2441	-5.8952	-5.5010	-5.0274	-4.4117	-3.6303	-3.4379	-3.4040
	Z	551.4781	551.5263	551.5504	551.5506	551.5266	551.4786	551.4065	551.3104	551.1902	551.0443	550.8738	550.6924	550.5104	550.3284	550.1464	549.9644	549.7824	549.6028	549.4356	549.2675	549.1005	548.9281	548.7567	548.7202	548.7140
	X	101.9772	106.6675	111.3554	116.0355	120.7124	125.3494	129.9864	134.6234	139.2604	143.9472	148.6340	153.1713	157.7086	162.2458	166.7831	171.3204	175.8576	180.4050	184.9518	189.5569	194.1544	198.9331	203.6871	204.6939	204.8656
G2	Y	-12.4693	-12.2802	-12.0415	-11.7536	-11.4177	-11.0700	-10.7223	-10.3746	-10.0270	-9.6756	-9.3241	-8.9839	-8.6437	-8.3035	-7.9633	-7.6232	-7.2830	-6.9420	-6.5930	-6.1977	-5.7228	-5.1033	-4.3170	-4.1246	-4.0907
	Z	551.4921	551.5403	551.5644	551.5646	551.5406	551.4926	551.4205	551.3244	551.2042	551.0583	550.8878	550.7064	550.5244	550.3424	550.1604	549.9784	549.7964	549.6174	549.4536	549.2889	549.1254	548.9562	548.7883	548.7528	548.7467
	X	102.0017	106.6994	111.3947	116.0813	120.7648	125.4017	130.0387	134.6757	139.3127	143.9995	148.6864	153.2236	157.7609	162.2982	166.8354	171.3727	175.9100	180.4591	185.0076	189.6247	194.2342	199.0410	203.8230	204.8297	205.0014
	Y	-13.1689	-12.9794	-12.7404	-12.4521	-12.1157	-11.7680	-11.4204	-11.0727	-10.7250	-10.3736	-10.0222	-9.6820	-9.3418	-9.0016	-8.6614	-8.3212	-7.9810	-7.6399	-7.2908	-6.8944	-6.4813	-5.7950	-5.0038	-4.8113	-4.7774
G2R	Z	551.5061	551.5543	551.5784	551.5786	551.5546	551.5066	551.4345	551.3384	551.2182	551.0723	550.9018	550.7204	550.5384	550.3564	550.1744	549.9924	549.8104	549.6320	549.4717	549.3103	549.1503	548.9844	548.8199	548.7854	548.7795
	X	102.0807	106.8021	111.5213	116.2289	120.9334	125.5703	130.2073	134.8443	139.4813	144.1681	148.8550	153.3922	157.9295	162.4668											

支承位置図

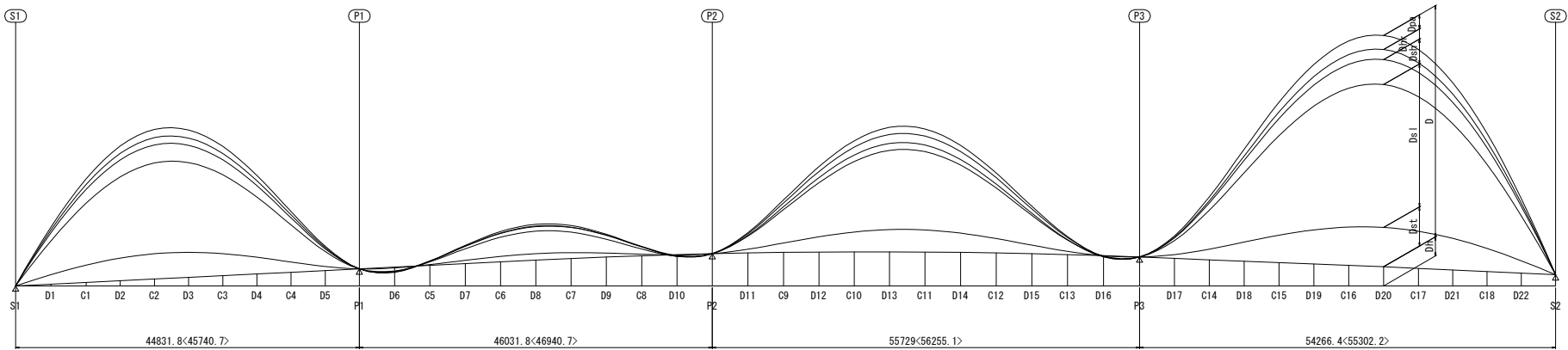


支承位置の座標(大座標)

	S1		P1		P2		P3		S2	
橋軸線名	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
G1	36112.0094	-51901.5512	36078.8547	-51871.4035	36048.2212	-51837.0735	36015.4328	-51792.0241	35984.8252	-51747.2378
G2	36106.5769	-51908.2182	36072.7493	-51877.4602	36041.5109	-51842.4524	36008.4062	-51796.9827	35977.2532	-51751.3164

支承位置の座標(小座標)

	S1		P1		P2		P3		S2	
橋軸線名	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
G1	2.0471	4.1096	46.3986	-2.2985	92.3737	-4.101	147.991	-0.7482	202.0183	4.1201
G2	0.3579	-4.3229	45.6083	-10.8621	92.4911	-12.7002	148.634	-9.3241	203.6871	-4.317



注：< >内は、G2上の寸法を示す。

		単位 mm																											
		S1	D1	C1	D2	C2	D3	C3	D4	C4	D5	P1	D6	C5	D7	C6	D8	C7	D9	C8	D10	P2	D11	C9					
G1	Dh	0.0	227.6	455.1	675.6	896.1	1116.6	1337.1	1557.6	1778.1	1998.6	2219.1	2447.0	2674.8	2902.7	3130.5	3358.4	3575.4	3768.5	3937.5	4082.5	4203.3	4301.1	4374.3					
	Dst	0.0	5.5	10.2	13.3	14.9	14.7	12.9	9.8	6.0	2.4	0.0	-0.5	0.5	2.0	3.2	3.8	3.5	2.3	0.9	-0.2	0.0	2.2	5.5					
	Dsl	0.0	19.8	36.5	47.8	53.4	52.8	46.4	35.3	21.8	8.7	0.0	-1.8	1.6	6.8	11.3	13.3	12.1	8.1	3.0	-0.8	0.0	7.7	19.6					
	Dsh	0.0	4.7	8.0	9.9	10.6	10.2	8.8	6.7	4.2	1.6	0.0	-0.3	0.5	1.5	2.2	2.6	2.7	2.4	1.5	0.4	0.0	0.4	1.7					
	Dhr	0.0	1.6	2.9	3.8	4.3	4.2	3.7	2.9	1.8	0.7	0.0	-0.3	-0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.0	-0.3	-0.4	0.0	0.9	2.2					
	Dpa	0.0	1.8	3.3	4.3	4.8	4.8	4.2	3.2	1.9	0.8	0.0	-0.2	0.1	0.5	0.9	1.1	1.0	0.6	0.2	-0.1	0.0	0.7	1.8					
	D	0.0	33.5	60.9	79.2	87.9	86.6	76.0	57.9	35.7	14.2	0.0	-3.0	2.5	10.8	17.9	21.1	19.4	13.4	5.4	-1.0	0.0	11.9	30.9					
G2	Dh	0.0	228.1	456.3	676.8	897.3	1117.8	1338.3	1558.8	1779.3	1999.8	2220.3	2448.1	2676.0	2903.8	3131.7	3359.5	3576.6	3769.6	3938.6	4083.6	4204.5	4302.2	4375.4					
	Dst	0.0	6.0	10.9	14.3	15.9	15.7	13.8	10.5	6.4	2.6	0.0	-0.6	0.4	1.9	3.3	3.9	3.6	2.4	0.9	-0.2	0.0	2.2	5.6					
	Dsl	0.0	22.3	40.9	53.4	59.4	58.6	51.4	39.1	23.9	9.5	0.0	-2.1	1.6	7.5	12.6	15.0	13.8	9.5	3.8	-0.6	0.0	8.2	21.0					
	Dsh	0.0	4.8	8.1	10.0	10.6	10.2	8.8	6.7	4.2	1.6	0.0	-0.4	0.3	1.1	1.7	2.1	2.3	2.1	1.4	0.4	0.0	0.4	1.6					
	Dhr	0.0	1.7	3.2	4.2	4.7	4.6	4.1	3.1	2.0	0.8	0.0	-0.3	-0.3	0.0	0.2	0.3	0.2	-0.1	-0.3	-0.4	0.0	1.0	2.4					
	Dpa	0.0	1.8	3.3	4.4	4.9	4.8	4.2	3.2	2.0	0.8	0.0	-0.2	0.0	0.4	0.7	0.9	0.8	0.5	0.1	-0.1	0.0	0.7	1.7					
	D	0.0	36.6	66.5	86.3	95.5	93.9	82.3	62.6	38.5	15.3	0.0	-3.6	2.0	10.8	18.6	22.2	20.7	14.4	5.9	-0.9	0.0	12.4	32.2					

		単位 mm																					
		D12	C10	D13	C11	D14	C12	D15	C13	D16	P3	D17	C14	D18	C15	D19	C16	D20	C17	D21	C18	D22	S2
G1	Dh	4422.5	4446.6	4446.7	4422.8	4374.8	4302.7	4206.6	4086.4	3940.5	3770.0	3588.6	3406.6	3224.6	3042.6	2860.6	2678.6	2492.6	2286.1	2080.9	1874.0	1665.5	1455.3
	Dst	8.9	11.6	13.1	13.0	11.3	8.4	5.0	1.9	0.0	0.0	2.2	6.3	11.2	16.1	20.1	22.5	23.1	21.8	18.6	13.6	7.3	0.0
	Dsl	31.8	41.5	46.6	46.0	40.0	29.7	17.5	6.6	-0.2	0.0	8.2	22.8	40.8	58.5	72.7	81.7	84.0	79.1	67.4	49.4	26.4	0.0
	Dsh	3.0	3.8	4.1	3.9	3.3	2.3	1.3	0.2	-0.5	0.0	1.6	4.3	7.2	10.0	12.4	14.0	14.7	14.2	12.6	9.8	5.6	0.0
	Dhr	3.6	4.6	5.2	5.3	4.7	3.8	2.5	1.3	0.3	0.0	0.4	1.3	2.6	3.9	5.0	5.7	6.0	5.7	4.9	3.6	1.9	0.0
	Dpa	2.9	3.8	4.2	4.2	3.6	2.7	1.6	0.6	0.0	0.0	0.8	2.3	4.0	5.7	7.1	8.0	8.3	7.8	6.7	4.9	2.6	0.0
	D	50.2	65.3	73.2	72.3	63.0	47.0	27.9	10.6	-0.5	0.0	13.2	37.0	65.9	94.3	117.3	131.9	136.0	128.6	110.1	81.3	43.8	0.0
G2	Dh	4423.6	4447.8	4447.9	4423.9	4375.9	4303.9	4207.8	4087.6	3941.7	3771.2	3589.8	3407.8	3225.8	3043.8	2861.8	2679.8	2500.7	2337.0	2172.3	2008.8	1839.6	1671.7
	Dst	9.1	11.7	13.1	12.8	11.0	8.0	4.6	1.7	-0.1	0.0	2.3	6.4	11.5	16.5	20.6	23.3	24.1	23.0	19.9	14.9	8.0	0.0
	Dsl	33.9	43.9	49.0	47.9	41.1	30.1	17.3	6.2	-0.5	0.0	8.8	24.2	43.2	62.1	77.4	87.4	90.6	86.5	74.7	56.0	30.3	0.0
	Dsh	2.8	3.4	3.5	3.3	2.6	1.8	0.9	0.0	-0.6	0.0	1.6	4.3	7.3	10.1	12.5	14.2	14.9	14.6	13.1	10.3	5.9	0.0
	Dhr	3.7	4.8	5.4	5.4	4.8	3.8	2.5	1.3	0.3	0.0	0.4	1.4	2.7	4.0	5.2	6.0	6.3	6.0	5.3	4.0	2.2	0.0
	Dpa	2.7	3.5	3.9	3.8	3.3	2.4	1.4	0.5	-0.1	0.0	0.8	2.2	3.8	5.4	6.7	7.6	7.8	7.5	6.4	4.8	2.6	0.0
	D	52.1	67.4	74.9	73.2	62.9	46.1	26.7	9.5	-1.0	0.0	13.9	38.5	68.4	98.2	122.4	138.3	143.7	137.6	119.4	90.0	49.0	0.0

記号の説明

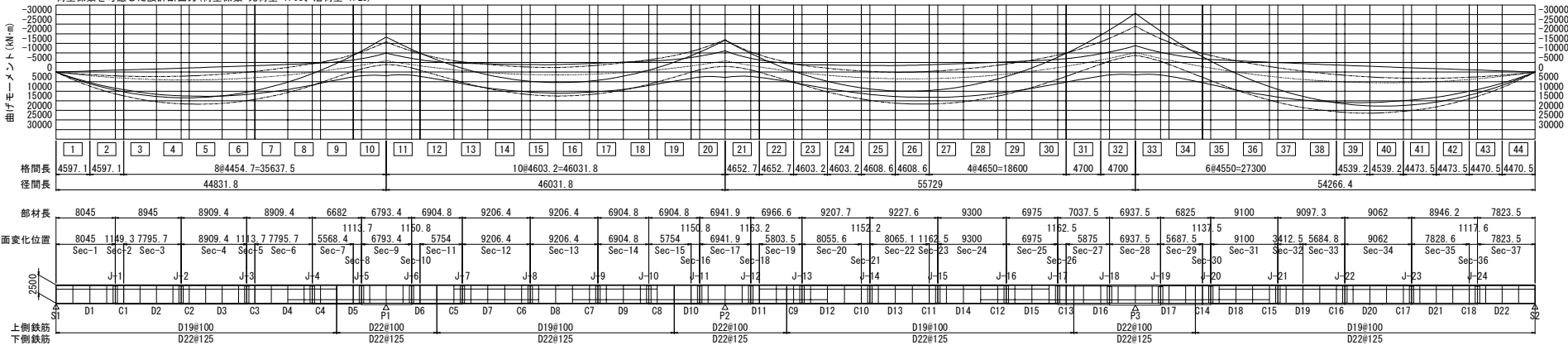
- Dh : 縦断勾配
 - Dst : 鋼 重+検査路によるたわみ
 - Dsl : 床 版+ハンチによるたわみ
 - Dsh : 乾燥収縮+クリープによるたわみ
 - Dhr : 高 欄+中央分離帯+投下防止柵によるたわみ
 - Dpa : 舗 装+調整舗装によるたわみ
 - D : 合 計
- ※たわみは荷重係数を乗じていない特性値。後死荷重によるたわみ値は、床版を考慮した合成断面による剛性で算出。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 キャンバー図		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 断面構成図(その1) S=1:600

G1
合成前死荷重 M1
合成後死荷重 M2
活荷重 ML
M2+ML

荷重係数を考慮した設計断面力(荷重係数:死荷重 1.05、活荷重 1.25)



第1主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18
上フランジ	幅=1720 厚	21(3)	23(3)	23(3)	21(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)
上フランジ	本数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上フランジ	幅	220	220	220	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190
上フランジ	厚	22	22	22	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
左腹板	厚	14(3)	14(3)	12(3)	14(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
右腹板	厚	14(3)	14(3)	12(3)	14(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
下フランジ	幅=1640 厚	16(3)	22(3)	22(3)	18(3)	23(3)	32(3)	24(3)	16(3)	16(3)	16(3)	22(3)	29(3)	21(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)	18(3)
下フランジ	本数	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下フランジ	幅	190	190	-	-	190	220	280	240	190	190	190	220	280	220	190	-	-	190
下フランジ	厚	19	19	-	-	19	22	28	24	19	19	19	22	28	22	19	-	-	19
上フランジ	σd	-189	-186	-212	-218	-187	-176	137	166	256	177	151	-132	-141	-128	139	162	238	150
上フランジ	σud	207	224	224	224	207	272	272	272	272	272	272	144	173	144	272	272	272	272
上フランジ	σud-σd	18	38	12	7	20	31	135	106	16	95	120	12	33	17	133	109	33	121
下フランジ	σd	176	161	217	227	205	180	-181	-212	-261	-219	-193	-111	147	-76	-179	-205	-250	-193
下フランジ	σud	272	272	272	272	272	272	224	224	272	232	232	144	272	144	216	216	262	207
下フランジ	σud-σd	95	110	54	44	67	91	43	12	10	13	39	33	125	68	37	11	12	13
応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋
腹板	σd	66	44	38	36	34	59	67	68	75	61	58	40	34	47	58	60	67	65
腹板	σud	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
腹板	σud-σd	0.45	0.38	0.64	0.70	0.58	0.46	0.53	0.69	1.02	0.71	0.56	0.23	0.30	0.21	0.49	0.62	0.58	0.44
孔引き後σ	上フランジ	230			268	242	66		220		235		28	12	216			200	
決定要因	上フランジ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
決定要因	下フランジ	D	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

第1主桁		19	20	21	22	23	24	25
断面名		Sec-28	Sec-29	Sec-30	Sec-31	Sec-32	Sec-33	Sec-34
上フランジ	幅=1720 厚	36(3)	27(3)	24(3)	19(3)	24(3)	26(3)	22(3)
上フランジ	本数	0	0	1	1	1	1	1
上フランジ	幅	-	-	190	190	240	240	220
上フランジ	厚	-	-	19	19	24	24	22
左腹板	厚	18(3)	18(3)	16(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)
右腹板	厚	18(3)	18(3)	16(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)
下フランジ	幅=1640 厚	51(7)	33(3)	18(3)	29(3)	29(3)	29(3)	16(3)
下フランジ	本数	1	1	1	1	0	0	1
下フランジ	幅	280	280	190	190	-	-	190
下フランジ	厚	28	28	19	19	-	-	19
上フランジ	σd	262	226	71	-166	-184	-224	-230
上フランジ	σud	272	272	186	232	232	245	245
上フランジ	σud-σd	9	45	200	8	15	17	18
応力ケース	24:鋼+鉄筋	24:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋
下フランジ	σd	-264	-264	-131	-167	176	226	235
下フランジ	σud	272	272	272	272	272	272	272
下フランジ	σud-σd	8	7	141	7	95	46	37
応力ケース	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成
腹板	σd	80	74	61	67	48	40	31
腹板	σud	157	157	157	157	157	157	157
腹板	σud-σd	1.07	1.03	0.31	0.45	0.45	0.69	0.75
孔引き後σ	上フランジ		265		90			
決定要因	上フランジ	A	C	B	E	B	B	B
決定要因	下フランジ	B	B	B	C	C	C	D

材質 (1):SM400 (5):SM400-H
(2):SM490 (6):SM490-H
(3):SM490Y (7):SM520-H
(4):SM570 (8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示

- 1:D1[③] (合成前死荷重)
2:D+TF+GR+SH[①] 12:2+TH[③] 22:2-TH[③]
3:D+TF+GR+SH[②] 13:3+TH[③] 23:3-TH[③]
4:D+Lmax+TF+GR+SH[②] 14:4+TH[⑤] 24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax+TF+GR+SH[③] 15:5+TH[③] 25:5-TH[③]
6:D+Lmin+TF+GR+SH[③] 16:6+TH[③] 26:6-TH[③]
7:D+Lmin+TF+GR+SH[④] 17:7+TH[③] 27:7-TH[③]

[]:表示1表-3.3.1作用の組合せ番号

抵抗断面 鋼桁:鋼桁のみ(合成前)
鋼+鉄筋:鋼桁+鉄筋(合成後)
合成:鋼桁+コンクリート床版(合成後)

決定要因 A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:最小板厚
E:フランジ板厚差

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上構工)工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 断面構成図(その1)
縮尺	図示 図面番号 10 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 断面構成図(その2)

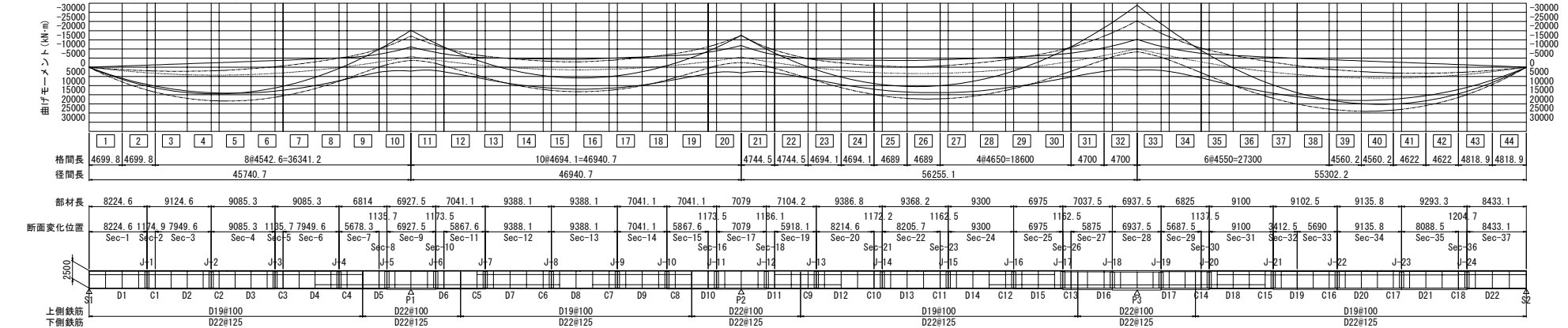
S=1:600

11 / 256

G2

合成前死荷重 M1
合成後死荷重 M2
活荷重 ML
M2+ML

荷重係数を考慮した設計断面力(荷重係数:死荷重 1.05、活荷重 1.25)



第2主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18
上フランジ	幅=1720 厚	21(3)	23(3)	23(3)	21(3)	21(3)	18(3)	18(3)	20(3)	18(3)	18(3)	18(3)	16(3)	18(3)	16(3)	18(3)	18(3)	21(3)	21(3)
上フランジ	本数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上フランジ	幅	220	220	220	220	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	220	220
上フランジ	厚	22	22	22	22	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	22	22	22	22
左腹板	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
右腹板	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
下フランジ	幅=1640 厚	16(3)	24(3)	24(3)	24(3)	18(3)	24(3)	35(3)	25(3)	16(3)	16(3)	16(3)	22(3)	29(3)	21(3)	18(3)	16(3)	21(3)	40(3)
下フランジ	本数	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1
下フランジ	幅	190	190	-	-	-	190	220	280	240	190	190	190	220	280	220	190	-	190
下フランジ	厚	19	19	-	-	-	19	22	28	24	19	19	19	22	28	22	19	-	19
上フランジ	σd	-196	-192	-219	-219	-194	-182	147	178	259	190	163	-133	-143	-131	143	167	247	155
上フランジ	σud	207	224	224	224	207	207	272	272	272	272	272	144	173	144	272	272	272	272
上フランジ	σud-σd	11	33	5	5	13	25	125	94	13	82	109	11	30	14	129	104	25	117
下フランジ	応力ケース	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋
下フランジ	σd	190	165	225	226	222	196	-189	-221	-260	-229	-202	-123	157	-78	-182	-208	-254	-196
下フランジ	σud	272	272	272	272	272	232	232	272	239	239	144	272	144	216	216	262	207	207
下フランジ	σud-σd	82	107	47	46	49	76	43	11	12	10	37	21	114	66	34	8	8	11
腹板	応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋
腹板	σd	70	47	40	34	37	64	72	73	80	64	62	52	36	49	60	62	77	69
腹板	σud	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
腹板	σud-σd	0.52	0.40	0.69	0.69	0.69	0.55	0.58	0.75	1.06	0.77	0.61	0.26	0.34	0.24	0.51	0.64	0.97	0.60
孔引き後σ	上フランジ	247	265	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263
孔引き後σ	下フランジ	247	265	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263	263
決定要因	上フランジ	D	B	B	B	B	B	D	A	D	B	E	B	D	D	D	D	D	D
決定要因	下フランジ	D	C	C	C	C	C	B	B	B	B	D	B	B	B	B	B	B	B

第2主桁		19	20	21	22	23	24	25
断面名		Sec-28	Sec-29	Sec-30	Sec-31	Sec-32	Sec-33	Sec-34
上フランジ	幅=1720 厚	40(3)	32(3)	19(3)	25(3)	27(3)	27(3)	23(3)
上フランジ	本数	0	0	1	1	1	1	1
上フランジ	幅	-	-	190	190	240	240	220
上フランジ	厚	-	-	19	19	24	24	22
左腹板	厚	18(3)	18(3)	16(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)
右腹板	厚	18(3)	18(3)	16(3)	14(3)	14(3)	14(3)	16(3)
下フランジ	幅=1640 厚	56(7)	37(3)	19(3)	35(3)	37(3)	37(3)	19(3)
下フランジ	本数	1	1	1	1	0	0	1
下フランジ	幅	280	280	190	190	-	-	190
下フランジ	厚	28	28	19	19	-	-	19
上フランジ	σd	262	221	72	-172	-186	-231	-240
上フランジ	σud	272	272	272	186	239	251	251
上フランジ	σud-σd	10	51	199	14	53	12	13
下フランジ	応力ケース	24:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋
下フランジ	σd	-263	-262	-131	-178	170	221	225
下フランジ	σud	272	272	272	186	272	272	272
下フランジ	σud-σd	9	10	140	8	101	51	47
腹板	応力ケース	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	4:合成
腹板	σd	85	79	65	72	54	46	32
腹板	σud	157	157	157	157	157	157	157
腹板	σud-σd	1.09	1.03	0.33	0.51	0.43	0.66	0.69
孔引き後σ	上フランジ	247	263	240	267	265	265	243
孔引き後σ	下フランジ	247	263	240	267	265	265	243
決定要因	上フランジ	A	C	B	E	B	B	B
決定要因	下フランジ	B	B	B	C	C	C	E

材質 (1): SM400 (5): SM400-H
(2): SM490 (6): SM490-H
(3): SM490Y (7): SM520-H
(4): SM570 (8): SM570-H
(9): SBHS400
(10): SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示

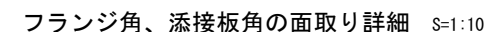
1: D1[③] (合成前死荷重)
2: D+TF+GR+SH[①] 12: TH[③] 22: TH[③]
3: D+TF+GR+SH[②] 13: TH[④] 23: TH[④]
4: D+Lmax+TF+GR+SH[②] 14: TH[⑤] 24: TH[⑤]
5: D+Lmax+TF+GR+SH[③] 15: TH[⑥] 25: TH[⑥]
6: D+Lmin+TF+GR+SH[③] 16: TH[⑦] 26: TH[⑦]
7: D+Lmin+TF+GR+SH[④] 17: TH[⑧] 27: TH[⑧]

[] : 添字 1表-3.3.1 作用の組合せ番号

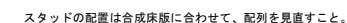
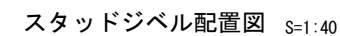
抵抗断面 鋼桁: 鋼桁のみ (合成前)
鋼+鉄筋: 鋼桁+鉄筋 (合成後)
合成: 鋼桁+コンクリート床版 (合成後)

決定要因 A: 引張応力度
B: 圧縮応力度
C: 孔引応力度
D: 最小板厚
E: フランジ板厚差

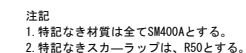
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上脚工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋	図面番号	11 / 256
縮尺	図示	設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社	事務所名	長野工務事務所



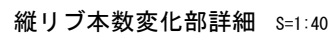
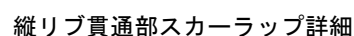
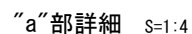
主要部材の縁端部分は原則として曲面加工を行う。



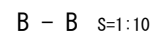
スタッドジベル詳細



吊金具取付位置図 S=1:40

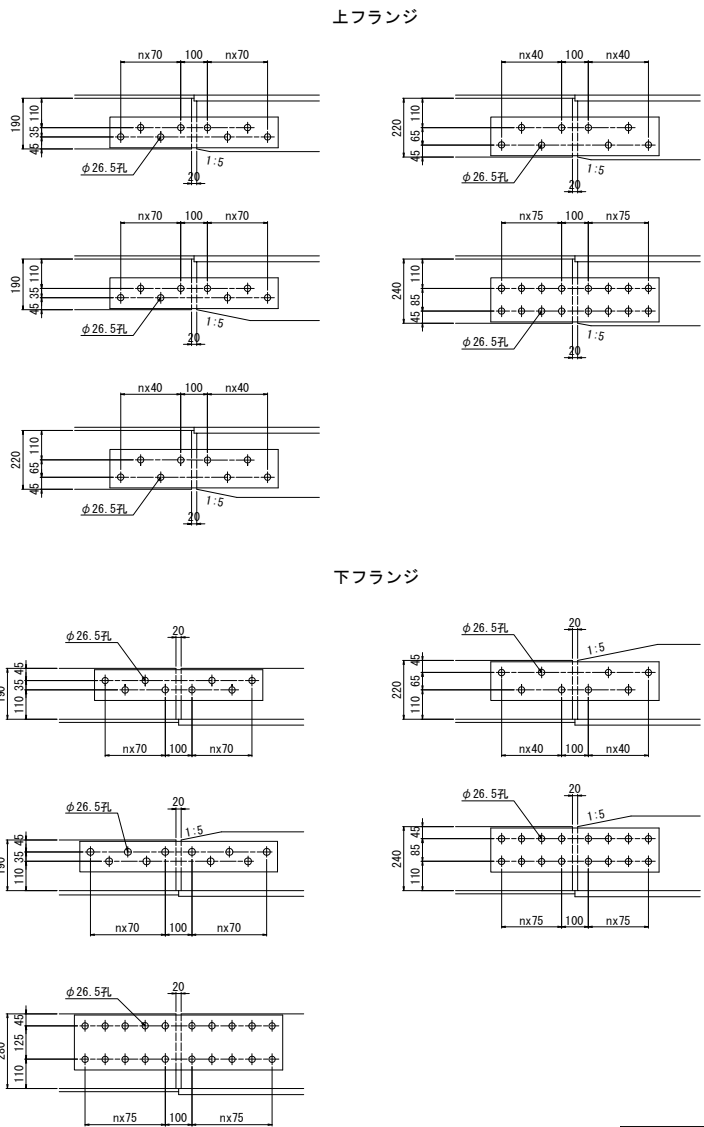
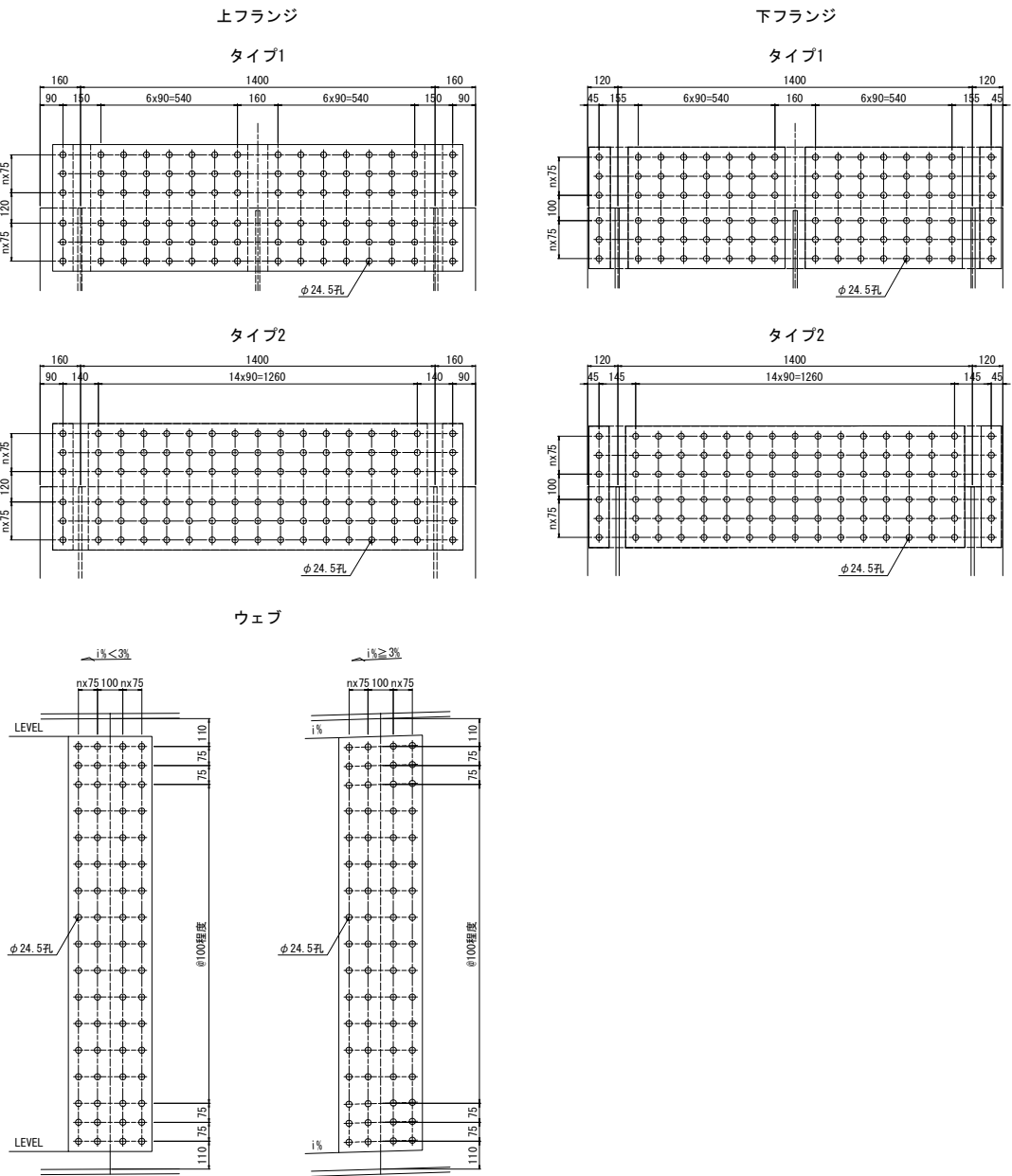


縦リブ本数変化部詳細 S=1:40



主桁部添接要領図

縦リブ添接詳細

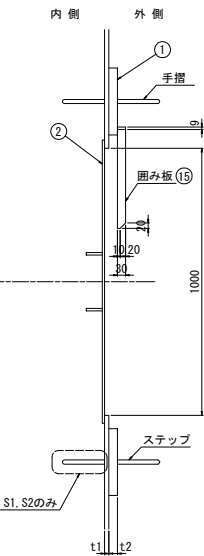
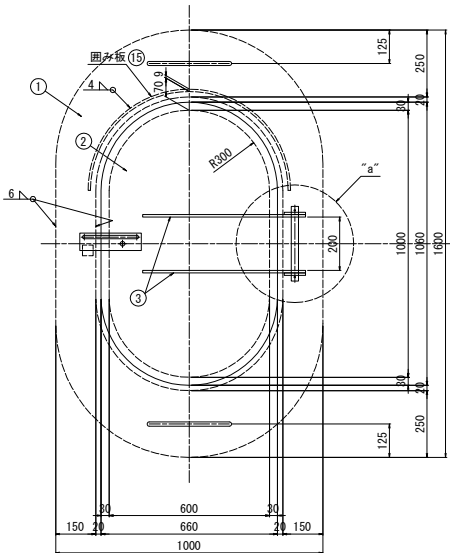


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 共通詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

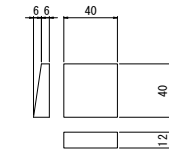
マンホール詳細

S1, P1~P3, S2

製作数:N



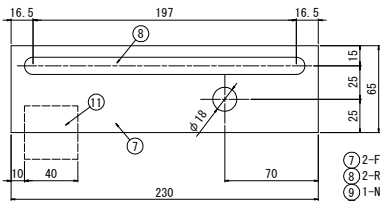
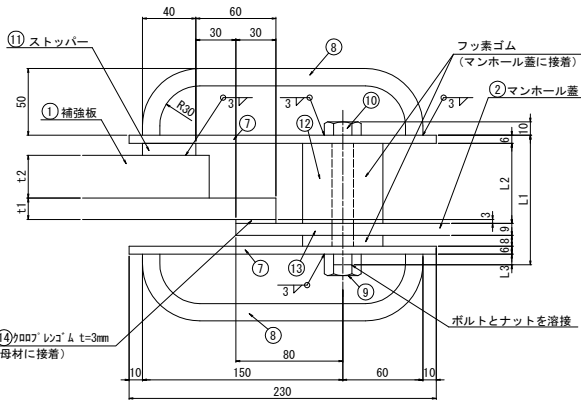
S1, S2のみ



⑪ 1-PL 40x15x40 (SUS304)
(1面テーパ加工加工代3mm)

取手部詳細

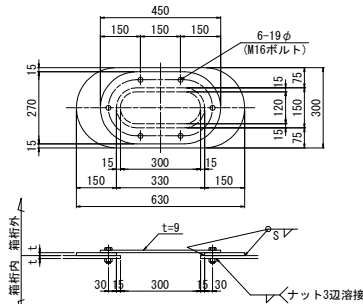
S=1:4



⑦ 2-FB 65x6x230 (SUS304)
⑧ 2-RB φ13x253 (SUS304)
⑨ 1-Nut M20 (I種) (SUS304)
⑩ 1-Bolt M16xLL1 (SUS304)
⑪ 1-Gum φ60xLL2 (フッ素ゴム) ...18φ孔明
⑫ 1-Gum φ60x8 (フッ素ゴム) ...18φ孔明
⑬ 1-Gum 660x3x1060 (フッ素ゴム) L相当品

ハンドホール詳細

製作数:n



1-PL 270x9x450 (SS400)
1-PL 300x9x630 (SM490YB)
※ 6-B, N M16xLL (1-N) (SS400)

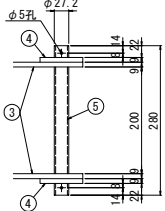
G1	n	t	LL	S
J1-J2	1	23	80	7
J2-J3	2	23	80	7
J3-J4	1	21	75	7
J5-J6	2	18	70	6
J6-J7	1	18	70	6
J8-J9	2	18	70	6
J10-J11	2	18	70	6
J11-J12	1	18	70	6
J13-J14	2	20	75	7
J14-J15	1	20	75	7
J15-J16	1	20	75	7
J17-J18	1	31	95	8
J18-J19	2	36	105	9
J19-J20	1	27	90	8
J21-J22	1	24	80	7
J22-J23	2	26	85	8
J23-J24	1	26	85	8

G2	n	t	LL	S
J1-J2	1	23	80	7
J2-J3	2	23	80	7
J3-J4	1	21	75	7
J5-J6	2	20	75	7
J6-J7	1	18	70	6
J8-J9	2	18	70	6
J10-J11	2	18	70	6
J11-J12	1	18	70	6
J13-J14	2	21	75	7
J14-J15	1	21	75	7
J15-J16	1	21	75	7
J17-J18	1	35	105	9
J18-J19	2	40	115	9
J19-J20	1	32	100	8
J21-J22	1	25	85	8
J22-J23	2	27	90	8
J23-J24	1	27	90	8

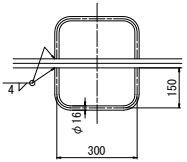
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ※印部材は、溶融亜鉛めっき処理とする。
亜鉛の膜厚は、
鋼板・形鋼
1 ≤ t < 2 JIS H 8641 HDZT49
2 ≤ t < 3 JIS H 8641 HDZT56
3 ≤ t < 5 JIS H 8641 HDZT63
5 ≤ t < 6 JIS H 8641 HDZT77
6 ≤ t JIS H 8641 HDZT77
ボルト・ナット類は、 JIS H 8641 HDZT49とする。

"a"部詳細

S=1:10

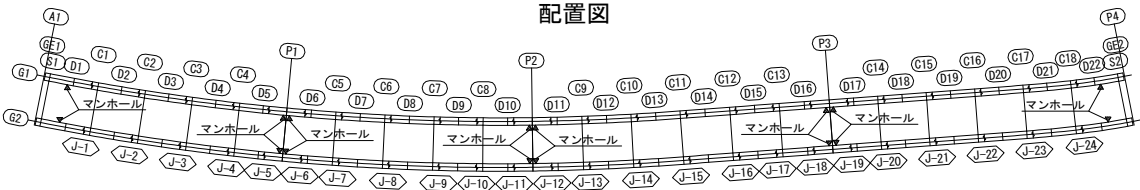


手摺・ステップ詳細

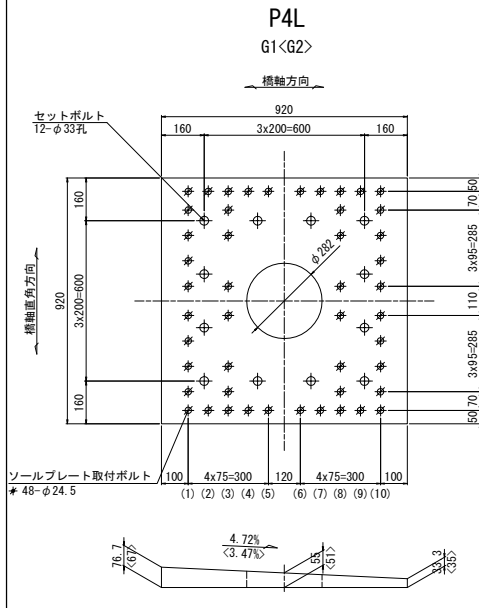
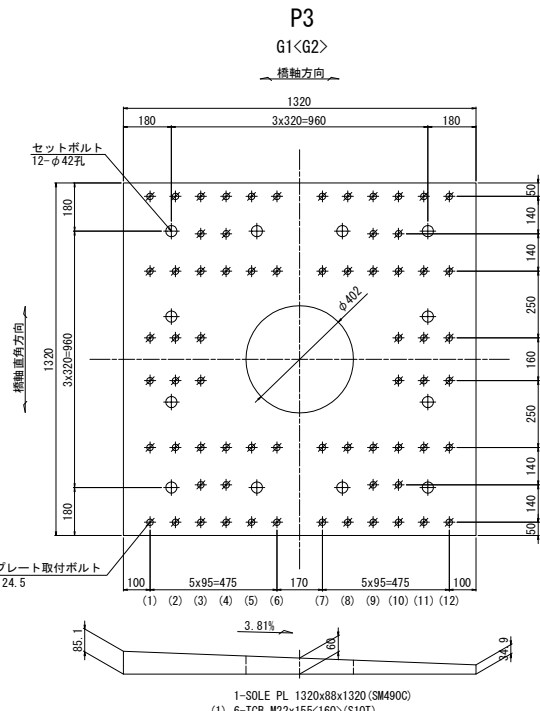
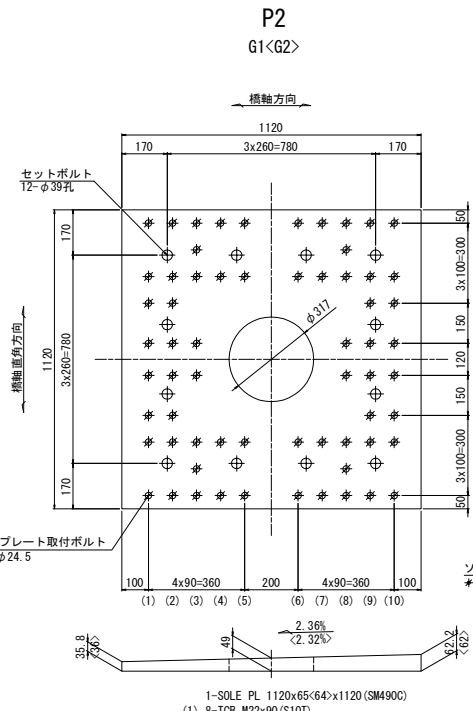
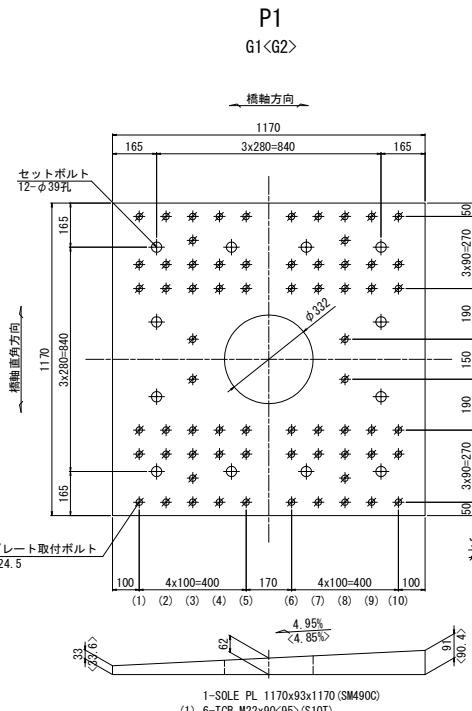
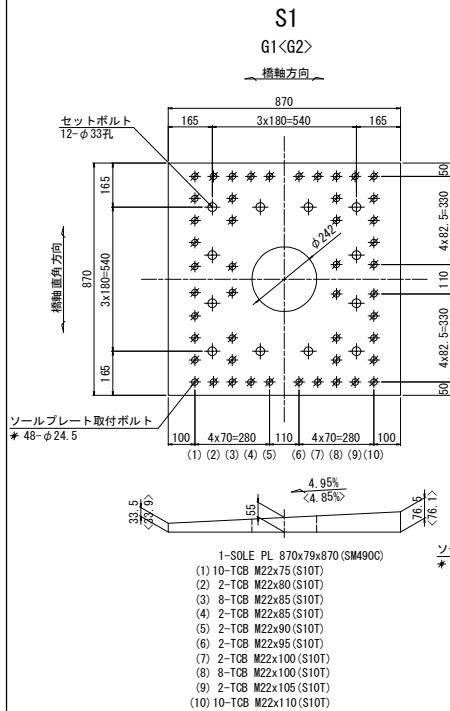


1-RB φ16x600 (SS400)

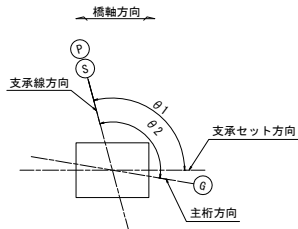
配置図



長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上加工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 共通詳細図(その3)
縮尺	図示 図面番号 14 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

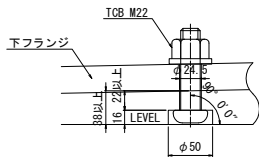


支承セット角度



	θ1	θ2
S1	G1 90° 00' 00"	G2 89° 50' 32"
	G2 90° 00' 00"	G1 89° 50' 43"
P1	G1 90° 00' 00"	G2 90° 00' 00"
	G2 90° 00' 00"	G1 90° 00' 00"
P2	G1 90° 00' 00"	G2 90° 00' 00"
	G2 90° 00' 00"	G1 90° 00' 00"
P3	G1 90° 00' 00"	G2 90° 00' 00"
	G2 90° 00' 00"	G1 90° 00' 00"
S2	G1 90° 00' 00"	G2 90° 41' 12"
	G2 90° 00' 00"	G1 90° 38' 01"

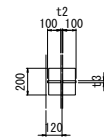
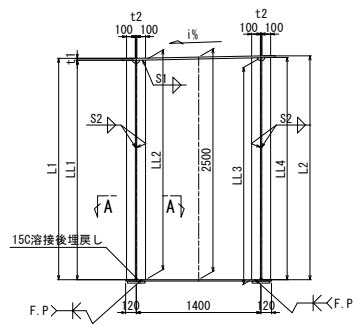
ソールプレート止めボルト詳細 S=1:6



ジャッキアップ補剛材詳細

S=1:60

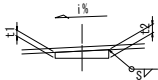
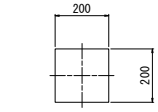
A - A S=1:40



制作数:n
1-PL 100x13xLL1(材質)
1-PL 100x13xLL2(材質)
1-PL 100x13xLL3(材質)
1-PL 100x13xLL4(材質)

		i	L1	L2	t1	t2	t3	LL1	LL2	LL3	LL4	材質	S1	S2	n
G1	S1	1.99	2486.1	2513.9	21	14	16	2465	2467	2493	2495	SM490YA	7	6	1
	P1	2.00	2486.0	2514.0	18	16	20	2468	2470	2496	2498	SM490YB	6	7	2
	P2	2.00	2486.0	2514.0	18	16	20	2468	2470	2496	2498	SM490YB	6	7	2
	P3	2.00	2486.0	2514.0	36	18	25	2450	2452	2478	2480	SM490YB	9	8	2
	S2	4.49	2468.6	2531.4	22	16	19	2447	2451	2509	2514	SM490YB	7	7	1
G2	S1	1.99	2486.1	2513.9	21	14	16	2465	2467	2493	2495	SM490YA	7	6	1
	P1	2.00	2486.0	2514.0	20	16	20	2466	2468	2494	2496	SM490YB	7	7	2
	P2	2.00	2486.0	2514.0	18	16	20	2468	2470	2496	2498	SM490YB	6	7	2
	P3	2.00	2486.0	2514.0	40	18	25	2446	2448	2474	2476	SM490YB	9	8	2
	S2	4.52	2468.4	2531.6	23	16	19	2445	2450	2509	2513	SM490YB	7	7	1

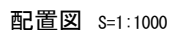
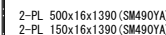
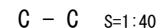
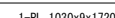
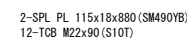
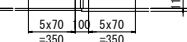
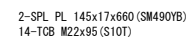
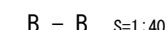
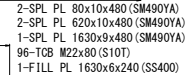
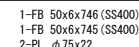
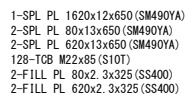
ジャッキアップベースプレート詳細図



制作数:n
2-BASE PL 200x200(材質)

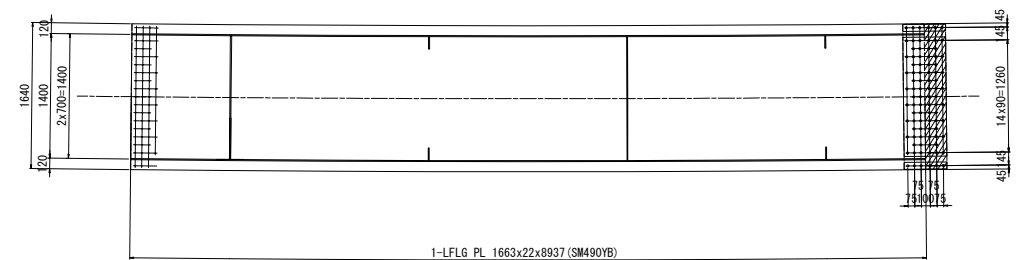
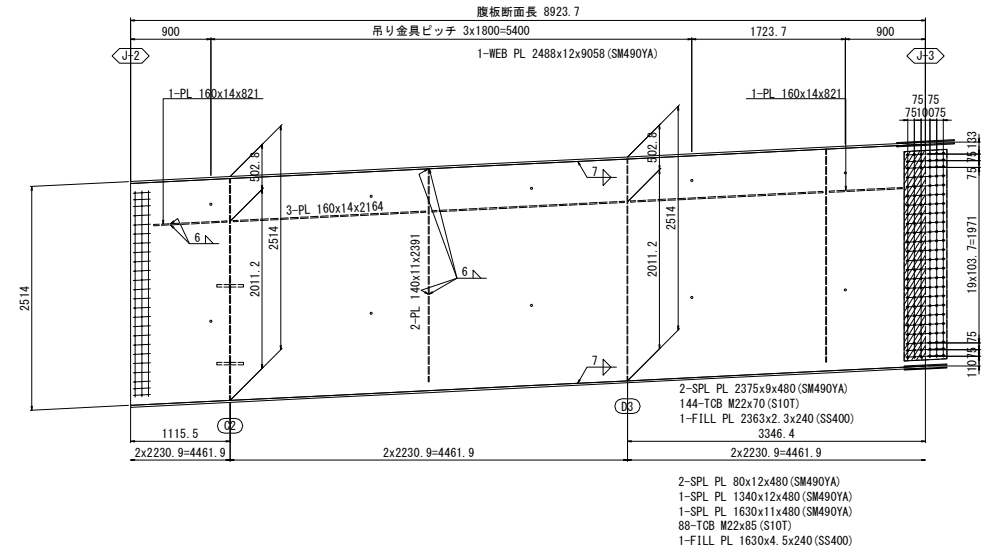
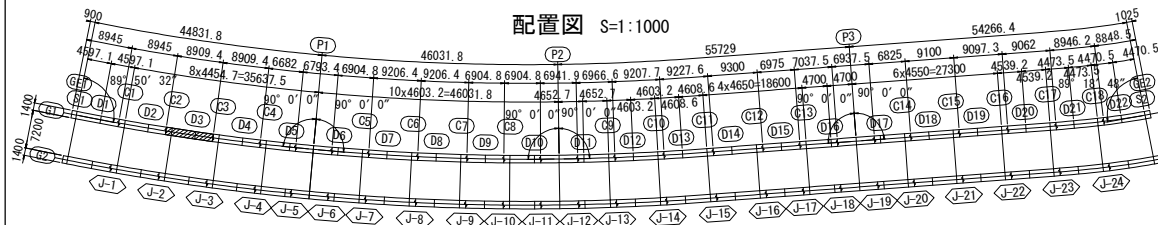
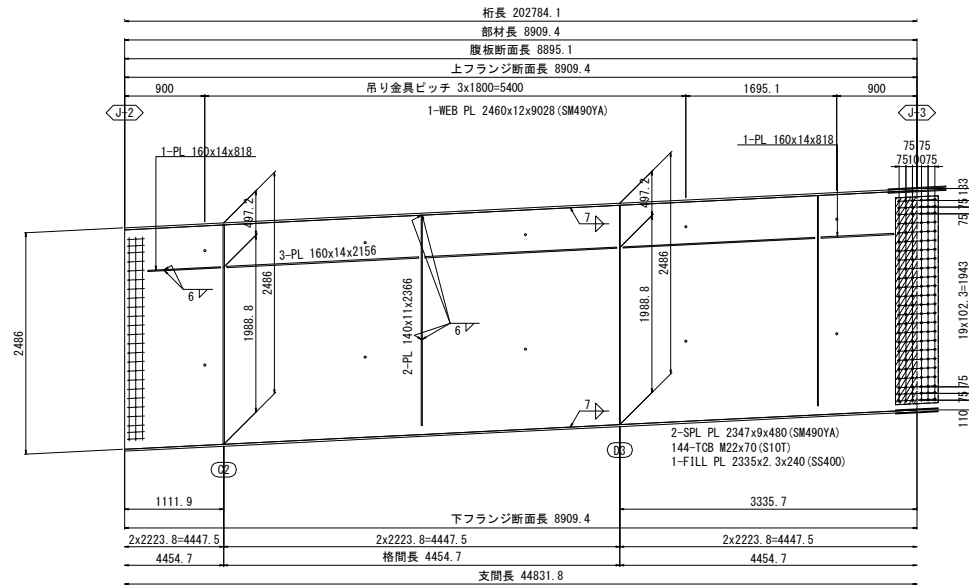
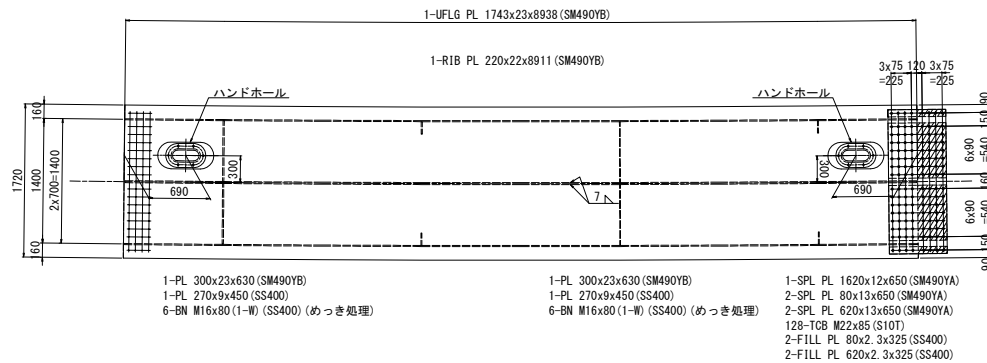
		i	t1	t2	t	材質	S	n
G1	S1	4.95	22.0	31.9	34	SM400B	8	1
	P1	4.95	22.0	31.9	34	SM400B	8	2
	P2	2.35	22.0	26.7	29	SM400A	8	2
	P3	-3.80	29.6	22.0	32	SM400A	11	2
	S2	-4.70	31.4	22.0	34	SM400B	8	1
G2	S1	4.85	22.0	31.7	34	SM400B	8	1
	P1	4.85	22.0	31.7	34	SM400B	9	2
	P2	2.30	22.0	26.6	29	SM400A	8	2
	P3	-3.80	29.6	22.0	32	SM400A	11	2
	S2	-3.45	28.9	22.0	31	SM400A	8	1

注記
1. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
2. 「F.P」表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。



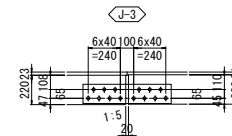
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーリングは全て50Rとする。
- ※印はトシヤ形高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
- 各部詳細は「共済鋼橋」を参照のこと。
- ※部詳細図は「安曇野北インターチェンジランプ橋 AI-P4 主桁G1(その2)」を参照のこと。
- [F, P] 表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社		



縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ

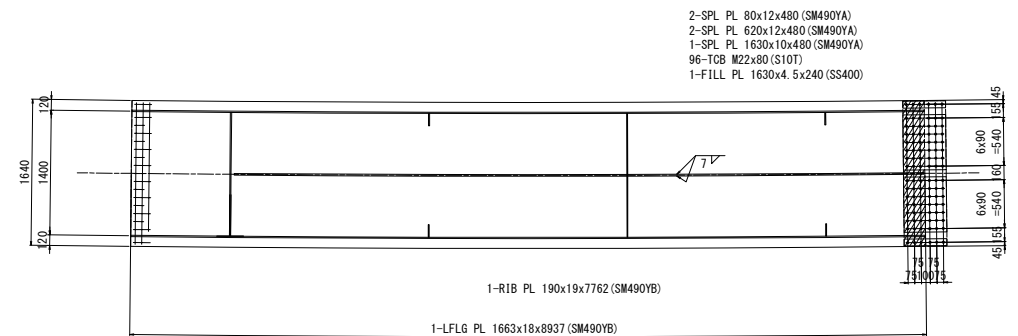
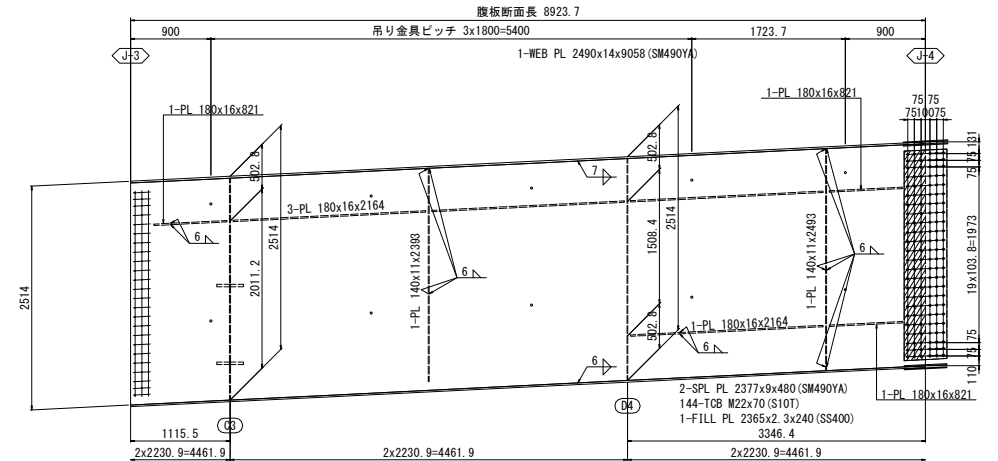
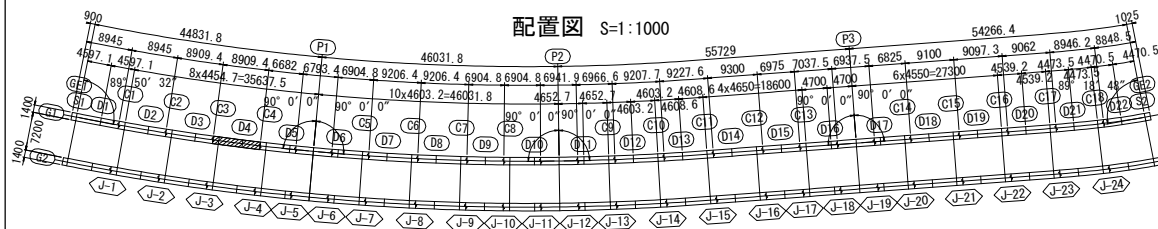
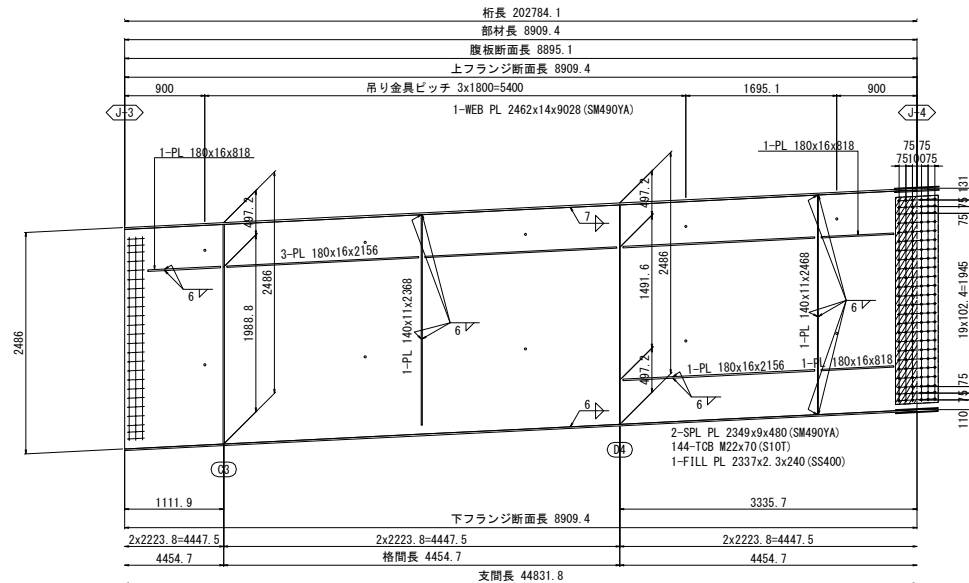
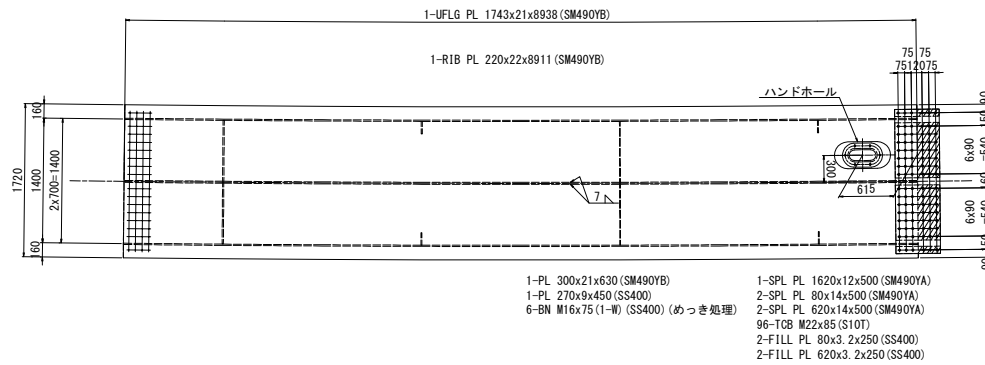


2-SPL PL 145x17x660 (SM490YB)
14-TCB M22x95 (S10T)

注記

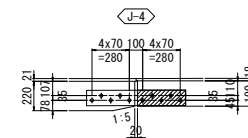
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



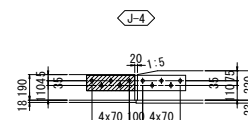
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3. 2x360 (SS400)

下フランジ

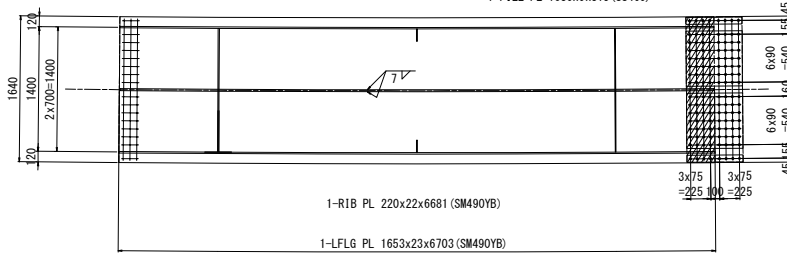
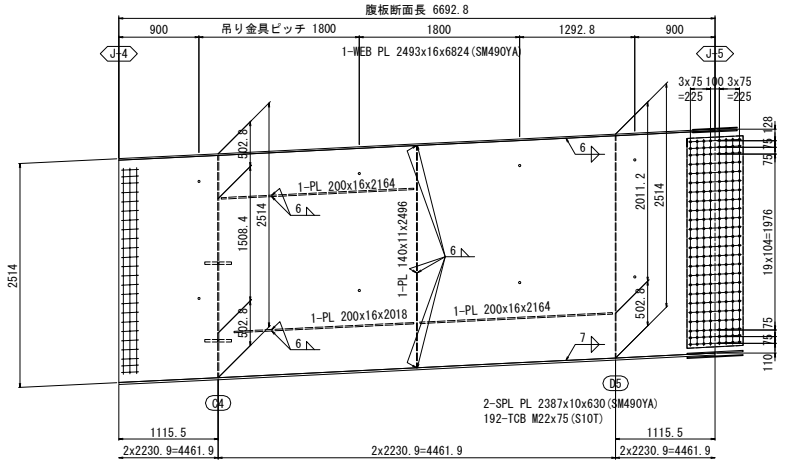
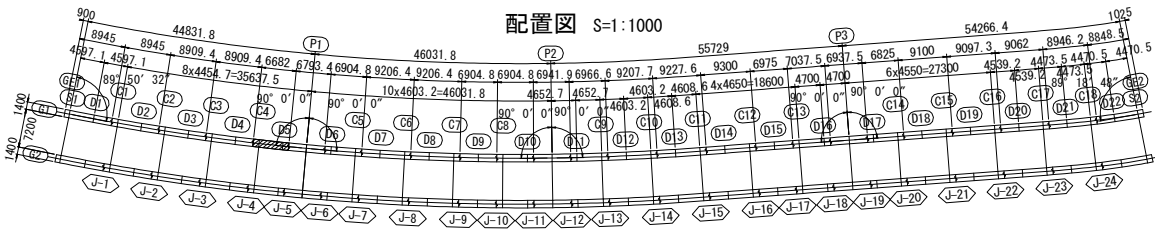
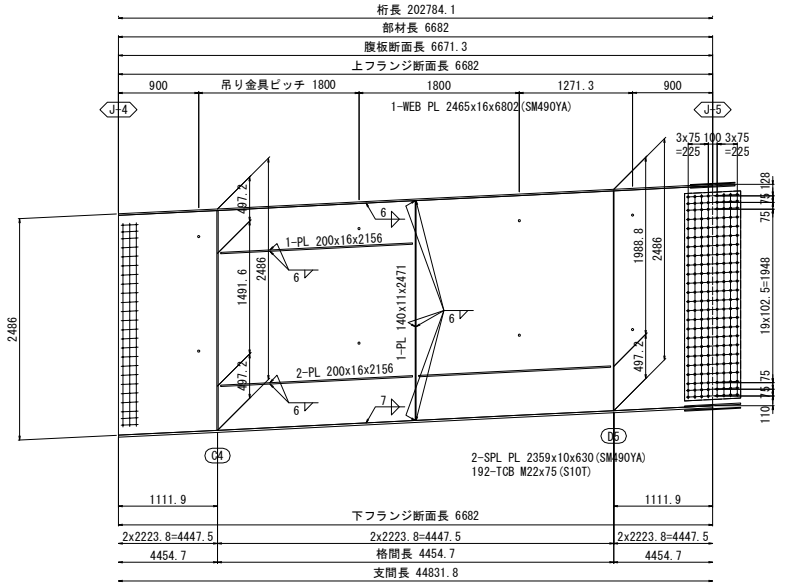
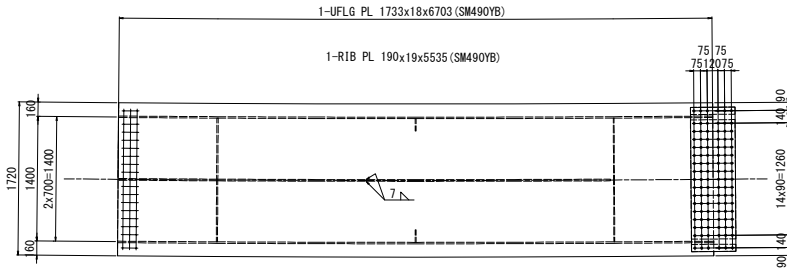


2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3. 2x360 (SS400)

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その4)
縮 尺	図 示 図面番号 20 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所

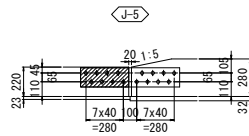
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦りブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。



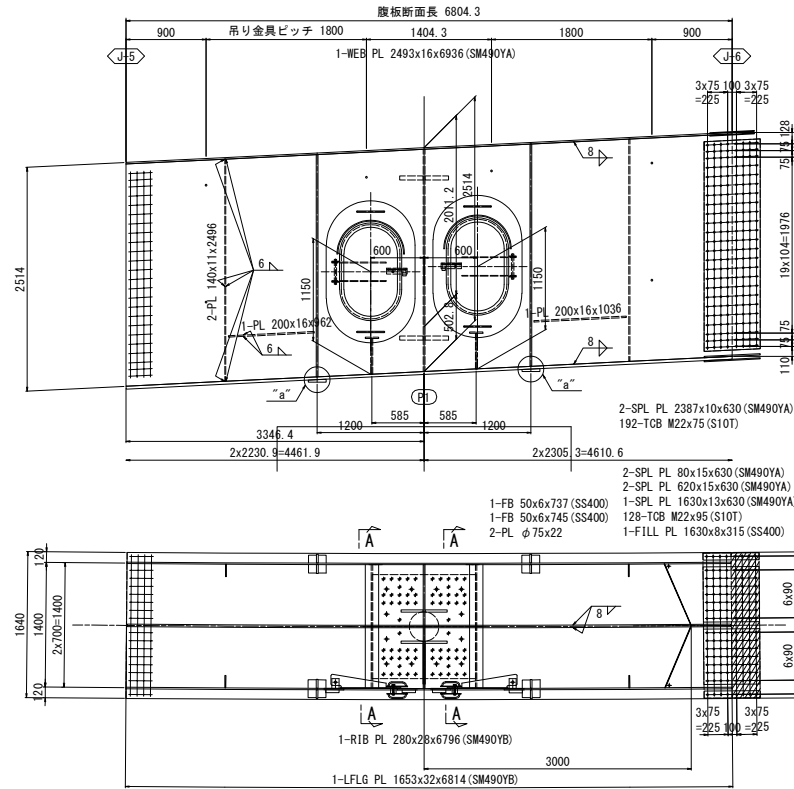
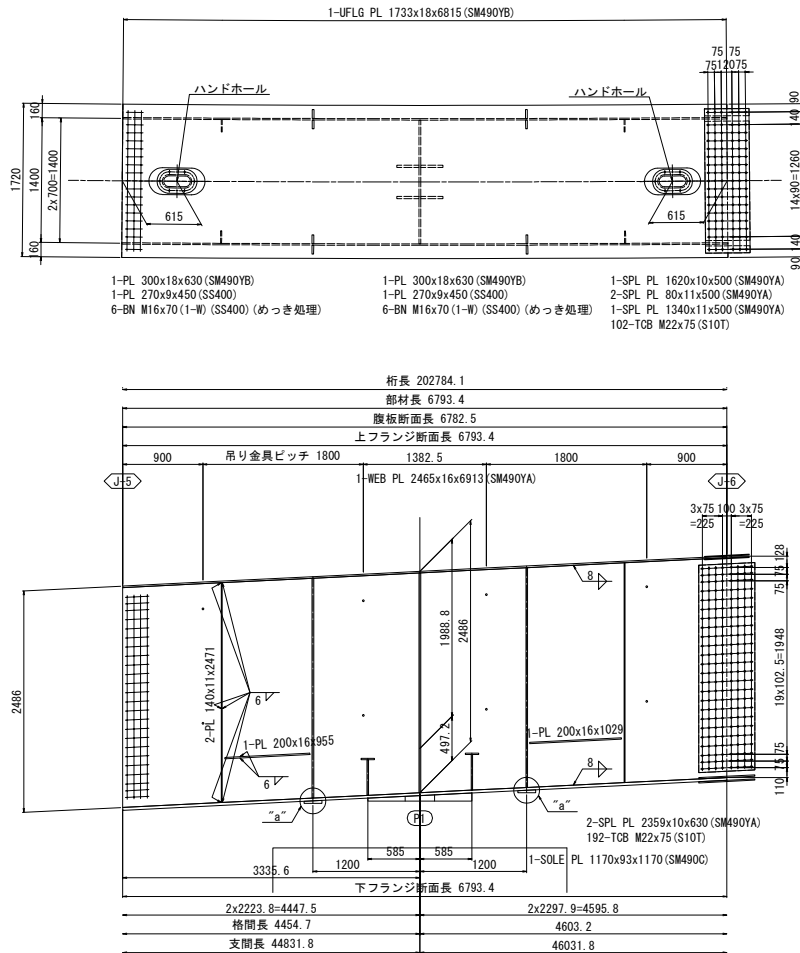
縦リブ添接詳細 S=1:40

下フランジ



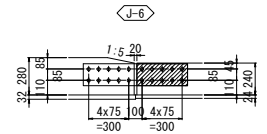
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		



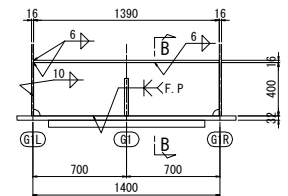
縦リブ添接詳細 S=1:40

下フランジ

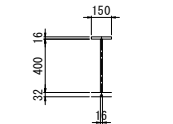


2-SPL PL 165x19x780 (SM490YB)
20-TCB M22x105 (S10T)
1-FILL PL 165x4.5x380 (SS400)

A - A S=1:40



B - B S=1:40

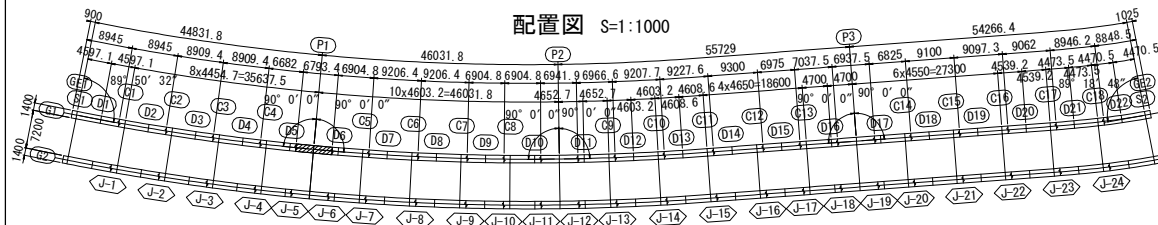


2-PL 400x16x1390 (SM490YA)
2-PL 150x16x1390 (SM490YA)

“a”部詳細図 S=1:20

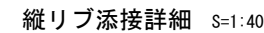
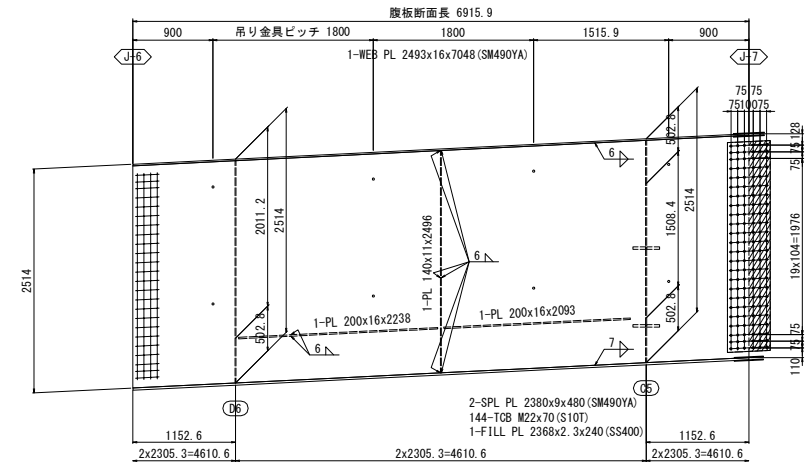
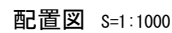
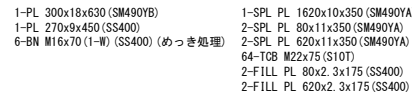


注: 印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
 $R=1650\text{K}$ Nとする。
 工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置
 及び反力について確認しやすい位置に表示する事。



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦り孔の孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F、P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

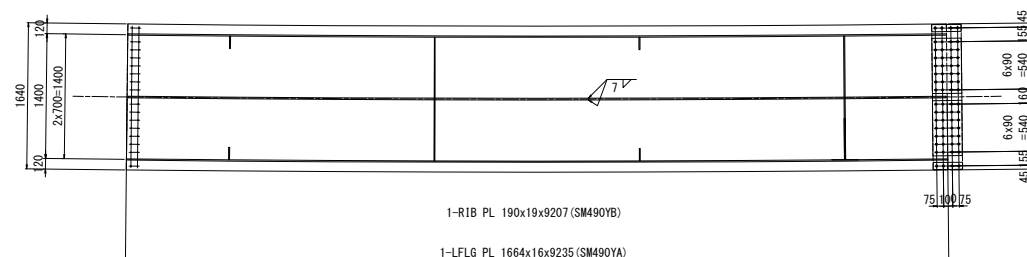
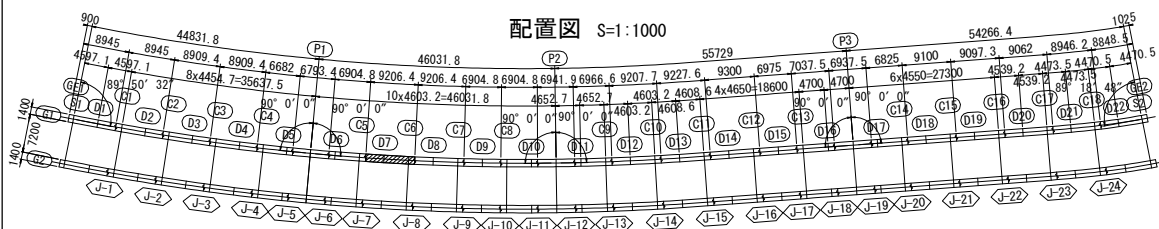


2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x4.5x360 (SS400)

注記

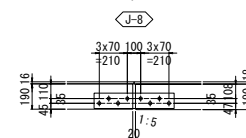
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その7）		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



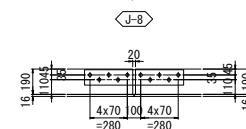
S=1:40

上フランジ



2-SPL PL 115x16x600 (SM490YA)
8-TCB M22x90 (S10T)

下フランジ

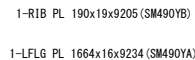
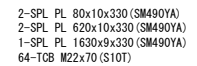
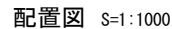
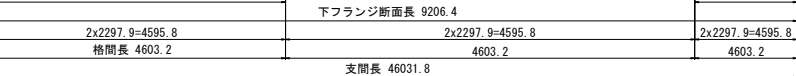
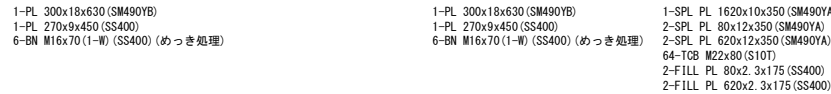


2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

注記

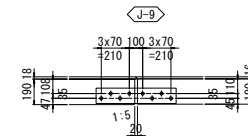
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



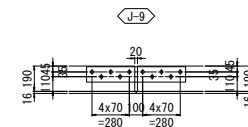
S=1:40

上フランジ



2-SPL PL 115x16x600 (SM490YA)
8-TCB M22x90 (S10T)

下フランジ

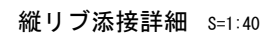
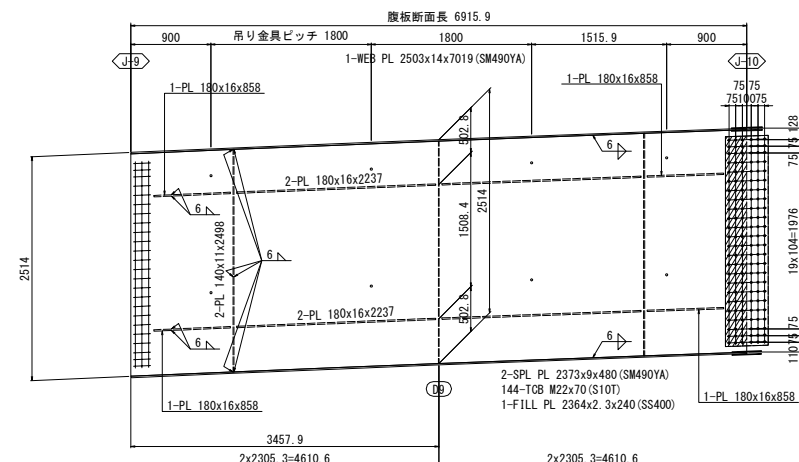
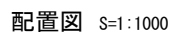
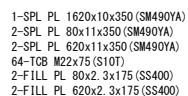


2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

美

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦りブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その9）		
縮 尺	図 示	図面番号	25 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

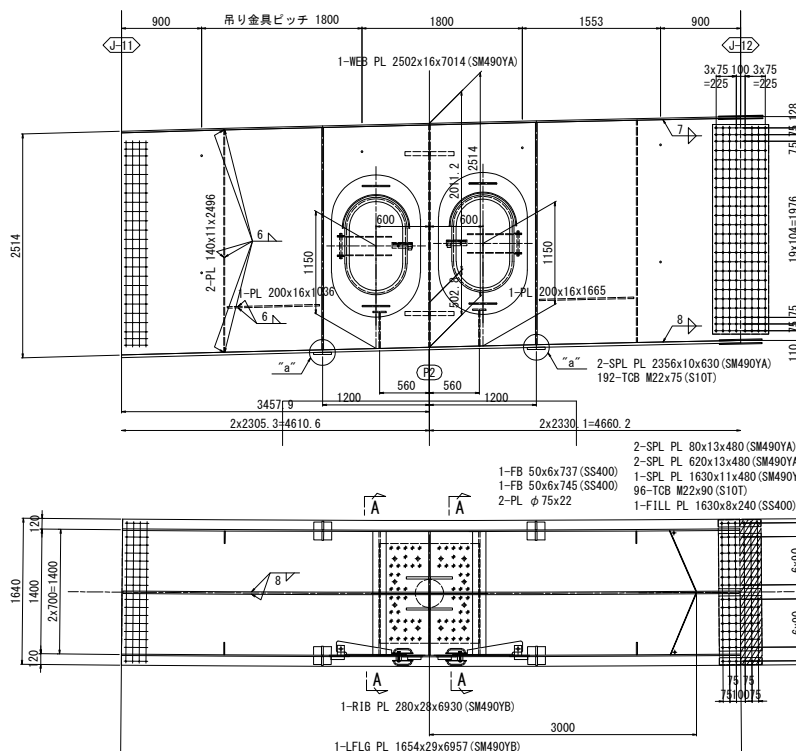
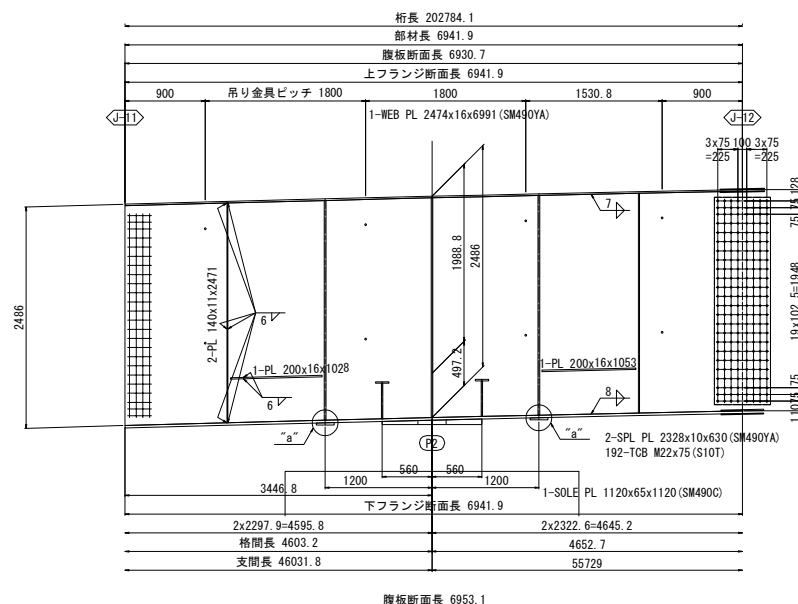
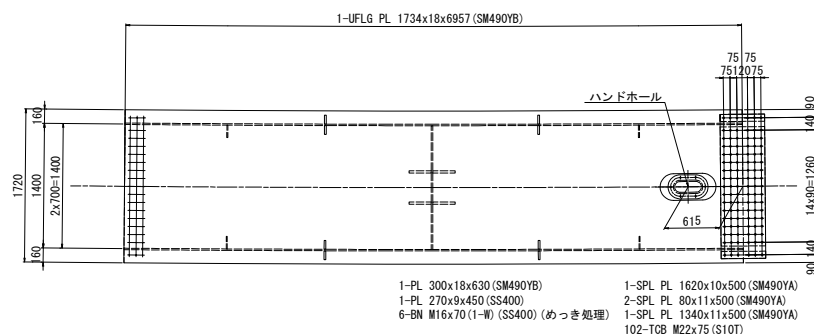


Technical drawing of a cross-section of a reinforced concrete slab (J-10). The drawing shows a central section with a width of 100 units. On either side of the center, there are two reinforcement bars, each with a diameter of 7 units (4x70). The distance between the center of these bars is 280 units. The total width of the slab is 190.16 units. The height of the slab is 45.110 units. The drawing also shows a scale of 1:5 and a section line J-10.

2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3, 2x360 (SS400)

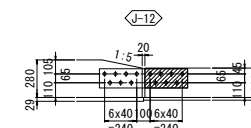
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦りボの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その10）		
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野土木事務所		



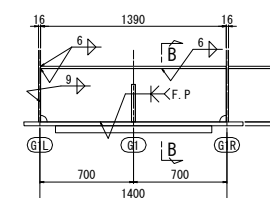
縦リブ添接詳細 S=1:40

下フランジ

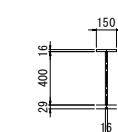


2-SPL PL 145x17x660 (SM490YB)
14-TCB M22x100 (S10T)
1-FILL PL 145x6x320 (SS400)

A - A S=1:40



B - B S=1:40

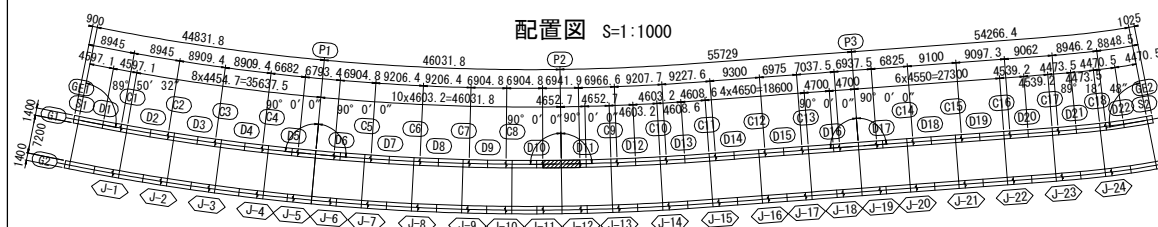


2-PL 400x16x1390 (SM490YA)
2-PL 150x16x1390 (SM490YA)

"a"部詳細図 S=1:10



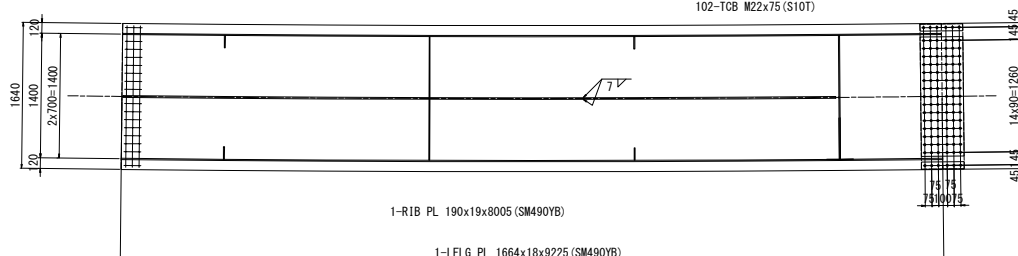
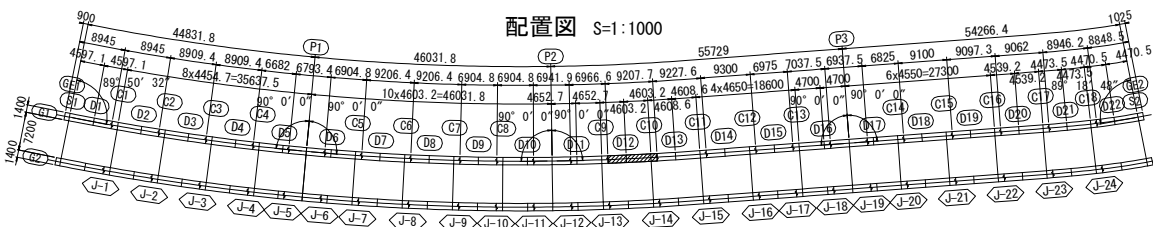
注：印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
R=1550KNとする。
工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置
及び反力について確認しやすい位置に表示する事。



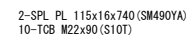
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ♣印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

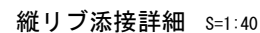
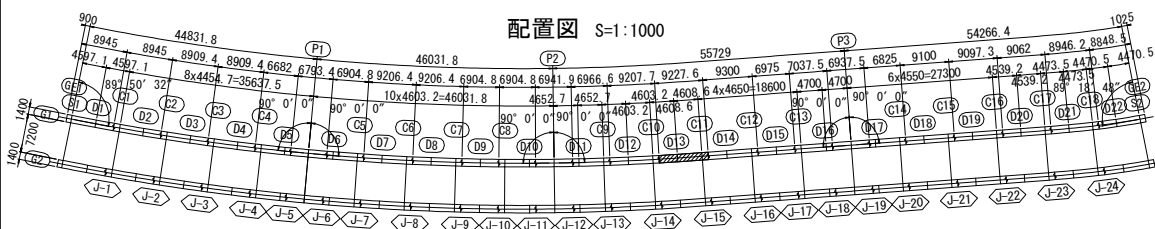
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その12)		
縮 尺	図 示	図書番号	28 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



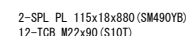
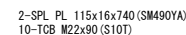
上フランジ



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

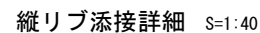
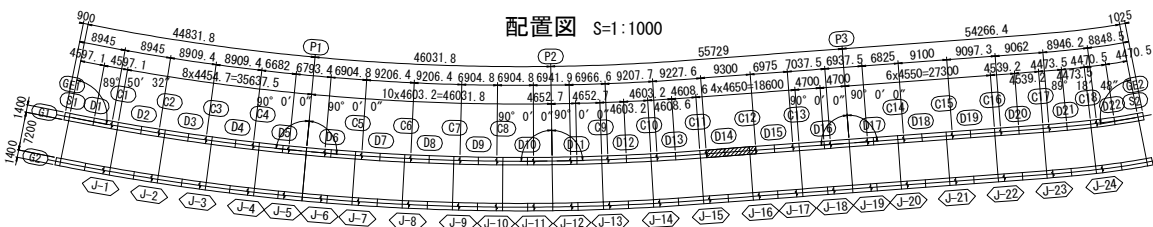


J-15

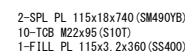
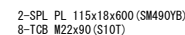


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その15）		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

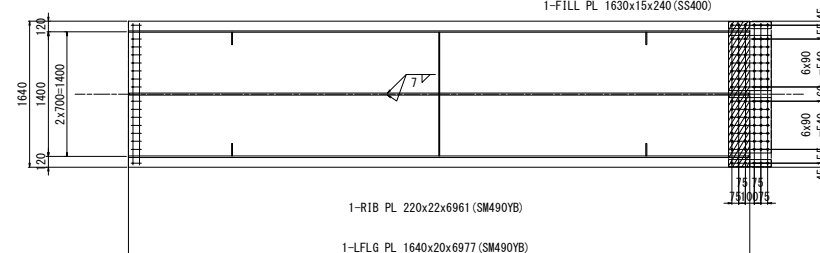
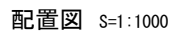
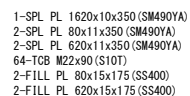


J-16



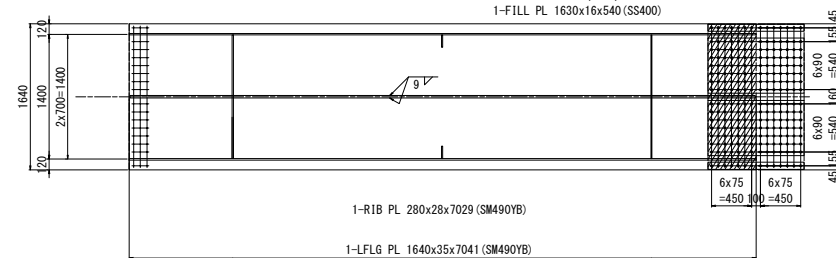
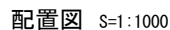
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その16）		
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野土木事務所		

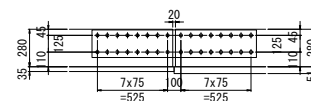


- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
- 縦リブの孔径はφ26.5とする。
- 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1（その17）		
縮 尺	図 示	図面番号	33 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野土木事務所		



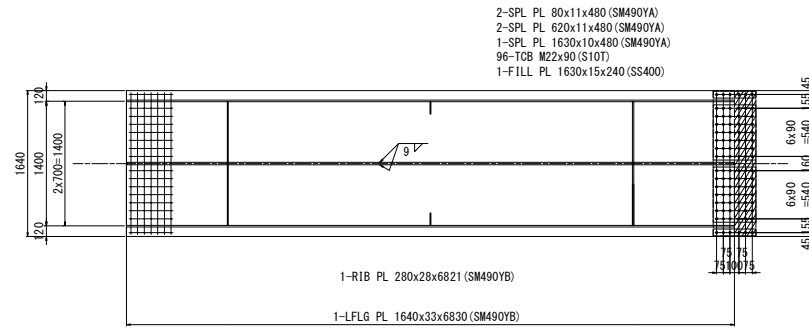
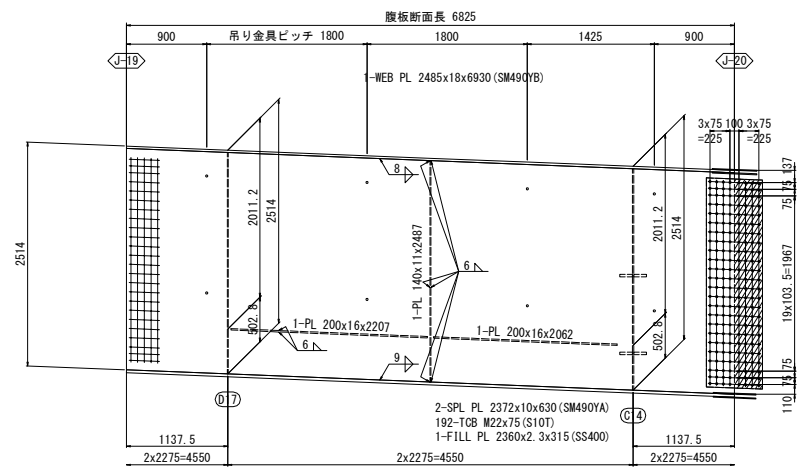
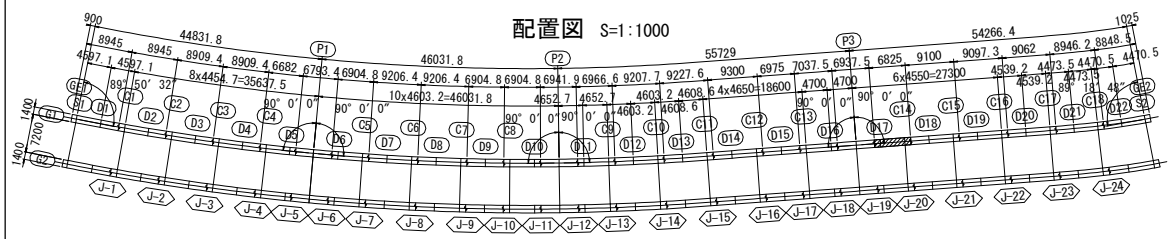
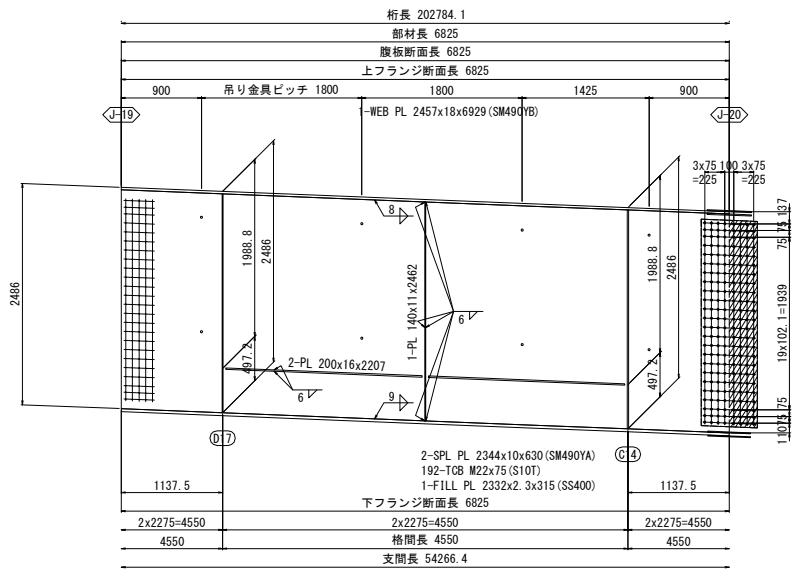
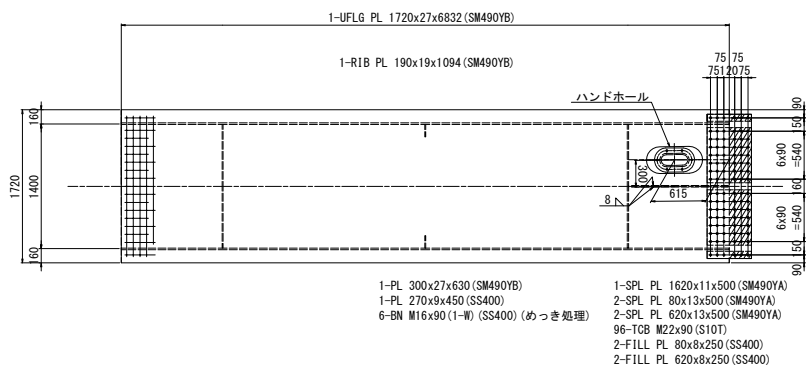
J-18



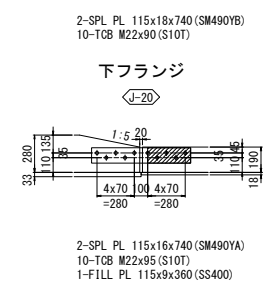
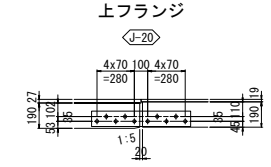
2-SPL PL 205x20x1230 (SM490YB)
32-TCB M22x105 (S10T)

5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上土工) 工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その18)
縮 尺	図 示 図面番号 34 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

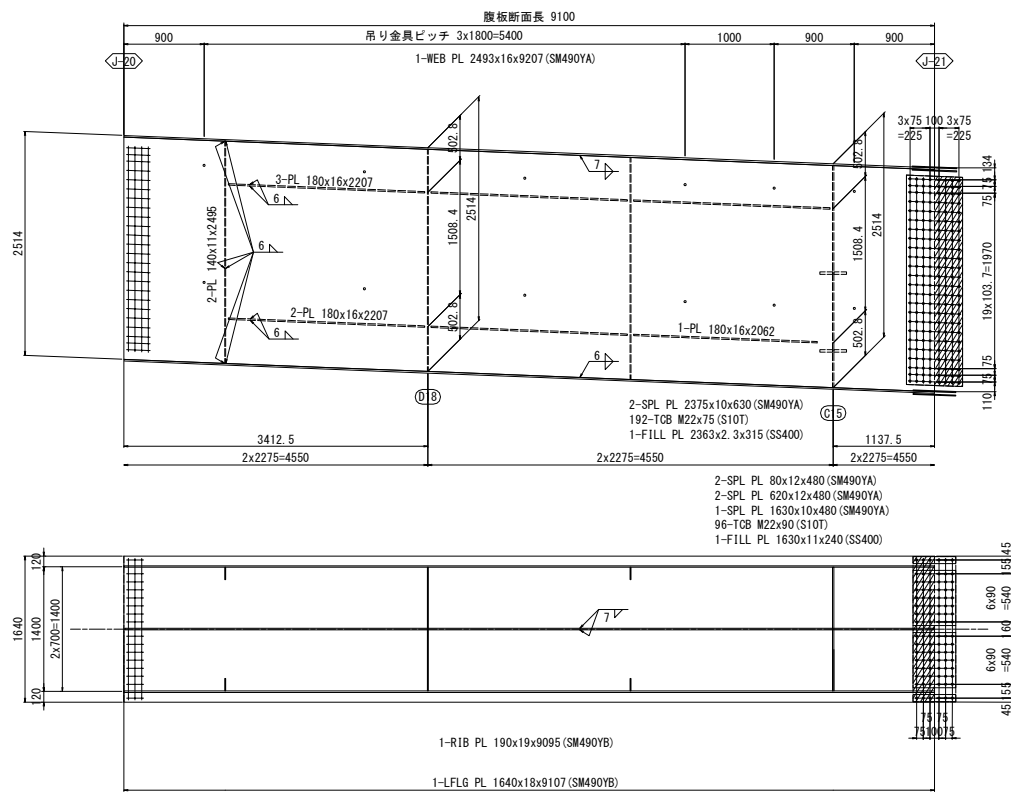
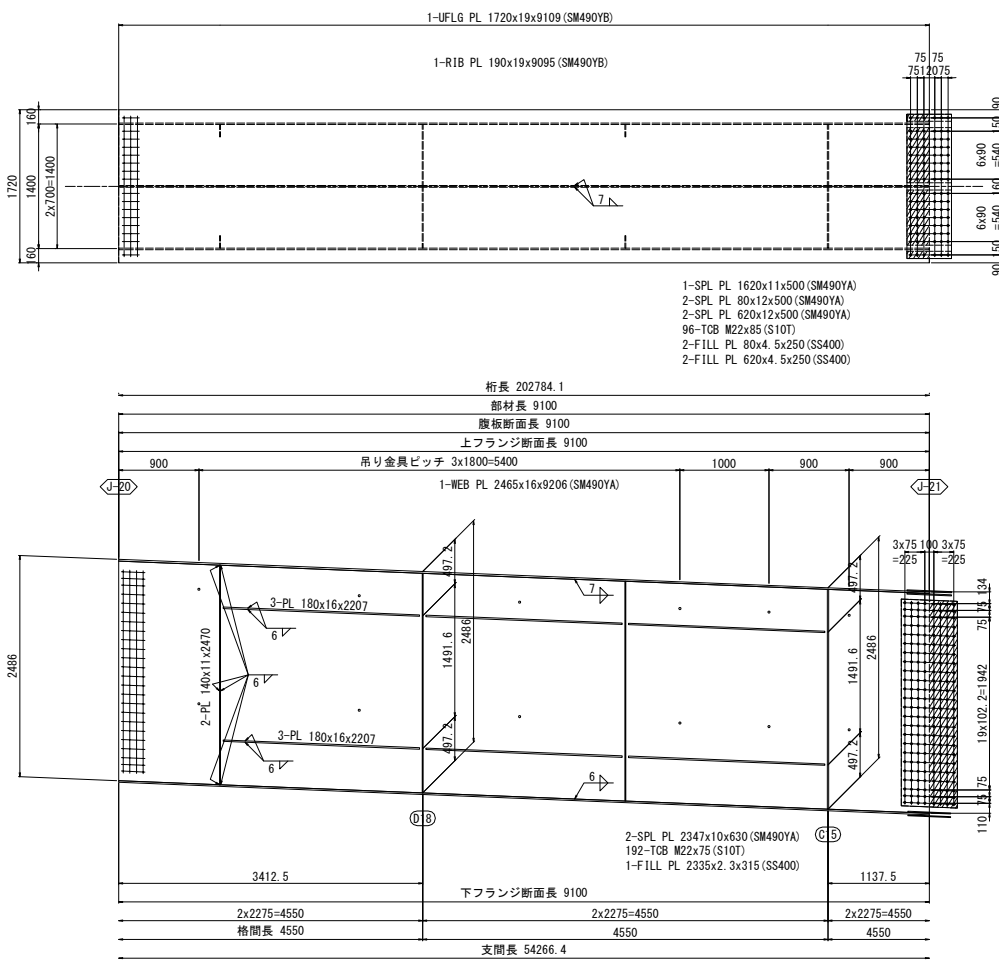


縦リブ添接詳細 S=1:40

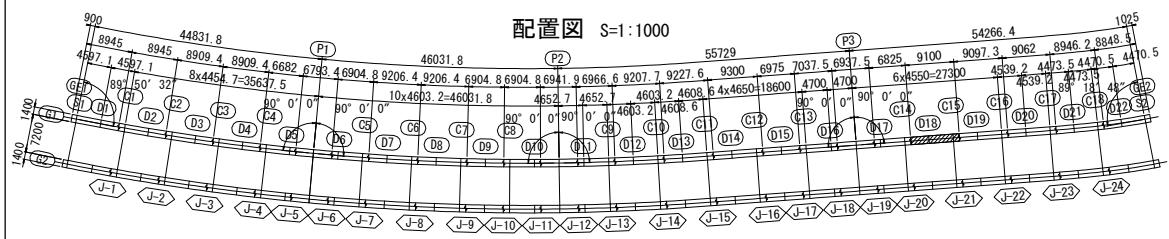
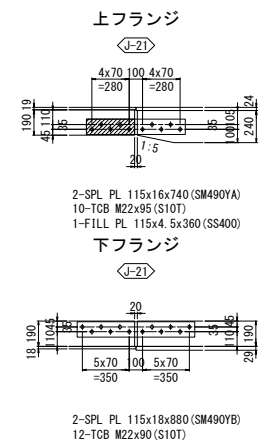


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その20)		
縮尺	図示	図面番号	36 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

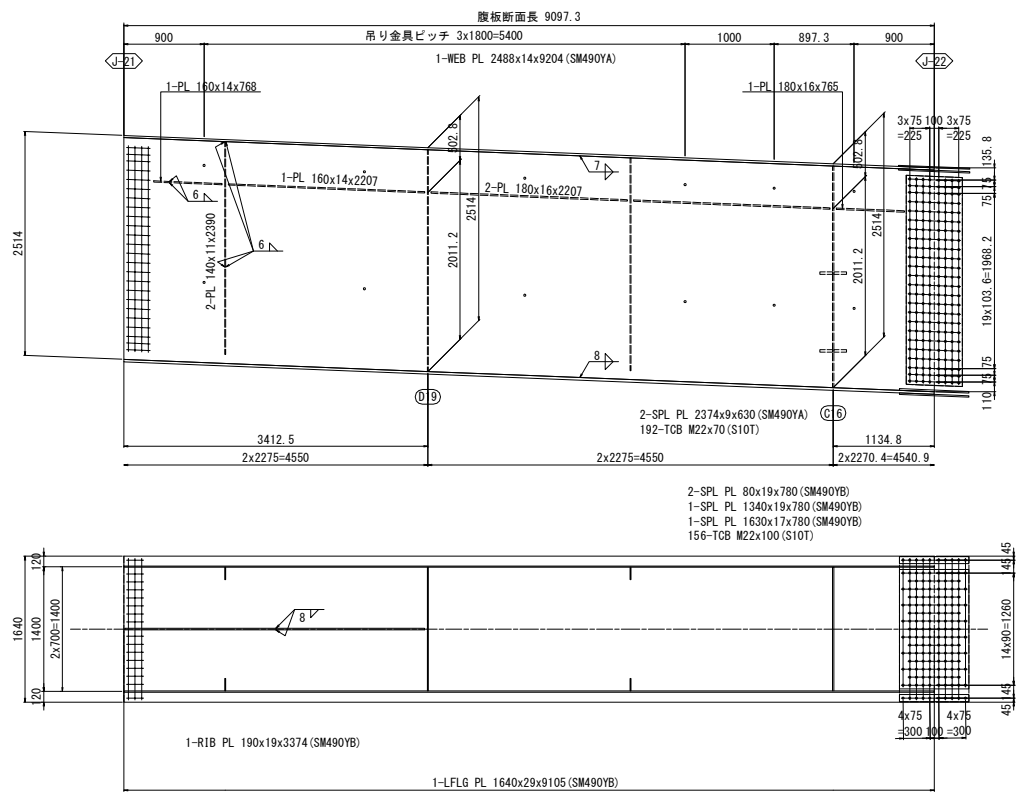
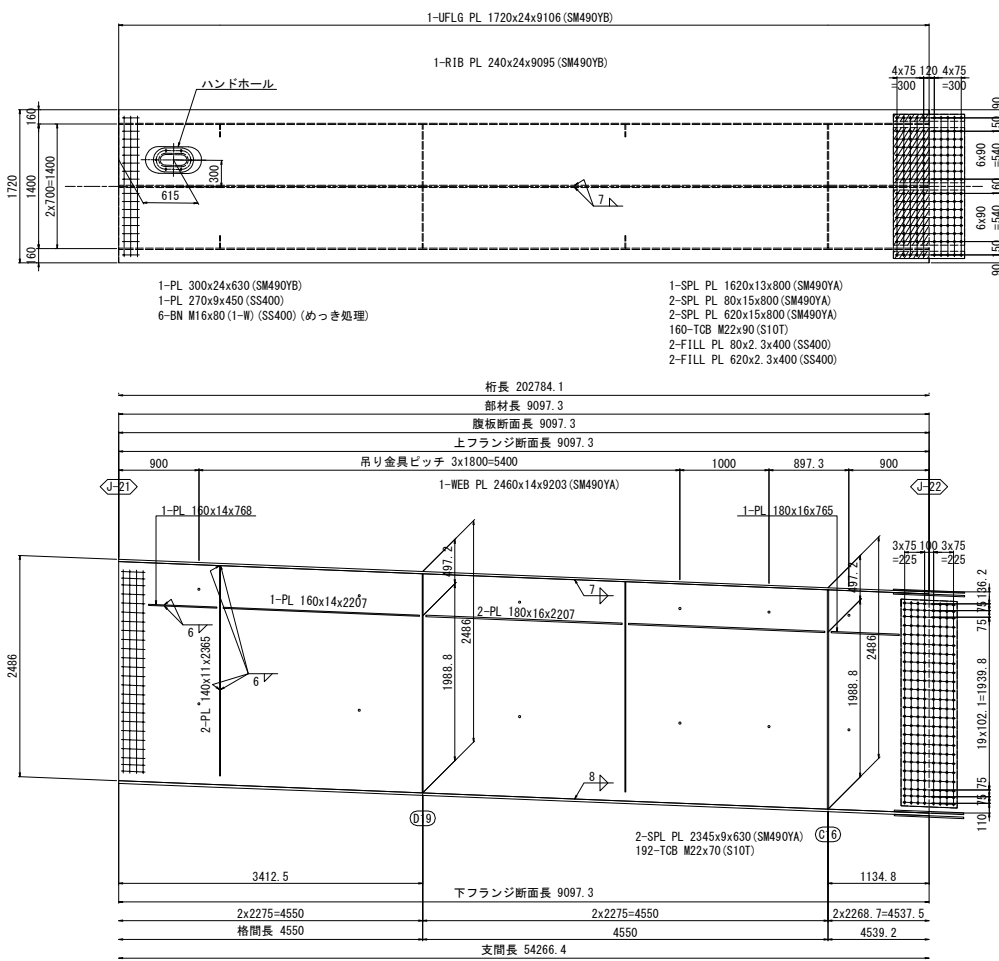


縦リブ添接詳細 S=1:40

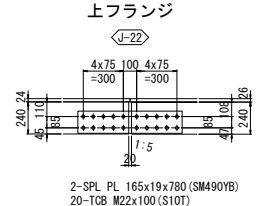


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

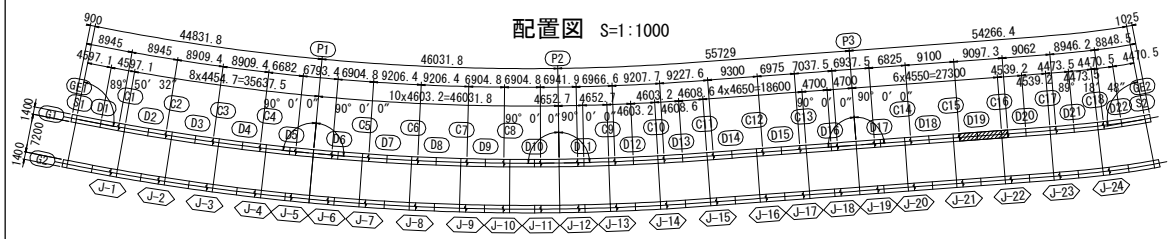
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その21)		
縮尺	図示	図面番号	37 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



縦リブ添接詳細 S=1:40

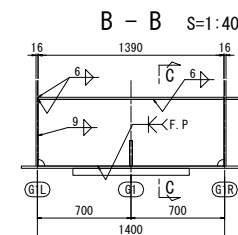
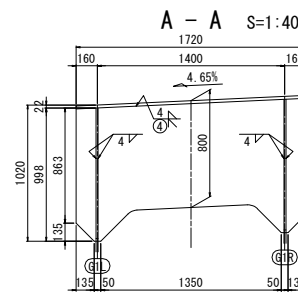
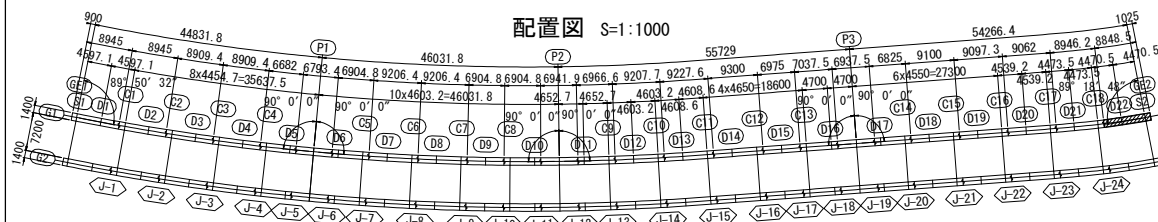
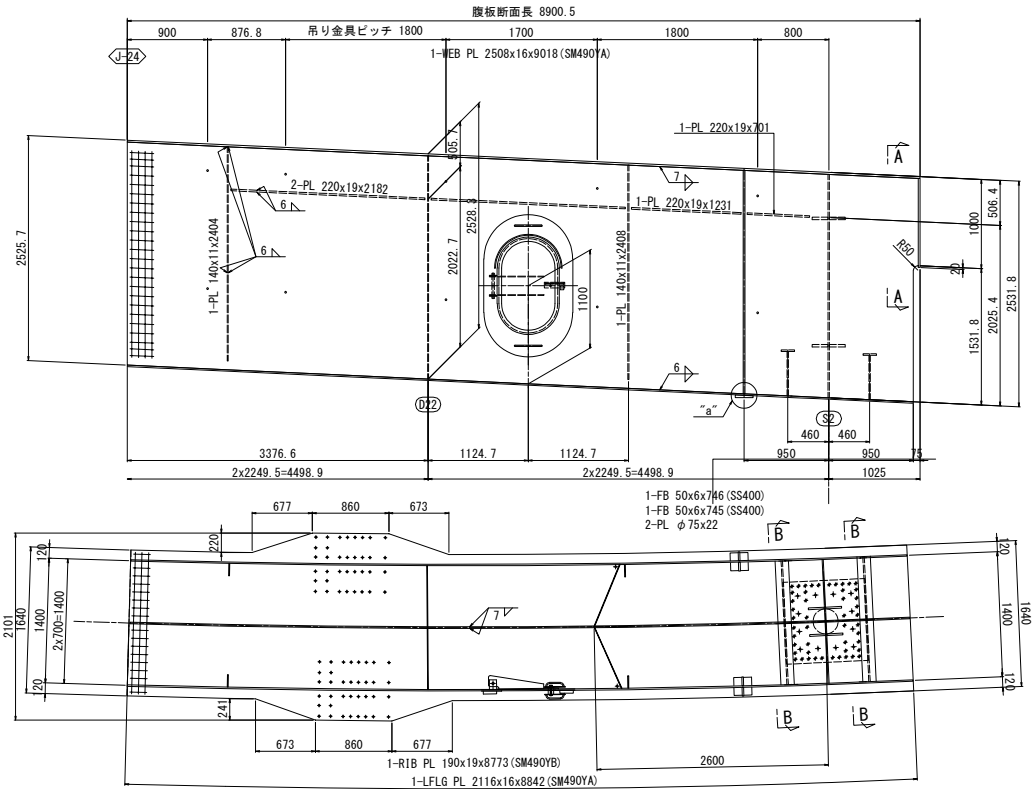
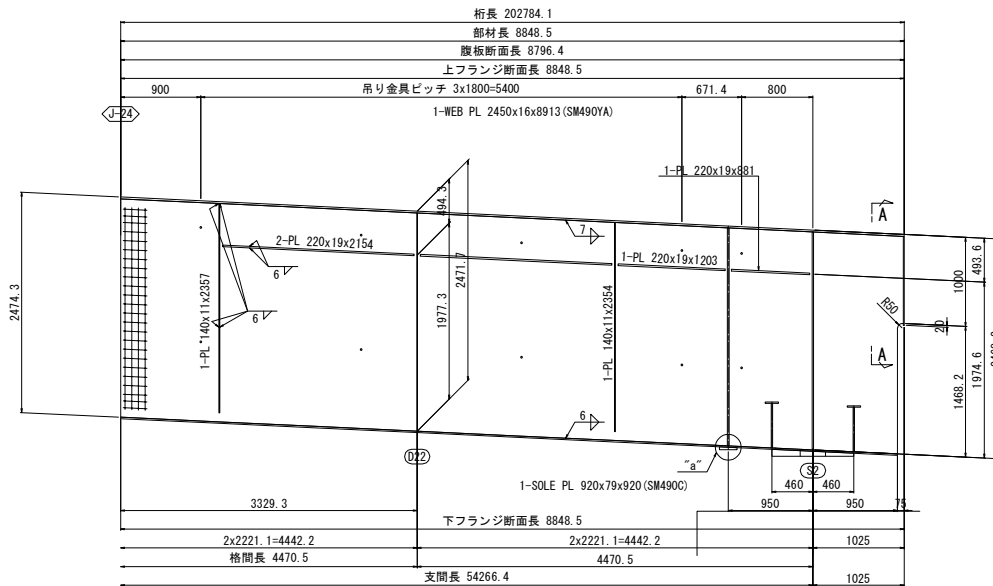
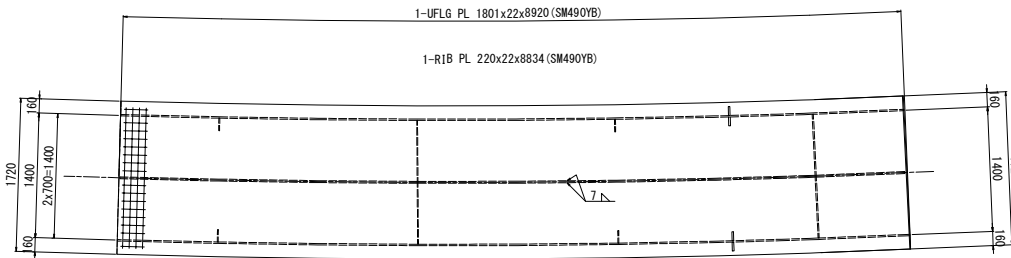


配置図 S=1:1000

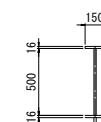


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その22)		
縮尺	図示	図面番号	38 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



C - C S=1:40



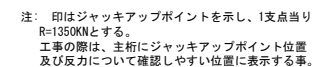
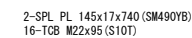
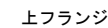
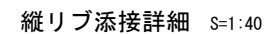
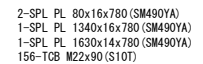
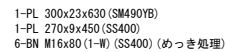
"a"部詳細図 S=1:10



注: 印はジャックアップポイントを示し、1支当たり R=1550KNとする。
工事の際は、主桁にジャックアップポイント位置
及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50%とする。
 3. +印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F.P」表示のある箇所は、完全滑込み滑接を用いる。

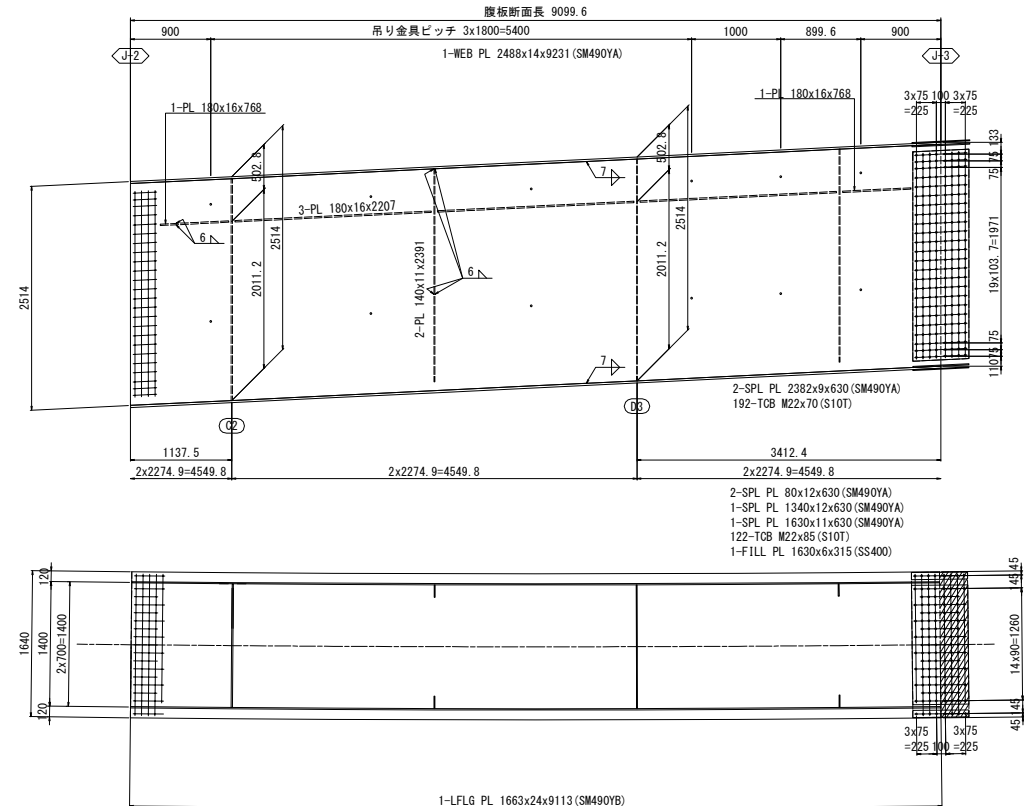
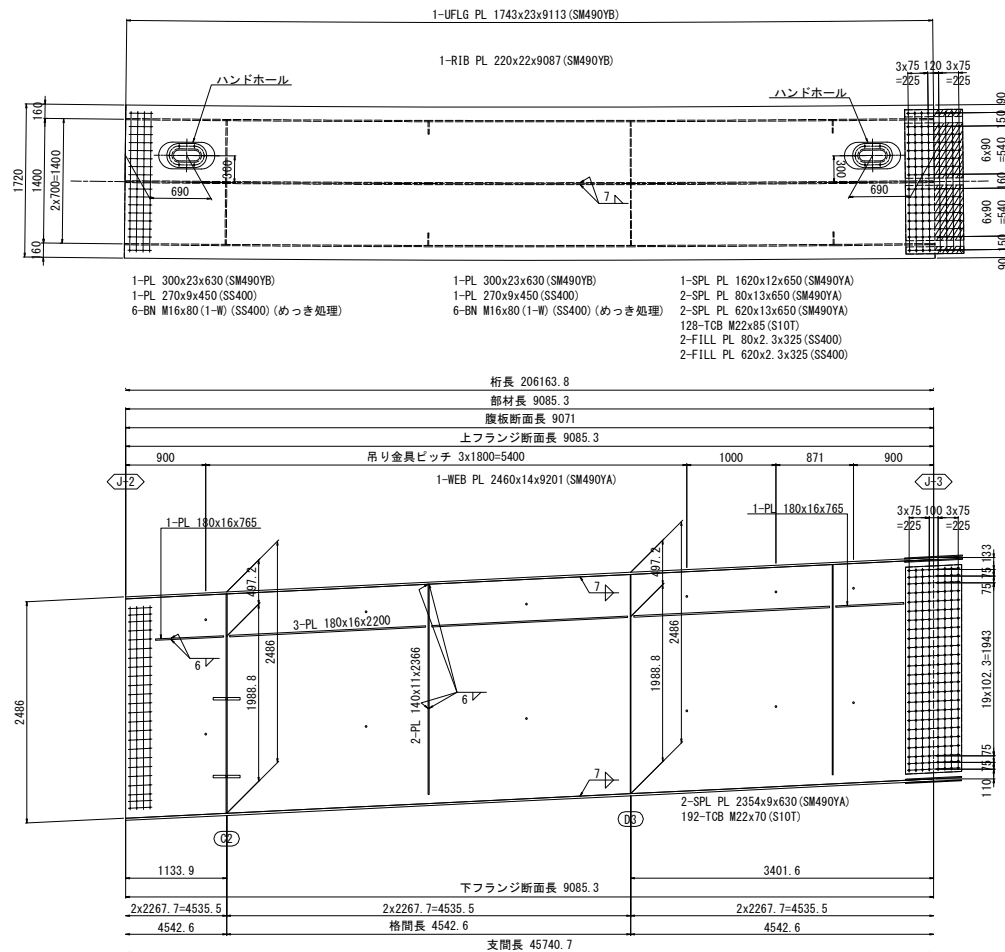
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上構工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G1(その25)		
縮尺	図示	図面番号	41 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



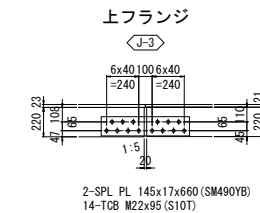
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

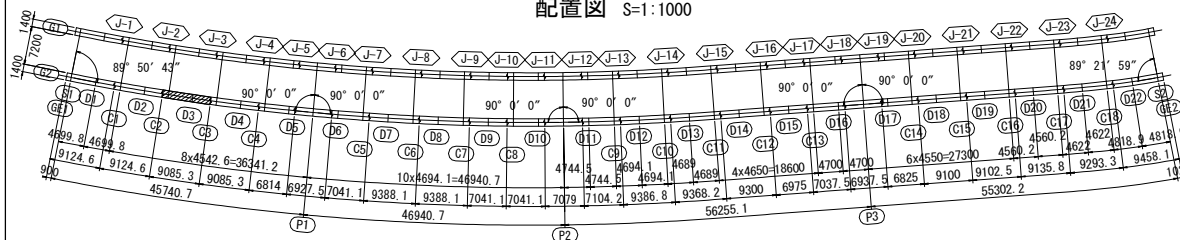
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（※2）		
縮 尺	図 示	図面番号	43 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所		



縦リブ添接詳細 S=1:40

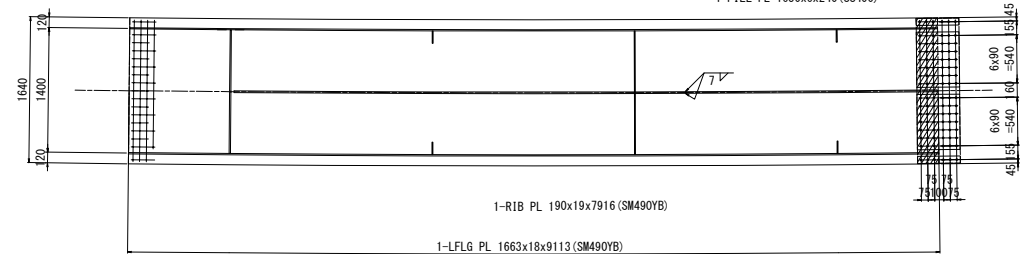
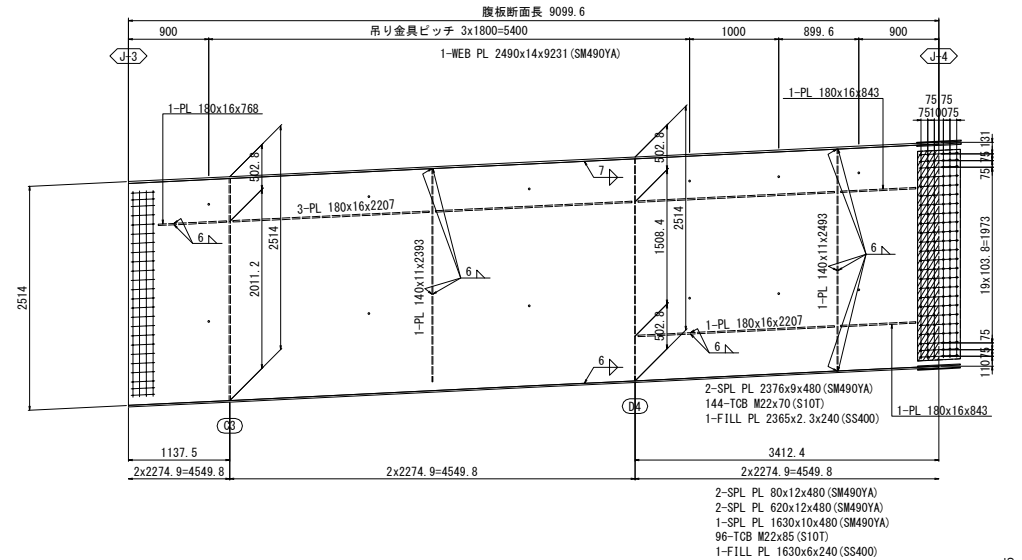
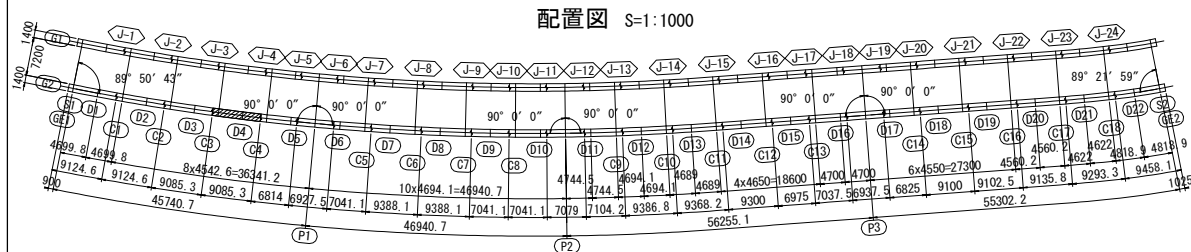
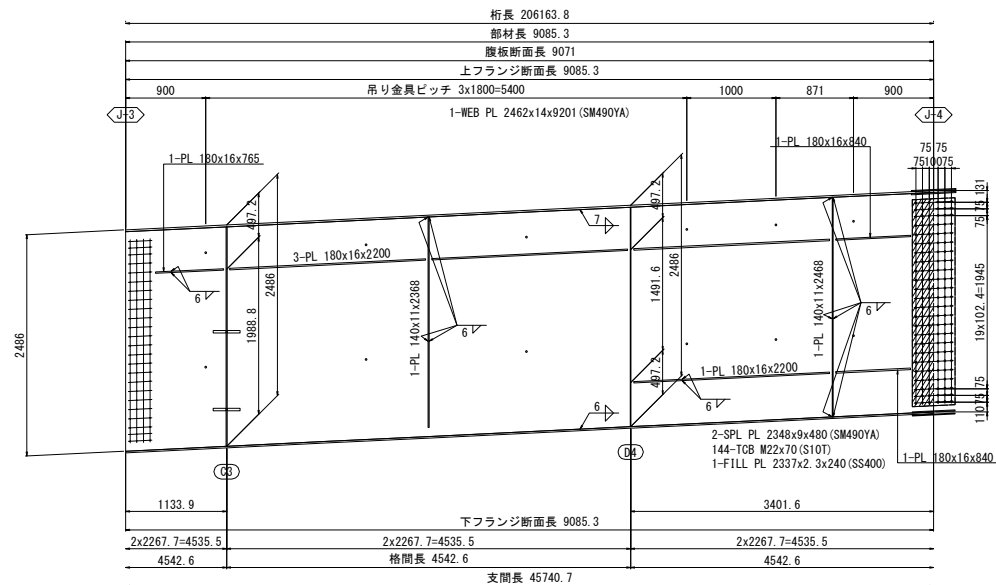
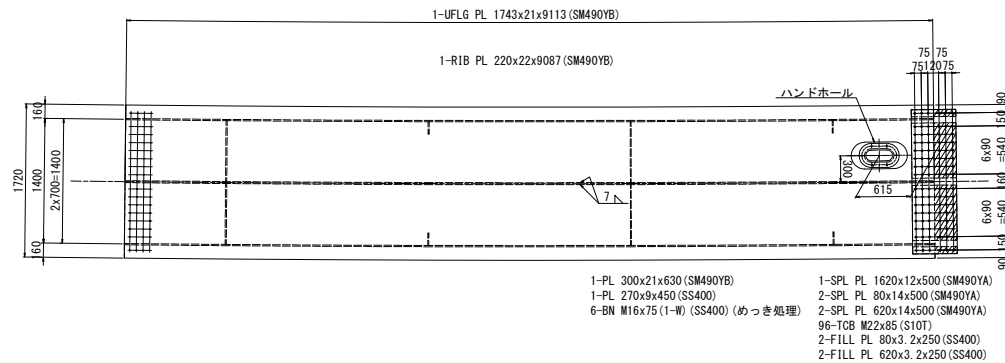


配置図 S=1:1000



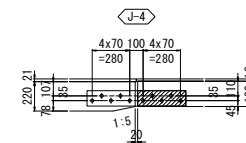
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その3)		
縮尺	図示	図面番号	44 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



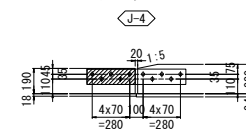
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3. 2x360 (SS400)

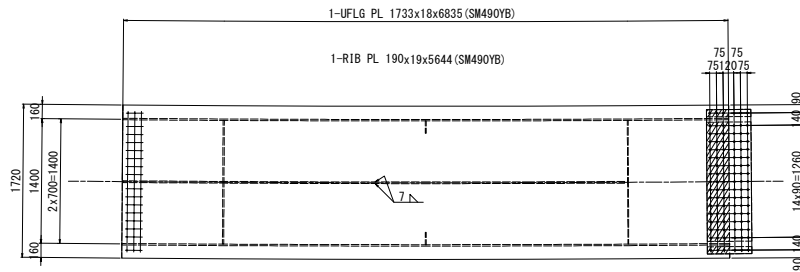
下フランジ



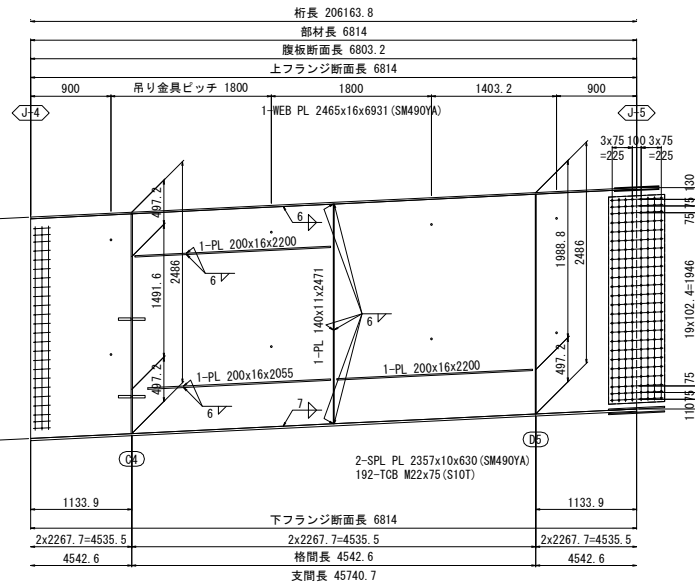
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3.2x360 (SS400)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	45 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所		



1-SPL PL 1620x10x500 (SM490YA)
2-SPL PL 80x11x500 (SM490YA)
1-SPL PL 1340x11x500 (SM490YA)
102-TCB M22x80 (S10T)
2-FILL PL 80x2. 3x250 (SS400)
1-FILL PL 1340x2. 3x250 (SS400)



桁長 20616.8

部材長 6814

腹板断面長 6803.2

上フランジ断面長 6814

900 吊り金具ピッチ 1800 1403.2 900

1-WEF PL 2465x16x6931 (SM490YA)

3x75 100 3x75
=225 =225

1-PL 200x16x2200

1-PL 140x11x2471

1-PL 200x16x2055

1-PL 200x16x2200

2-SPL PL 2357x10x630 (SM490YA)

192-TCB M22x75 (S10T)

1133.9

1133.9

2x2267. 7=4535. 5

2x2267. 7=4535. 5

2x2267. 7=4535. 5

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

4542. 6

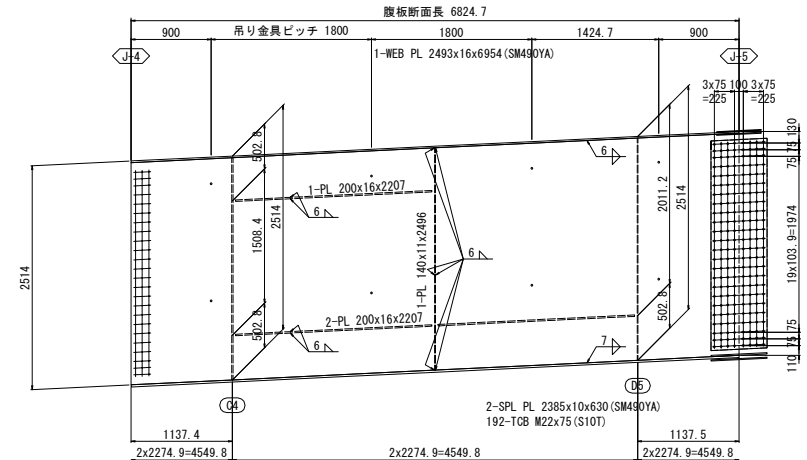
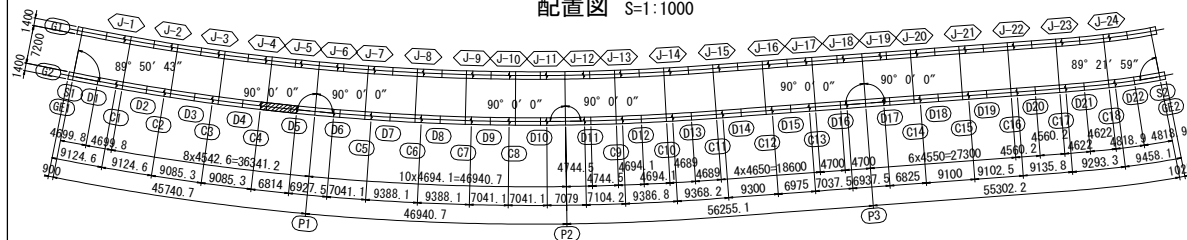
4542. 6

4542. 6

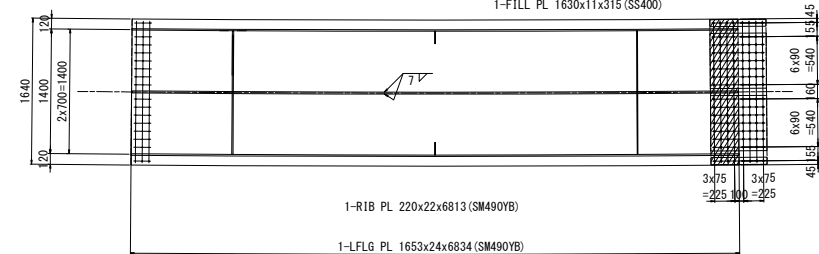
4542. 6

4542. 6

配置図 S=1:1000

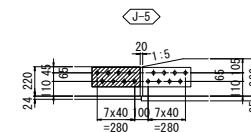


2-SPL PL 80x15x630 (SM490YA)
2-SPL PL 620x15x630 (SM490YA)
1-SPL PL 1630x13x630 (SM490YA)
128-TCB M22x100 (S10T)
1-FILL PL 1630x11x315 (SS400)



縦リブ添接詳細 S=1:40

下フランジ

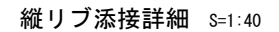
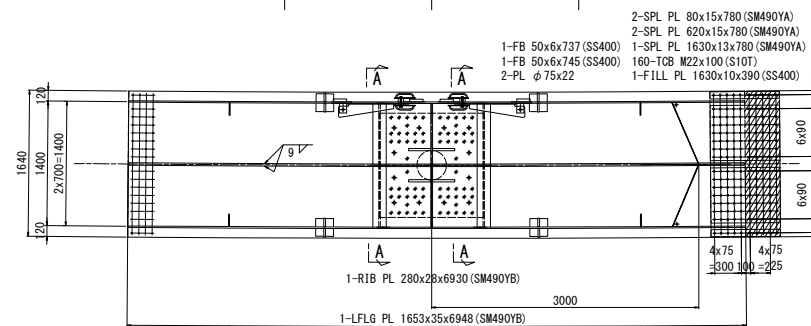
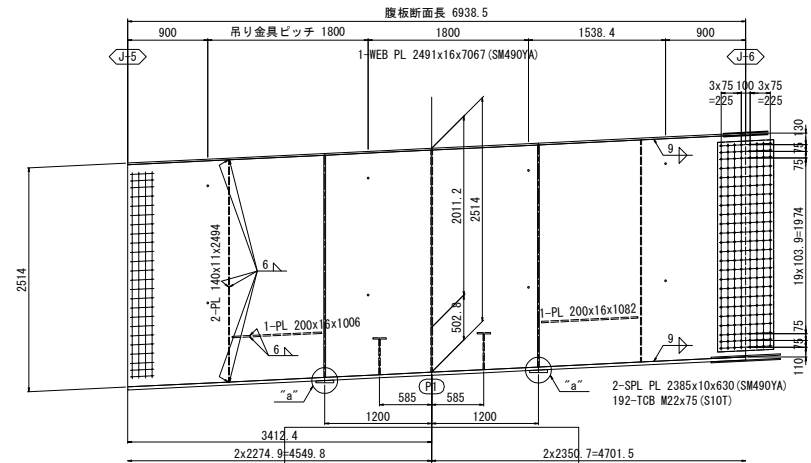
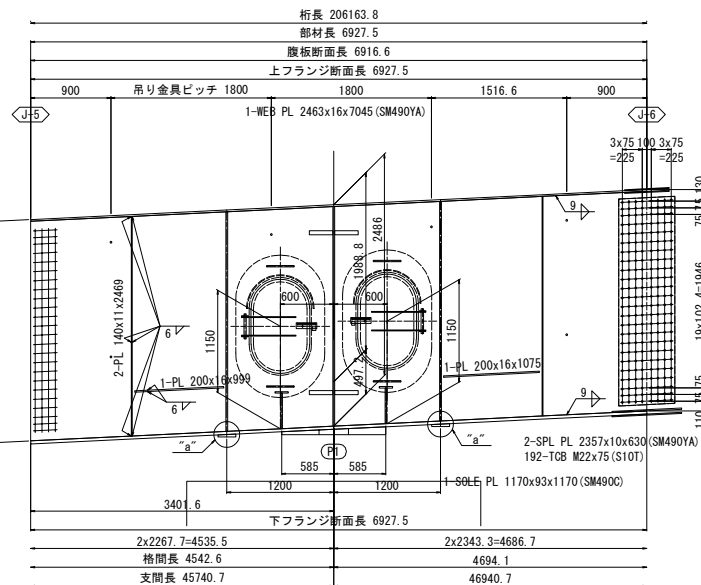
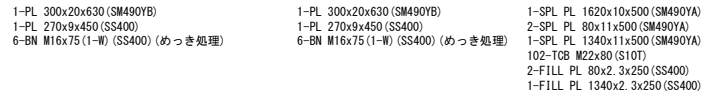


2-SPL PL 145x17x740 (SM490YB)
16-TCB M22x100 (S10T)
1-FILL PL 145x6x360 (SS400)

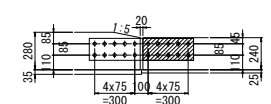
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. *印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その5)		
縮尺	図示	図面番号	46 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

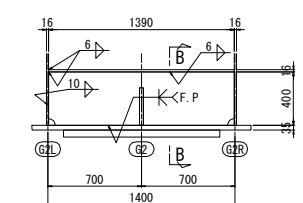


下フランジ

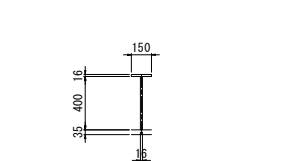


2-SPL PL 165x19x780 (SM490YB)
20-TCB M22x105 (S10T)
1-FILL PL 165x4.5x380 (SS400)

A - A S=1:40



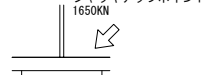
B - B S=1:40



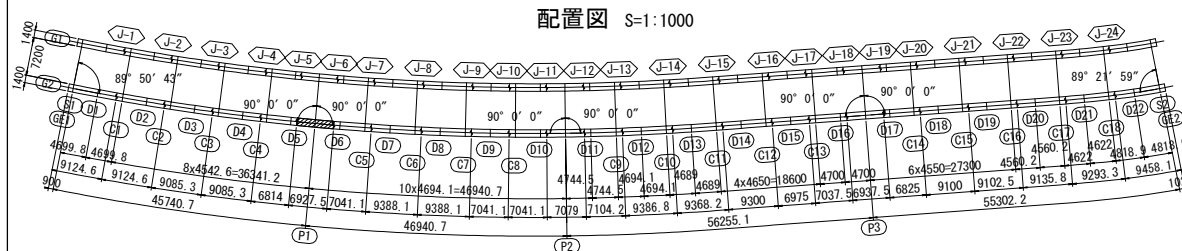
2-PL 400x16x1390 (SM490YA)
2-PL 150x16x1390 (SM490YA)



ジャッキアップポイント

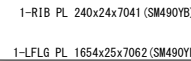
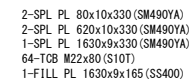
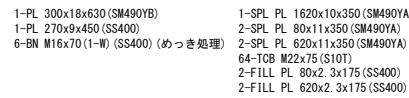


注：印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
R=1650KNとする。
工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置
及び反力について確認しやすい位置に表示する事。



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーアップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 継り孔の孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F、P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2 (その6)
縮 尺	図 示 図面番号 47 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所



S=1:40

J-7



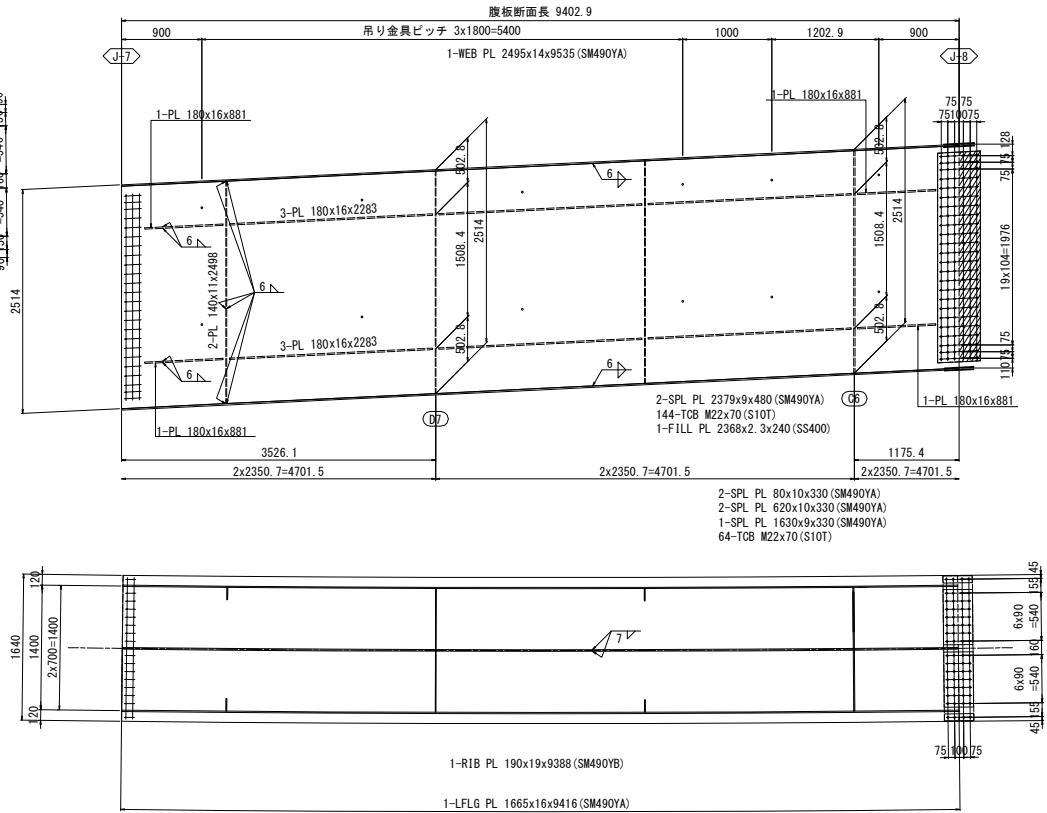
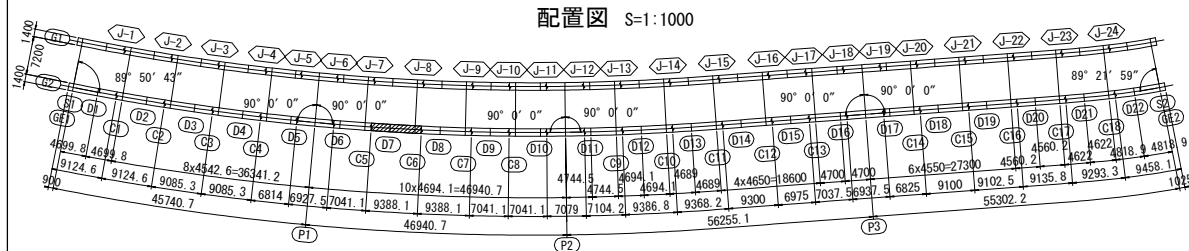
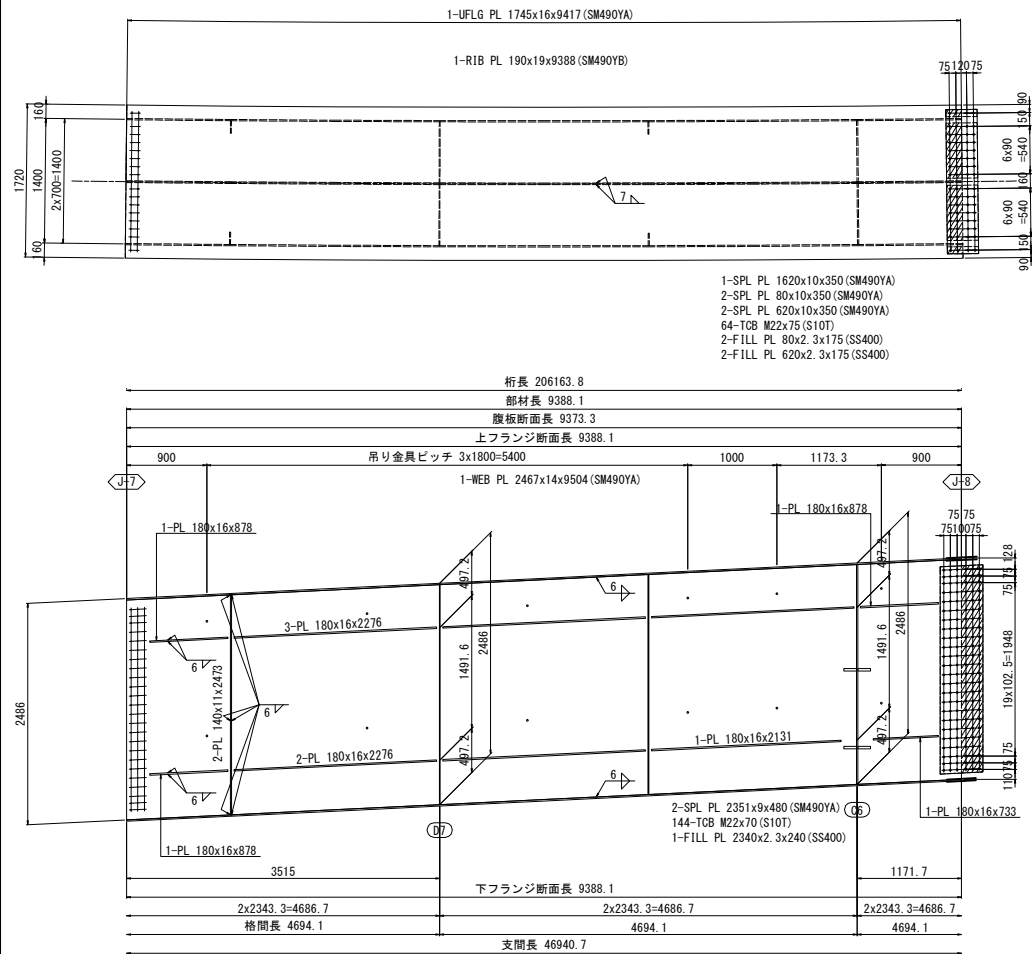
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)



2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x4. 5x360 (SS400)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

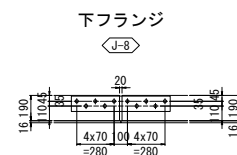
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（その7）		
縮 尺	図 示	図面番号	48 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所		



縦リブ添接詳細 S=1:40



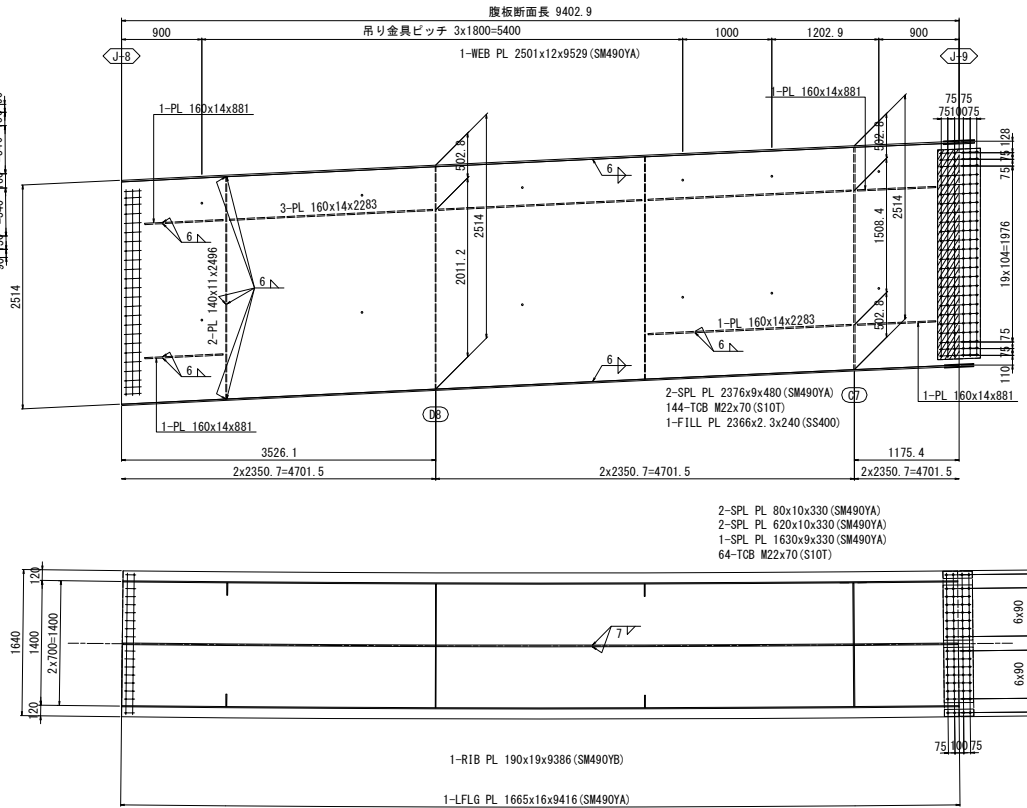
2-SPL PL 115x16x600 (SM490YA)
8-TCB M22x90 (S10T)



2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

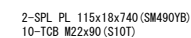
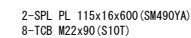
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（※8）		
縮 尺	図 示	図面番号	49 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所		



S=1 : 40

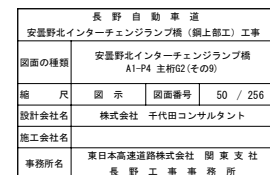
J-9

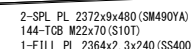
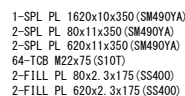


注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

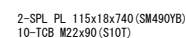
S=1 : 1000



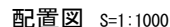
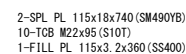


S=1:40

上フランジ

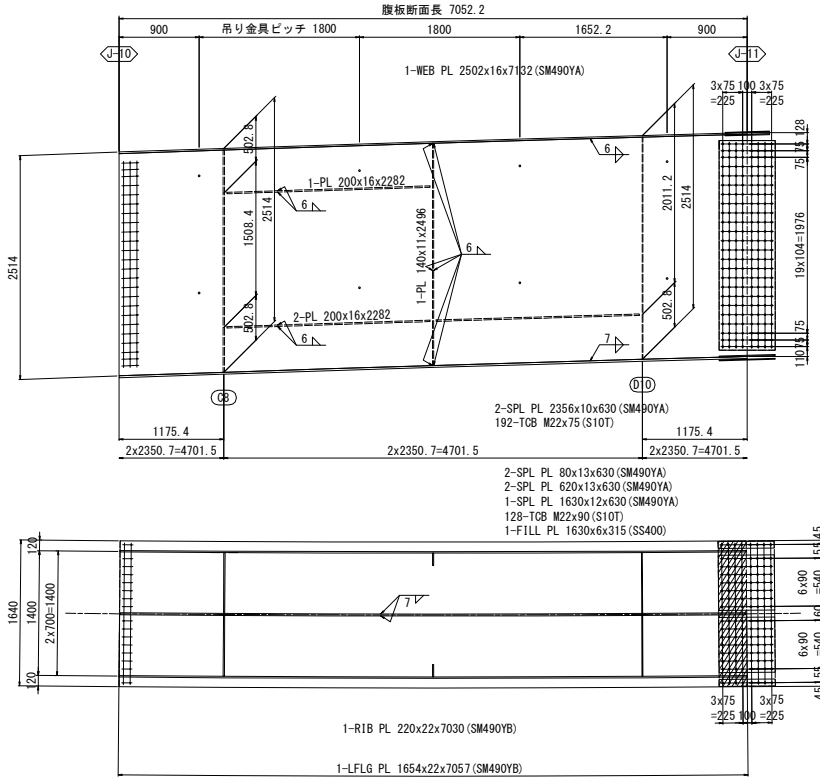
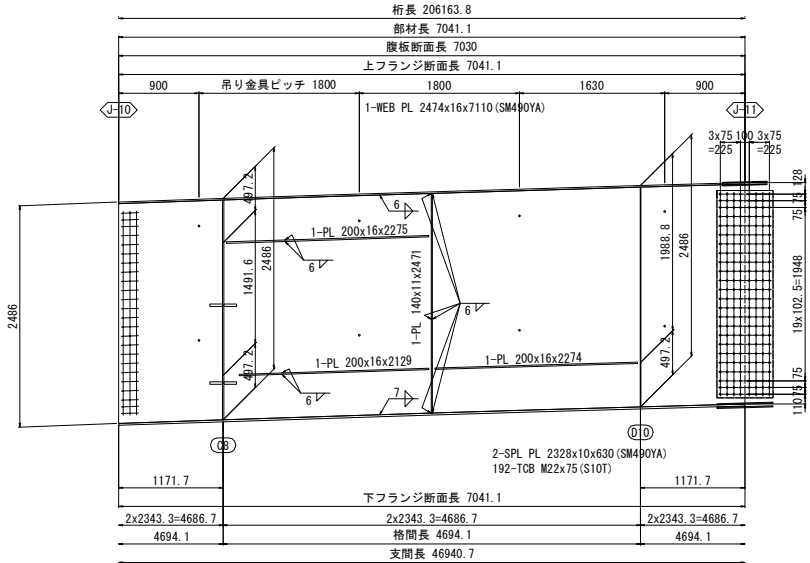
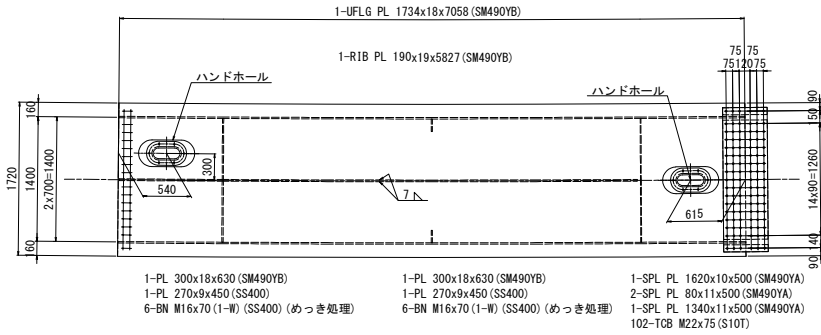


下フランジ



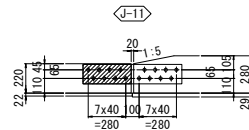
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦りボの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その10)		
縮 尺	図 示	図面番号	51 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 課 所		

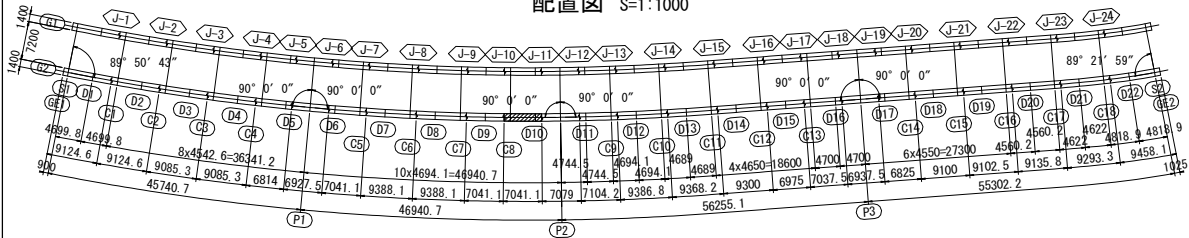


縦リブ添接詳細 S=1:40

下フランジ

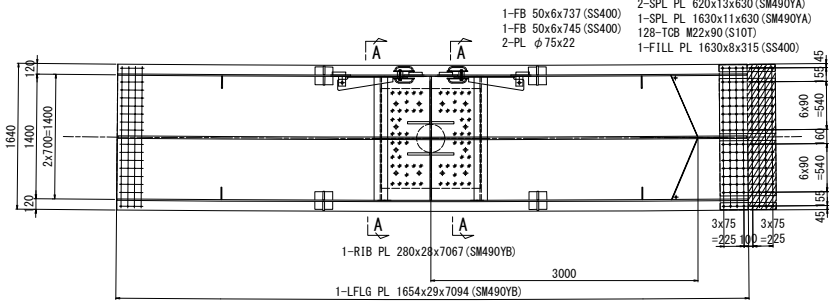
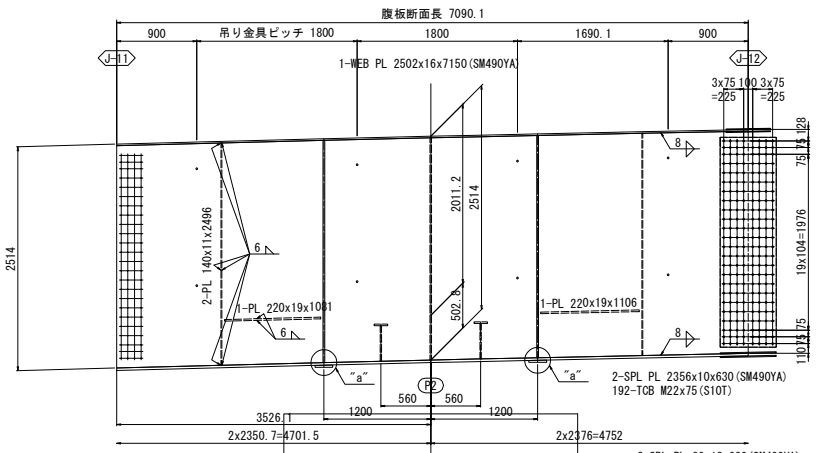
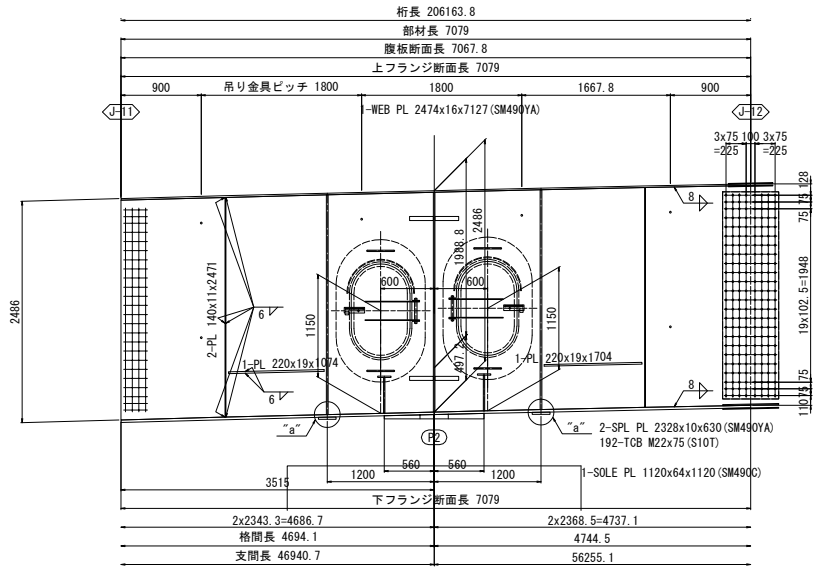
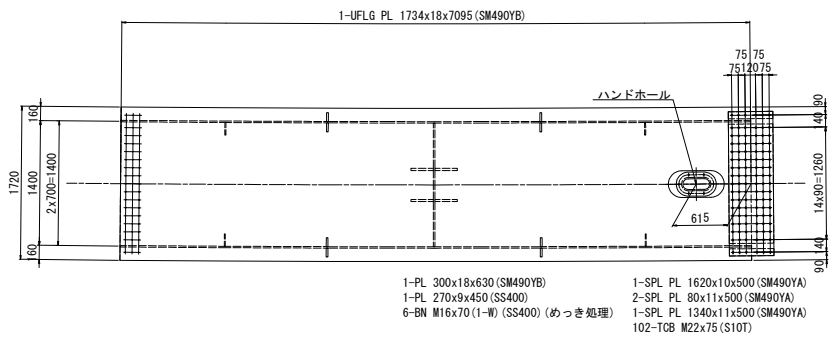


配置図 S=1:1000



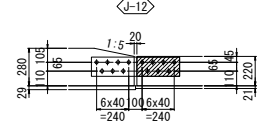
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. *印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その11)		
縮尺	図示	図面番号	52 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

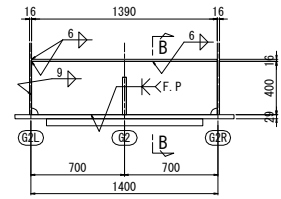


縦リブ添接詳細 S=1:40

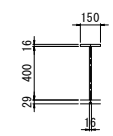
下フランジ



A-A S=1:40



B-B S=1:40



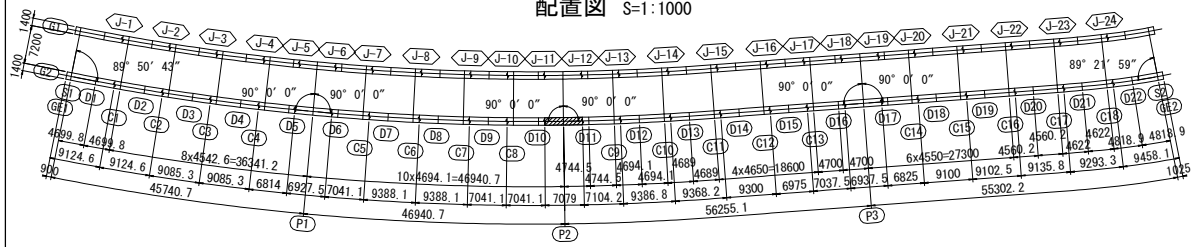
2-PL 400x16x1390 (SM490YA)
2-PL 150x16x1390 (SM490YA)

"a"部詳細図 S=1:10



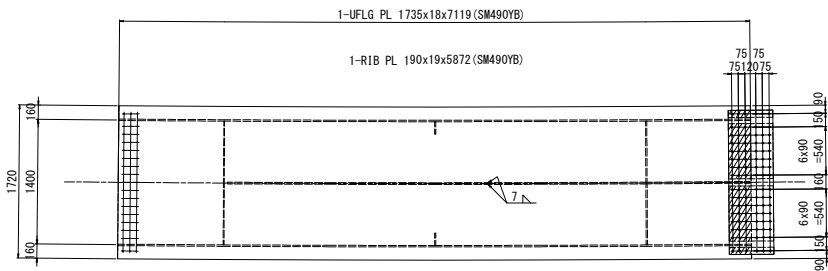
注: 印はジャックアップポイントを示し、1支点当り R=1550KNとする。
工事の際は、主桁にジャックアップポイント位置及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

配置図 S=1:1000

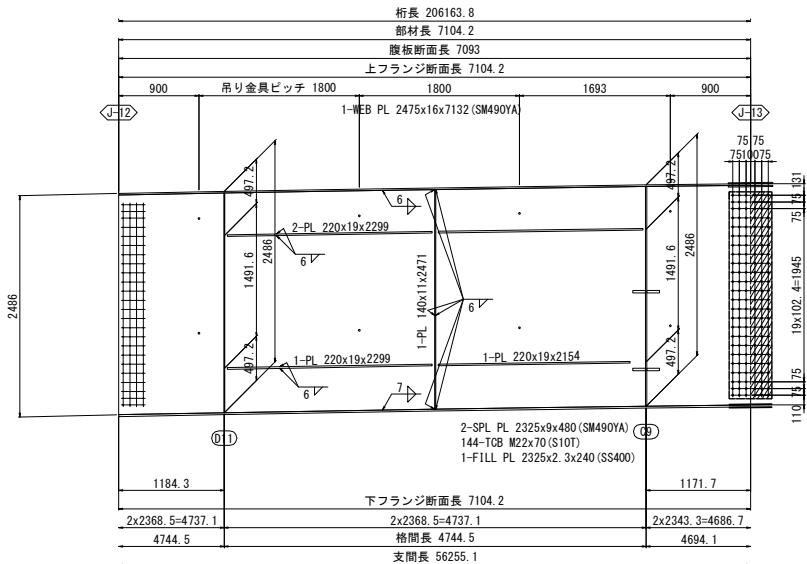


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Tとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その12)		
縮尺	図示	図面番号	53 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



1-SPL PL 1620x12x500 (SM490YA)
2-SPL PL 80x14x500 (SM490YA)
2-SPL PL 620x14x500 (SM490YA)
96-TCB M22x85 (S10T)
2-FILL PL 80x3. 2x250 (SS400)
2-FILL PL 620x3. 2x250 (SS400)

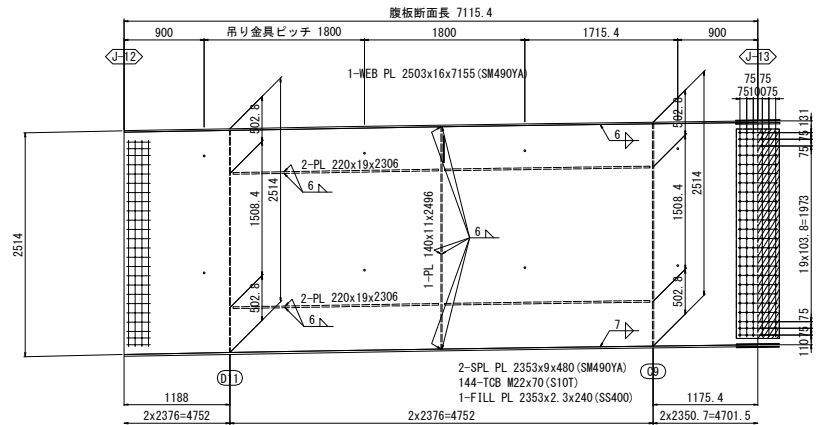


下フランジ断面長 7104.2

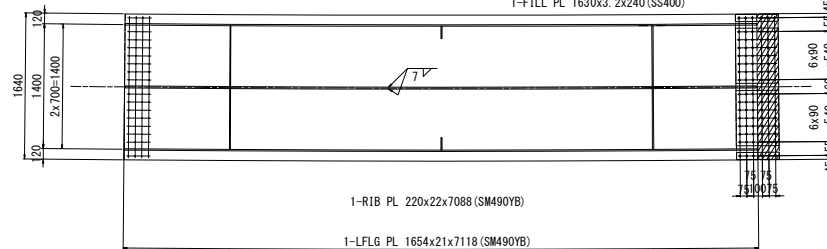
2x2368. 5=4737. 1

4744. 5

支間長 56255. 1

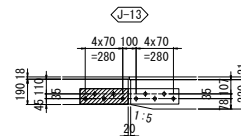


2-SPL PL 80x12x480 (SM490YA)
2-SPL PL 620x12x480 (SM490YA)
1-SPL PL 1630x10x480 (SM490YA)
96-TCB M22x80 (S10T)
1-FILL PL 1630x3. 2x240 (SS400)



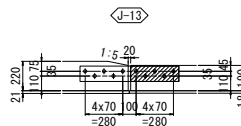
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



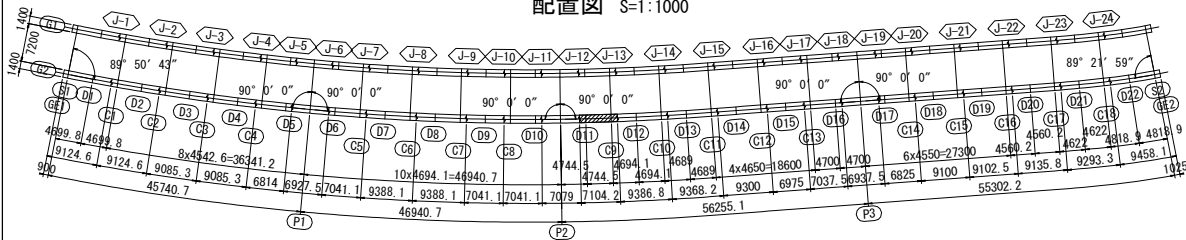
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3. 2x360 (SS400)

下フランジ



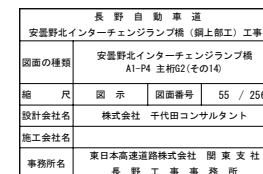
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3. 2x360 (SS400)

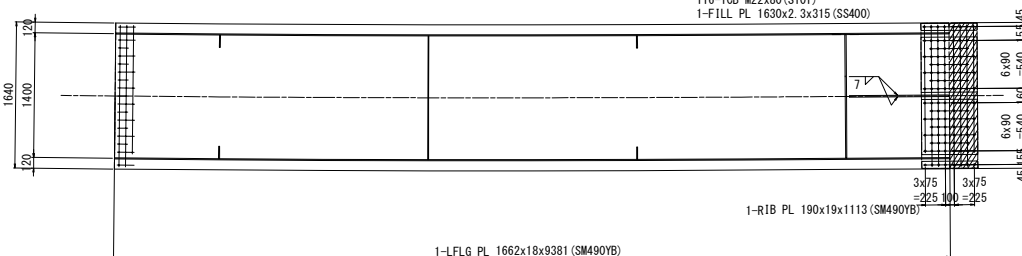
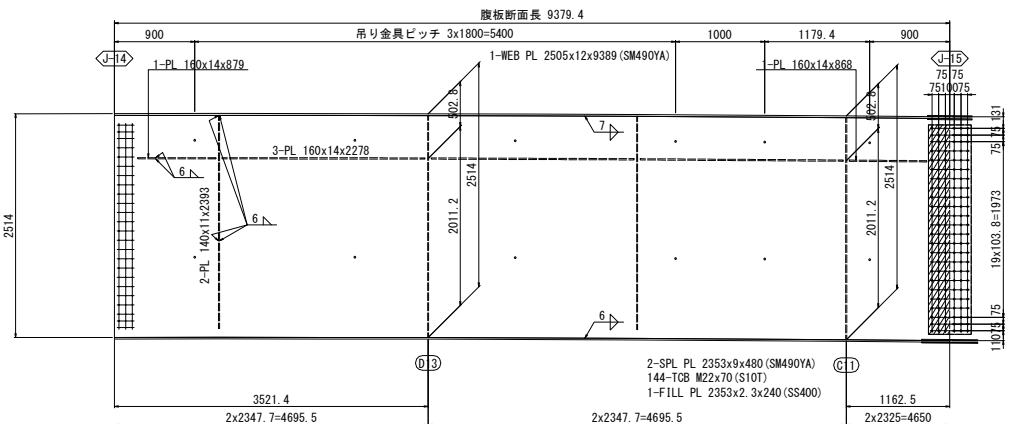
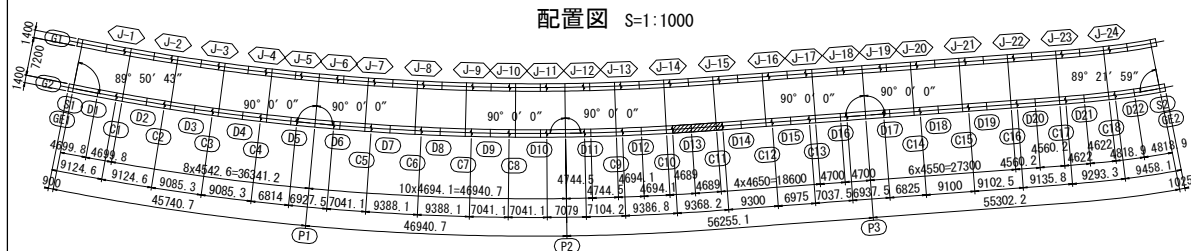
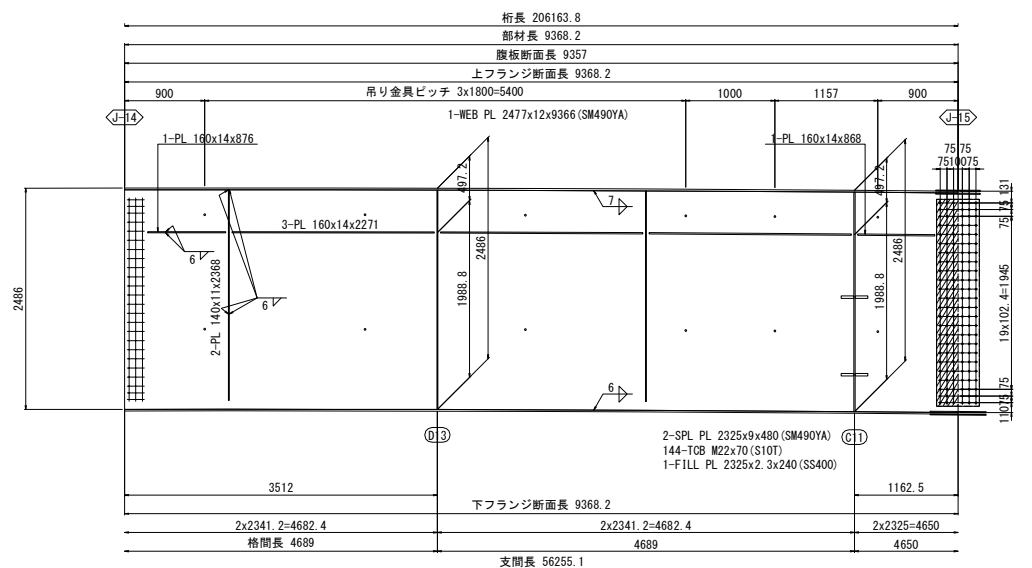
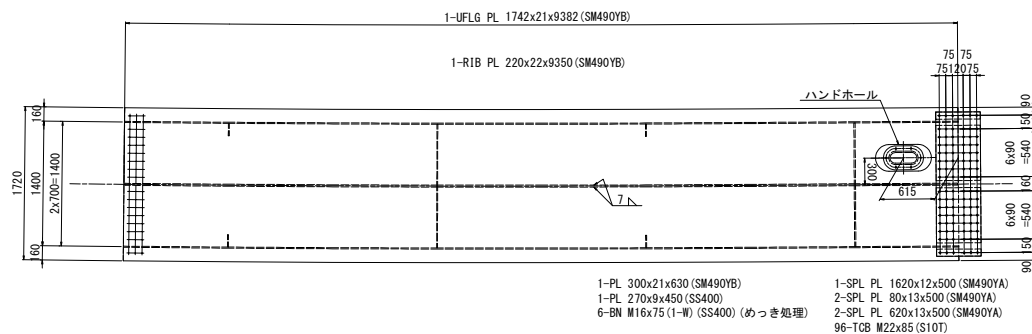
配置図 S=1:1000



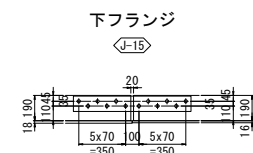
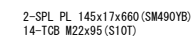
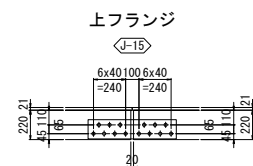
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その13)		
縮尺	図示	図面番号	54 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		





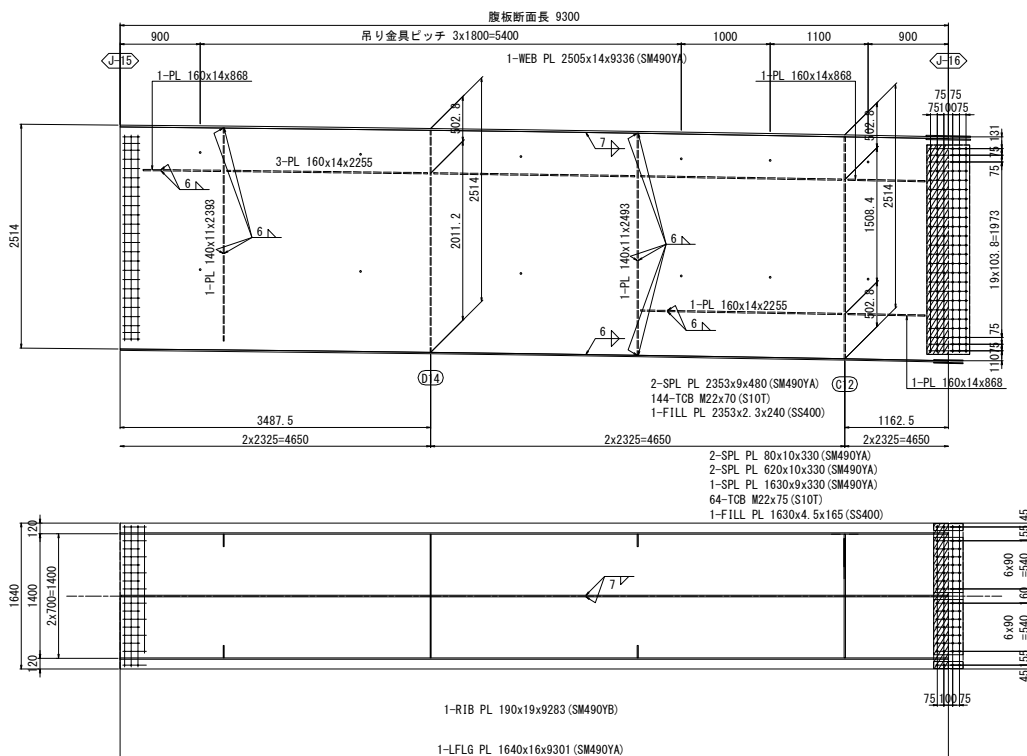
縦リブ添接詳細 S=1:40



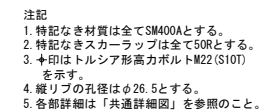
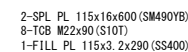
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

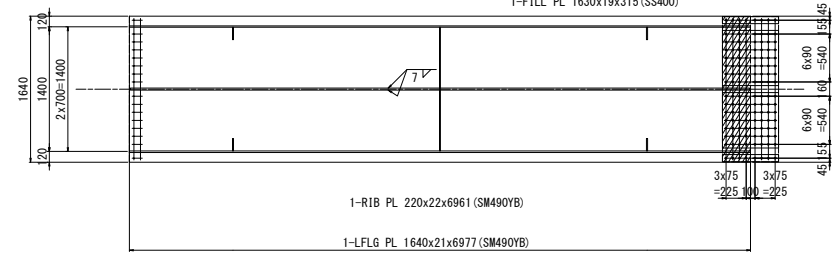
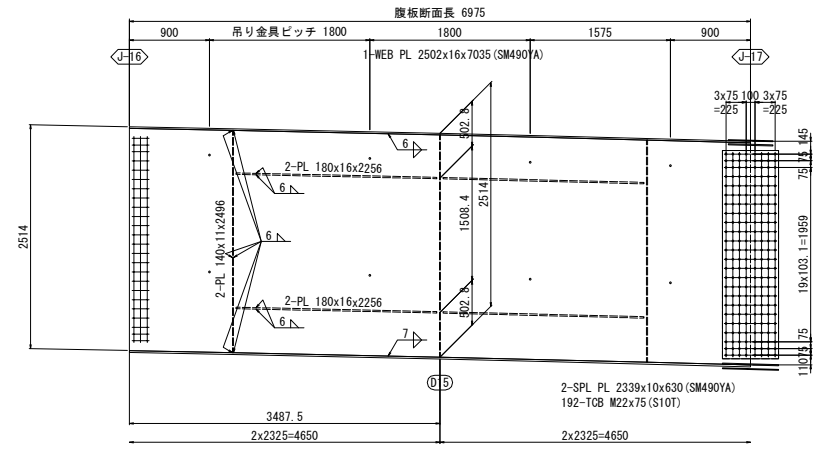
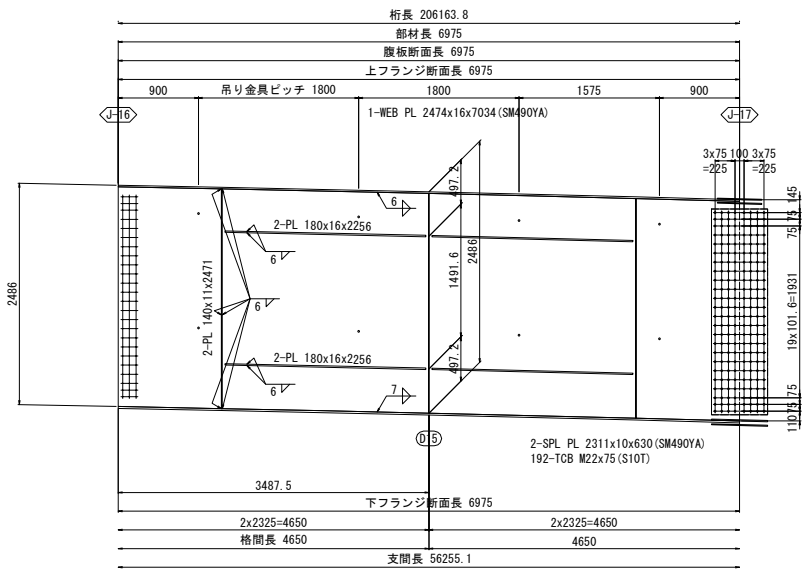
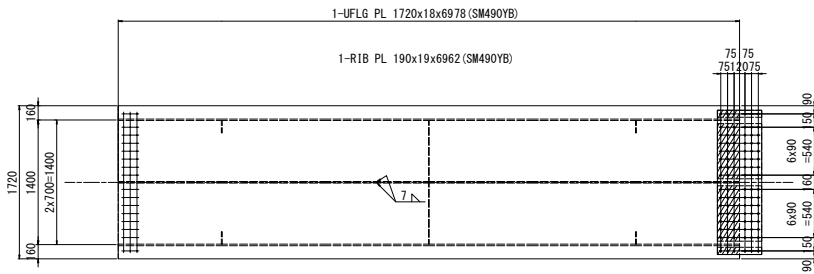
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その15)
縮 尺	図 示 図面番号 56 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



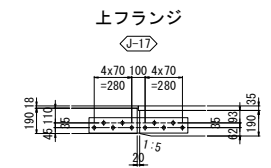
上フランジ



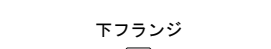
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その16)		
縮 尺	図 示	図面番号	57 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 道 路 工 事 課 所		



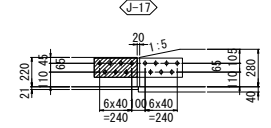
縦リブ添接詳細 S=1:40



上フランジ



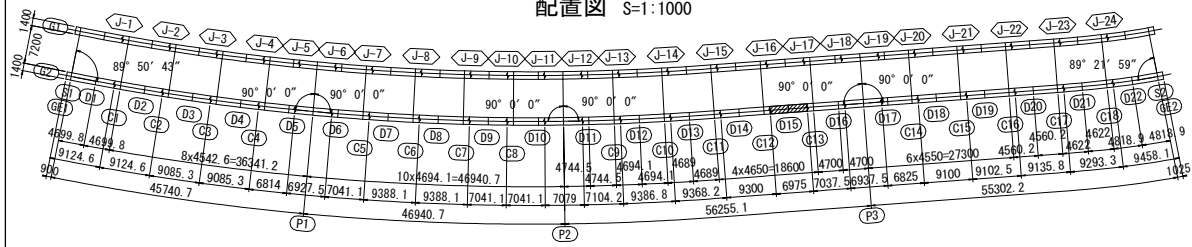
下フランジ



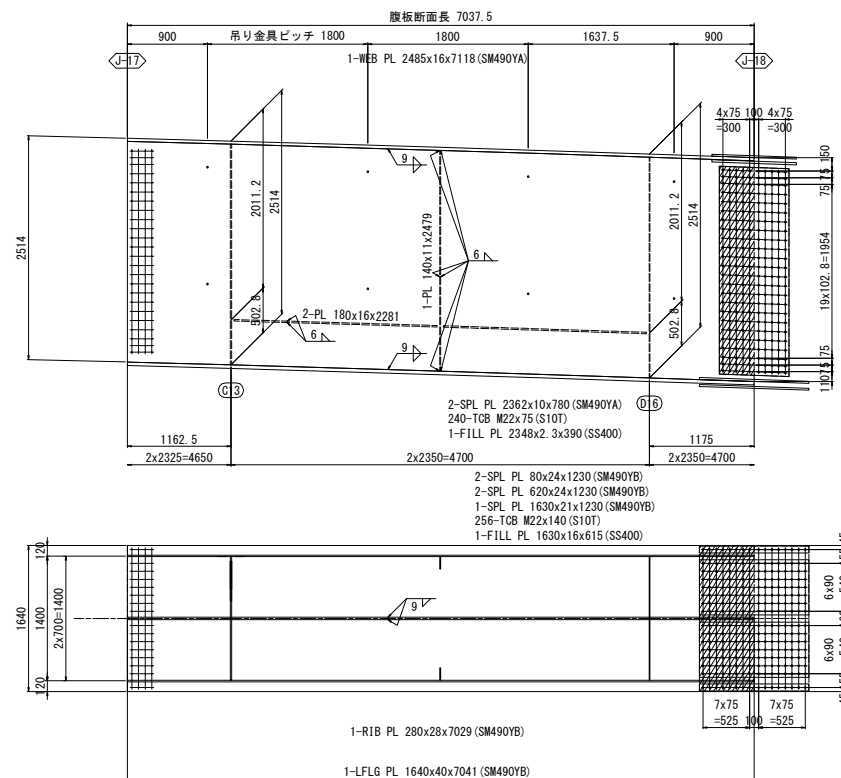
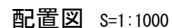
2-SPL PL 145x17x660 (SM490YB)
14-TCB M22x100 (S10T)
1-FILL PL 145x6x320 (SS400)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

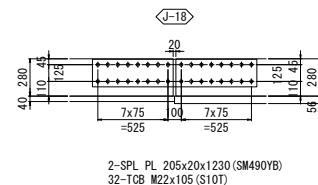
配置図 S=1:1000



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その17)		
縮尺	図示	図面番号	58 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



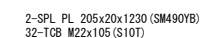
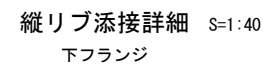
下フランジ



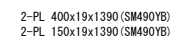
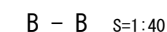
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

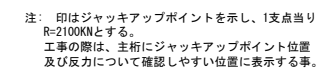
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その18)
縮 尺	図 示 図面番号 59 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事業務所



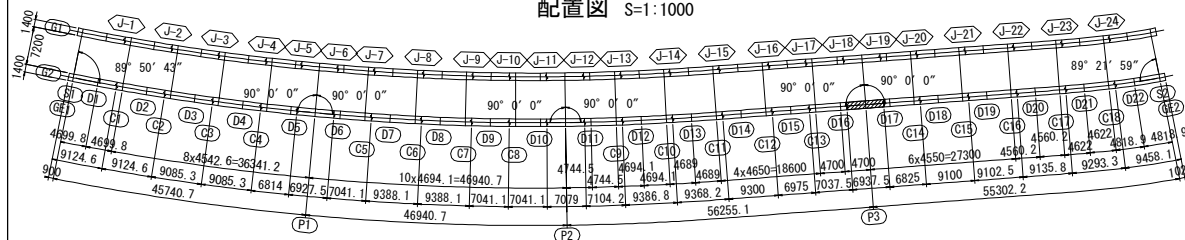
A - A S=1:40



"a"部詳細図 S=1:10

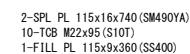
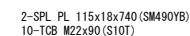
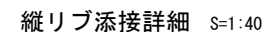
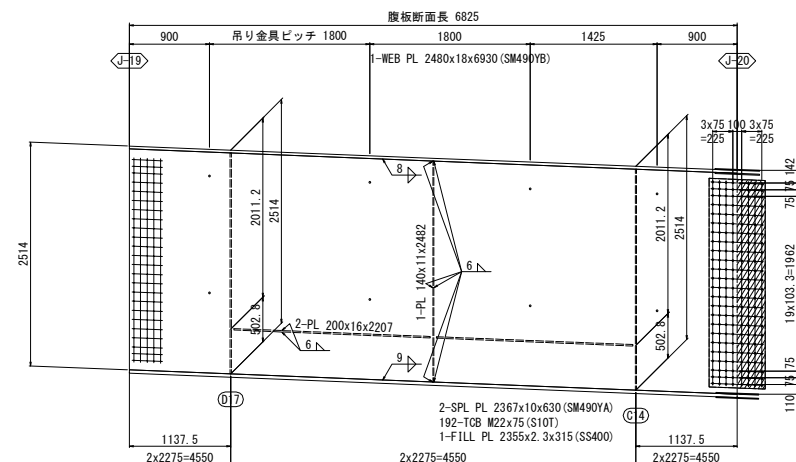
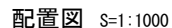
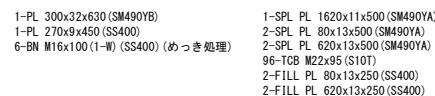


配置図 S=1:1000



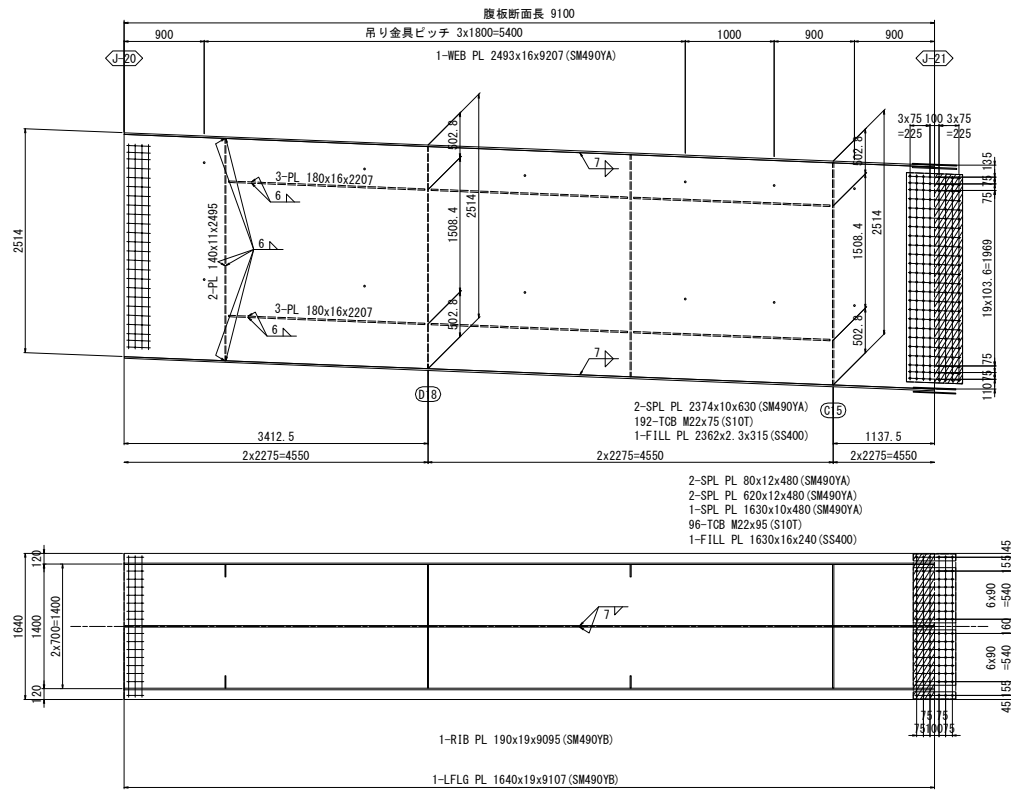
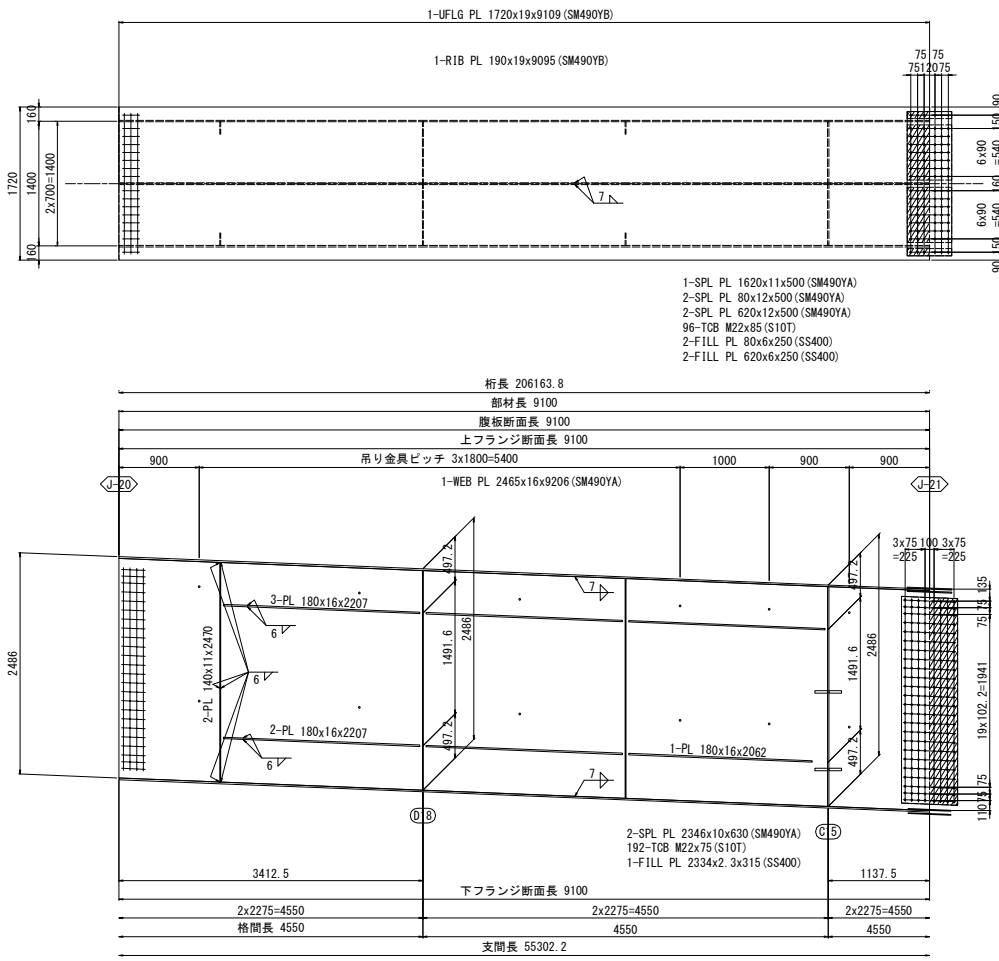
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 継り部の孔径は $\phi 26.5$ とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F、P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その19)
縮 尺	図 示 図面番号 60 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 星 野 工 事 車 庫 所

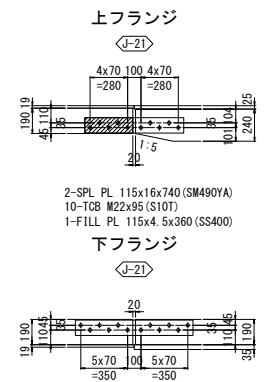


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦りボの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

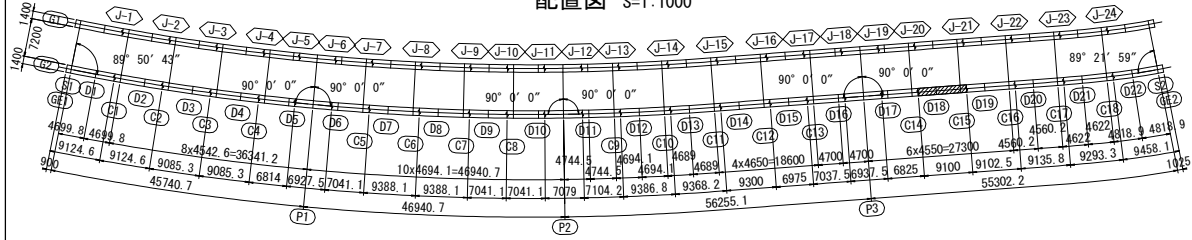
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（その20）		
縮 尺	図 示	図面番号	61 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 課 所		



縦リブ添接詳細 S=1:40

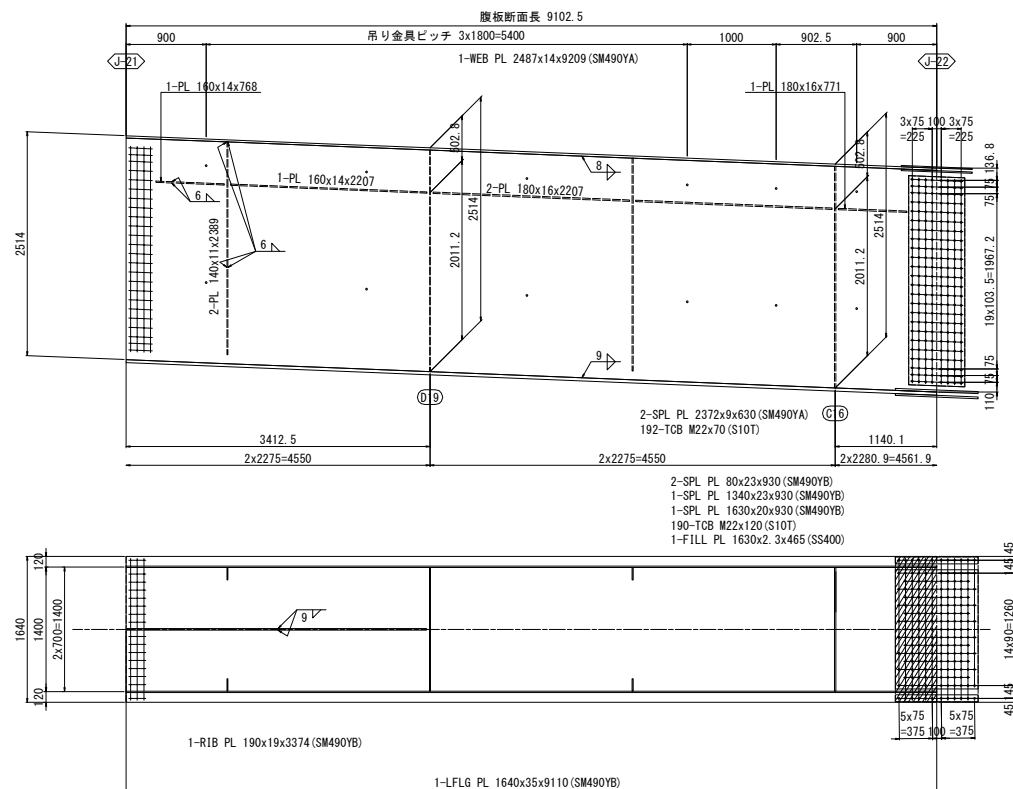
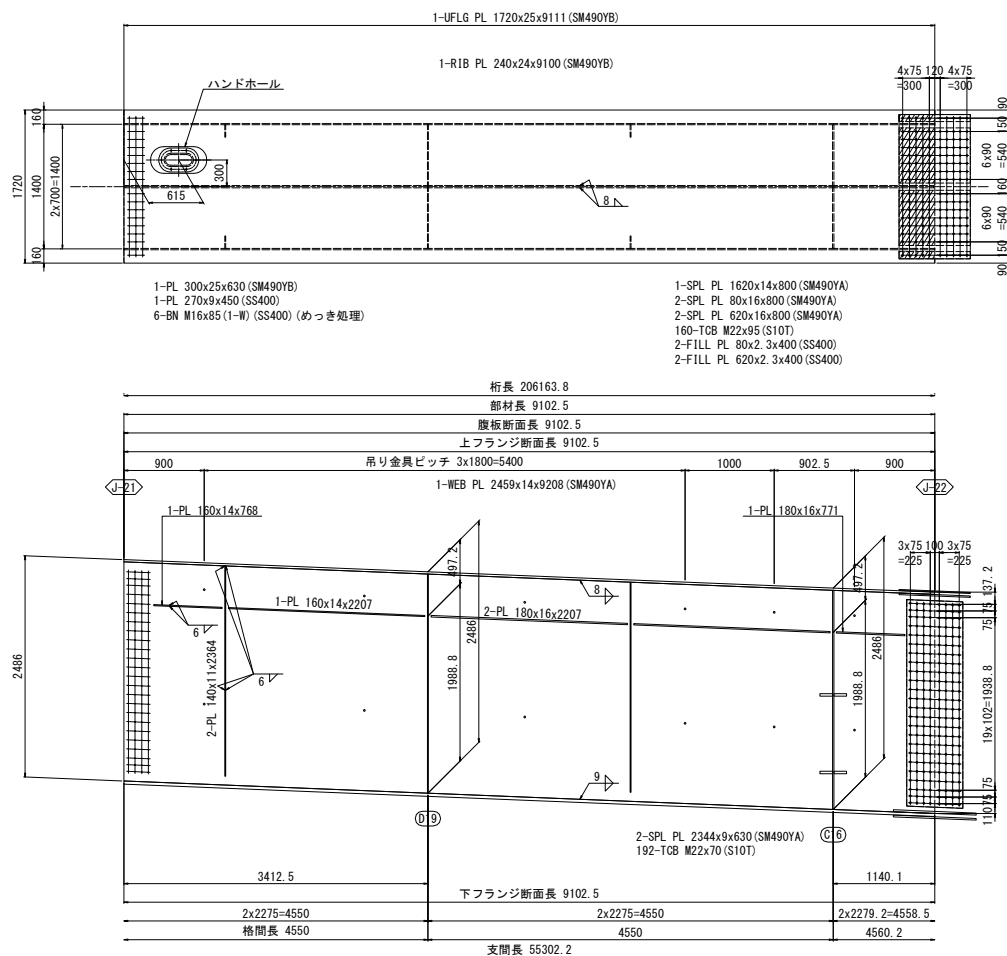


配置図 S=1:1000



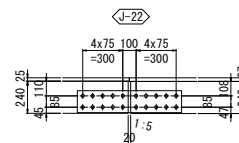
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その21)		
縮尺	図示	図面番号	62 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

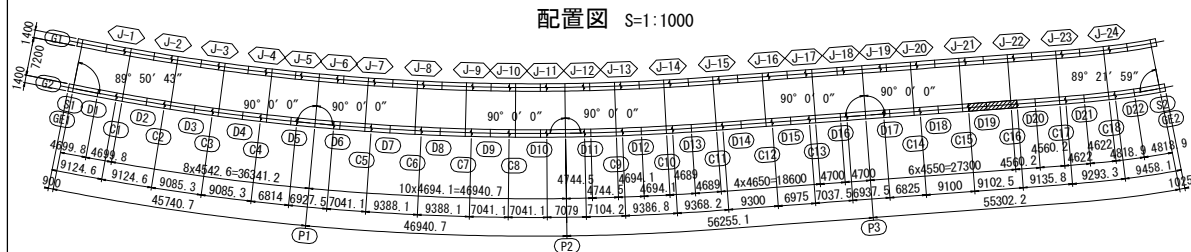


縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ

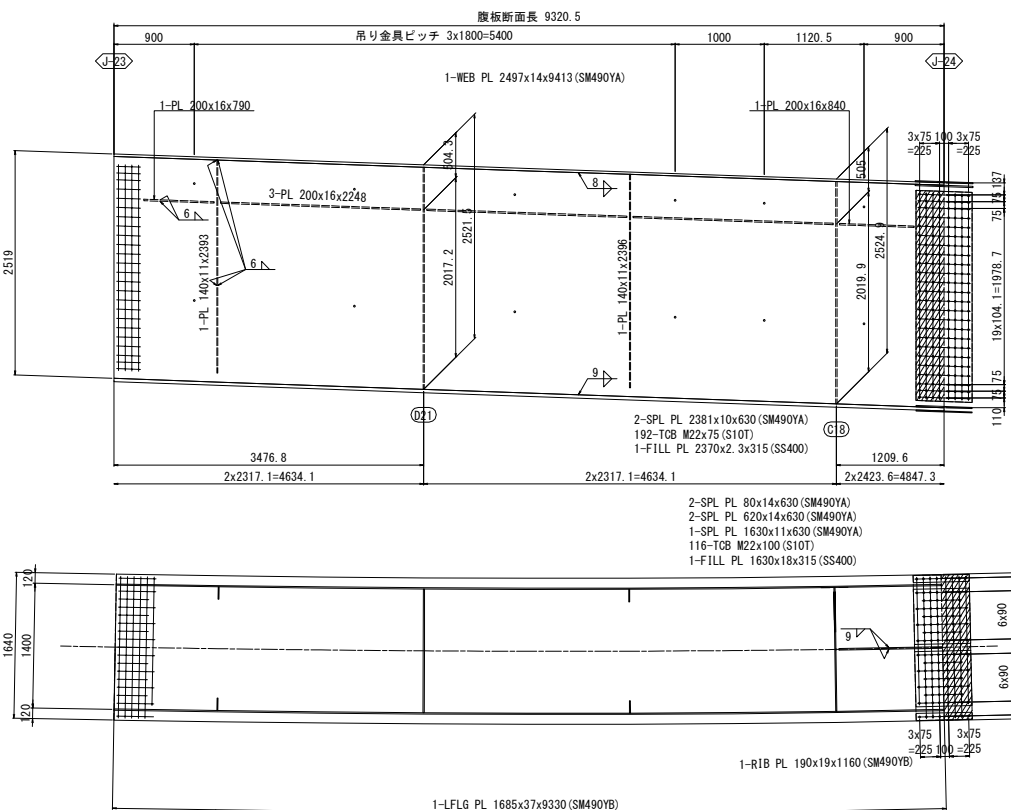


2-SPL PL 165x19x780 (SM490YB)
20-TCB M22x100 (S10T)

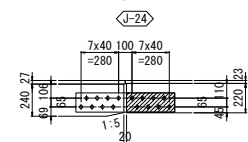


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

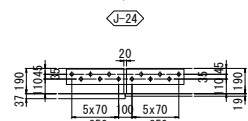
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上土工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2(その22)		
縮 尺	図 示	図面番号	63 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



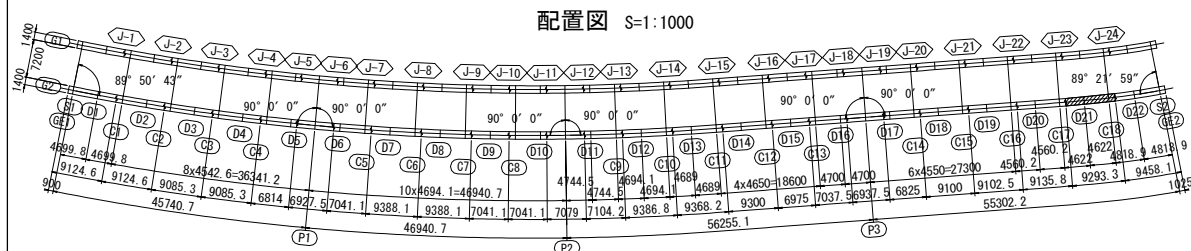
上フランジ



下フランジ



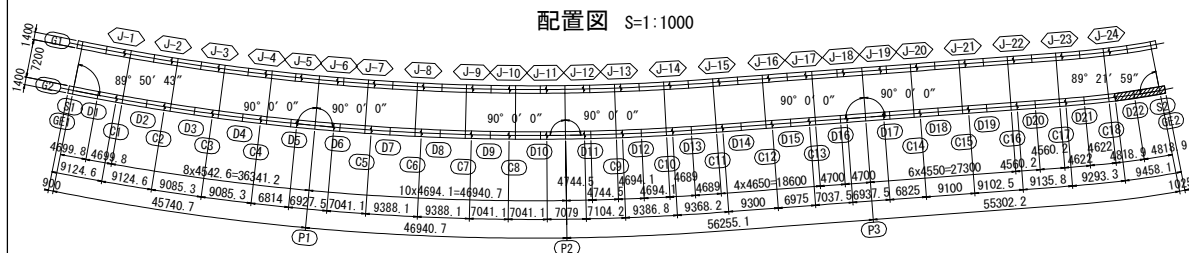
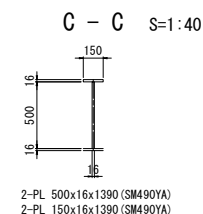
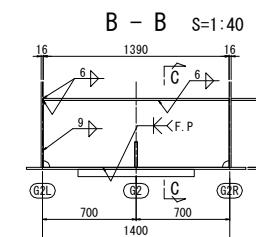
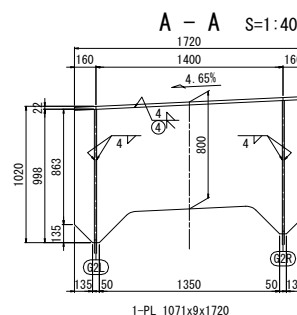
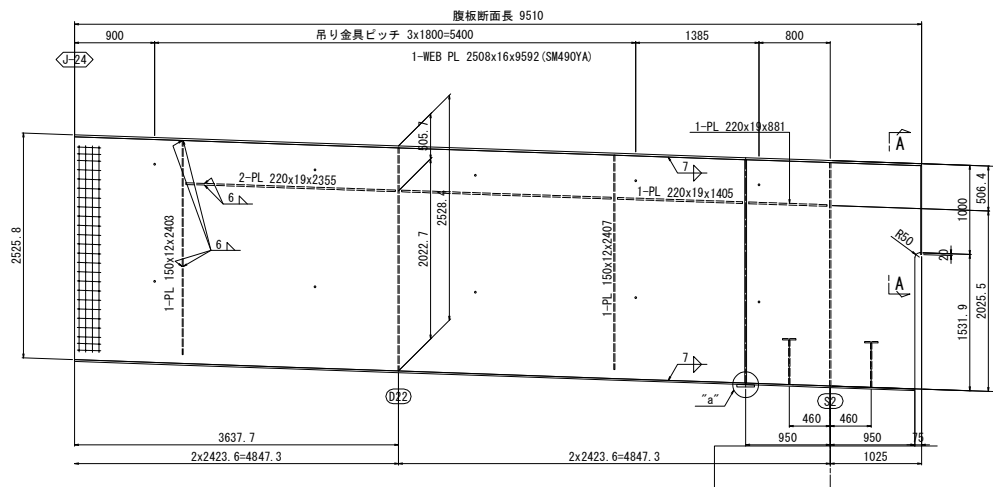
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主支線2(その24)		
幅 尺	図 示	図面番号	65 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



“a”部詳細図 S=1:10



注: 印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
R=1550KNとする

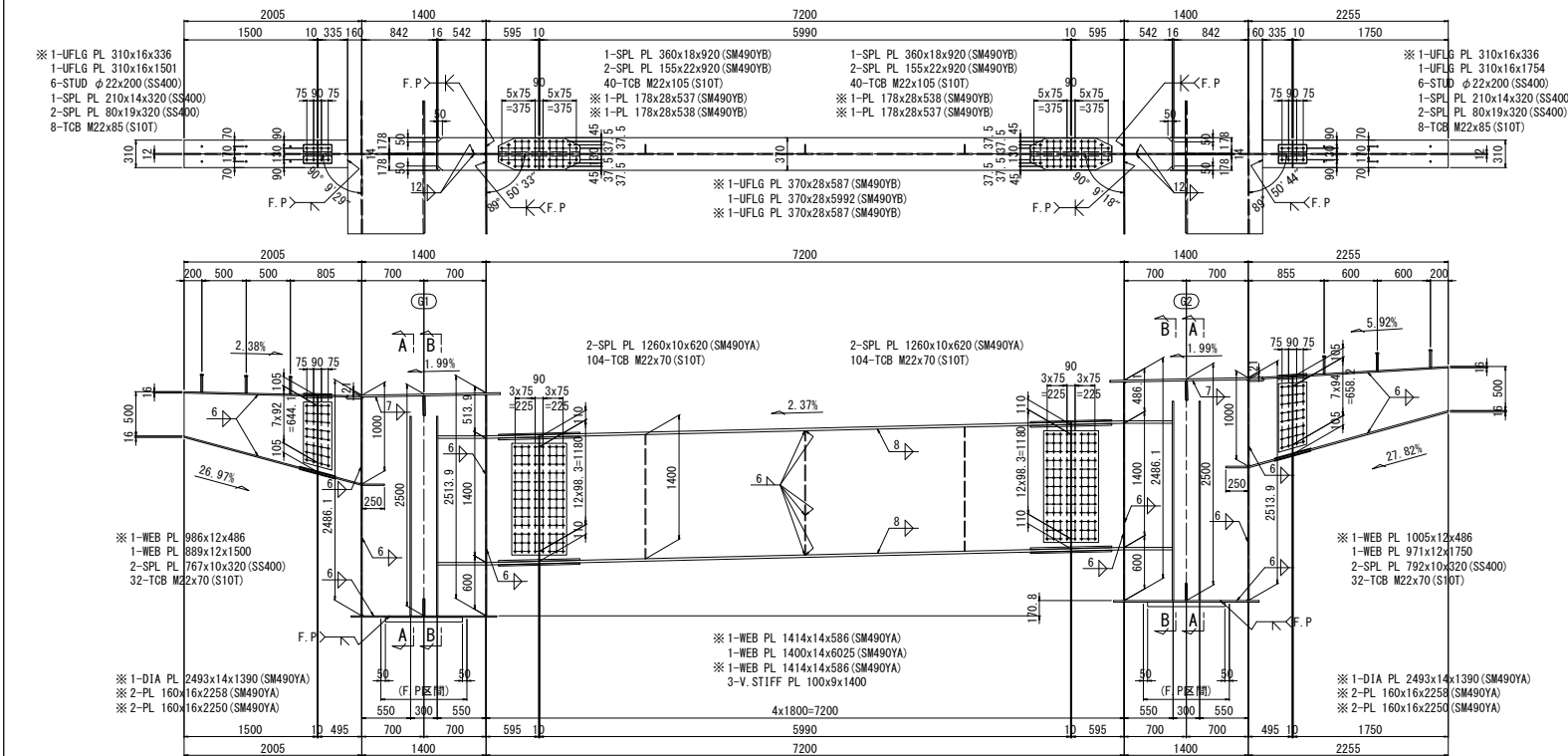
工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラープは全て50Rとする。
3. ※印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. 「F P」表示のある箇所は、完全浸込み溶接を指し、

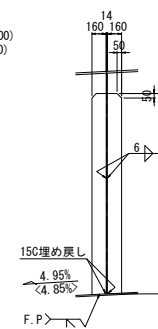
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁G2（その25）		
縮 尺	図 示	図面番号	66 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 部		

S1



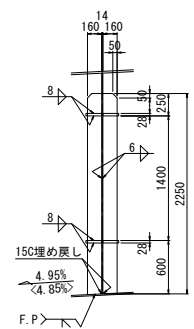
A - A

G1<G2>

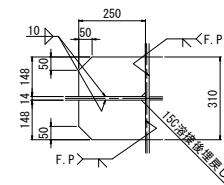


B - B

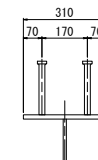
G1<G2>



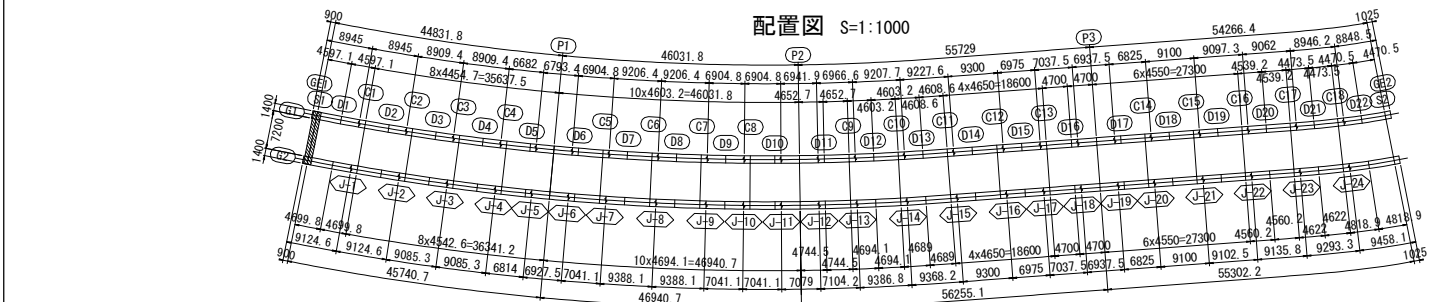
"a"部詳細 S=1:20



スタッドジベル配置図 S=1:20



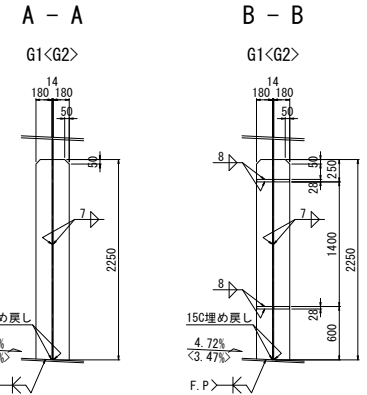
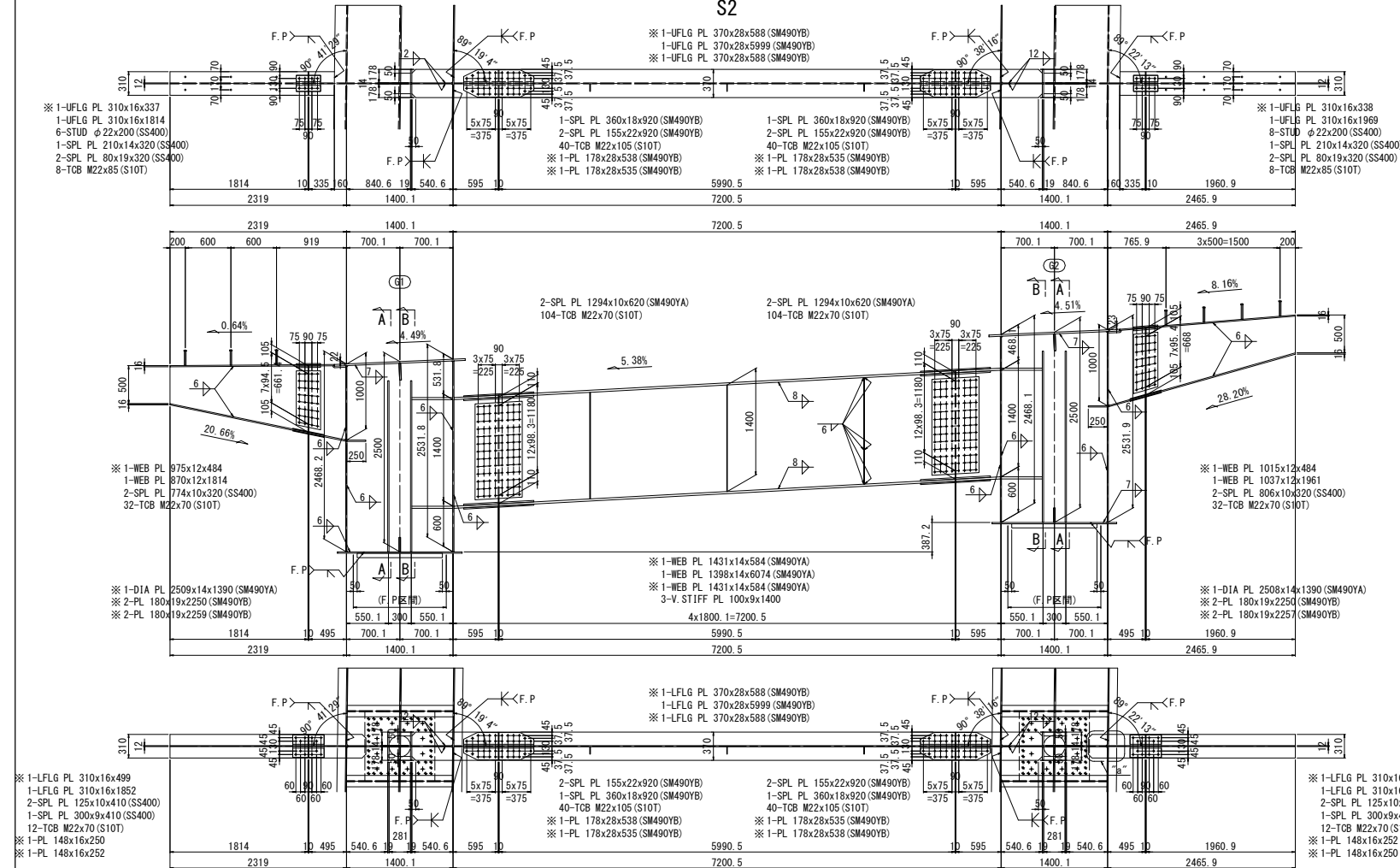
配置図 S=1:1000



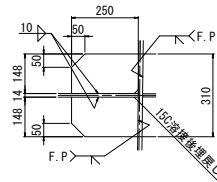
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. ※印材は主桁にて計上する。
5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

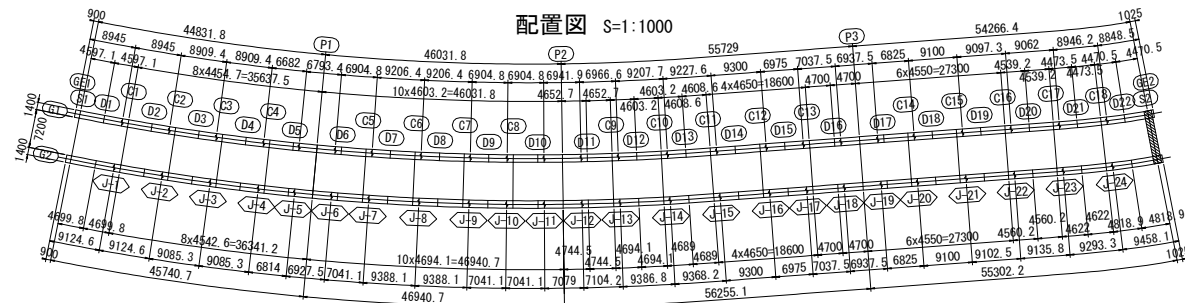
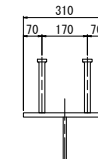
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部分)工事		
縮尺	図示	図面番号	67 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		



"a"部詳細 S=1:20



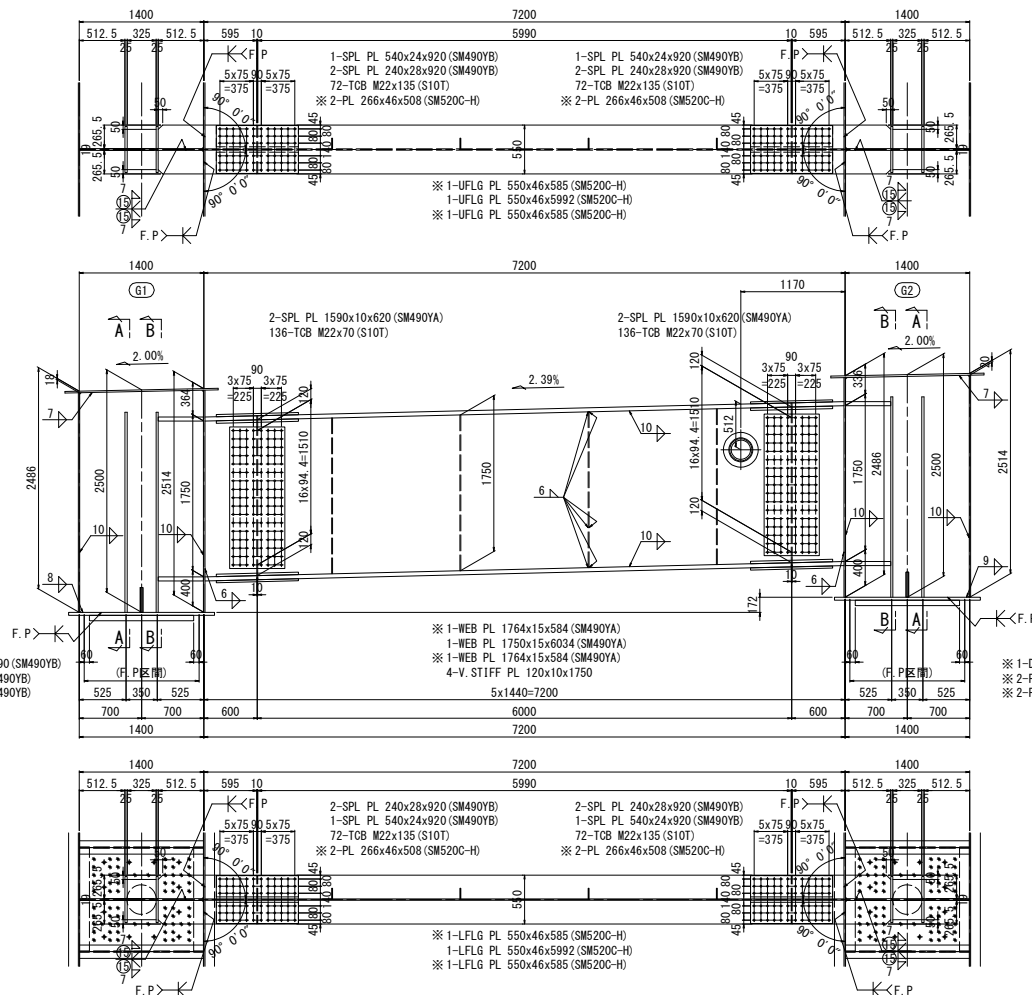
スタッドジベル配置図 S=1:20



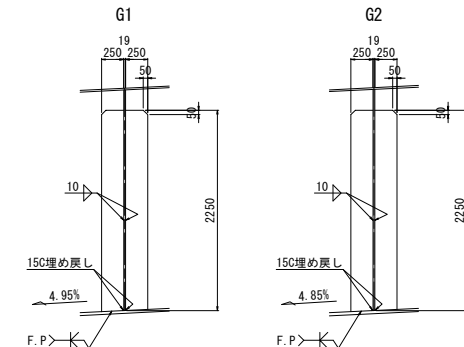
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーアップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. ※印材料は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上廊工) 工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 端支点と横橋(その2)
縮 尺	図 示 図面番号 68 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 務 所

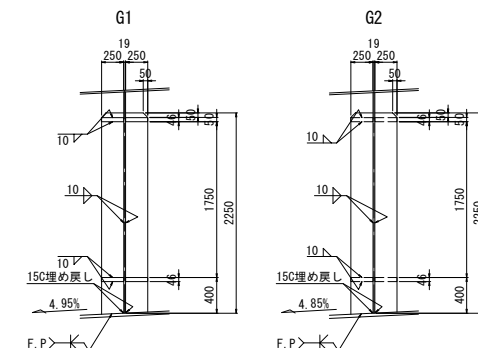
P1



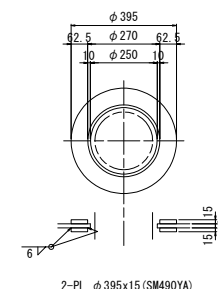
A - A



B - B

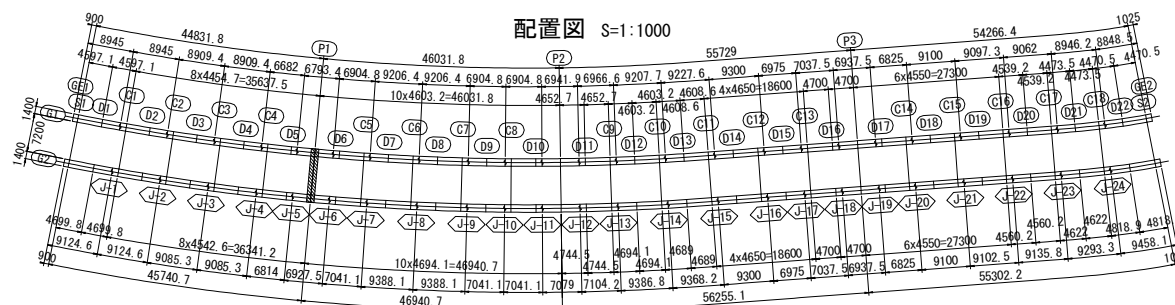


排水貫通孔補強詳細 S=1:20



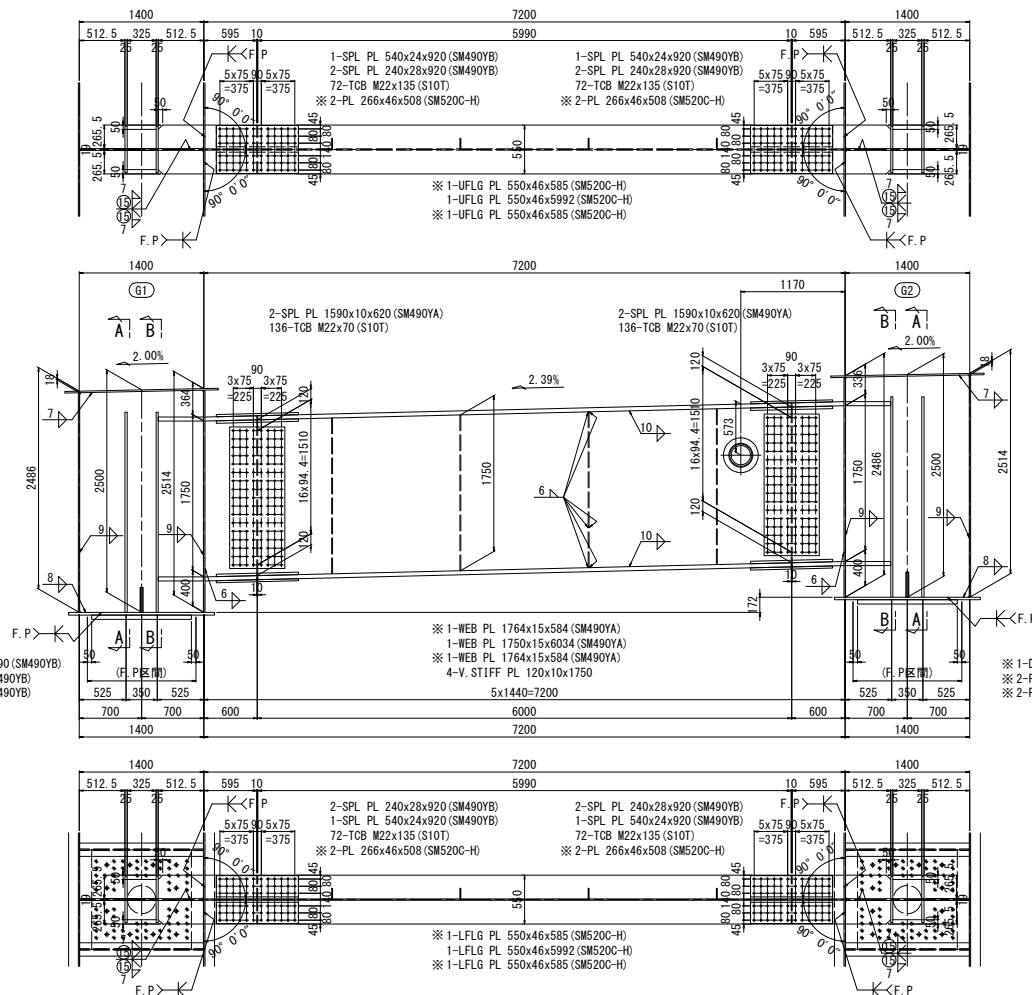
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材料は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

配置図 S=1:1000

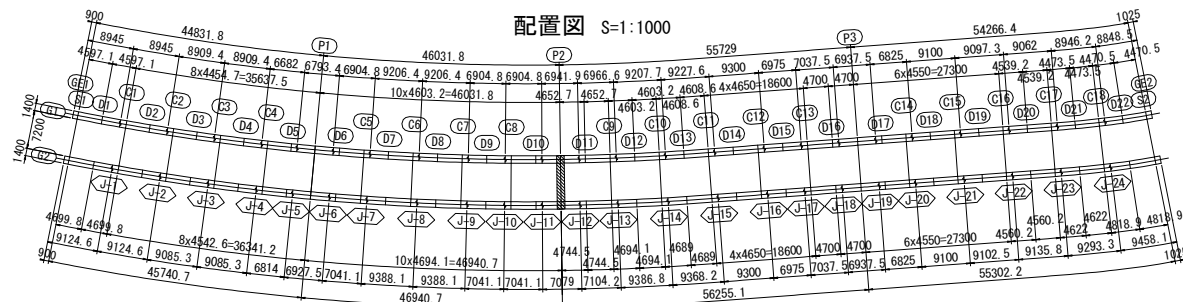


長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間支点上横桁(その1)			
縮尺	図示	図面番号	69 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

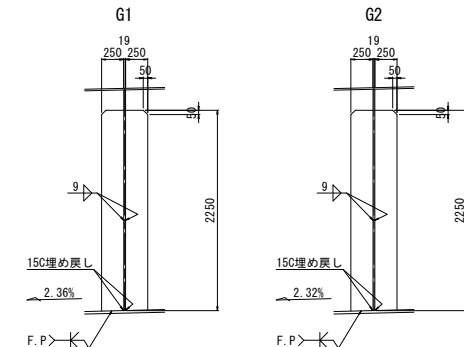
P2



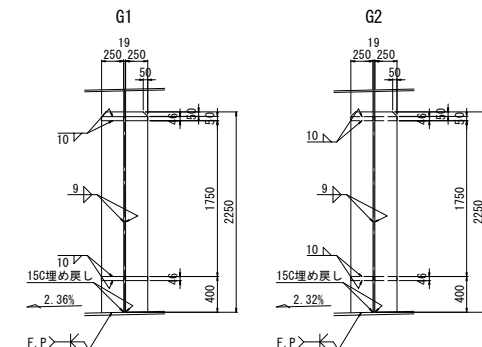
配置図 S=1:1000



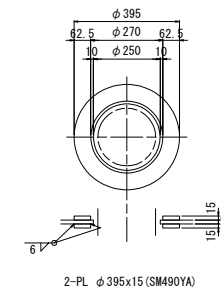
A - A



B - B

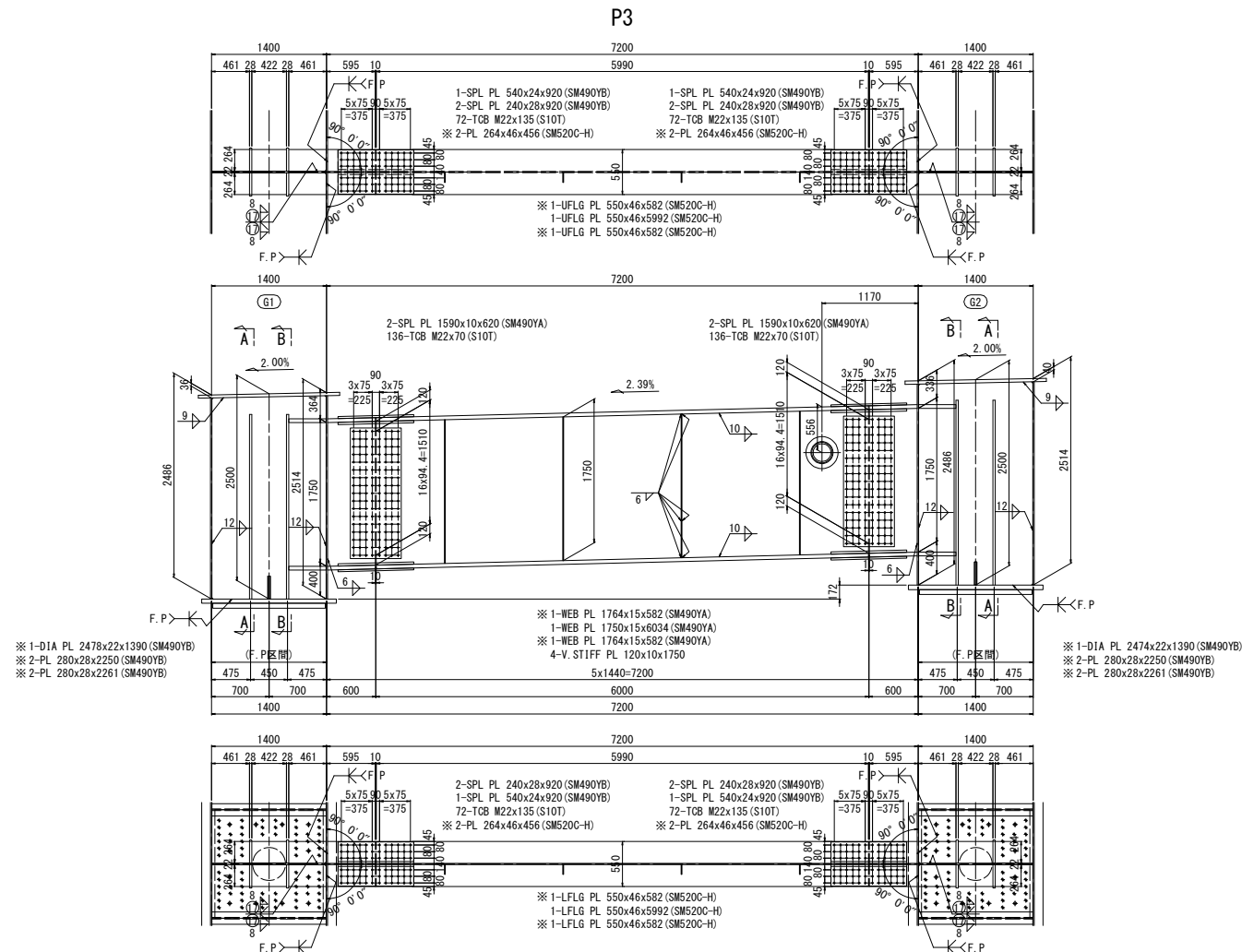


排水貫通孔補強詳細 S=1:20



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材料は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

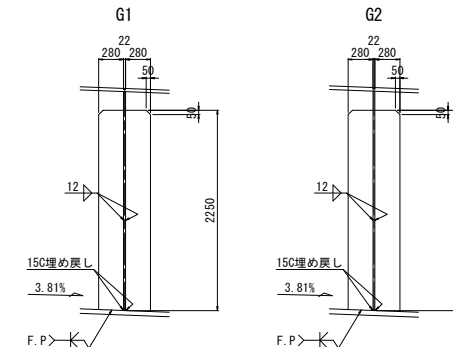
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間支点上横析（その2）
縮 尺	図 示 図面番号 70 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 島 野 工 事 課 所



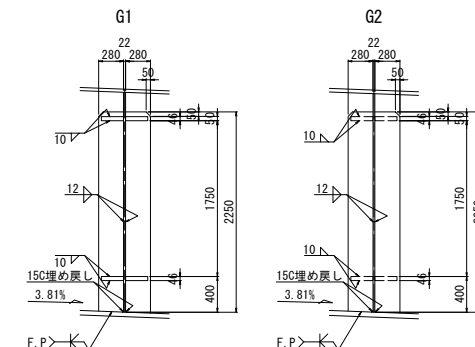
※ 1-DIA PL 2478x22x1390 (SM490YB)
 ※ 2-PL 280x28x2250 (SM490YB)
 ※ 2-PL 280x28x2261 (SM490YB)

※ 1-DIA PL 2474x22x1390 (SM490YB)
 ※ 2-PL 280x28x2250 (SM490YB)
 ※ 2-PL 280x28x2261 (SM490YB)

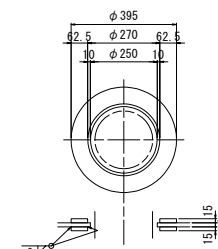
A - A



B - B



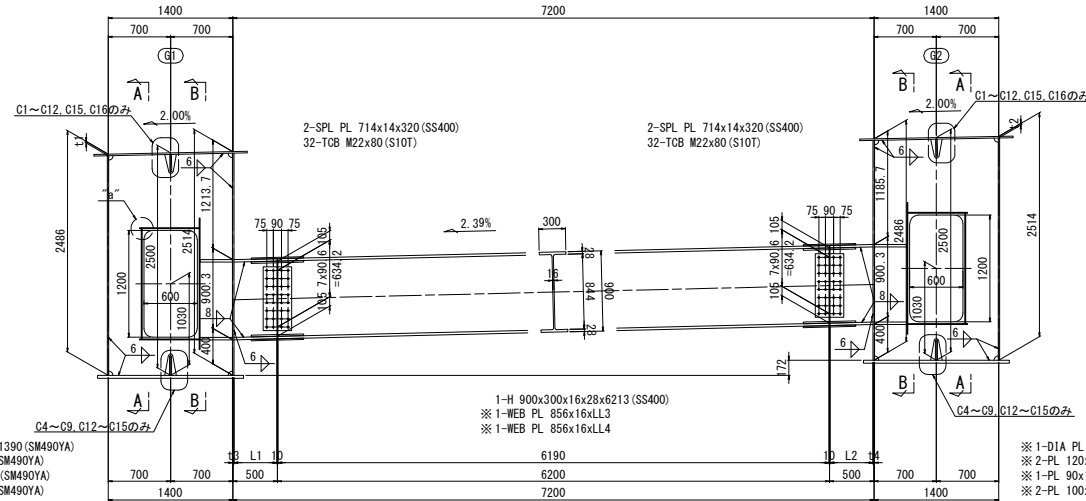
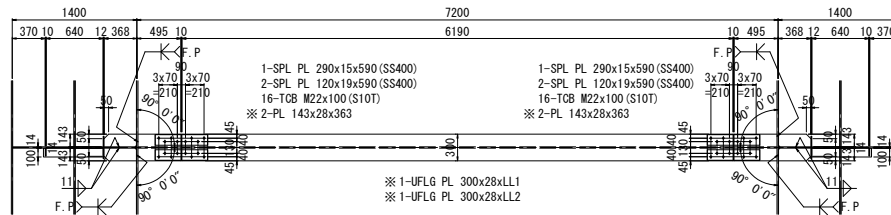
排水貫通孔補強詳細 S=1:20



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

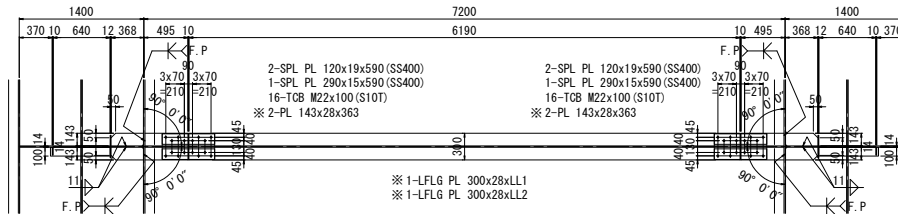
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間支点上横桁（その3）			
縮尺	図示	図面番号	71 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

C1~C16

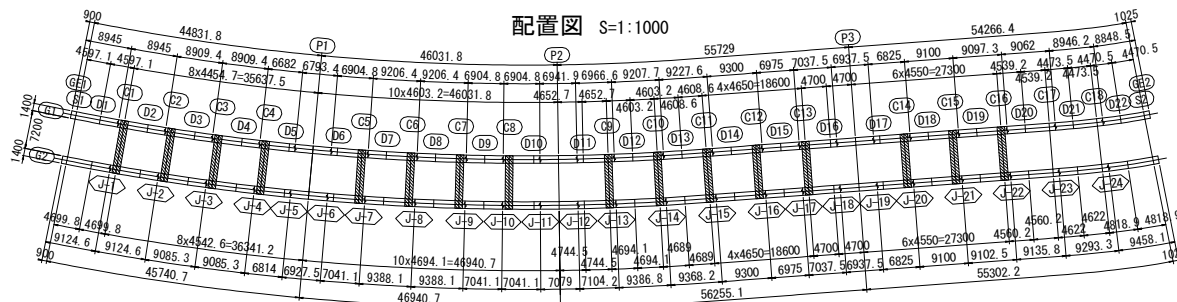


※1-D1A PL LL5x14x1390 (SM490YA)
※1-PL 90x10x1240 (SM490YA)
※2-PL 120x12x1480 (SM490YA)
※2-PL 100x10x670 (SM490YA)

※1-D1A PL LL6x14x1390 (SM490YA)
※2-PL 120x12x1480 (SM490YA)
※1-PL 90x10x1240 (SM490YA)
※2-PL 100x10x670 (SM490YA)

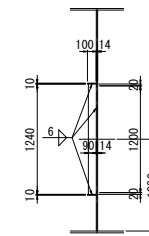


配置図 S=1:1000

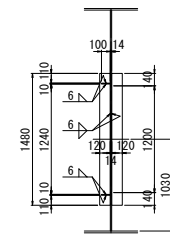


	t1	t2	t3	t4	L1	L2	LL1	LL2	LL3	LL4	LL5	LL6
C1	23	23	14	14	486	486	486	486	486	486	2491	2491
C2	23	23	12	14	488	486	488	486	488	488	2491	2491
C3	21	21	14	14	486	486	486	486	486	486	2493	2493
C4	18	18	16	16	484	484	484	484	484	484	2496	2496
C5	18	18	16	16	484	484	484	484	484	484	2496	2496
C6	16	16	14	14	486	486	486	486	486	486	2498	2498
C7	18	18	12	12	488	488	488	488	488	488	2496	2496
C8	18	18	16	16	484	484	484	484	484	484	2496	2496
C9	18	18	16	16	484	484	484	484	484	484	2496	2496
C10	20	21	14	14	486	486	486	486	486	486	2494	2493
C11	20	21	12	12	488	488	488	488	488	488	2494	2493
C12	20	21	14	14	486	486	486	486	486	486	2494	2493
C13	31	35	16	16	484	484	484	484	484	484	2483	2479
C14	27	32	18	18	482	482	482	482	482	482	2487	2482
C15	19	19	16	16	484	484	484	484	484	484	2495	2495
C16	24	25	14	14	486	486	486	486	486	486	2490	2489

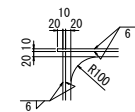
A - A



B - B



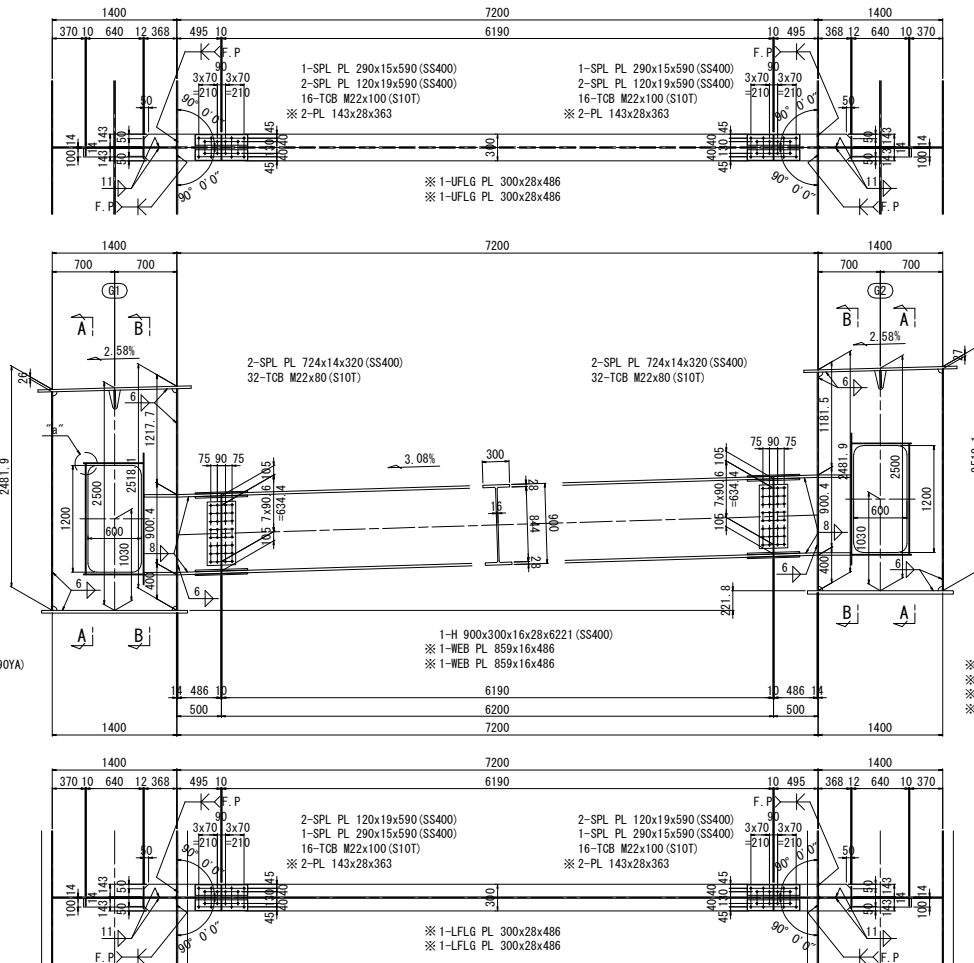
"a"部詳細 S=1:20



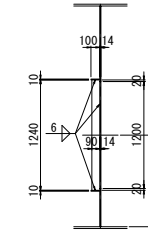
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	72 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

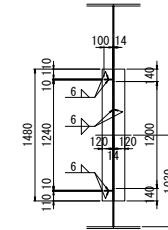
C17



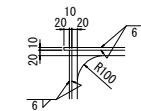
A - A



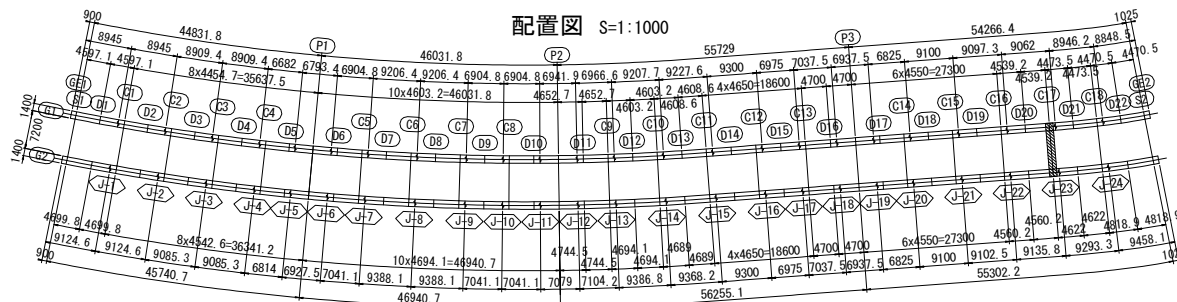
B - B



“a”部詳細 S=1:20



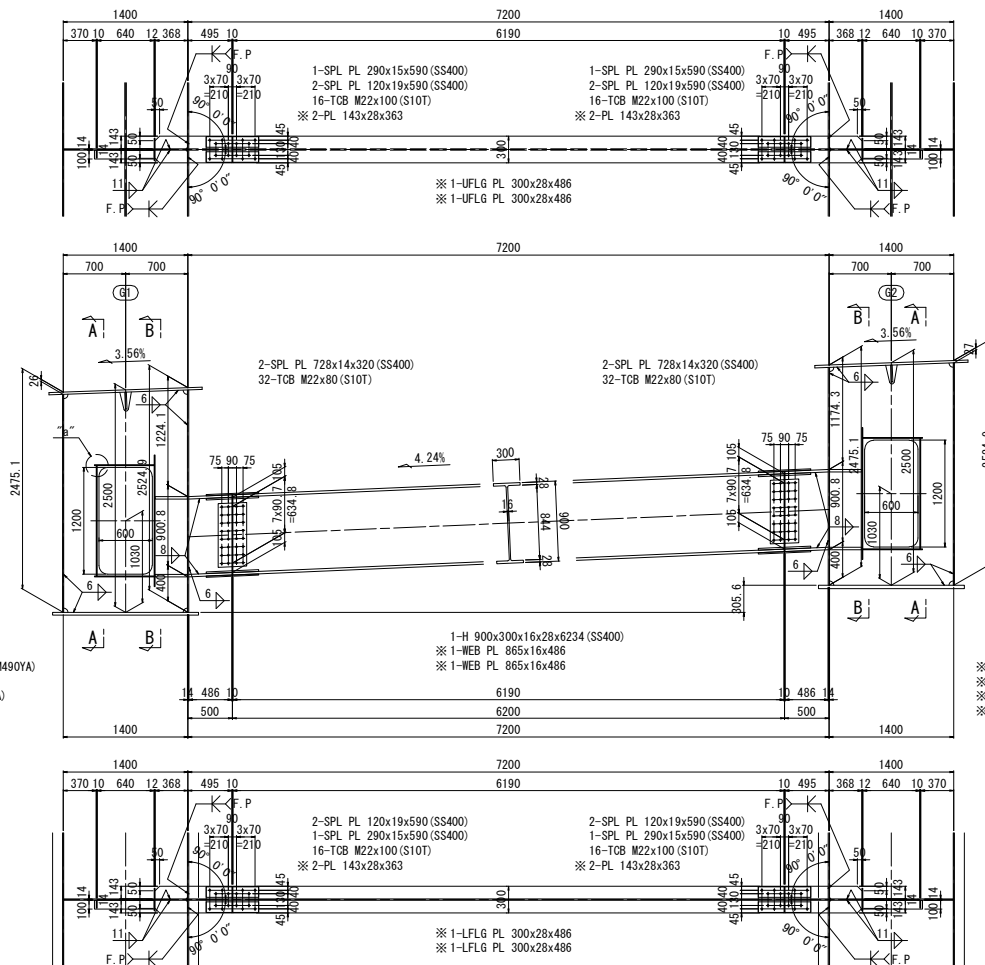
配置図 S=1:1000



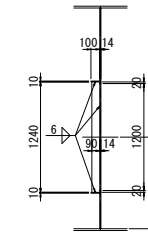
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間横桁(その2)		
縮尺	図示	図面番号	73 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

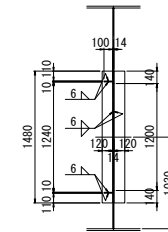
C18



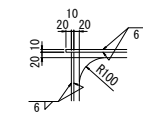
A - A



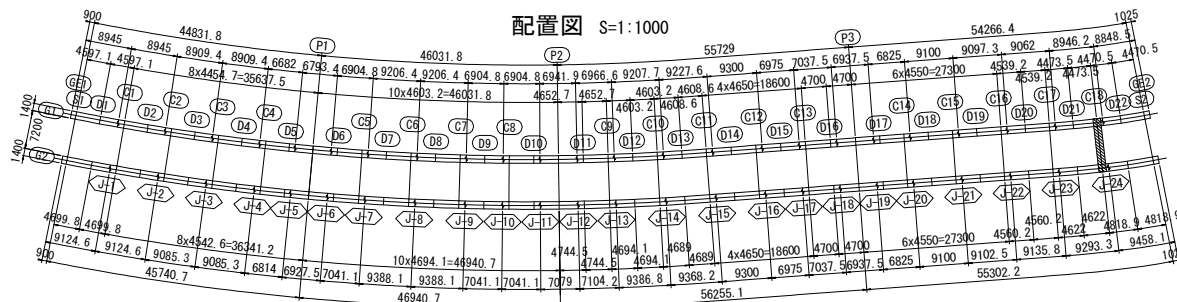
B - B



"a"部詳細 S=1:20

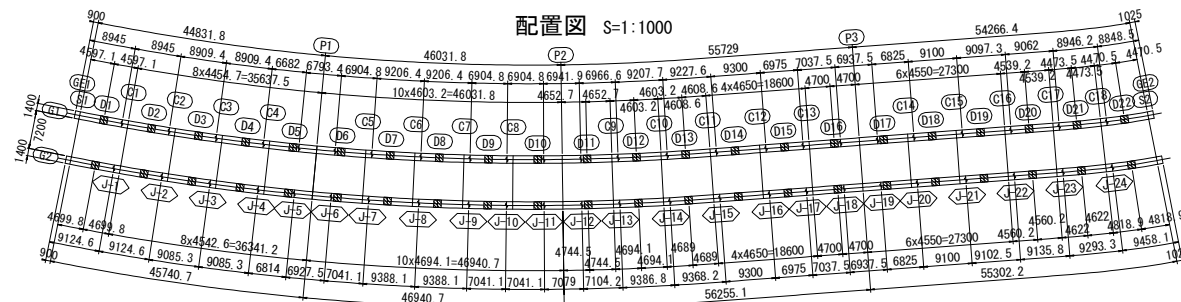
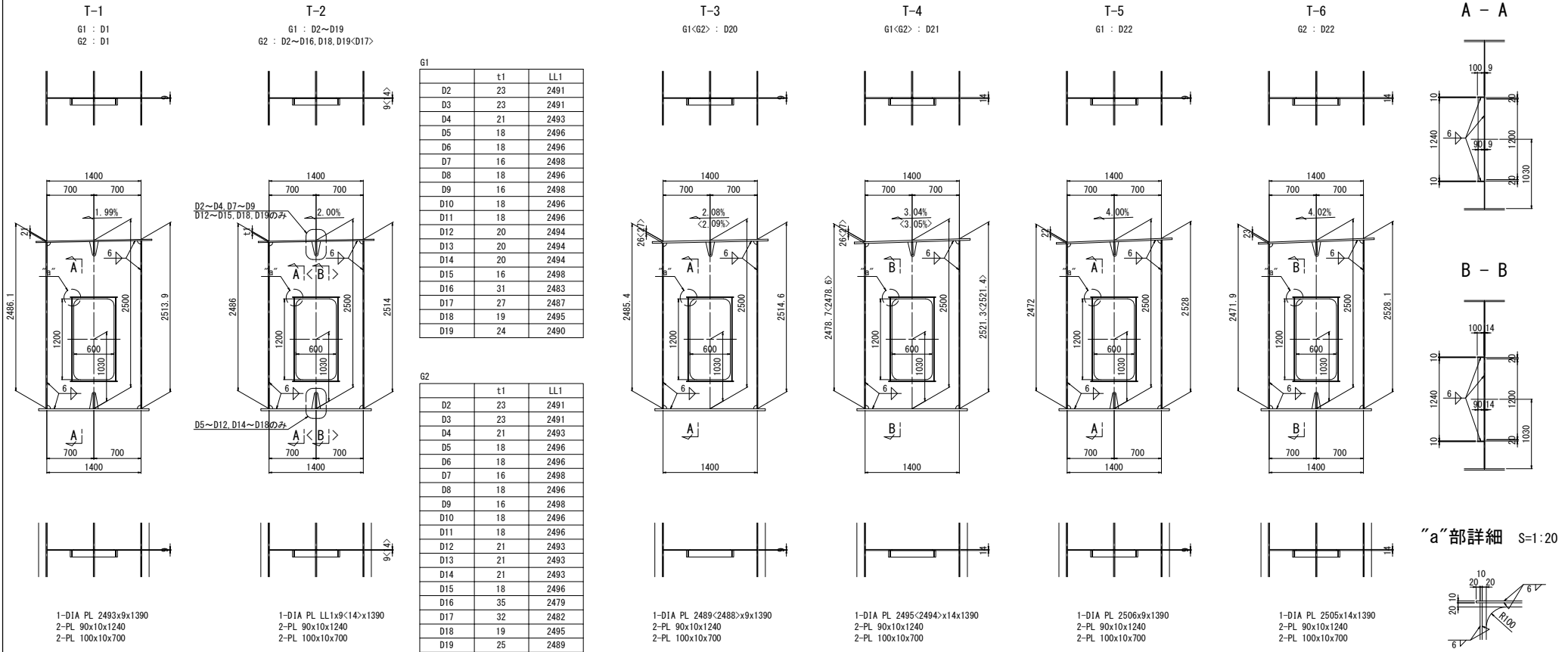


配置図 S=1:1000



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. ※印材は主桁にて計上する。
 5. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間横桁(その3)		
縮尺	図示	図面番号	74 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



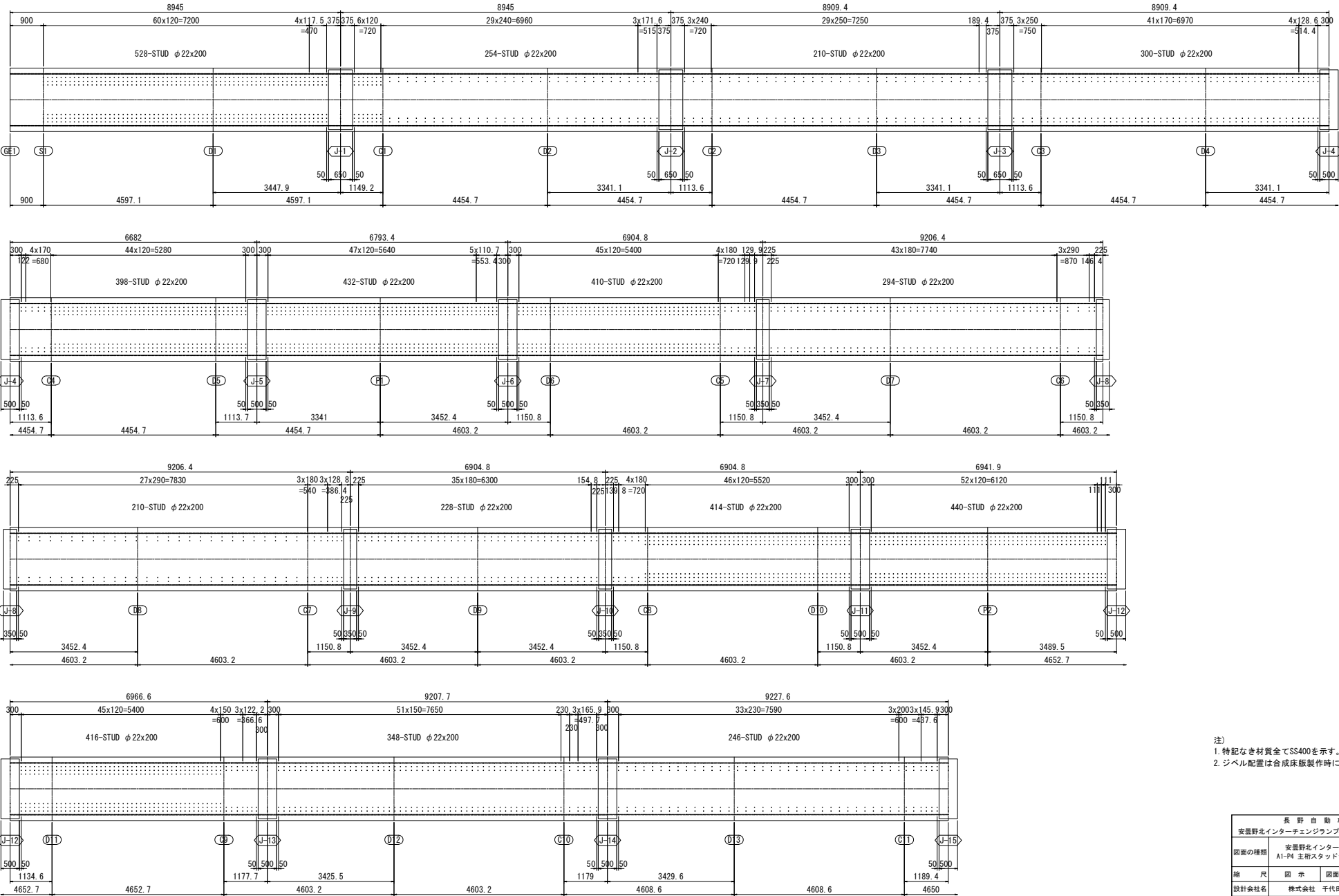
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 材料は主桁にて計上する。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 中間ダイヤフラム
縮尺	図示 図面番号 75 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その1)

S=1:100

G1



- 注)
1. 特記なき材質全てでSS400を示す。
2. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。

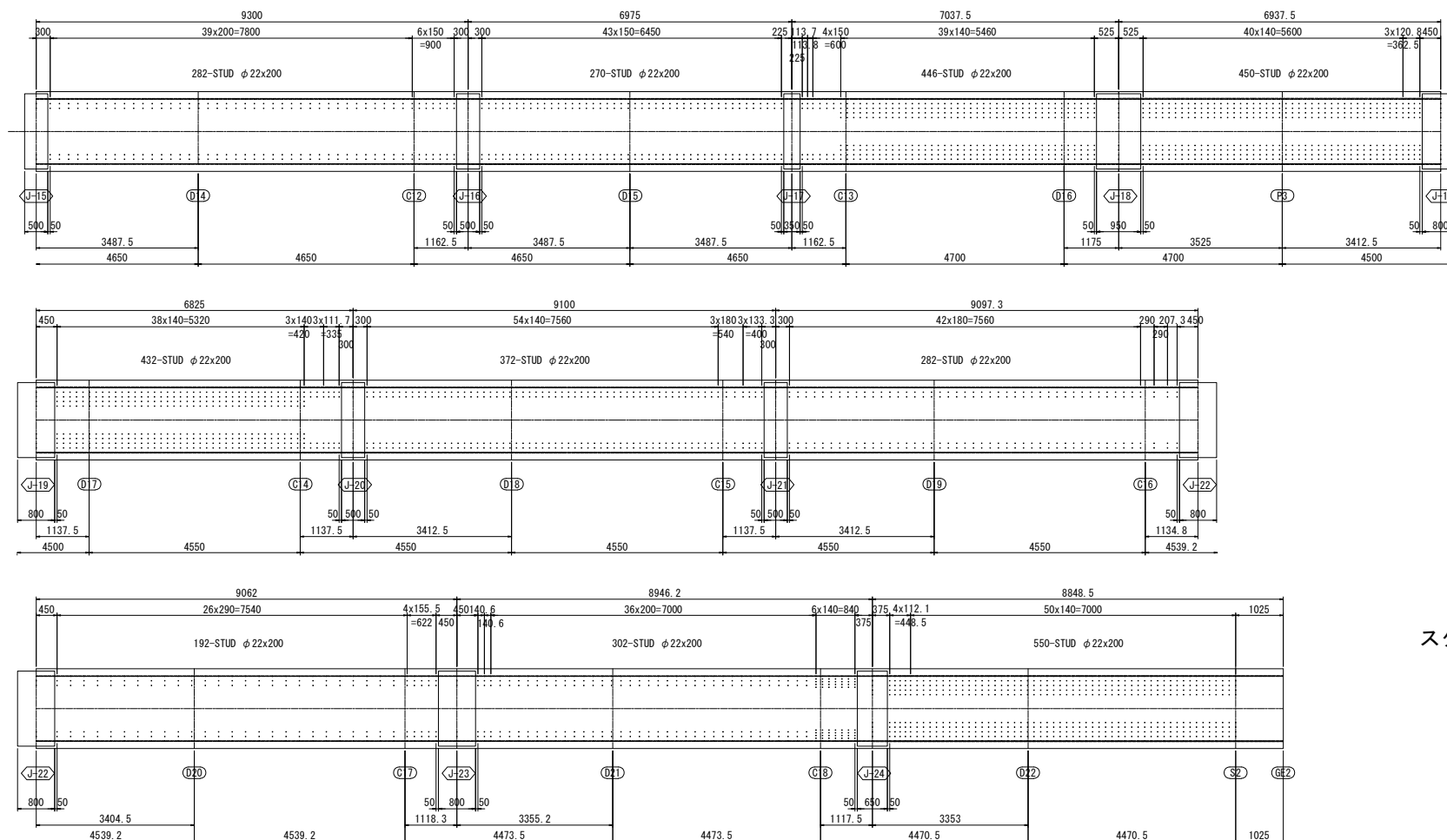
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部分）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	76 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その2)

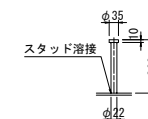
S=1:100

77 / 256

G1



スタッドジベル詳細 S=1:20

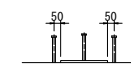
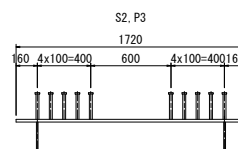
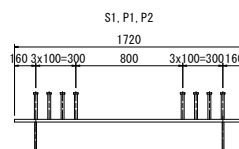
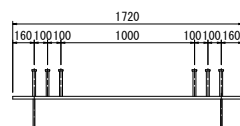


スタッドジベル配置図 S=1:40

添接部橋軸方向スタッド配置図 S=1:40

一般部

支点部



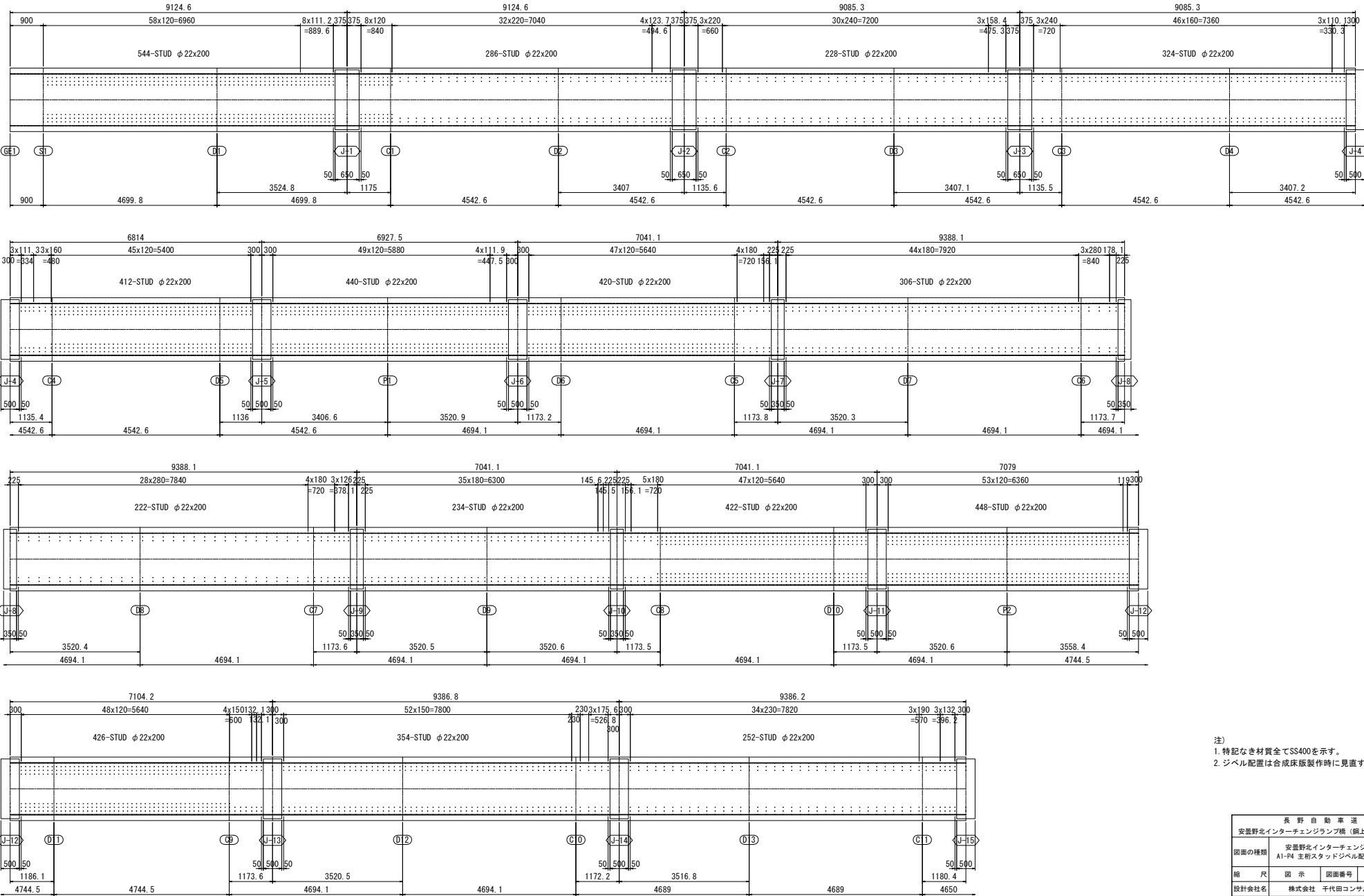
- 注)
1. 特記なき材質全てをSS400を示す。
 2. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	77 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その3)

S=1:100

G2



注)
1. 特記なき材質全てでSS400を示す。
2. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。

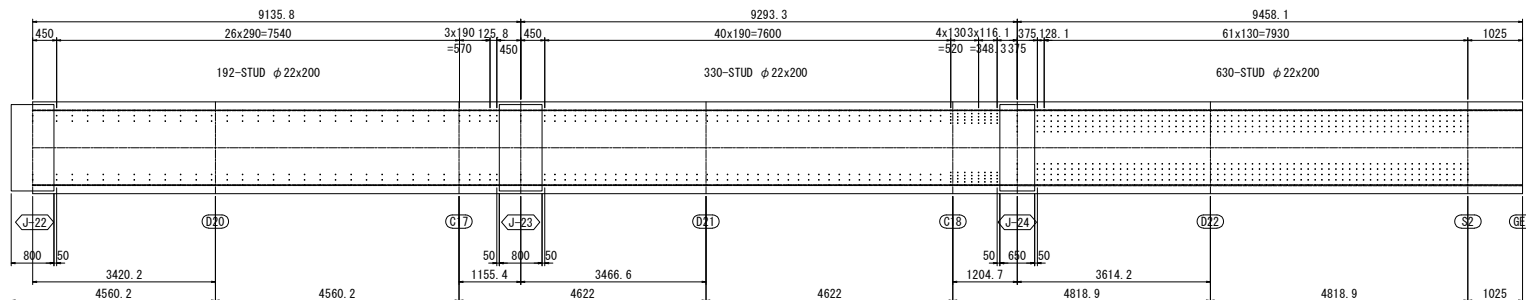
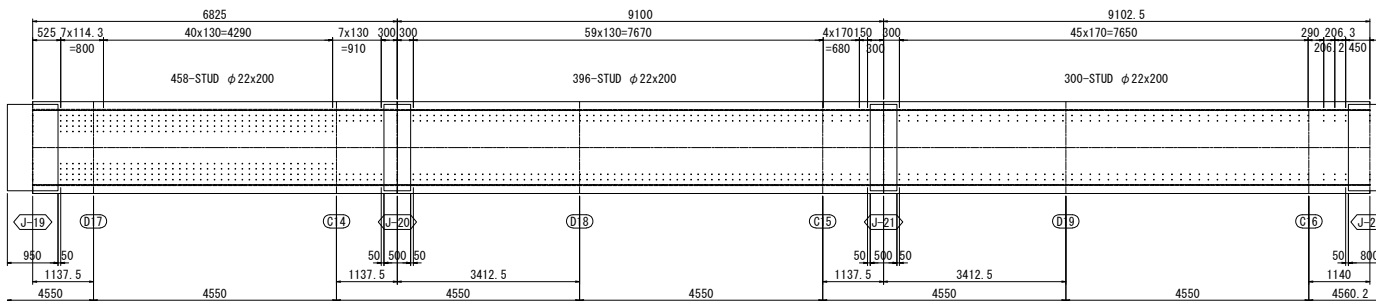
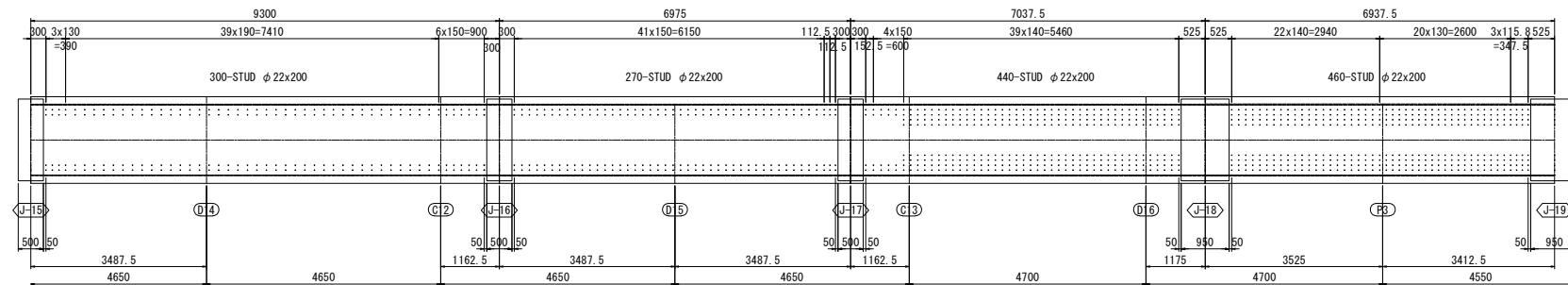
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上鋼工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	78 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図(その4)

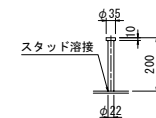
G2

S=1:100

79 / 256



スタッドジベル詳細 S=1:20

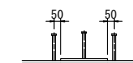
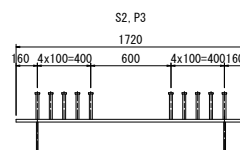
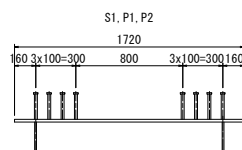
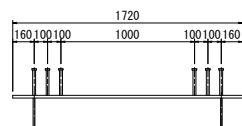


スタッドジベル配置図 S=1:40

添接部橋軸方向スタッド配置図 S=1:40

一般部

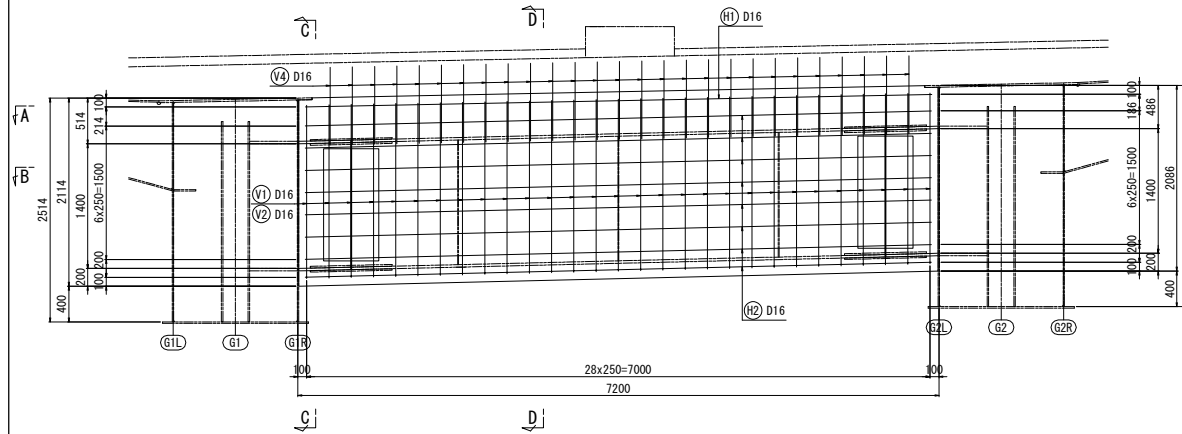
支点部



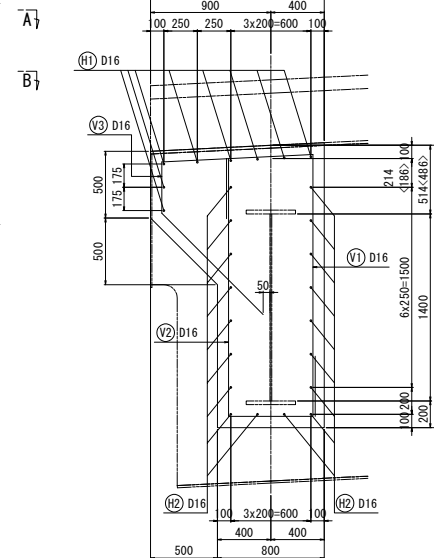
- 注)
1. 特記なき材質全てでSS400を示す。
 2. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。

長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 主桁スタッドジベル配置図（その4）			
縮尺	図示	図面番号	79 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

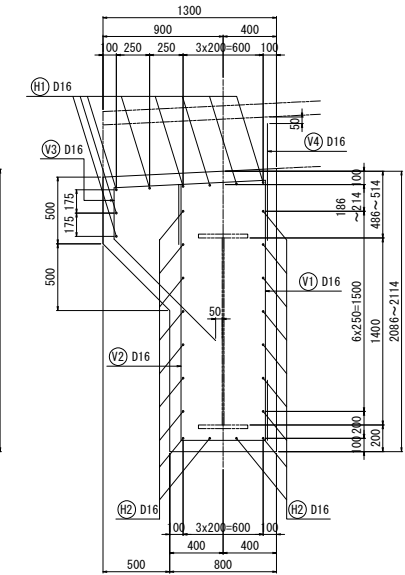
S1



C - C S=1:20
G1R<G2L>

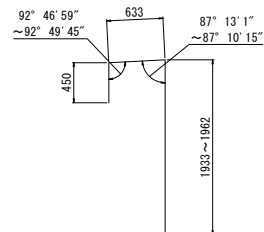
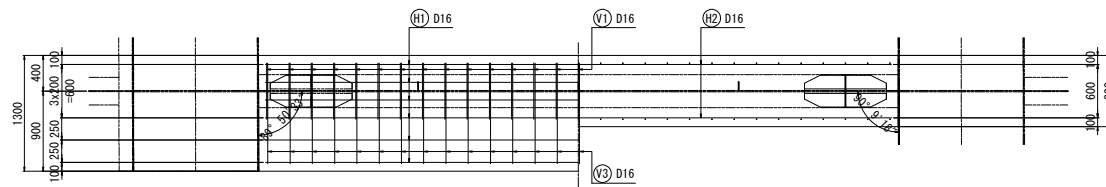


D - D S=1:20

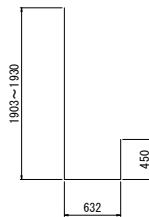


A - A

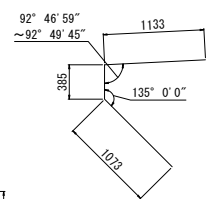
B - B



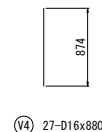
Ⓥ1 29-D16x2990 (平均長)



Ⓥ2 29-D16x2960 (平均長)



Ⓥ3 29-D16x2570 (平均長)



Ⓥ4 27-D16x880

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
V1	D16	2990	29	1.56	4.66	135	(平均長)
V2	D16	2960	29	1.56	4.62	134	(平均長)
V3	D16	2570	29	1.56	4.01	116	(平均長)
V4	D16	880	27	1.56	1.37	37	
H1	D16	7040	8	1.56	10.98	88	
H2	D16	7040	18	1.56	10.98	198	
鉄筋質量						708	Kg
合計						708	Kg

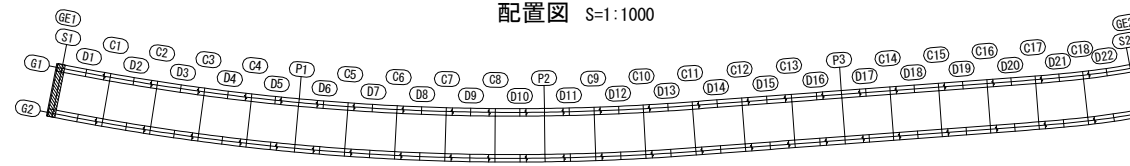
鉄筋加工寸法表

$\theta \leq 90^\circ$				$\theta > 90^\circ$			
$R = 3\phi$				$R = 5.5\phi$			
	θ	R	a		θ	R	a
$\Delta L = 2L - a$				$\theta = 135^\circ$			
径	R	a	ΔL	R	a	ΔL	
D16	48	75	21	88	69	4	

注記

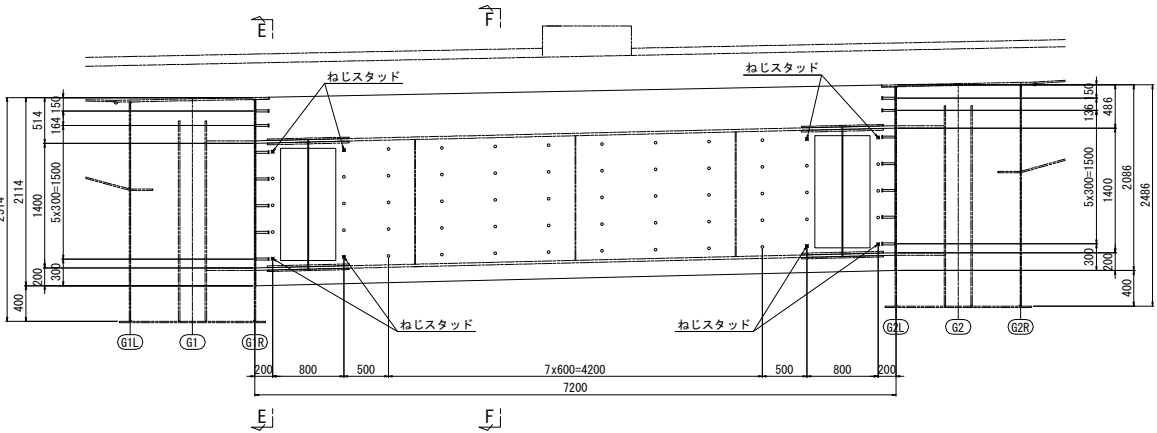
- 特記なき鉄筋の材質はSD345とする。
- コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ とする。

配置図 S=1:1000



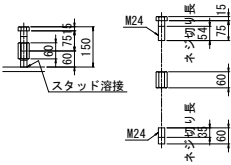
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 巻き立てコンクリート(その1)		
縮尺	図示	図面番号	80 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

S1



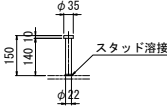
- ※ 19-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400) 92-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400) ※ 19-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 6-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400) 8-Bolt M24x75 (SS400) ※ 6-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 4-Bolt M24x75 (SS400) 8-カブラー M24x60 (SS400) ※ 4-Bolt M24x75 (SS400)
※ 4-カブラー M24x60 (SS400) 8-ネジ付き溶接スタッド M24x60 (SS400) ※ 4-カブラー M24x60 (SS400)
※ 4-ネジ付き溶接スタッド M24x60 (SS400) ※ 4-ネジ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)

ねじスタッド詳細図 S=1:20

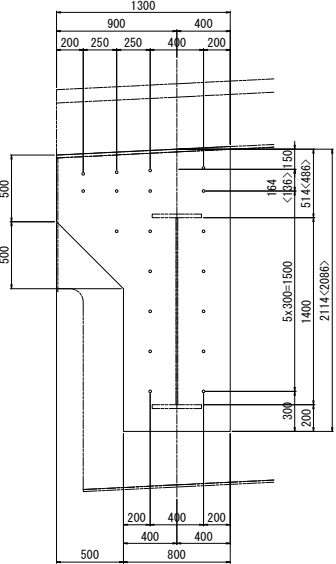


- ※ 1-Bolt M24x75 (SS400)
※ 1-NUT M24x60 (SS400) [カブラー]
※ 1-ネジ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)

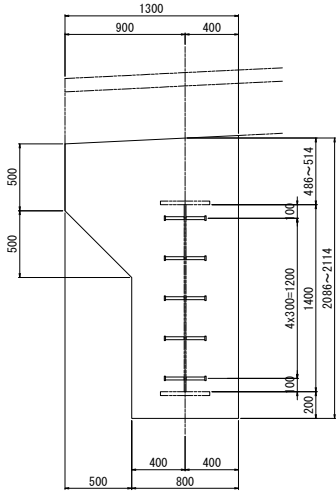
スタッドジベル詳細 S=1:20



E - E S=1:40
G1R<G2L>



F - F S=1:40

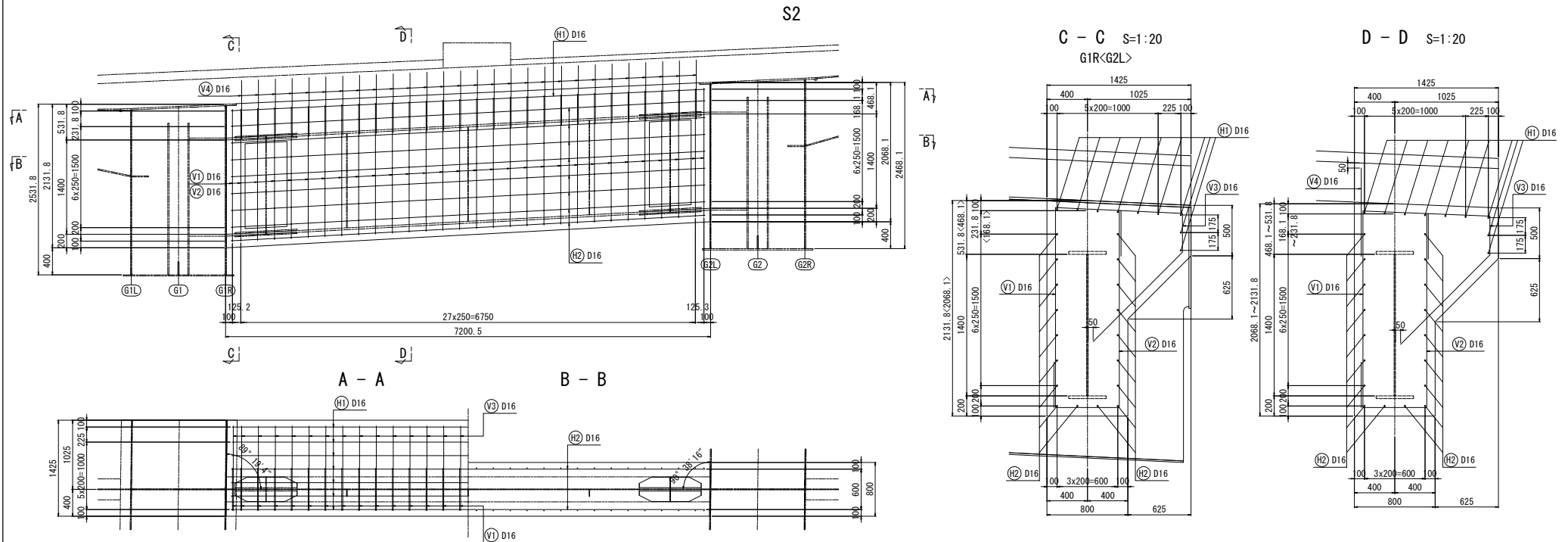


配置図 S=1:1000



- 注記
1. 特記なき鉄筋の材質はSD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印材料は主桁にて計上する。
4. 図印はねじ付きスタッド M24を示す。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 巻き立てコンクリート(その2)		
縮尺	図示	図面番号	81 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
V1	D16	2990	30	1.56	4.66	140	(平均長)
V2	D16	2960	30	1.56	4.62	139	(平均長)
V3	D16	2870	30	1.56	4.48	134	(平均長)
V4	D16	880	28	1.56	1.37	38	
H1	D16	7040	9	1.56	10.98	99	
H2	D16	7050	18	1.56	11.00	198	
鉄筋質量						D16	748 Kg
合計							748 Kg

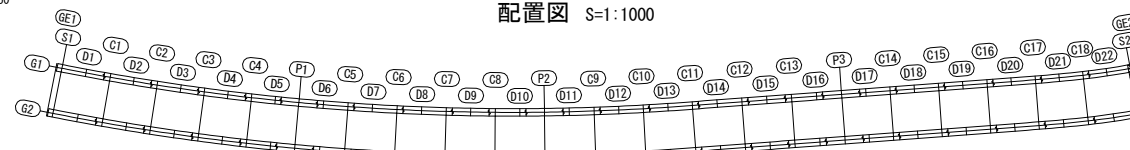
鉄筋加工寸法表

$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3\phi$				$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5\phi$			
$\Delta L = 2L - a$				$\theta = 135^\circ$			
径	R	a	ΔL	R	a	ΔL	
D16	48	75	21	88	69	4	

注記

- 特記なき鉄筋の材質はSD345とする。
- コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

配置図 S=1:1000

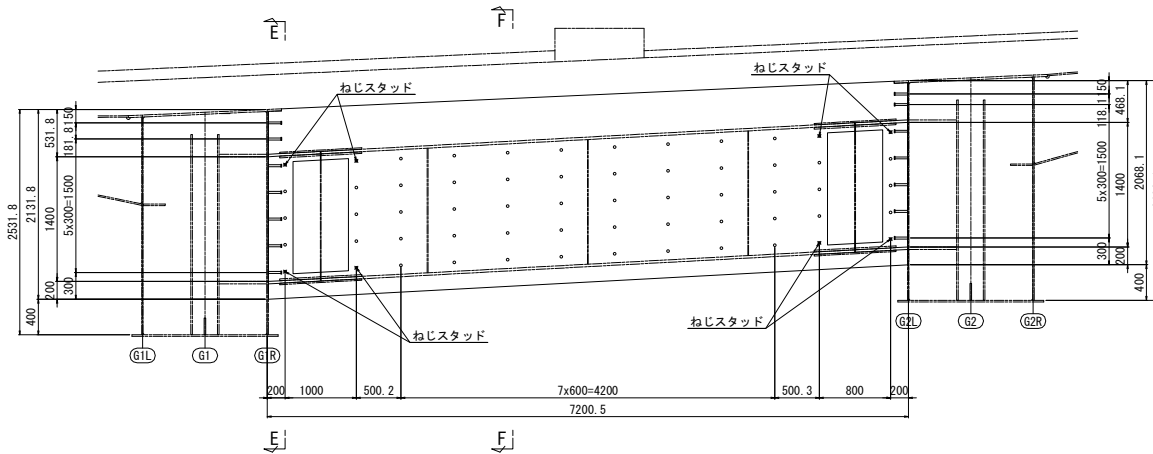


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上廊工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 巻き立てコンクリート(その3)		
縮尺	図示	図面番号	82 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタン		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

S2

E - E S=1:40
G1R<G2L>

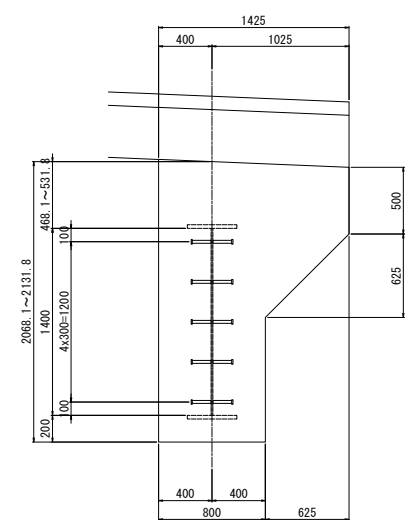
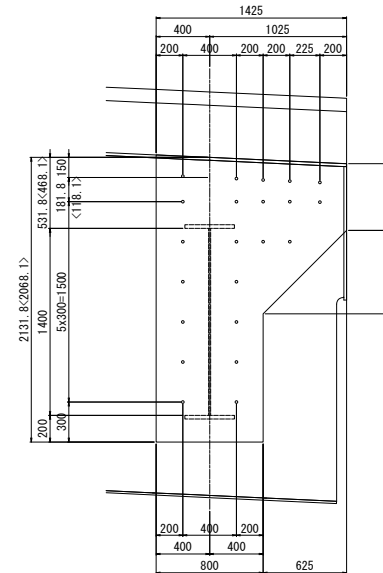
F - F S=1:40



※ 22-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 6-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 4-Bolt M24x75 (SS400)
※ 4-カブラー M24x60 (SS400)
※ 4-ねじ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)

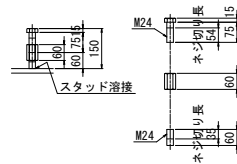
92-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
8-Bolt M24x75 (SS400)
8-カブラー M24x60 (SS400)
8-ねじ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)

※ 22-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 6-STUD $\phi 22 \times 150$ (SS400)
※ 4-Bolt M24x75 (SS400)
※ 4-カブラー M24x60 (SS400)
※ 4-ねじ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)

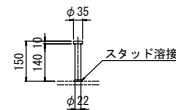


ねじスタッド詳細図 S=1:20

スタッドジベル詳細 S=1:20



※ 1-Bolt M24x75 (SS400)
※ 1-NUT M24x60 (SS400) [カブラー]
※ 1-ねじ付き溶接スタッド M24x60 (SS400)



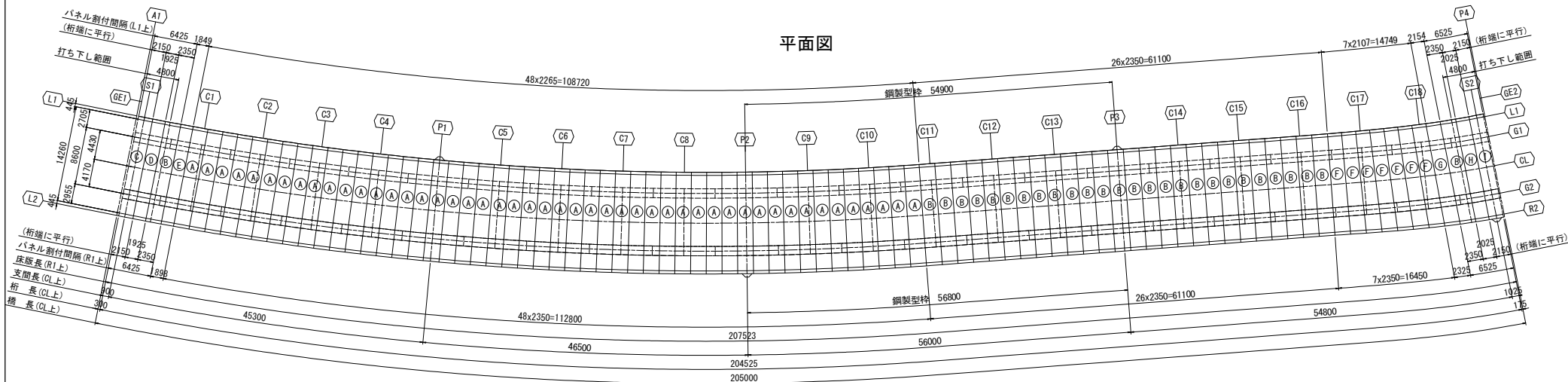
配置図 S=1:1000

注記

1. 特記なき鉄筋の材質はSD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印材料は主桁にて計上する。
4. 区印はねじ付きスタッド M24を示す。

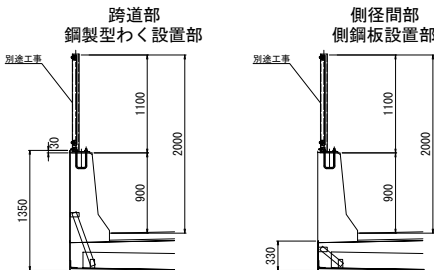
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 巻き立てコンクリート(その4)		
縮尺	図示	図面番号	83 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

平面図



壁高欄詳細図 (参考)

S=1:60

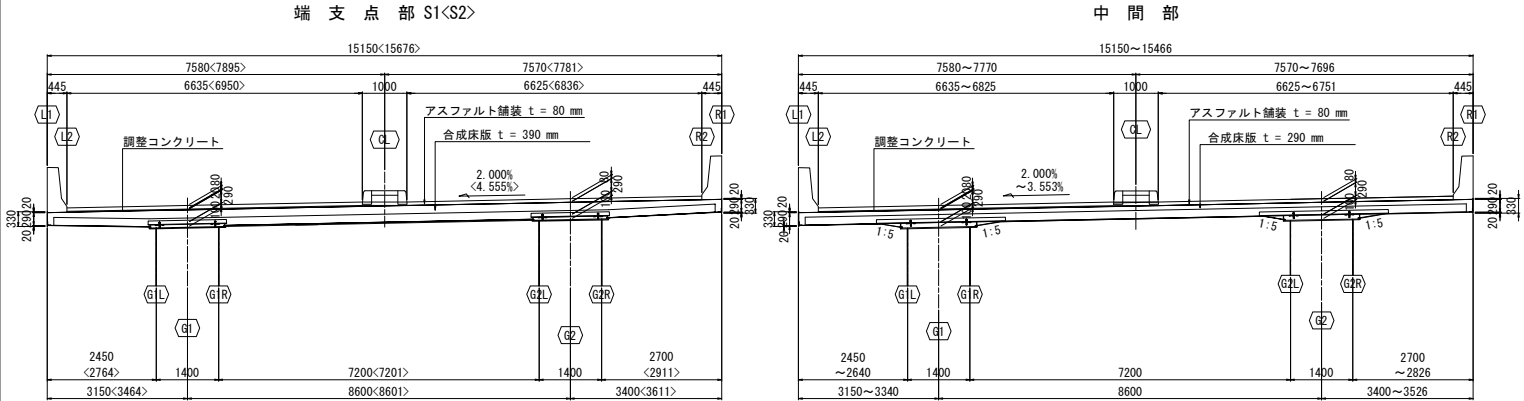


数量総括表

		種 別	単 位	数 量	備 考
床版部	1	合成床版面積	日本橋梁建設協会標準合成床版 床版厚290mm ハンチ高100mm	m ²	2256.7
	2	防水層面積		m ²	848.4
	3	コンクリート体積	床版部 (膨張材使用)	m ³	1007.4
	4	パネル数	A B=15150, L1=2265, L2=2350	パネル	36
			B B=15150, L1=2350, L2=2350	パネル	15
			C B=15150, L1=2150, L2=2150	パネル	1
			D B=15150, L1=1925, L2=1925	パネル	1
			E B=15150, L1=1849, L2=1898	パネル	1
			F B=15308, L1=2107, L2=2350	パネル	7
			G B=15308, L1=2154, L2=2325	パネル	1
			H B=15308, L1=2025, L2=2025	パネル	1
			I B=15676, L1=2150, L2=2150	パネル	1
			A B=15150, L1=2265, L2=2350	パネル	12
			B B=15150, L1=2350, L2=2350	パネル	13
	5	シール材延長	主桁上シール材	m	593.9
			合成床版接合部シール材	m	224.0
				m	801.0

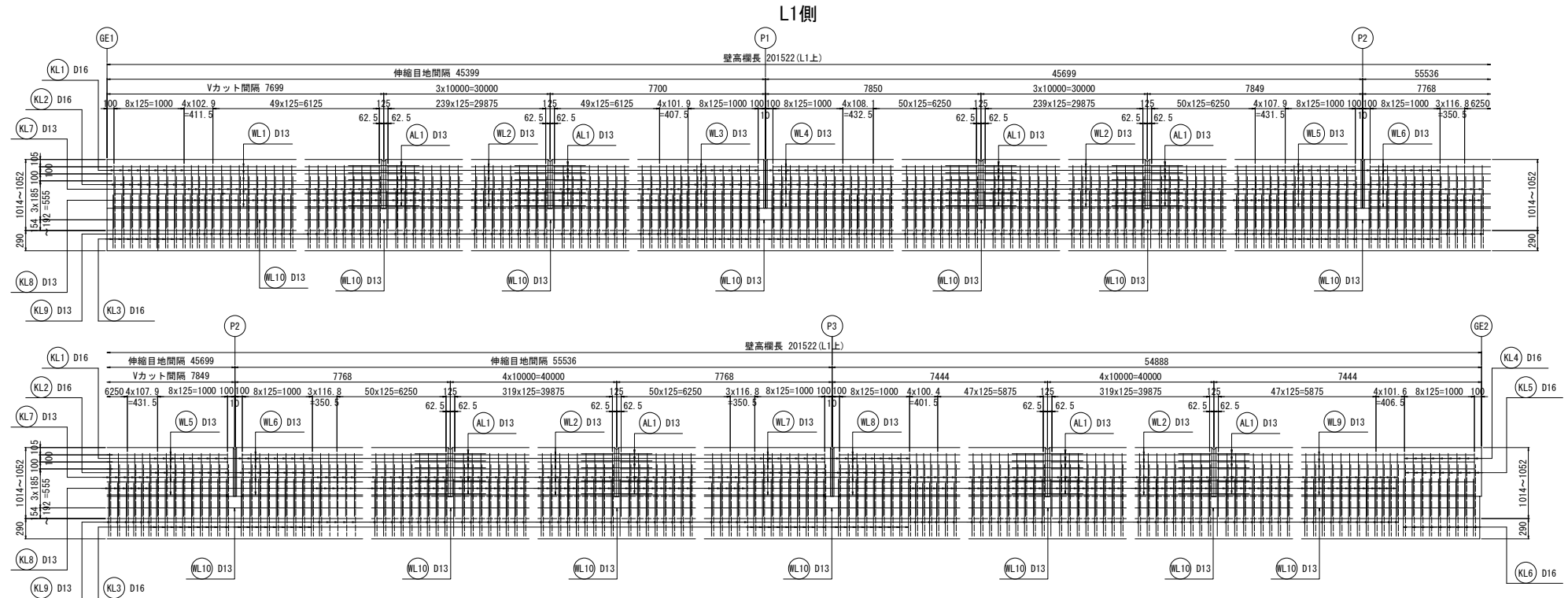
		種 別		単 位	数 量	備 考		
壁 高 欄 部	跨 道 部	1	鋼製型わく延長	L1 側	桁端部 (H = 1.350 m)	m	0	P2-P3支間
					一般部 (H = 1.350 m)	m	55.5	
				R1 側	桁端部 (H = 1.350 m)	m	0	
					一般部 (H = 1.350 m)	m	56.5	
	側 径 間 部	2	シール材延長	合成床版と側鋼板取合部シール材		m	113.9	
				1	側鋼板延長	L1 側	桁端部 (H = 0.330 m)	m
			一般部 (H = 0.330 m)			m	136.4	
		R1 側	桁端部 (H = 0.330 m)			m	9.6	
			一般部 (H = 0.330 m)			m	141.5	
		2	シール材延長	合成床版と側鋼板取合部シール材		m	300.2	

断面図 S=1:120

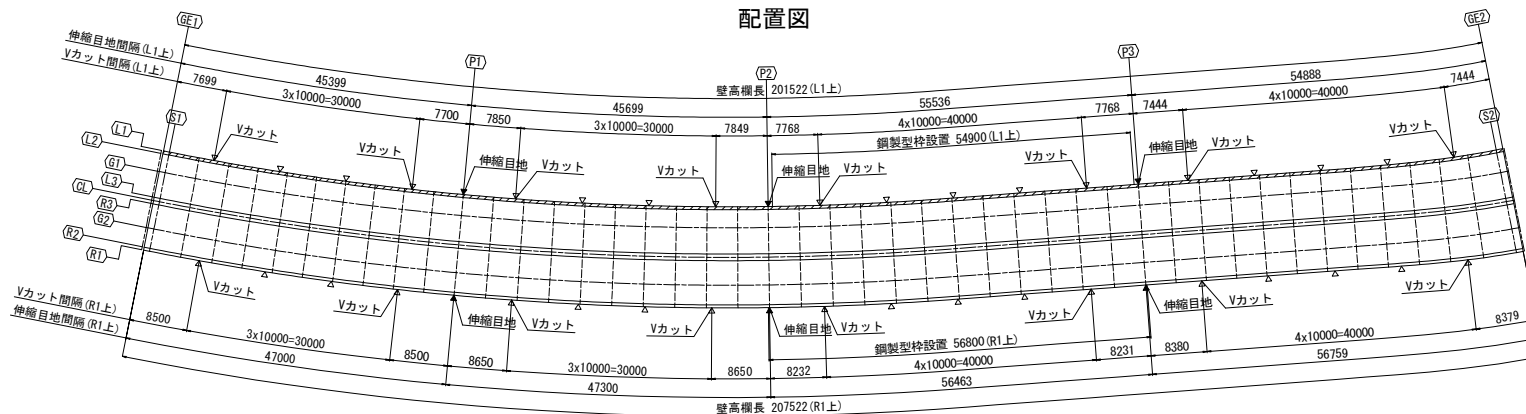


- 注記
- 伸縮装置との取り合いは、伸縮装置詳細図を参照のこと。
 - 底鋼板および側鋼板の防錆処理は塗装仕様とし、コンクリート接触面はシンク仕上げとする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上鋼工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 合成床版割付図		
縮 尺	図 示	図面番号	84 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社		
事務所名	長 野 工 事 事 務 所		

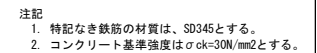


配置図



- 注記
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
 2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上欄工)工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 壁高欄配筋図(その1)
縮尺	図示
図面番号	85 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

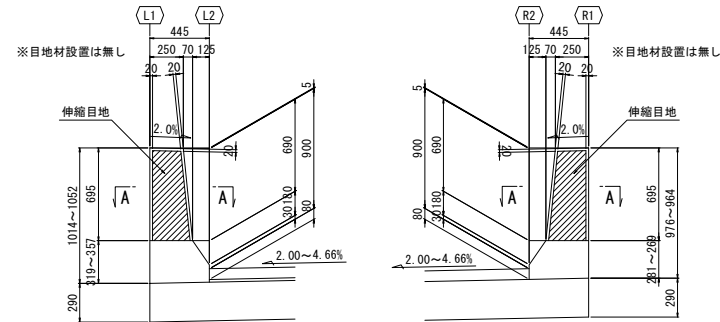
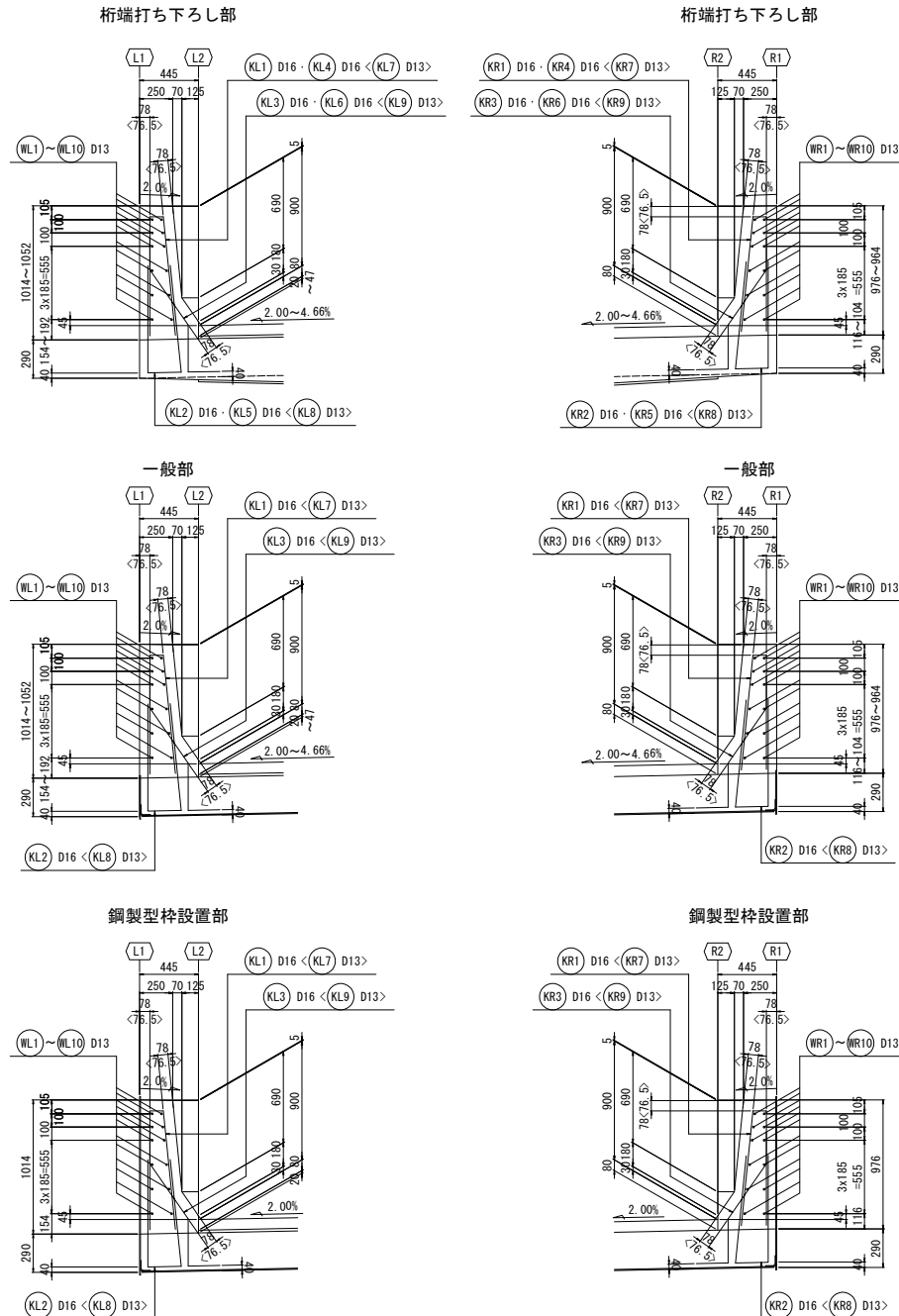


長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1~P4 壁高欄配筋図（その2）
縮 尺	図 示 図面番号 86 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

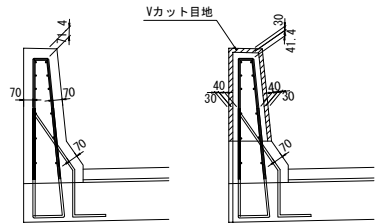
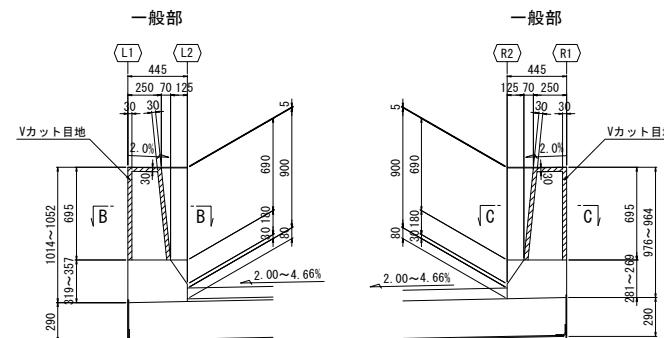
断面図

伸縮目地詳細

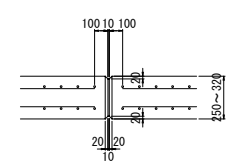
かぶり詳細図



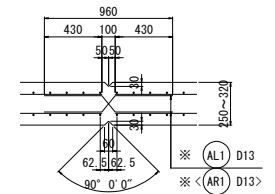
Vカット詳細



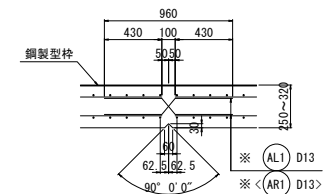
A-A



B-B <C-C>



D-D <E-E>

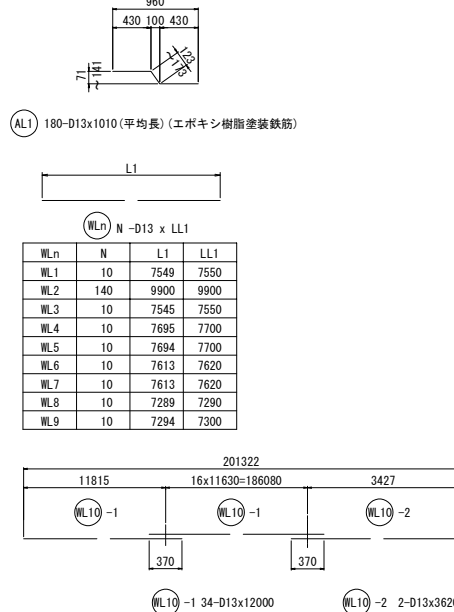
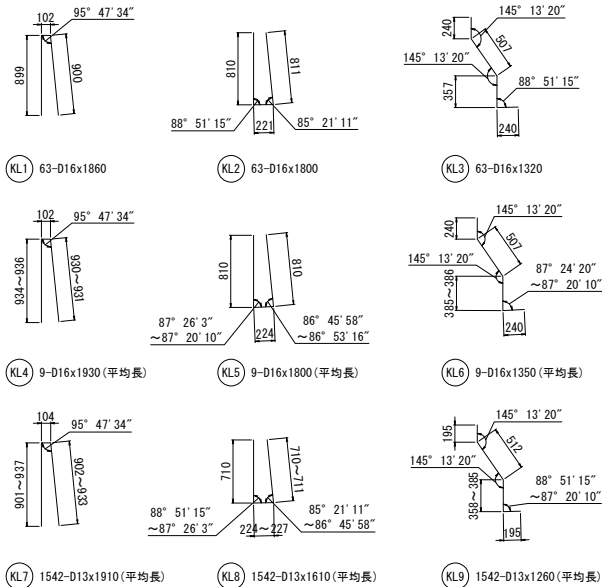


注記

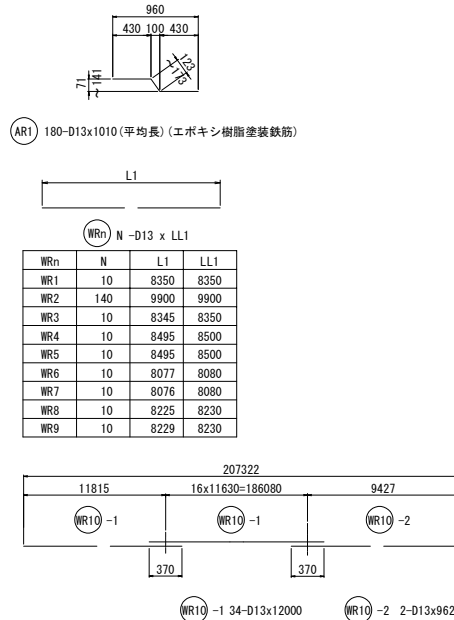
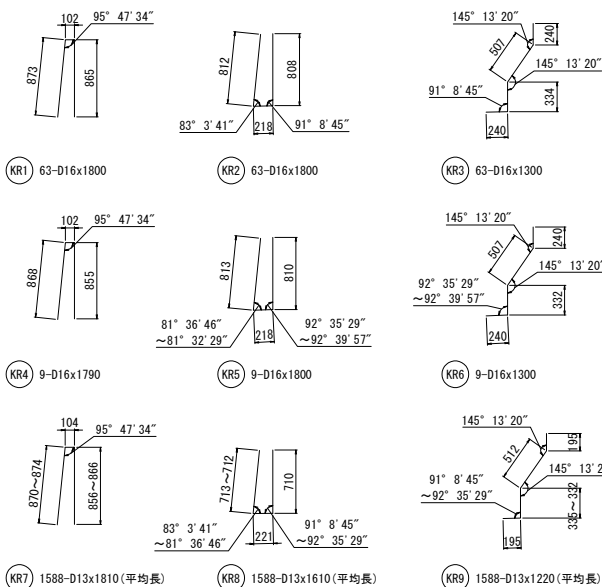
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 壁高欄配筋図(その3)
縮尺	図示
図面番号	87 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

L側 鉄筋加工図



R側 鉄筋加工図



L側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
KL1	D16	1860	63	1.56	2.90	183	
KL2	D16	1800	63	1.56	2.81	177	
KL3	D16	1320	63	1.56	2.06	130	
KL4	D16	1930	9	1.56	3.01	27	(平均長)
KL5	D16	1800	9	1.56	2.81	25	(平均長)
KL6	D16	1350	9	1.56	2.11	19	(平均長)
KL7	D13	1910	1542	0.995	1.90	2930	(平均長)
KL8	D13	1610	1542	0.995	1.60	2470	(平均長)
KL9	D13	1260	1542	0.995	1.25	1934	(平均長)
AL1	D13	1010	180	0.995	1.01	181	
WL1	D13	7550	10	0.995	7.51	75	
WL2	D13	9900	140	0.995	9.85	1379	
WL3	D13	7550	10	0.995	7.51	75	
WL4	D13	7700	10	0.995	7.66	77	
WL5	D13	7700	10	0.995	7.66	77	
WL6	D13	7620	10	0.995	7.58	76	
WL7	D13	7620	10	0.995	7.58	76	
WL8	D13	7290	10	0.995	7.25	73	
WL9	D13	7300	10	0.995	7.26	73	
WL10-1	D13	12000	34	0.995	11.9	406	
WL10-2	D13	3620	2	0.995	3.60	7	
合計						10470	kg
鉄筋質量				SD345	D16	561	kg
					D13	9728	kg
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (※)					D13	181	kg
合計						10470	kg

※ 印は、エポキシ樹脂鉄筋を示す。

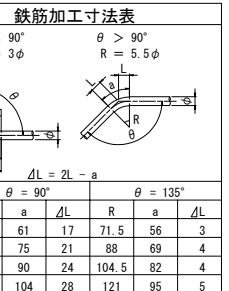
R側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
KR1	D16	1800	63	1.56	2.81	177	
KR2	D16	1800	63	1.56	2.81	177	
KR3	D16	1300	63	1.56	2.03	128	
KR4	D16	1790	9	1.56	2.79	25	(平均長)
KR5	D16	1800	9	1.56	2.81	25	(平均長)
KR6	D16	1300	9	1.56	2.03	18	(平均長)
KR7	D13	1810	1588	0.995	1.80	2860	(平均長)
KR8	D13	1610	1588	0.995	1.60	2544	(平均長)
KR9	D13	1220	1588	0.995	1.21	1928	(平均長)
AR1	D13	1010	180	0.995	1.01	181	
WR1	D13	8350	10	0.995	8.31	83	
WR2	D13	9900	140	0.995	9.85	1379	
WR3	D13	8350	10	0.995	8.31	83	
WR4	D13	8500	10	0.995	8.46	85	
WR5	D13	8500	10	0.995	8.46	85	
WR6	D13	8080	10	0.995	8.04	80	
WR7	D13	8080	10	0.995	8.04	80	
WR8	D13	8230	10	0.995	8.19	82	
WR9	D13	8230	10	0.995	8.19	82	
WR10-1	D13	12000	34	0.995	11.9	406	
WR10-2	D13	9620	2	0.995	9.57	19	
合計						10527	kg
鉄筋質量				SD345	D16	550	kg
					D13	9796	kg
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (※)					D13	181	kg
合計						10527	kg

※ 印は、エポキシ樹脂鉄筋を示す。

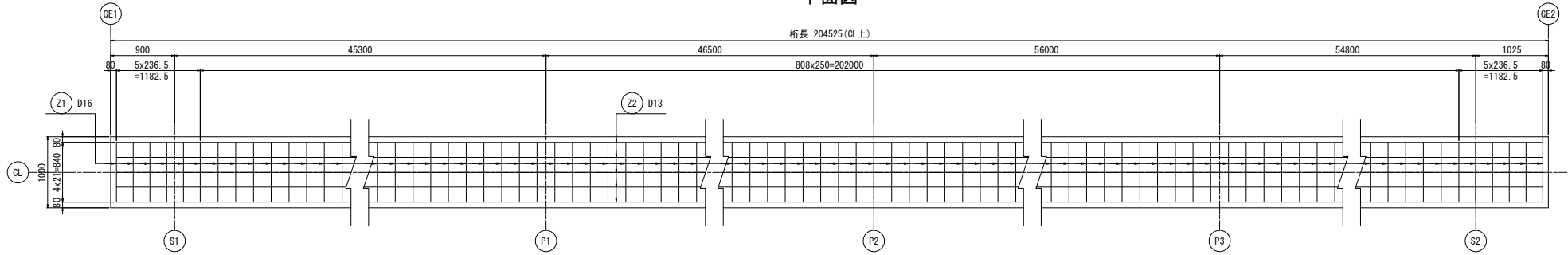
注記

- 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
- コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

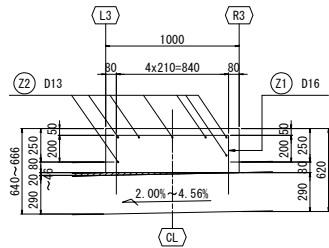


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事		
縮 尺	図 示	図面番号	88 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

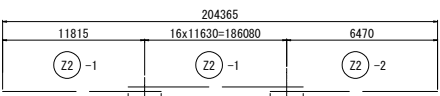
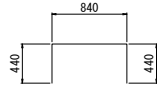
平面図



断面図 S=1:40



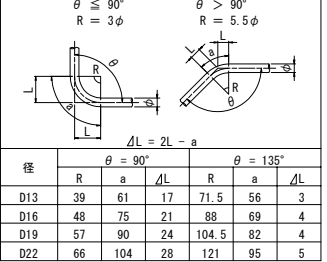
鉄筋加工図



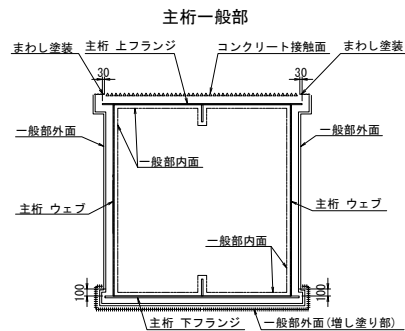
鉄筋表 (中央分離帯)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
Z1	D16	1680	819	1.56	2.62	2147	□
Z2-1	D13	12000	119	0.995	11.9	1421	—
Z2-2	D13	6660	7	0.995	6.63	46	—
合計							3614 kg
鉄筋質量							SD345 D16 2147 kg
"							D13 1467 kg
合計							3614 kg

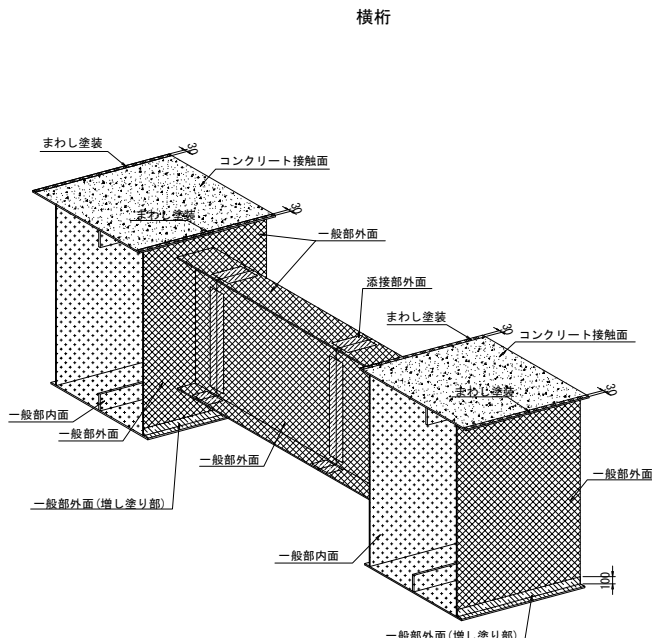
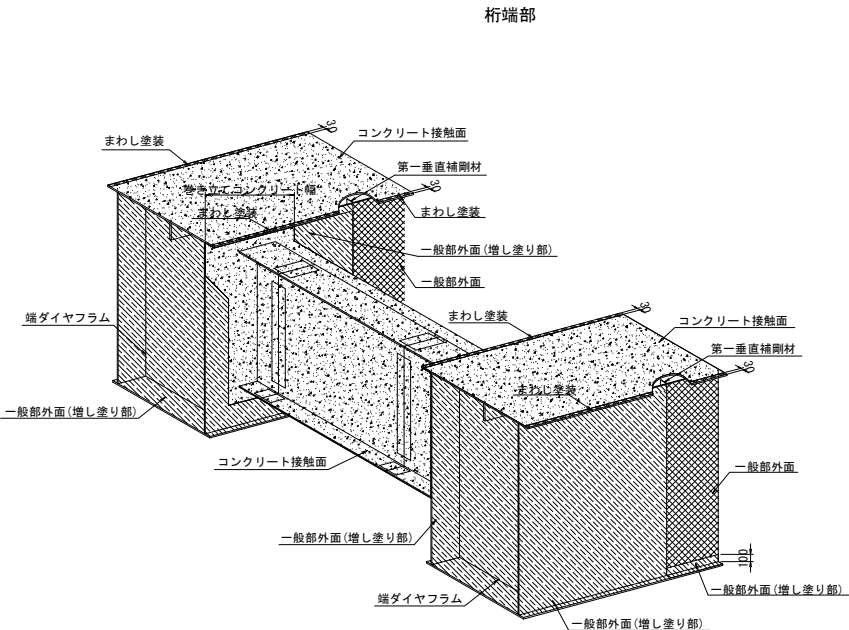
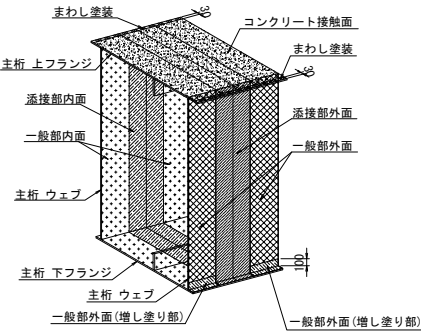
鉄筋加工寸法表



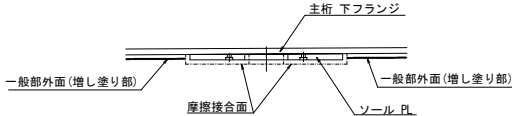
注記
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
2. コンクリート基準強度はσck=30N/mm2とする。



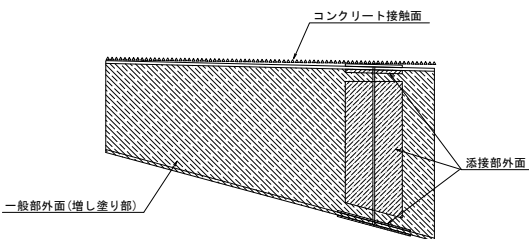
※ 主桁の上フランジ上面は塗装を30mm塗り込む。
主桁の下フランジおよび下フランジ側ウェブ100mmは塗装を増し塗る。



ソールプレート



ブラケット



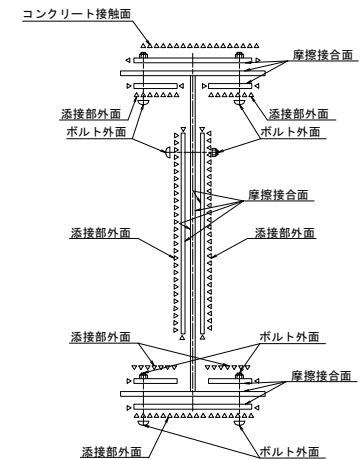
塗装系別集計

記号	塗装区分	塗装系
A	一般部外面	C5系
B	一般部内面	D4系
C	一般部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
D	添接部外面	F3系
E	添接部内面	F8系
F	添接部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
G	ボルト部外面	F11系
H	ボルト部内面	F8系
I	ボルト部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
J	摩擦・FILL接触面	無機ジンクリッチペイント
L	一般部外面(増し塗り部)	C5m系
N	まわし塗装部	C5(下塗まで)

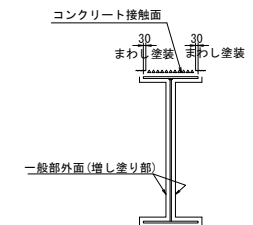
※1. 全表面積はボルト、めっき、ステンレス以外のプラスト面積を示す。













長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 塗装区分図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	90 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

端支点ブラケット添接部



ブラケット



記号	塗装区分	塗装系
A 	一般部外面	C5系
B 	一般部内面	D4系
C 	一般部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
D 	添接部外面	F3系
E 	添接部内面	F8系
F 	添接部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
G 	ボルト部外面	F11系
H 	ボルト部内面	F8系
I 	ボルト部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
J 	摩擦・FILL接触面	無機ジンクリッチペイント
L 	一般部外面(増し塗り部)	C5m系
N 	まわし塗装部	C5(下塗りまで)

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上筋工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 塗装区分図（その2）
縮 尺	図 示 図面番号 91 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

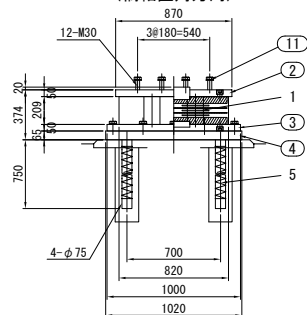
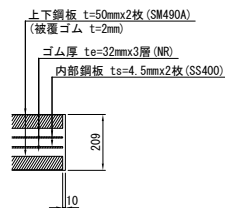
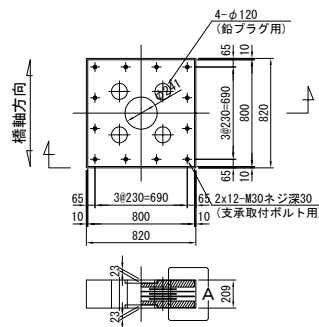
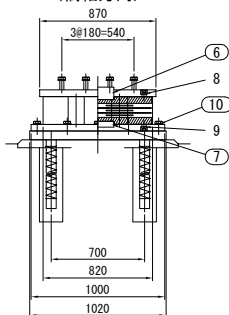
安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承詳細図(その1) S=1:40

支承 E-1 (A) 820・820・32・3 (1.2)

① 設計条件

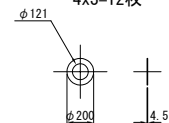
① ゴム支承 S=1:40

A部詳細図 S=1:20

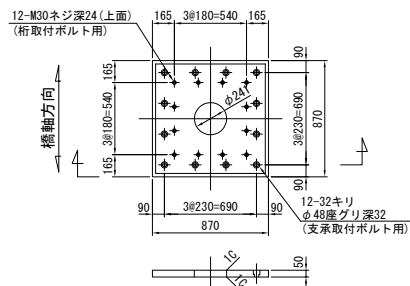
断面図 S=1:40
(橋軸直角方向)側面図 S=1:40
(橋軸方向)

鉛拘束リング S=1:40

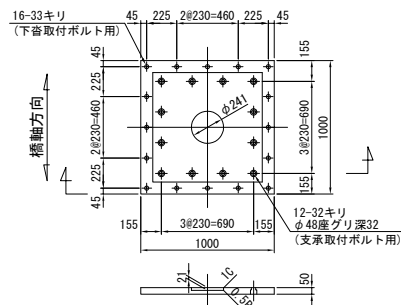
4x3=12枚



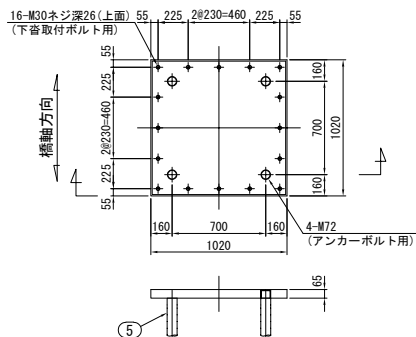
② 上沓 S=1:40



③ 下沓 S=1:40

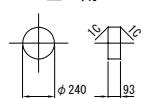


④ ベースプレート S=1:40



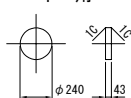
⑥ せん断キー S=1:40

上 用

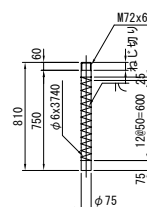


⑦ せん断キー S=1:40

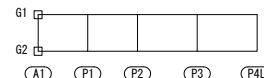
下 用



⑤ アンカーボルト S=1:40



位置図



反力 (kN)		A1
最大反力	Rmax	3660
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	3280
死荷重反力	RD	2240
照査荷重	RIL	715
最大水平力	橋軸方向	RHeq1
	橋軸直角方向	RHeq2
	サイドブロック	RHeq3
上向きの地震力	Ru	-732
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	0.368
回転変位量	δr	0.684
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1
	地震時・橋軸方向	ΔLe1
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G12
等価剛性 (kN/mm)	KB	8.107
等価減衰定数 (%)	hB	16.1
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB
1次形状係数	S1	5.81
2次形状係数	S2	8.33
圧縮ばね定数 (kN/mm) ※参考	Kv	1944

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	703.2	NR (天然ゴム)
②	上 沓	SM490A	1	270.7	
③	下 沓	SM490A	1	372.7	
④	ベースプレート	SM490A	1	520.3	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	115.7	
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	33.0	上 用
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	15.3	下 用
8	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	上 用
9	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	下 用
⑩	下沓取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	11.7	
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	10.1	
合計				2065.3	(kg)

数量表

工 種	単 位	数 量
沓座モルタル	m ³	0.4

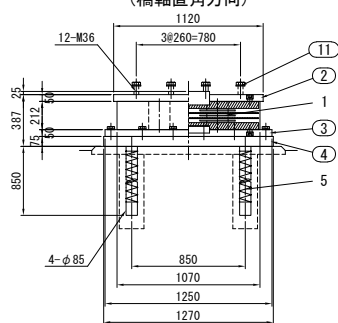
- ※1 道路橋支承便覧 (H30) 準拠。
 ※2 使用材料は道路橋支承便覧第3章に適合。
 ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
 JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
 ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
 ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
 ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
 ※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
 ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
 ※9 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
 ※10 部番⑩⑪ボルトは、BBCAP (シリコーン) を施すこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	92 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

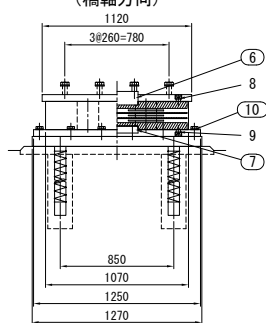
安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承詳細図(その3) S=1:40

支承 E-5 (A) 1070・1070・32・3 (1.2) (P2) 設計条件

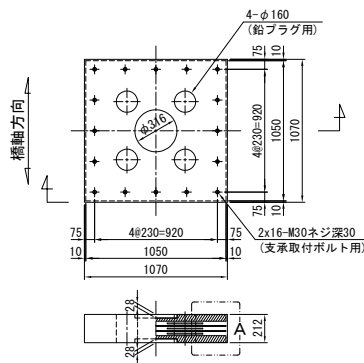
断面図 S=1:40



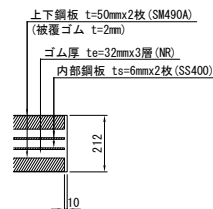
側面図 S=1:40



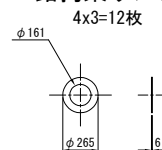
① ゴム支承 S=1:40



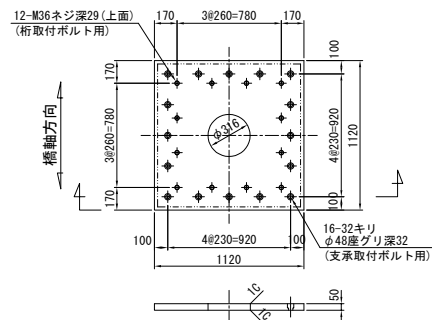
A部詳細図 S=1:20



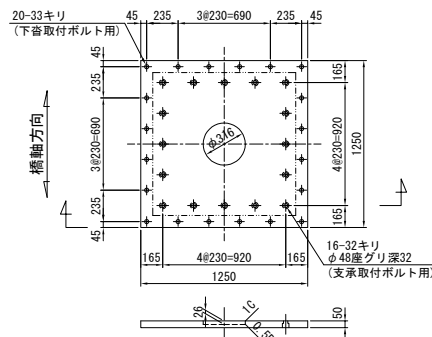
鉛拘束リング S=1:40



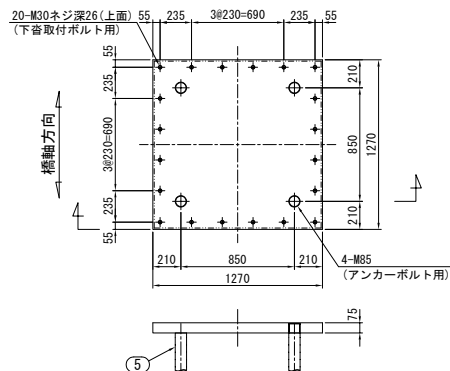
② 上沓 S=1:40



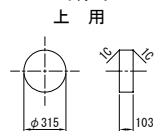
③ 下沓 S=1:40



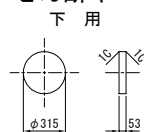
④ ベースプレート S=1:40



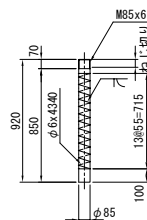
⑥ せん断キー S=1:40



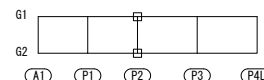
⑦ せん断キー S=1:40



⑤ アンカーボルト S=1:40



位置図



反力 (kN)		P2
最大反力	Rmax	7620
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	7440
死荷重反力	RD	5280
照査荷重	RIL	-
最大水平力	橋軸方向	RHeq1 2069
	橋軸直角方向	RHeq2 2946
	サイドブロック	RHeq3 -
上向きの地震力	Ru	-1662
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	-
回転変位量	δr	0.787
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1 3
	地震時・橋軸方向	ΔLe1 139
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2 204
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G12
等価剛性 (kN/mm)	KB	13.972
等価減衰定数 (%)	hB	16.4
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS 175
	変位量 (mm)	UB 168
1次形状係数	S1	7.60
2次形状係数	S2	10.94
圧縮ばね定数 (kN/mm)※参考	Kv	4369

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	1237.3	NR (天然ゴム)
②	上沓	SM490A	1	449.7	
③	下沓	SM490A	1	581.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	933.3	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	167.7	
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	63.0	上 用
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	32.4	下 用
8	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	16	8.4	上 用
9	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	16	8.4	下 用
⑩	下沓取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	20	14.7	
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	15.4	
合計				3511.8	(kg)

数量表

工種	単位	数量
寄座モルタル	m ³	0.7

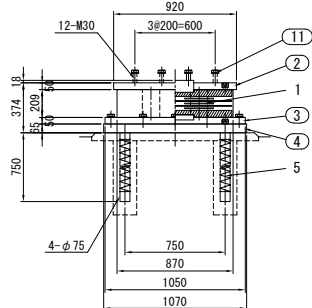
- ※1 道路橋支承便覧 (H30) 準拠。
 ※2 使用材料は道路橋支承便覧第3章に適合。
 ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
 JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
 ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
 ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
 ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
 ※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
 ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
 ※9 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
 ※10 部番⑩⑪ボルトは、BBCAP (シリコーン) を施すこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支承詳細図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	94 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

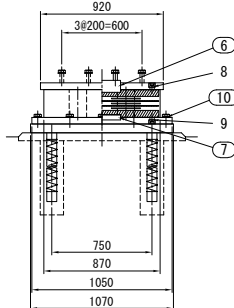
S=1 : 40

① 設計条件

断面図 S=1:40
(橋軸直角方向)

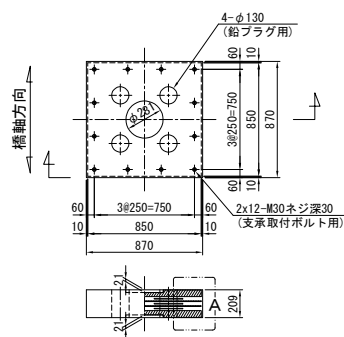


側 面 図 S=1:40
(橋軸方向)

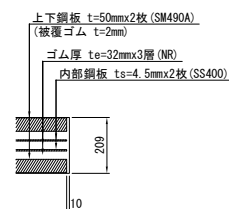


支承 E-3 (A) 870 · 870 · 32 · 3 (1.2)

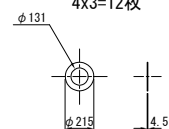
① ゴム 支承 $S=1:40$



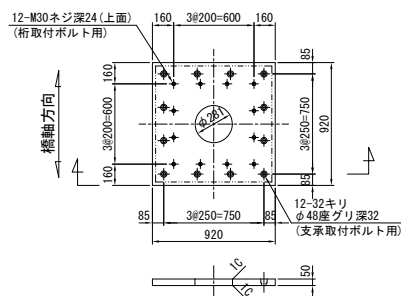
A 部詳細図 S=1:20



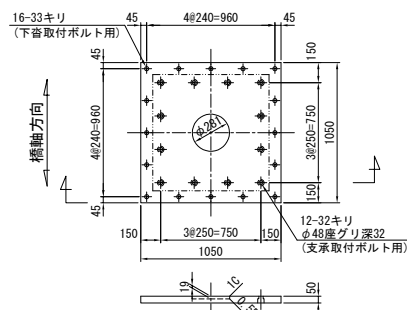
鉛拘束リング S=1:40
4x3=12枚



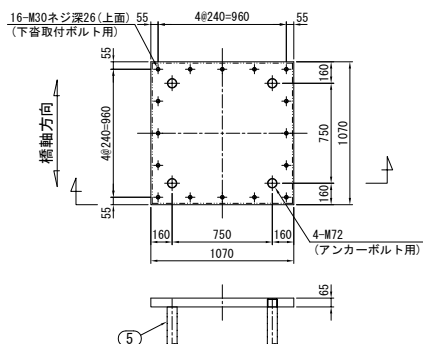
② 上 脊 S=1:40



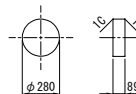
③ 下 脊 $S=1:40$



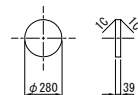
④ ベースプレート S=1:40



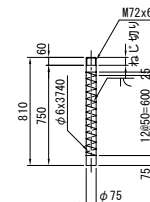
⑥ せん断キ一 S=1:40
上 用



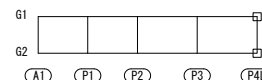
⑦ せん断キ一 S=1:40
下用



⑤ アンカーボルト S=1:40



位置图



反 力 (kN)		PAL
最大 反 力	Rmax	42
最大 反 力 (回転 照 査 用)	Rmax2	37
死 荷 重 反 力	RD	27
照 査 荷 重	RIL	8
最大 水 平 力	楕 軸 方 向	RHeq1
	楕 軸 直 角 方 向	RHeq2
	サ イ ド ブ ロ ッ ク	RHeq3
上 向 き の 地 震 力	Ru	-8
変 位 量 (mm)		
照 査 荷 重 時 の 変 位 量	δ cL	0.34
回 転 変 位 量	δ r	0.93
水 平 変 位 量	温 度 時 ・ 楕 軸 方 向	$\Delta L1$
	地 震 時 ・ 楕 軸 方 向	$\Delta Le1$
	地 震 時 ・ 楕 軸 直 角 方 向	$\Delta Le2$
性 能		
ゴ ム の 種 類 及 び 呼 び	材料-G	NR-G
等 価 剛 性 (kN/mm)	KB	9.13
等 価 減 衰 定 数 (%)	hB	16
試 験 変 位 量	せん断ひずみ (%)	γS
	変 位 量 (mm)	UB
1 次 形 状 係 数	S1	6
2 次 形 状 係 数	S2	8
圧縮ばね定数 (kN/mm)※参考	Kv	23

材 料 表 (1組当り)

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ゴム 支 承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	795.0	NR(天然ゴム)
(2)	下 砵	SM490A	1	299.4	
(3)	下 砵	SM490A	1	411.2	
(4)	ベースプレート	SM490A	1	573.6	
5	アンカーボルト	S35GN, SR235	4	115.7	
(6)	せん断キー	SM490A or S35GN	1	43.0	上 用
(7)	せん断キー	SM490A or S35CN	1	18.9	下 用
8	支束取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	上 用
9	支束取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	下 用
(10)	下巻取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	11.7	
(11)	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	10.1	
			全 計	2201.2	(kg)

数量表

工 種	単 位	数 量
沓座モルタル	m3	0.6

- ※1 道路橋支保架使用(H30)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保架使用第3章に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部番は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 H2D777、H2D777、H2D749とすると
- ※4 ゴム支保の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なノールポルトは適宜設けること。
- ※6 必要なノールポルト本数は協議して決定すること。
- ※7 ノールポルトは用済み穴のものとすること。
- ※8 析取穴ポルト重量は100mmとして参考に計上する。
- ※9 六角穴付ボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
- ※10 部番⑩のノールポルトは、BBPAC(シリコン)を施すこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上座工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 支保詳細図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	96 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野県下諏訪町		

カバープレート詳細図 S=1:40 ※

(製作数: 2) ※

乾式止水材 S=1:20 ※
No. 38

伸縮部 防塵層

370

125.4

50 550 600

K.L.

6-φ15孔

t=3 (SUS304)

680 680 680

100 3x165=495 100

4-φ15孔

(製作数: 1) ※

t=3 (SUS304)

600 550 50

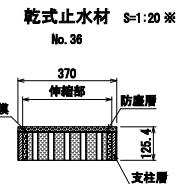
100 3x250=750 100

950

4-φ15孔

0° 90° 90° 270°

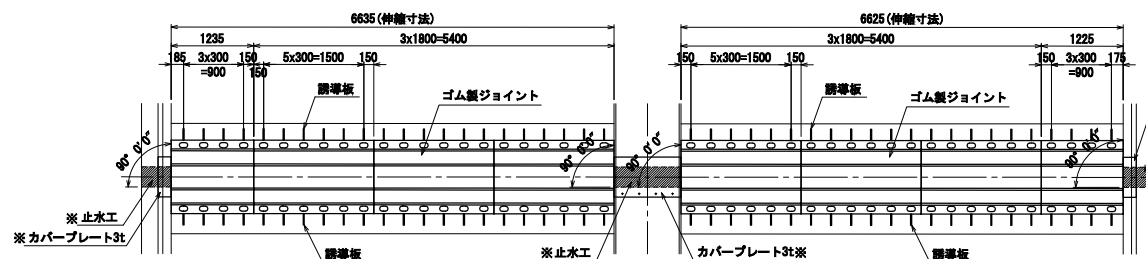
車面進行方向



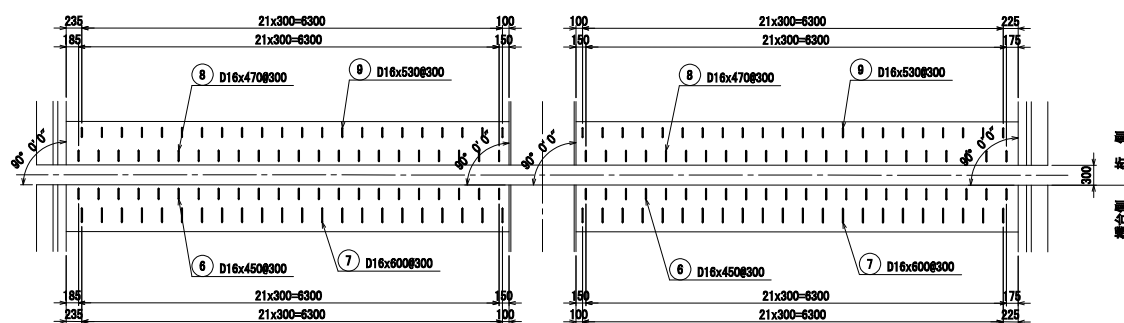
地覆部止水工 S=1:40

Technical drawing of a drainage system cross-section. The drawing shows two channels separated by a central wall. Key dimensions and labels include:

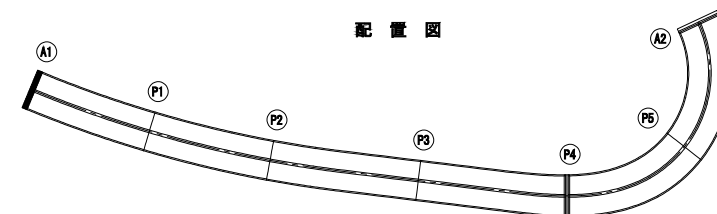
- Overall width: 15150
- Channel width (left): 7135
- Channel width (right): 7125
- Offset from wall to channel edge (left): 445
- Offset from wall to channel edge (right): 445
- Distance from outer edge to centerline (left): 6635
- Distance from outer edge to centerline (right): 6625
- Central wall thickness: 1000
- Channel depth: 250
- Labels: ギョム製ジョイント (Rubber joint), 排水ゴム管 (Drainage rubber pipe), 導水管 (Guide pipe)
- Bottom dimensions: 6936 (left channel length), 6926 (right channel length)



補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 平面割付図



配置图



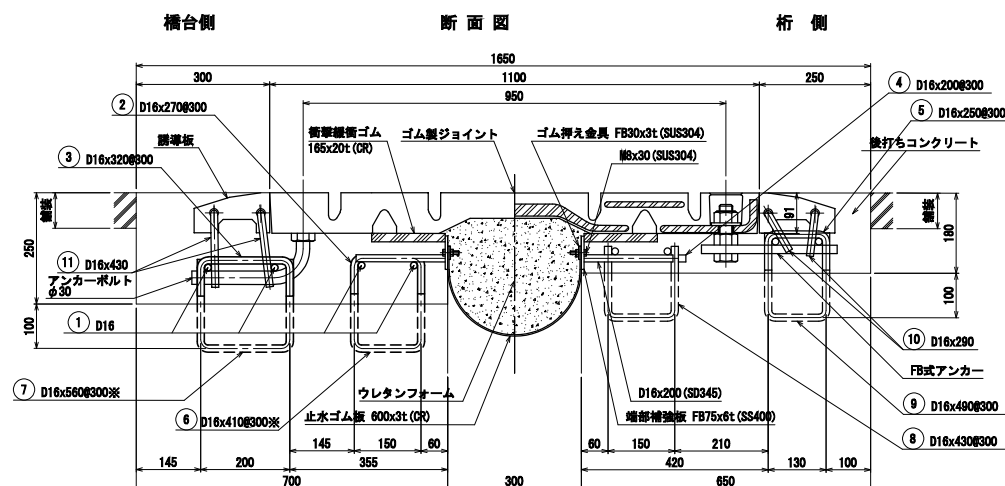
注 記

1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図(その2)(参考図)」参照。
2. ※印 別添工事

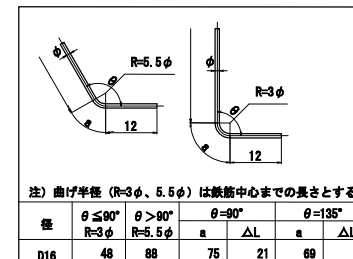
長野自動車道		
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事		
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 伸縮装置詳細図（その1）	
縮 尺	図 示	図面番号 97 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

伸縮装置 E1 (A) (A1)

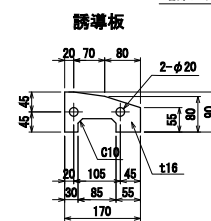
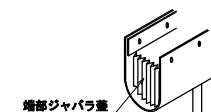
材 料 表



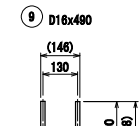
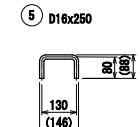
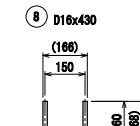
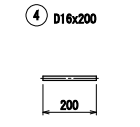
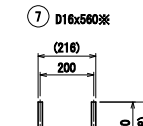
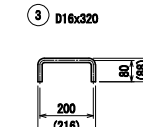
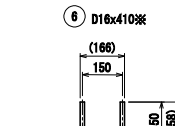
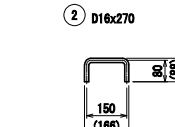
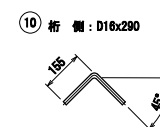
鉄筋曲げ加工表 (SD345)



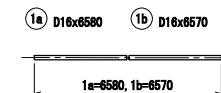
端部ジャバラ蓋詳細図



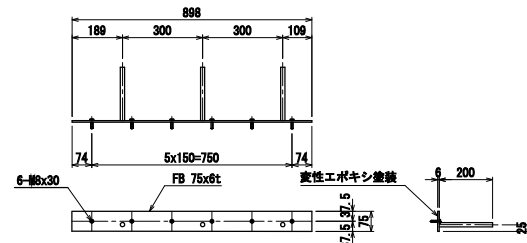
誘導板取付筋 S=1:20



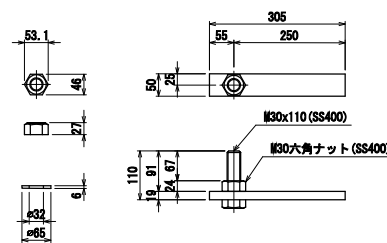
補強鉄筋加工図 S=1:20



端部補強板 S=1:20



FB式アンカー



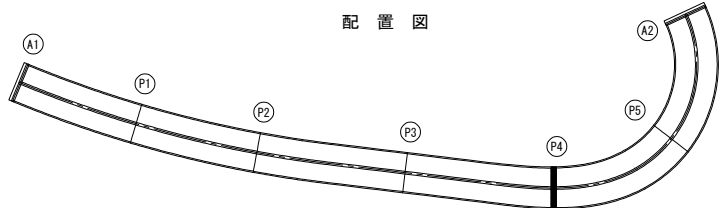
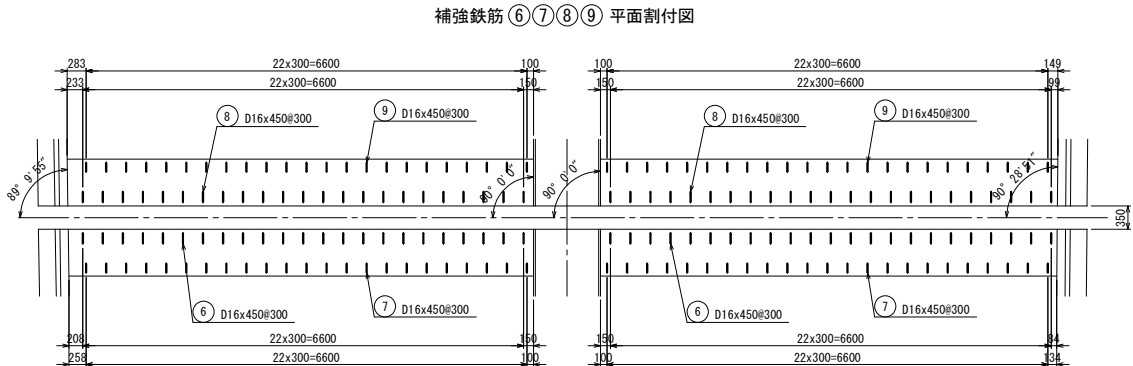
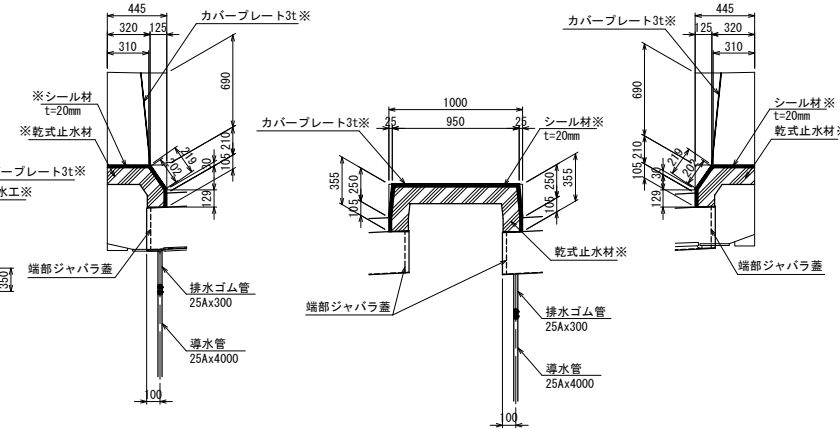
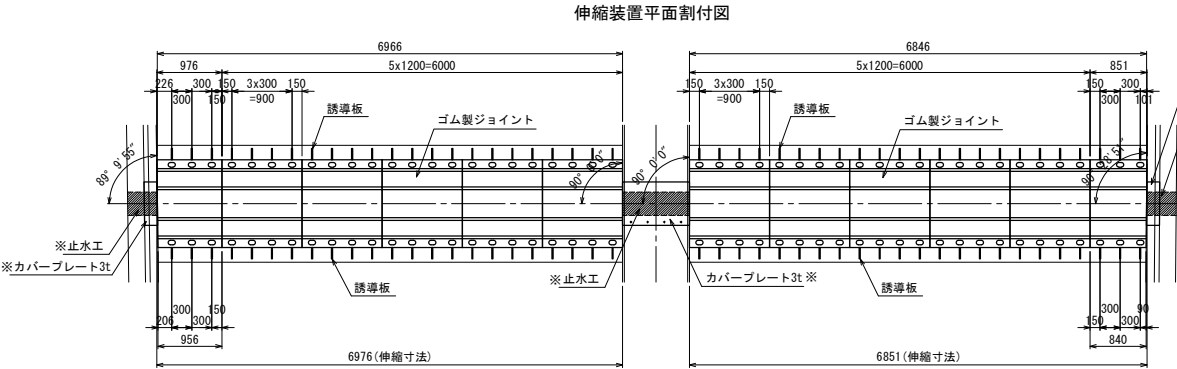
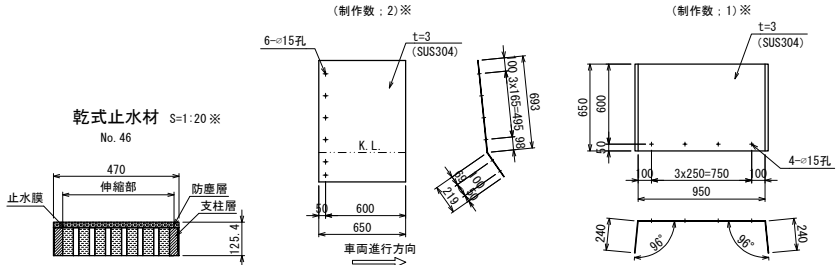
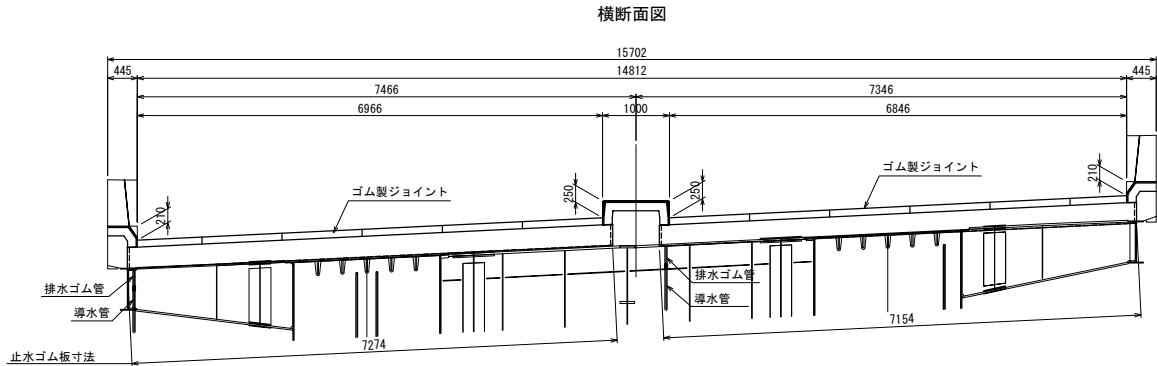
- 注 記
1. 配置図は、「伸縮装置詳細図(その1)」参照。
 2. 橋の支保の経時変化による影響を考慮して必要な初圧縮量を確保した状態で伸縮組手装置を設定する必要がある。
(予備剪断可能な伸縮組手装置を選定すること。)
 3. 雨水等の浸水に対して水密性を有するものとする。
(2次止水対策を施した伸縮組手装置とする。)
 4. 施工、維持管理及び補修の容易さに配慮した構造とする。
(伸縮組手本体のみ取替え可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮組手装置とする。)
 5. ※参照 別添工事仕様

品 名	仕 様、規 格	単位	A1	備 考
ゴム製ジョイント	重量 452.6kg/1.8m	m	13,260	本体(造間量300mm)
アンカーボルト	φ30	Set	44	
FB式アンカー	φ30	Set	44	
シーラント	止水用	L	58.9	止水用シーラント・ 4.44L/m
	プラグホール用	kg	48.3	シーラントT・ 3.64kg/m
補強鉄筋	⑩ 8-D16x580	kg	82	
	⑪ 8-D16x5570	kg	82	
	⑫ 44-D16x 270	kg	19	
	⑬ 44-D16x 320	kg	22	
	⑭ 44-D16x 200	kg	14	
	⑮ 44-D16x 250	kg	17	
	⑯ 44-D16x 410	kg	28	※下部工施工
	⑰ 44-D16x 560	kg	38	※下部工施工
	⑱ 44-D16x 430	kg	30	上部工施工
	⑲ 44-D16x 490	kg	34	上部工施工
鋼導板取付筋	⑩ 88-D16x 280	kg	40	
	⑪ 88-D16x 430	kg	59	
後打ちコンクリート	A1-1C (A)	m ³	2.9	後打ちコンクリートはA1-1C (A)に含む
端部補強鉄	F.B 75 x 8t (SS400)	m ²	26,620	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	165 x 20t	m	26,620	
止水ゴム板	600 x 3t	m	13,962	補強材入り
ウレタンフォーム	180 x 270	m	13,962	
端部ジャバラ蓋	Lタイプ	枚	4	
排水ゴム管	25A x 300	本	2	
導水管	25A x 4000	本	2	ニップル・ホースバンド付き
※地盤部シール工	シール材	L	17.8	t=20mm
	乾式止水材	m	2.9	No. 36
※カパープレート	600 x 912 x 3t	枚	2	SUS304
	800 x 1430 x 3t	枚	1	SUS304
	t=16	Set	44	桁 側:取付筋2-D16x280含む
鋼導板		Set	44	端台側:取付筋2-D16x430含む

長 野 自 動 車 道	
安置野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事	
図面の種類	安置野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 伸縮装置詳細図（その2）（参考図）
縮 尺	図 示 図面番号 98 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 新 堀 工 事 部

伸縮装置 E2 (A) (P4)

カバープレート詳細図 S=1:40 ※



注 記

1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図 (その4) (参考図)」参照。

2. ※印 別途工事

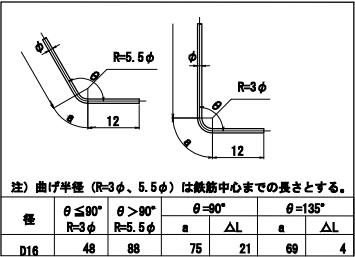
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 伸縮装置詳細図 (その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	99 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

伸縮装置 E2 (A) P4

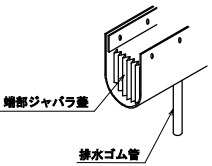
材料表

品名	仕様・規格	単位	P4	備考
ゴム製ジョイント	重量 410.3kg/1.2m	m	13.827	本体(遊間量400mm)
FB式アンカー	№30	Set	92	
シーラント	止水用	L	73.8	止水用シーラント・5.34L/m
	プラグホール用	kg	61.4	シーラントT・4.44kg/m
補強鉄筋	1a 8-D16x6910	kg	86	
	1b 8-D16x6800	kg	85	
	2 46-D16x 200	kg	14	
	3 46-D16x 250	kg	18	
	4 46-D16x 200	kg	14	
	5 46-D16x 250	kg	18	
	6 46-D16x 410	kg	29	上部工施工
	7 46-D16x 410	kg	29	上部工施工
	8 46-D16x 410	kg	29	上部工施工
	9 46-D16x 410	kg	29	上部工施工
誘導板取付筋	184-D16x 290	kg	83	
後打ちコンクリート	A1-1C (A)	m ³	2.3	後打ちコンクリートはA1-1C (A)に含む
端部補強板	F.B 75 x 6t (SS400)	m	27.654	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	225 x 20t	m	27.654	
止水ゴム板	750 x 3t	m	14.428	補強材入り
ウレタンフォーム	250 x 470	m	14.428	
端部ジャバラ蓋	LLタイプ	枚	4	
排水ゴム管	25A x 300	本	2	
導水管	25A x 4000	本	2	ニップル・ホースバンド付き
※地覆部止水工	シール材	L	21.1	t=20mm
	乾式止水材	m	2.9	No. 46
※カバープレート	650 x 912 x 3t	枚	2	SUS304
	650 x 1430 x 3t	枚	1	SUS304
誘導板	t=16	Set	92	桁 側:取付筋2-D16x290含む

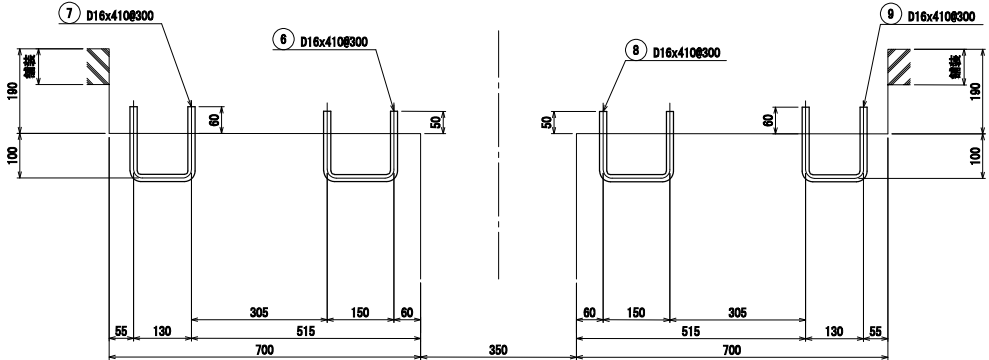
鉄筋曲げ加工表 (SD345)



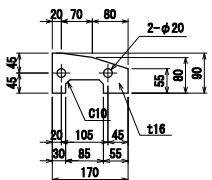
端部ジャバラ蓋詳細図



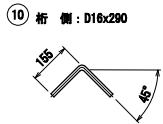
床版箱抜及び補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 設置図



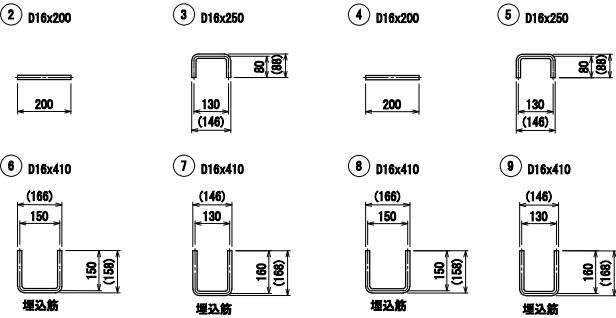
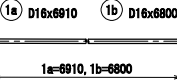
誘導板



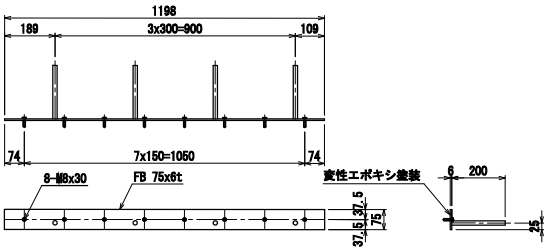
誘導板取付筋 S=1:20



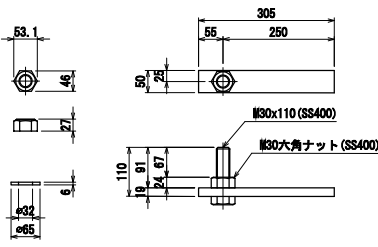
補強鉄筋加工図 S=1:20



端部補強板 S=1:20



FB式アンカー



注 記

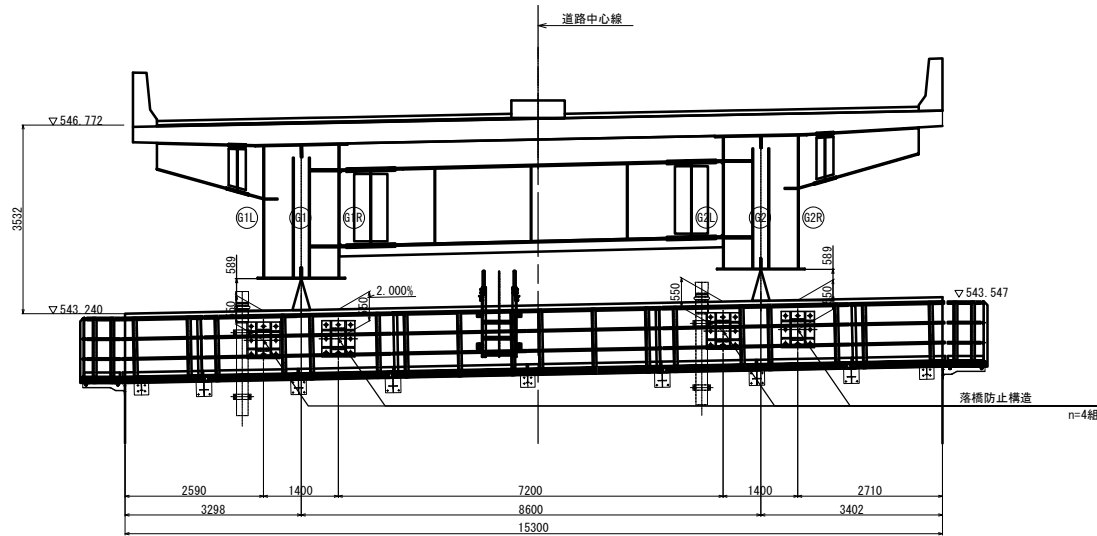
- 配置図は、「伸縮装置詳細図 (その3)」参照。
- 橋の形状の経時変化による影響を考慮して必要な初圧縮量を確保した状態で伸縮継手装置を設定する必要がある。
(予備剪断可能な伸縮継手装置を選定すること。)
- 雨水等の浸水に対して水密性を有するものとする。
(2次止水対策を施した伸縮継手装置とする。)
- 施工、維持管理及び補修の容易さに配慮した構造とする。
(伸縮継手本体のみ取替可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮継手装置とする。)
- ※印 別途工事施工

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部工) 工事 A1-P4 伸縮装置詳細図 (その4) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	100 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

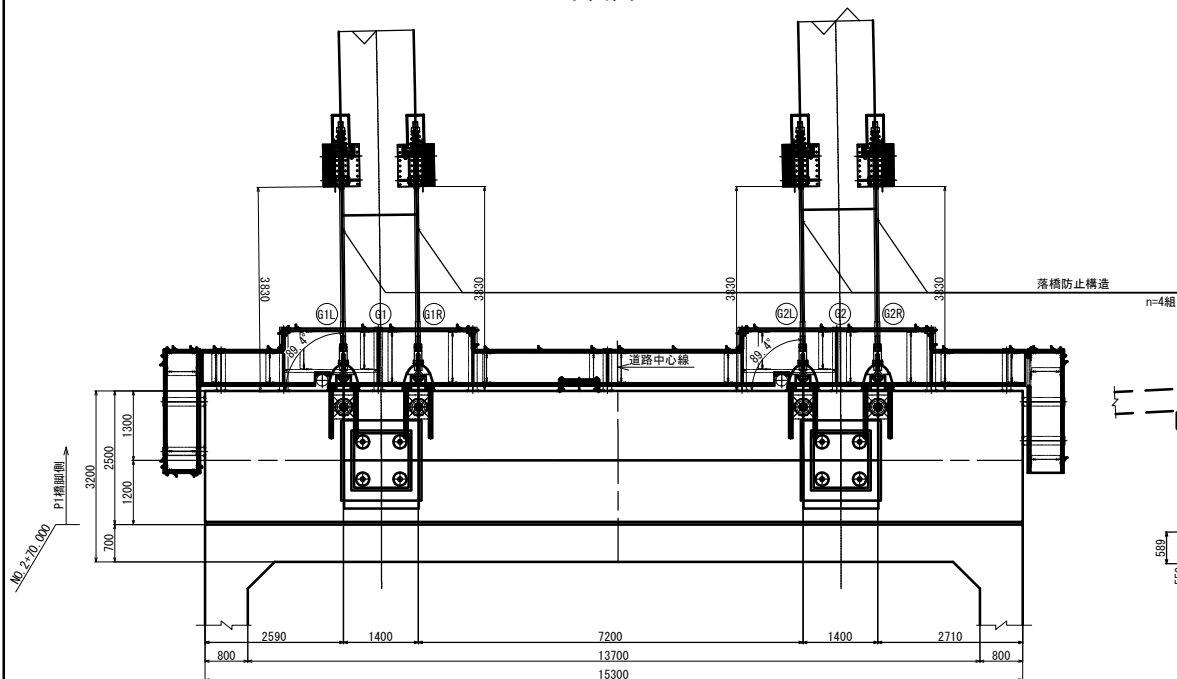
A1橋台：取付図

落橋防止構造 P1-1767(300)(A)

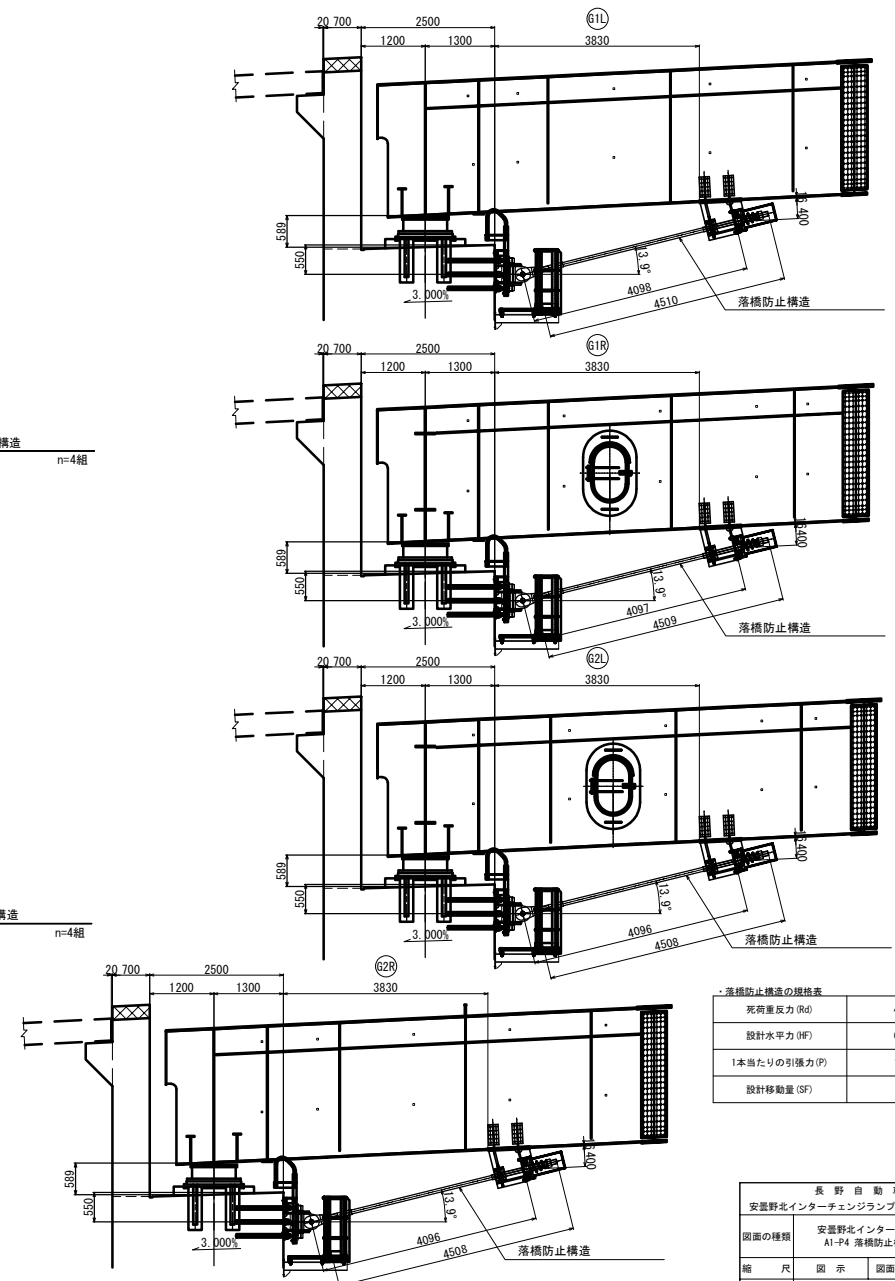
正面図



平面図



側面図



・落橋防止構造の規格表	
死荷重反力 (Rd)	4570 (kN)
設計水平力 (Hf)	6855 (kN)
1本当たりの引張力 (P)	1767 (kN)
設計移動量 (SF)	300mm

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上り工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	101 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

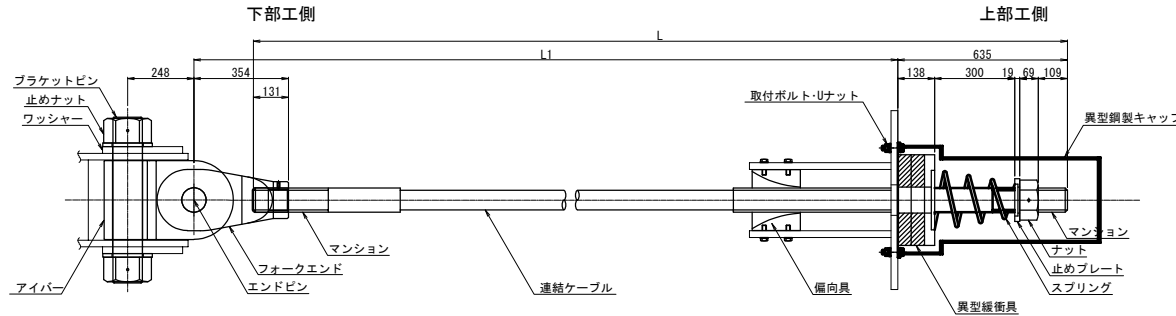
安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その2) (参考図) S=1:10

102 / 256

A1橋台：取付詳細図及び部品図

落橋防止構造 P 1-1767(300)(A)

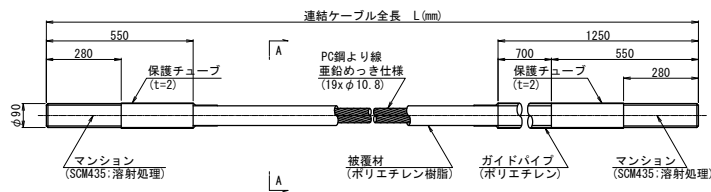
取付詳細図



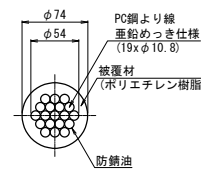
材料表 (落橋防止構造1組当たり)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	全4組 重量 (kg)
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	1938kNタイプ L(mm)	本	1	PC鋼より線、垂鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	A
	1938kNタイプ 標準	個	2	SCM435、垂鉛アルミ溶射、ねじり標準 <ケーブルに組込>	
	1938kNタイプ 700mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	1938kNタイプ	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)	4.7
止めプレート	1938kNタイプ	個	1	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT77)	1.6
スプリング	1938kNタイプL=450	個	1	SW-C、垂鉛めっき、クロメート処理	2.9
異型緩衝具	1938kNタイプ	個	1	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	33.5
偏向具	1938kNタイプ	個	1	ポリエチレン	7.7
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	2.1
異型鋼製キャップ	1938kNタイプ L=750	個	1	SS400、STK400、垂鉛めっき (HDZT77、t=6以下HDZT70) ゴムパッキン付	49.4
取付ボルト・ナット	M16x65 2W付	本	4	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT49)	0.4
ブラケットピン	1938kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート	45.0
止めナット	1938kNタイプ	個	2	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)	16.0
ワッシャー	1938kNタイプ	個	2	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT77)	3.6
アイバー	1938kNタイプ	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)	69.3
フォークエンド	1938kNタイプ	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)	52.6
エンドピン (ピン)	1938kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート	8.5
(止めプレート)	1938kNタイプ	個	1	SS400相当品、垂鉛めっき (HDZT77)	
(1組あたり)					B
(全組あたり)					C

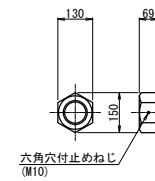
連結ケーブル



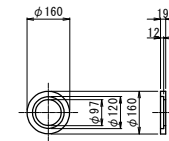
A-A断面図 S=1:3



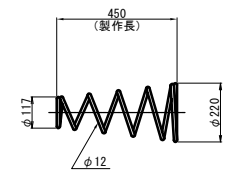
ナット (S45C:垂鉛めっき)



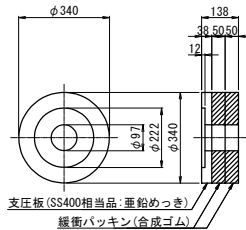
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



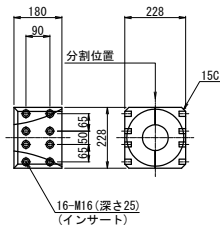
スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



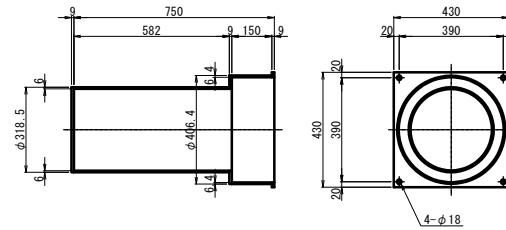
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



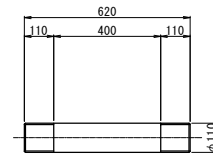
偏向具 (ポリエチレン)



異型鋼製キャップ (SS400、STK400:垂鉛めっき)



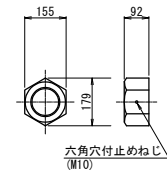
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



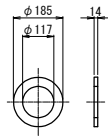
重量表	A (kg)	B (kg)	C (kg)
G1L	98.9	297.3	1189.2
G1R	98.9	297.3	
G2L	98.9	297.3	
G2R	98.9	297.3	

寸法表	L1 (mm)	L (mm)
G1L	4098	4510
G1R	4097	4509
G2L	4096	4508
G2R	4096	4508

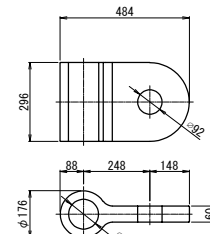
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



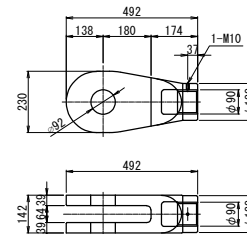
ワッシャー (SS400相当品:垂鉛めっき)



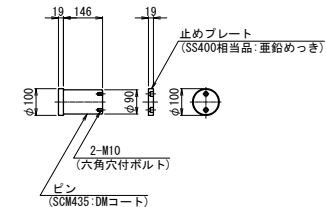
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



注記)

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、行うこと。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図 (その2) (参考図)
縮 尺	図 示 図面番号 102 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社
事務所名	長 野 工 事 事 務 所

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その3) S=1:10

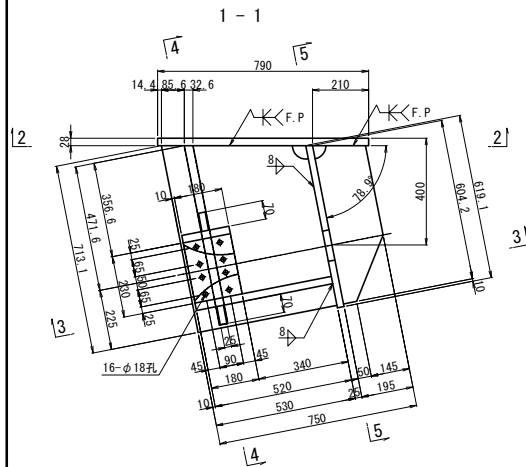
103 / 256

A1橋台：上部エブラケット詳細図

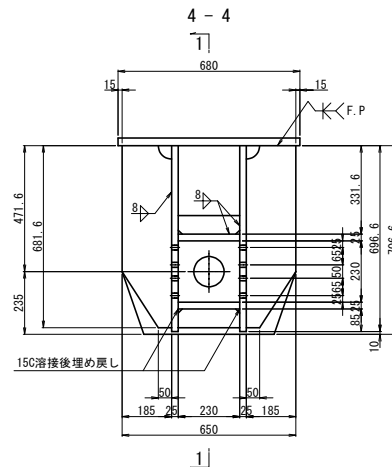
上部エブラケット詳細図

落橋防止構造 P1-1767(300)(A)

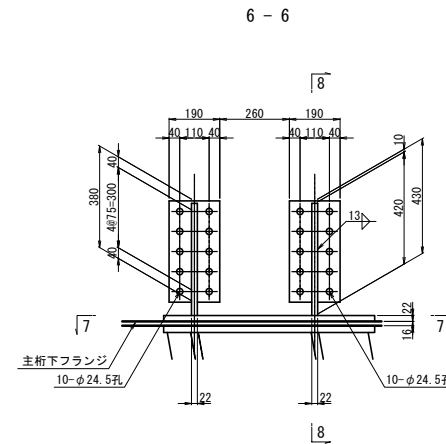
桁補強部材詳細図



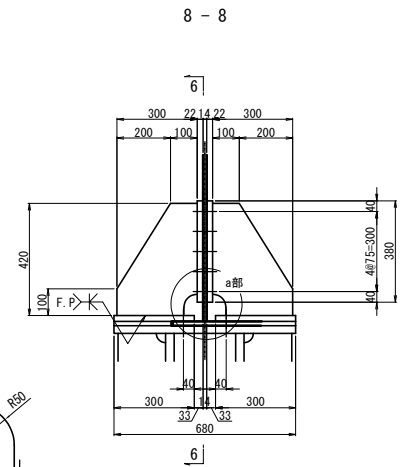
1 - 1



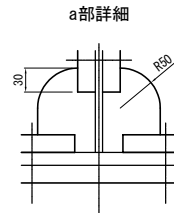
4 - 4



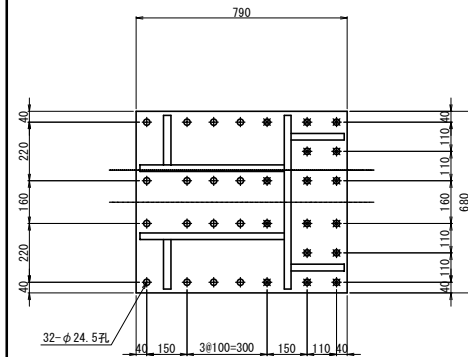
6 - 6



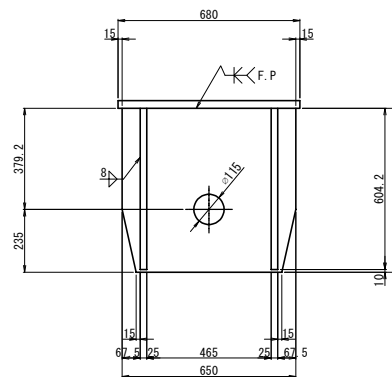
8 - 8



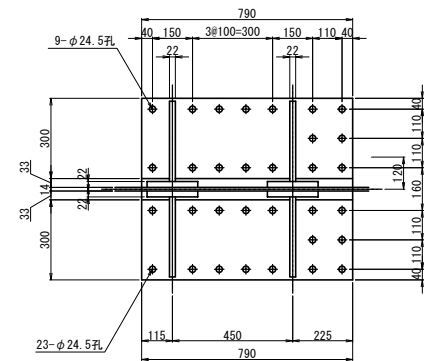
a部詳細



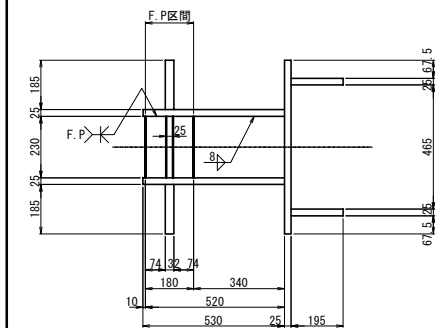
2 - 2



5 - 5



7 - 7



3 - 3

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 195x25x605
- 2-PL 530x25x714
- 2-PL 185x32x682
- 2-PL 70x25x230
- 1-PL 230x25x520
- 1-PL 180x25x230
- 1-PL 620x25x650
- 1-PL 790x28x680
- 16-TCB M22x110(S10T) [+1W]
- 16-TCB M22x105(S10T)

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 300x22x790 (SM400A)
- 4-PL 300x22x420 (SM400A)
- 4-PL 190x22x380 (SM400A)
- 20-TCB M22x90(S10T)

注記

- 特記なき材質は全てSM490VBとする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
- 「F.P.」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上組工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	103 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その5)

S=1:50

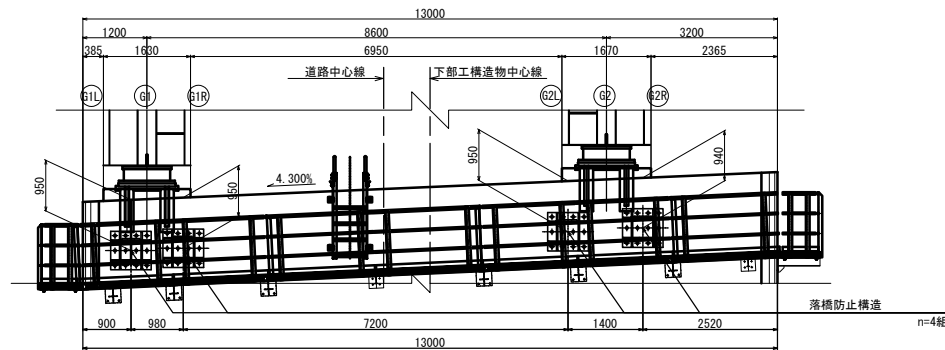
側面図

105 / 256

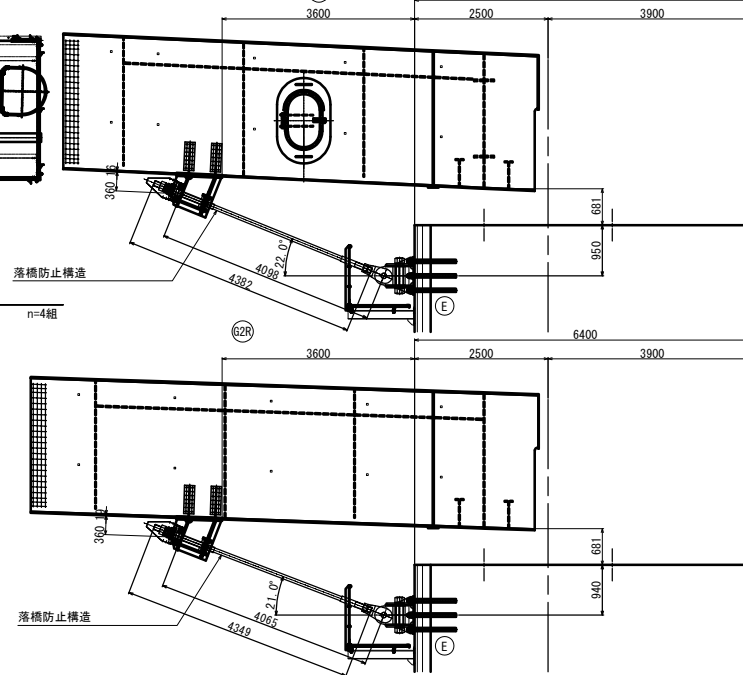
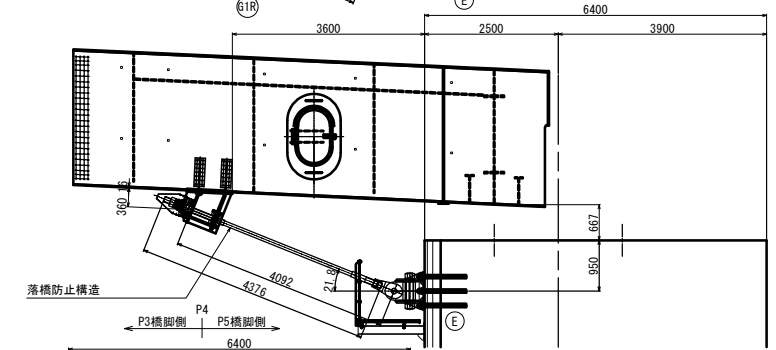
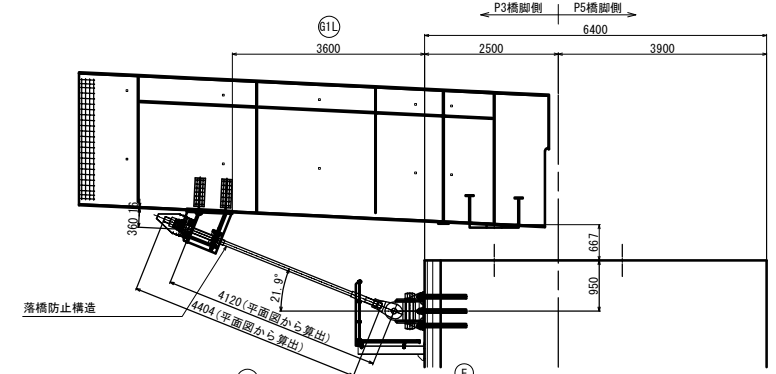
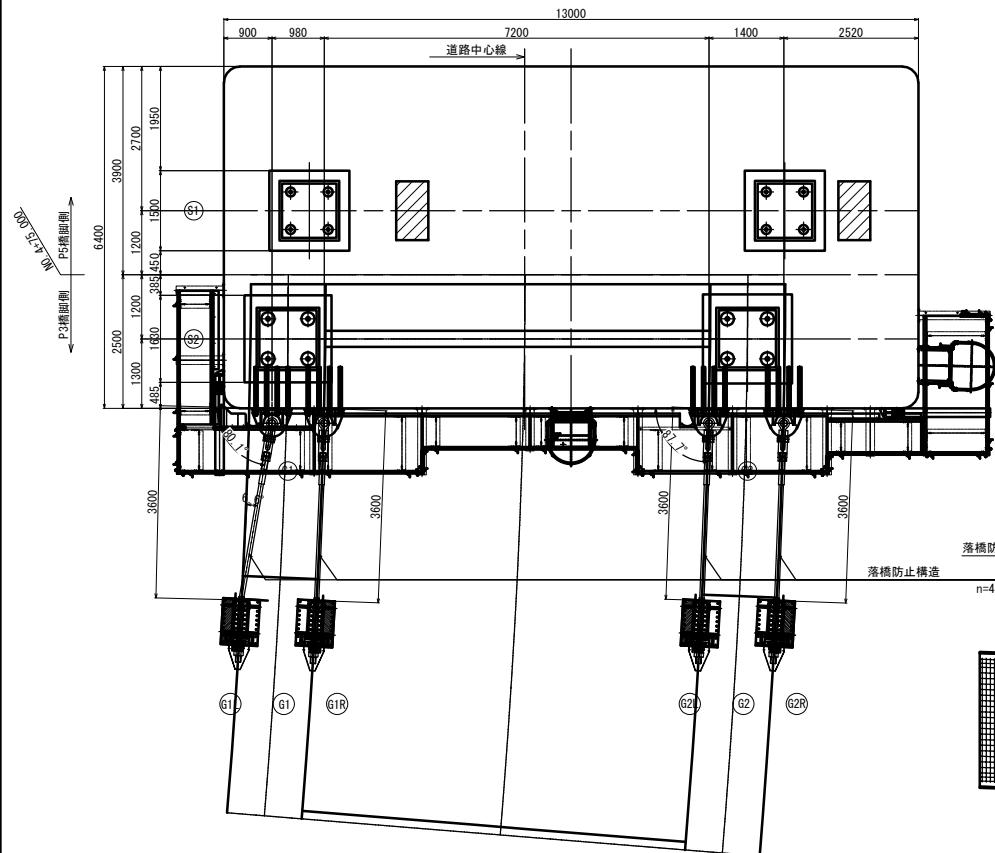
P4橋脚(起点側) : 取付図

落橋防止構造 P 1-2 1 7 6 (1 7 5) (A)

正面図



平面図

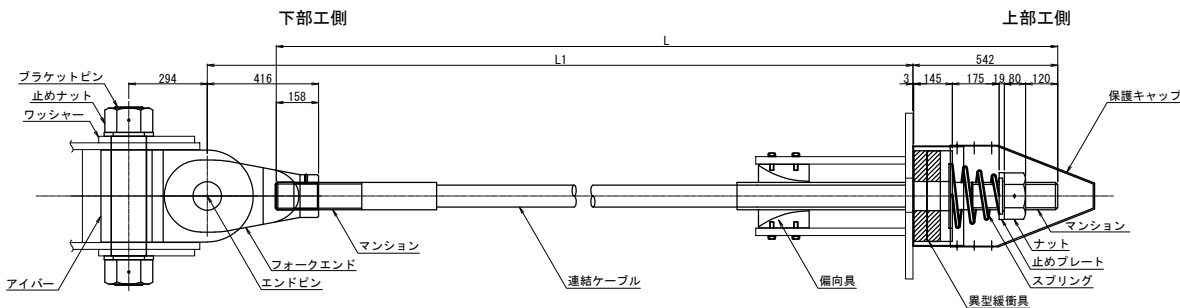


落橋防止構造の規格表	
死荷重反力 (Rd)	5350 (kN)
設計水平力 (Hf)	8025 (kN)
1本当たりの引張力 (P)	2176 (kN)
設計移動量 (SF)	175mm

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図 (その5)		
縮尺	図示	図面番号	105 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

P4橋脚(起点側): 取付詳細図及び部品図
落橋防止構造 P 1-2 1 7 6 (1 7 5) (A)

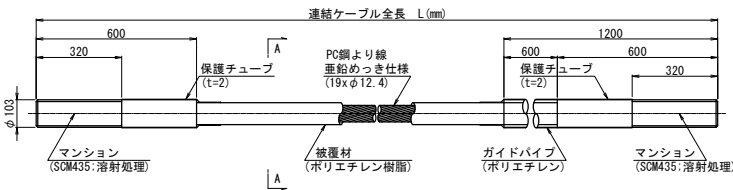
取付詳細図



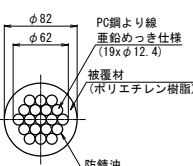
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	重 量 (kg)
連結ケーブル	2584kNタイプ L(mm)	本	1	PC鋼より線、垂鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	A
(マンション)	2584kNタイプ 標準	個	2	SCM435、垂鉛アルミ溶射、ねじきり標準 <ケーブルに組込>	
(ガイドパイプ)	2584kNタイプ 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	2584kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	
止めプレート	2584kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77)	7.3
スプリング	2584kNタイプ L=350	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理	1.8
異型緩衝具	2584kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	2.7
偏向具	2584kNタイプ	個	1	ポリエチレン	36.4
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	8.8
保護キャップ	2584kNタイプ	組	1	ポリエチレン:6-止めビス付	2.1
ブラケットピン	2584kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	2.3
止めナット	2584kNタイプ	個	2	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	61.8
ワッシャー	2584kNタイプ	個	2	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	16.0
アイバー	2584kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	3.6
フォークエンド	2584kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	112.0
エンドピン (ピン)	2584kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	83.4
(止めプレート)	2584kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77)	13.2
(1組あたり)					B
(全組あたり)					C

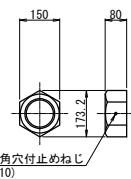
連結ケーブル



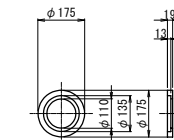
A-A断面図 S=1:3



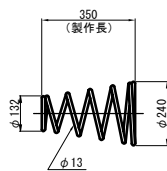
ナット (S45C:垂鉛めっき)



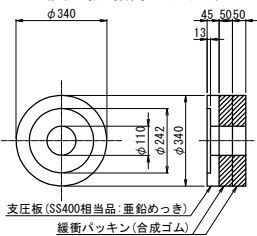
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



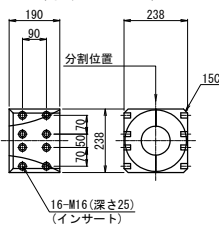
スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



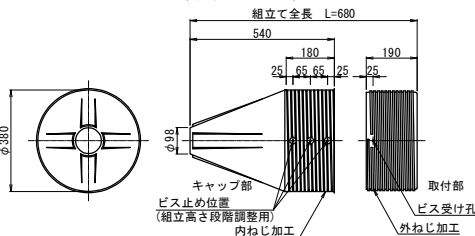
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



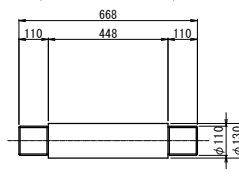
偏向具 (ポリエチレン)



保護キャップ (ポリエチレン)



ブラケットピン (SCM435:DMコート)



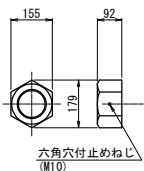
重量表

	A (kg)	B (kg)	C (kg)
G1L	132.9	484.3	1935.3
G1R	132.4	483.8	
G2L	132.5	483.9	
G2R	131.9	483.3	

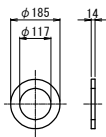
寸法表

	L1 (mm)	L (mm)
G1L	4120	4404
G1R	4092	4376
G2L	4098	4382
G2R	4065	4349

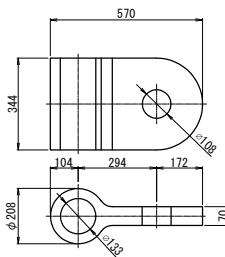
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



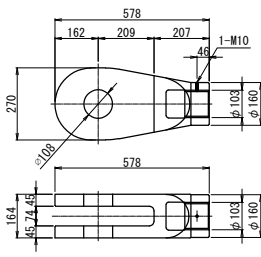
ワッシャー (SS400相当品:垂鉛めっき)



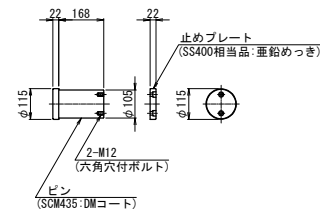
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



注記

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、行うこと。

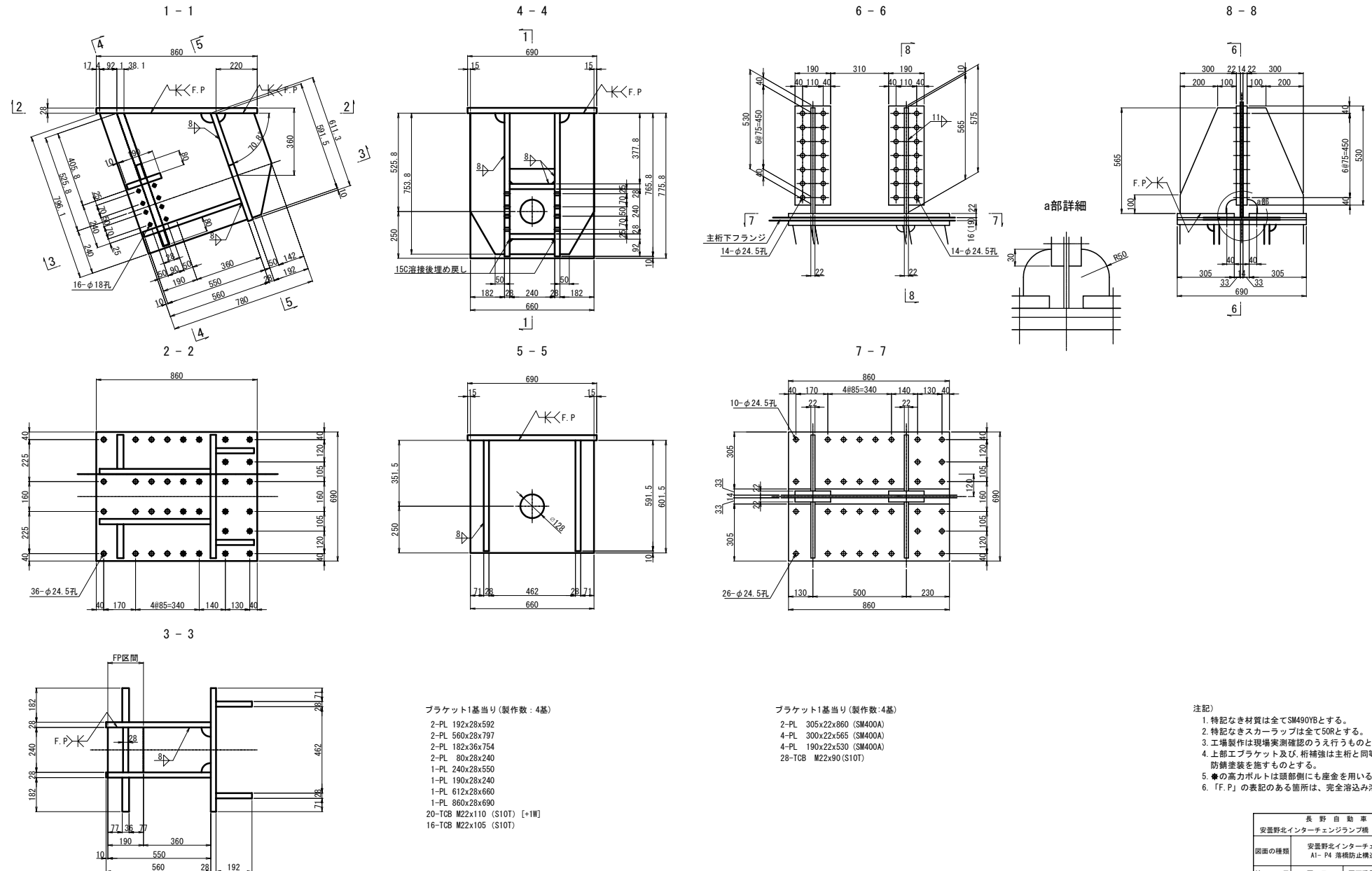
長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図 (その6) (参考図)
縮 尺	図 示 図面番号 106 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社
事務所名	長 野 工 事 事 務 所

安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その7) S=1:10

P4橋脚(起点側):上部エブラケット詳細図
落橋防止構造 P1-2176(175)(A)

上部エブラケット詳細図

桁補強部材詳細図



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	107 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

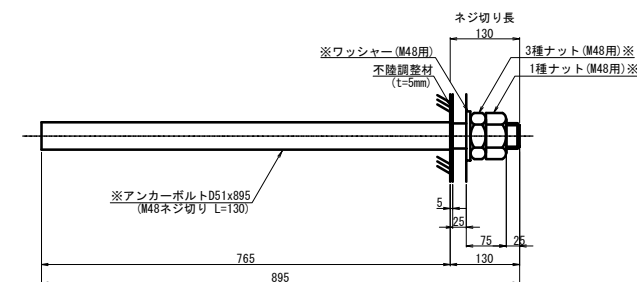
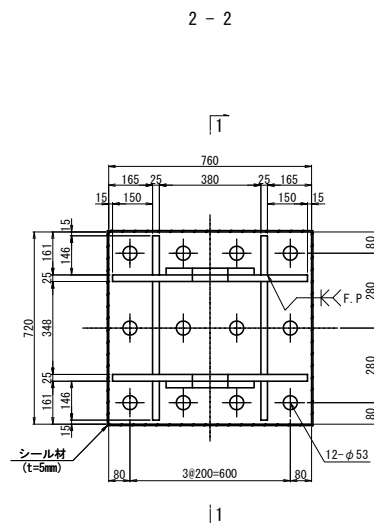
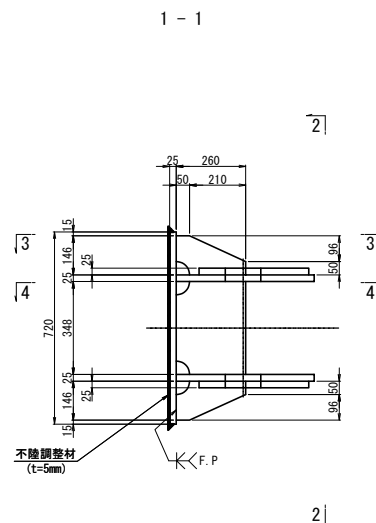
安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図(その8) S=1:10

108 / 256

P4橋脚(起点側):下部エブラケット詳細図
落橋防止構造 P 1-2 1 7 6 (1 7 5) (A)

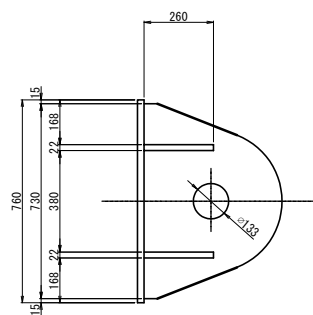
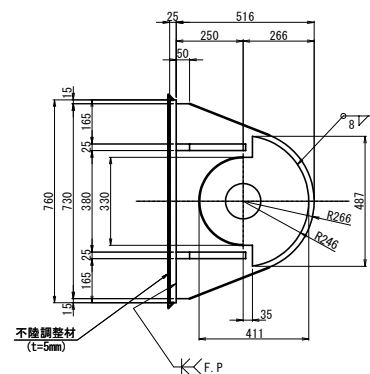
下部エブラケット詳細図

※アンカーボルト詳細図 S=1:5

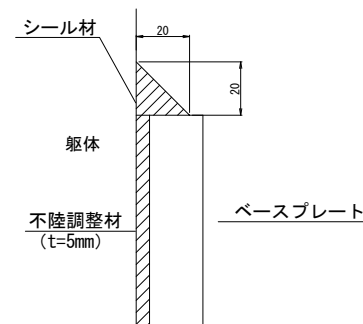


3-3

4-4



シール材詳細図 S=1:1



ブラケット1基当り(製作数:4基)

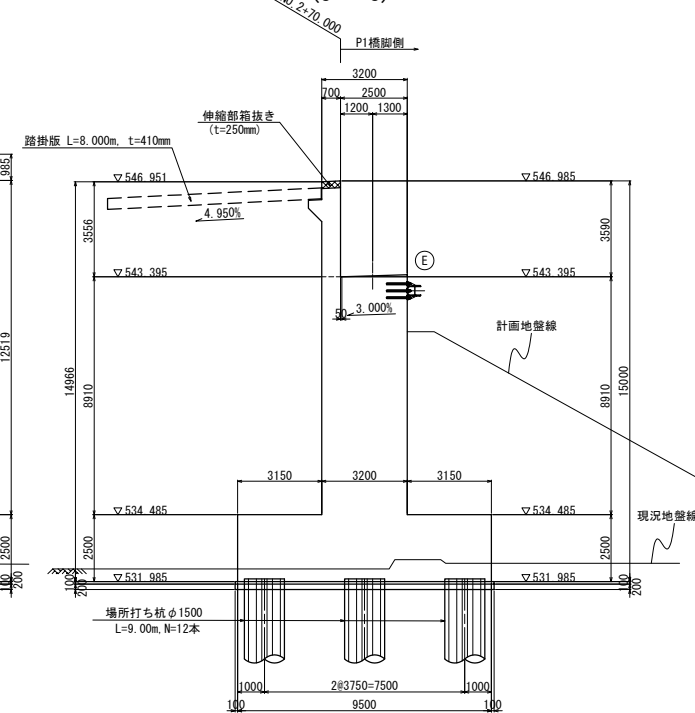
- 2-PL 411x25x487
- 2-PL 516x25x730
- 4-PL 260x25x146
- 2-PL 260x25x348
- 1-PL 760x25x720
- 12-Anc Bolt D51x895 (SD345)
- 12-1種 Nut M48用 (SS400)
- 12-3種 Nut M48用 (SS400)
- 12-Washer M48用 (SS400)

注記)

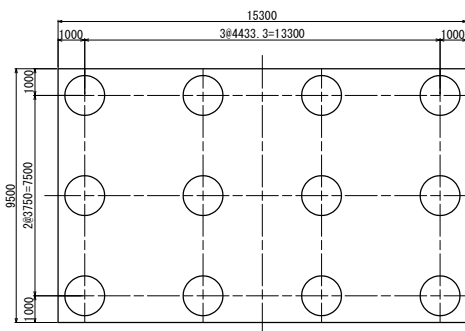
- 特記なき材質は全てSM400とする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- 部材は、全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
- 但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
- 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。
- 鋼製部材の周囲には、シール材 (t=20mm) によりシーリングを行うこと。
- 「F.P」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
- ※印 別造工事施工

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1-P4 落橋防止構造図 (その8)		
縮尺	図示	図面番号	108 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

側面図
(3-3)



杭配置図



	コンクリート	鉄 筋
躯体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (30)	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

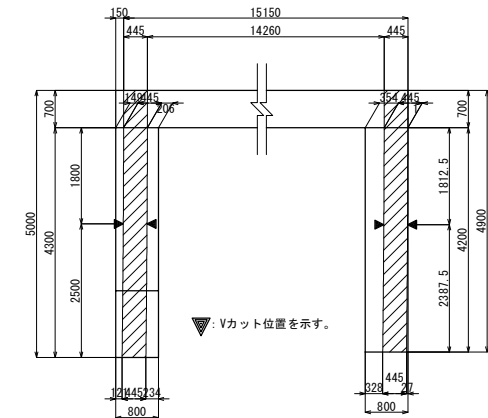
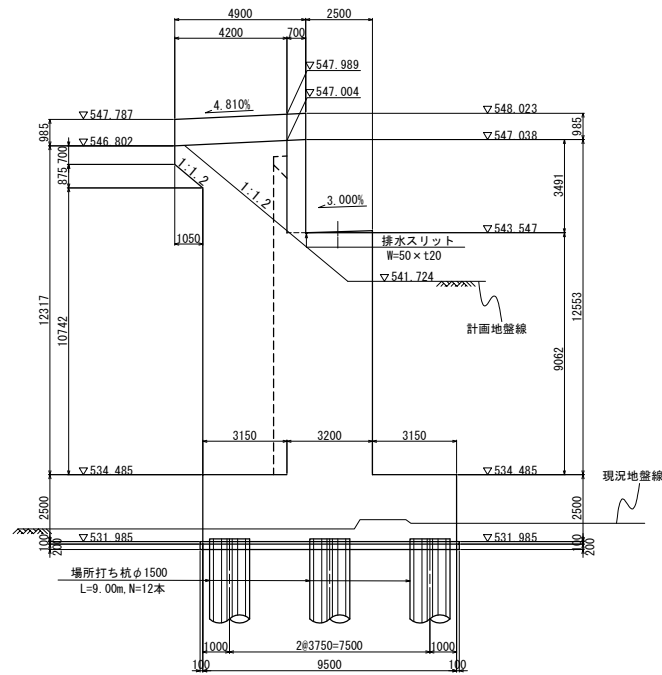
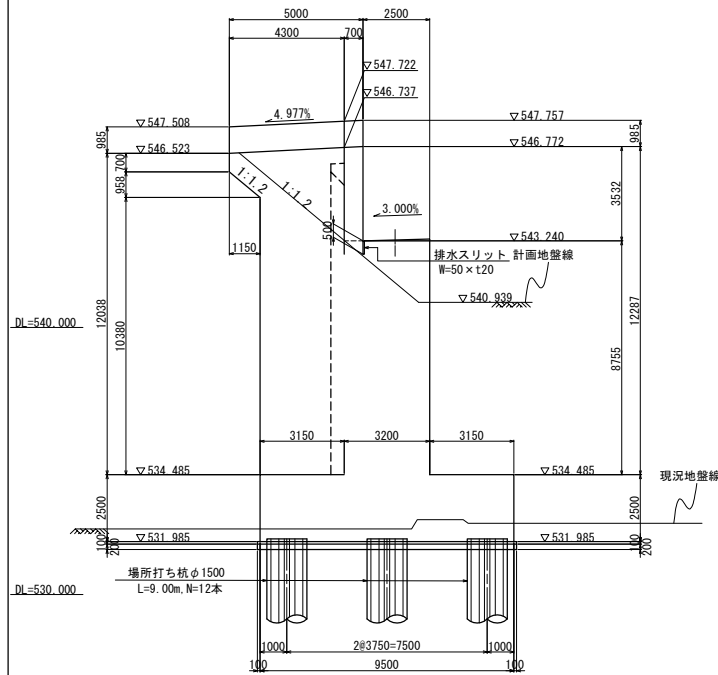
()内は呼び強度を表す

	長野自動車道		
	安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事		
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 AI橋台構造一般図(その1)(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	109 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

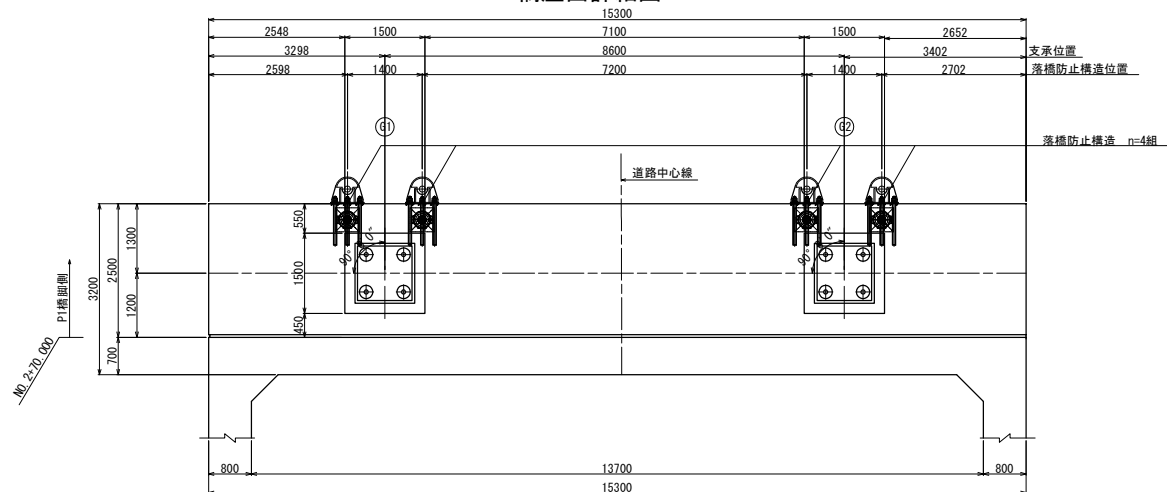
左ウィング側面図
(4 - 4)

右ウィング側面図
(5 - 5)

壁高欄シフト図 S=1:100



橋座面詳細図 S=1:100

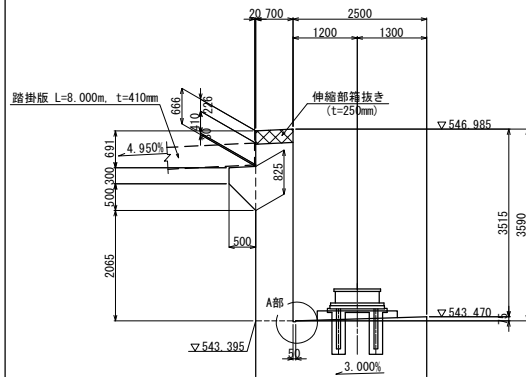


長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部工)工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1橋台構造一般図(その2) (参考図)			
縮尺	図示	図面番号	110	/ 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

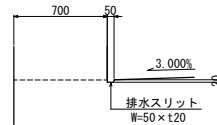
パラペット部詳細図 S=1:100

落橋防止装置 側面図 S=1:100

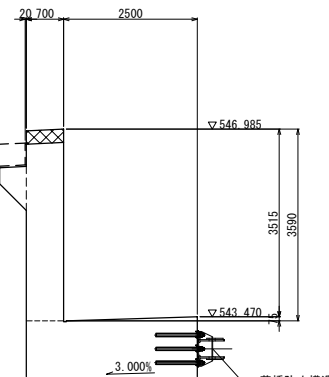
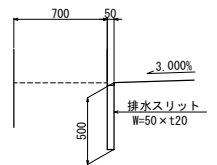
支 承 詳 細 図 S=1:60
E-1 (A)



A部詳細図 S=1:40

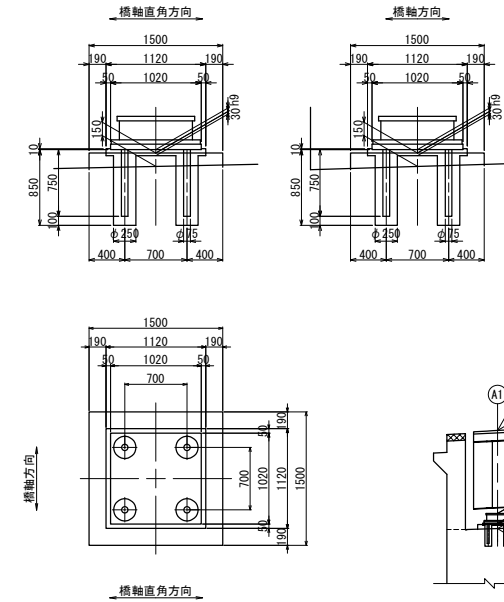
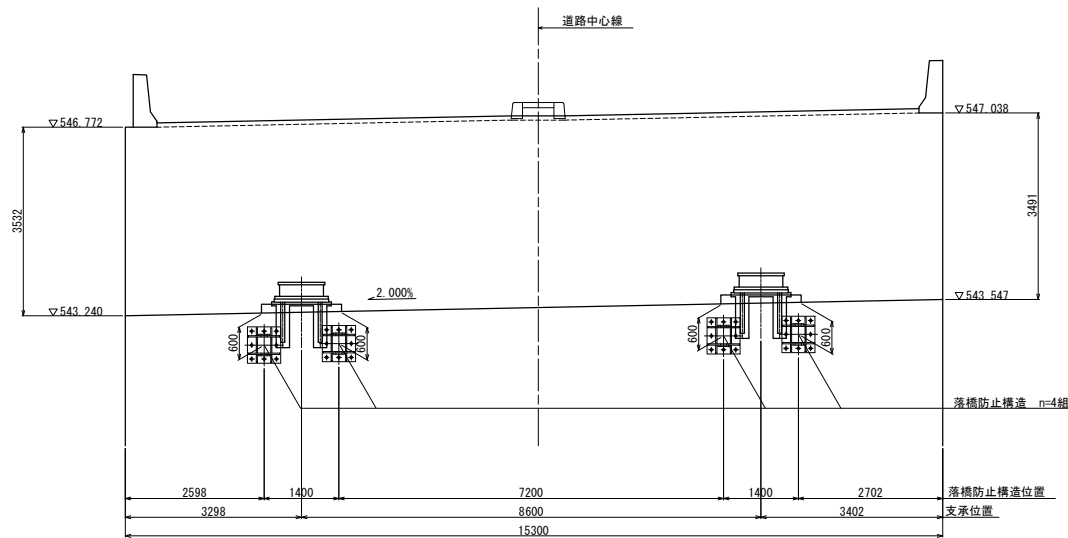


左側面排水スリット詳細図 S=1:40

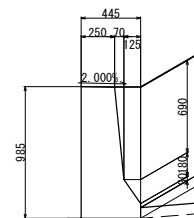


落橋防止装置 配置図

S=1:100



壁高欄詳細図 S=1:40

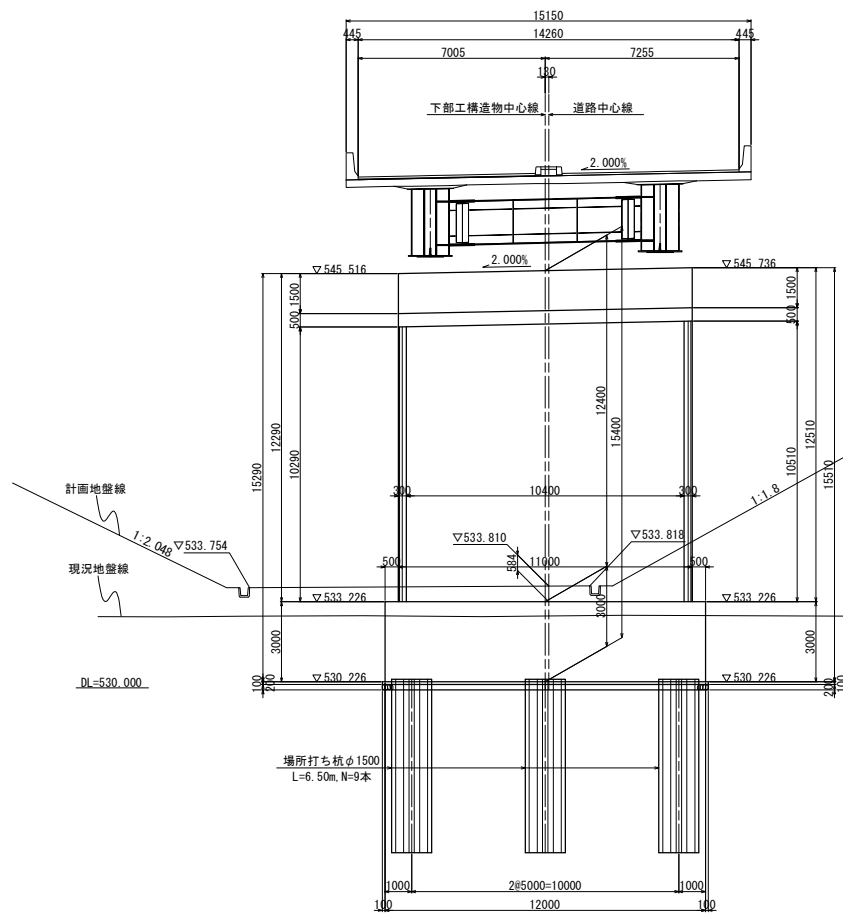


構造高表 (支承ライン)

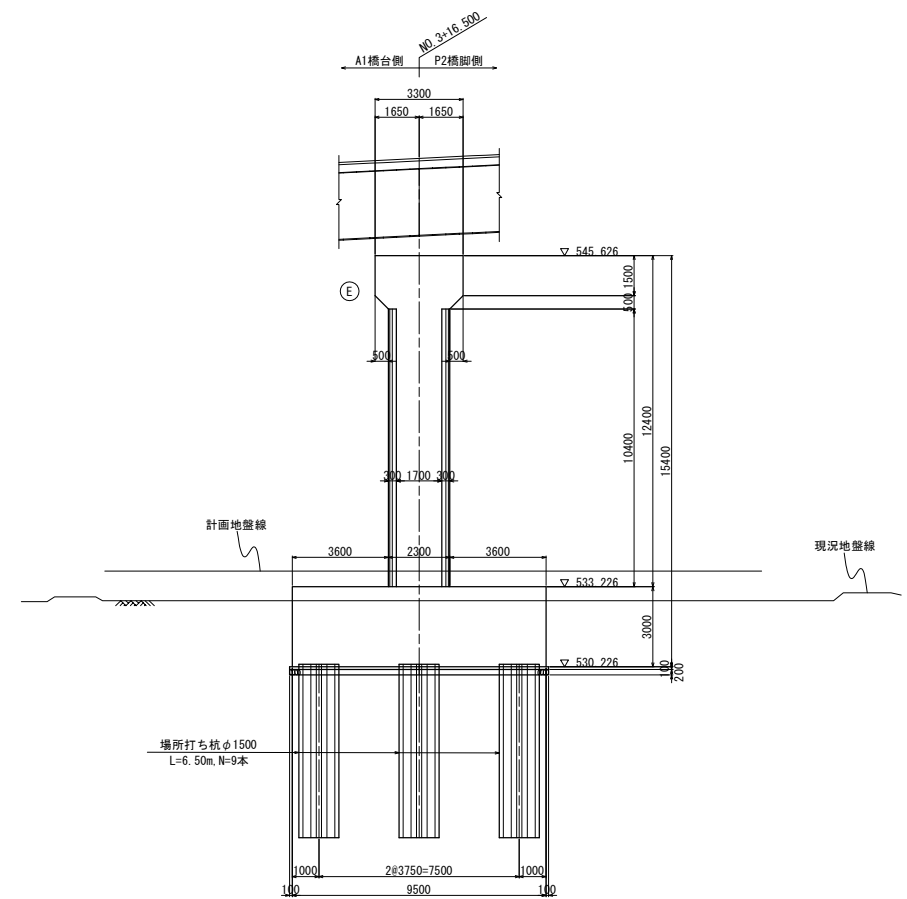
		G1	A1 CL	G2
計 画 高	PH1	546.966		547.117
舗 装 厚	h1	0.080		0.080
調整コンクリート厚	h2	0.020		0.000
床 板 厚	h3	0.290		0.290
ハ ン チ 厚	h4	0.100		0.100
桁 高	h5	2.500		2.500
フランジ厚	h6	0.016		0.016
ソール厚	h7	0.055		0.055
支 承 高	h8	0.374		0.374
モルタル高	h9	0.039		0.038
台 座 高	h10	0.150		0.150
合 計		3.624		3.603
下部工天端高	PH2	543.342	543.431	543.514
橋 座 面 勾 配	横断	2.000%		

長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A1橋台構造一般図(その3) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	111 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

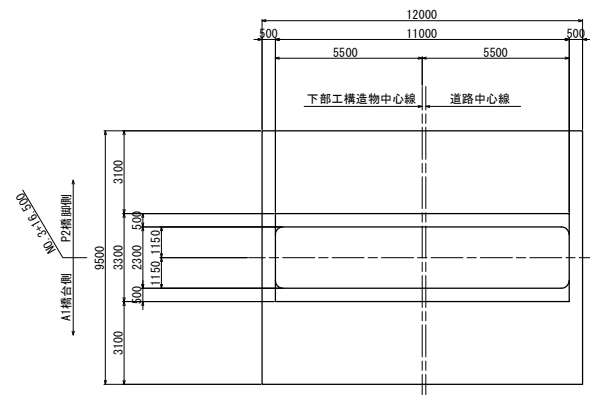
正面図



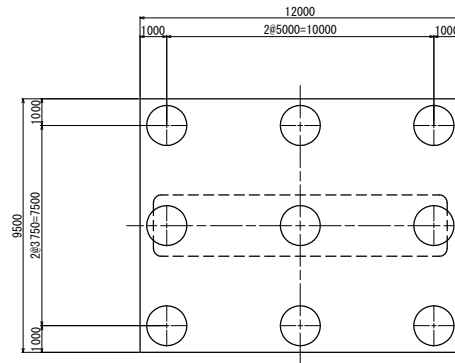
側面図



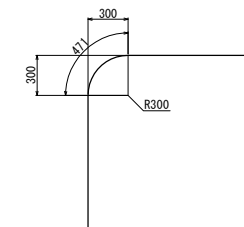
平面図



杭配置図



柱面取り詳細図



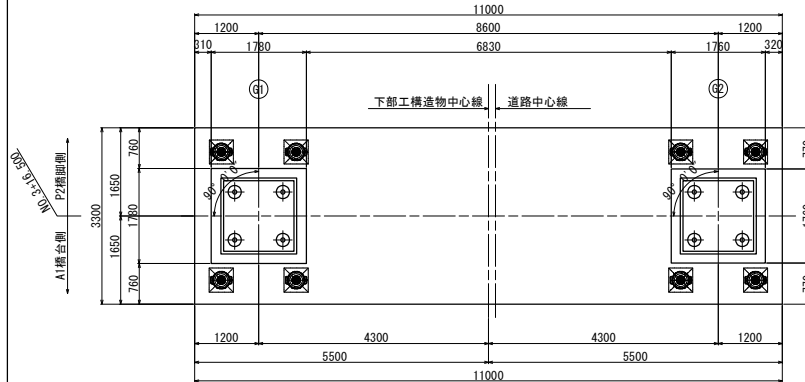
下部工施工材料基準強度

	コンクリート	鉄筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (30)	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

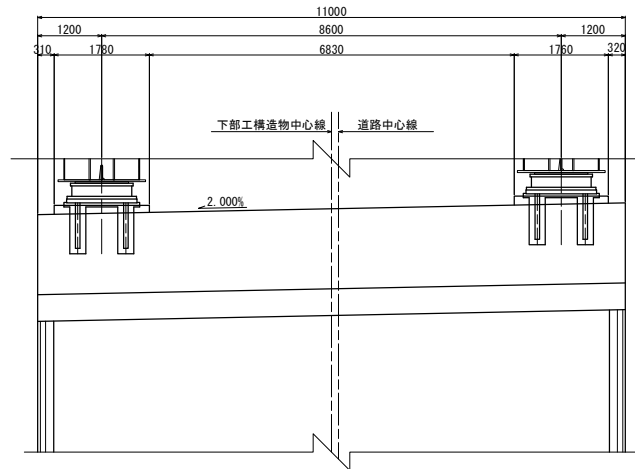
()内は呼び強度を表す

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P1橋脚構造一般図(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	112 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

橋座部平面図 S=1:50



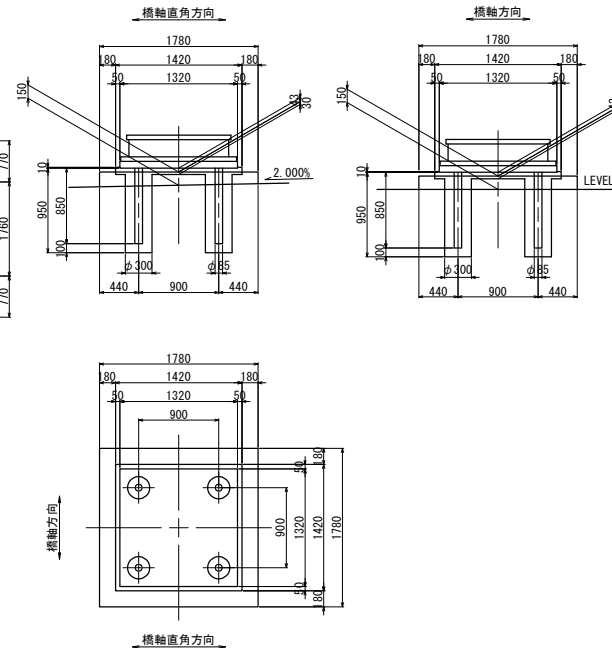
橋座部正面図 S=1:50



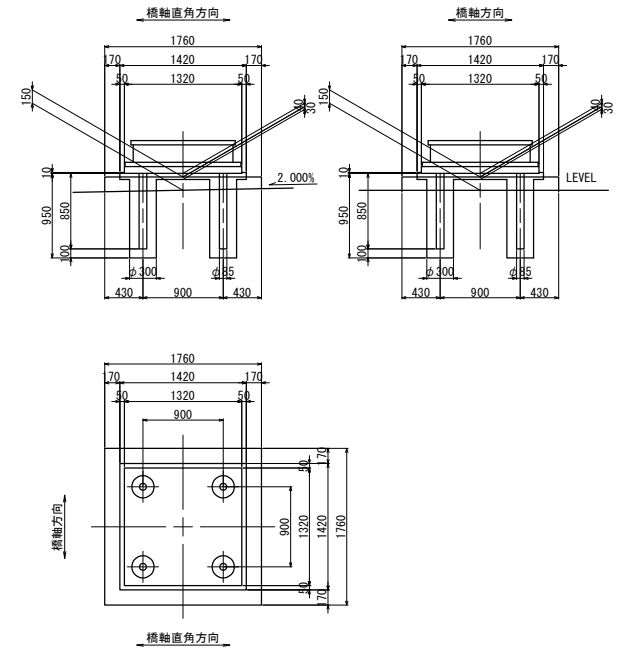
支 承 詳 細 図 S=1:30

E-6 (A)

(G1桁側)

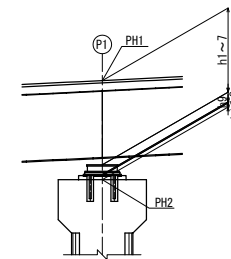


(G2桁側)

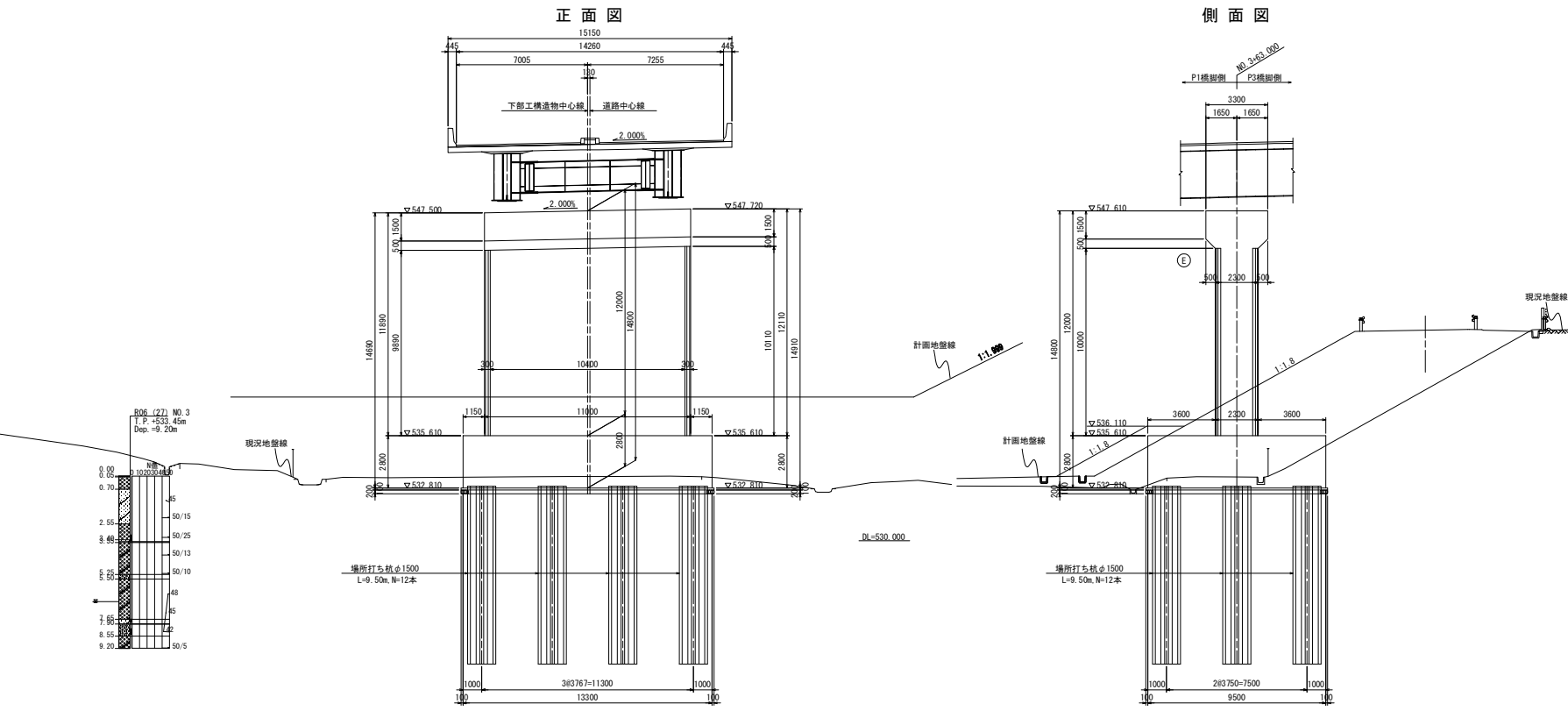


構造高表 (支承ライン)

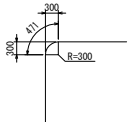
		P1			
		G1	GCL	CL	G2
計 面 高	PH1	549.185	549.264		549.337
舗 装 厚	h1	0.080			0.080
調整コンクリート厚	h2	0.020			0.000
床 板 厚	h3	0.290			0.290
ハ ン チ	h4	0.100			0.100
桁 高	h5	2.500			2.500
フランジ厚	h6	0.032			0.035
ソール厚	h7	0.062			0.062
支 承 高	h8	0.369			0.369
モルタル高	h9	0.042			0.039
台 座 高	h10	0.150			0.150
合 計		3.645	3.638		3.625
下部工天端高	PH2	545.540	545.626		545.712
橋 座 面 勾 配	横断	2.000%			



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P1橋脚構造一般図（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	113 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事業務所		



柱面取り詳細図 S=1:250



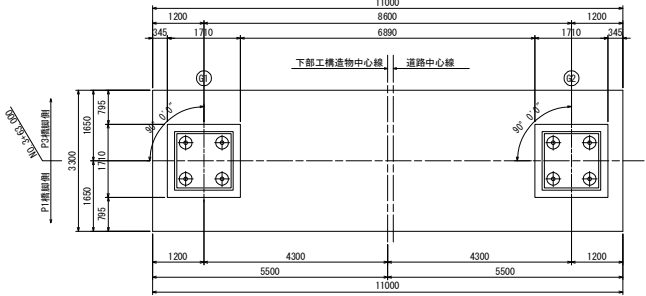
下部工施工材料基準強度

	コンクリート	鉄筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	S0345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	S0345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (30)	S0345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

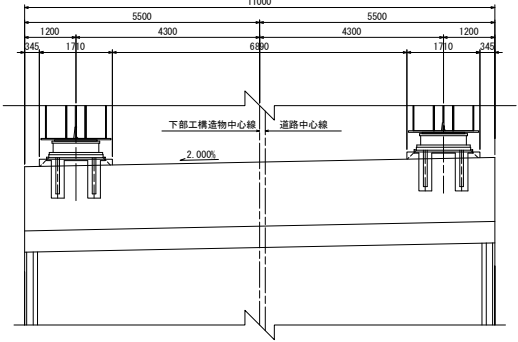
()内は呼び強度を表す

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P2橋脚構造一般図(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	114 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

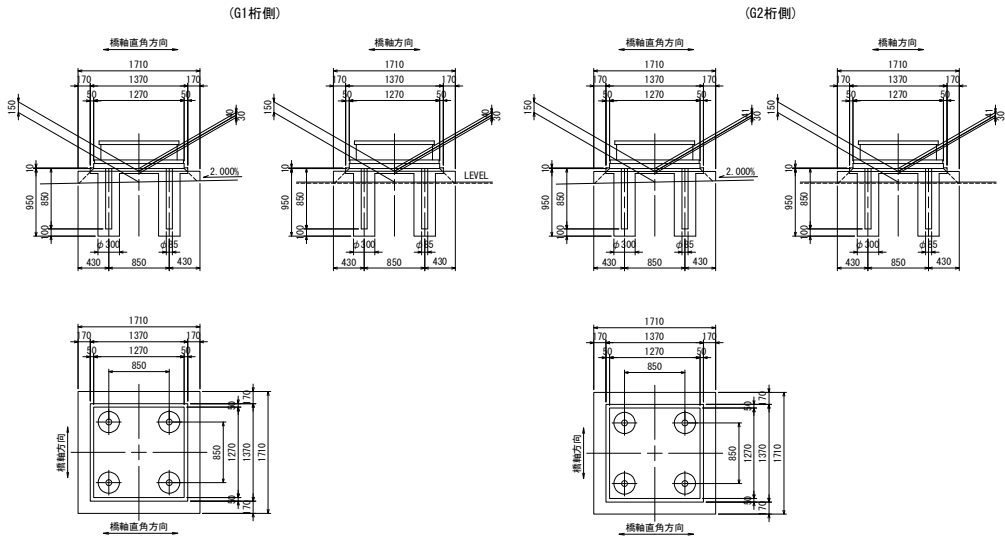
橋座部平面図 S=1:250



橋座部正面図 S=1:250

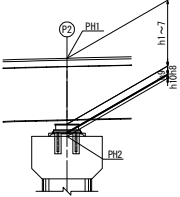


支 承 詳 細 図 S=1:150
E-5 (A)



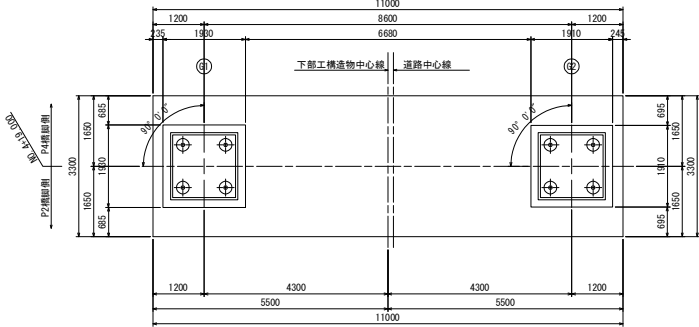
構造高表 (支承ライン)

		P2			
		G1	G2	G3	G4
計 画 高	PH1	551.169			551.321
橋 梁 厚	h1	0.080			0.080
調整コンクリート厚	h2	0.020			0.000
床 板 厚	h3	0.290			0.290
ハ ン チ	h4	0.100			0.100
桁 高	h5	2.500			2.500
フ ラ ン ジ 厚	h6	0.029			0.029
ソ ー ル 厚	h7	0.049			0.049
支 承 高	h8	0.387			0.387
モ ル タ ル 高	h9	0.040			0.040
台 座 高	h10	0.150			0.150
合 計		3.645			3.625
下 部 工 天 端 高	PH2	547.524			547.696
橋 座 面 勾 配	横断	2.000%			

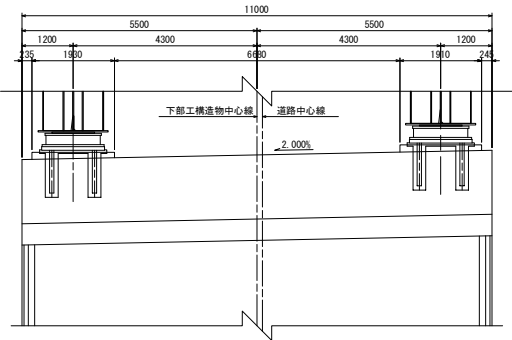


長 野 自 動 車 道				
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P2橋脚構造一般図(その2) (参考図)			
縮 尺	図 示	図面番号	115	/ 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所			

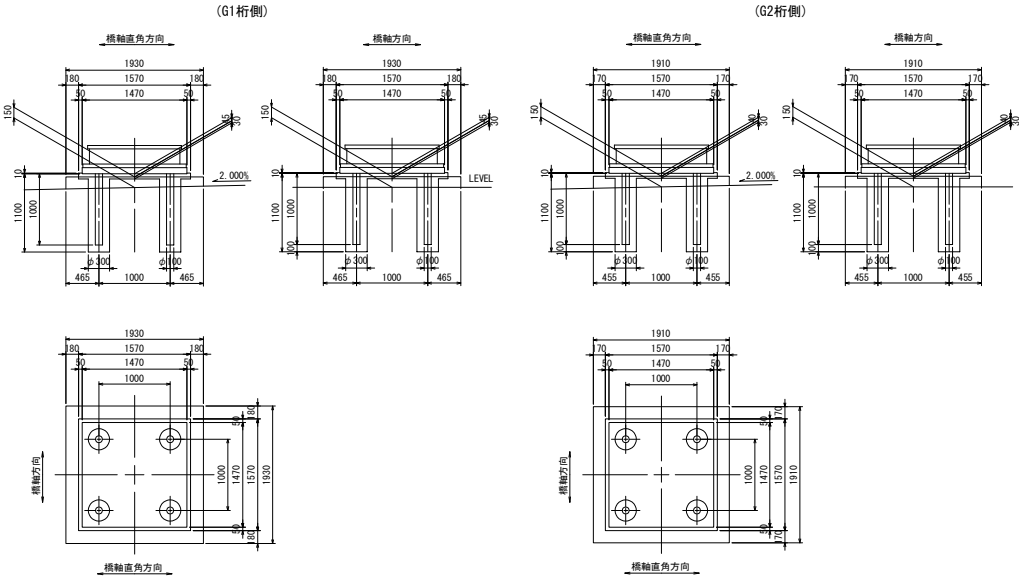
橋座部平面図 S=1:125



橋座部正面図 S=1:125

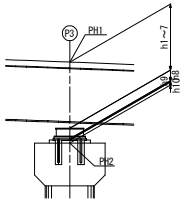


支承詳細図 E-7(A) S=1:75



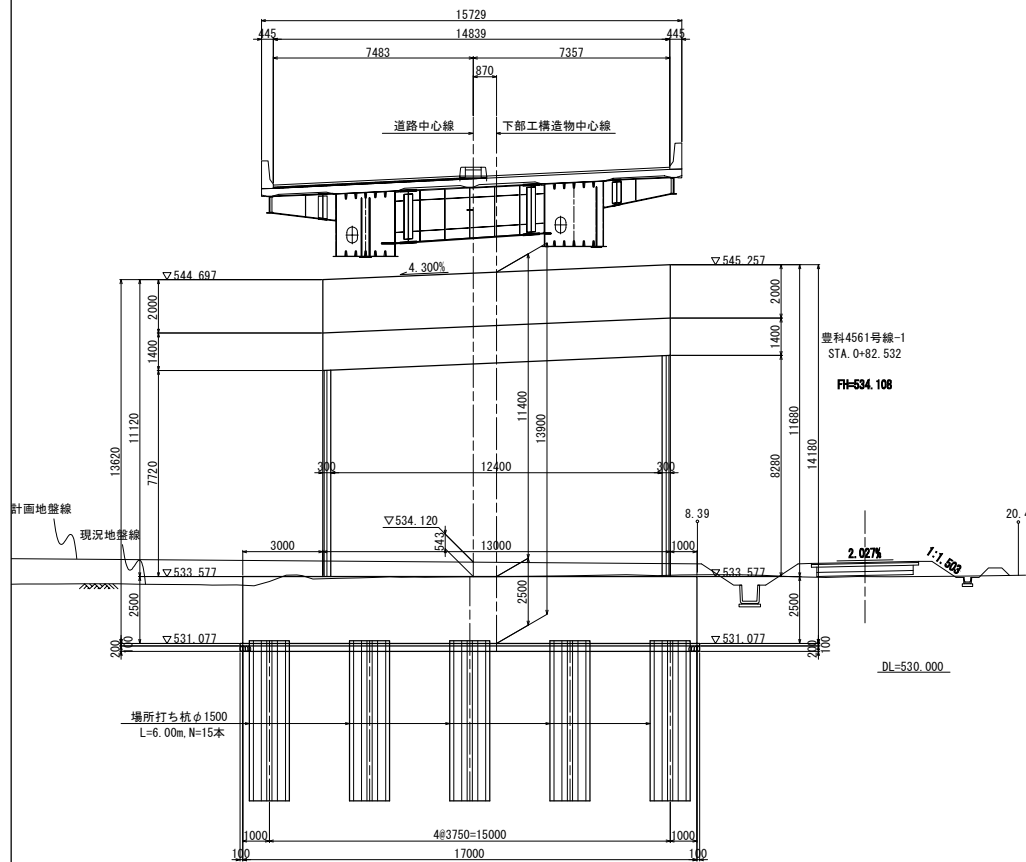
構造高表 (支承ライン)

		P3			
		G1	GCL	CL	G2
計	画 高	PH1	550.736		550.888
舗	装 厚	h1	0.080		0.080
調整	コンクリート厚	h2	0.020		0.000
床	板 厚	h3	0.290		0.290
ハ	ン チ	h4	0.100		0.100
桁	高	h5	2.500		2.500
フ	ラ ン ジ 厚	h6	0.051		0.056
ソ	ー ル 厚	h7	0.060		0.060
支	承 高	h8	0.397		0.397
モ	ル タ ル 高	h9	0.044		0.039
台	座 高	h10	0.150		0.150
合	計		3.692		3.672
下	部 工 天 端 高	PH2	547.044		547.216
橋	座 面 勾 配	横断	2.000%		

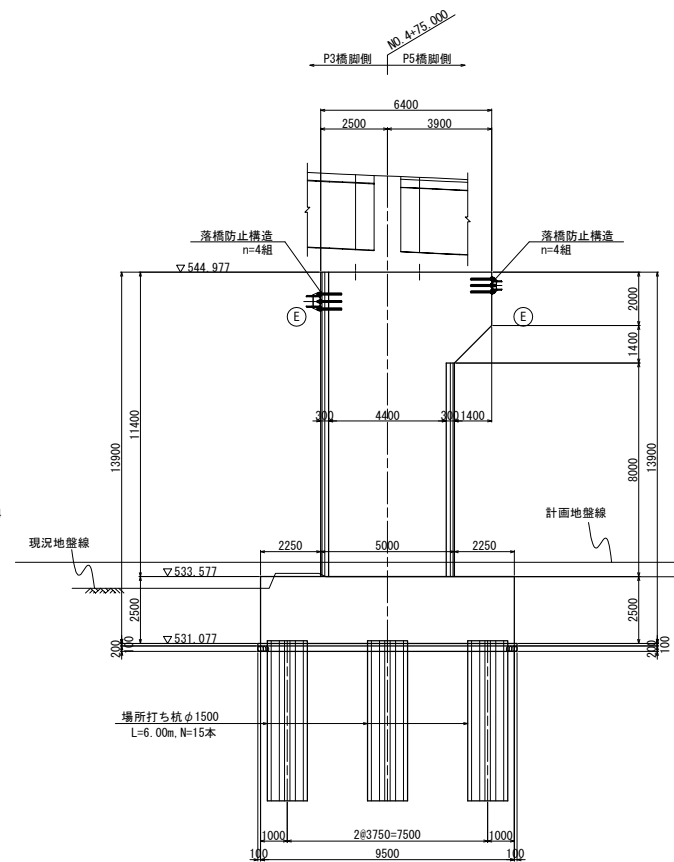


長 野 自 動 車 道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P3橋脚構造一般図(その2)（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	117 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 務 所			

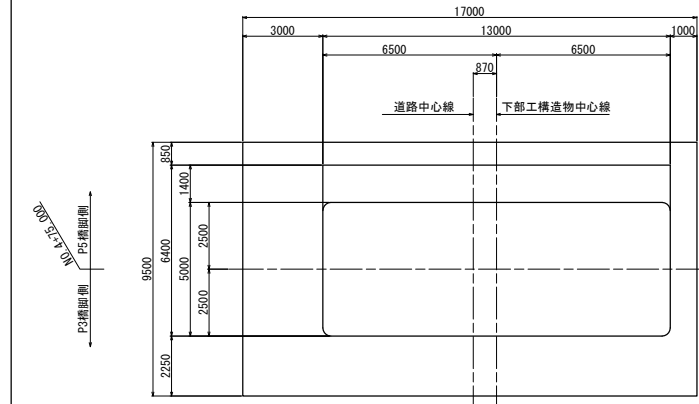
正面図



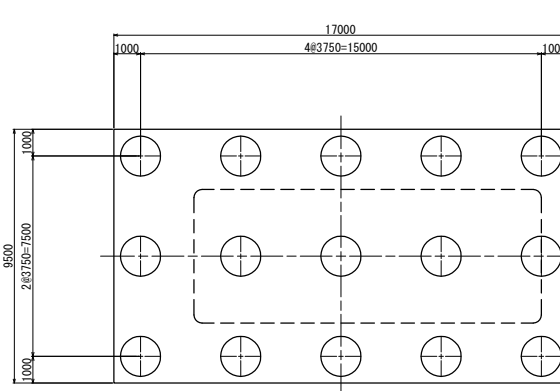
側面図



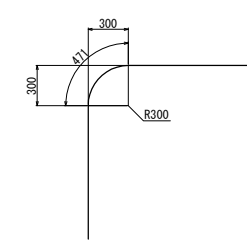
平面図



杭配置図



柱面取り詳細図 S=1:40



下部施工材料基準強度

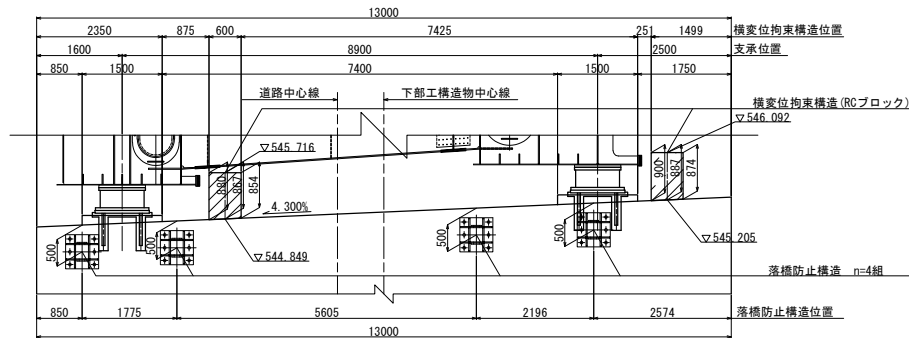
	コンクリート	鉄 筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ (36)	SD490
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

() 内は呼び強度を表す

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その1) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	118 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

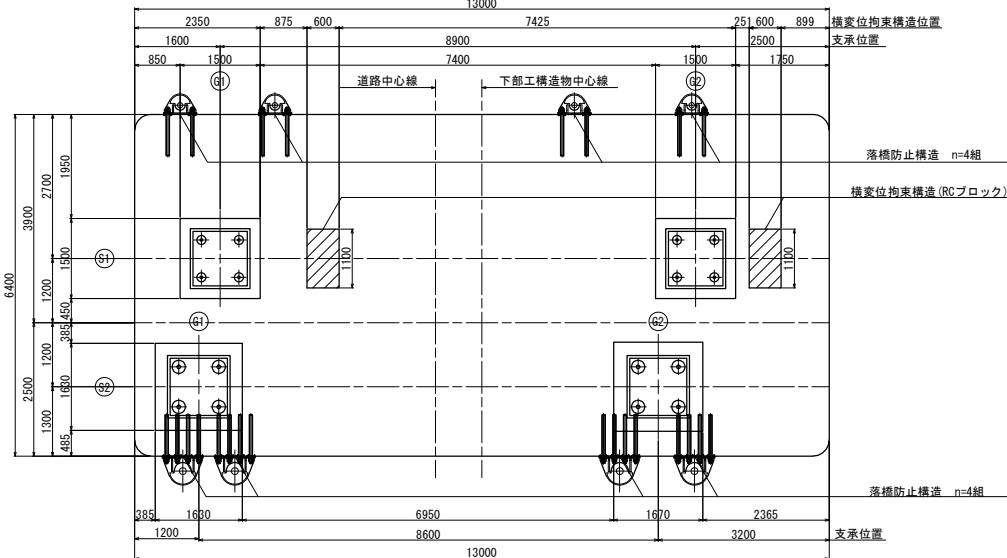
橋座部正面図 S=1:100

終点側(S1)



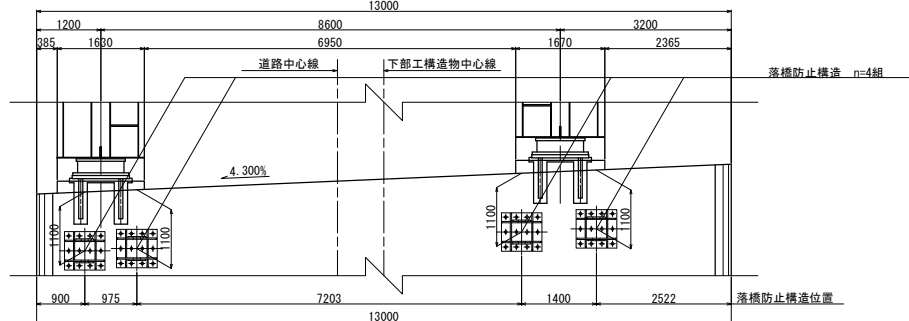
橋座部平面図 S=1:100

橋軸直角方向



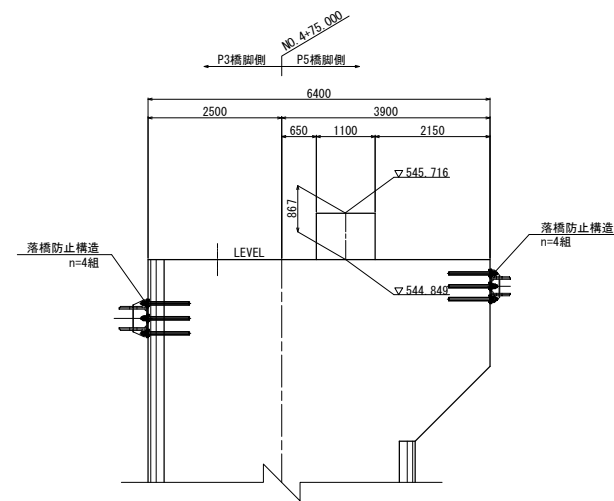
橋座部正面図 S=1:100

起点側(S2)

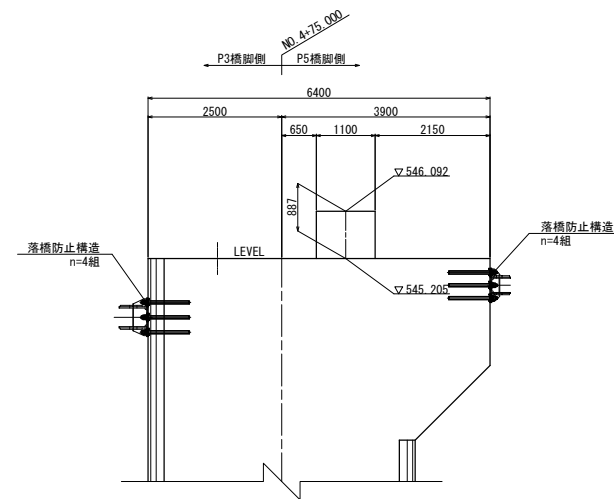


橋座部側面図 S=1:100

(G1桁側)

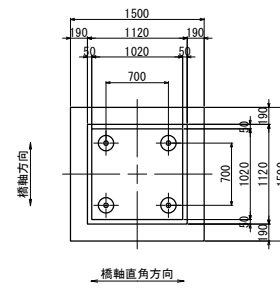
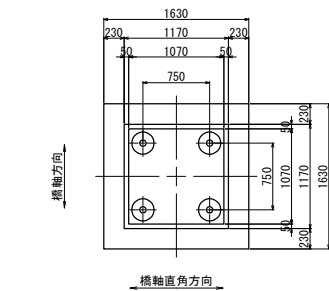
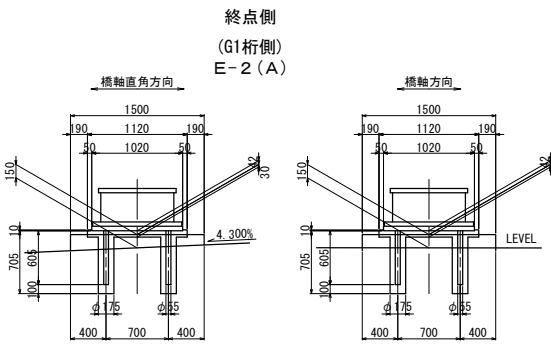
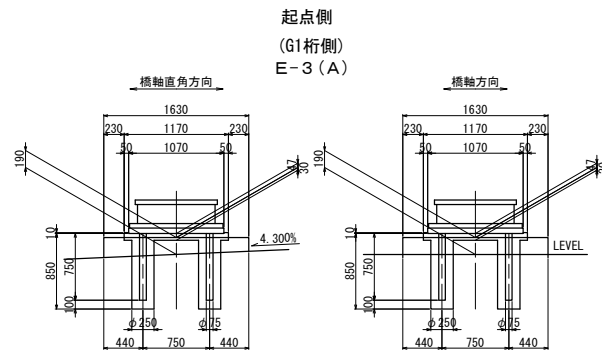


(G2桁側)



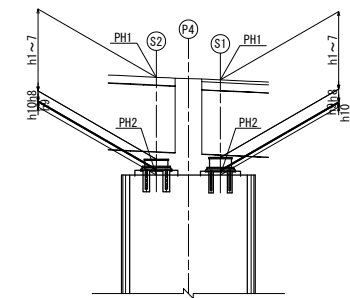
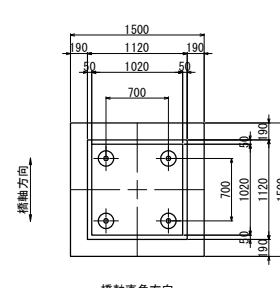
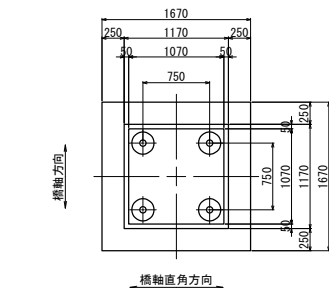
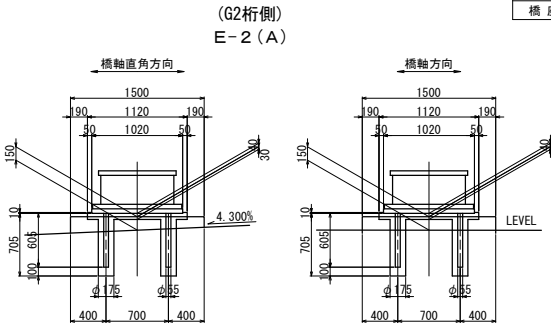
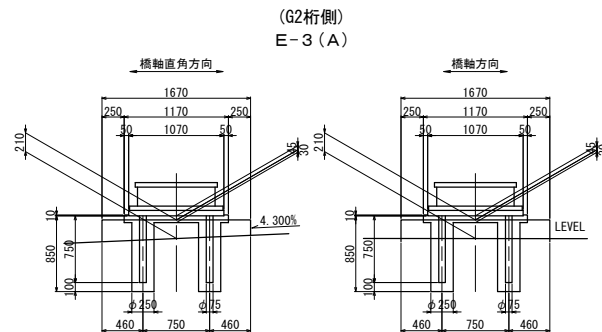
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	119 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

支 承 詳 細 図 S=1:60



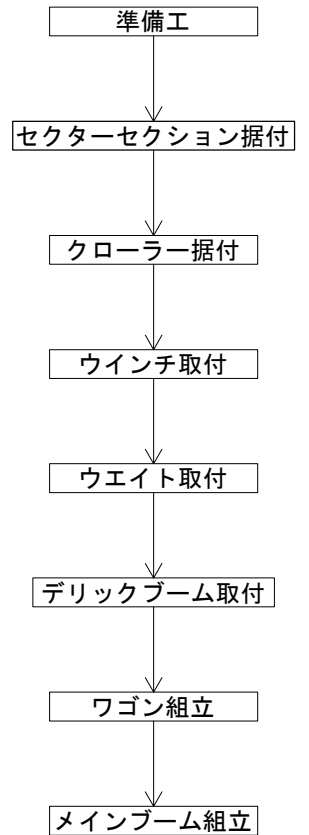
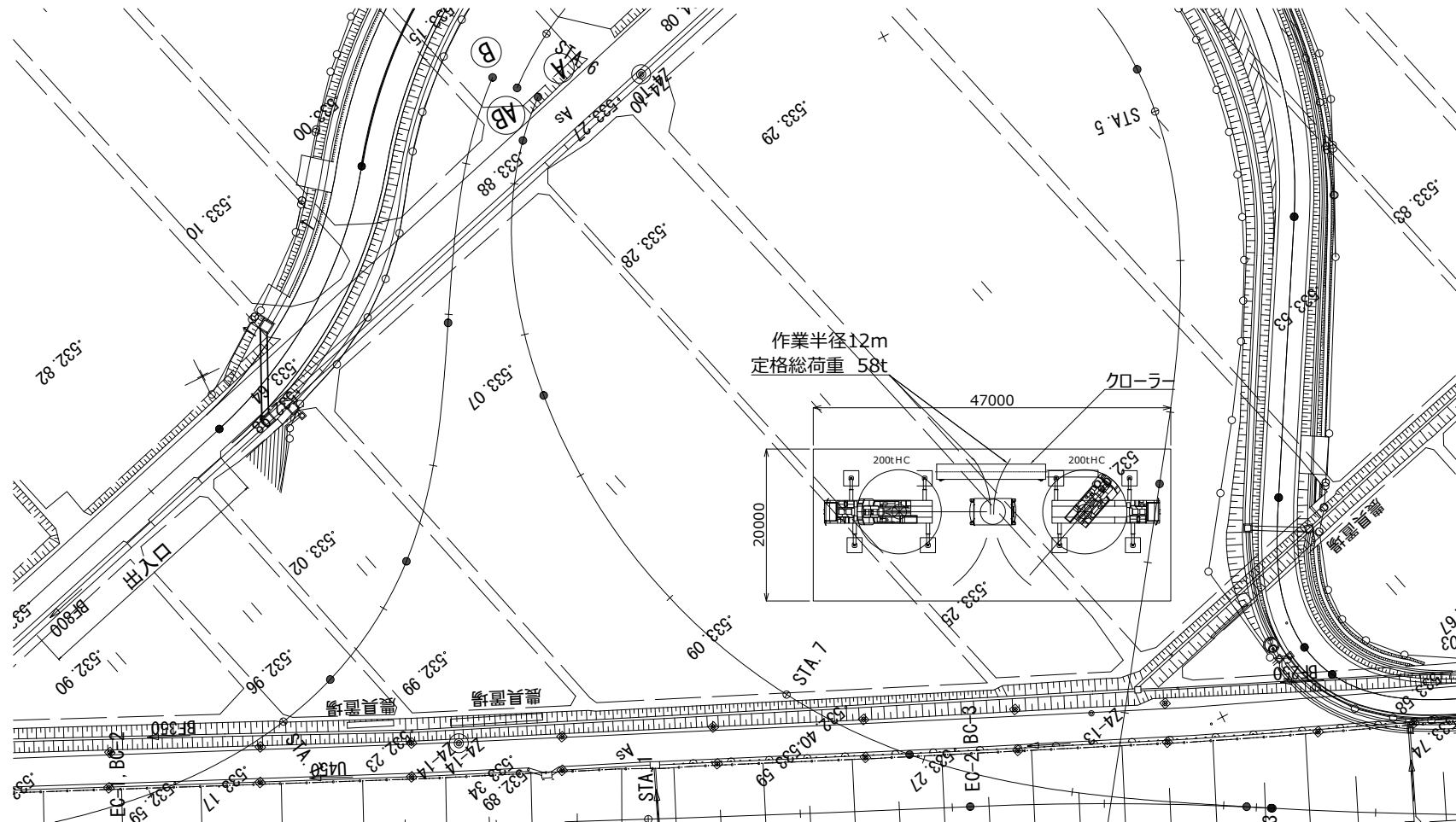
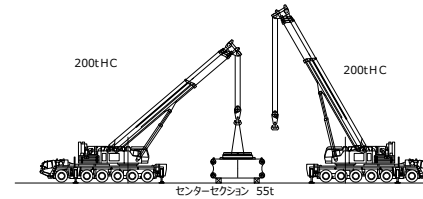
構造高表 (支承ライン)

		起点側支承位置 (S2)				橋脚中心		終点側支承位置 (S1)			
		G1	CL	GOL	G2			G1	CL	GOL	G2
計 画 高	PH1	548.447		548.639				548.355		548.545	548.686
舗 装 厚	h1	0.080			0.080			0.080			0.080
調整コンクリート	h2	0.046			0.000			0.046			0.000
床 版 厚	h3	0.290			0.290			0.230			0.230
ハ ン チ 厚	h4	0.100			0.100			0.100			0.100
桁 高	h5	2.500			2.500			2.400			2.400
フランジ厚	h6	0.016			0.019			0.010			0.012
ソール厚	h7	0.055			0.051			0.054			0.050
支 承 高	h8	0.374			0.374			0.476			0.476
モルタル厚	h9	0.047			0.045			0.041			0.039
台 座 高	h10	0.190			0.210			0.150			0.150
合 計		3.698		3.662	3.669			3.589		3.568	3.537
下部工天端高	PH2	544.749	544.940	544.977	545.119	544.977		544.766	544.987	544.977	545.149
橋 座 面 勾 配	横断					4.300%					



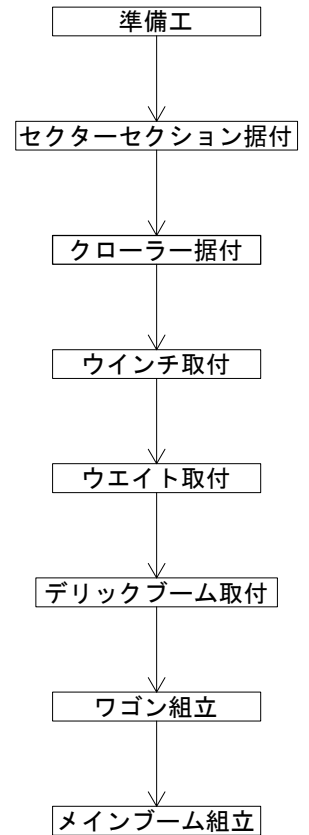
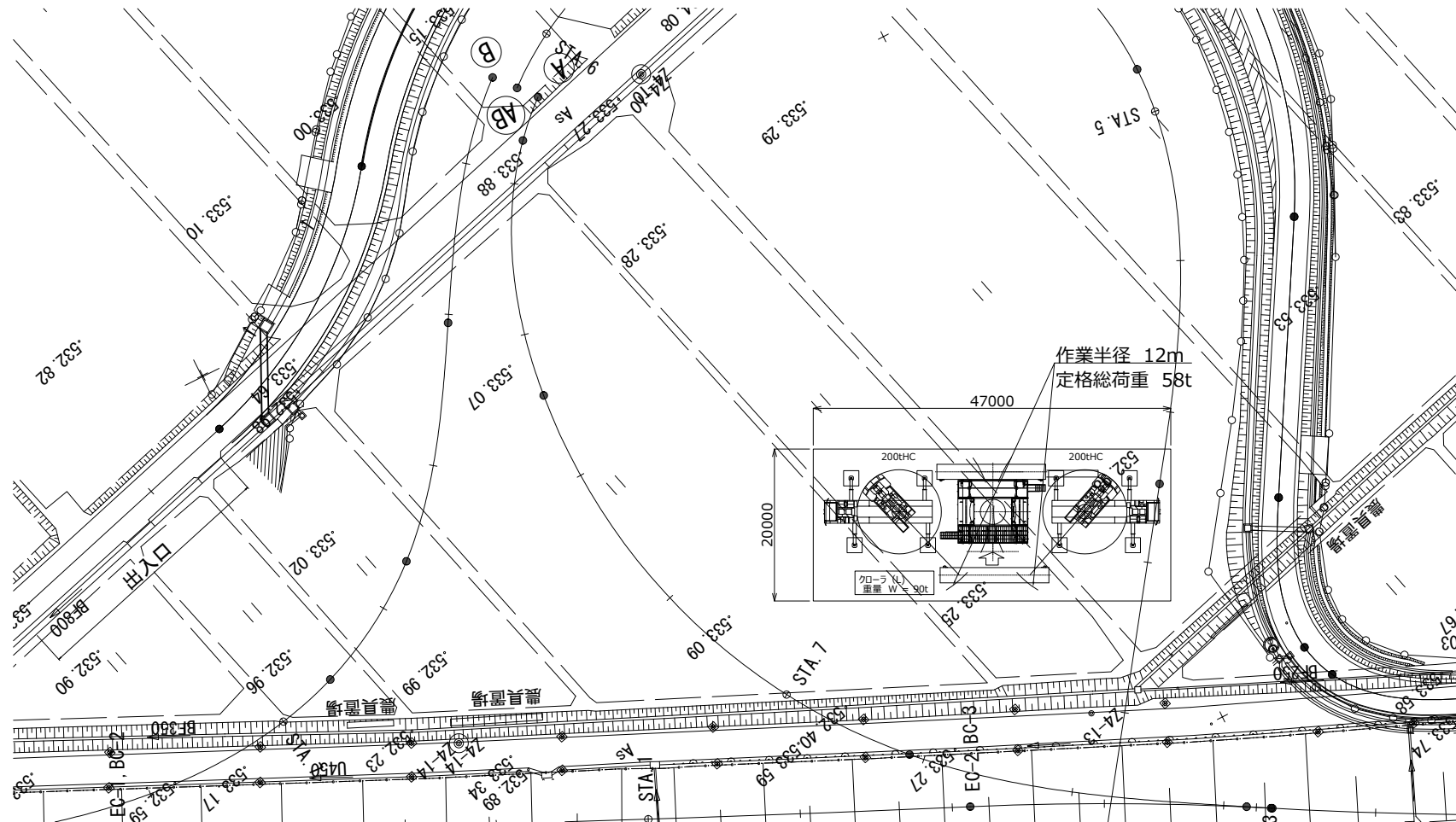
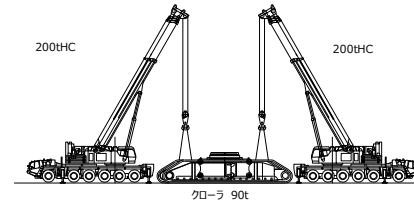
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その3) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	120 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図（センターセクション据付）



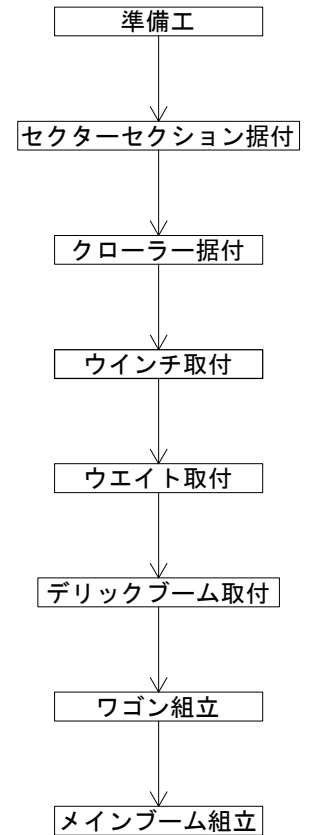
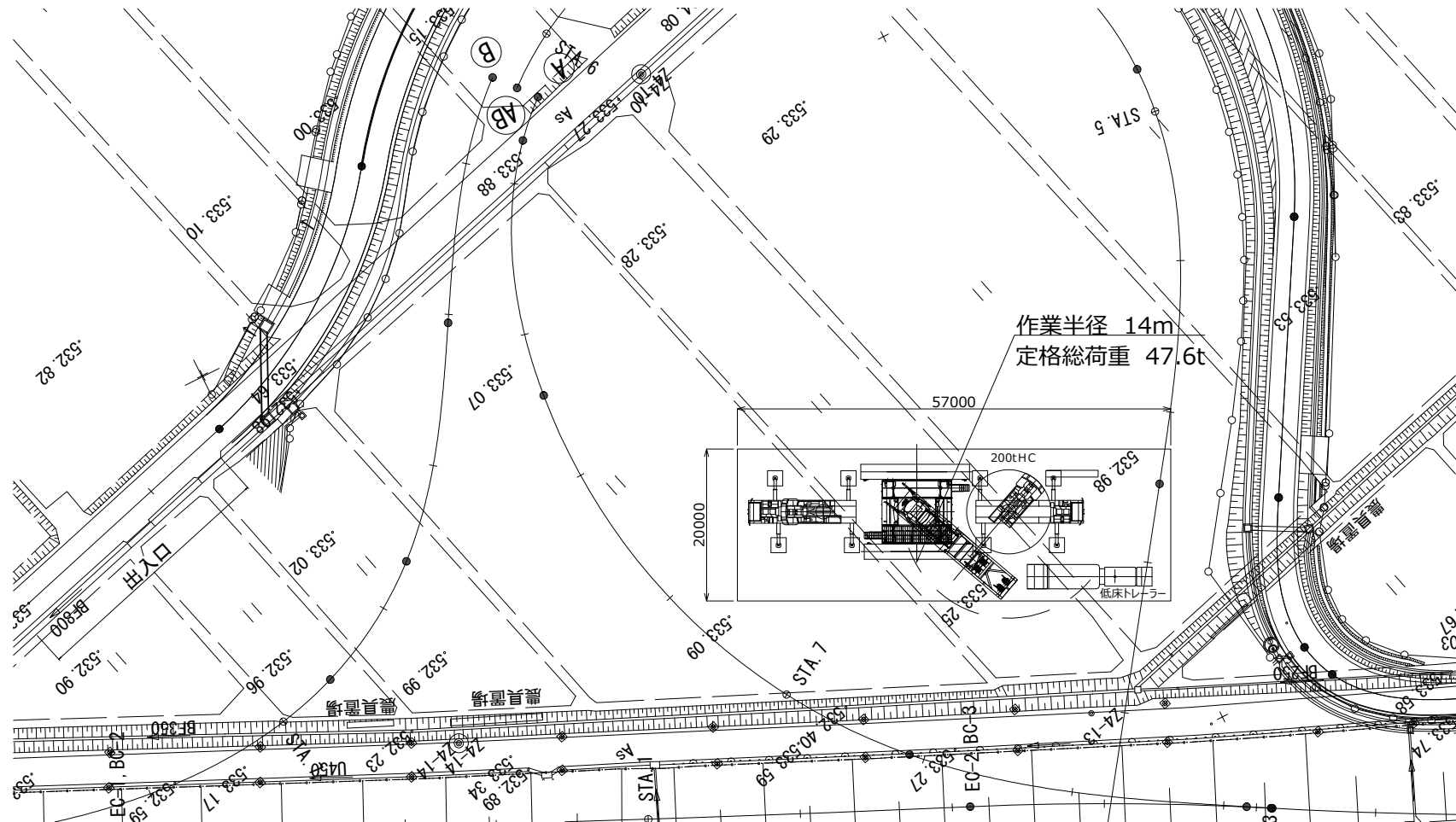
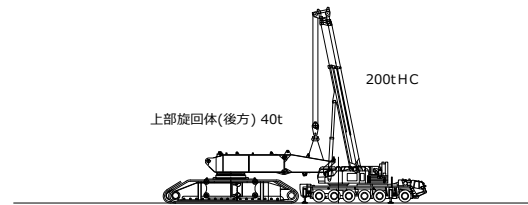
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 クローラークレーンの組立ステップ図（その1）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	121 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図(クローラー取付)



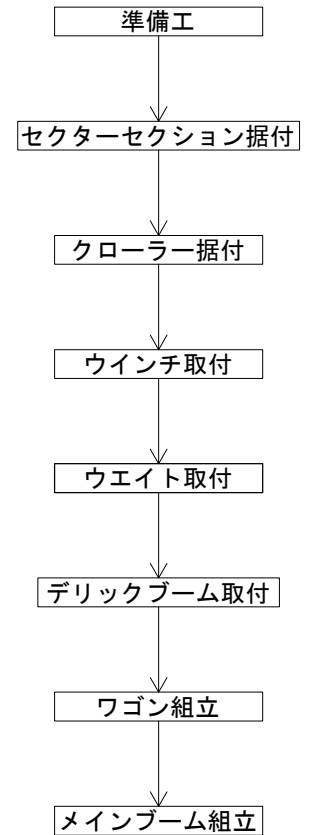
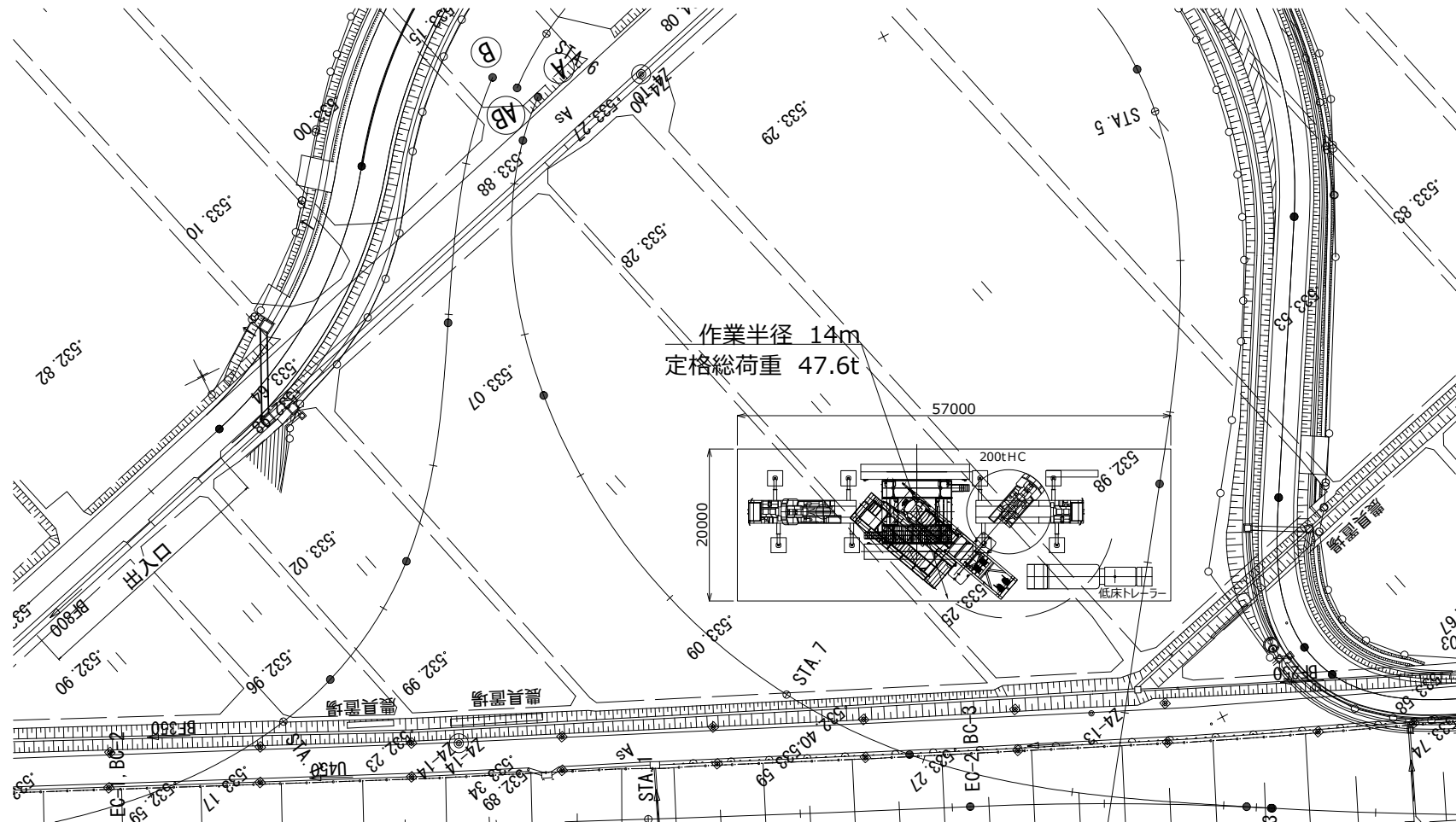
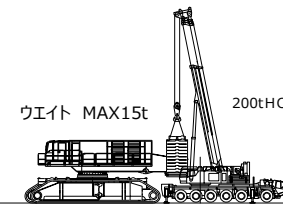
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部分）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋		
	クローラークレーンの組立ステップ図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	122 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図（ウインチ取付）



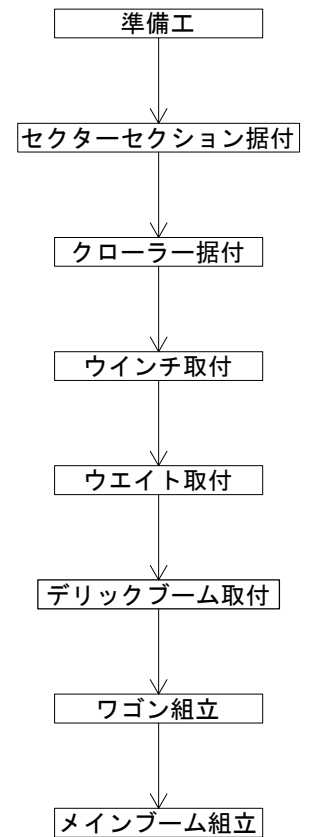
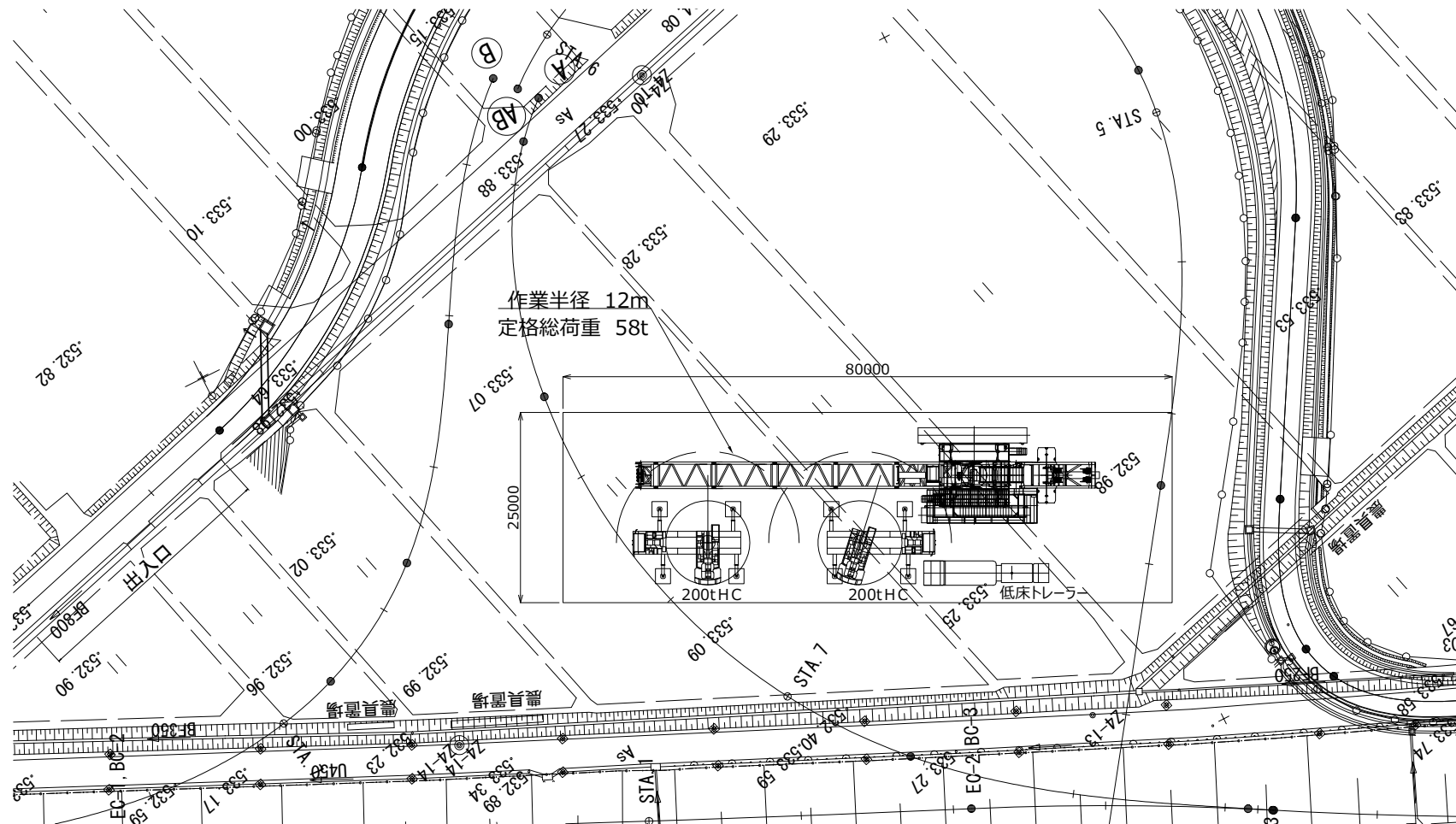
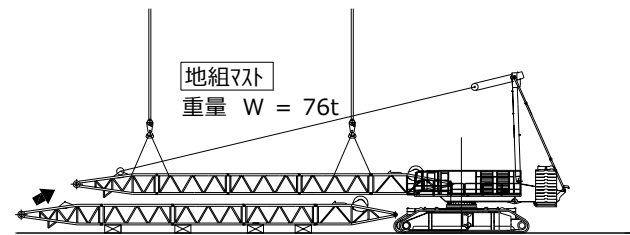
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上側工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋		
	クローラークレーンの組立ステップ図（その3）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	123 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図（ウェイト取付）



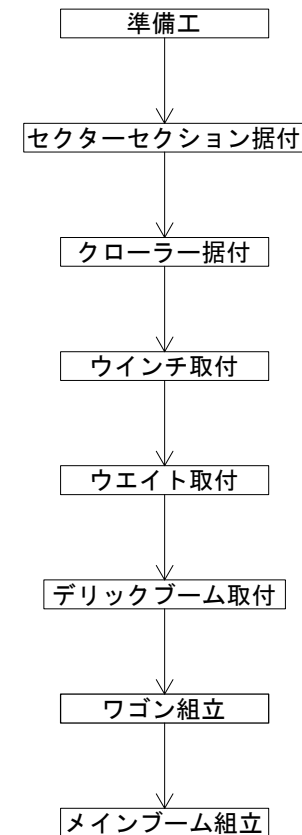
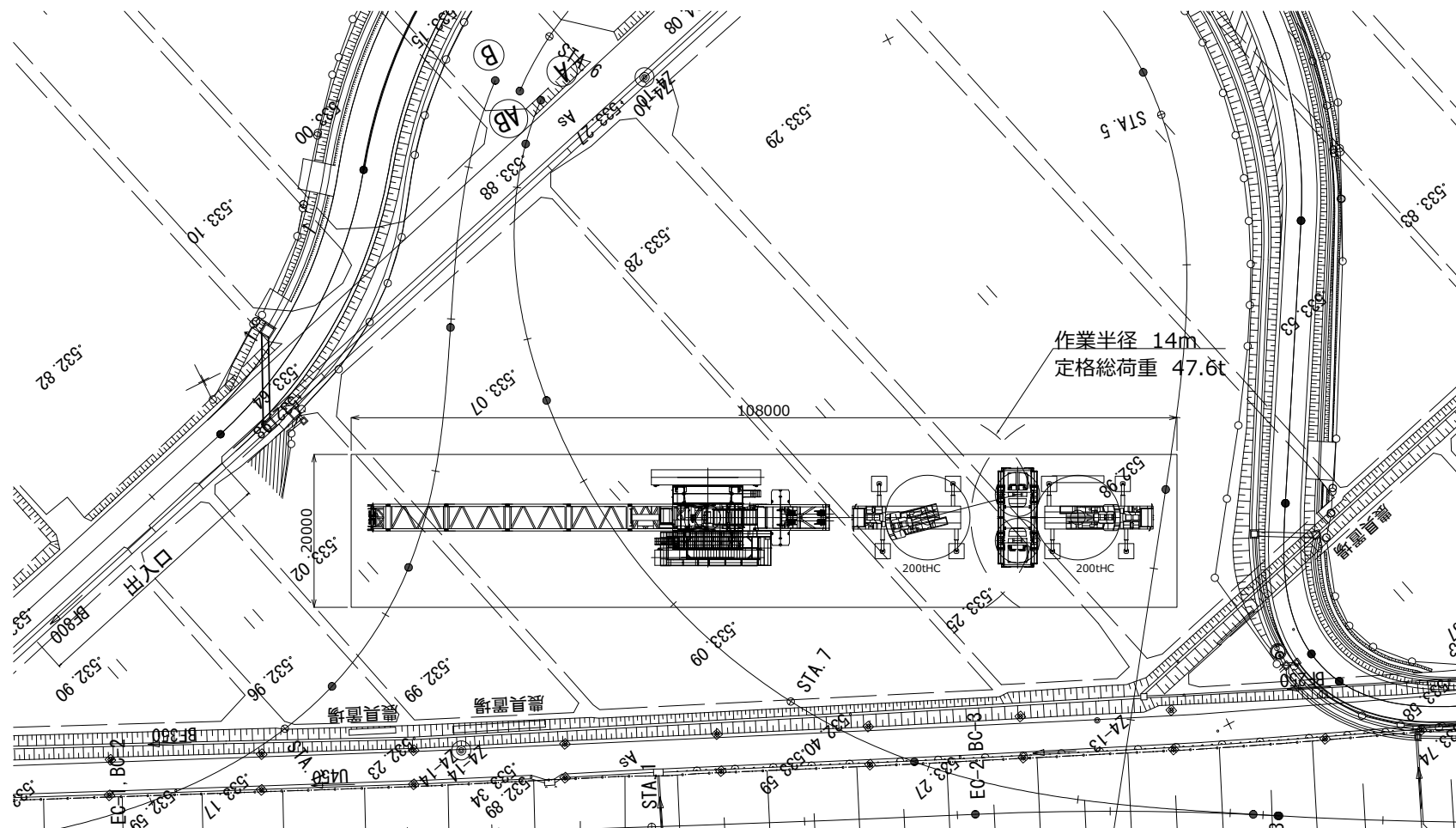
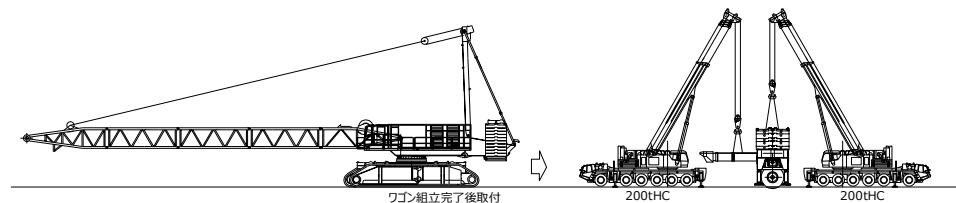
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上側工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 クローラークレーンの組立ステップ図（その4）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	124 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図（デリックブーム取付）



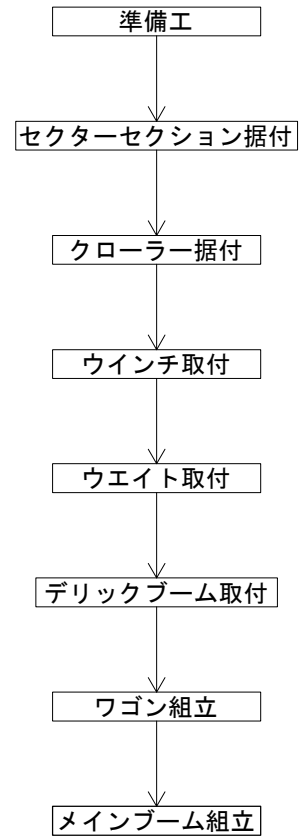
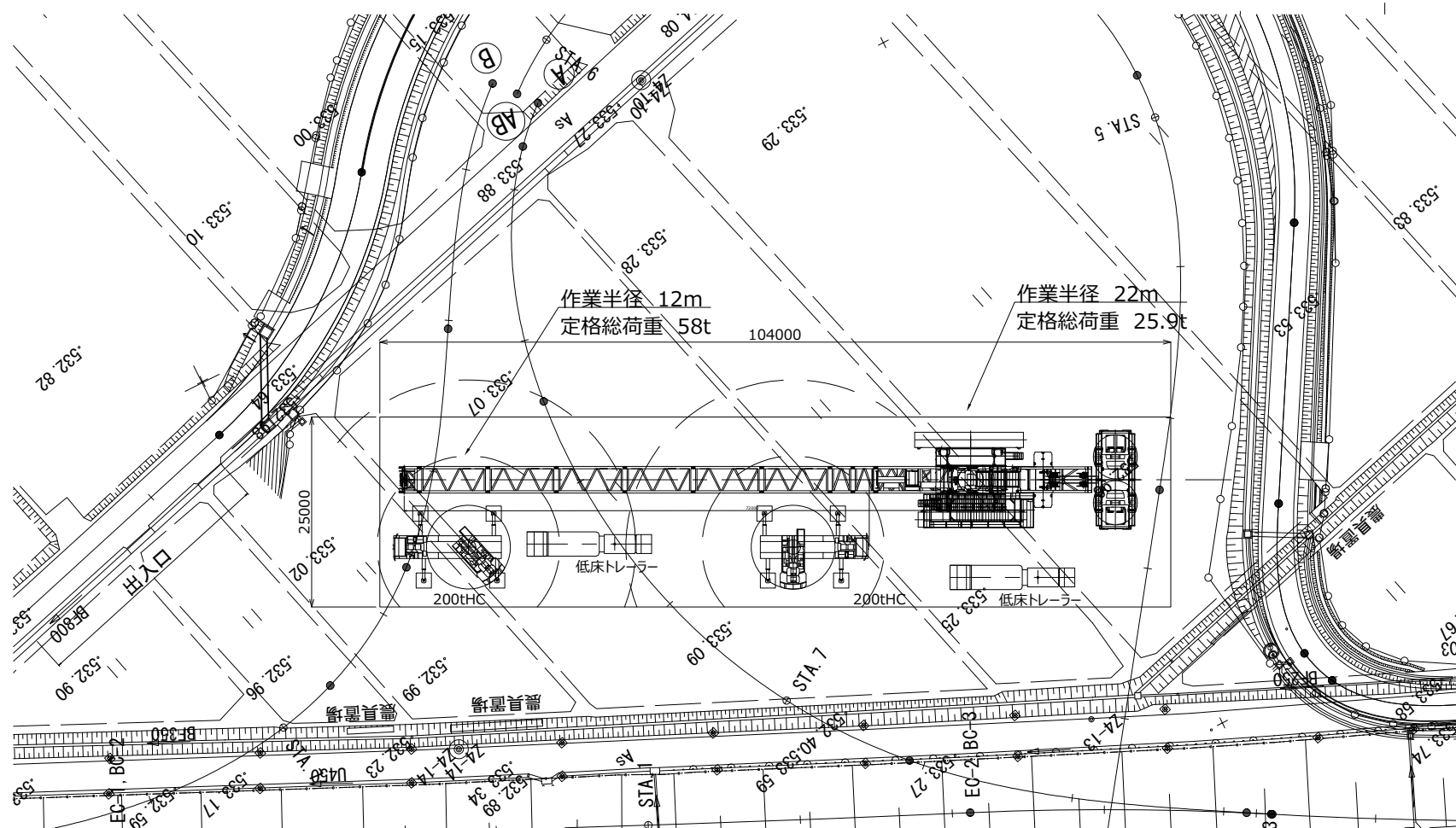
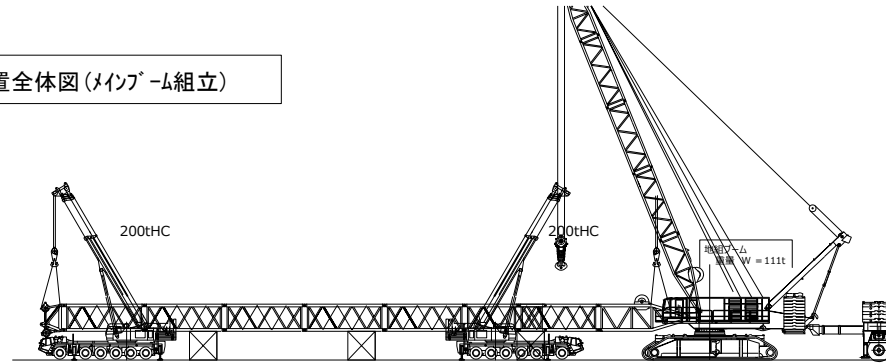
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋		
	クローラークレーンの組立ステップ図（その5）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	125 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

200tHC配置全体図(ワゴン組立)



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上側工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 クローラークレーンの組立ステップ図(その6) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	126 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

200tHC配置全体図（メインブーム組立）



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上側工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 クローラークレーンの組立ステップ図（その7）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	127 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

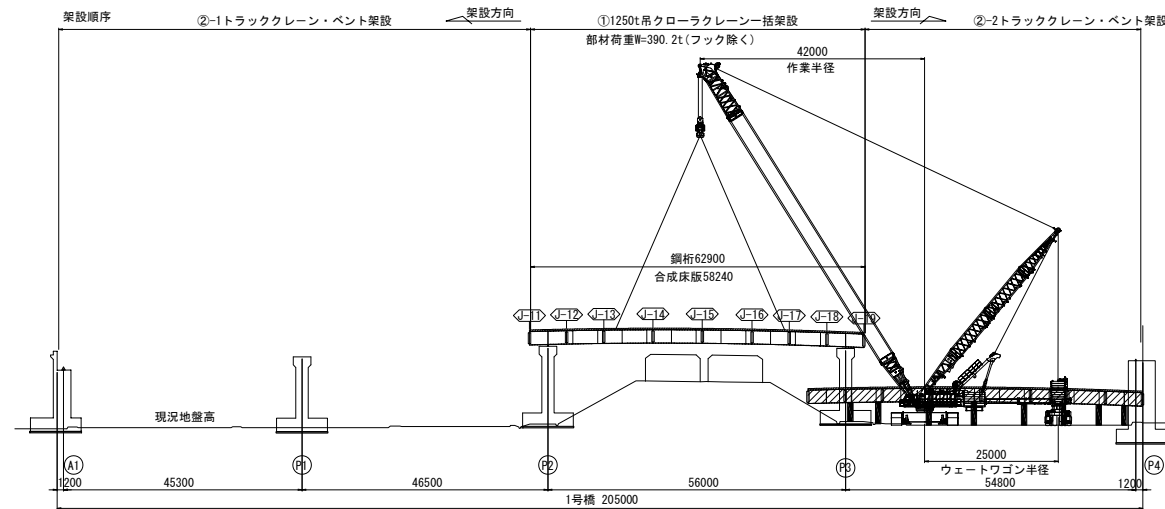
安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図（その1）（参考図）

S=1:1000

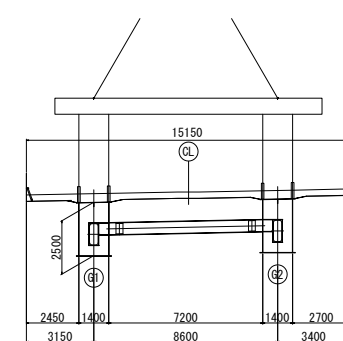
128 / 256

P2～P3 (J11～J19)一括架設
合成床版全載荷

側面図



断面図 S=1:100



1250t吊クローラークレーン
ウェートワゴン半径: 25m
ブーム長 = 72m

吊上げ部材
部材重量 W=390.2t (ブック除く)
部材長 L=62.400m
部材巾 B=15.150m

クレーン据付位置

桁架設吊り上げ前に移動し、据え付ける



クレーン組立時



桁架設立時

部材重量内訳 W(概略値)
主桁・橋桁: 226.0t
検査路・排水装置: 6.2t
合成床版: 126.0t
玉掛け設備: 32.0t
足場: 1.0t

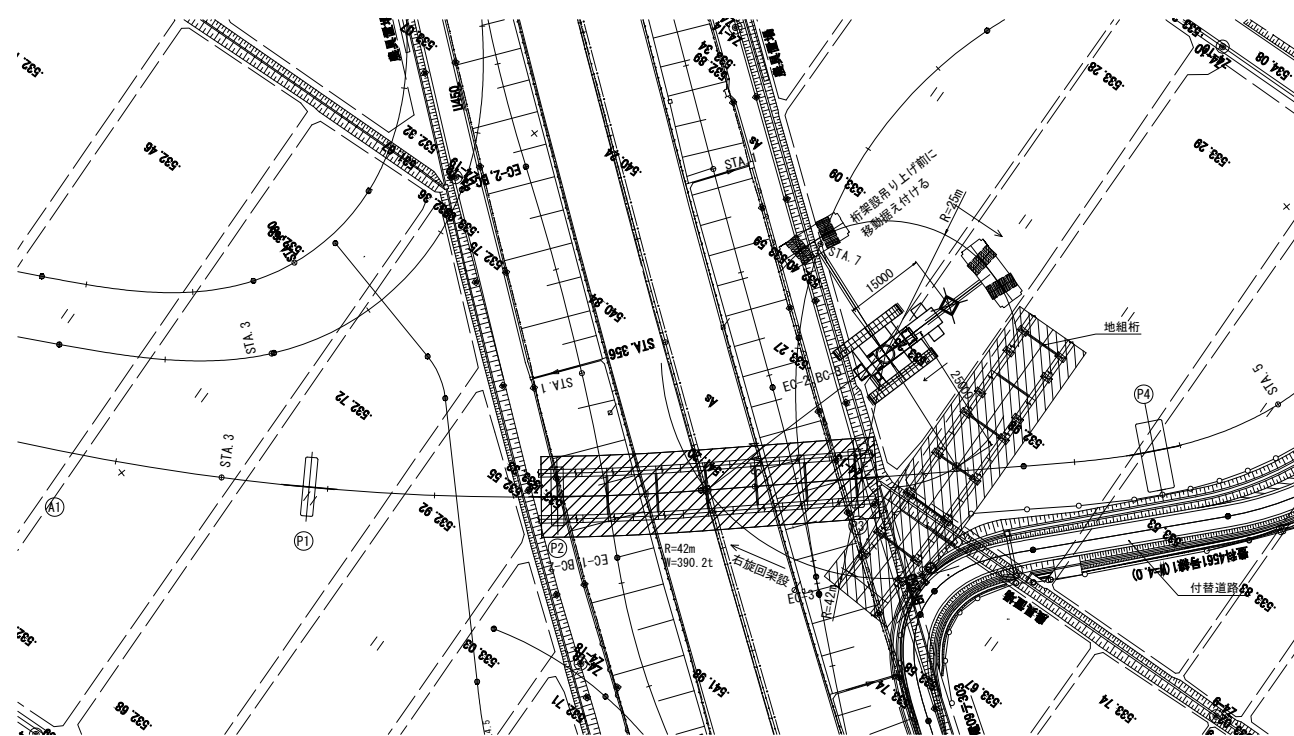
計= 390.2t
吊り上げ荷重 = 390.2 + 17.2 = 407.4t
負荷率 = 407.4 / 463 = 87.99%

1250t吊定格総荷重表

ブーム長さ 作業半径 (m)	60.0	72.0	78.0
38.0	527	521	519
42.0	466	463	461
46.0	402	414	413
50.0	348	362	374
54.0	301	317	330
58.0	258	277	292

本体ウェイト : 280t
センターウェイト : 100t
ウェートワゴン : 640t
ワゴン半径 : 25m
ブック重量 : 17.2t

平面図



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図（その1）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	128 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

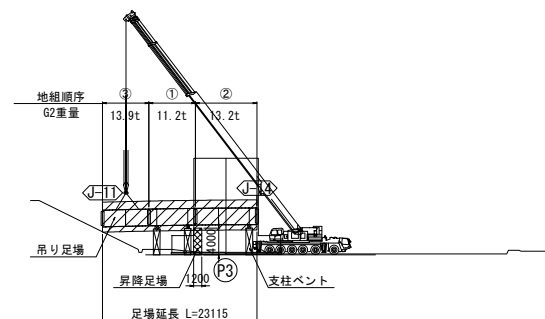
安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図（その2）（参考図）

S=1:800

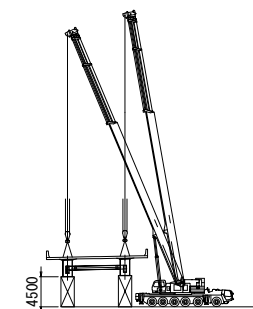
129 / 256

P2~P3 (J11~J19) 地組立

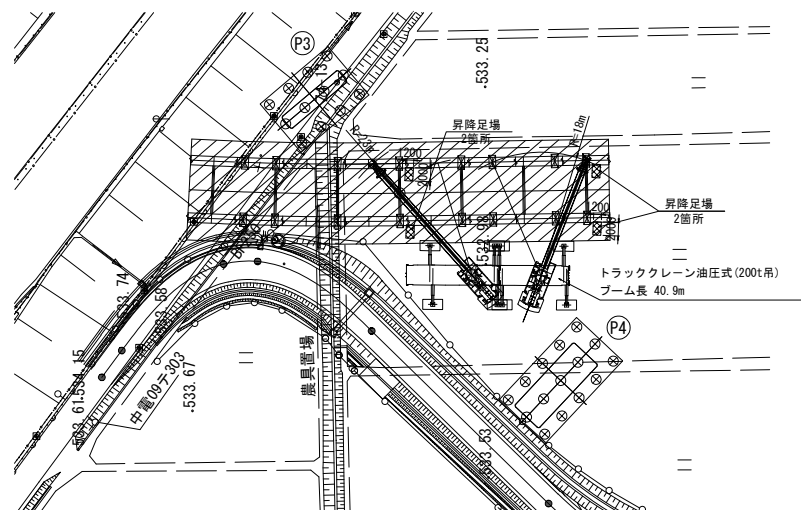
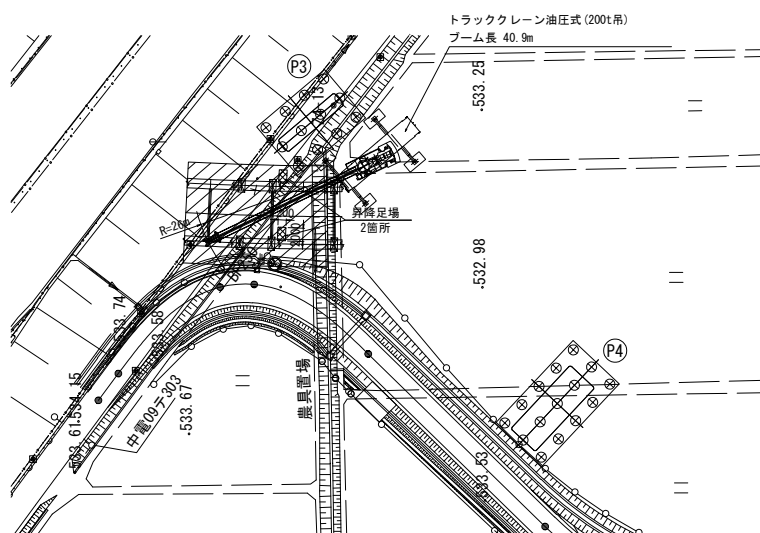
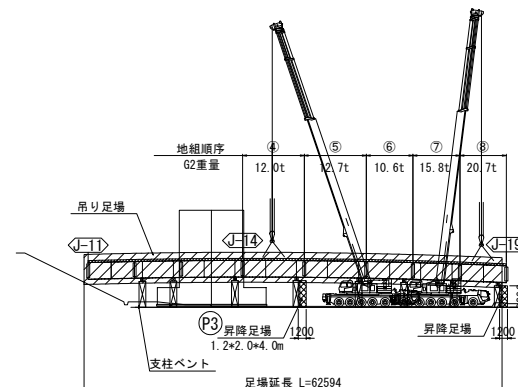
側面図



断面図

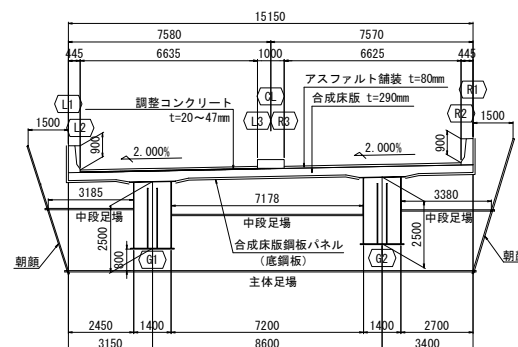


平面図



地組足場断面図

地組立用
ブーム長 40.9m
作業半径 R= 20m
定格荷重 Wa= 20.6
部材荷重 Wmax= 13.9t (G2 J11-J12)
フック荷重 Wt= 1.0t
計= 14.9t
負荷率 = 14.9 / 20.6 = 73.0%



地組立用
ブーム長 40.9m
作業半径 R= 20m
定格荷重 Wa= 31.8
部材荷重 Wmax= 20.7t (G2 J18-J19)
フック荷重 Wt= 1.0t
計= 21.6t
負荷率 = 21.6 / 31.8 = 68.0%

200t吊 (A性能)			
ブーム長さ (m)	22.7	31.8	40.9
作業半径 (m)	14.0	50.2	47.0
	41.1		
	16.0	41.8	40.6
	36.2		
	18.0	35.2	35.6
	31.8		
	20.0	26.9	31.4
	28.3		
	22.0	-	27.8
	25.3		
	24.0	-	24.3
	22.8		
	26.0	-	-
	20.6		

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図（その2）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	129 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

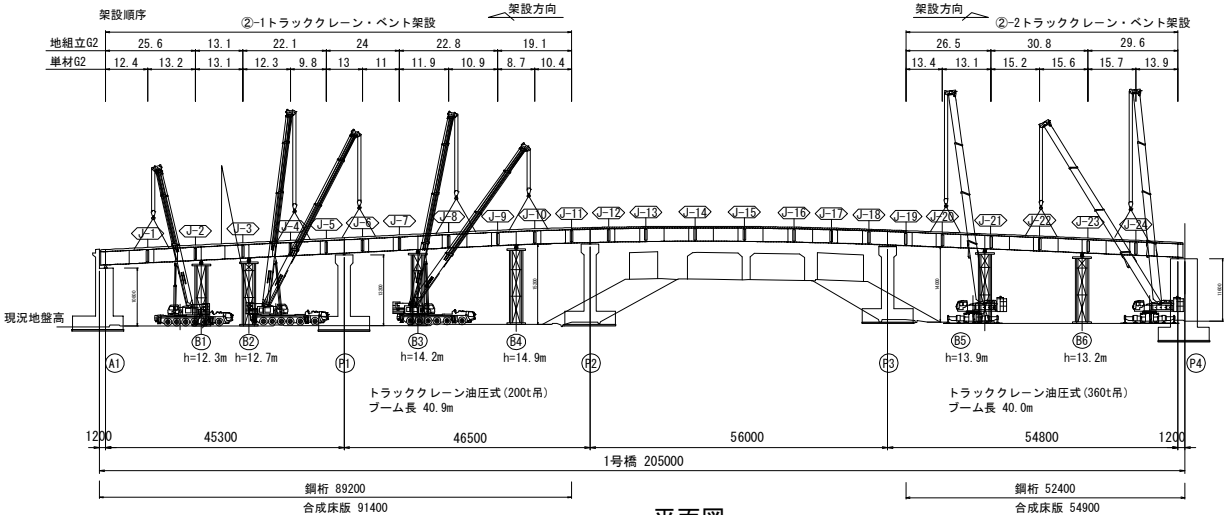
安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図（その3）（参考図）

S=1:1000

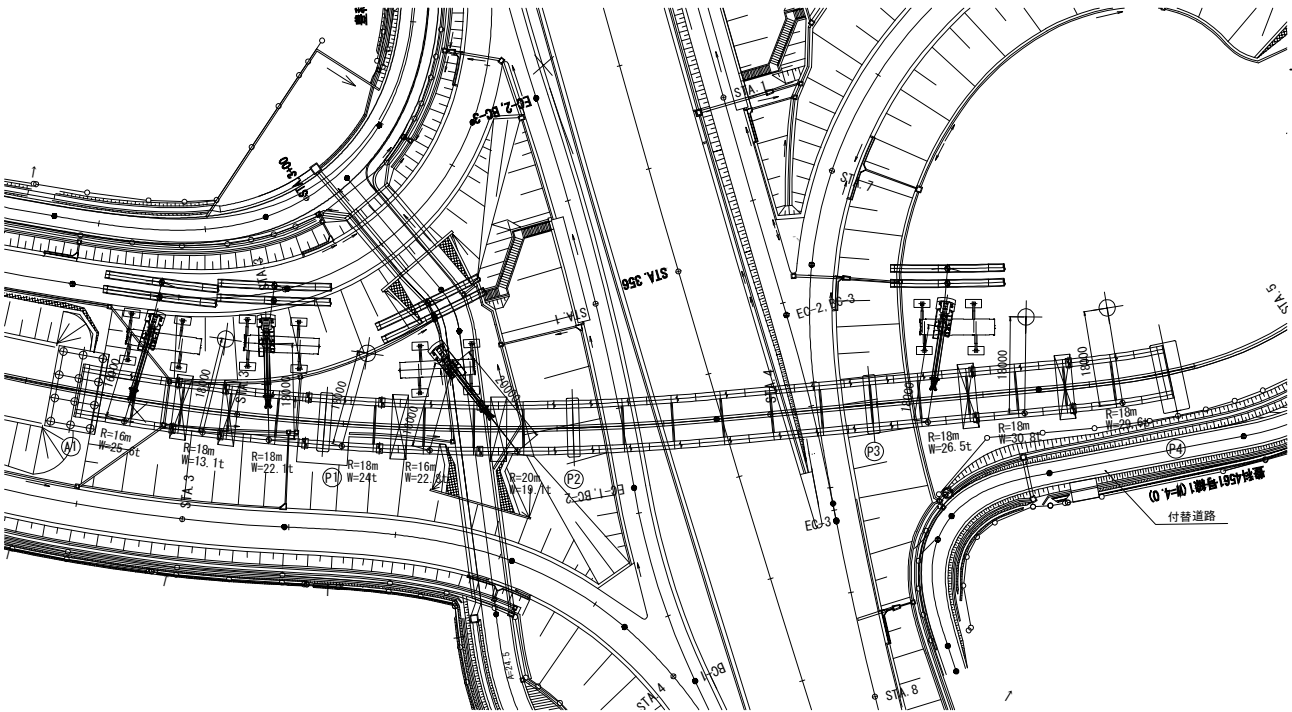
130 / 256

A1~P2 (J1~J11) ベント架設
P3~P4 (J19~J25) ベント架設

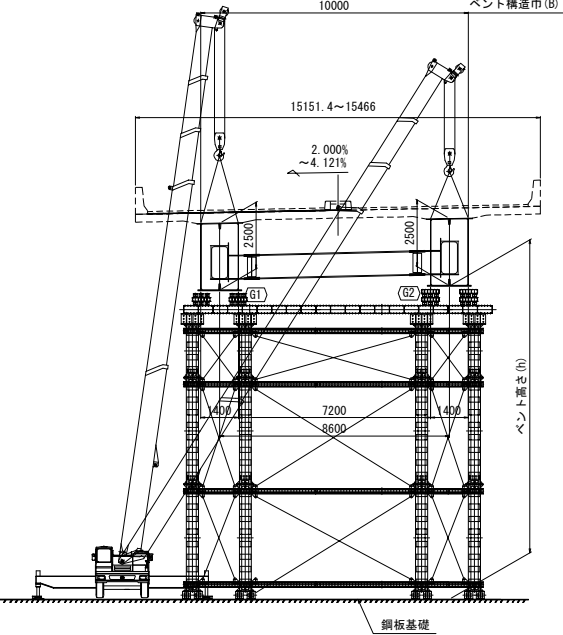
側面図



平面図



断面図 S=1:200



A1~P2間
ブーム長 40.9m
作業半径 R= 16m
定格荷重 Wa= 36.2
部材荷重 Wmax= 25.6t
フック荷重 Wt= 1.0t
計= 26.6t
負荷率 = 26.6 / 36.2 = 73.4%

P3~P4間
ブーム長 40m
作業半径 R= 18m
定格荷重 Wa= 49.5
部材荷重 Wmax= 30.8t
フック荷重 Wt= 1.5t
計= 32.3t
負荷率 = 32.3 / 49.5 = 65.25%

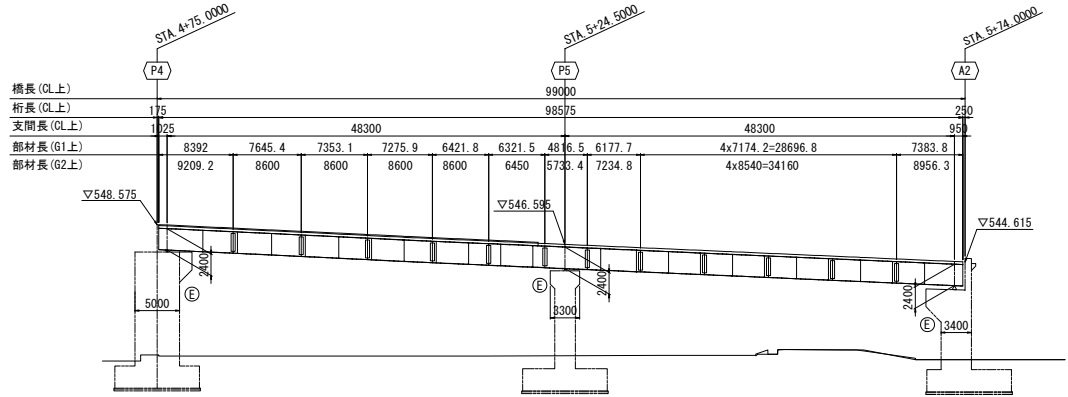
200t吊 (A性能)			
ブーム長さ 作業半径 (m)	22.7	31.8	40.9
14.0	50.2	47.0	41.1
16.0	41.8	40.6	36.2
18.0	35.2	35.6	31.8
20.0	26.9	31.4	28.3
22.0	-	27.8	25.3
24.0	-	24.3	22.8
26.0	-	-	20.6

360t吊トラック・クレーン (油圧式) 定格総荷重表			
ブーム長さ 作業半径 (m)	22	31	40
16.0	65.0	65.0	56.0
18.0	56.0	56.0	49.5
20.0	-	48.5	44.5
22.0	-	42.5	40.0
24.0	-	37.5	36.0

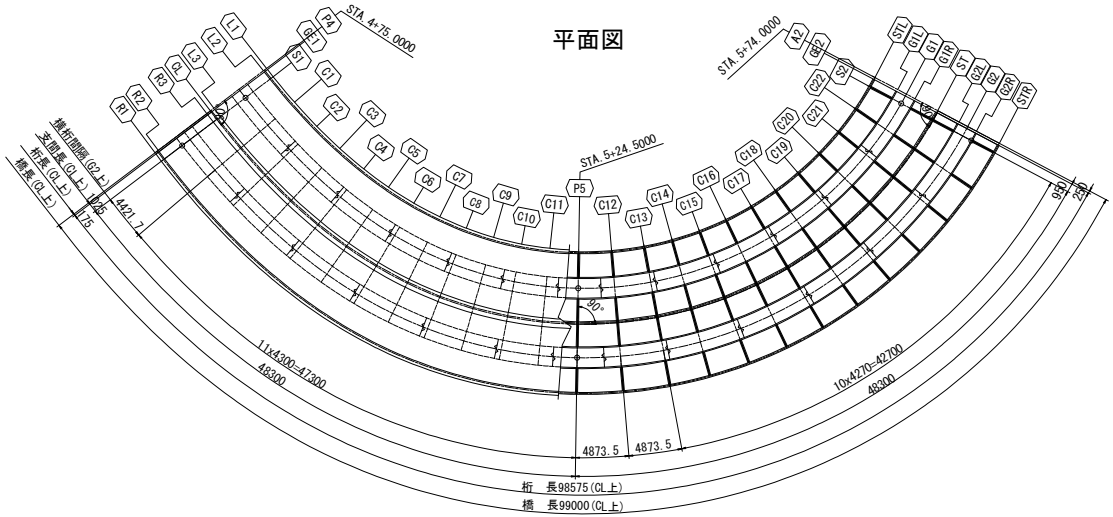
注記
1. 桁架設及び合成床版の架設機械は同じとする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 上部工架設計画図 (その3) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	130 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

側面図

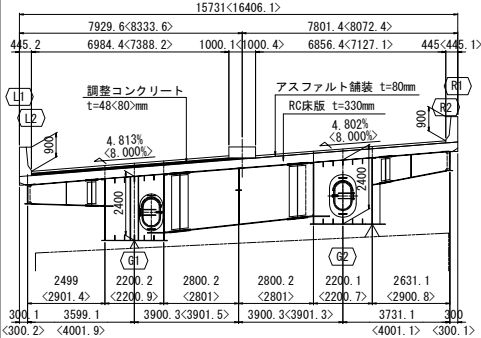


平面図

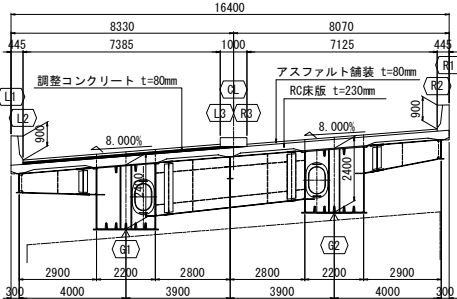


断面図 S=1:200

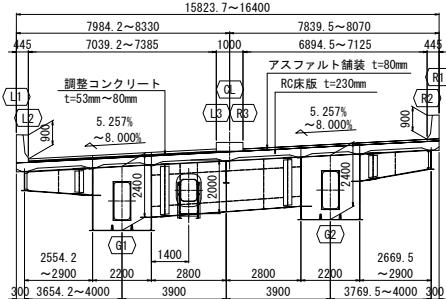
S1<S2>端支点上横桁



P5中間支点上横桁



C1~C22中間横桁



構造諸元に関する設計条件	
橋 種	鋼道路橋
道路規格	B規格
設計速度	V=35km/h
構造形式	鋼2径間連続非合成桁橋
床 版	鉄筋コンクリート床版 t = 230 mm (k1=1.15)
橋 長	99.000 m (CL上)
桁 長	98.575 m (CL上)
支 間 長	48.300+48.300m (CL上)
支承条件	免震支承
斜 角	90° 00' 00"
平面線形	R = 440 ~ R=∞ ~ A = 50 ~ R=45
縦断勾配	4.900% ~ 8.000% (VCL=80)
横断勾配	2.0% ~ 8.0% (片勾配)
舗 装	アスファルト舗装: t = 80 mm
有効幅員	13.812 m ~ 14.510 m = 6.966 ~ 7.385 + 6.846 ~ 7.125
総 幅 員	15.702 m ~ 16.400 m
架設工法	クレーン・ベント架設

耐荷性能に関する設計条件	
活 荷 重	B活荷重
雪 荷 重	考慮しない
型 枠	--- kN/m2 (※合成桁の場合 1.00 kN/m2)
防 護 柵	剛性防護柵 (フロリダ型 SC種)
遮 音 壁	無し
検 査 路	1.00 kN/m (1条)
添 架 物	無し
温度変化	鋼構造 -30℃~+50℃ (寒冷な地方) 基準温度+10℃ 支承及び伸縮装置の移動量算定時 -20℃~+40℃ (寒冷な地方)
温 度 差	10度
衝突荷重	F = 35 kN (天端線荷重 P = 13 kN/m)
地盤種別	II 種地盤
地域区分	A2地域 Cz=1.0, C1z=1.0, C2z=1.0
設計水平震度	kh = 0.25x1.00 = 0.25 (レベル1地震動) k1h = 1.30x1.00 = 1.30 (レベル2地震動, タイプ I) k2h = 1.75x1.00 = 1.75 (レベル2地震動, タイプ II)
主要材料	鋼材 SMA490Y, SM400, SS400 (降伏点一定鋼使用) 添接 トルシア形高力ボルト M22 (S10T) 無機ジンク塗布 コンクリート σck = 30 N/mm2 (床版) σck = 30 N/mm2 (壁高欄, 巻立て) 鉄筋 SD345

耐荷性能に関する設計条件	
部材の設計耐久期間	100年
疲労設計の照査荷重	疲労設計荷重 (F荷重)
塩害対策	不要
防せい防食	重防食仕様

適用基準	
道路橋示方書・同解説 (I)~(V)	(平成29年11月 日本道路協会)
設計要領第二集	(平成28年8月 東日本高速道路株式会社)
長野県設計業務共通仕様書	(令和1年)

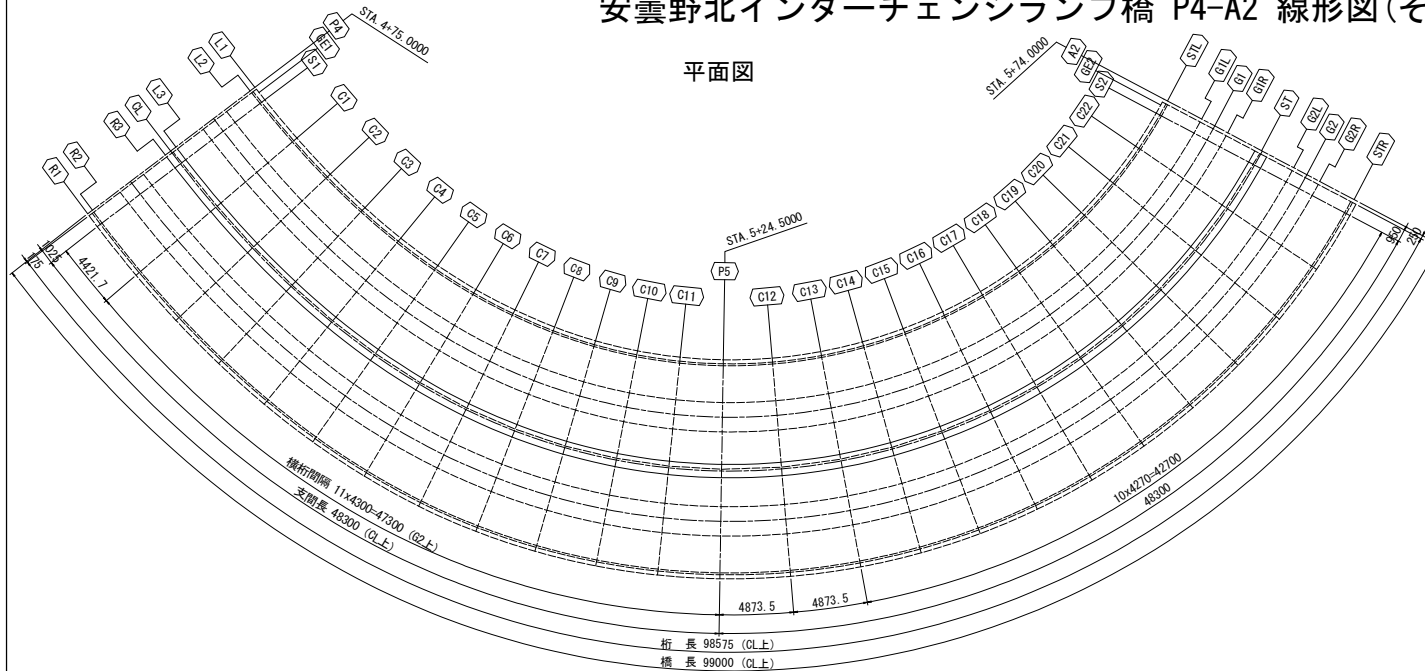
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 上部工構造一般図
縮 尺	図 示 図面番号 132 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社
事務所名	長 野 工 事 事 務 所

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 線形図(その1)

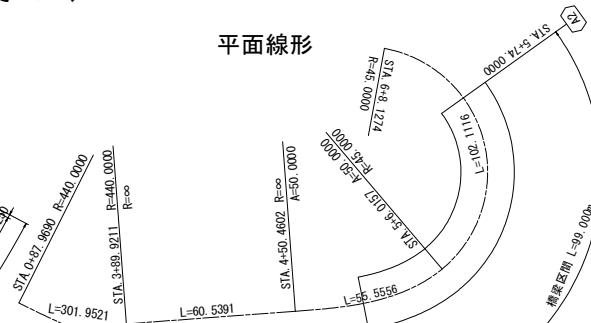
S=1:400

133 / 256

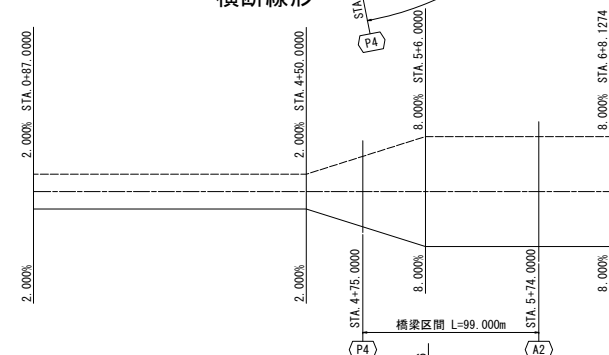
平面図



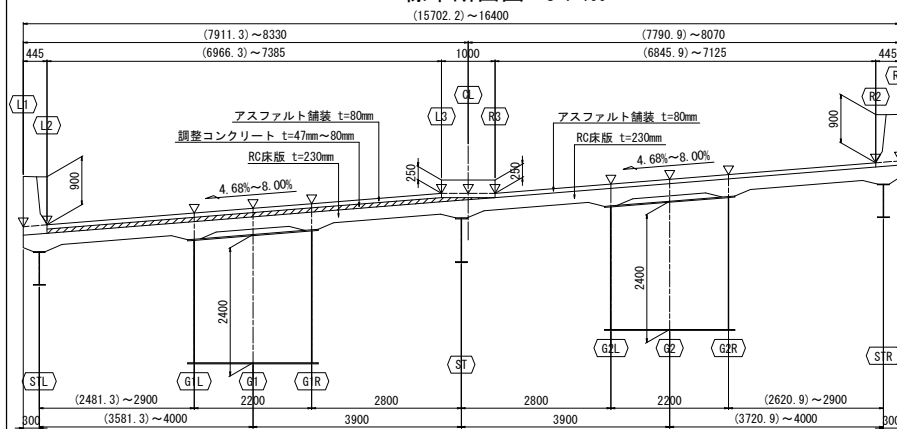
平面線形



横断線形



標準断面図 S=1:100



コントロール点の座標・方向角(°)

主要点名	測点	X座標値	Y座標値	線形要素
BC1	STA. 0+87.9690	36270.7130	-51988.7011	R = -440.0000
EC1	STA. 3+89.9211	36028.5795	-51818.3370	R = ∞
KA2	STA. 4+50.4602	35993.6740	-51768.8741	A = 50.0000
KE2	STA. 5+6.0157	35971.9297	-51718.7684	R = -45.0000
EC2	STA. 6+8.1274	36045.9573	-51684.5062	

円曲線の半径、パラメーターに関する符号は、+ : 上に凸 (右回り)

桁配置要領

1. 橋台、橋脚の設定

橋脚中心線P4は、CLライン上でSTA. 4+75.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋脚中心線P5は、CLライン上でSTA. 5+24.5000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。
橋台前面線A2は、CLライン上でSTA. 5+74.0000の位置にあり、CLラインに対し90° 0' 0" 方向の直線とする。

2. 桁端線、支承線の設定

桁端線GE1は、P4からA2に向かってCLライン上で0.175mの位置でP4に平行にセットする。
支承線S1は、P4からA2に向かってCLライン上で1.200mの位置でP4に平行にセットする。
支承線S2は、A2からP4に向かってCLライン上で1.200mの位置でA2に平行にセットする。
桁端線GE2は、A2からP4に向かってCLライン上で0.250mの位置でA2に平行にセットする。

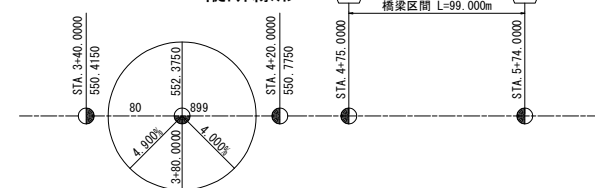
3. 主桁の設定

G1 : 道路中心線 (CL) からL1側に 4.030m の平行線とする。
G2 : 道路中心線 (CL) からR1側に 3.770m の平行線とする。
G1L・G1R : G1ラインよりL1方向・R1方向にそれぞれ1.100mの平行線とする。
G2L・G2R : G2ラインよりL1方向・R1方向にそれぞれ1.100mの平行線とする。
STL : 道路中心線 (CL) からL1側に 8.030m の平行線とする。
ST : 全ての橋桁ライン上にG1RからG2L間を2等分する点を設定する。各点を直線で結び中縦桁STを設定する。
STR : 道路中心線 (CL) からR1側に 7.770m の平行線とする。

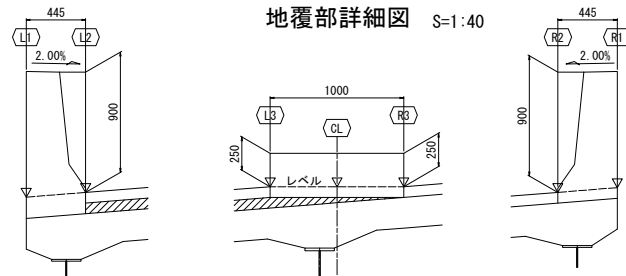
4. 横桁の設定

横桁配置は平面図の通りとし、CLラインに対して法線方向に設置する。

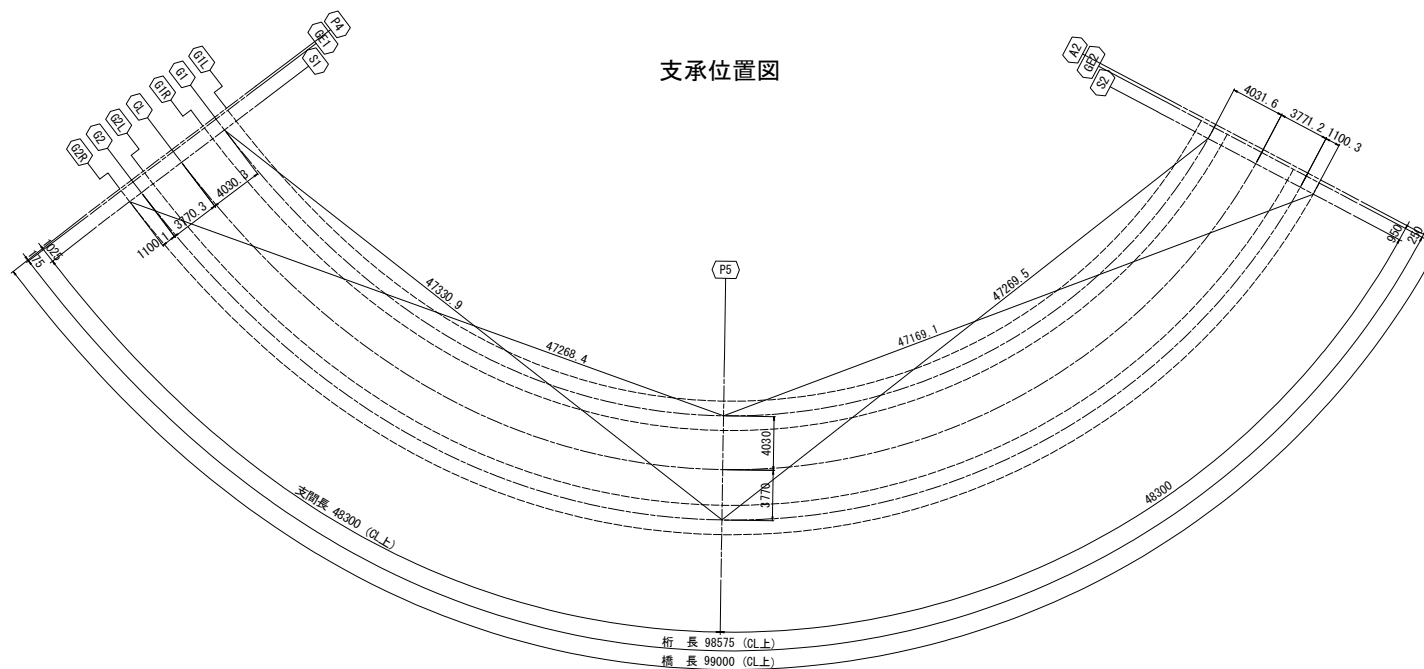
縦断線形



地覆部詳細図 S=1:40



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 線形図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	133 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



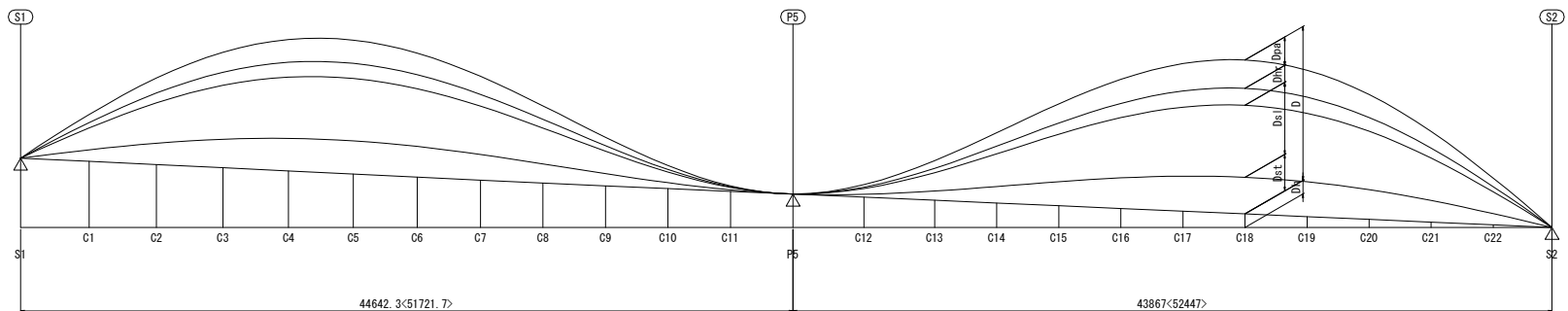
支承位置の座標(大座標)

橋軸線名	S1		P5		S2	
	X	Y	X	Y	X	Y
G1	35983.3351	-51745.3144	35979.4127	-51702.4293	36013.3870	-51678.0756
G2	35976.4675	-51749.0137	35972.2701	-51699.2951	36012.9403	-51670.2856
G2R	35975.4989	-51749.5354	35971.2629	-51698.8531	36012.8773	-51669.1871

支承位置の座標(小座標)

橋軸線名	S1		P5		S2	
	x	y	x	y	x	y
G1	3.9439	1.4787	41.3092	-19.9305	77.5901	0.8313
G2	-2.2773	-3.2272	41.1876	-27.7296	84.4880	-2.8160
G2R	-3.1546	-3.8908	41.1705	-28.8294	85.4607	-3.3304

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承配置図		
縮尺	図示	図面番号	135 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



注：< >内は、G2上の寸法を示す。

		単位 mm																								
		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	P5	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	C19	C20	C21	C22	S2
G1	Dh	4001.6	3815.5	3631.5	3448.6	3266.7	3085.9	2906.1	2727.3	2562.1	2403.4	2244.6	2085.9	1927.2	1747.4	1567.5	1409.9	1252.3	1094.7	937.1	779.5	621.9	464.3	306.7	149.1	0.0
	Dst	0.0	5.9	10.9	14.6	16.6	16.9	15.7	13.1	9.8	6.2	3.0	0.8	0.0	1.5	4.8	8.4	12.3	15.6	17.9	18.7	17.8	15.2	11.0	5.7	0.0
	Dsl	0.0	11.4	21.0	28.0	31.9	32.5	30.0	25.1	18.7	11.7	5.5	1.3	0.0	3.0	9.6	17.0	24.7	31.3	35.9	37.4	35.6	30.4	22.0	11.4	0.0
	Dhr	0.0	2.8	5.1	6.8	7.7	7.9	7.3	6.1	4.5	2.9	1.4	0.3	0.0	0.7	2.2	4.0	5.8	7.4	8.5	8.8	8.4	7.2	5.2	2.7	0.0
	Dpa	0.0	4.2	7.8	10.4	11.9	12.1	11.2	9.4	7.0	4.4	2.0	0.4	0.0	1.3	4.0	7.0	10.0	12.5	14.2	14.8	14.0	11.9	8.7	4.5	0.0
	D	0.0	24.2	44.8	59.8	68.0	69.3	64.2	53.8	40.0	25.1	12.0	2.8	0.0	6.5	20.6	36.4	52.7	66.9	76.4	79.7	75.8	64.6	46.9	24.2	0.0
G2	Dh	3764.9	3610.0	3460.3	3311.5	3163.5	3016.3	2870.0	2724.6	2570.5	2411.8	2253.1	2094.4	1935.7	1755.8	1575.9	1418.3	1260.8	1103.2	945.6	788.0	630.4	472.8	315.2	157.6	0.0
	Dst	0.0	8.8	16.1	21.4	24.5	25.1	23.4	19.6	14.5	9.0	4.2	1.0	0.0	2.4	7.6	13.4	19.7	25.1	28.8	30.2	28.9	24.9	18.5	9.9	0.0
	Dsl	0.1	17.4	31.7	42.2	48.2	49.4	46.0	38.6	28.5	17.5	8.0	1.7	0.0	5.0	15.6	27.8	40.5	51.4	58.9	61.6	58.9	50.8	37.7	20.2	0.1
	Dhr	0.0	4.2	7.7	10.3	11.8	12.1	11.2	9.4	7.0	4.3	2.0	0.4	0.0	1.2	3.7	6.6	9.7	12.3	14.1	14.8	14.1	12.2	9.0	4.9	0.0
	Dpa	0.0	5.4	9.9	13.1	15.0	15.3	14.1	11.7	8.5	5.0	2.1	0.3	0.0	1.8	5.4	9.5	13.7	17.4	19.9	20.8	19.9	17.1	12.6	6.8	0.0
	D	0.1	35.8	65.4	87.0	99.4	101.9	94.8	79.4	58.5	35.8	16.3	3.4	0.0	10.4	32.4	57.3	83.6	106.2	121.7	127.3	121.8	104.9	77.8	41.8	0.1

記号の説明
Dh：縦断勾配
Dst：鋼 重+検査路によるたわみ
Dsl：床 版+ハンチ+STLハッチ+STRハッチ+中縦桁ハッチによるたわみ
Dhr：高 欄+中央分離帯によるたわみ
Dpa：舗 装+調整舗装によるたわみ
D：合 計
※たわみは荷重係数を乗じていない特性値。また床版は考慮しない剛性で計算したたわみ。

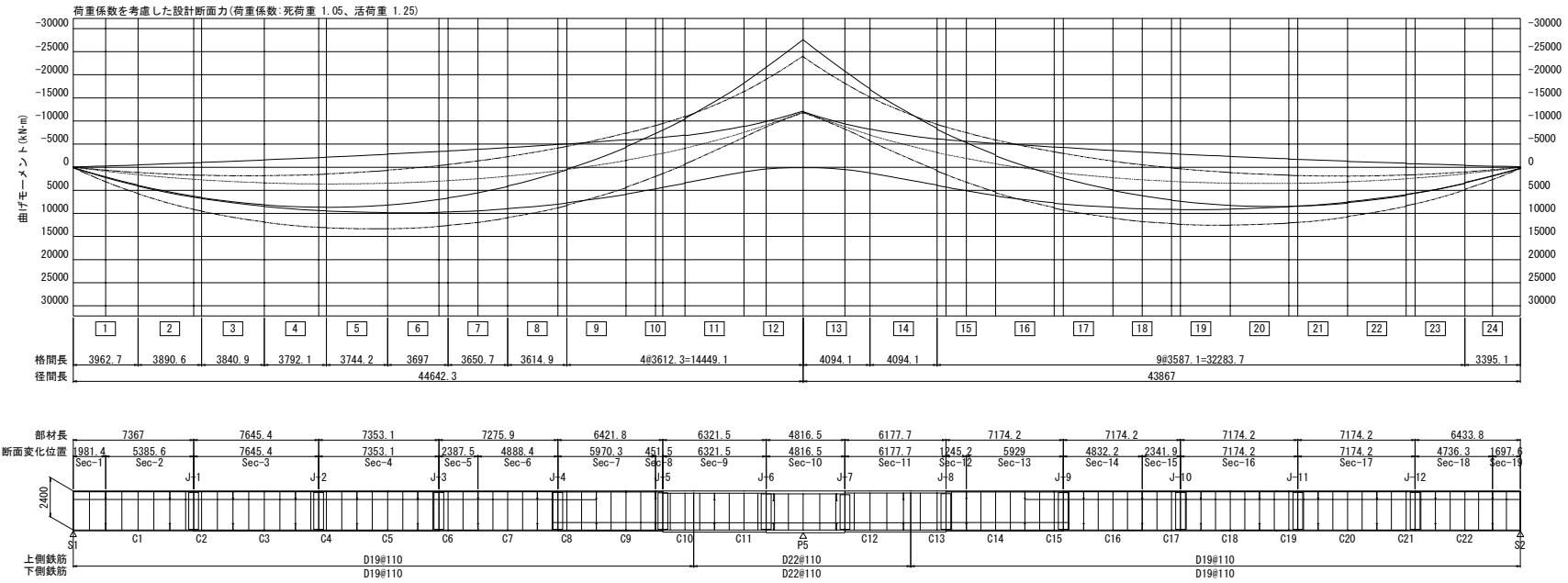
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 キャンバー図		
縮 尺	図 示	図面番号	136 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その1)

S=1:300

合成桁

G1
合成前死荷重 Md1
合成後死荷重 Md2
活荷重 ML
Md2+ML



		単位 : mm N/mm ²																			
第 1主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13							
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19	
上フランジ 幅=2440 厚		11(3)																			
上フランジ 本数		5						5	2	2	2	2	2	5			5	5	5	5	
上フランジ 縦リブ		幅	190	190	190	190	190	190	190	190	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190	
		厚	19	19	19	19	19	19	19	19	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
左腹板		厚	12(3)	12(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	18(3)	20(3)	20(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	
右腹板		厚	12(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	18(3)	20(3)	20(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	
下フランジ 幅=2440 厚		10(3)		12(3)	12(3)		10(3)	12(3)		23(3)	32(3)	21(3)	12(3)		10(3)		10(3)	10(3)	10(3)	10(3)	
下フランジ 本数		5	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	5	
下フランジ 縦リブ		幅	190	190	190	190	190	190	190	190	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190	
		厚	19	19	19	19	19	19	19	19	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
上フランジ		σ _d	-105	-156	-179	-172	-152	-131	-71	93	205	218	207	89	-88	-140	-158	-175	-174	-146	-101
		σ _{ud}	207	207	207	207	206	206	260	272	272	272	272	272	237	206	206	206	206	206	206
		σ _{ud} -σ _d	101	51	28	34	55	76	189	179	67	53	65	183	149	67	48	31	32	61	105
応力ケース		2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	24:鋼+鉄筋	24:鋼+鉄筋	24:鋼+鉄筋	24:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋
下フランジ		σ _d	49	145	176	168	161	119	-149	-169	-263	-260	-260	-158	-123	124	162	176	175	124	44
		σ _{ud}	272	272	272	272	272	272	224	224	272	272	272	272	224	272	272	272	272	272	272
		σ _{ud} -σ _d	222	127	95	103	153	75	55	55	72	72	72	65	101	148	109	95	92	147	228
応力ケース		4:合成	4:合成	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	4:合成	4:合成	4:合成	4:合成
腹板		σ _d	95	88	71	32	43	71	92	94	96	100	95	100	97	74	45	45	86	98	108
		σ _{ud}	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
		合成	0.37	0.48	0.46	0.42	0.39	0.30	0.63	0.73	1.14	1.16	1.13	0.74	0.59	0.34	0.40	0.50	0.53	0.51	0.48
孔引き後σ		上フランジ						2	119	239		241	113								
		下フランジ	184	206		204	74								91	207	204	158			
決定要因		上フランジ	E	B	B	E		E	C	G	C	C		E		E	B	B	E		
		下フランジ	D	E	E	D		E	F	F	F	F		E		D	D	D	D	E	

材質 (1): SM400
(2): SM490
(3): SM490Y
(4): SM570
(9): SBHS400
(10): SBHS500

応力ケース: 以下の番号と抵抗断面で表示
1: D1 (1) (合成前死荷重)
2: D+TF+CR+SH (1) 12: 2+TH (3) 22: 2+TH (3)
3: D+TF+CR+SH (2) 13: 3+TH (4) 23: 3+TH (4)
4: D+Lmax+TF+CR+SH (2) 14: 4+TH (5) 24: 4+TH (5)
5: D+Lmax+TF+CR+SH (3) 15: 5+TH (6) 25: 5+TH (6)
6: D+Lmin+TF+CR+SH (4) 16: 6+TH (7) 26: 6+TH (7)
7: D+Lmin+TF+CR+SH (5) 17: 7+TH (8) 27: 7+TH (8)

[] : 道示 1 表-3.3.1 作用の組合せ番号

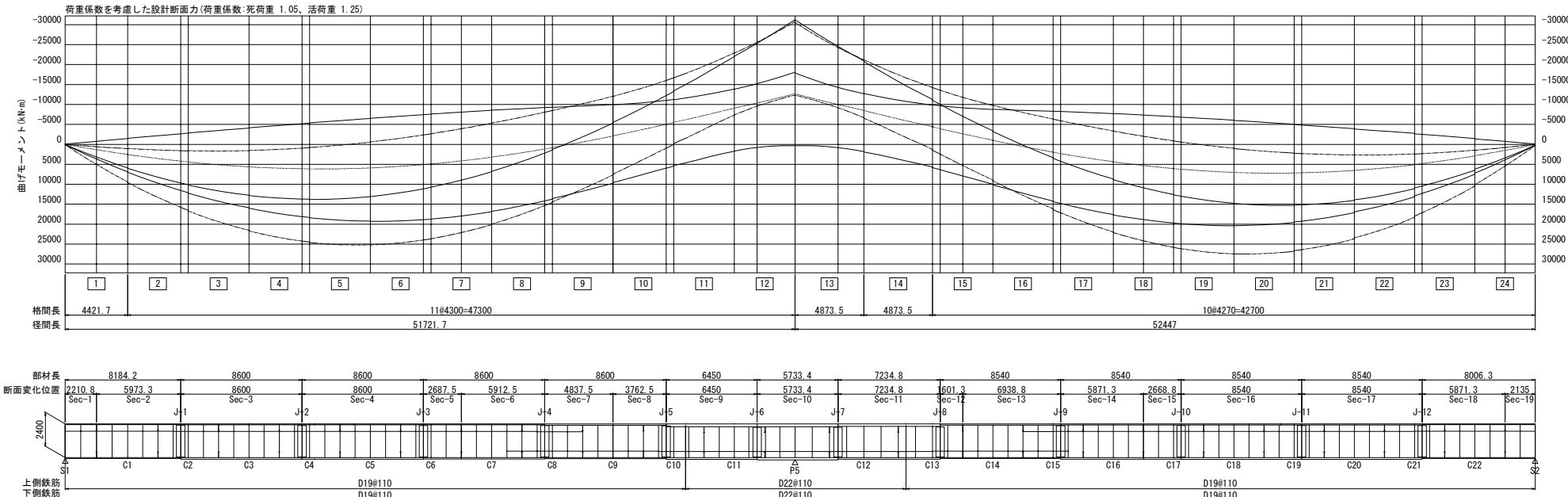
抵抗断面 鋼桁: 鋼桁のみ (合成前)
鋼+鉄筋: 鋼桁+鉄筋 (合成後)
合成: 鋼桁+コンクリート床版 (合成後)

決定要因 A: 非合成桁引張応力度
B: 非合成桁圧縮応力度
C: 孔引き後σ
D: フランジ自由突出
E: フランジ板厚差
F: 合成桁圧縮応力度
G: 床版作用との重ね合わせ照査

合成桁

G2

合成前死荷重 Md1
合成後死荷重 Md2
活荷重 ML
Md2+ML



単位: mm N/mm²

第 2主桁		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13	
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19							
上フランジ	幅-2440 厚	12(3)		15(3)	15(3)		15(3)	21(3)		41(7)	41(7)	37(3)	19(3)		16(3)		16(3)	16(3)		12(3)							
上フランジ	本数	5		5	5		5	5	2	2	2	2	2	5	5		5	5		5							
縦リブ	幅	190		190	190		190	190		220	220	220	190		190		190	190		190							
縦リブ	厚	19		19	19		19	19		22	22	22	19		19		19	19		19							
左腹板	厚	12(3)		12(3)	15(3)		15(3)	15(3)		18(3)	20(3)	18(3)	15(3)		15(3)		15(3)	15(3)		15(3)							
右腹板	厚	12(3)		12(3)	15(3)		15(3)	15(3)		18(3)	20(3)	18(3)	15(3)		15(3)		15(3)	15(3)		15(3)							
下フランジ	幅-2440 厚	12(3)		22(3)	22(3)		18(3)	14(3)		25(3)	31(3)	22(3)	12(3)		21(3)		24(3)	24(3)		12(3)							
下フランジ	本数	5	2	2		2	5	5		5	5	5	5		5	2	2		2		5						
縦リブ	幅	190		190	190		190	190		220	220	220	190		190		190	190		190							
縦リブ	厚	19		19	19		19	19		22	22	22	19		19		19	19		19							
上フランジ	σ _d	-113	-184	-197	-190	-163	-138	-64	129	185	218	187	112	-87	-153	-177	-201	-200	-189	-114							
上フランジ	σ _{ud}	223	223	260	260	260	260	272	272	272	272	272	272	272	269	269	269	269	269	223							
上フランジ	σ _{ud} -σ _d	111	39	64	70	97	122	207	142	87	54	84	159	185	116	93	68	69	34	109							
下フランジ	応力ケース	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋	2:鋼+鉄筋							
下フランジ	σ _d	63	202	206	201	202	156	-144	-224	-260	-260	-258	-164	163	206	208	204	205	65								
下フランジ	σ _{ud}	272	272	272	272	272	272	250	250	272	272	272	224	272	272	272	272	272	272	272							
下フランジ	σ _{ud} -σ _d	209	69	65	71	70	115	106	26	11	11	13	16	59	108	66	63	67	67	207							
腹板	応力ケース	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成							
腹板	σ _d	122	115	92	38	52	75	93	104	92	88	101	109	106	80	56	43	87	108	114							
腹板	σ _{ud}	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157							
腹板	合成	0.61	0.78	0.63	0.56	0.59	0.41	0.52	0.98	1.08	1.10	1.11	1.04	0.79	0.45	0.62	0.61	0.61	0.86	0.53							
孔引き後σ	上フランジ								167	222		224	145														
孔引き後σ	下フランジ		236	241		236	99							149		240	239		239								
決定要因	上フランジ	B		B	B		E		E	C	C	C		E		E	B	B		B							
決定要因	下フランジ	C		C	C		C		F	F	B	F		B		C	C		C								

材質 (1):SM400 (5):SM400-H
(2):SM490 (6):SM490-H
(3):SM490Y (7):SM520-H
(4):SM570 (8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①] (合成前死荷重)
2:D+TF+CR+SH[①] 12:2+TH[③] 22:2+TH[③]
3:D+TF+CR+SH[②] 13:3+TH[④] 23:3+TH[④]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②] 14:4+TH[⑤] 24:4+TH[⑤]
5:D+Lmax+TF+CR+SH[③] 15:5+TH[⑥] 25:5+TH[⑥]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[④] 16:6+TH[⑦] 26:6+TH[⑦]
7:D+Lmin+TF+CR+SH[⑤] 17:7+TH[⑧] 27:7+TH[⑧]
[] :表示 I 表-3.3.1 作用の組合せ番号

抵抗断面 鋼桁:鋼桁のみ(合成前)
鋼+鉄筋:鋼桁+鉄筋(合成後)
合成:鋼桁+コンクリート床版(合成後)

決定要因 A:非合成桁引張応力度
B:非合成桁圧縮応力度
C:孔引張応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:合成桁圧縮応力度
G:床版作用との重ね合わせ照査

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼工部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	138 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

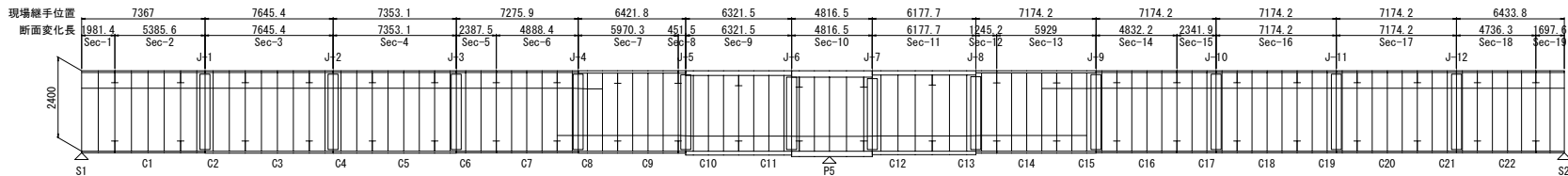
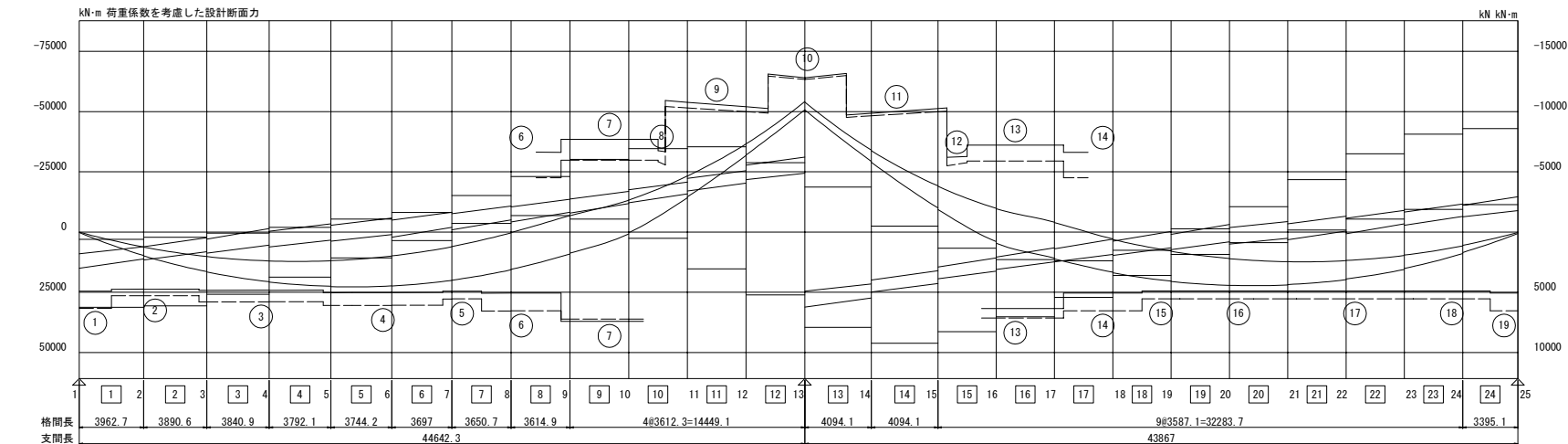
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その3)

S=1:300

139 / 256

非合成桁

G1
上フランジ
下フランジ



		単位: mm N/mm ²																		
断面名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
上フランジ 幅=2440 厚		11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	15 (3)	15 (3)	29 (3)	38 (3)	26 (3)	13 (3)	13 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)
上フランジ 本数		5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5
縦リブ 幅		190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190
左腹板 高さ		2336	2333.6	2326.9	2317.3	2315.1	2308	2304.9	2301.2	2297.2	2297	2285.9	2273.9	2273.9	2285.9	2299	2299	2301	2301	2301
厚		12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	18 (3)	20 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)
右腹板 高さ		2441.9	2444.4	2451	2460.6	2462.9	2470	2473	2476.7	2472.7	2473	2458.9	2449.9	2449.9	2475	2475	2477	2477	2477	2477
厚		12 (3)	12 (3)	12 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	18 (3)	20 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)
下フランジ 本数		5	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	5
縦リブ 幅		190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	190	190	190	190	190	190	190	190	190
下フランジ 幅=2440 厚		10 (3)	10 (3)	10 (3)	12 (3)	12 (3)	10 (3)	10 (3)	12 (3)	12 (3)	23 (3)	32 (3)	21 (3)	12 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)
上フランジ σ		TH -2	-45	-137	-192	-184	-187	-173	-147	-83	-71	126	155	225	229	228	152	105	-90	-99
σ d		207	207	207	207	207	207	207	207	207	260	272	272	272	272	272	272	272	237	207
σ d-σ		205	162	70	15	23	20	34	60	124	189	146	116	46	43	44	120	166	147	108
下フランジ σ		TH 0	46	161	210	199	203	200	150	TH -49	-44	-133	-153	-234	-231	-230	-232	-141	-106	92
σ d		187	272	272	272	272	272	272	272	187	224	224	224	272	272	272	272	272	272	272
σ d-σ		186	226	110	62	72	69	72	122	138	180	91	71	38	40	41	39	83	118	162
腹板 τ		109	102	83	45	36	26	35	49	72	72	106	107	106	99	110	106	114	111	73
合成		0.48	0.42	0.56	0.57	0.56	0.56	0.36	0.24	0.22	0.55	0.64	1.03	0.98	1.05	1.02	0.65	0.51	0.27	0.29
計算点位置		左	右	J-1	J-2	左	最大値	J-3	左	J-4	左	右	J-5	J-6	最大値	左	最大値	右	J-7	J-8
上フランジ引抜き後 σ																				
下フランジ引抜き後 σ																				
決定要因		E		206	245	B	B	255	E		E		C	G		C	E		D	260
下フランジ		D				E	E	D		E		F	F		F	E		D	D	

材質 (1): SM400
(2): SM490
(3): SM490Y
(4): SM570
(9): SBHS400
(10): SBHS500
記号の説明
TH-D+L+TH
決定要因 A: 非合成桁引張応力度
B: 非合成桁圧縮応力度
C: 合成桁孔引張応力度
D: 最小板厚
E: フランジ板厚差
F: 合成桁圧縮応力度
G: 床版作用との重ね合わせ照査

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (側上部分) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	139 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

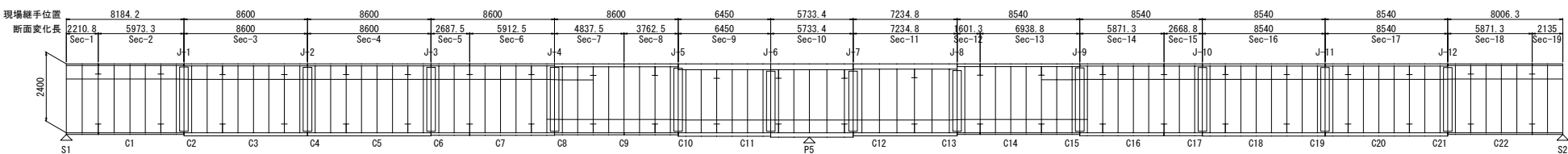
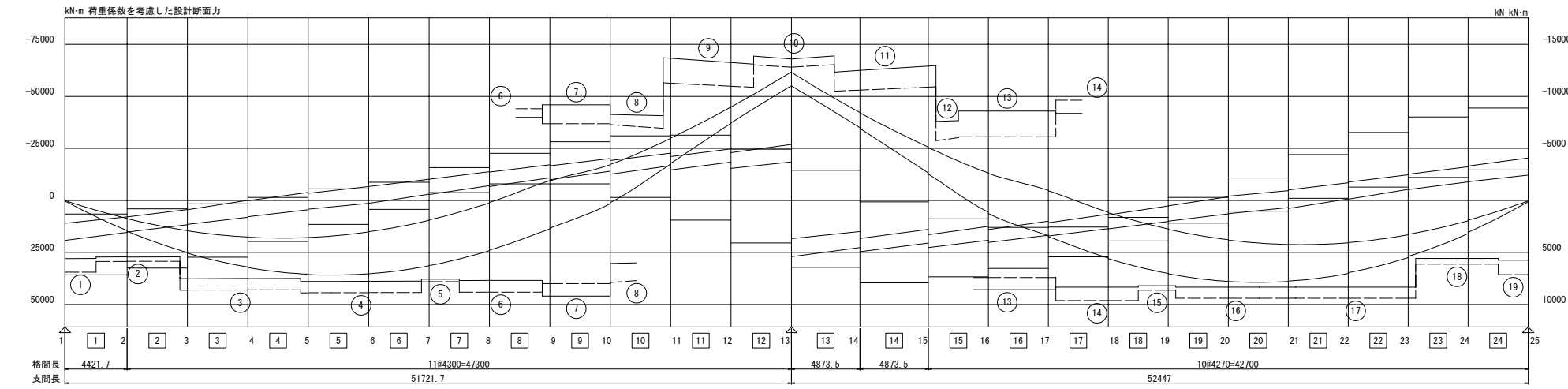
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その4)

S=1:300

140 / 256

非合成桁

G2
上フランジ
下フランジ



単位: mm N/mm ²																				
断面名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
上フランジ	幅-2440 厚	12(3)	12(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	21(3)	21(3)	41(7)	41(7)	37(3)	19(3)	19(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	12(3)	12(3)
上フランジ	本数	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5
縦リブ	幅	190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	220	190	190	190	190	190	190	190	190
左腹板	厚	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	22(3)	22(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)
左腹板	高さ	2335.2	2332.7	2325.9	2313.3	2310.9	2303.8	2297.1	2291.1	2290.9	2270.9	2270.9	2292.9	2292.9	2295.9	2295.9	2295.9	2295.9	2300	2300
右腹板	厚	12(3)	12(3)	12(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	18(3)	18(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)	15(3)
右腹板	高さ	2440.8	2443.3	2450	2456.6	2456.6	2466.1	2469	2472.8	2466.9	2446.9	2446.9	2468.9	2468.9	2471.9	2471.9	2471.9	2471.9	2476	2476
下フランジ	幅	190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	220	190	190	190	190	190	190	190	190
下フランジ	本数	5	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	5
縦リブ	幅	190	190	190	190	190	190	190	190	190	220	220	190	190	190	190	190	190	190	190
下フランジ	厚	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	22(3)	22(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)	19(3)
下フランジ	幅-2440 厚	12(3)	12(3)	22(3)	22(3)	18(3)	18(3)	14(3)	14(3)	25(3)	31(3)	22(3)	12(3)	12(3)	21(3)	21(3)	24(3)	24(3)	12(3)	12(3)
上フランジ	σ	TH	-2	-63	-197	-244	-235	-239	-220	-190	-102	-89	101	112	187	211	246	245	216	169
上フランジ	σ _d		223	224	224	260	260	260	260	260	272	272	272	272	272	272	272	272	269	269
上フランジ	σ _d -σ		221	161	26	16	25	21	40	70	159	183	170	159	84	61	25	26	56	102
下フランジ	σ	TH	0	61	222	222	215	219	222	173	92	102	-116	-117	-202	-254	-261	-260	-254	-184
下フランジ	σ _d		224	272	272	272	272	272	272	272	250	250	272	272	272	272	272	272	272	272
下フランジ	σ _d -σ		223	210	50	49	57	52	49	99	179	170	134	133	47	17	10	11	18	39
腹板	τ		132	125	100	51	41	29	42	58	81	82	100	100	110	89	85	93	97	118
腹板	τ _d		157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
合成		0.71	0.63	0.95	0.87	0.78	0.78	0.69	0.56	0.31	0.32	0.45	0.46	0.88	1.06	1.09	1.13	1.12	0.84	
計算点位置		左	右	J-1	J-2	左	最大値	J-3	左	J-4	右	J-5	J-6	最大値	左	最大値	右	J-7	J-8	
上フランジ孔引き後σ				259	259			260		70		241	253	最大値	左	最大値	右	258	218	
下フランジ孔引き後σ																	168		27	
決定要因	上フランジ	B				B	B		E			C	C	C		E	B		E	
下フランジ		C				C	C		C		F	F		F	B		C		C	

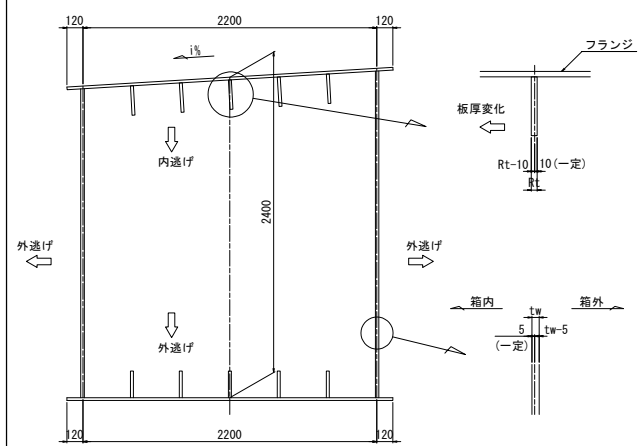
材質 (1): SM400
(2): SM490
(3): SM490Y
(4): SM570
(5): SM400-H
(6): SM490-H
(7): SM520-H
(8): SM570-H
(9): SBHS400
(10): SBHS500

記号の説明
TH: D+L+TH

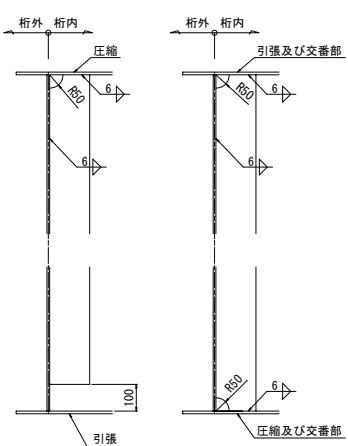
決定要因 A: 非合成桁引張応力度
B: 非合成桁圧縮応力度
C: 非合成桁孔引き後σ
D: 最小板厚
E: フランジ板厚差
F: 合成桁圧縮応力度
G: 床版作用との重ね合わせ照査

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 断面構成図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	140 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

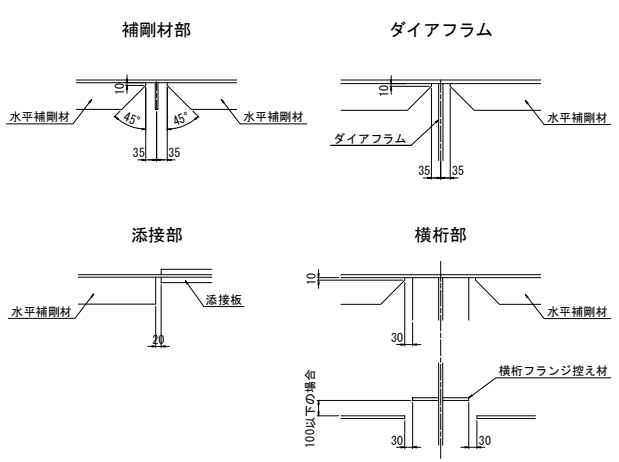
主桁基本寸法及び板厚変化図 S=1:40



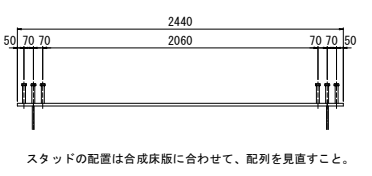
垂直補剛材詳細



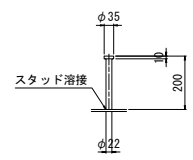
水平補剛材詳細



スタッドジベル配置図 S=1:40

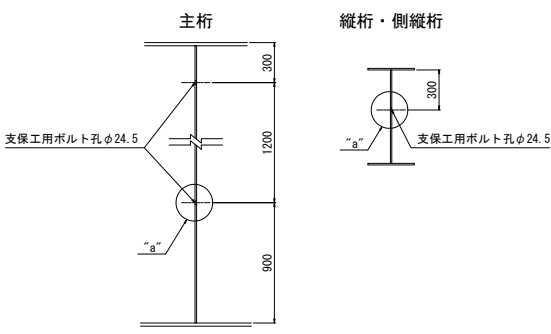


スタッドジベル詳細

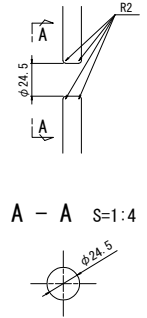


吊金具取付位置図 S=1:40

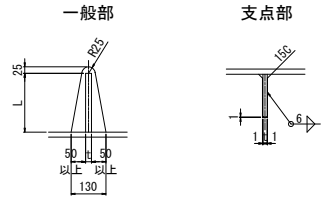
※最大間隔1800mm



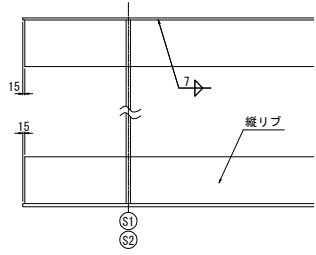
“a”部詳細 S=1:4



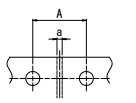
縦リブ貫通部スカーラップ詳細



桁端部縦リブ詳細 S=1:40

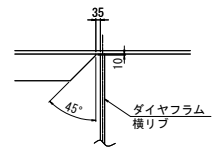


添接部クリア寸法



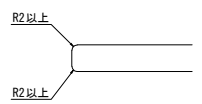
			(mm)	
部 位	A	a		
主 桁	U. FLG	100	0	
	WEB	100	0	
	L. FLG	100	0	
	縦リブ	100	20	
端支点横桁	90	10		
中間支点横桁	90	10		
中間横桁	90	10		
ブラケット	90	10		
側縦桁	85	0		

縦リブ本数変化部詳細 S=1:40



フランジ角、添接板角の面取り詳細 S=1:10

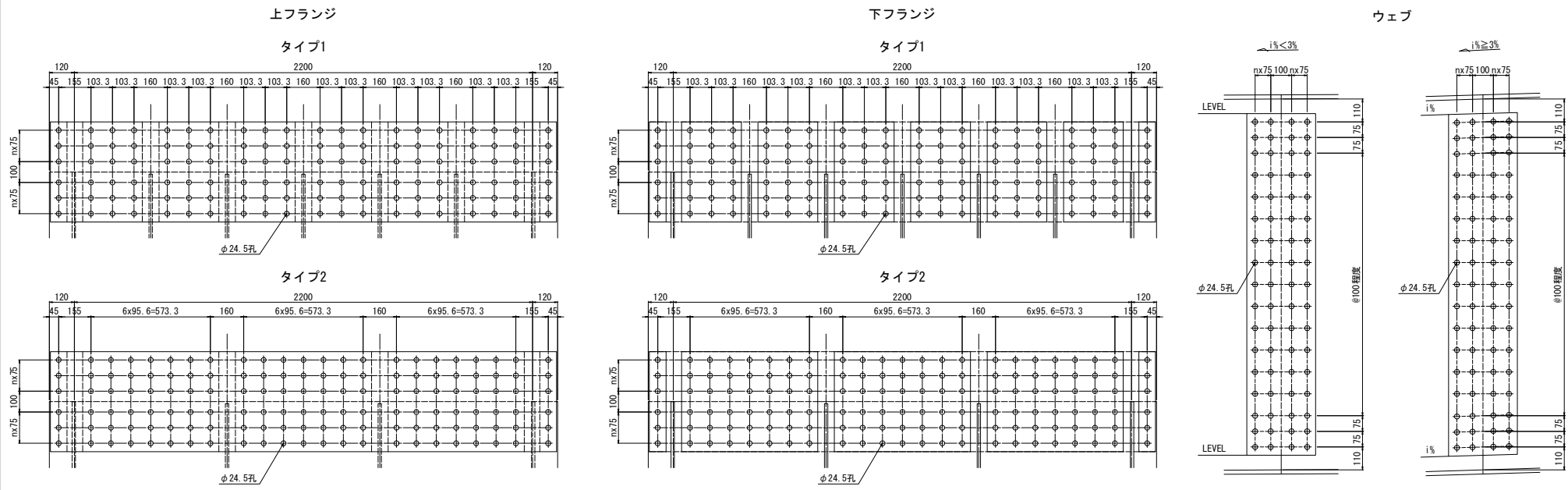
主要部材の縁端部分は原則として曲面加工を行う。



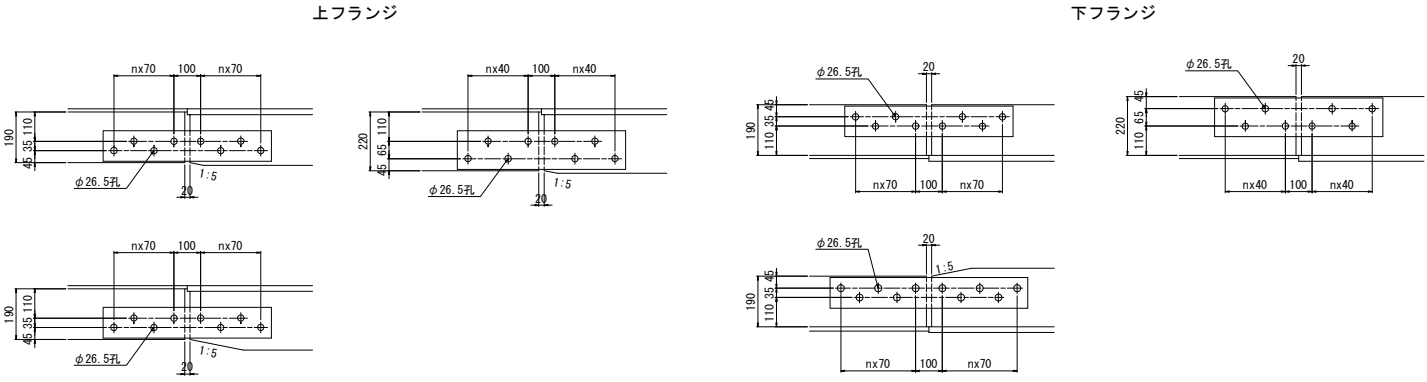
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

長 野 自 動 車 道				
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図(その1)			
縮 尺	図 示	図面番号	141 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 務 所			

主桁部添接要領図



縦リブ添接詳細



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上総工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	142 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

マンホール詳細

S1, S2 (G2)

製作数:2

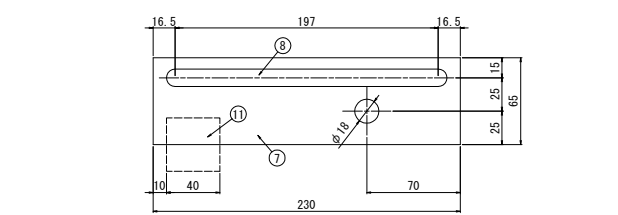
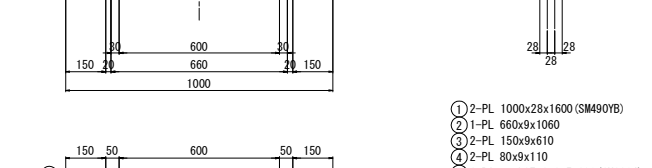
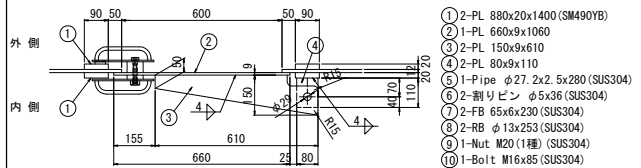
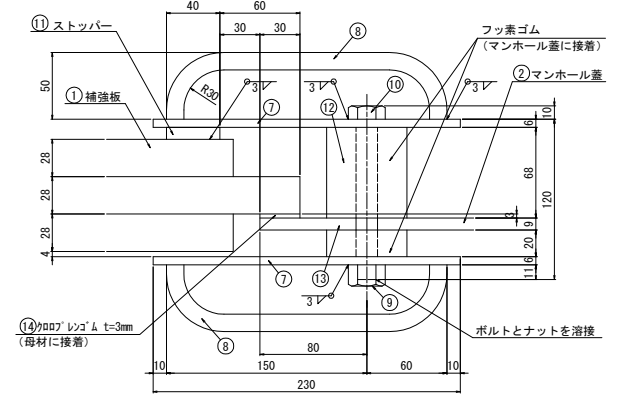
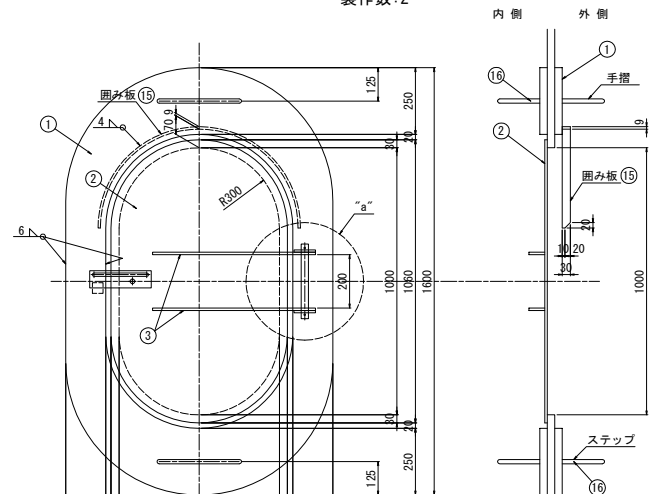
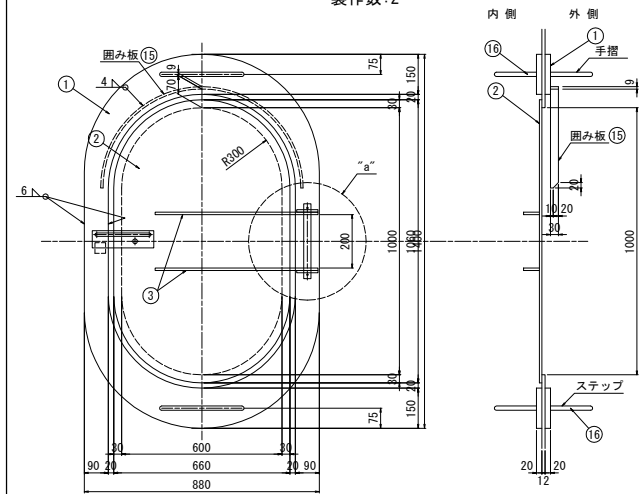
S1, S2 (G1)

製作数:2

取手部詳細

S=1:4

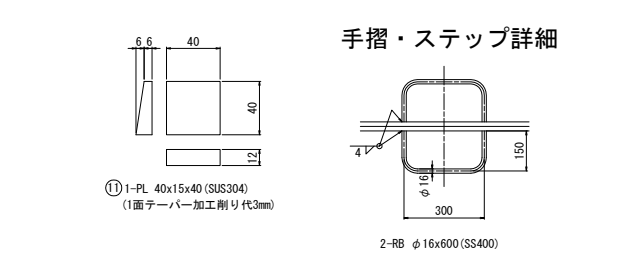
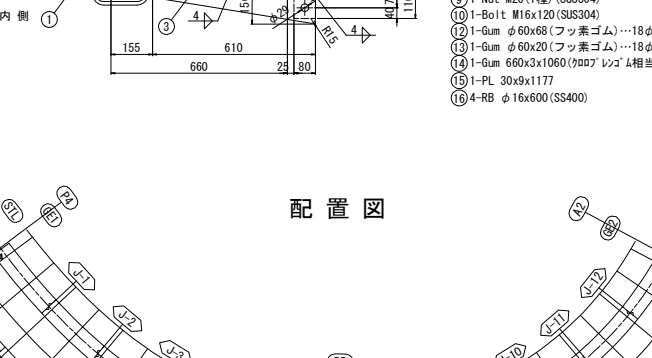
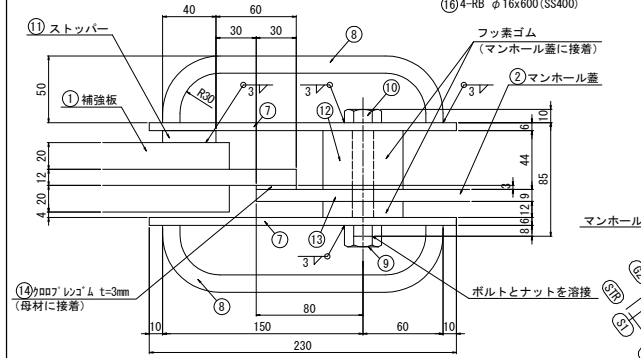
S1, S2 (G2)



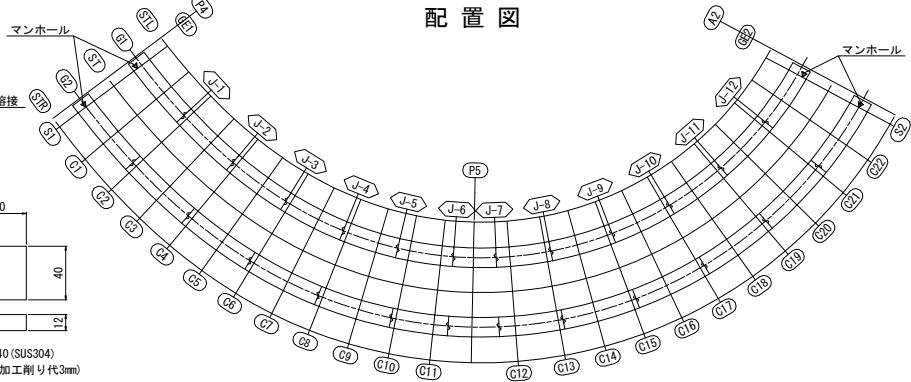
取手部詳細

S=1:4

S1, S2 (G1)

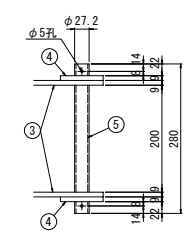


配置図



"a"部詳細

S=1:10

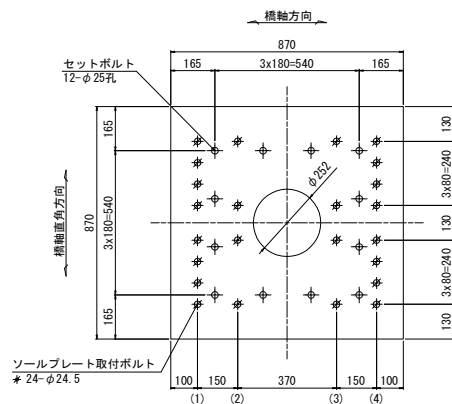


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図(その3)	図面番号	143 / 256
縮尺	図示	図面番号	143 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

P4R

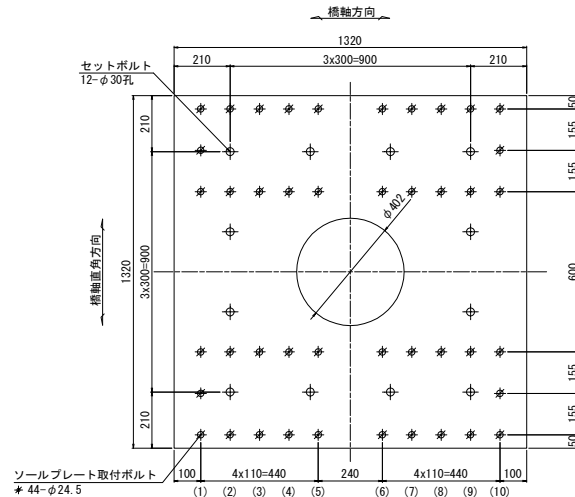
G1<G2>



- 1-SOLE PL 870x77<67>x870 (SM490C)
(1) 8-TCB M22x100<95> (S10T)
(2) 4-TCB M22x95<90> (S10T)
(3) 4-TCB M22x80 (S10T)
(4) 8-TCB M22x70 (S10T)

P5

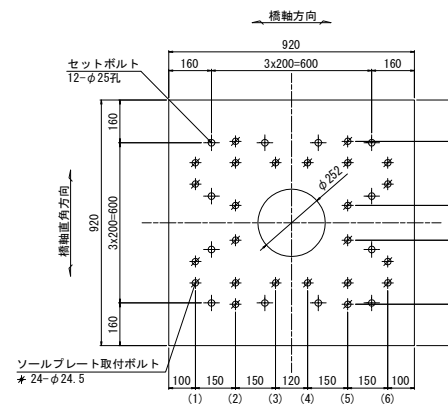
G1<G2>



- 1-SOLE PL 1320x94<86>x1320 (SM490C)
(1) 6-TCB M22x130<125> (S10T) (7) 4-TCB M22x95 (S10T)
(2) 4-TCB M22x125<120> (S10T) (8) 4-TCB M22x90 (S10T)
(3) 4-TCB M22x120<115> (S10T) (9) 4-TCB M22x85 (S10T)
(4) 4-TCB M22x115<110> (S10T) (10) 6-TCB M22x80 (S10T)
(5) 4-TCB M22x110<105> (S10T)

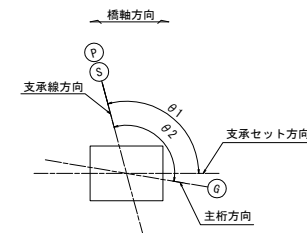
S2

G1<G2>



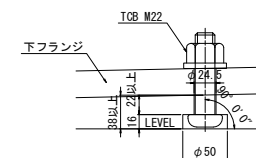
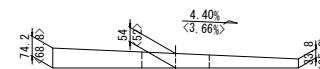
- 1-SOLE PL 920x77<71>x920 (SM490C)
(1) 4-TCB M22x100 (S10T)
(2) 6-TCB M22x95 (S10T)
(3) 2-TCB M22x90 (S10T)
(4) 2-TCB M22x85 (S10T)
(5) 6-TCB M22x75<80> (S10T)
(6) 4-TCB M22x70 (S10T)

支承セット角度

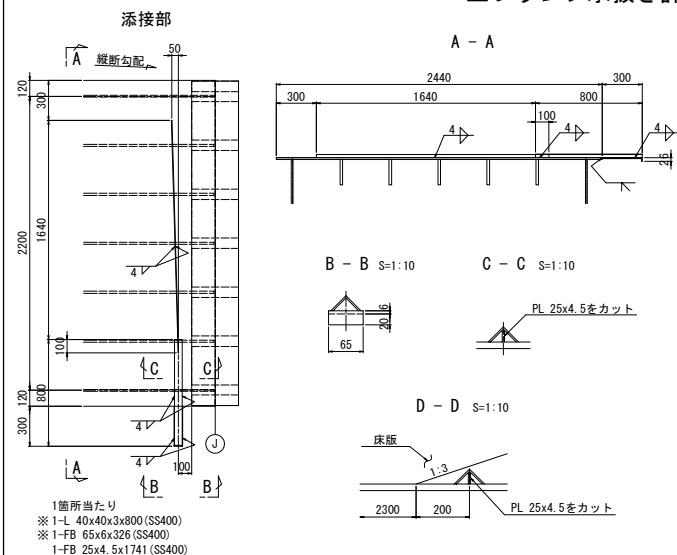
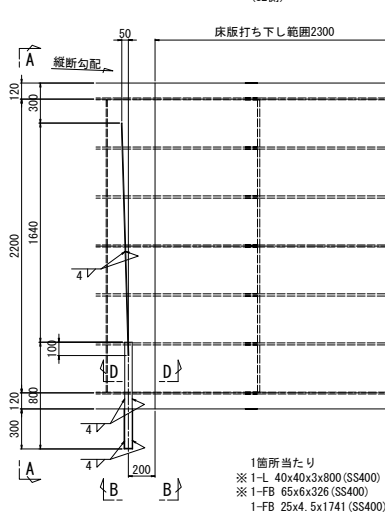


		θ 1	θ 2
S1	G1	90° 00' 00"	89° 16' 43"
	G2	90° 00' 00"	89° 20' 04"
P5	G1	90° 00' 00"	90° 00' 00"
	G2	90° 00' 00"	90° 00' 00"
S2	G1	90° 00' 00"	91° 40' 42"
	G2	90° 00' 00"	91° 24' 35"

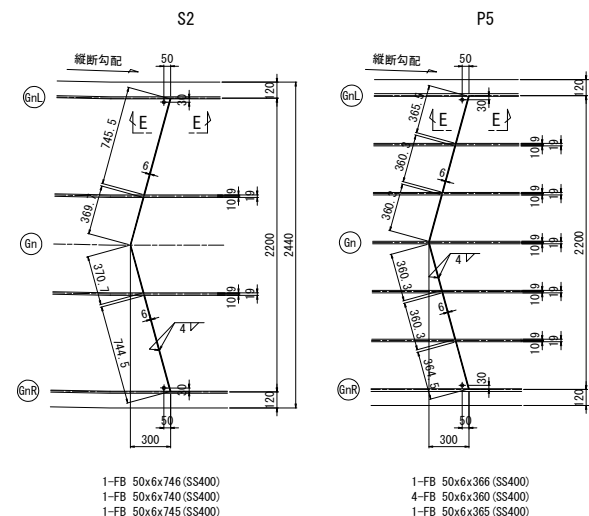
ソールプレート止めボルト詳細 S=1:6



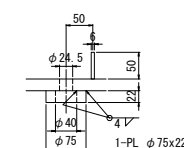
上フランジ水抜き詳細 S=1:40

床版打ち下し部
(S2側)

下フランジ水抜き詳細 S=1:40



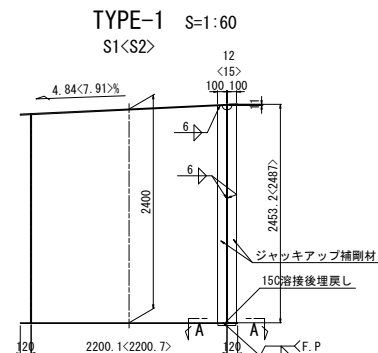
E - E S=1:10



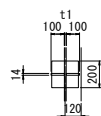
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ※印部材は、溶融面始めつき処理とする。
車輪の膜厚は、
鋼板・形鋼 1 ≤ t < 2 JIS H 8641 HDZT49
2 ≤ t < 3 JIS H 8641 HDZT56
3 ≤ t < 5 JIS H 8641 HDZT63
5 ≤ t < 6 JIS H 8641 HDZT70
6 ≤ t JIS H 8641 HDZT77
ボルト・ナット類は、 JIS H 8641 HDZT49とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	145 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

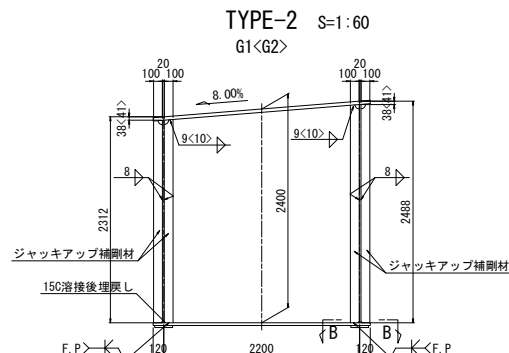
ジャッキアップ補剛材詳細



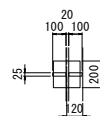
A - A S=1:40



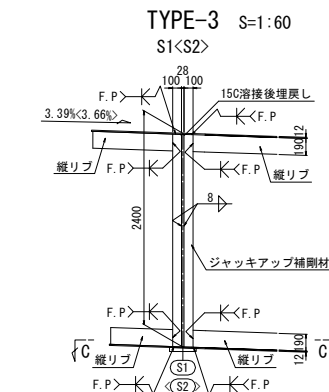
制作数:1
1-PL 100x14x2442<2476>(SM490YA)
1-PL 100x14x2447<2484>(SM490YA)



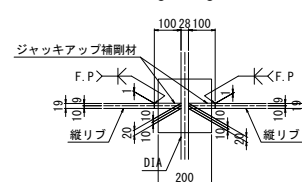
B - B S=1:40



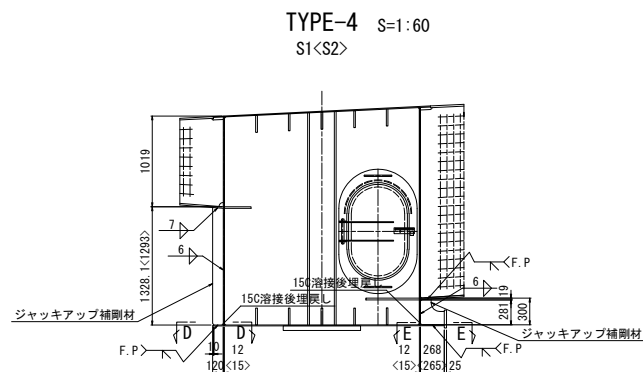
制作数:2
1-PL 100x25x2271<2268> (SM490YB)
1-PL 100x25x2282<2279> (SM490YB)
1-PL 100x25x2447<2444> (SM490YB)
1-PL 100x25x2458<2455> (SM490YB)



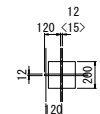
C - C



制作数:1
2- PL 100x20x2391<2392> (SM490YB)

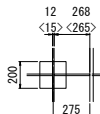


D - D S=1:40



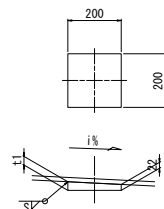
制作数:1
1-PL 120x12x1319<1278>(SM490YA)

E - E S=1:40



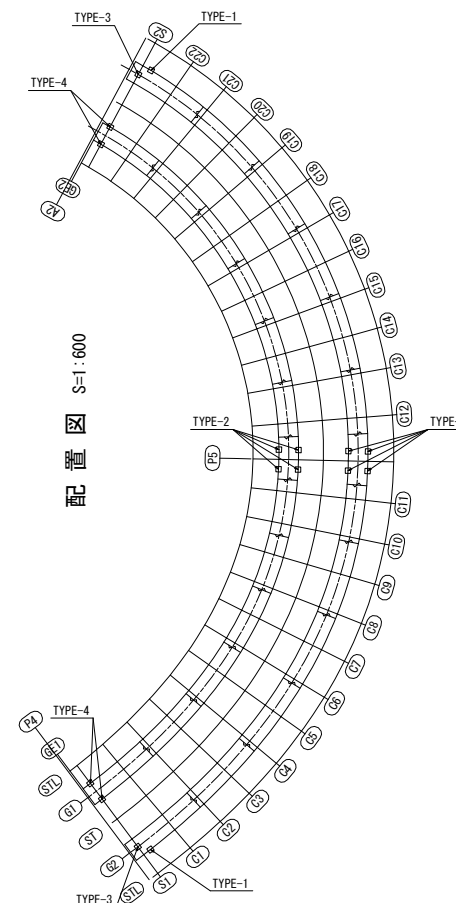
制作数:1
1-PL 268<265>x17x290<289>(SM490YB)

ジャッキアップベースプレート詳細図



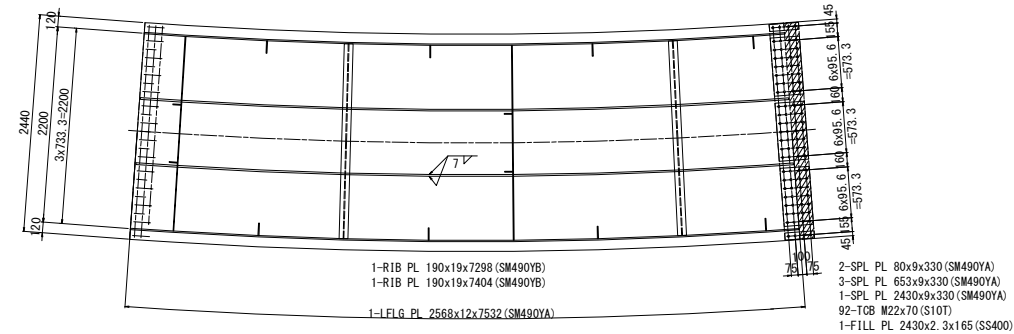
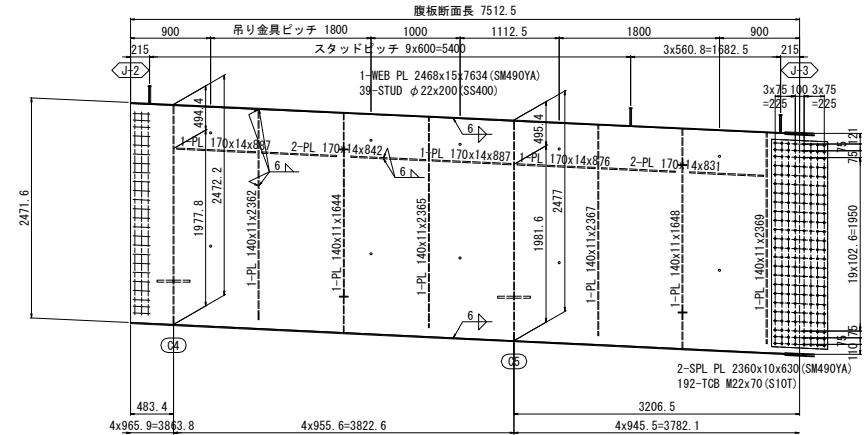
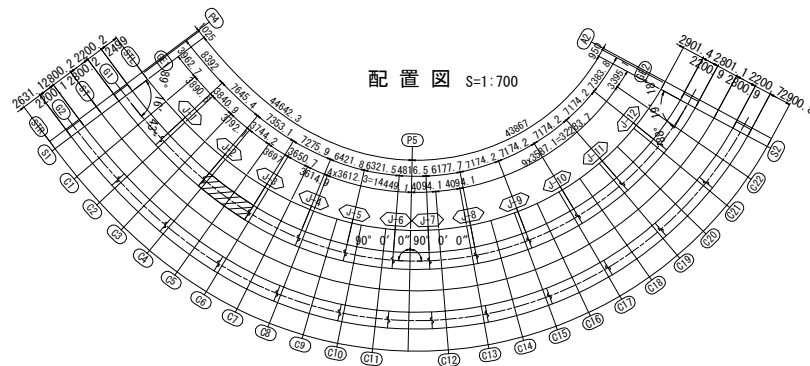
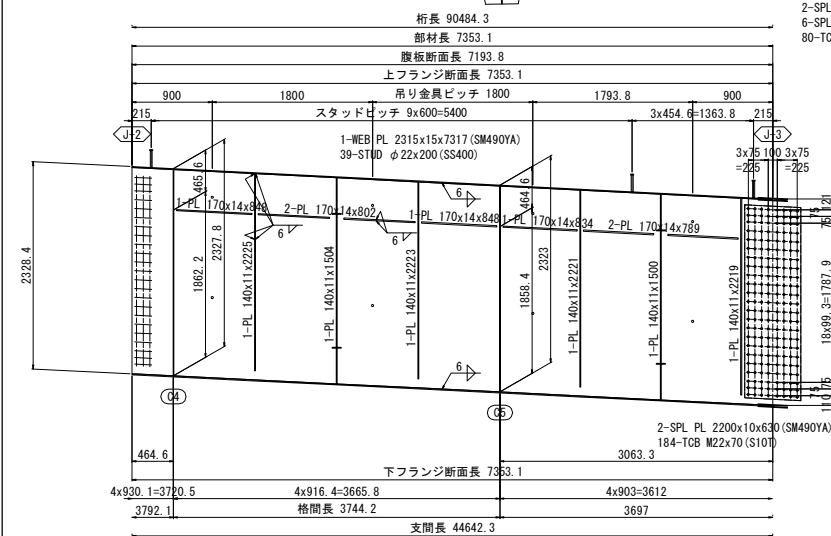
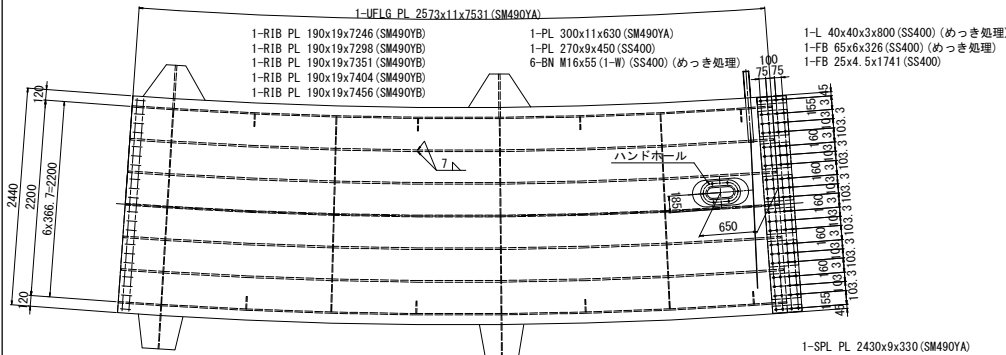
制作数:n
1-BASE PL 200tx200(材質)

			i	t1	t	n	S	材質
G1	S1	TYPE-4	4.69	31.4	34	2	9	SM400B
	P5	TYPE-2	4.39	30.8	33	4	9	SM400B
	S2	TYPE-4	4.40	30.8	33	2	9	SM400B
G2	S1	TYPE-3	3.39	28.8	31	1	8	SM400A
		TYPE-1	3.39	28.8	31	1	8	SM400A
	P5	TYPE-2	3.69	29.4	32	4	8	SM400A
		TYPE-3	3.66	29.3	32	1	8	SM400A
	S2	TYPE-1	3.66	29.3	32	1	8	SM400A



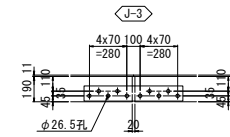
注記
1. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
2. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

	長野自動車道
	安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 共通詳細図（その6）
縮 尺	図 示 図面番号 146 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



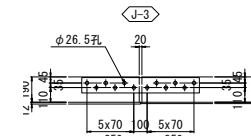
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x16x740 (SM490YA)
10-TCB M22x90 (S10T)

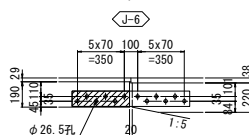
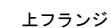
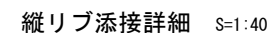
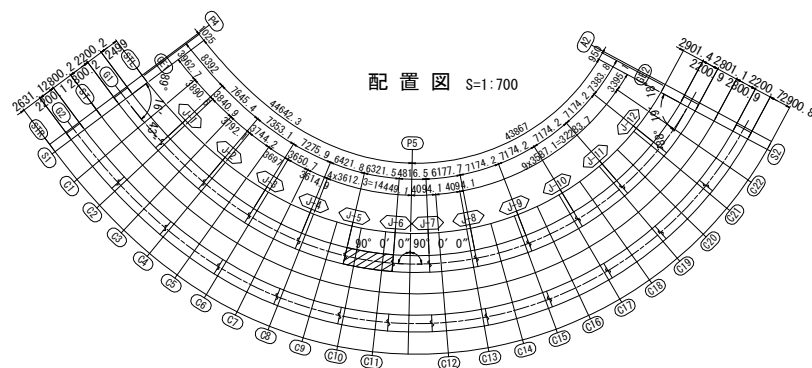
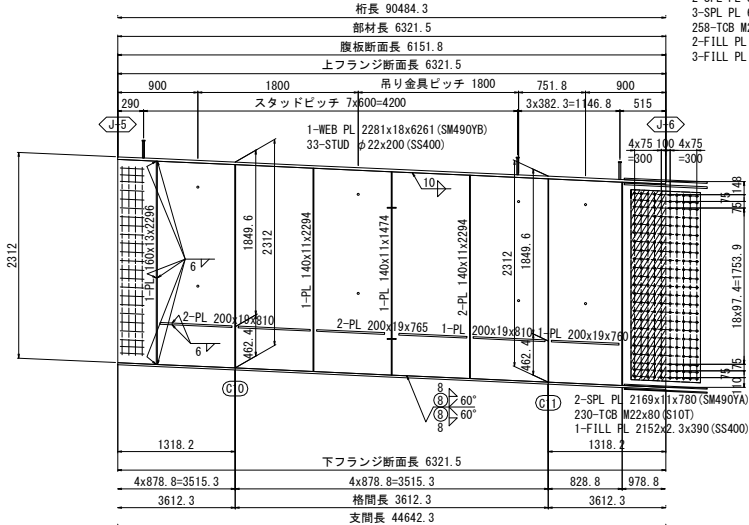
下フランジ



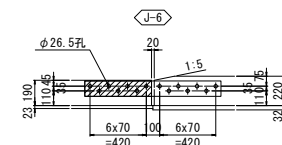
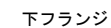
製作数:2
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YA)
12-TCB M22x90 (S10T)

- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 - 縦リブの孔径は ϕ 26.5とする。
 - 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1（その3）
縮尺	図示 図面番号 149 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



製作数:2
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3.2x430 (SS400)

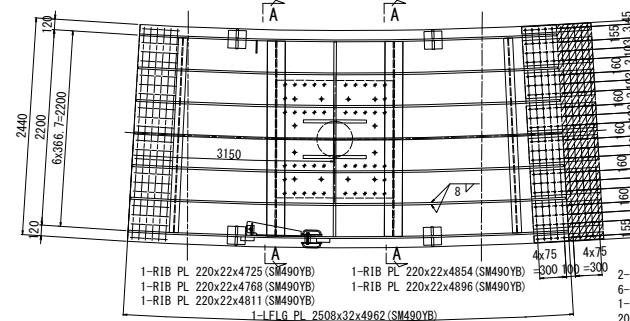
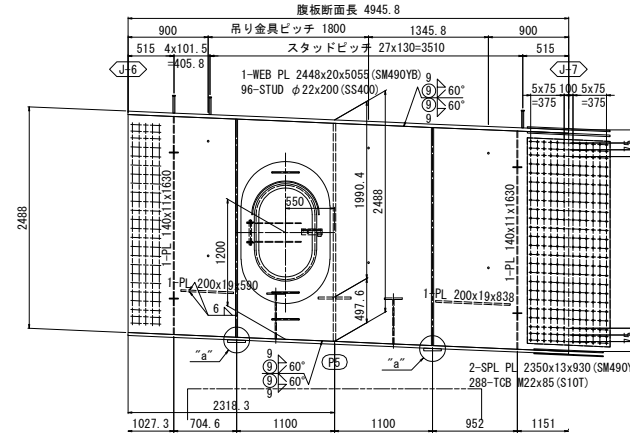
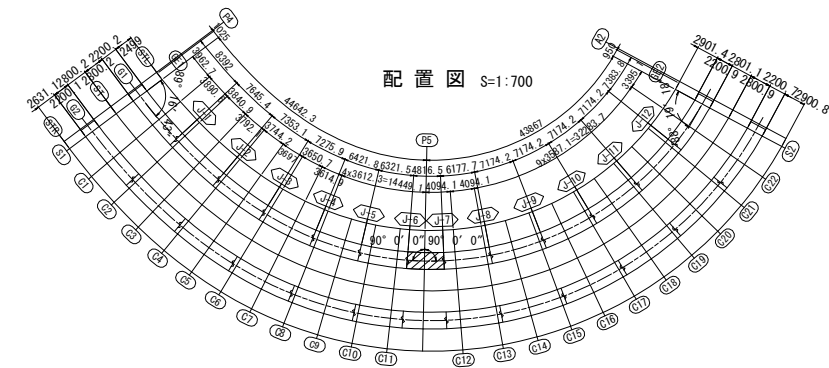
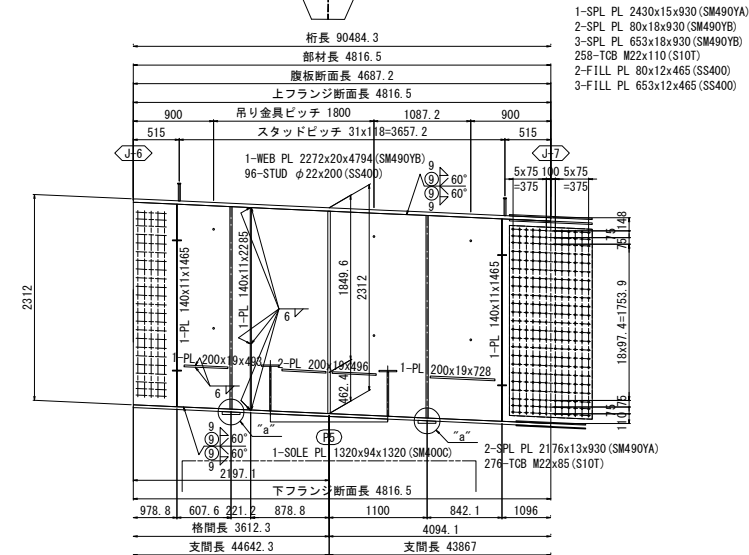
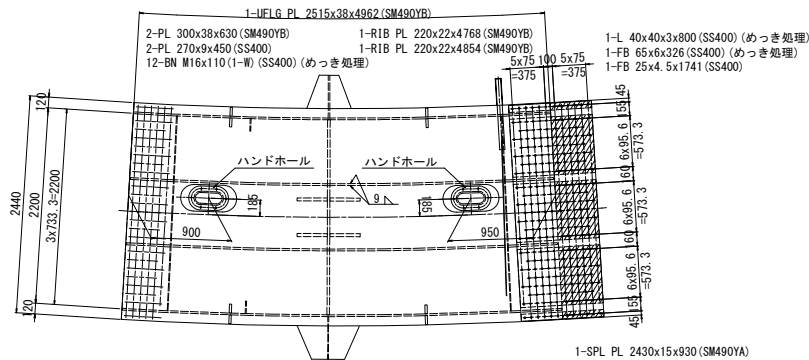


製作数:5
2-SPL PL 115x16x1020 (SM490YA)
14-TCB M22x90 (S10T)
1-FILL PL 115x3.2x500 (SS400)

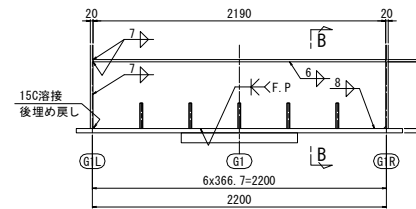
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ★印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

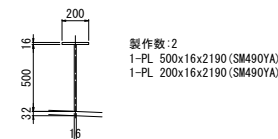
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1（その6）
縮 尺	図 示 図面番号 152 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長野工事事務所



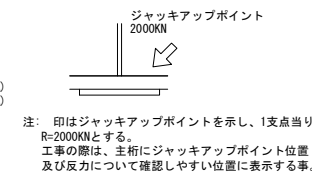
A-A S=1:40



B-B S=1:40

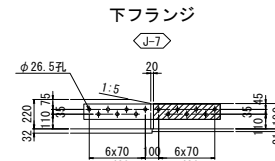
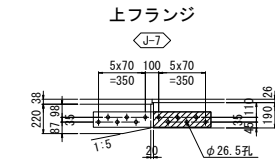


“a”部詳細図 S=1:20



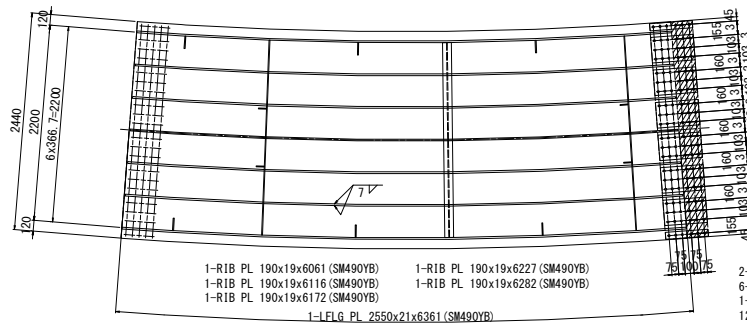
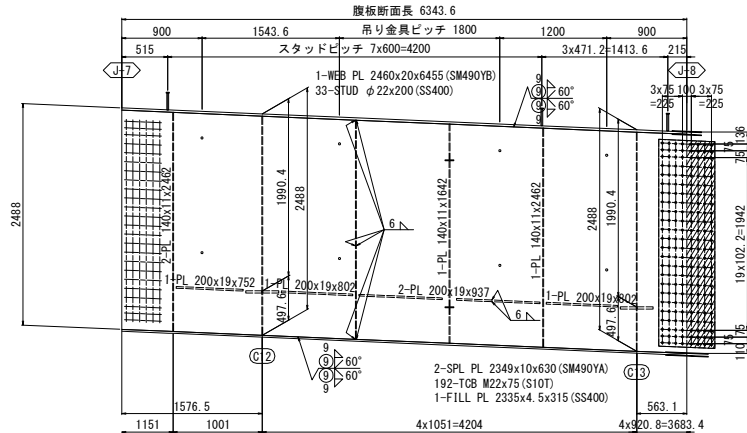
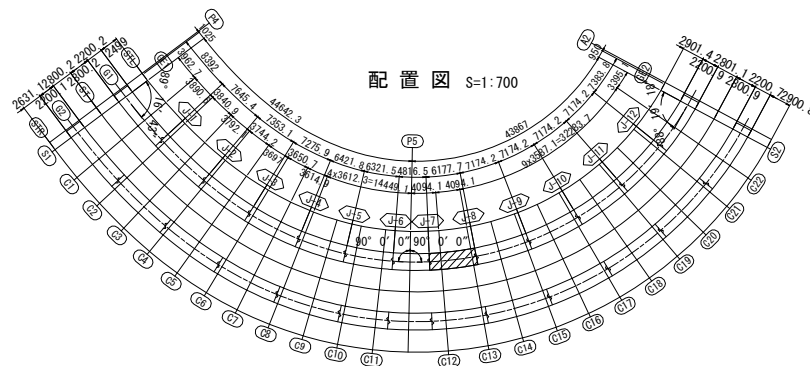
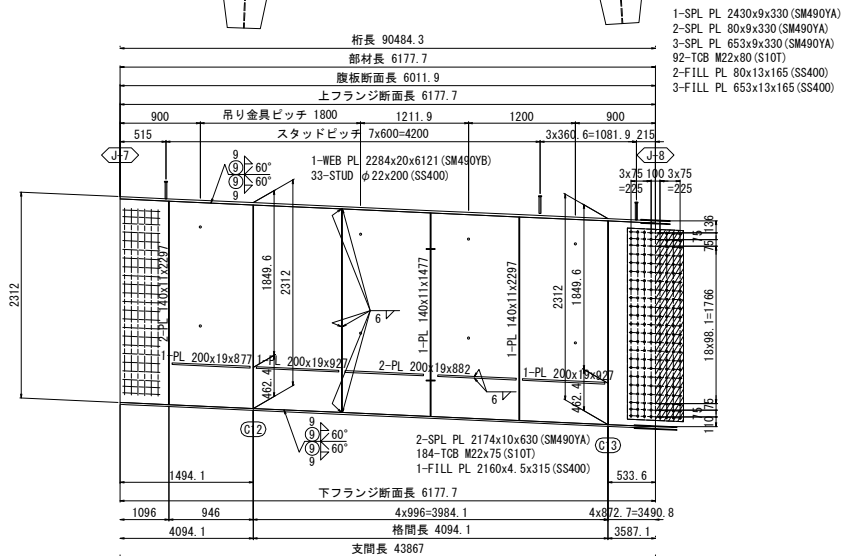
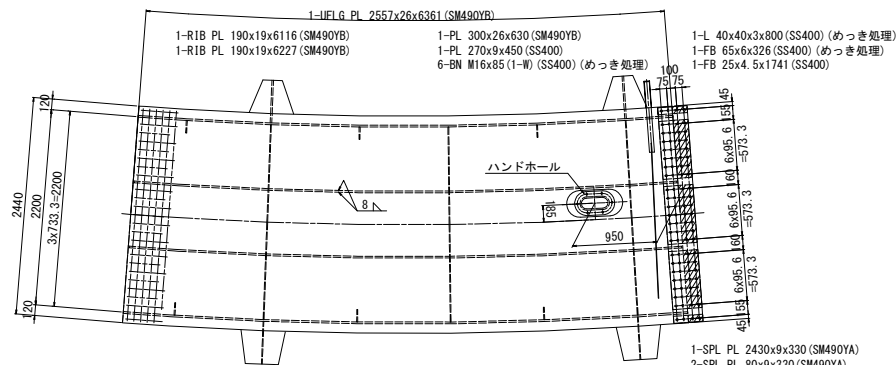
注: 印はジャッキアップポイントを示し、1支点当りR=2000KNとする。
工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

縦リブ添接詳細 S=1:40



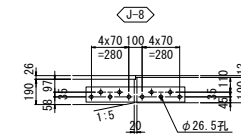
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. *印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径は ϕ 26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 6. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-2 主桁G1（その7）		
縮尺	図示	図面番号	153 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



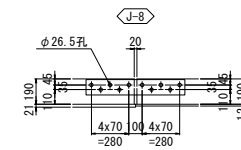
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



製作数:2
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

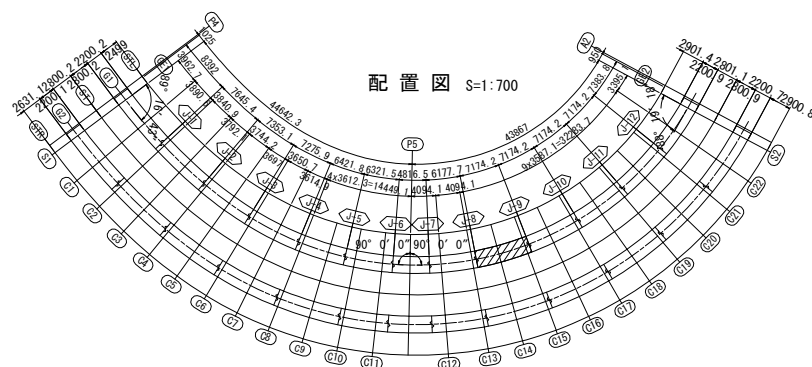
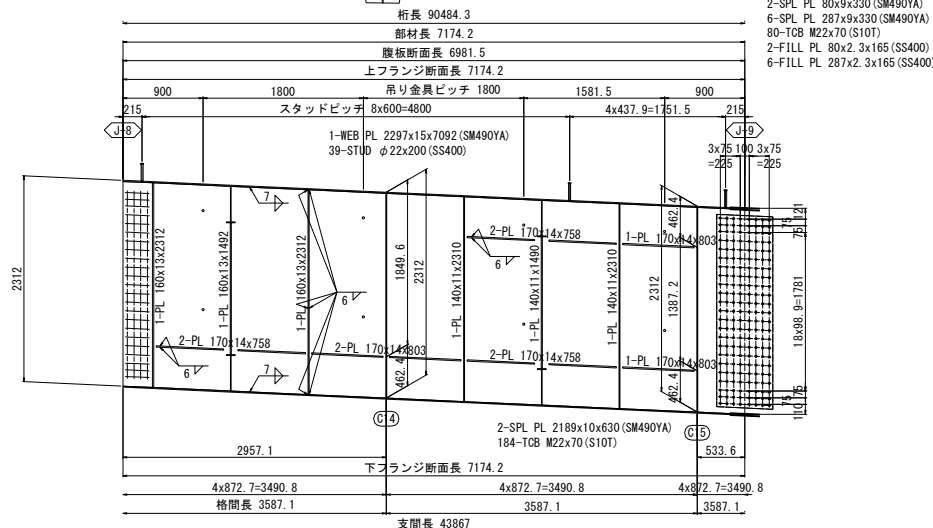
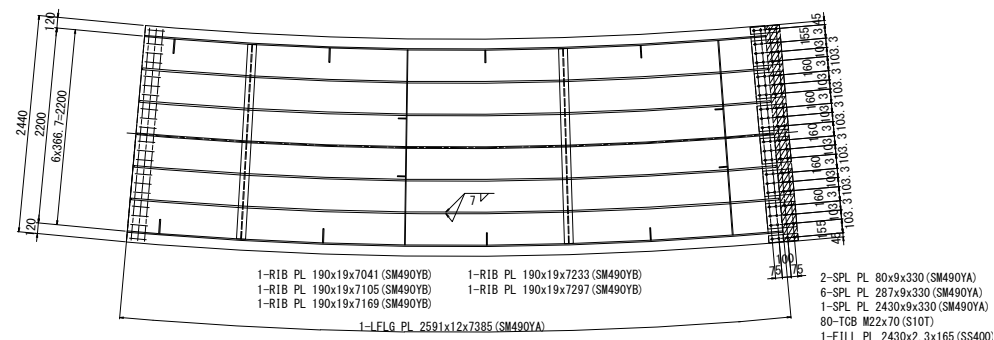
下フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x16x740 (SM490YA)
10-TCB M22x90 (S10T)

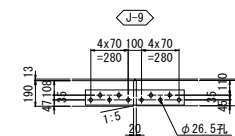
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. *印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径は ϕ 26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1 (その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	154 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



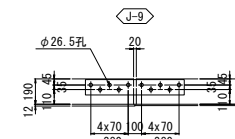
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

下フランジ

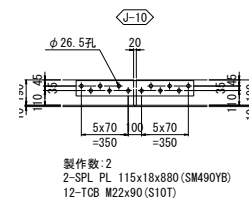
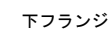
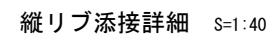
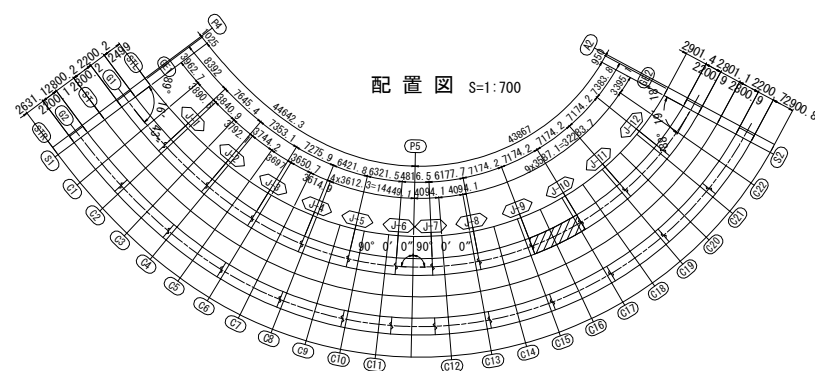
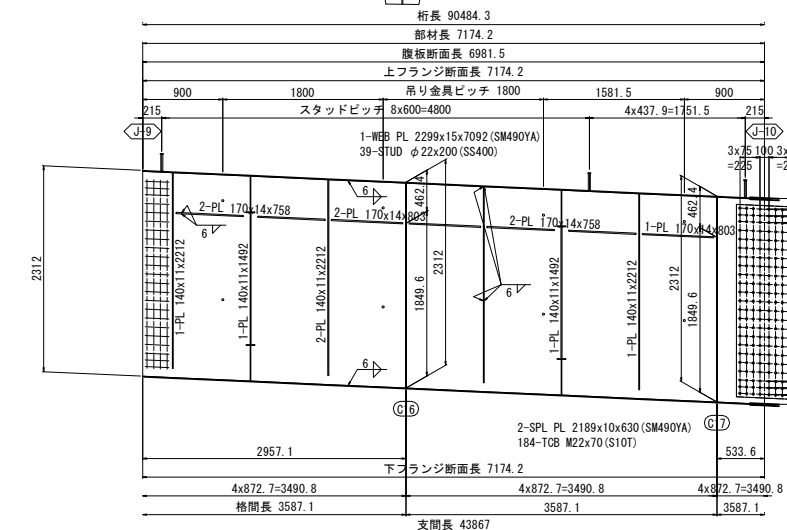


製作数:5
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

注記

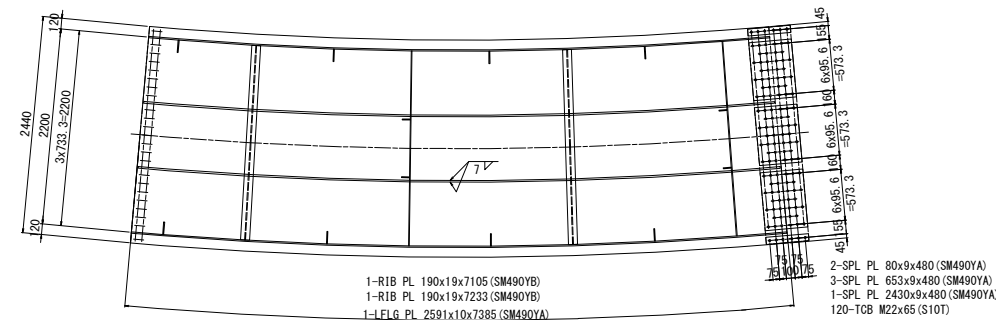
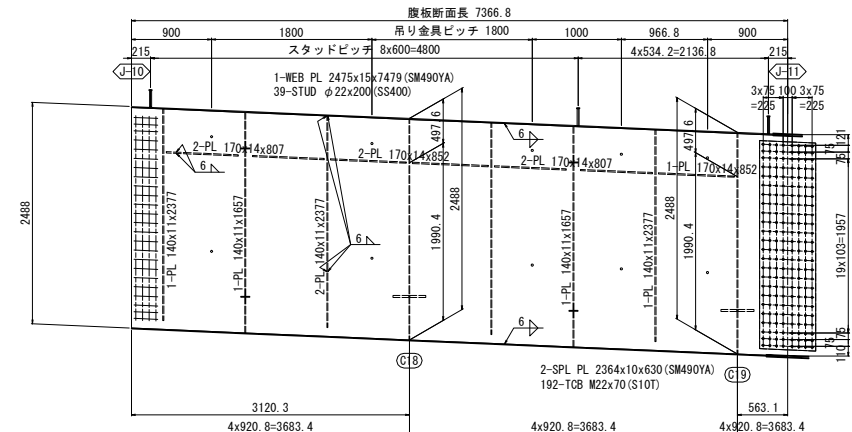
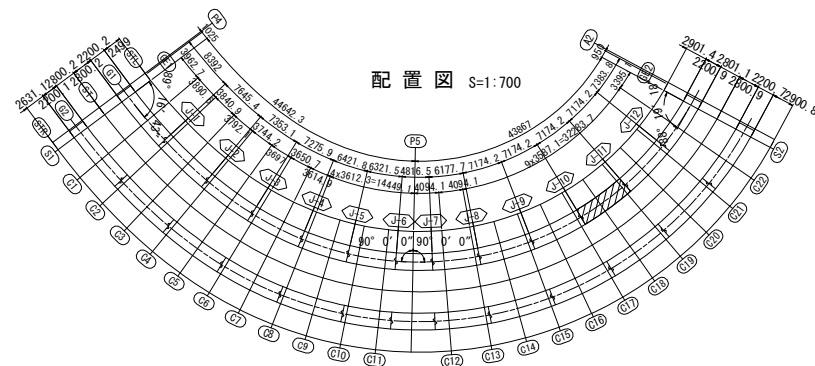
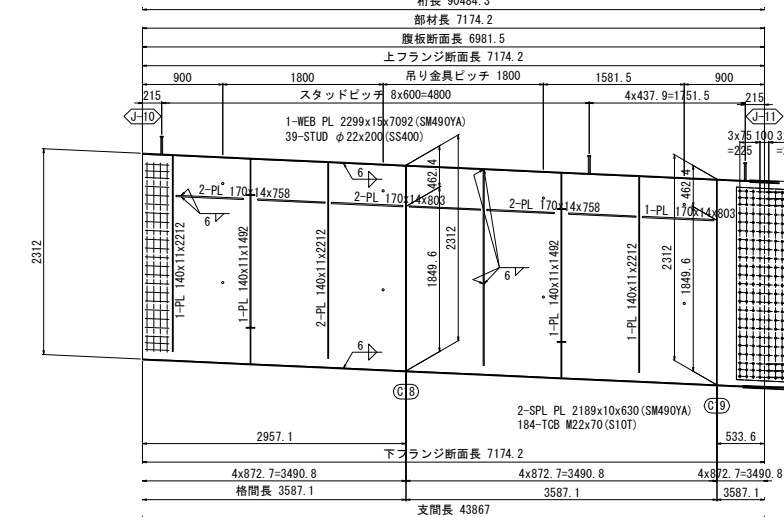
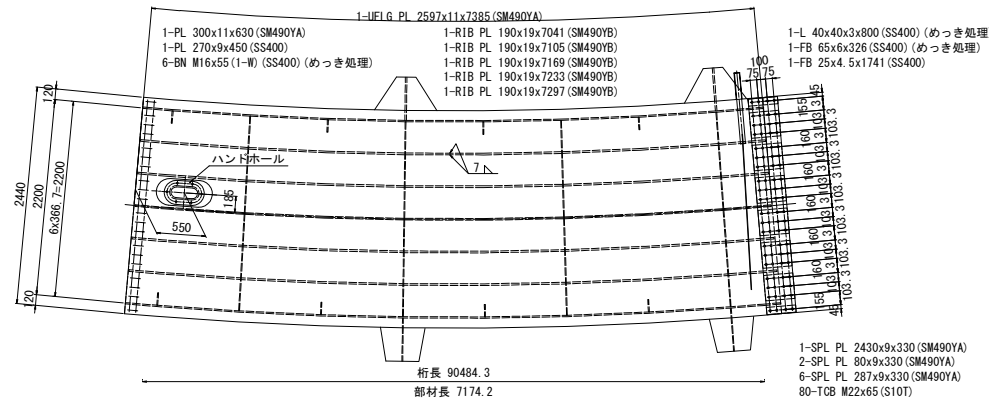
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ★印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1（その9）
縮 尺	図 示 図面番号 155 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



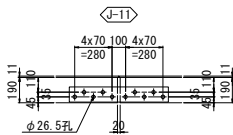
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ★印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1(その10)
縮 尺	図 示 図面番号 156 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

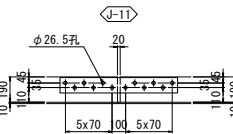


縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



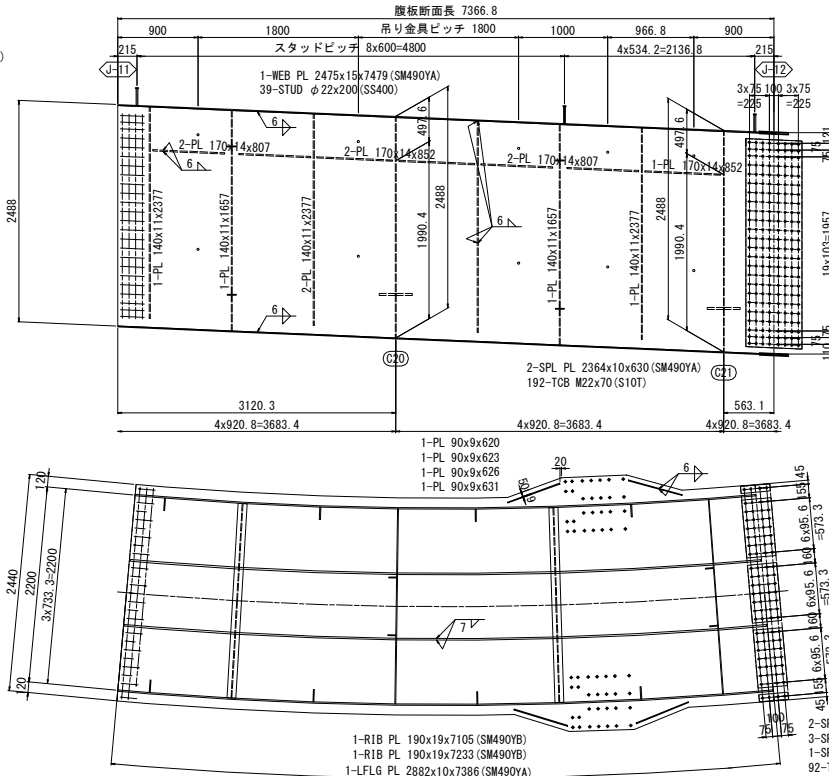
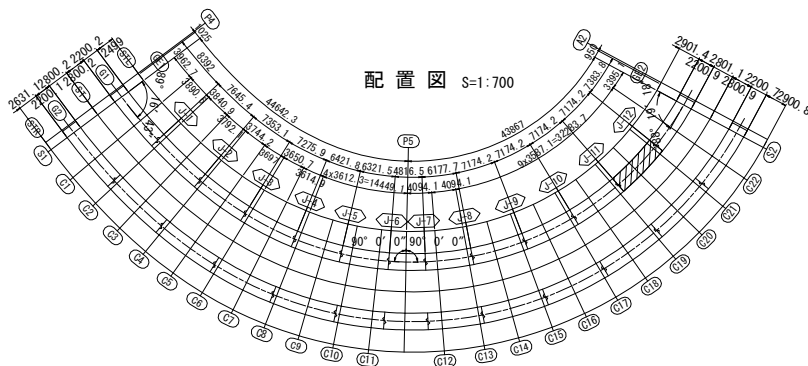
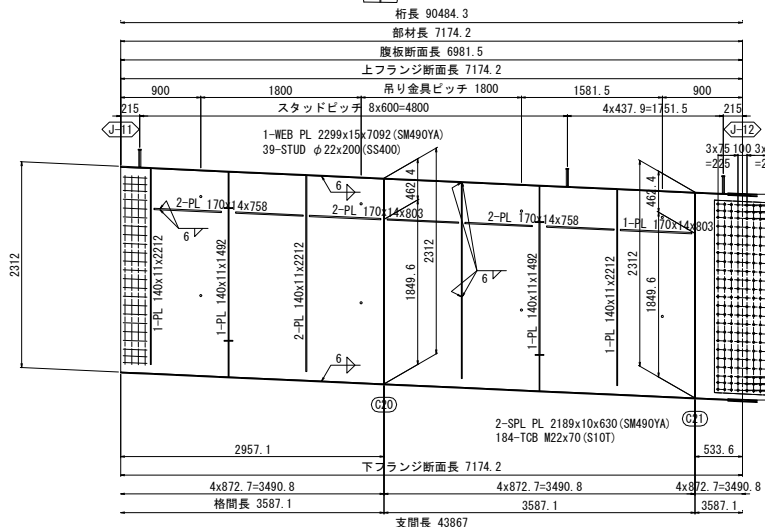
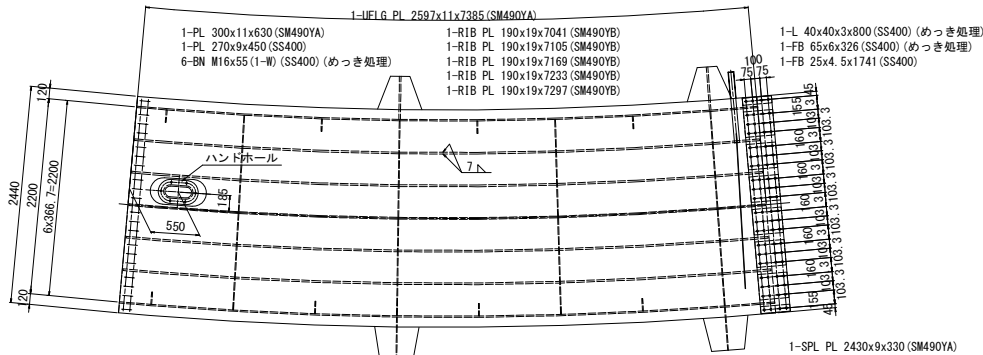
下フランジ



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

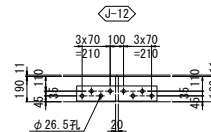
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	157 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支 社 長野工 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1(その12) S=1:60



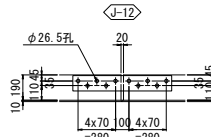
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x16x600 (SM490YA)
8-TCB M22x90 (S10T)

下フランジ



製作数:2
2-SPL PL 115x18x740 (SM490Y)
10-TCB M22x90 (S10T)

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ★印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

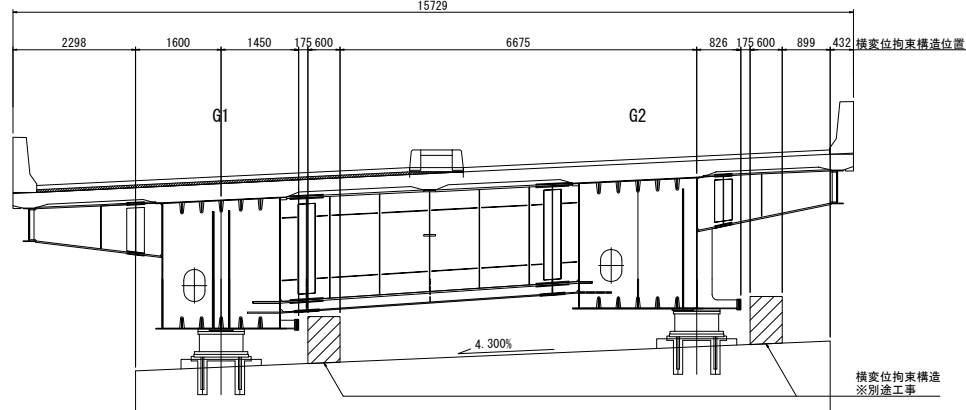
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁①（S12）
縮 尺	図 示 図面番号 158 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野自動車事務所

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G1(その14)

配置图 S=1:100

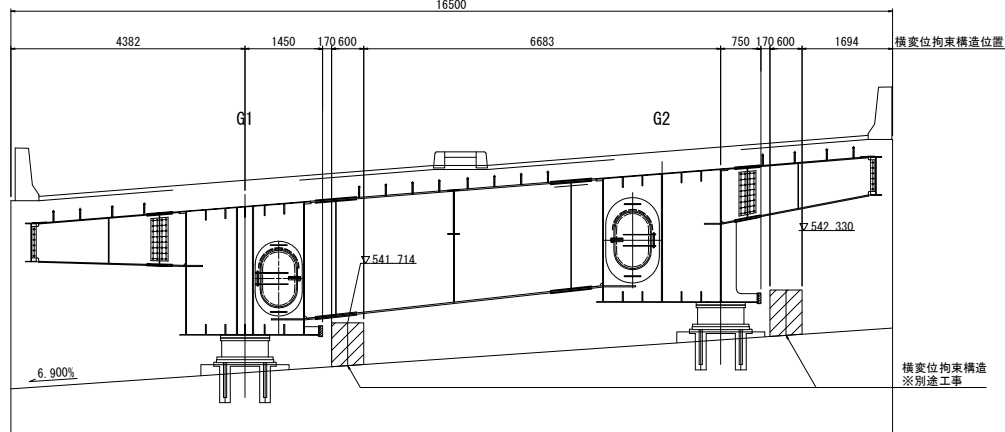
P4橋脚

15729

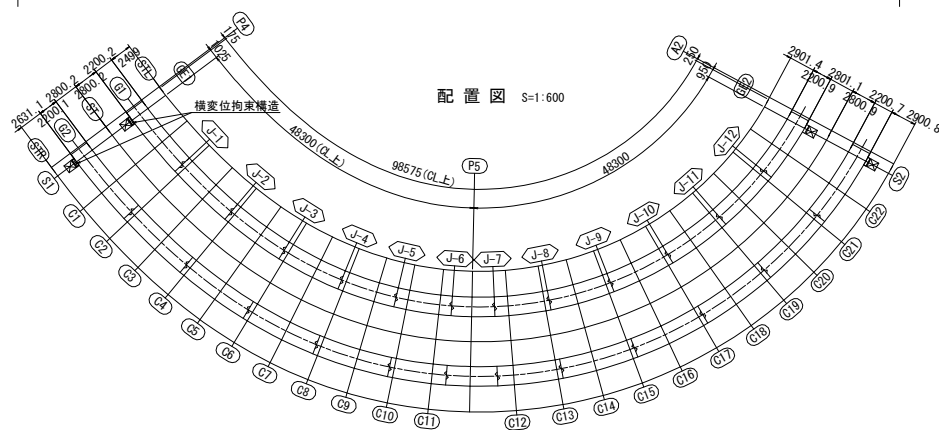


A2橋台

16500



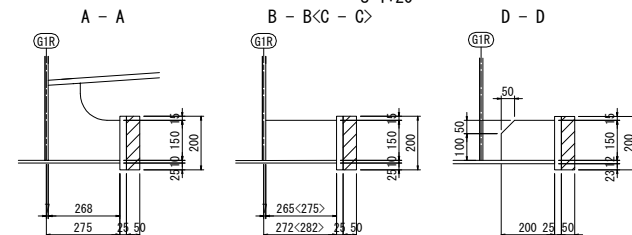
配置図 S=1:600



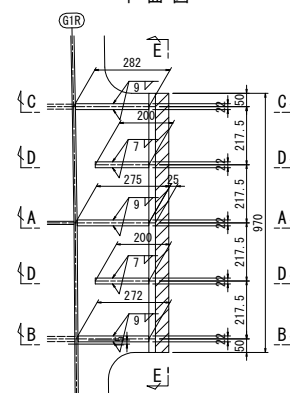
S1 S=1:20

$$-B \langle C - C \rangle$$

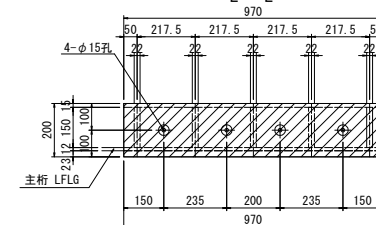
D - D



平面图



E



G1R側

※ 1-PL 150x22x265 (SM400A)

※ 1-PL 150x22x275 (SM400A)

※ 2-PL 150x22x200 (SM400A)

※ 1-PL 200x25x970 (SM400A)

☆ 4-Bolt M12x90

☆ 4-Nut M12 (1種)

☆ 4-Nut M12 (3種)
★ 2 Washer M12

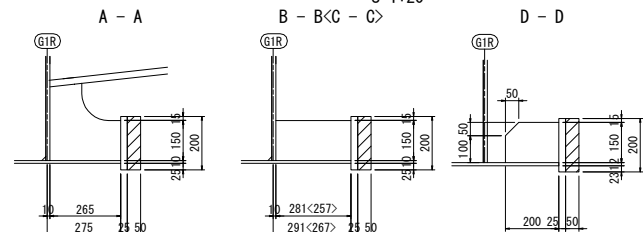
☆ 8-Washer M12
1-ゴ 1 200x50x070 (タロ)

1-ゴム 200x50x9/10(タロロブレンゴム 硬度55 \pm 5)

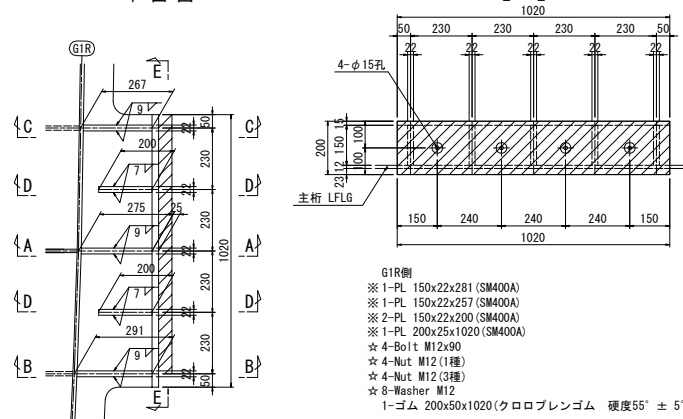
S2 S=1:20

$$-B \langle C - C \rangle$$

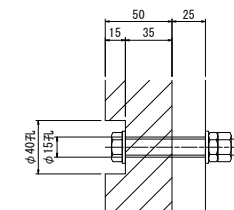
D - 1



平面图



緩衝ゴム取付詳細 S=1:4



注記

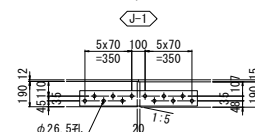
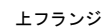
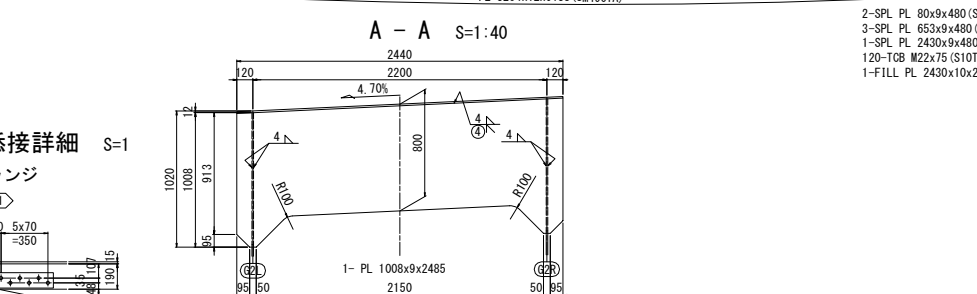
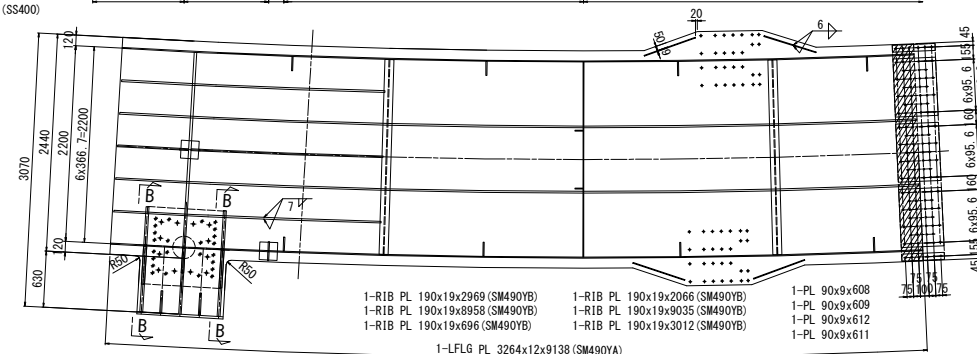
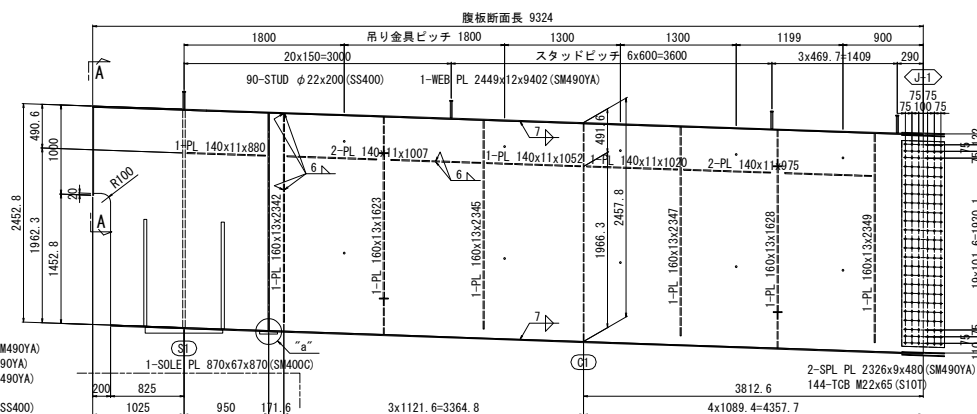
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4. ※印付きの部材は主桁にて計上する。
5. ☆印部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。

垂鉛の顔厚は、
鋼板・形鋼

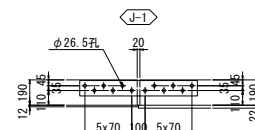
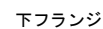
$1 \leq t < 2$	JIS H 8641 HDZT49
$2 \leq t < 3$	JIS H 8641 HDZT56
$3 \leq t < 5$	JIS H 8641 HDZT63
$5 \leq t < 6$	JIS H 8641 HDZT70
$6 \leq t$	JIS H 8641 HDZT77

ボルト・ナット類は、JIS H 8641 HDZT49とする。

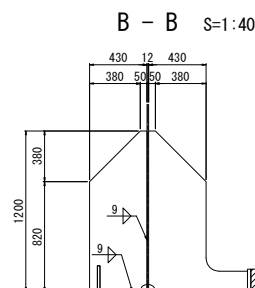
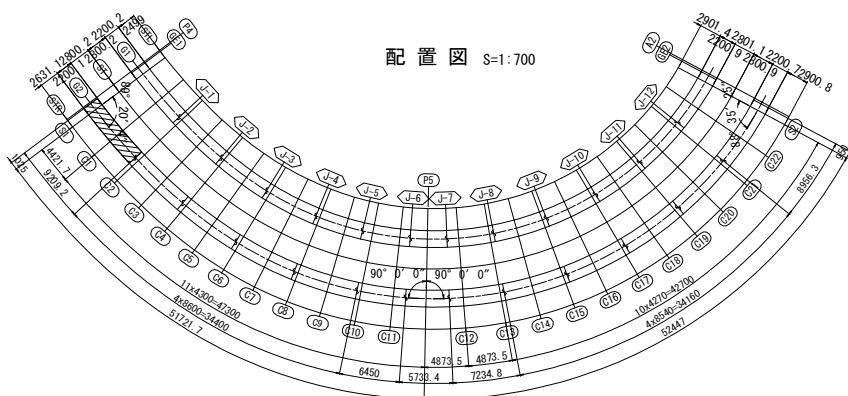
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（舗装工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-42 主桁G1（その14）
縮 尺	図 示 図面番号 / 160 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



製作数:5
2-SPL PL 115x16x880 (SM490YA)
12-TCB M22x90 (S10T)



製作数:2
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)



製作数:2
1-PL 430x34x1200 (SM400B)

"a"部詳細図 S=1:20

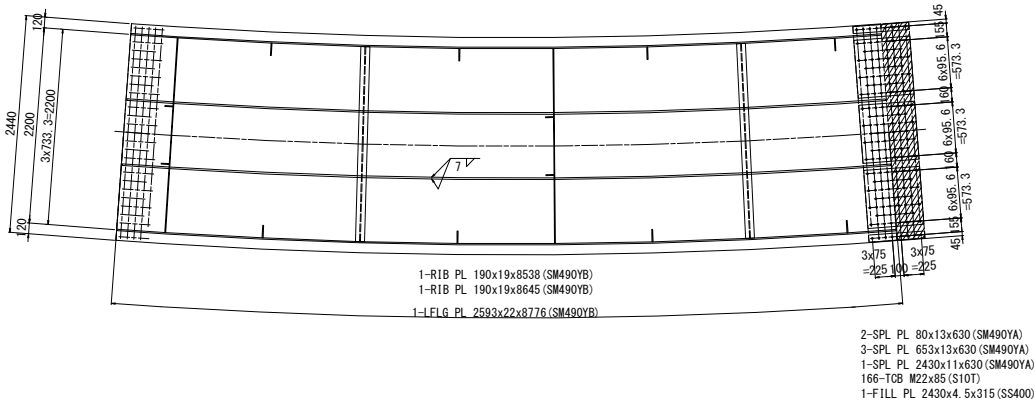
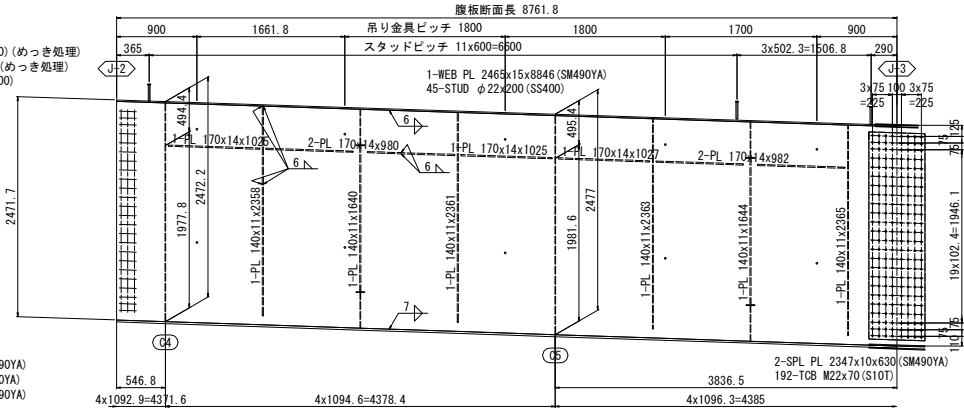
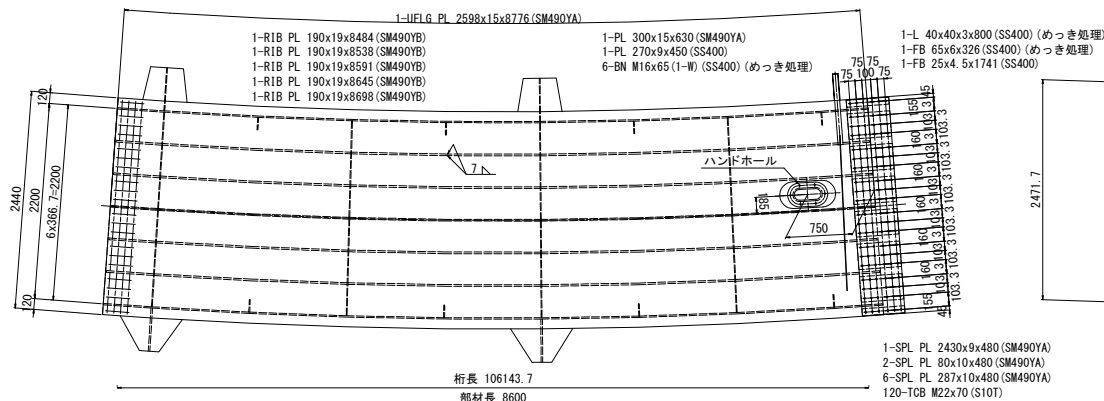


注: 印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
 $R=1100\text{KN}$ とする。
 工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置
 及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

注記

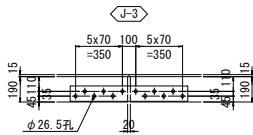
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	161 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



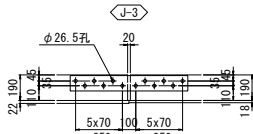
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



製作数: 5
2-SPL PL 115x16x880 (SM490YA)
12-TCB M22x90 (S10T)

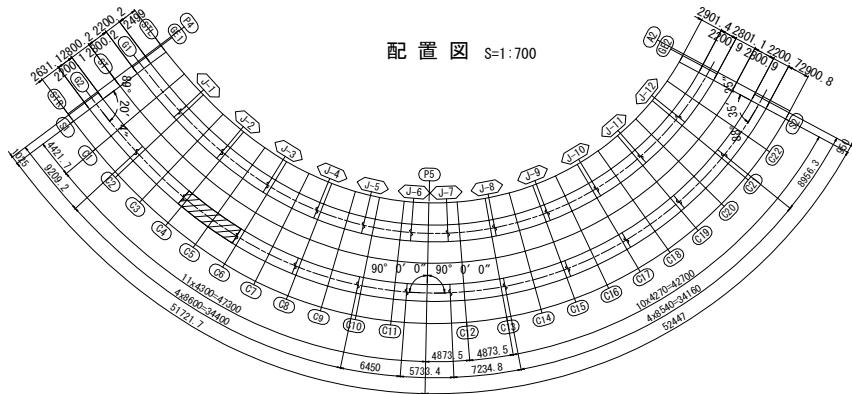
下フランジ



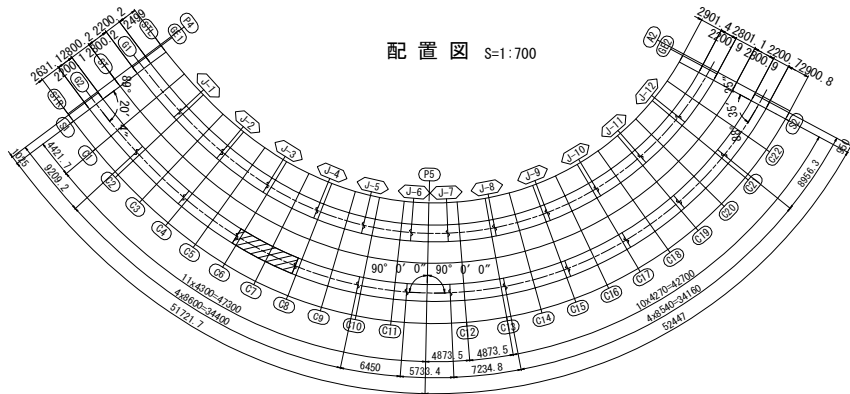
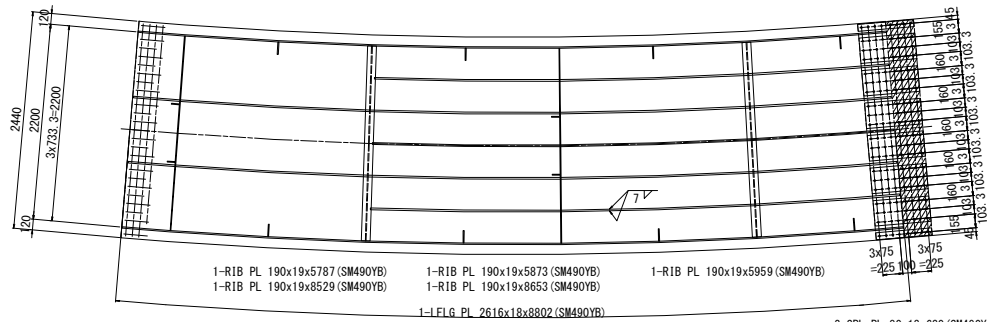
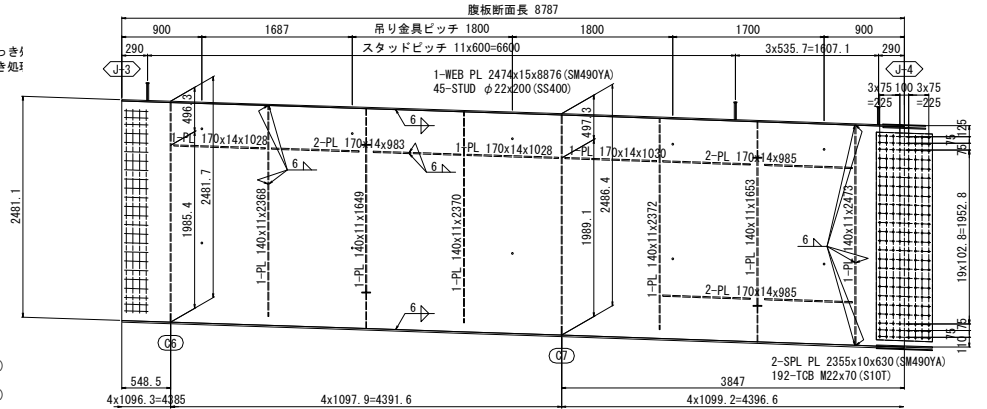
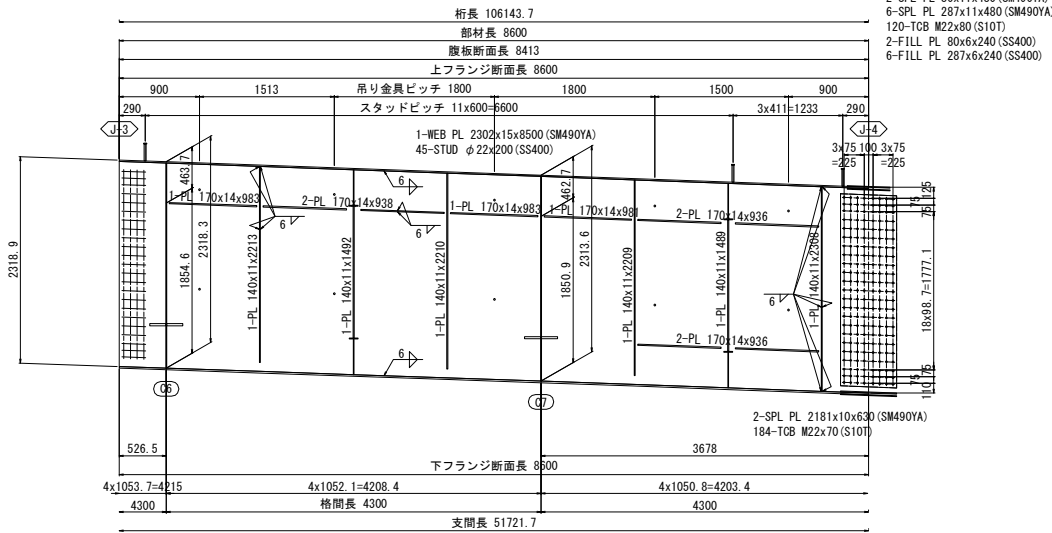
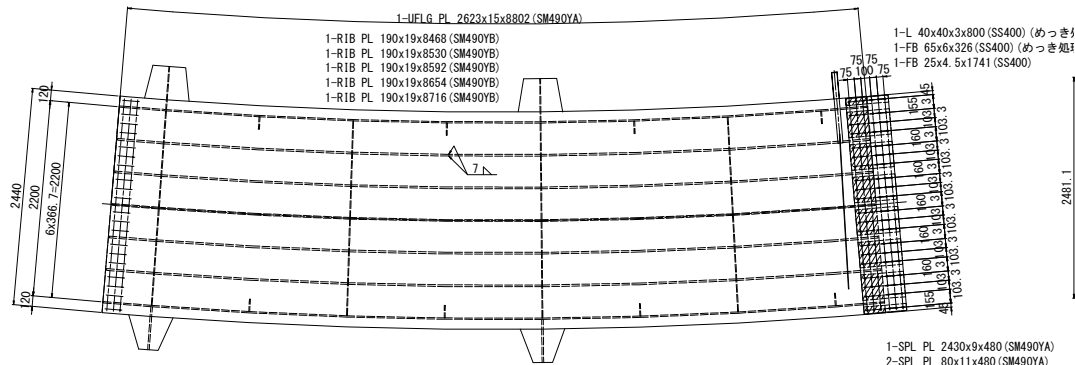
製作数: 2
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

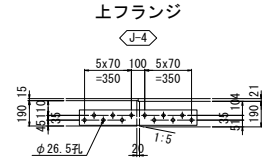
配置図 S=1:700



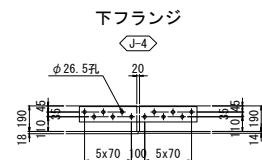
長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2 (その3)
縮尺	図示
図面番号	163 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所



縦リブ添接詳細 S=1:40



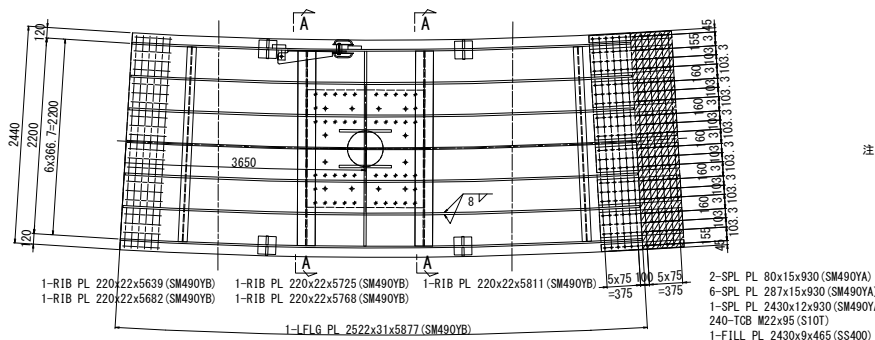
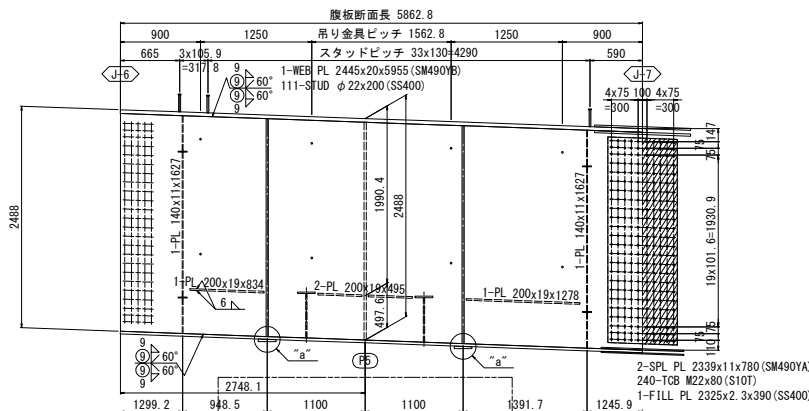
製作数:5
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)



製作数:5
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2(その4)
縮尺	図示
図面番号	164 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

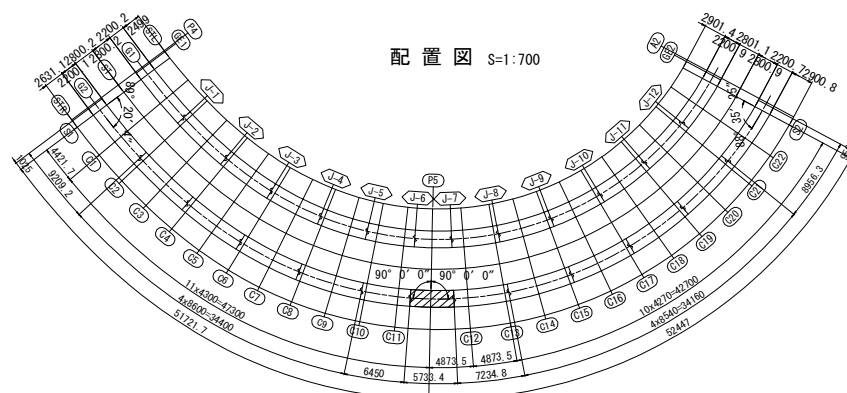


ジャッキアップポイント
2000KN

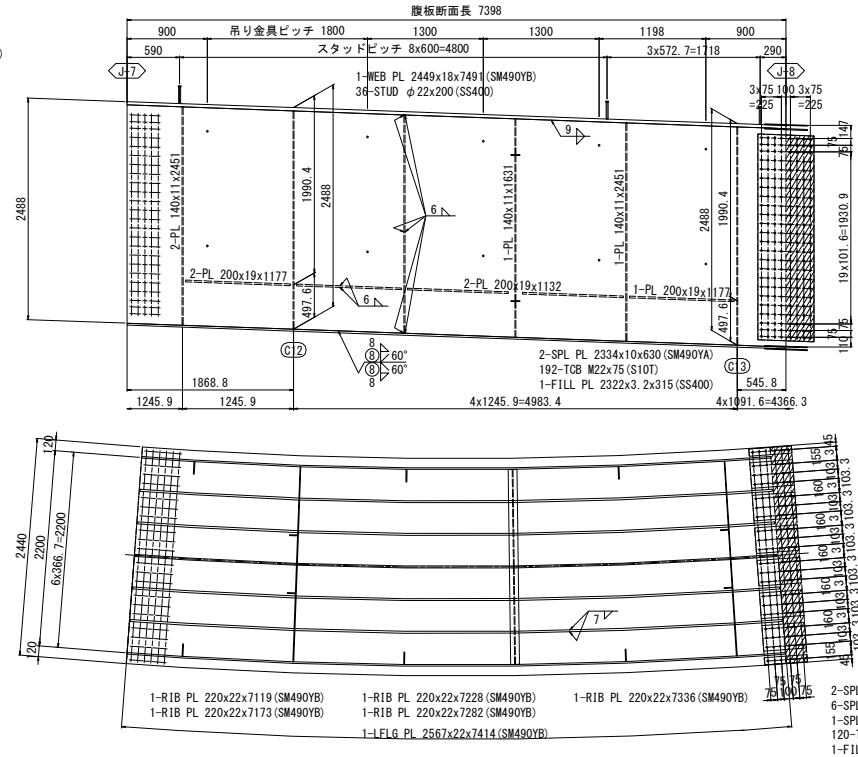
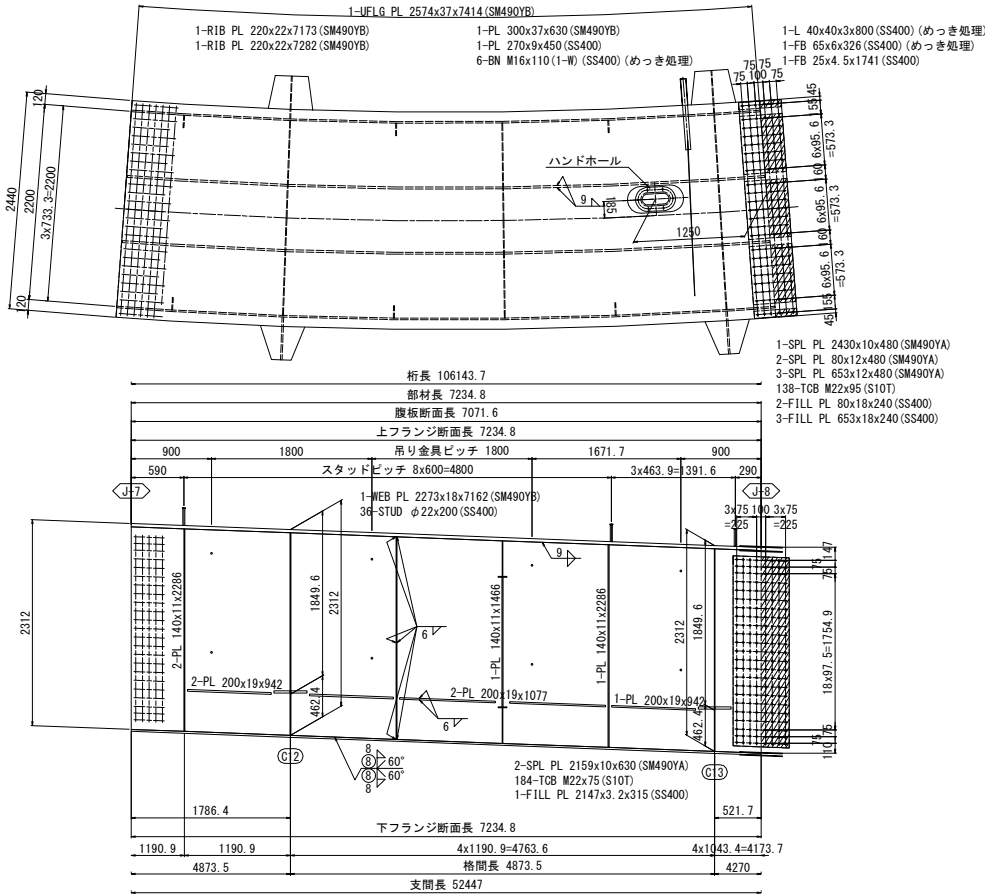
注：印はジャッキアップポイントを示し、1支点当り
R=2000KNとする。
工事の際は、主桁にジャッキアップポイント位置
及び反力について確認しやすい位置に表示する事。

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
6. 「F、P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

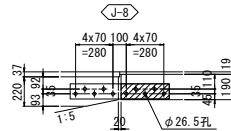


長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部工) 工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2(その7)
縮 尺	図 示 図面番号 167 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



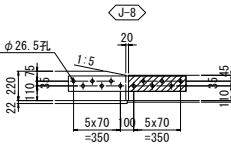
縦リブ添接詳細 S=1:40

上フランジ



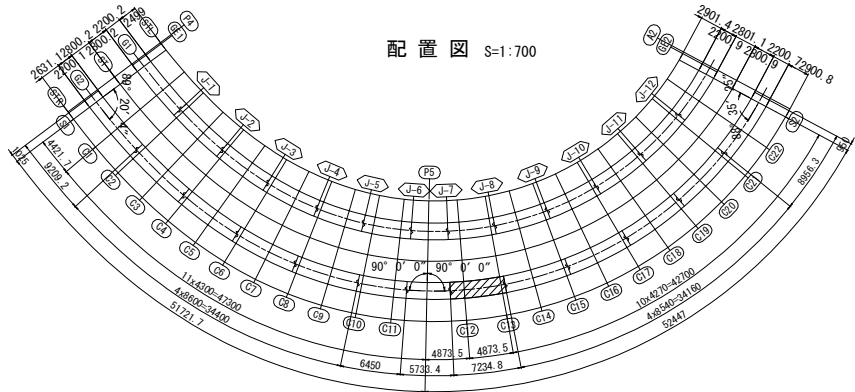
製作数: 2
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x95 (S10T)
1-FILL PL 115x3.2x360 (SS400)

下フランジ

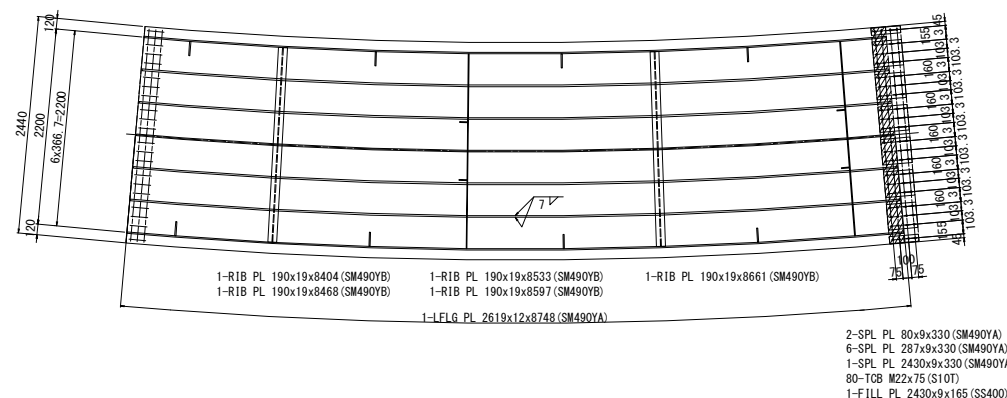
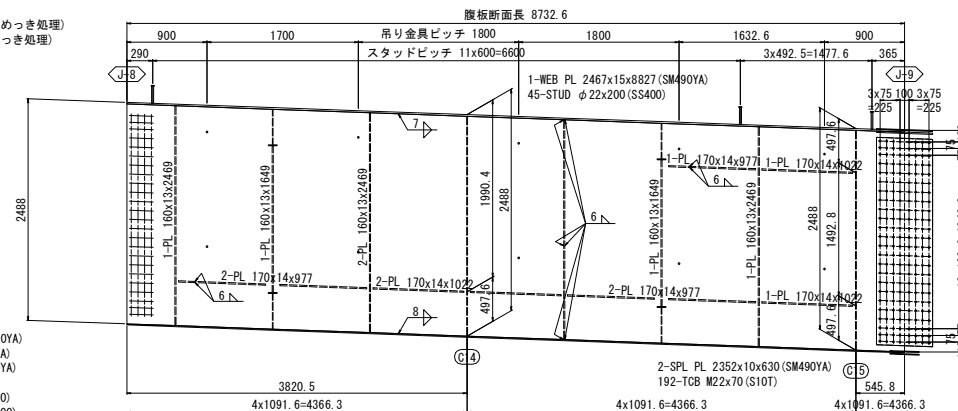
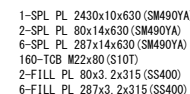


製作数: 5
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YA)
12-TCB M22x90 (S10T)
1-FILL PL 115x3.2x430 (SS400)

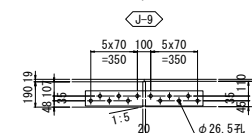
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2(その8)		
縮尺	図示	図面番号	168 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

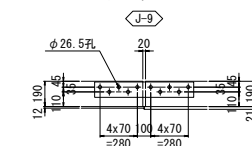


上フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)

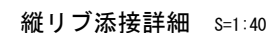
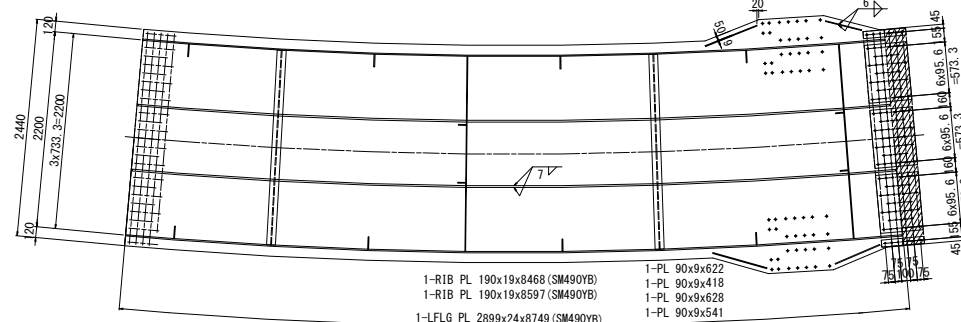
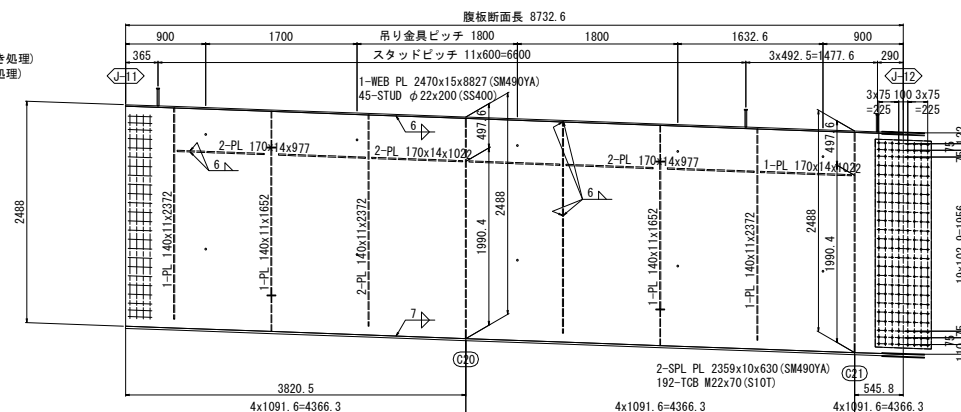
下フランジ



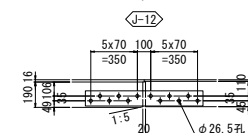
製作数:5
2-SPL PL 115x18x740 (SM490YB)
10-TCB M22x90 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ✦印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
 4. 縦リブの孔径はφ26.5とする。
 5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

	長野自動車道		
	安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事		
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-2 主桁(セ09)		
縮 尺	図 示	図面番号	169 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

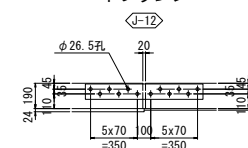


上フランジ



製作数:5
2-SPL PL 115x16x880 (SM490YA)
12-TCB M22x90 (S10T)

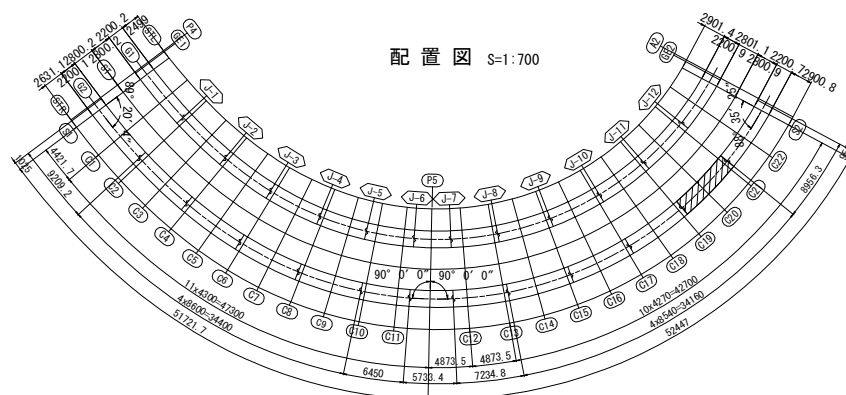
下フランジ



製作数:2
2-SPL PL 115x18x880 (SM490YB)
12-TCB M22x90 (S10T)

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 縦リブの孔径は $\phi 26.5$ とする。
5. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。

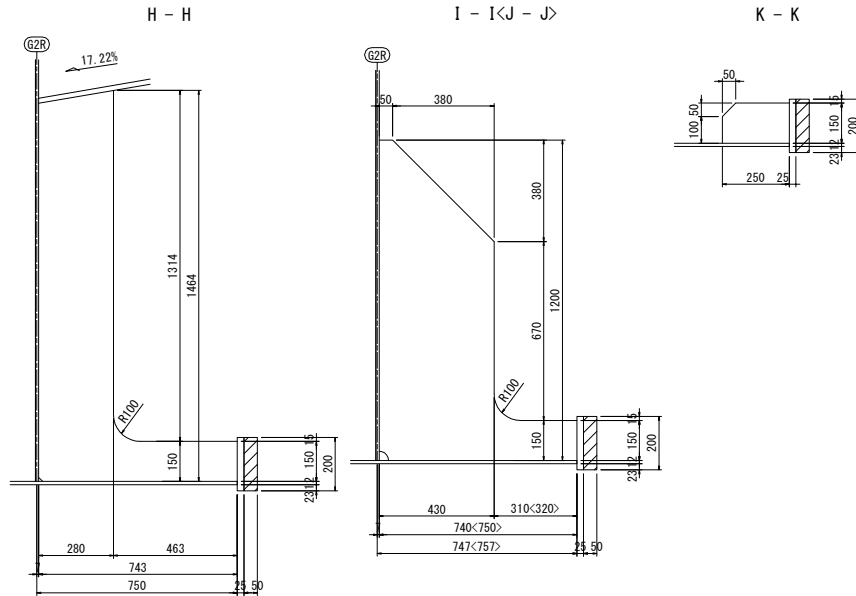


長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2(その12)
縮 尺	図 示 図面番号 172 / 25
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2(その15)

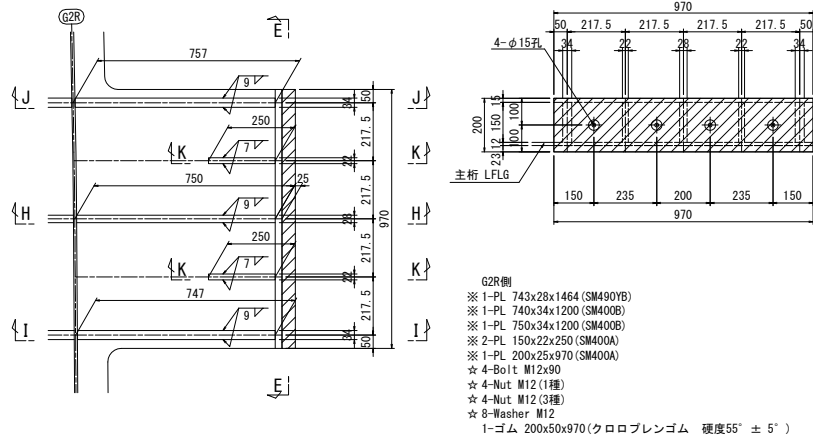
175 / 256

S1 S=1:20
I - I<J - J>



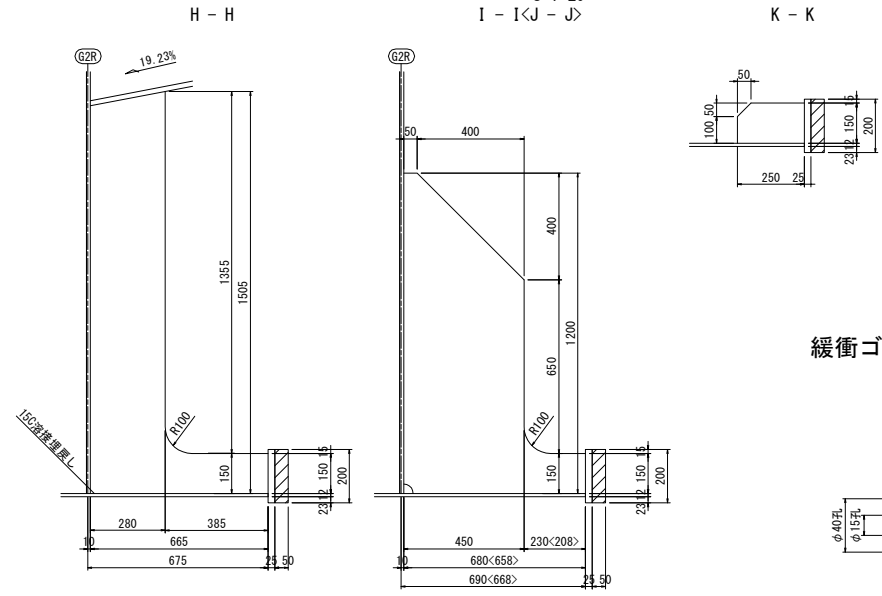
平面図

E - E



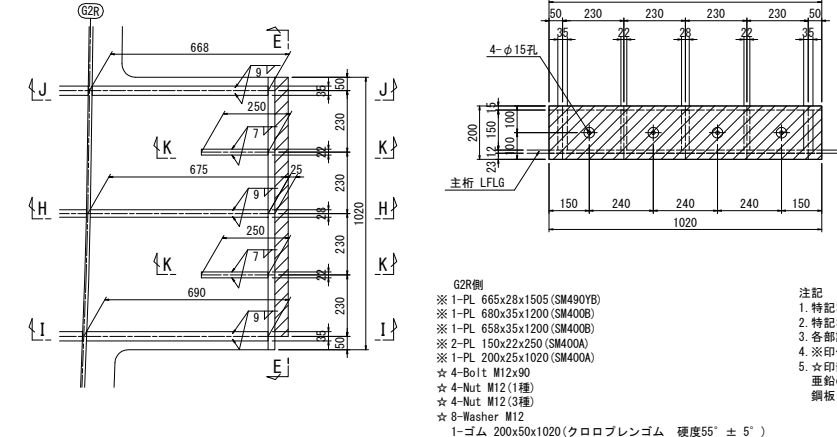
G2R側
※ 1-PL 743x28x1464 (SM490YB)
※ 1-PL 740x34x1200 (SM400B)
※ 1-PL 750x34x1200 (SM400B)
※ 2-PL 150x22x250 (SM400A)
※ 1-PL 200x25x970 (SM400A)
☆ 4-Bolt M12x90
☆ 4-Nut M12 (1種)
☆ 4-Nut M12 (3種)
☆ 8-Washer M12
1-ゴム 200x50x970 (クロロプレンゴム 硬度55° ± 5°)

S2 S=1:20
I - I<J - J>



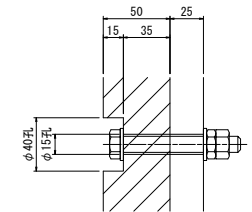
平面図

E - E



G2R側
※ 1-PL 665x28x1505 (SM490YB)
※ 1-PL 680x35x1200 (SM400B)
※ 1-PL 658x35x1200 (SM400B)
※ 2-PL 150x22x250 (SM400A)
※ 1-PL 200x25x1020 (SM400A)
☆ 4-Bolt M12x90
☆ 4-Nut M12 (1種)
☆ 4-Nut M12 (3種)
☆ 8-Washer M12
1-ゴム 200x50x1020 (クロロプレンゴム 硬度55° ± 5°)

緩衝ゴム取付詳細 S=1:4



注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4. ※印付きの部材は主桁にて計上する。
5. ※印部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
重鉛の厚さは、
鋼板・形鋼
1 ≤ t < 2 JIS H 8641 HDZT49
2 ≤ t < 3 JIS H 8641 HDZT56
3 ≤ t < 5 JIS H 8641 HDZT63
5 ≤ t < 6 JIS H 8641 HDZT70
6 ≤ t JIS H 8641 HDZT77
ボルト・ナット類は、JIS H 8641 HDZT49とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊下) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 主桁G2 (その15)		
縮尺	図示	図面番号	175 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

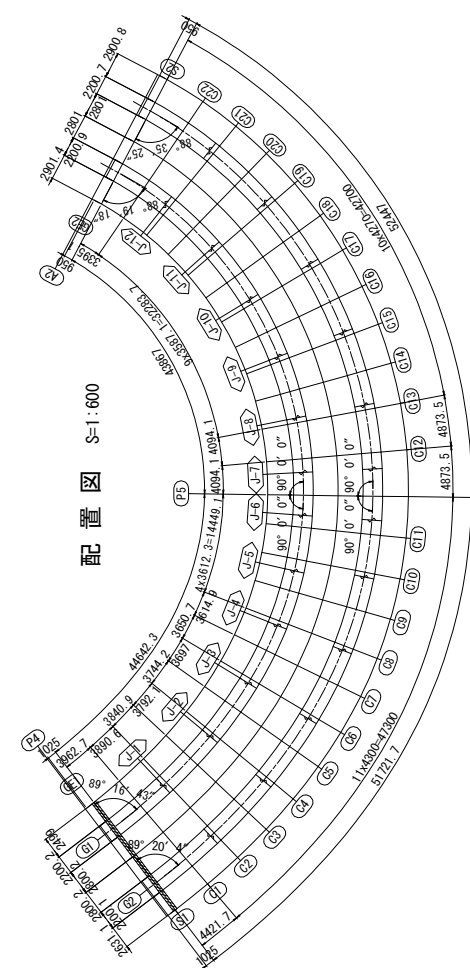
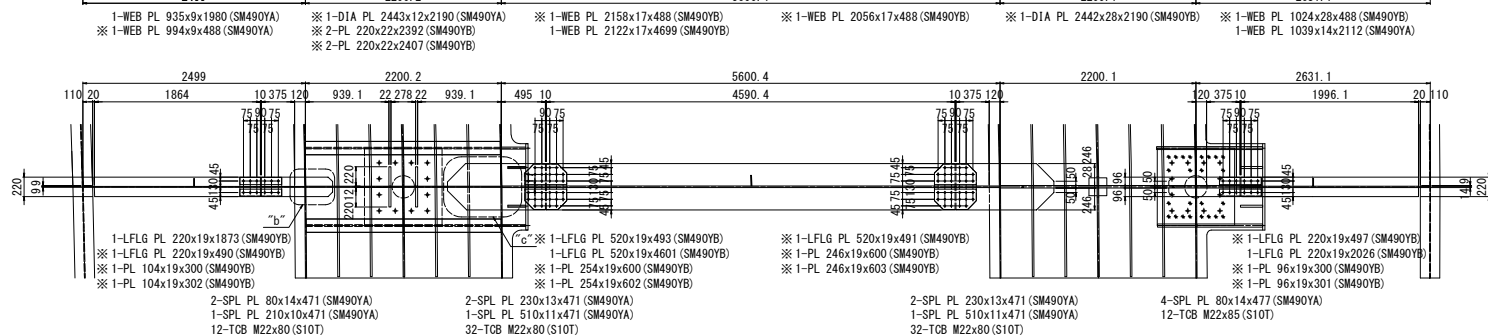
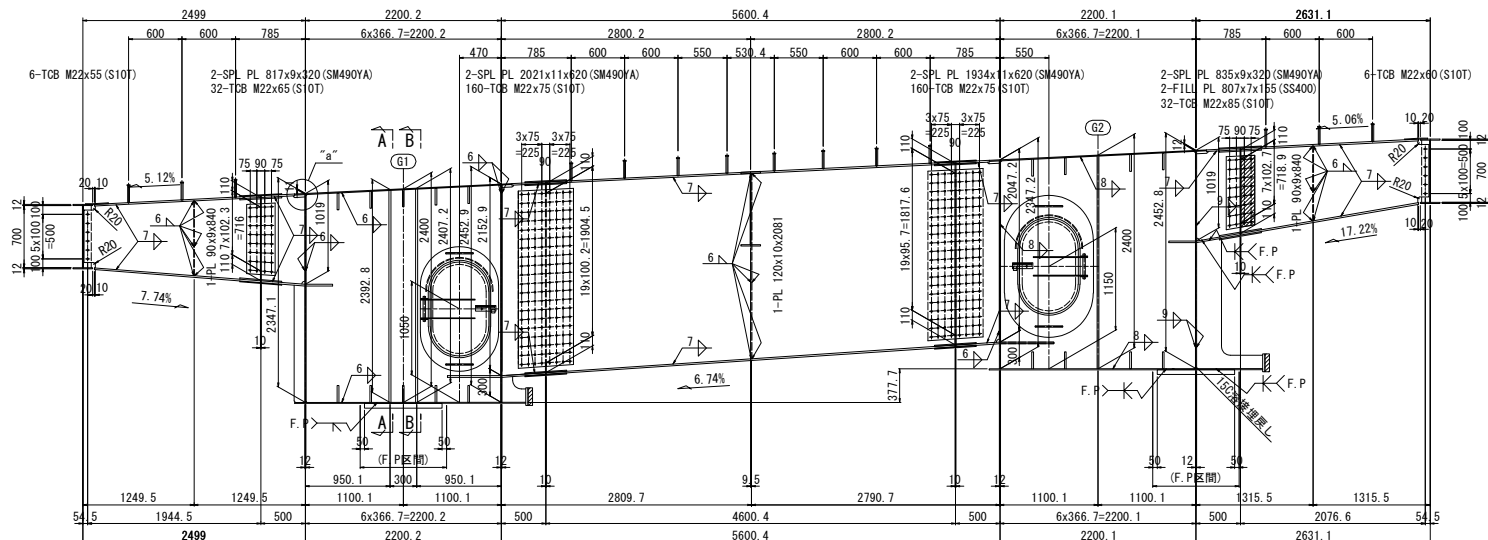
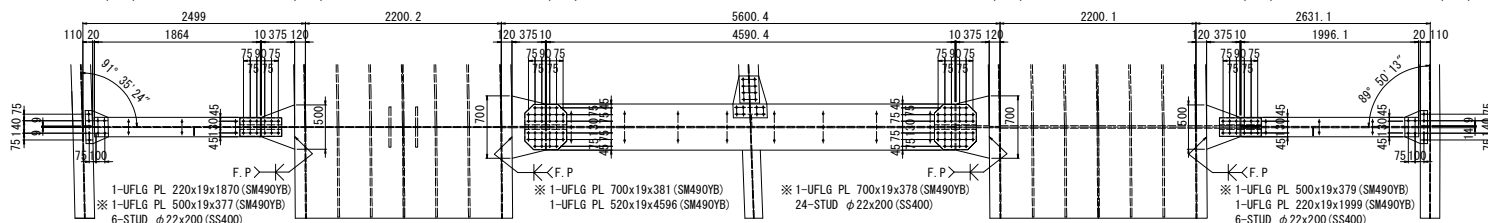
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 端支点横桁(その1)

S=1:60

176 / 256

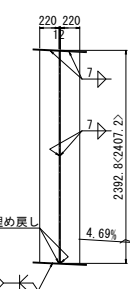
S1

1-SPL PL 370x9x263 (SS400) 1-SPL PL 210x11x471 (SM490YA) 1-SPL PL 510x11x471 (SM490YA) 1-SPL PL 510x11x471 (SM490YA) 1-SPL PL 210x11x471 (SM490YA) 1-SPL PL 370x9x256 (SS400)
 4-TCB M22x65 (S10T) 2-SPL PL 80x15x471 (SM490YA) 2-SPL PL 230x13x471 (SM490YA) 2-SPL PL 230x13x471 (SM490YA) 2-SPL PL 80x15x471 (SM490YA) 4-TCB M22x65 (S10T)
 4-TCB M22x60 (S10T) 12-TCB M22x80 (S10T) 32-TCB M22x80 (S10T) 32-TCB M22x80 (S10T) 12-TCB M22x80 (S10T) 4-TCB M22x60 (S10T)



A - A<B - B>

G1



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. ※印付きの部材は主桁にて計上する。
6. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

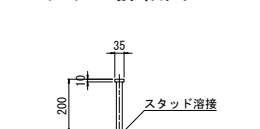
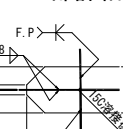
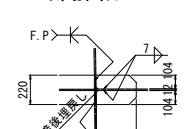
“a”部詳細 S=1:20

“b”部詳細 S=1:40

“c”部詳細

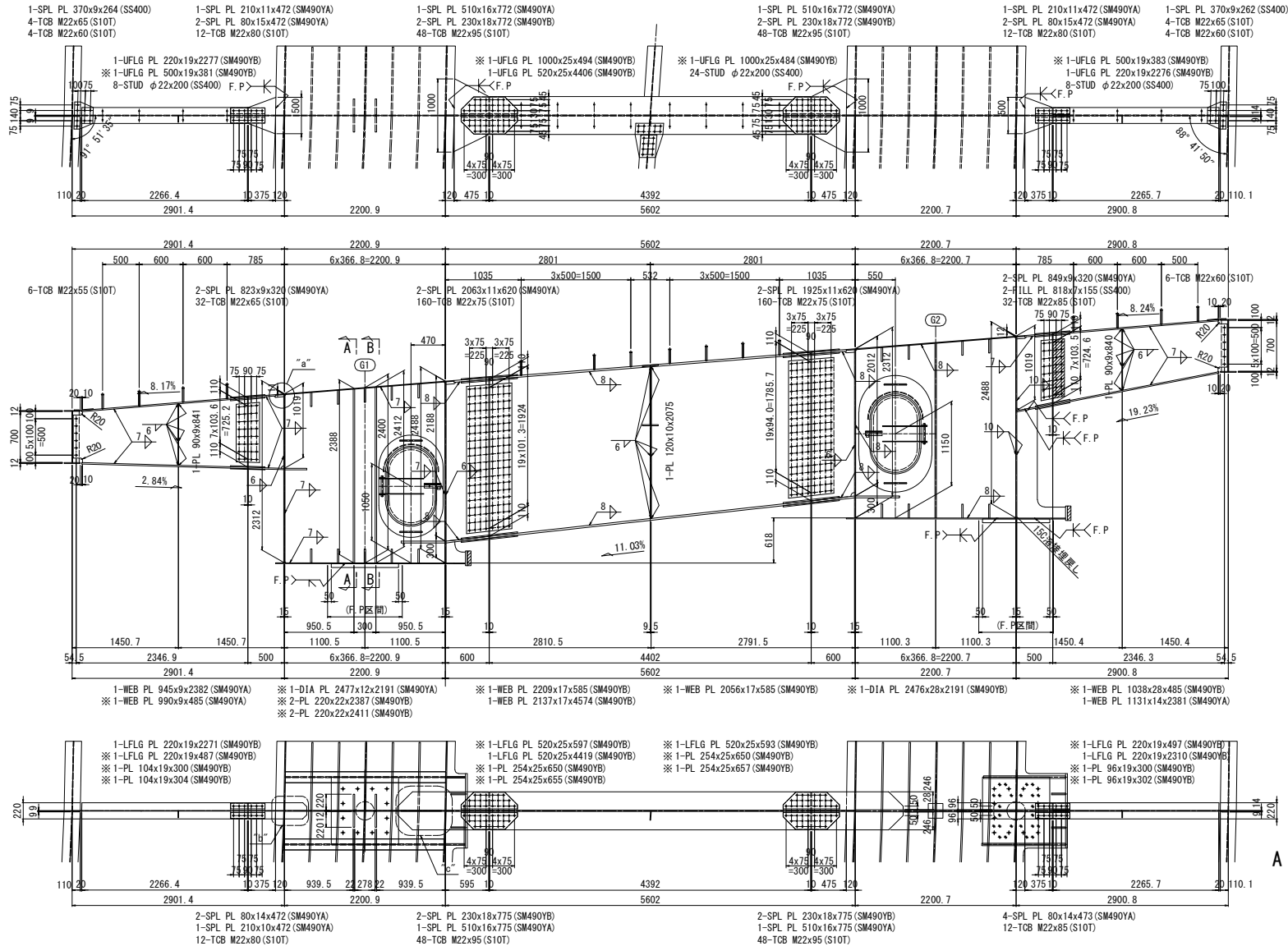
スタッド配置図 S=1:20

スタッド詳細図 S=1:20

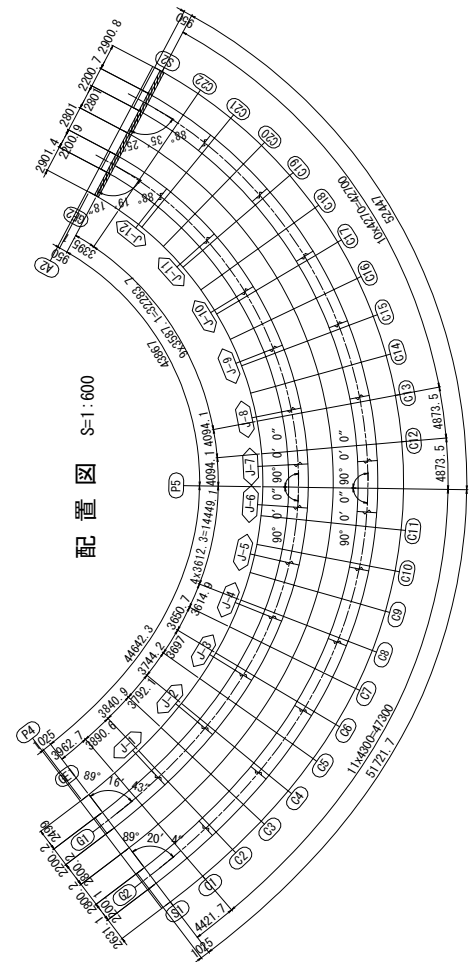
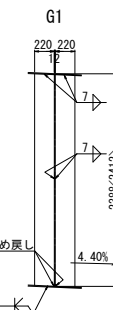


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 端支点横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	176 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

S2



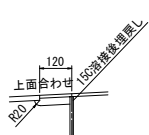
配置図 $S=1:600$


$$A - A \langle B - B \rangle$$


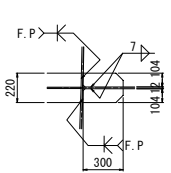
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ＊印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5. ＊印付きの部材は主桁に計上する。
6. 「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

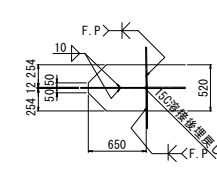
"a"部詳細 S=1:20



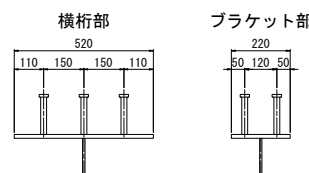
“b”部詳細 S=1:40



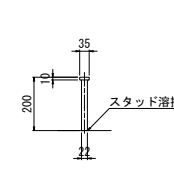
"c"部詳細



スタッド配置図 S=1:20



スタッド詳細図 S=1:20



長野自動車道			
安曇野インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野インターチェンジランプ橋 P4-A2 縮点横断(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	177 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

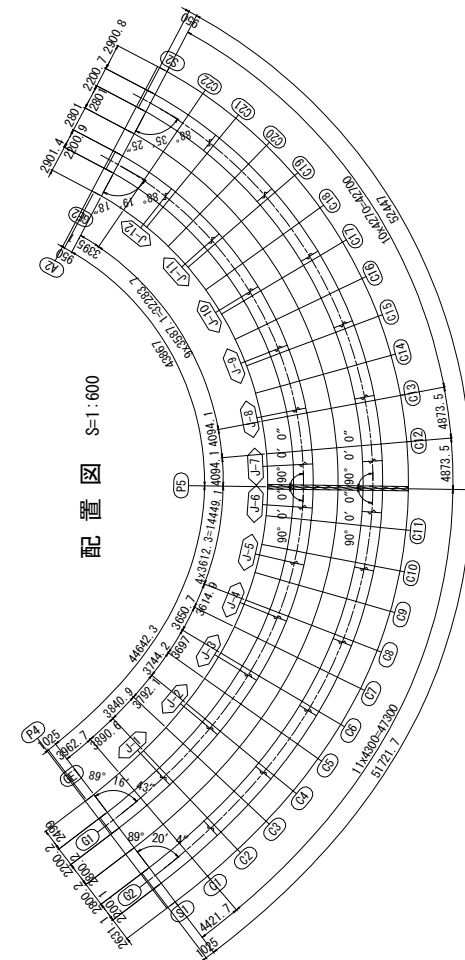
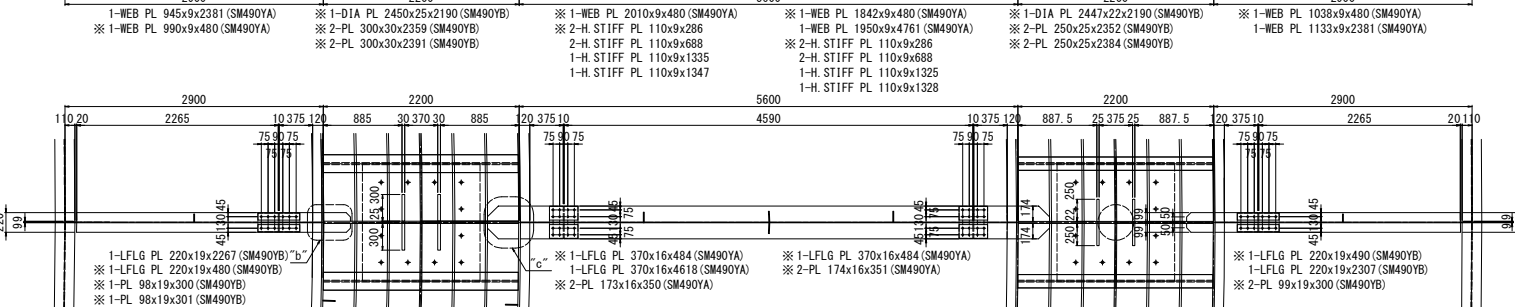
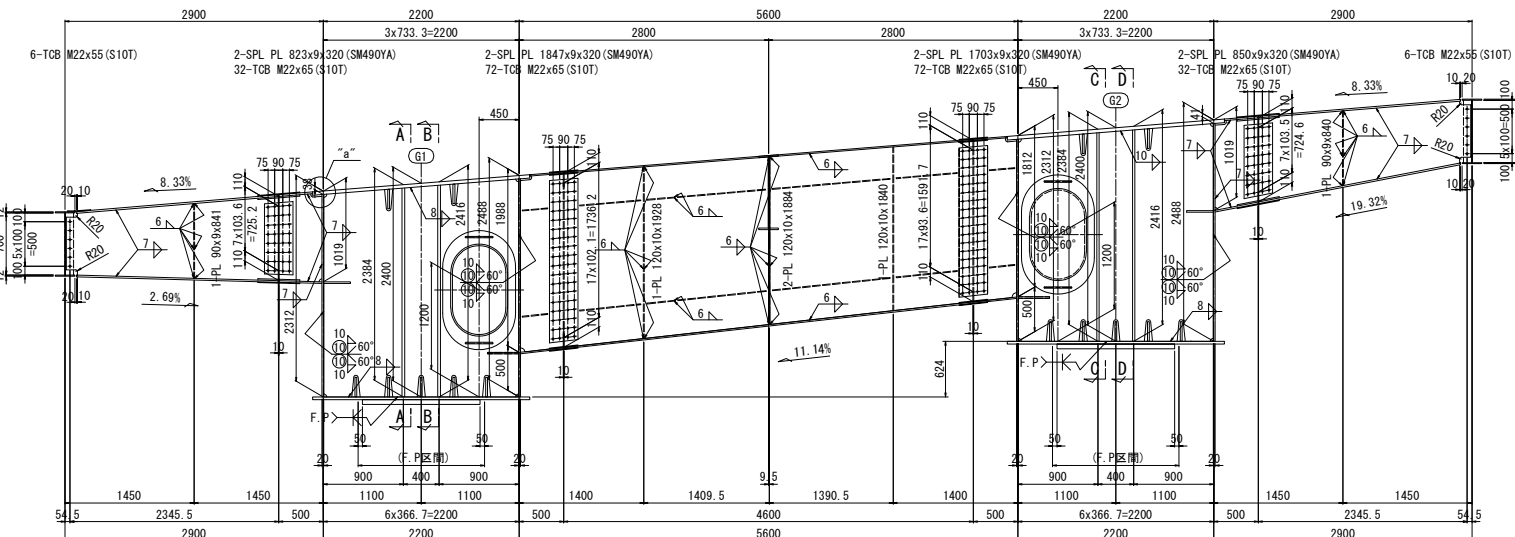
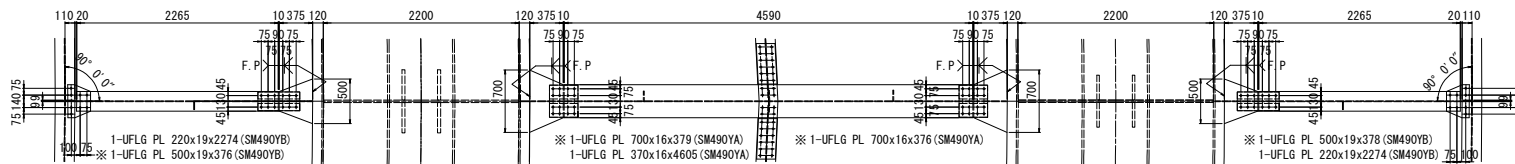
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間支点横析

S=1:60

178 / 256

P5

1-SPL PL 370x9x257 (SM490YA) 1-SPL PL 210x11x472 (SM490YA) 1-SPL PL 360x9x321 (SM490YA) 1-SPL PL 360x9x321 (SM490YA) 1-SPL PL 210x11x472 (SM490YA) 1-SPL PL 370x9x256 (SM490YA)
 4-TCB M22x65 (S10T) 2-SPL PL 80x15x472 (SM490YA) 2-SPL PL 155x11x321 (SM490YA) 2-SPL PL 155x11x321 (SM490YA) 2-SPL PL 80x15x472 (SM490YA) 4-TCB M22x65 (S10T)
 4-TCB M22x60 (S10T) 12-TCB M22x80 (S10T) 16-TCB M22x75 (S10T) 16-TCB M22x75 (S10T) 12-TCB M22x80 (S10T) 4-TCB M22x60 (S10T)

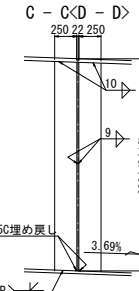
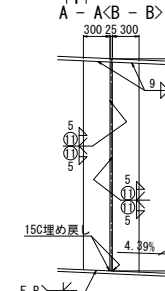
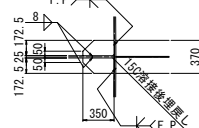
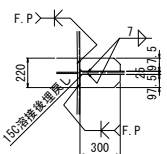


配置図 S=1:600

"a"部詳細 S=1:20

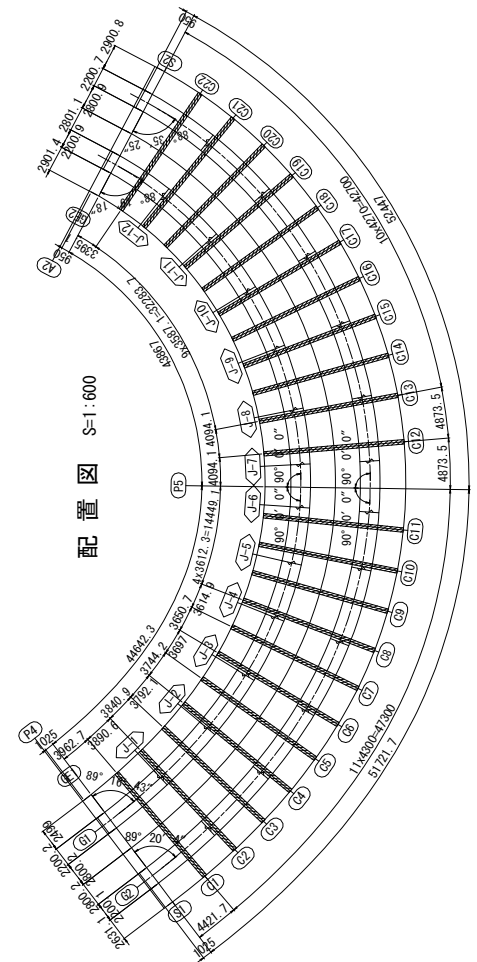
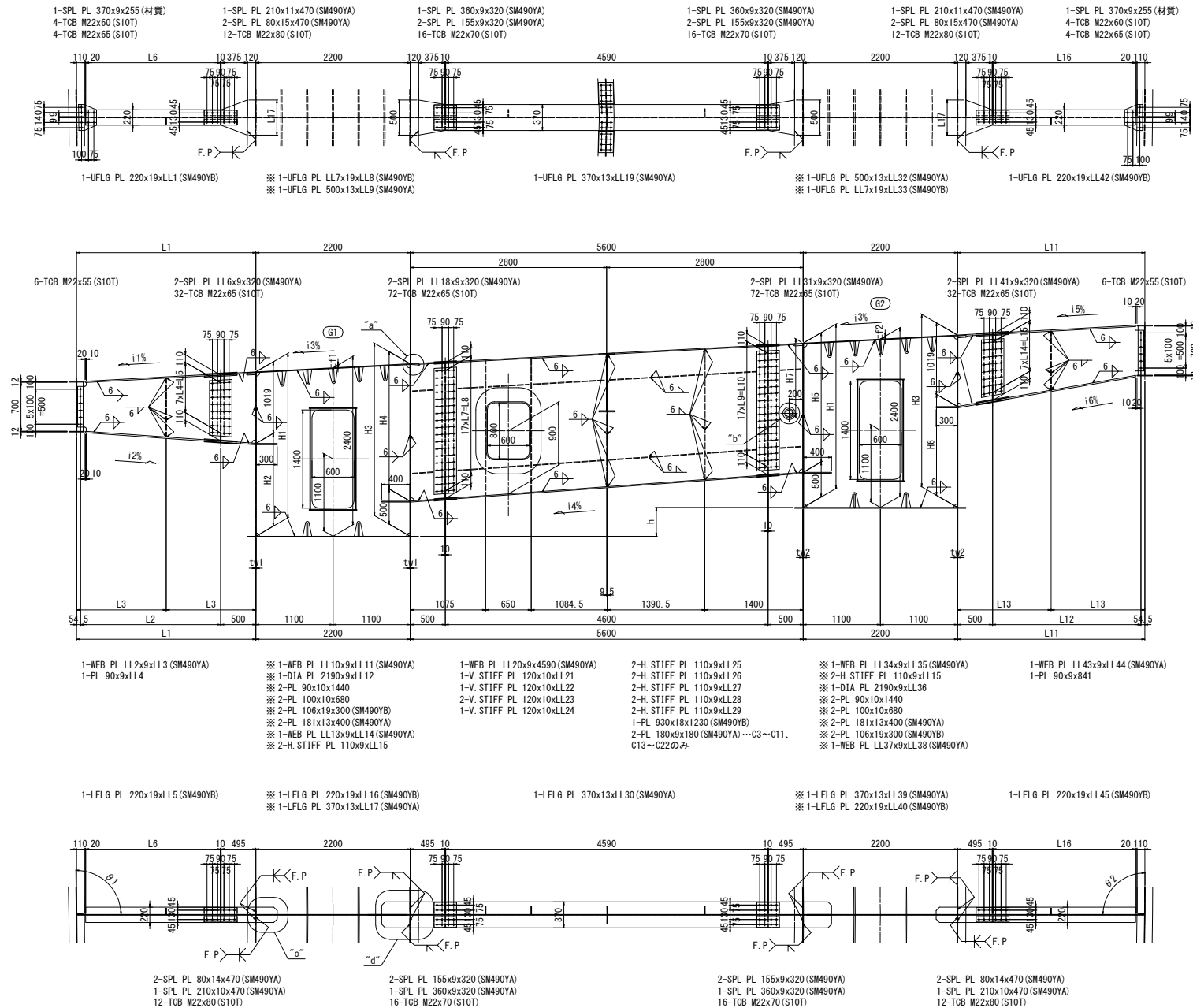
"b"部詳細 S=1:40

"c"部詳細



- 注記
 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 5. ※印付きの部材は主桁にて計上する。
 6. 「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間支点横析
縮尺	図示
図面番号	178 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

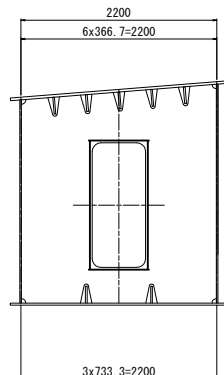


- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 5. ※印付きの部材は主桁にて計上する。
 6. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

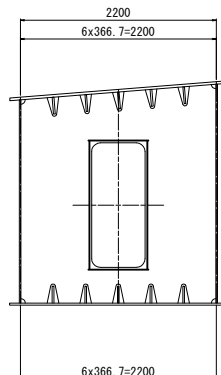
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	179 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

縦リブ貫通位置

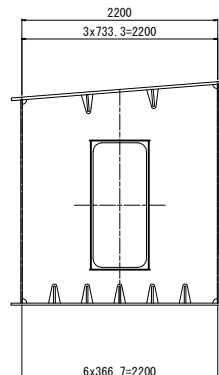
C1~C6、C17~C22



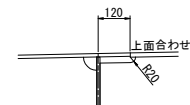
C7~C9、C14~C16



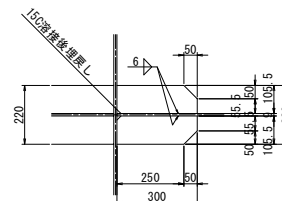
C10~C13



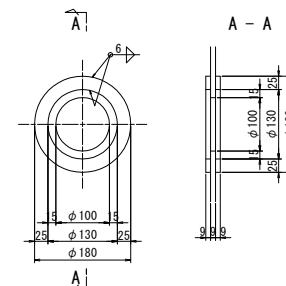
“a”部詳細 S=1:20



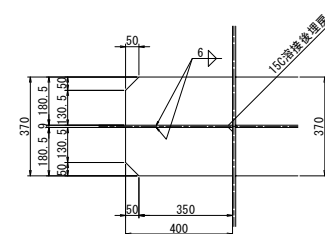
“c”部詳細 S=1:20



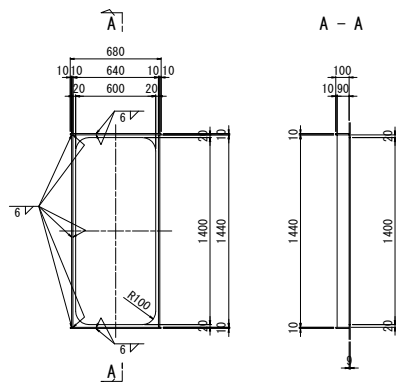
“b”部詳細 S=1:10



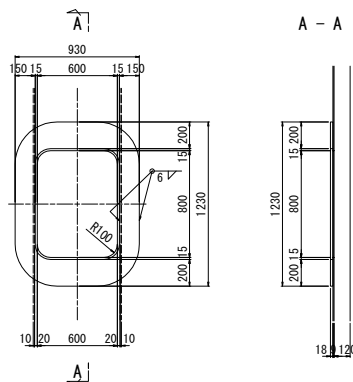
“d”部詳細 S=1:20



ダイアフラム開口詳細 S=1:40



横桁開口詳細 S=1:40

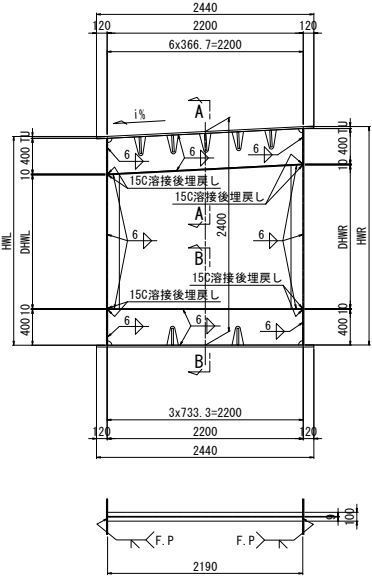


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーップは全て50Rとする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中間横桁 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	180 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

R1-1～R1-18

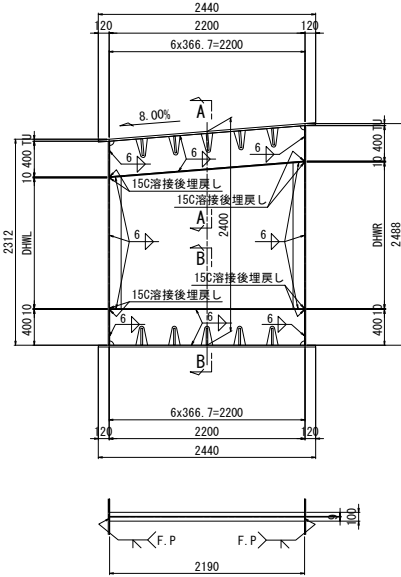
製作数:n



1-PL 399x9xLWU
1-PL 100x10xLFU
1-PL 400x9x2190
1-PL 100x10x2190

R2-1～R2-6

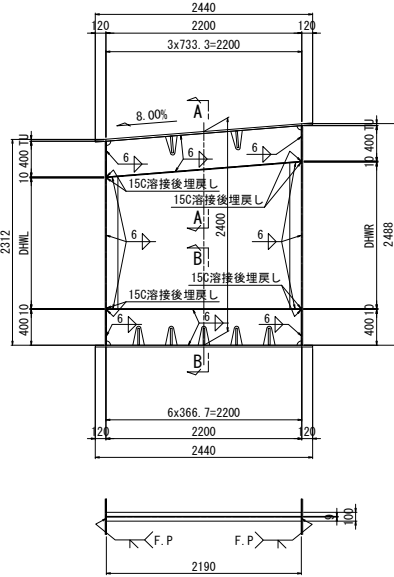
製作数:n



1-PL 399x9x2229
1-PL 100x10x2197
1-PL 400x9x2190
1-PL 100x10x2190

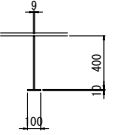
R3-1～R3-9

製作数:n

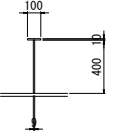


1-PL 399x9x2229
1-PL 100x10x2197
1-PL 400x9x2190
1-PL 100x10x2190

A - A S=1:40



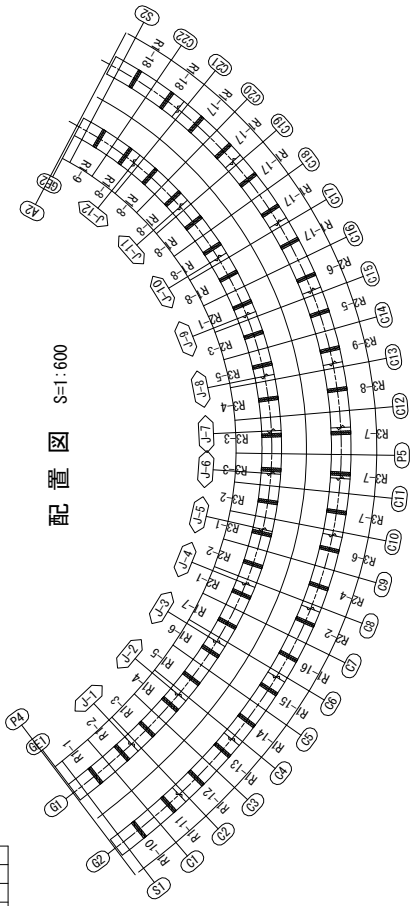
B - B S=1:40



	R1-1	R1-2	R1-3	R1-4	R1-5	R1-6	R1-7	R1-8	R1-9	R1-10	R1-11	R1-12	R1-13	R1-14	R1-15	R1-16	R1-17	R1-18
HWL	2345	2340	2335	2330	2325	2321	2316	2312	2313	2344	2340	2335	2330	2325	2321	2316	2312	2312
DHWL	1514	1509	1504	1499	1494	1490	1485	1481	1482	1512	1508	1500	1495	1490	1486	1481	1476	1480
HWR	2455	2460	2465	2470	2475	2479	2484	2488	2487	2456	2460	2465	2470	2475	2479	2484	2488	2488
DHWR	1624	1629	1634	1639	1644	1648	1653	1657	1656	1624	1628	1630	1635	1640	1644	1649	1652	1656
LWU	2213	2215	2217	2220	2222	2224	2227	2229	2229	2213	2215	2217	2220	2222	2224	2227	2229	2229
LFU	2193	2193	2194	2194	2195	2196	2196	2197	2197	2193	2193	2194	2194	2195	2196	2196	2197	2197
TU	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	15	15	15	15	15	16	12
i	5.06	5.48	5.92	6.35	6.78	7.21	7.64	8.00	7.93	5.05	5.48	5.92	6.35	6.78	7.21	7.64	8.00	8.00
n	1	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	5	2

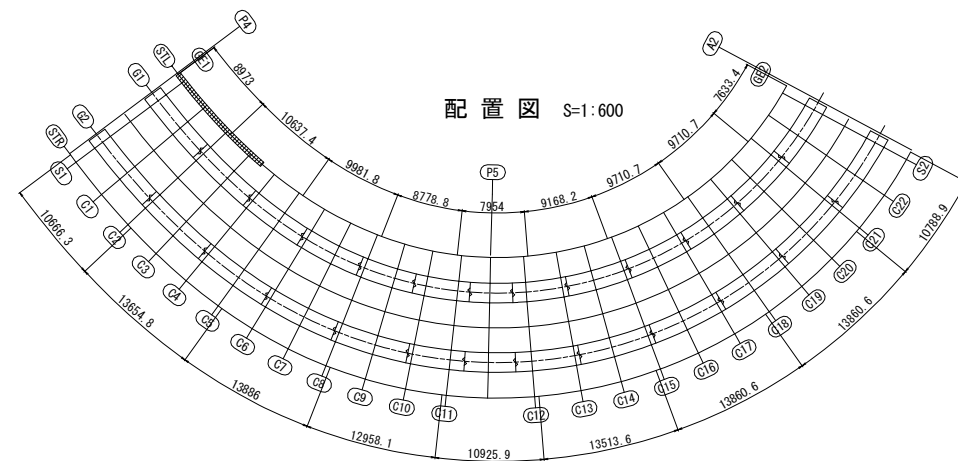
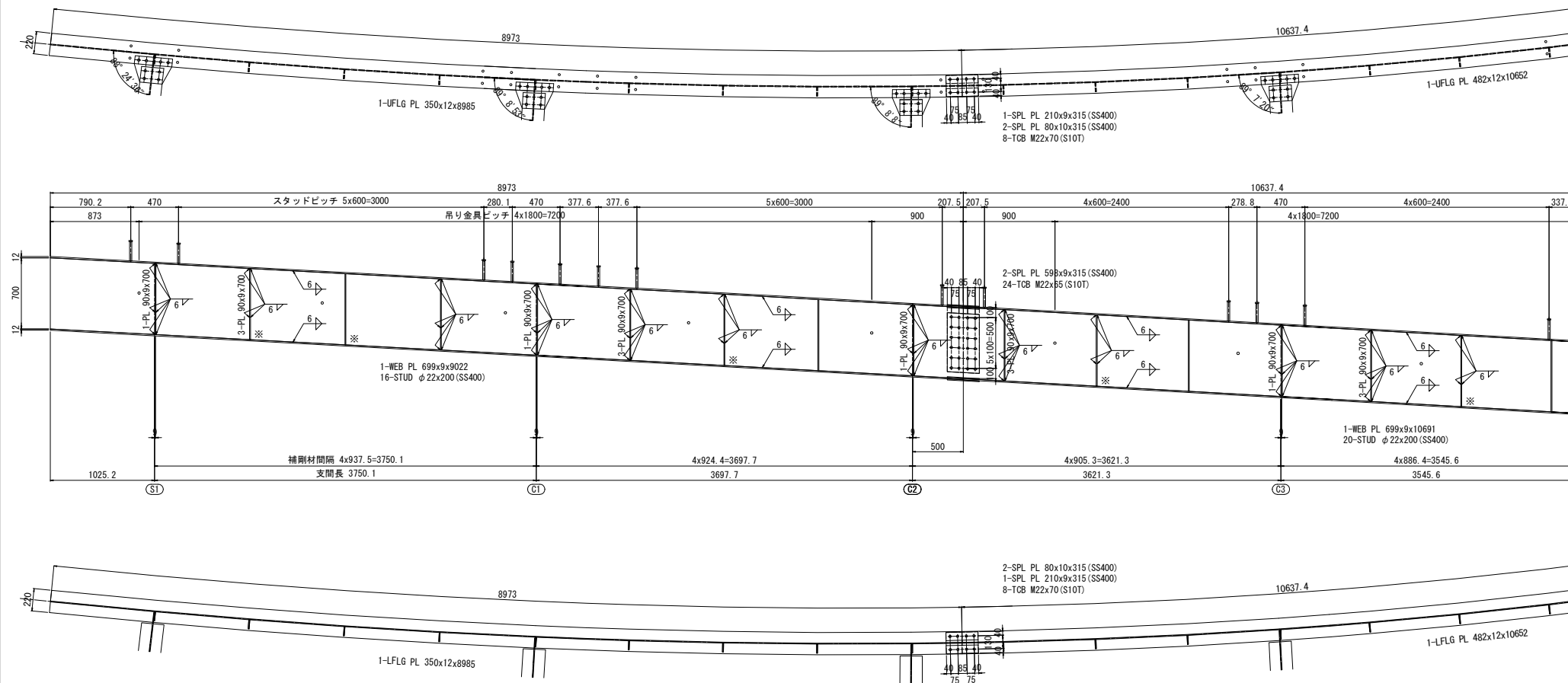
	R2-1	R2-2	R2-3	R2-4	R2-5	R2-6
DHWL	1481	1477	1479	1471	1473	1476
DHWR	1657	1653	1655	1647	1649	1652
TU	11	15	13	21	19	16
n	2	2	1	1	1	1

	R3-1	R3-2	R3-3	R3-4	R3-5	R3-6	R3-7	R3-8	R3-9
DHWL	1477	1463	1454	1466	1479	1471	1451	1455	1473
DHWR	1653	1639	1630	1642	1655	1647	1627	1631	1649
TU	15	29	38	26	13	21	41	37	19
n	1	1	2	1	1	1	3	1	1



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーラップは全て50Rとする。
 3. ※印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
 4. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
 5. 材料は、主桁にて計上する。
 6. 「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 横リブ		
縮尺	図示	図面番号	182 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		



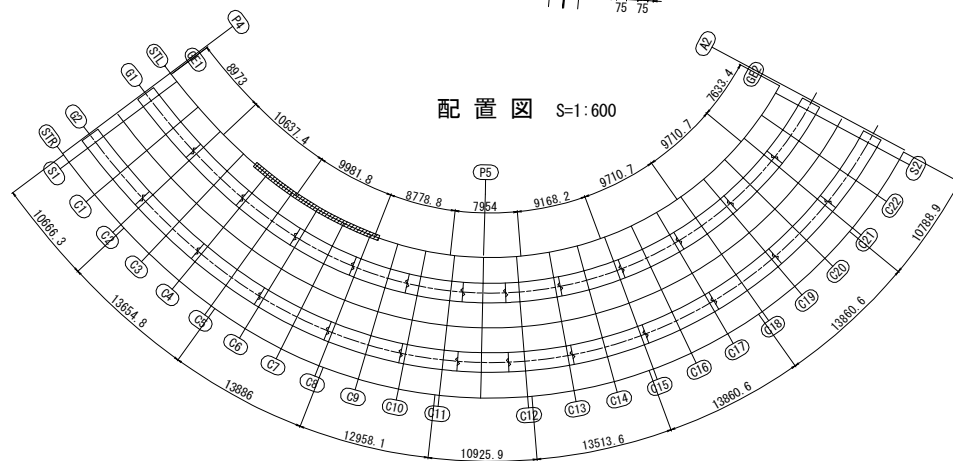
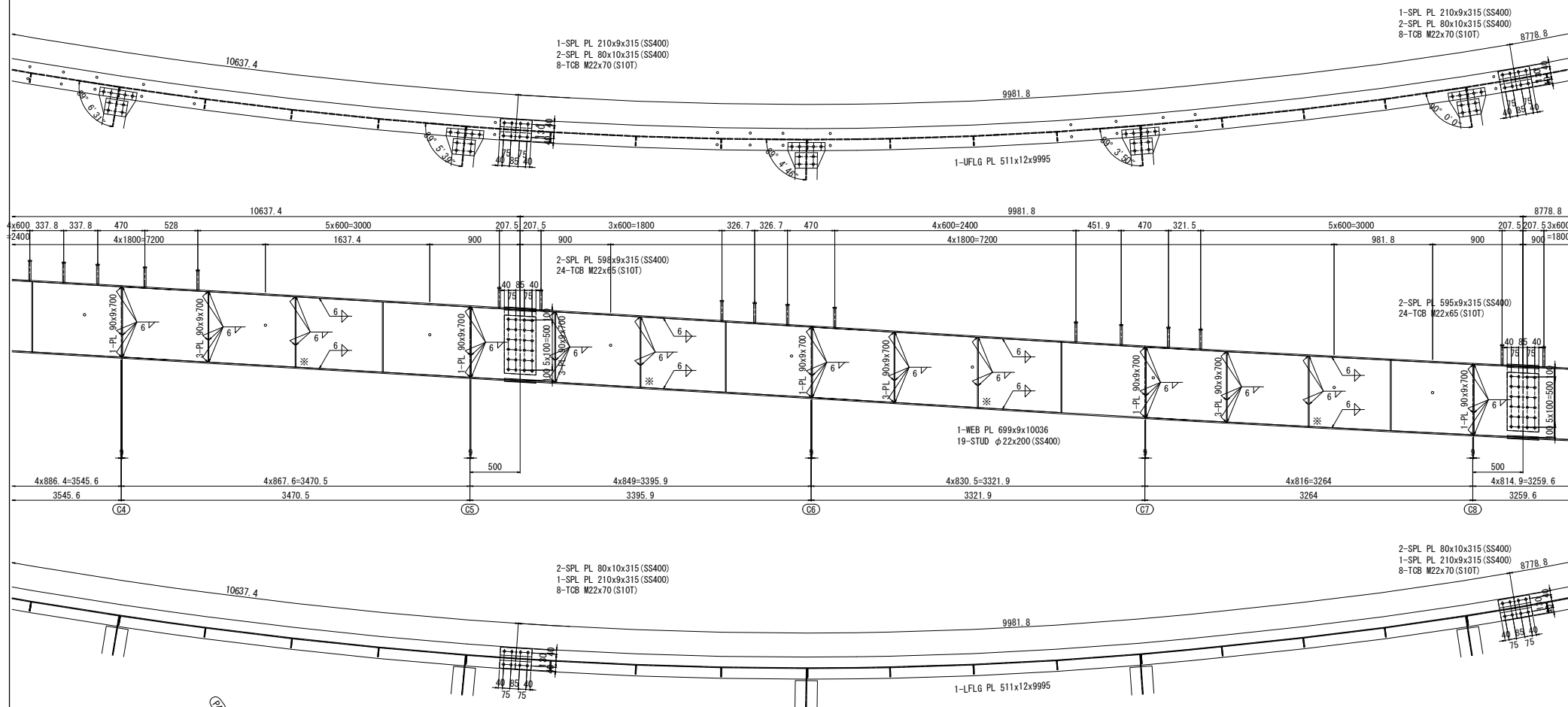
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	183 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その2)

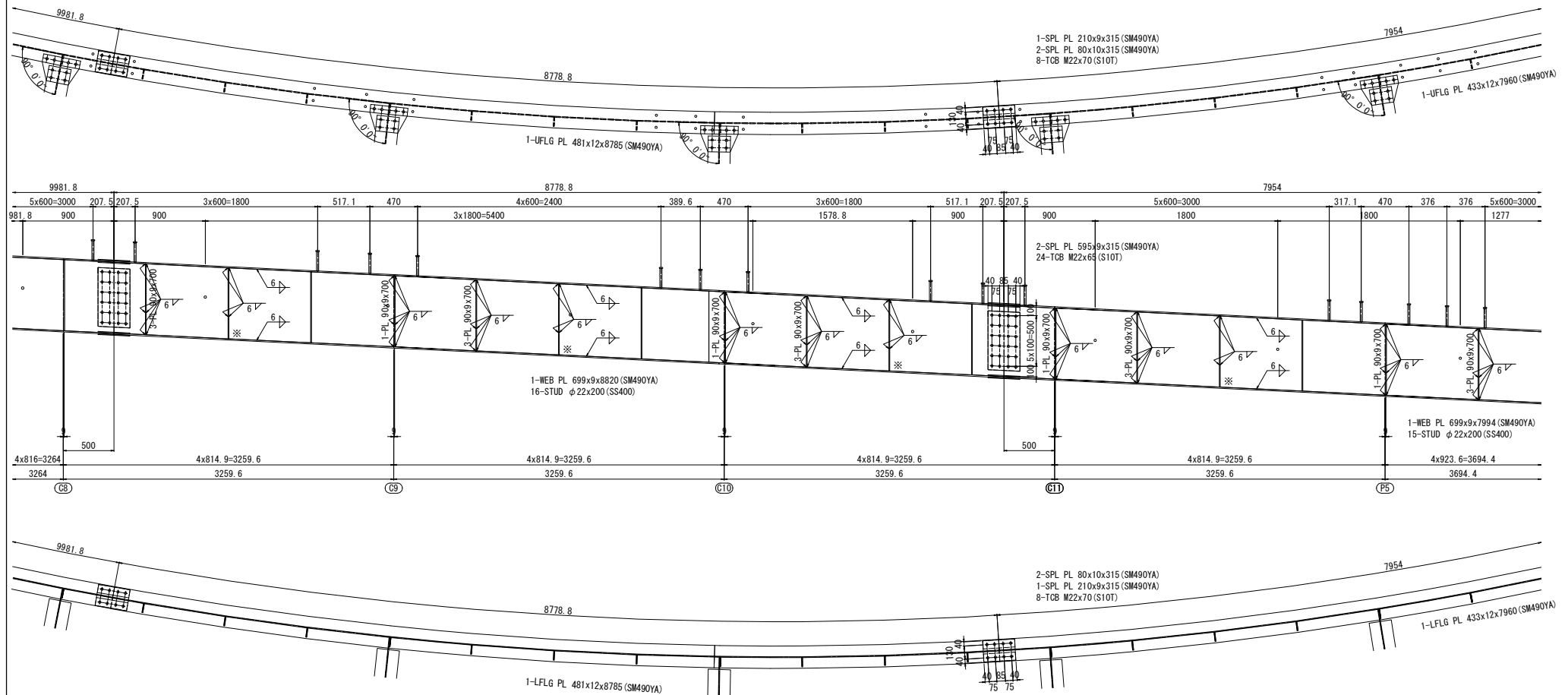
S=1:40

184 / 256

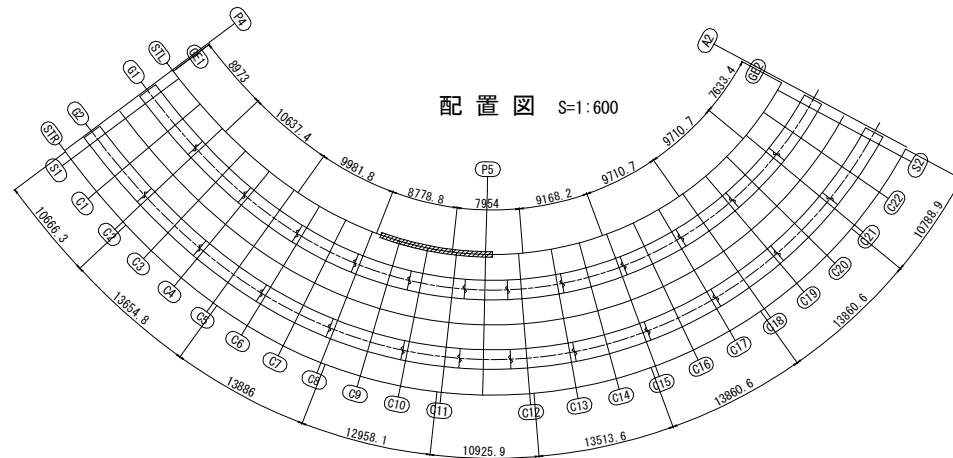


- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	184 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		



配置図 S=1:600



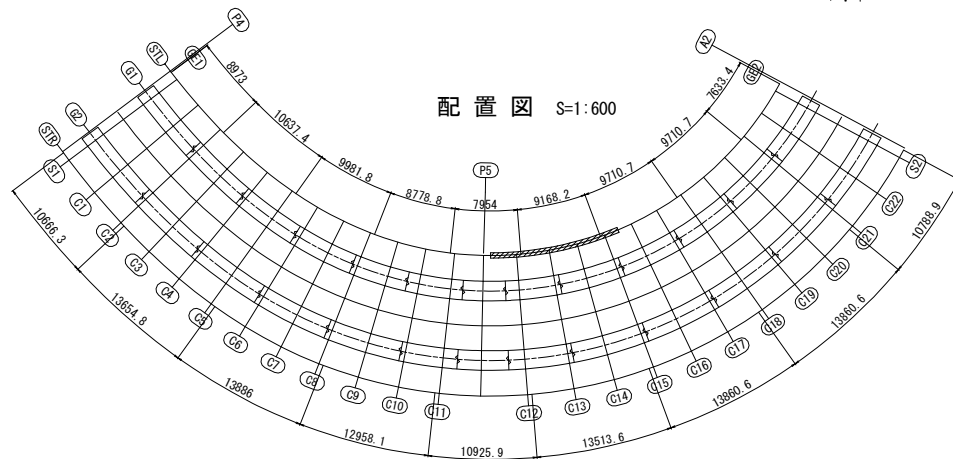
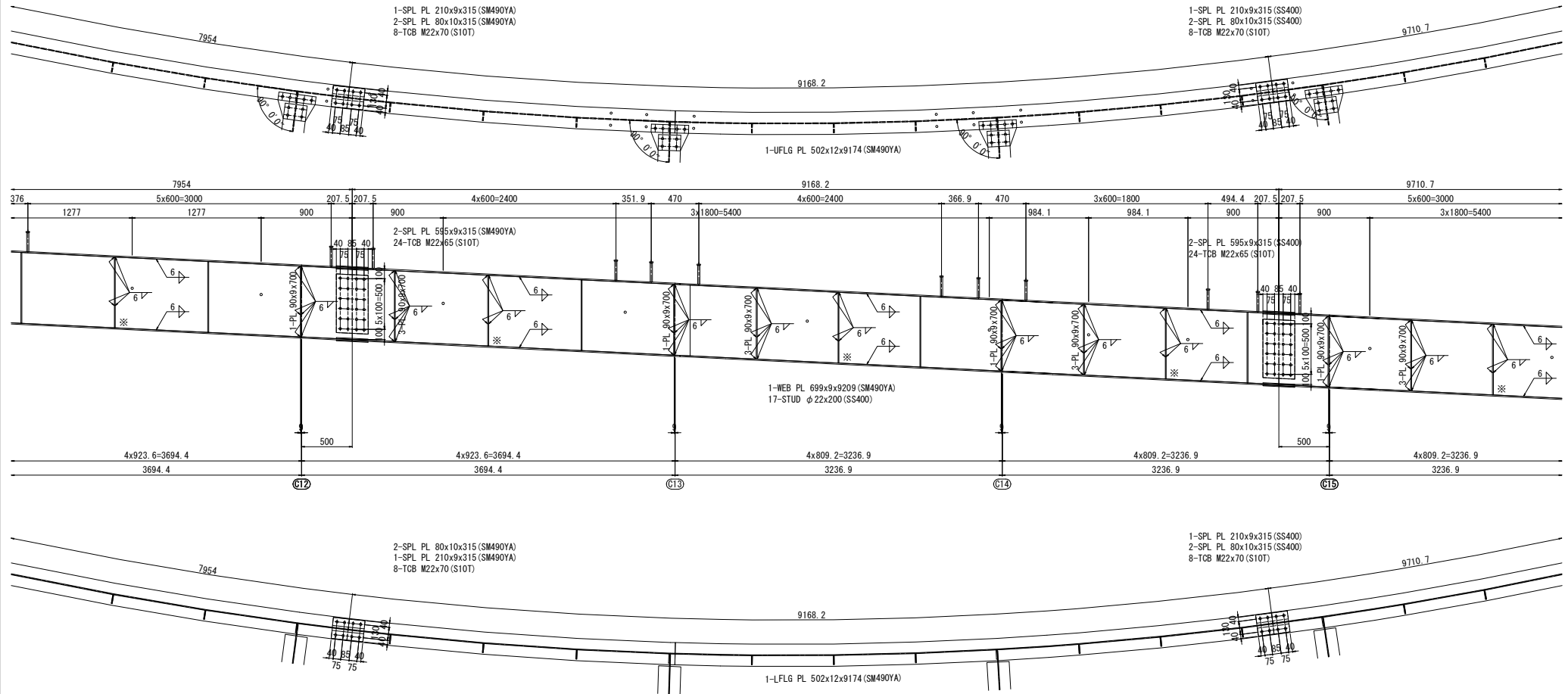
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは全て50Rとする。
 3. ※印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	185 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社		
事務所名	長 野 工 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その4)

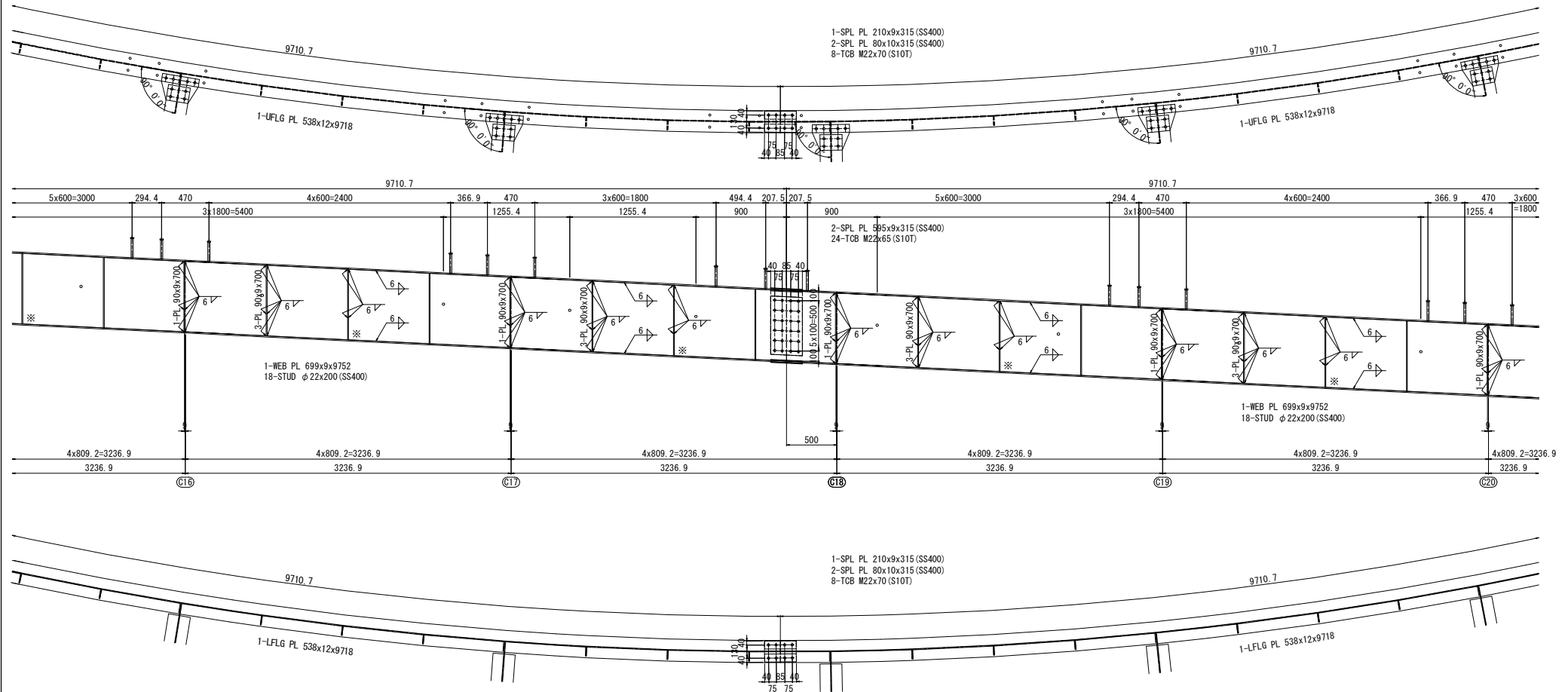
S=1:40

186 / 256

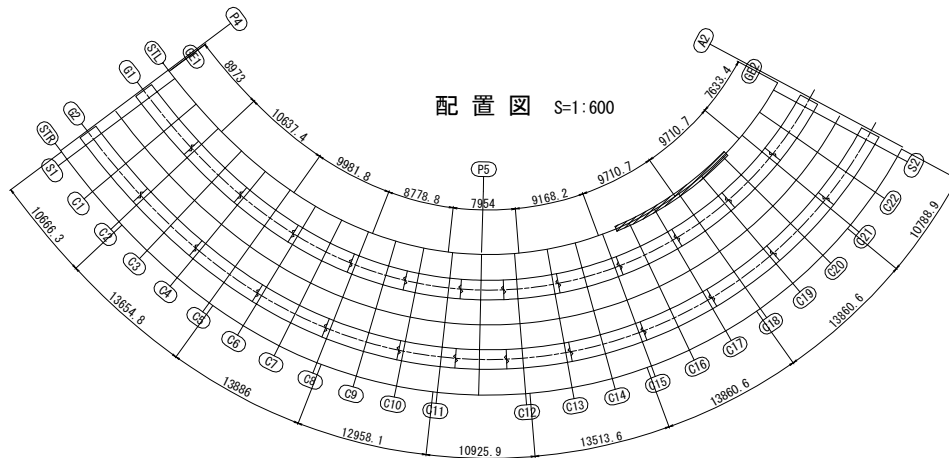


- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	186 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		



配置図 S=1:600



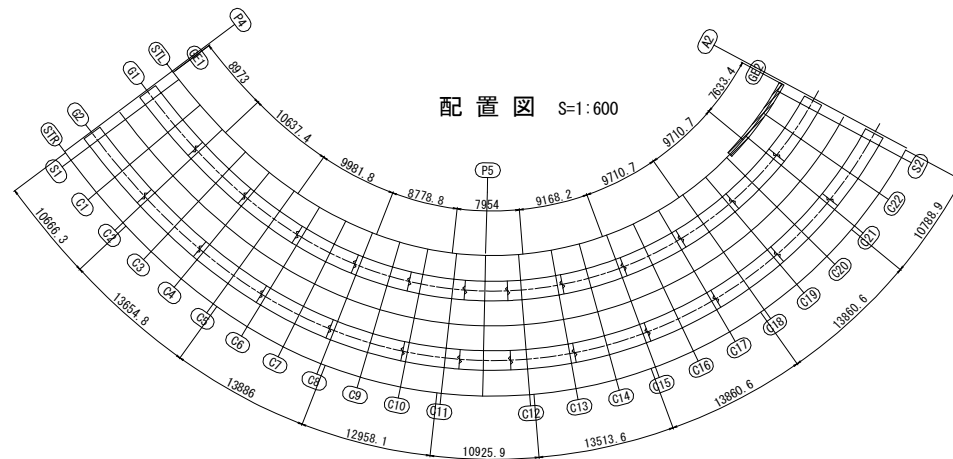
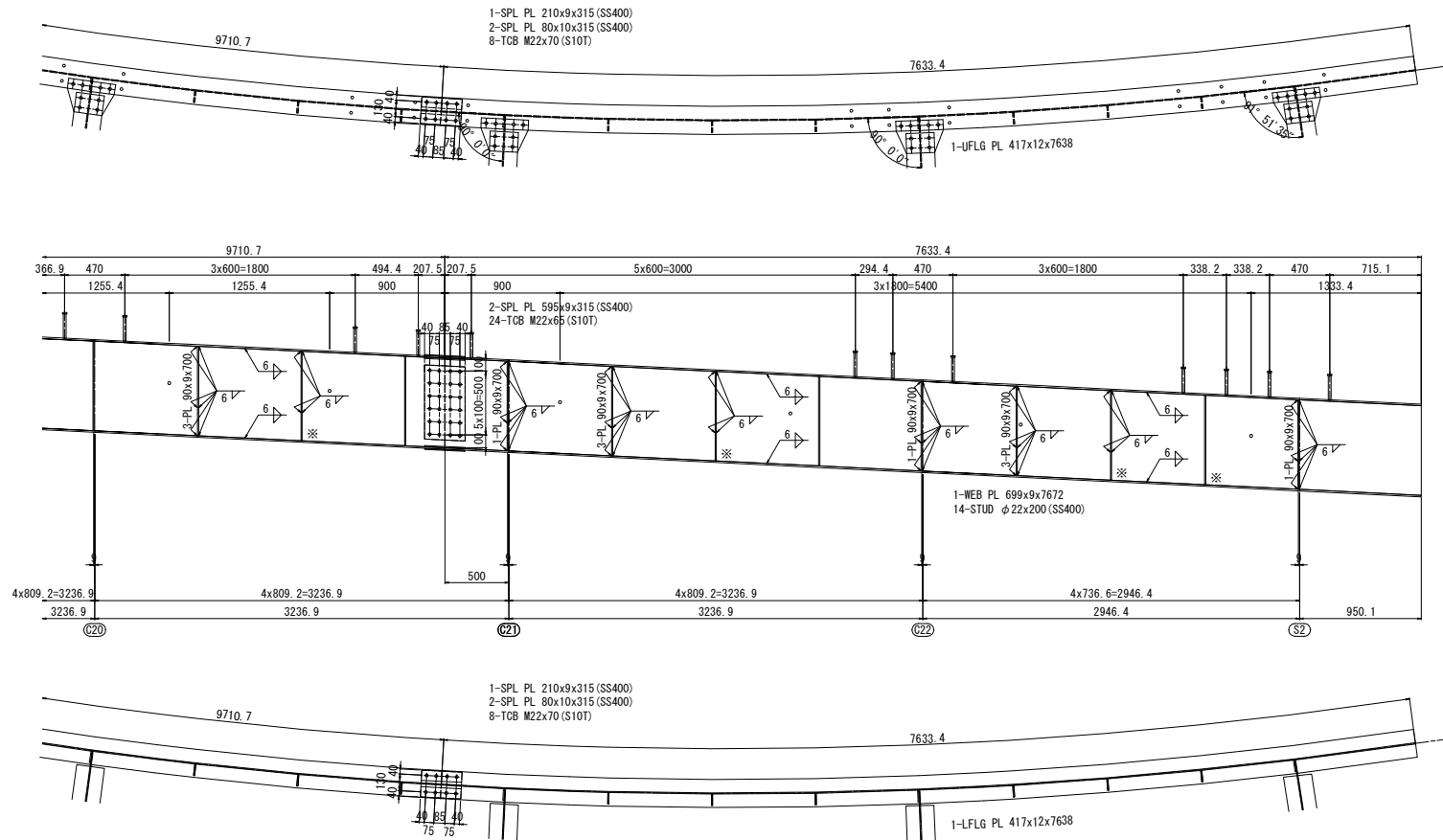
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは、全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上屋工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	187 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その6)

S=1:40

188 / 256



配置図 S=1:600

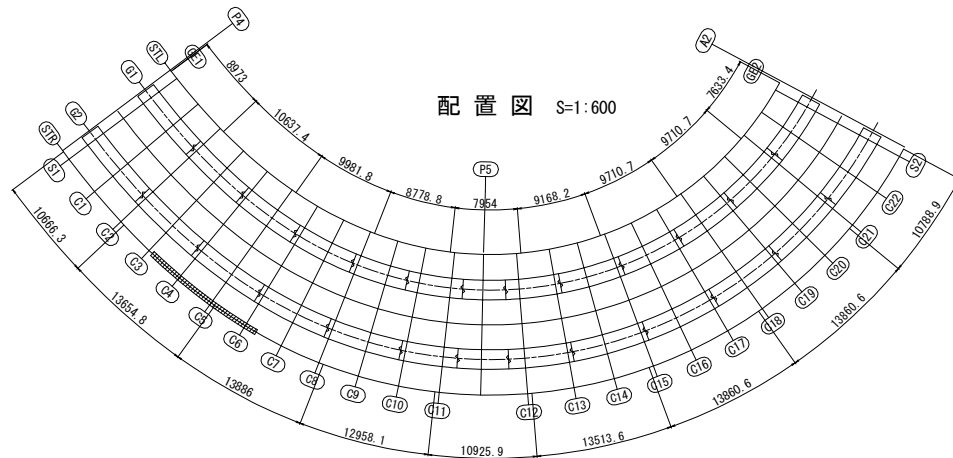
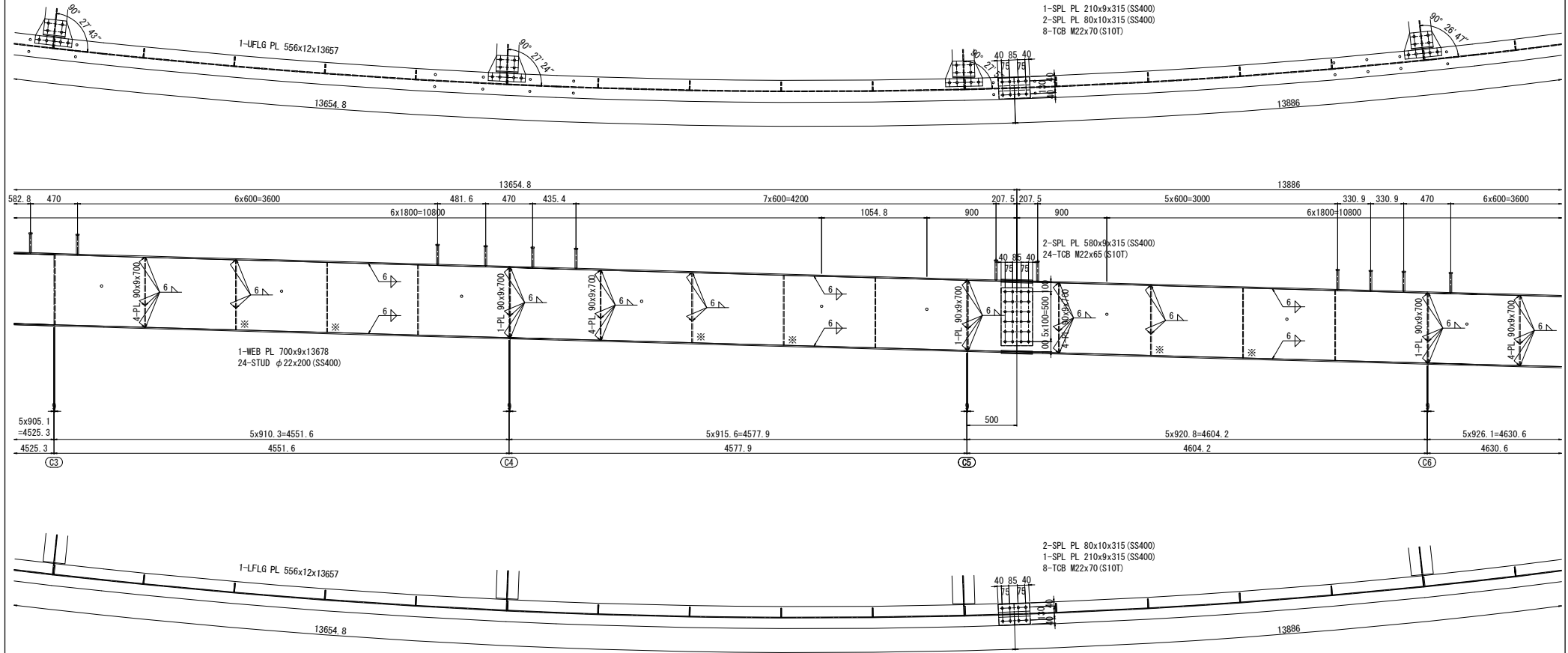
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	188 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その8)

S=1:40

190 / 256



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは、全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上り工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁 (その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	190 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 務 所		

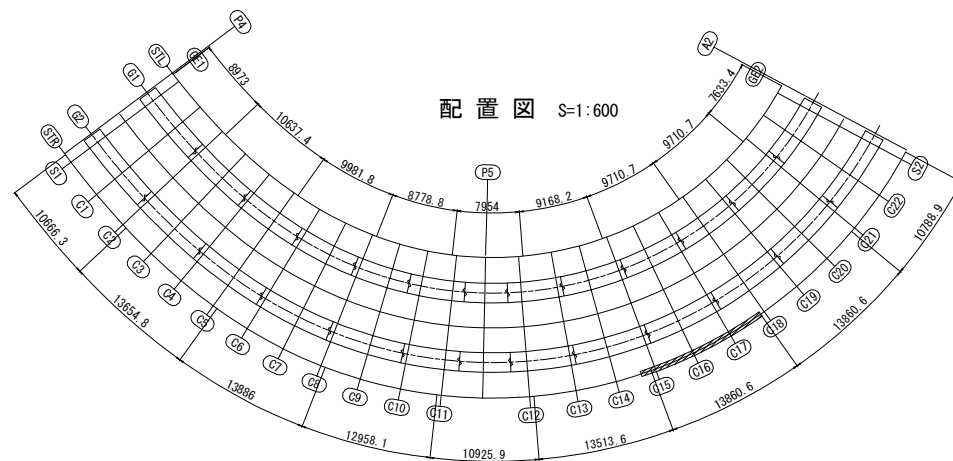
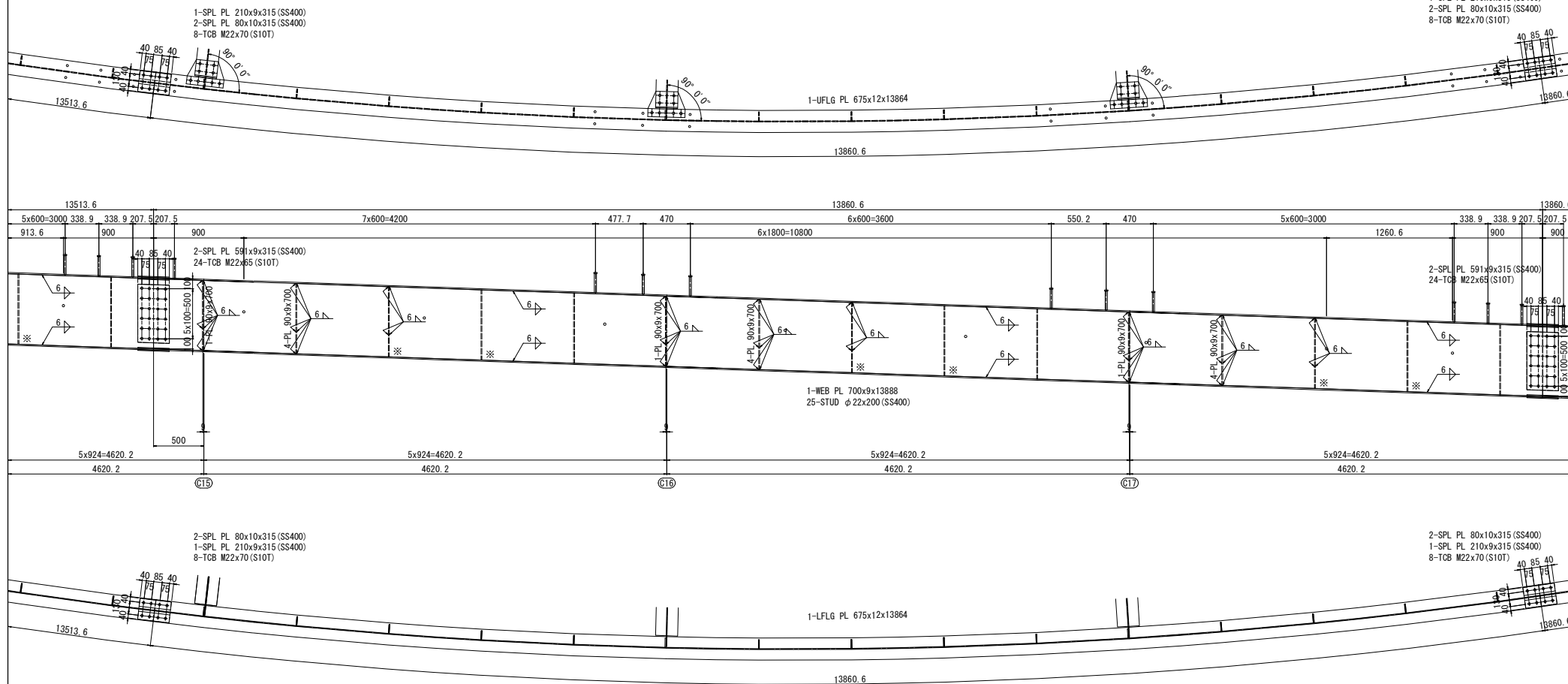
長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-2 側縦桁（その9）
縮 尺	図 示 図面番号 191 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その12)

S=1:40

194 / 256

1-SPL PL 210x9x315 (SS400)
2-SPL PL 80x10x315 (SS400)
8-TCB M22x70 (S10T)



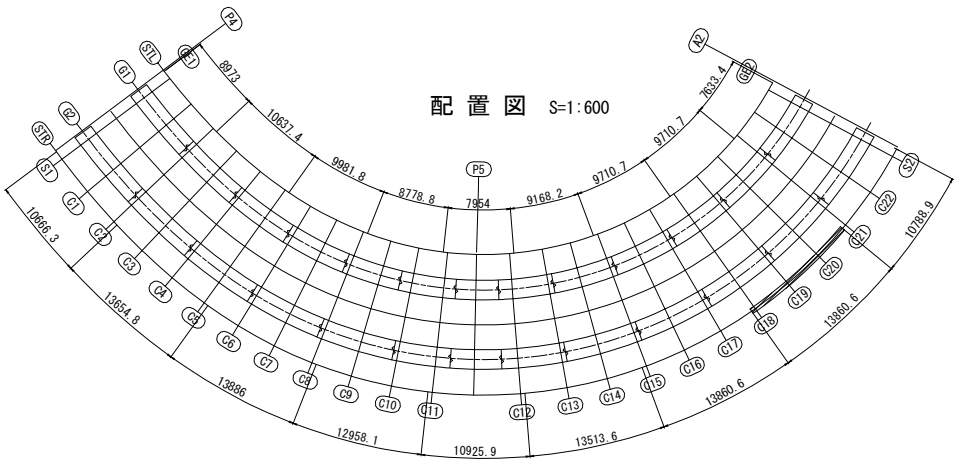
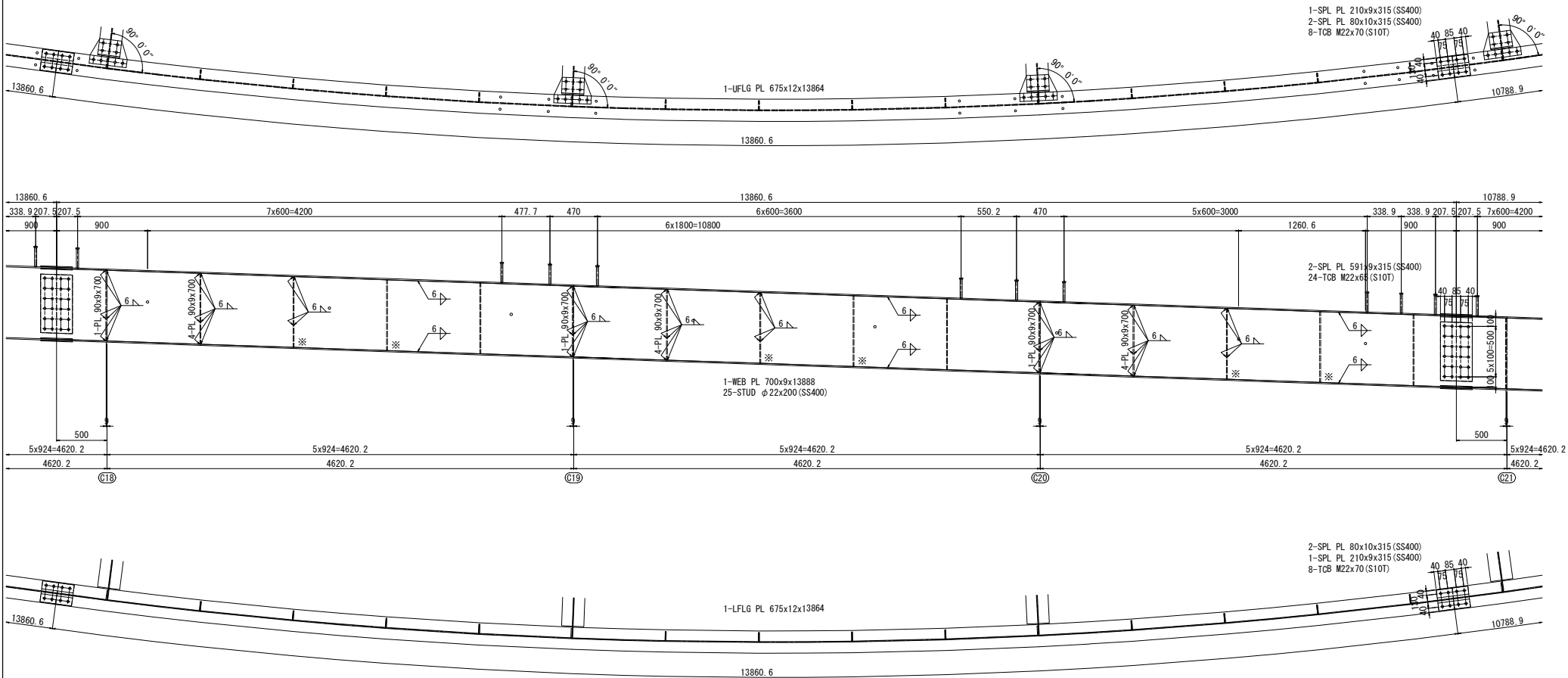
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その12)		
縮 尺	図 示	図面番号	194 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その13)

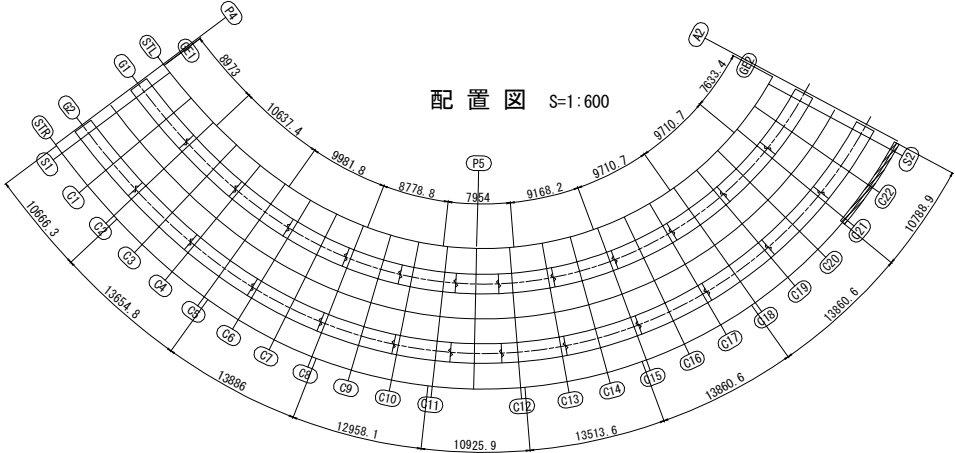
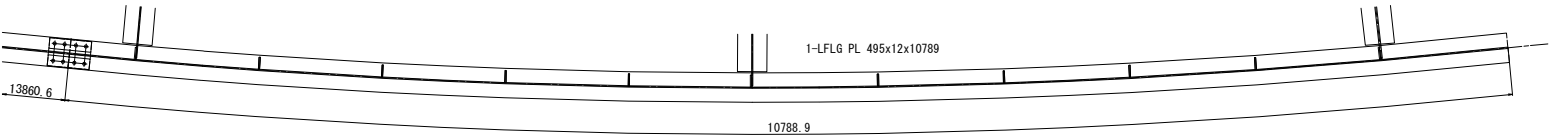
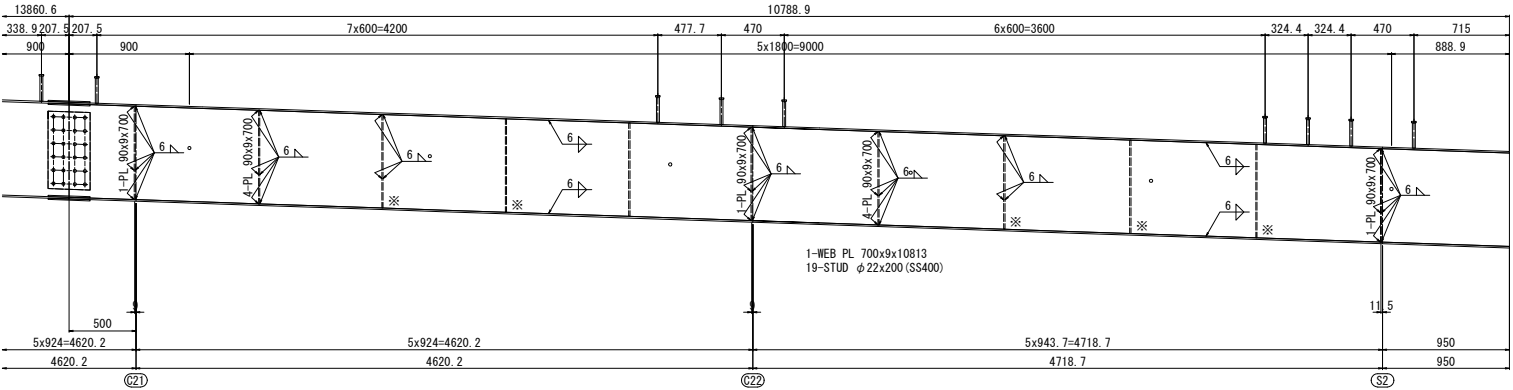
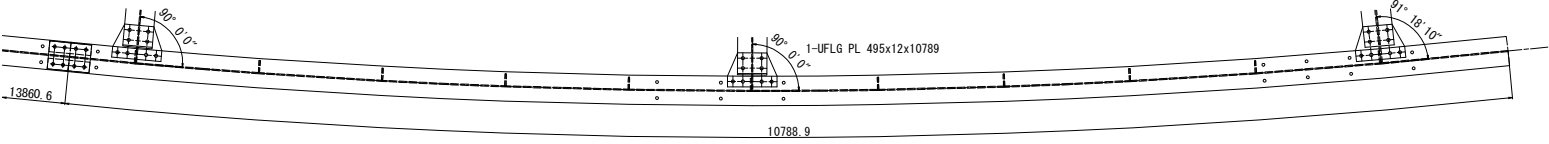
S=1:40

195 / 256



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは、全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。

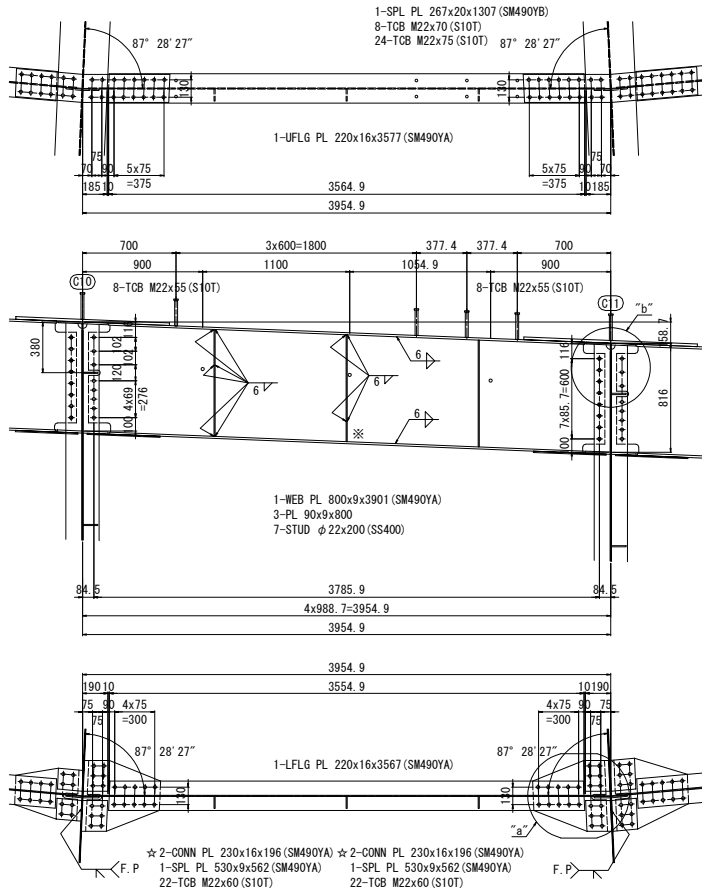
長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	195 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		



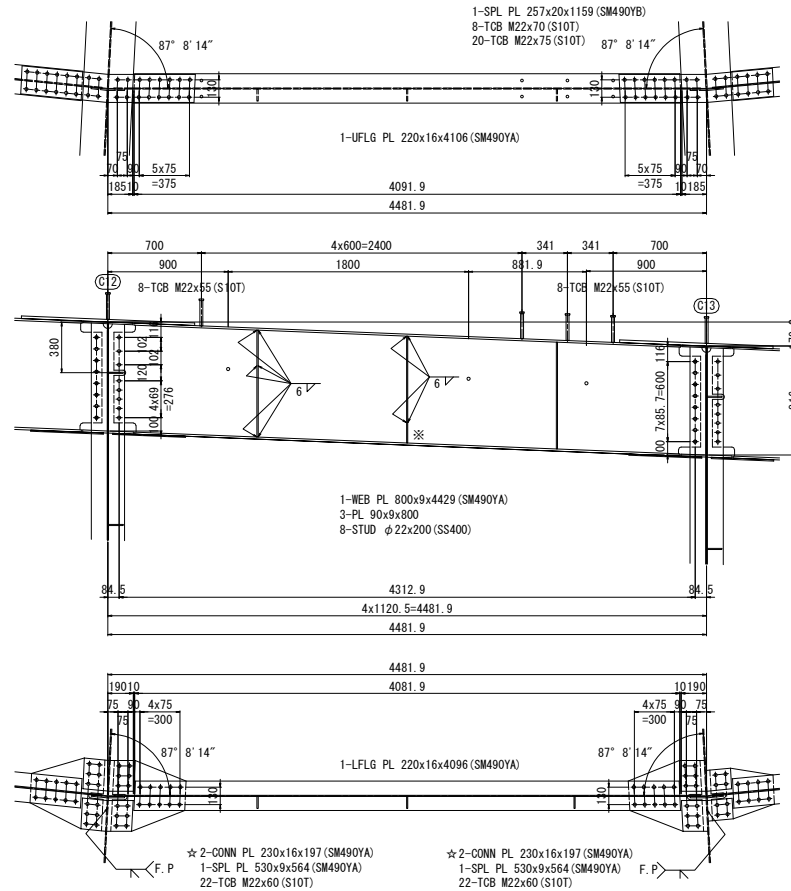
注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. +印は、トルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印部は、補剛材溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 側縦桁(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	196 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

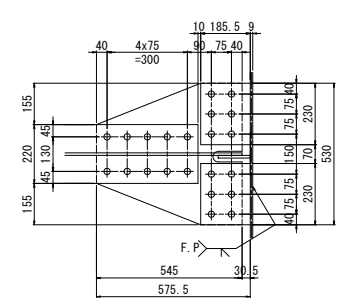
ST-11



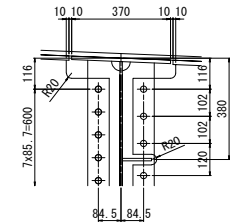
ST-14



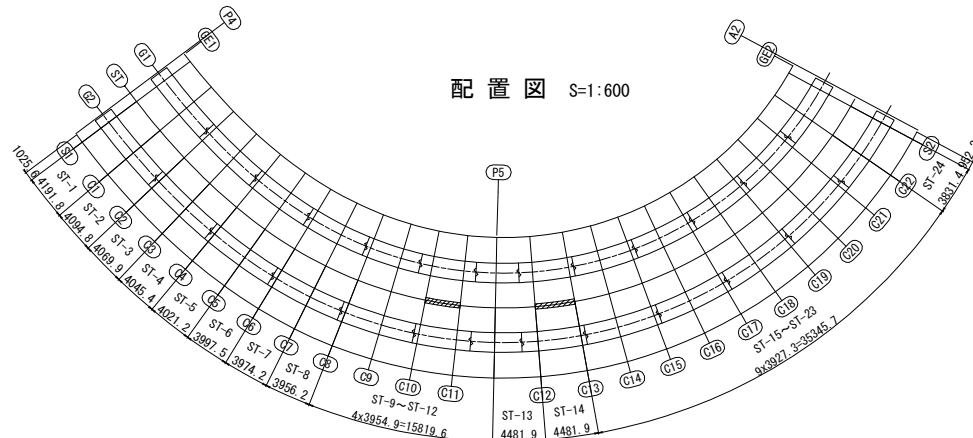
"a"部詳細 S=1:20



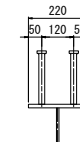
"b"部詳細 S=1:20



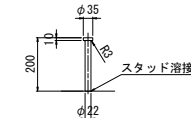
配置図 S=1:600



スタッド配置図 S=1:20



スタッド詳細図 S=1:20



- 注 記)
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシヤ形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。
 6. ☆印付きの部材は横桁にて計上する。
 7. 「F.P」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上側）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中縦桁(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	199 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社		
事務所名	長 野 工 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中縦桁(その4)

S=1:40

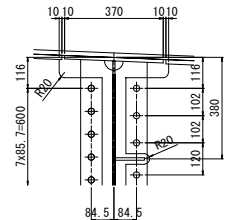
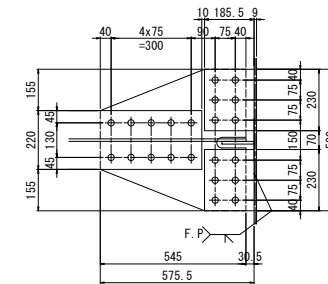
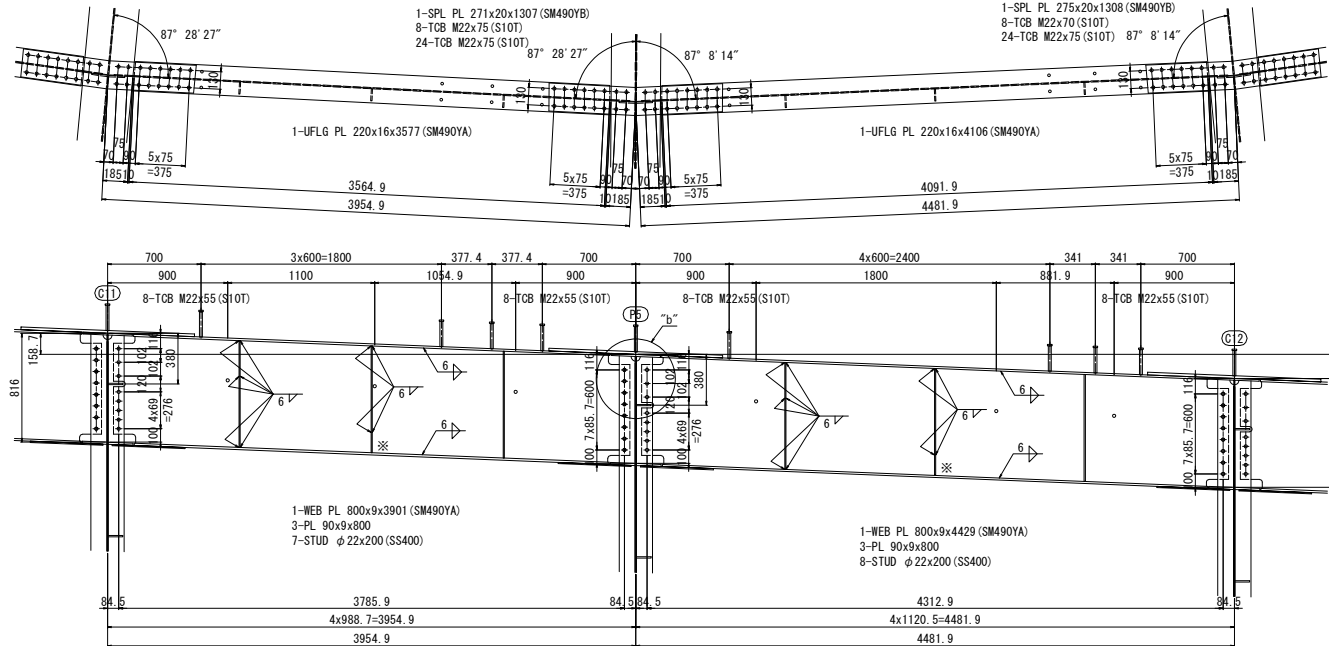
200 / 256

ST1-12

ST1-13

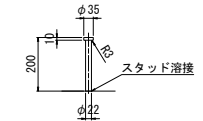
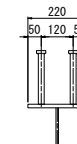
"a"部詳細 S=1:20

"b"部詳細 S=1:20

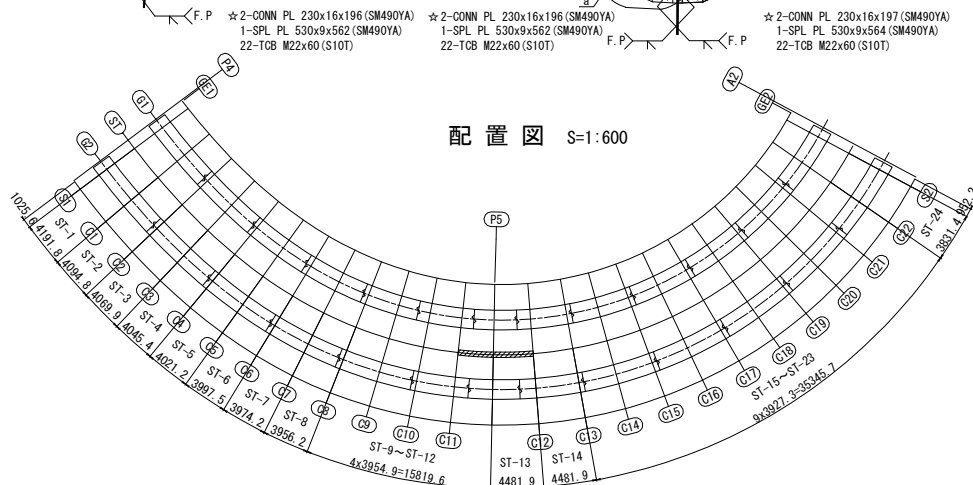


スタッド配置図 S=1:20

スタッド詳細図 S=1:20



配置図 S=1:600

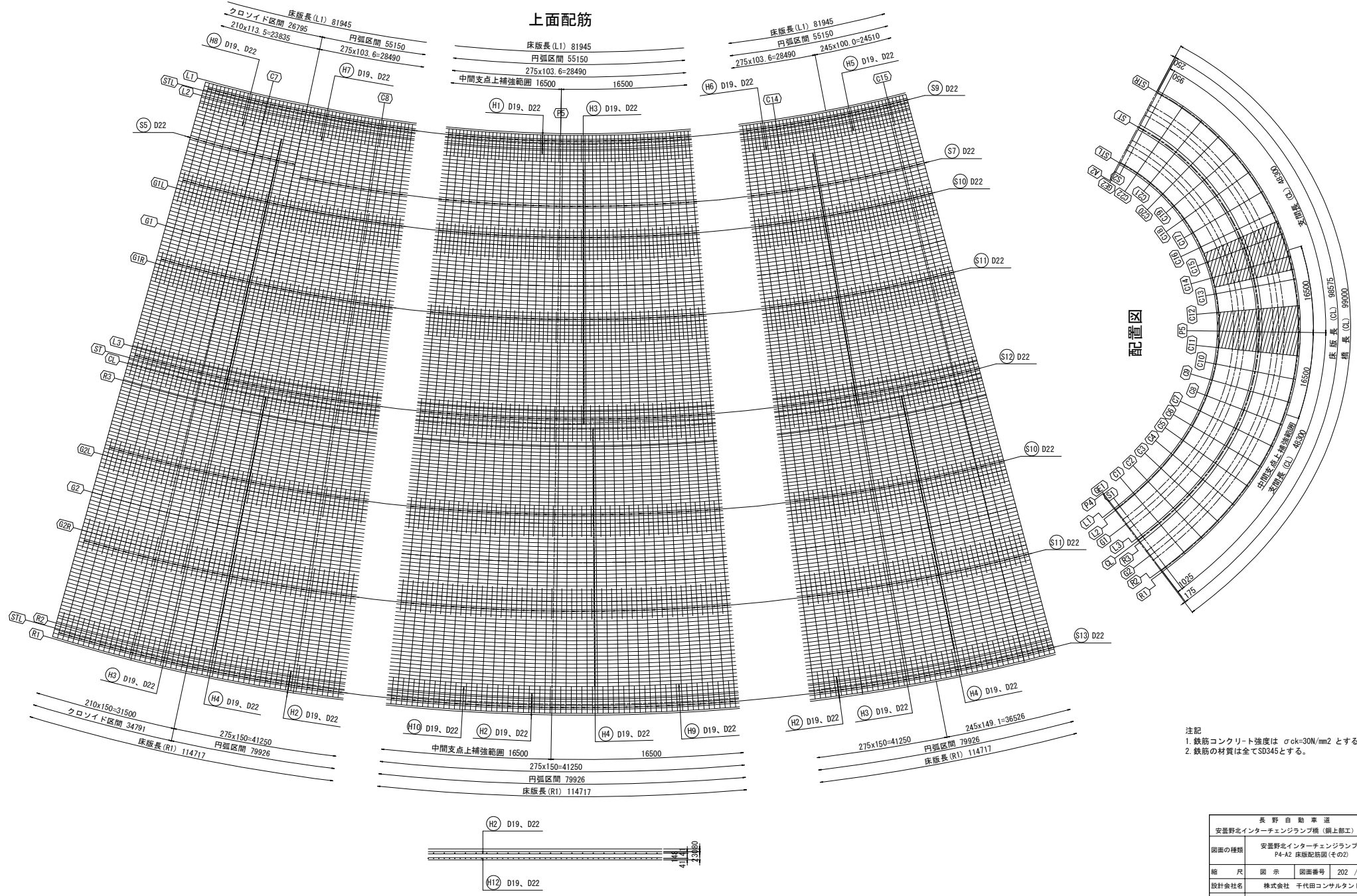


- 注 記)
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. +印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 4. 各部詳細は、共通詳細図を参照のこと。
 5. ※印部は、補剛材溶接しない。
 6. ☆印付きの部材は横桁にて計上する。
 7. 「F.P」表示のある面は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 中縦桁 (その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	200 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社		
事務所名	長 野 工 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その2)

S=1:100



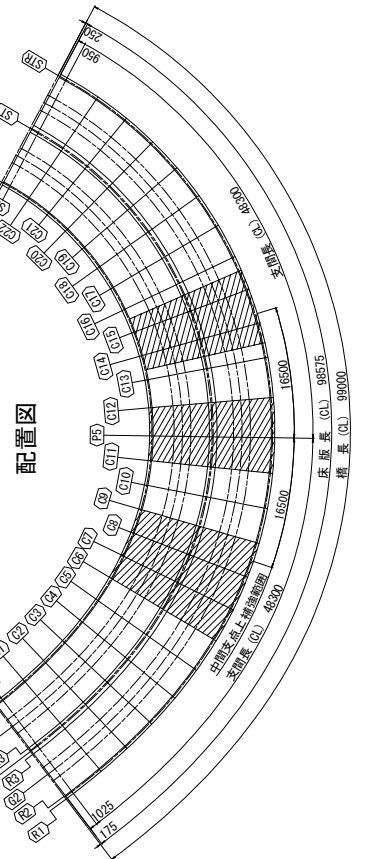
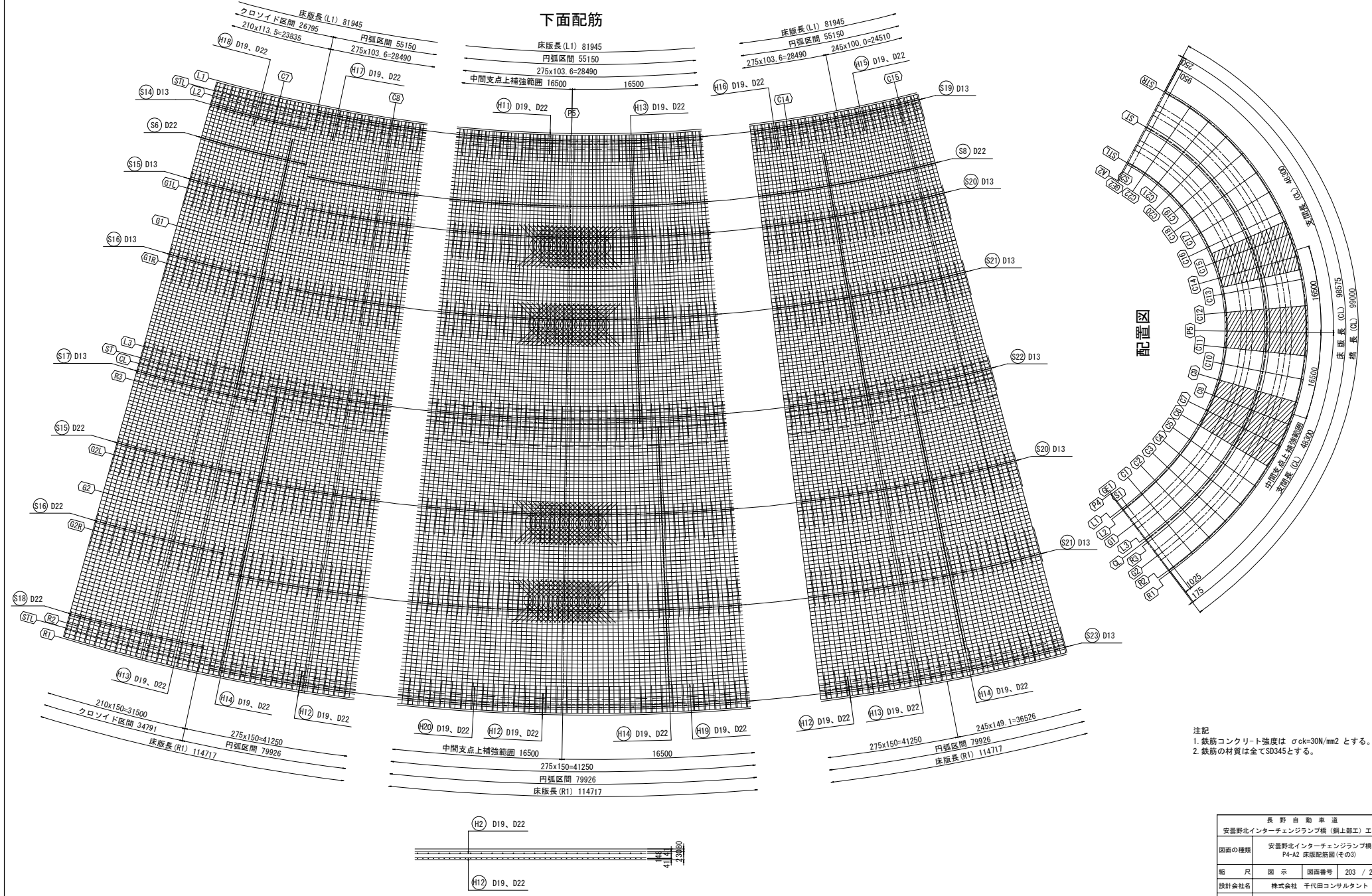
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上鋼工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	202 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その3)

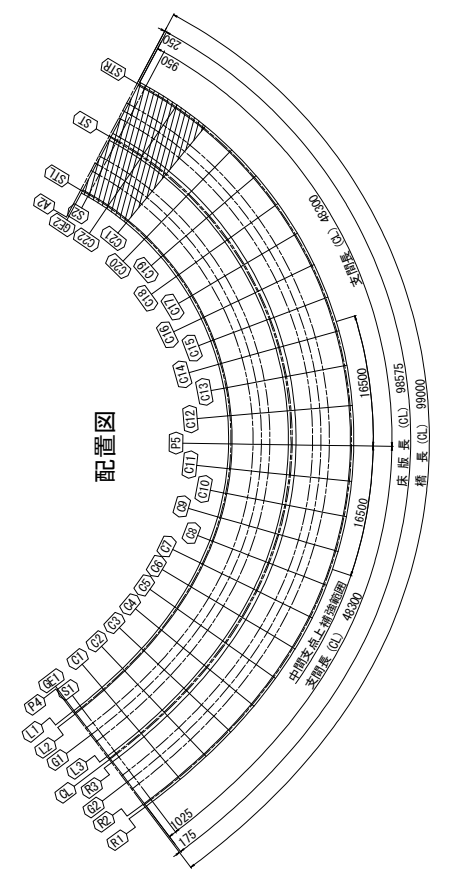
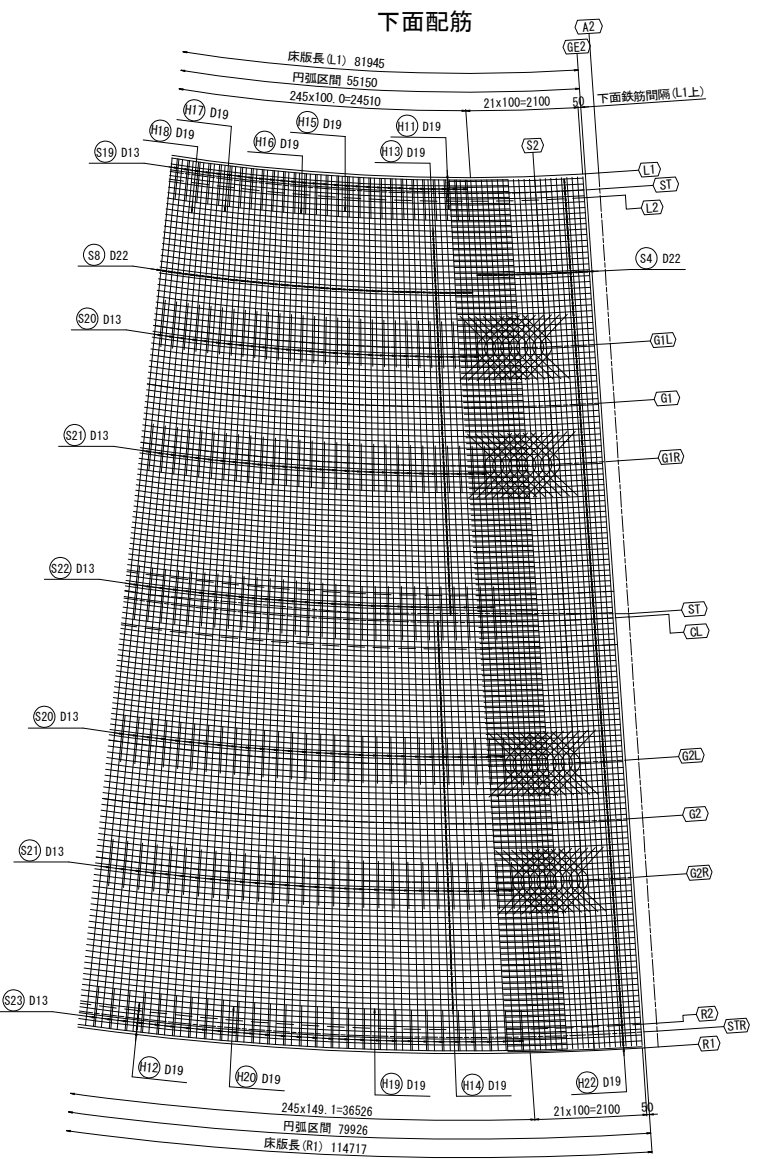
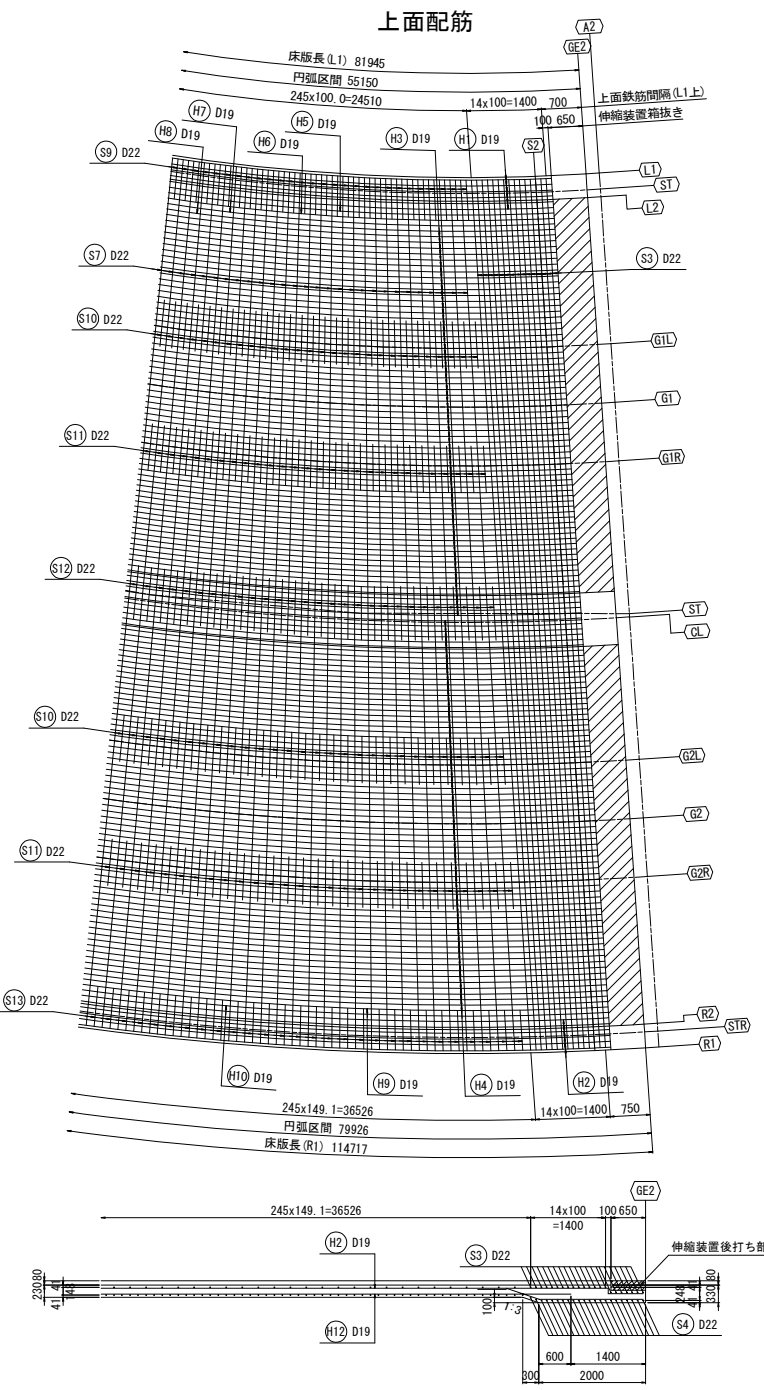
S=1:100

下面配筋



注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

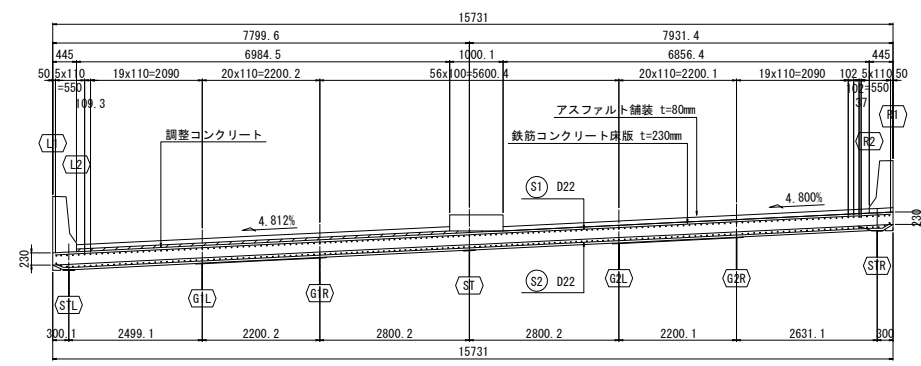
長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その3)
縮尺	図示
図面番号	203 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所



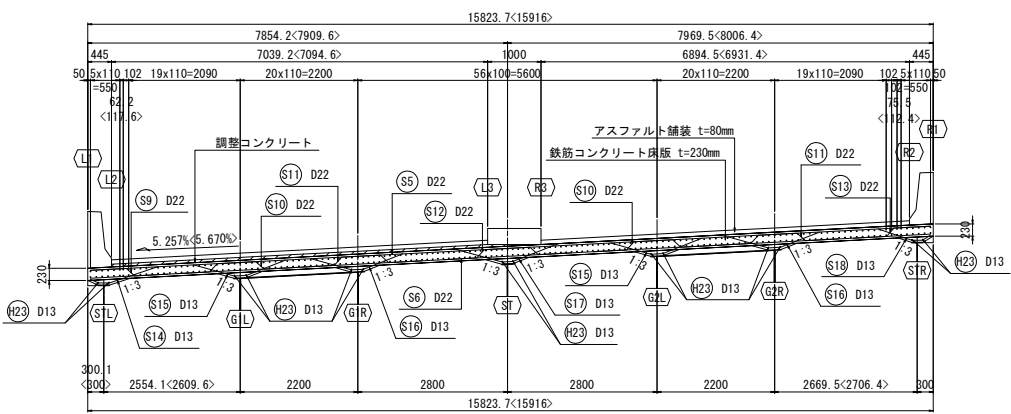
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図 (その4)
縮尺	図示 図面番号 204 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

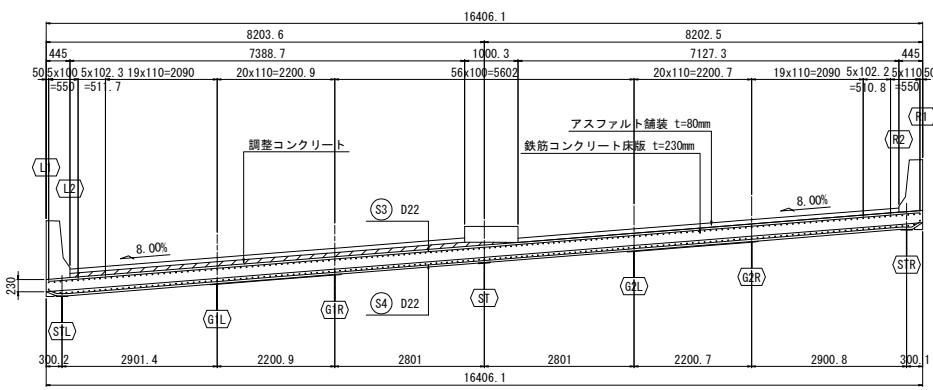
端部断面図 S1



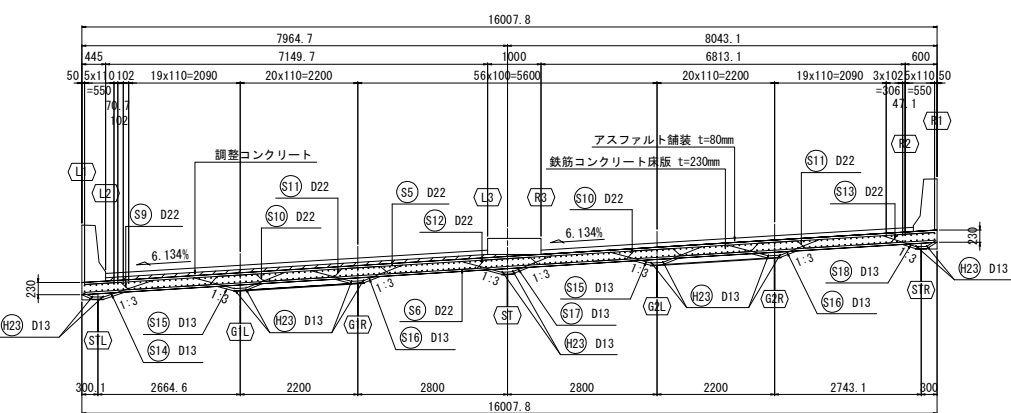
端部断面図 C1<C2>



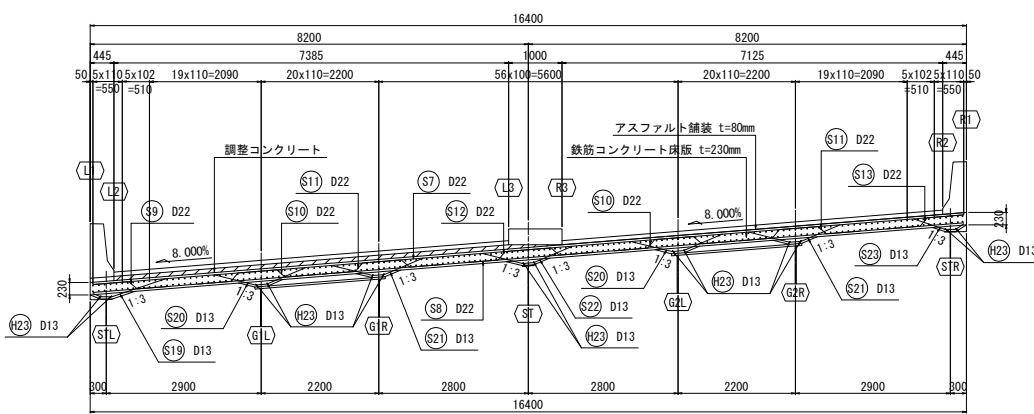
端部断面図 S2



中間部断面図 C3



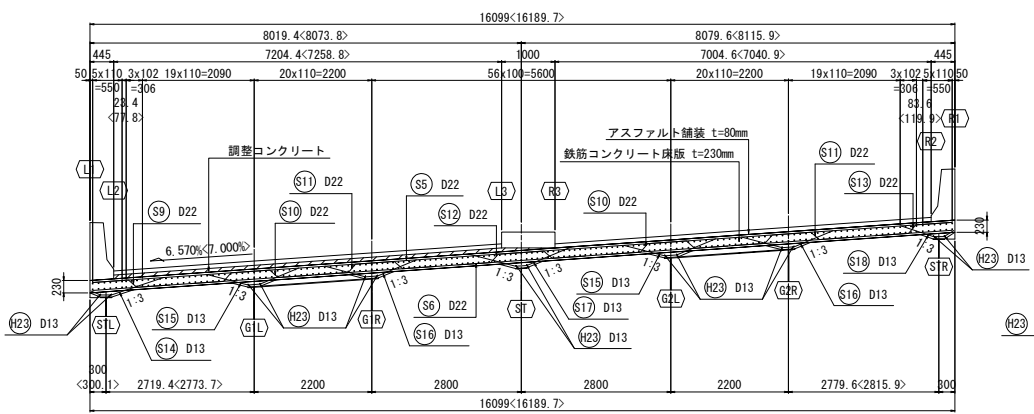
中間支点部断面図 P5



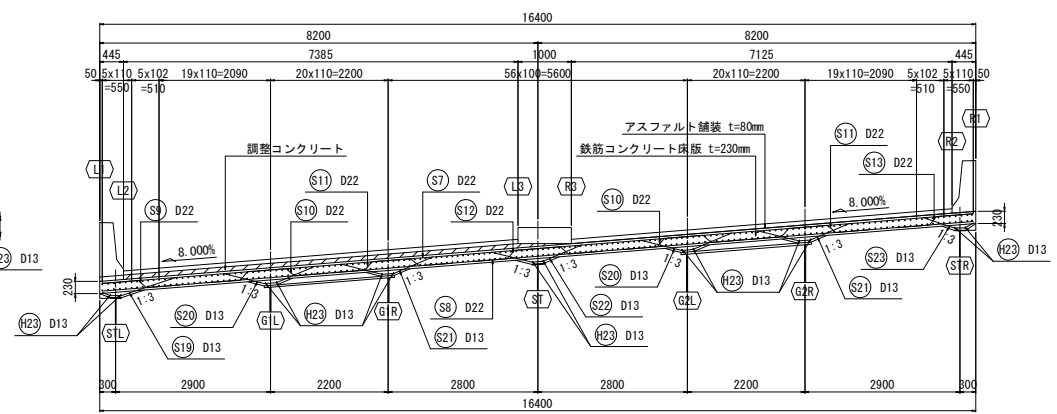
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	205 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

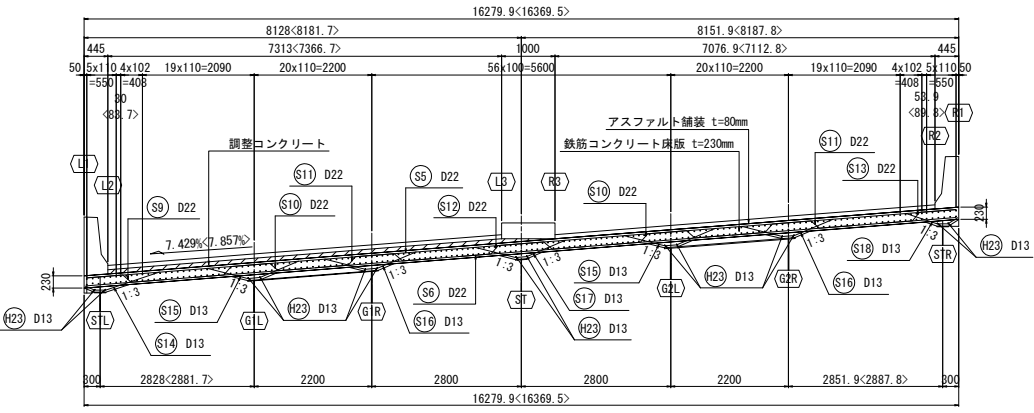
中間部断面図 C4<C5>



中間部断面図 C8~C22



中間部断面図 C6<C7>



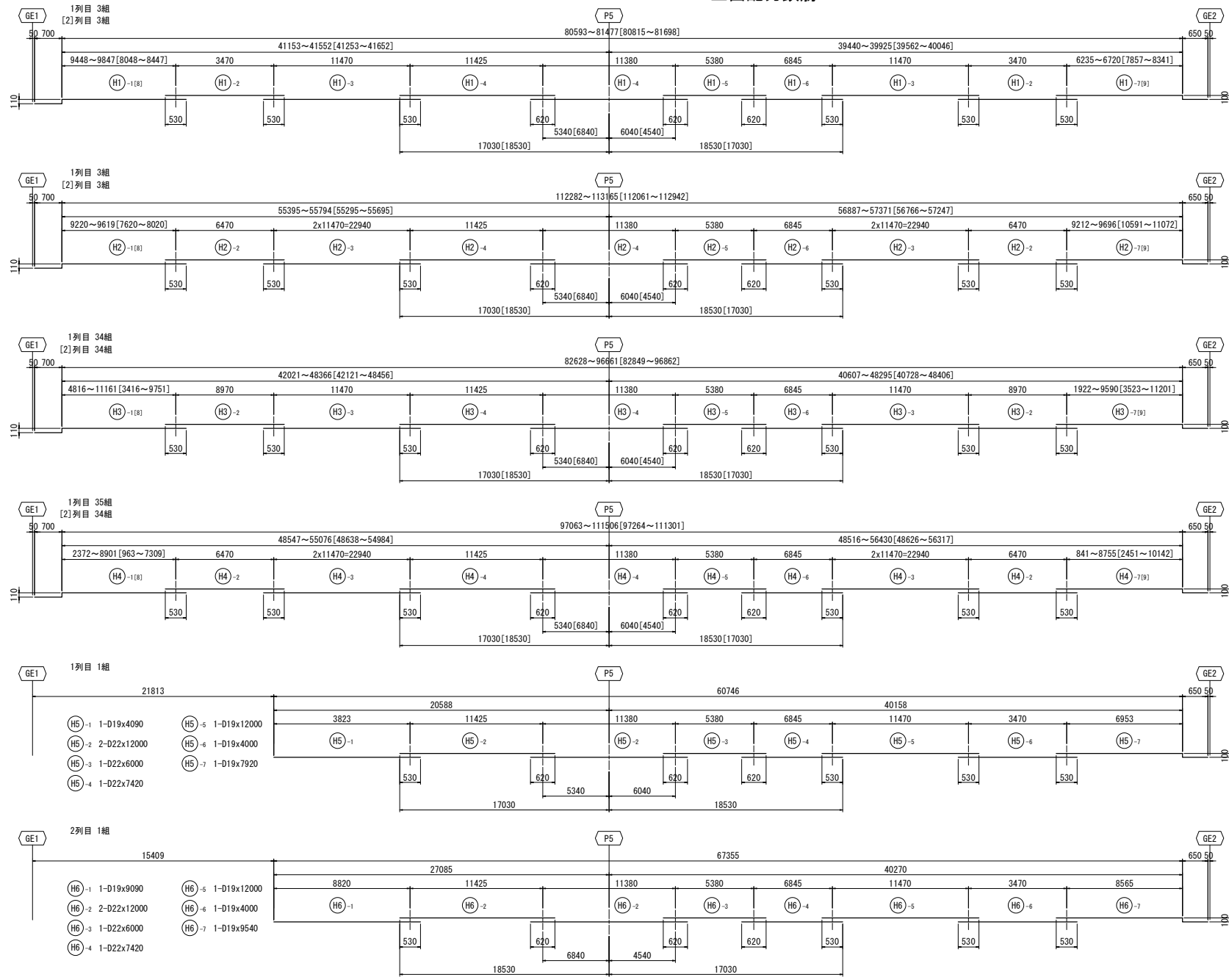
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上廊工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	206 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その7)

S=1:100

上面配力鉄筋



- (H1)-1 3-D19x10680(平均長)
- (H1)-2 12-D19x4000
- (H1)-3 12-D19x12000
- (H1)-4 12-D22x12000
- (H1)-5 6-D22x6000
- (H1)-6 6-D22x7420
- (H1)-7 3-D19x7450(平均長)
- (H1)-8 3-D19x9280(平均長)
- (H1)-9 3-D19x9070(平均長)
- (H2)-1 3-D19x10450(平均長)
- (H2)-2 12-D19x7000
- (H2)-3 24-D19x12000
- (H2)-4 12-D22x12000
- (H2)-5 6-D22x6000
- (H2)-6 6-D22x7420
- (H2)-7 3-D19x10430(平均長)
- (H2)-8 3-D19x8550(平均長)
- (H2)-9 3-D19x11800(平均長)
- (H3)-1 34-D19x9020(平均長)
- (H3)-2 136-D19x9500
- (H3)-3 136-D19x12000
- (H3)-4 136-D22x12000
- (H3)-5 68-D22x6000
- (H3)-6 68-D22x7420
- (H3)-7 34-D19x6730(平均長)
- (H3)-8 34-D19x7620(平均長)
- (H3)-9 34-D19x8330(平均長)
- (H4)-1 35-D19x6670(平均長)
- (H4)-2 138-D19x7000
- (H4)-3 276-D19x12000
- (H4)-4 138-D22x12000
- (H4)-5 69-D22x6000
- (H4)-6 69-D22x7420
- (H4)-7 35-D19x5770(平均長)
- (H4)-8 34-D19x5170(平均長)
- (H4)-9 34-D19x7270(平均長)

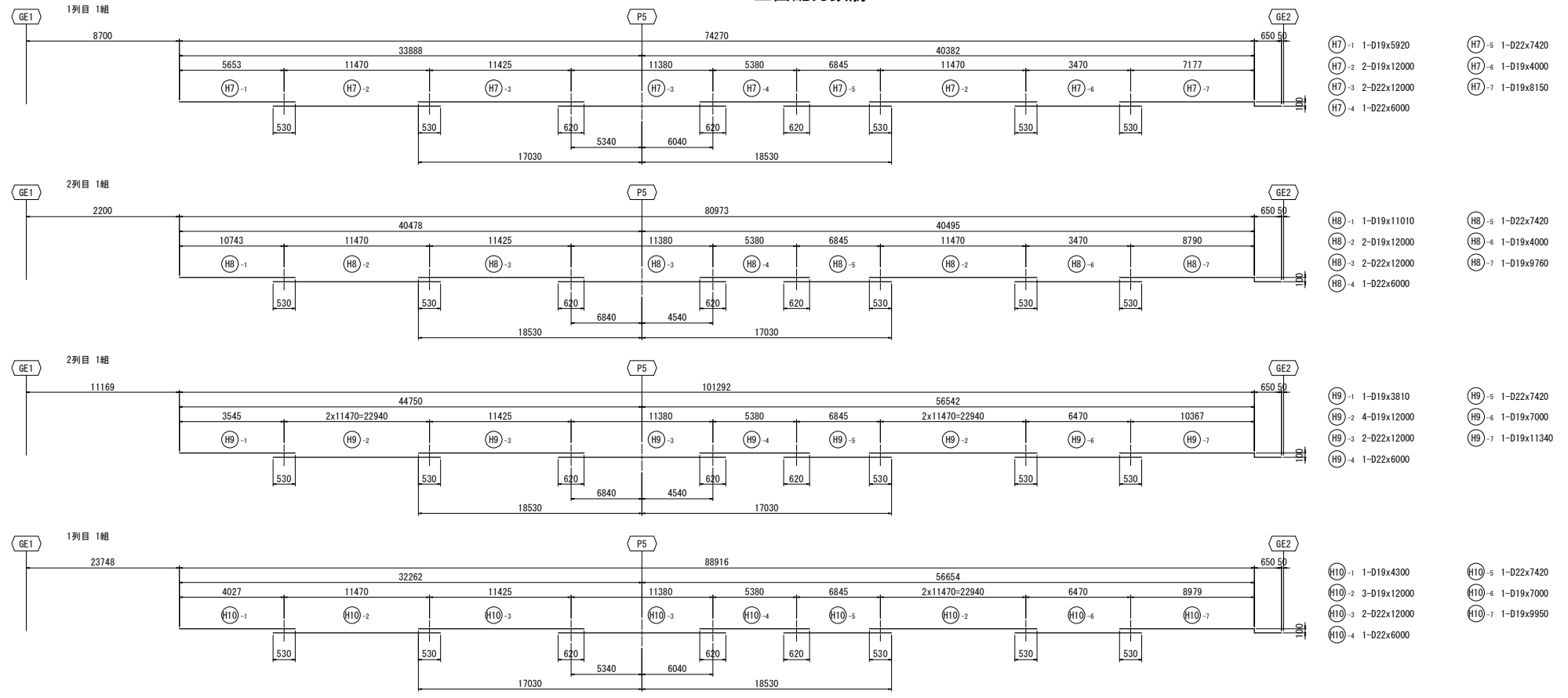
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	207 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その8)

S=1:100

上面配力鉄筋



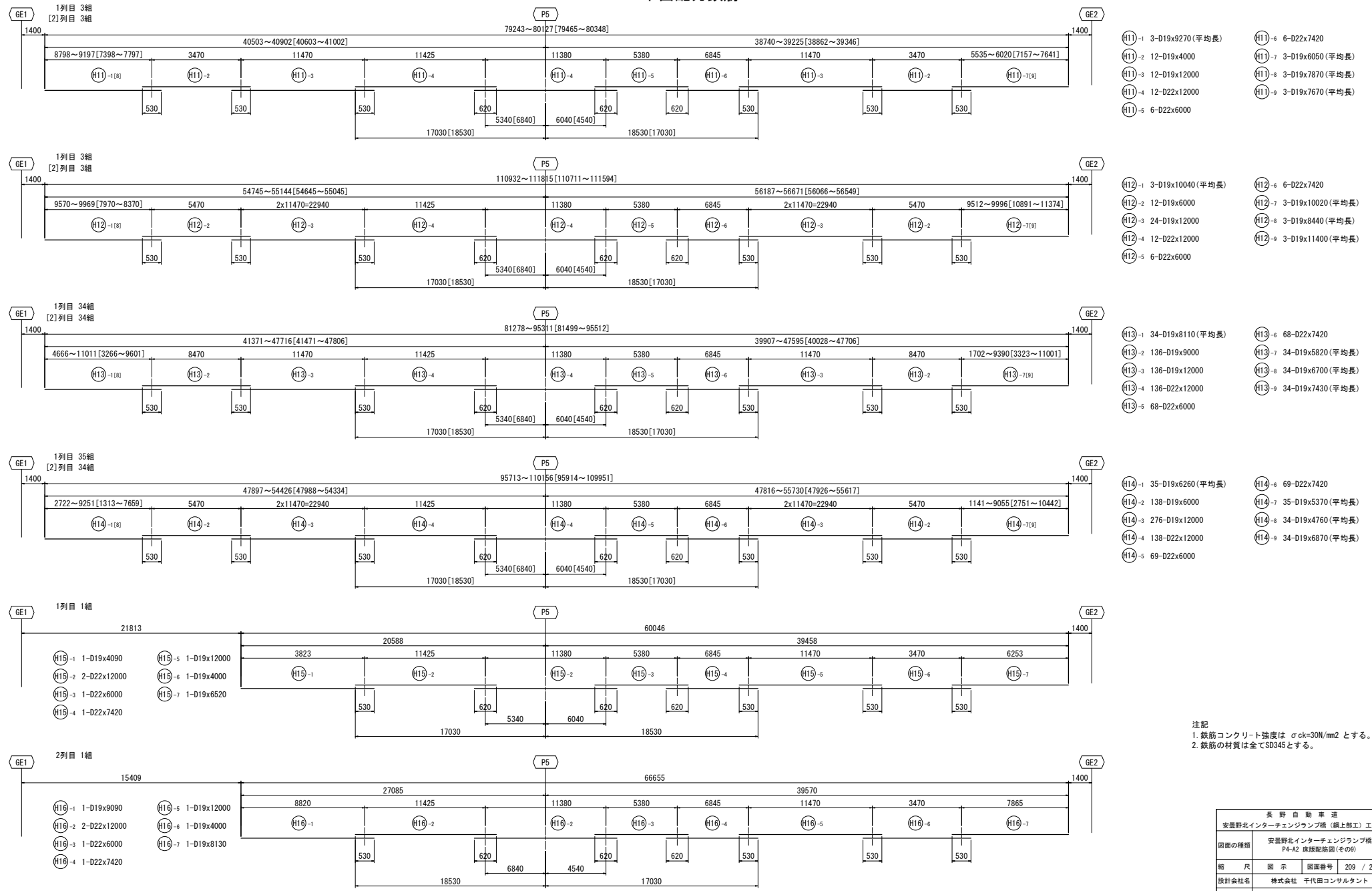
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	208 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その9)

S=1:100

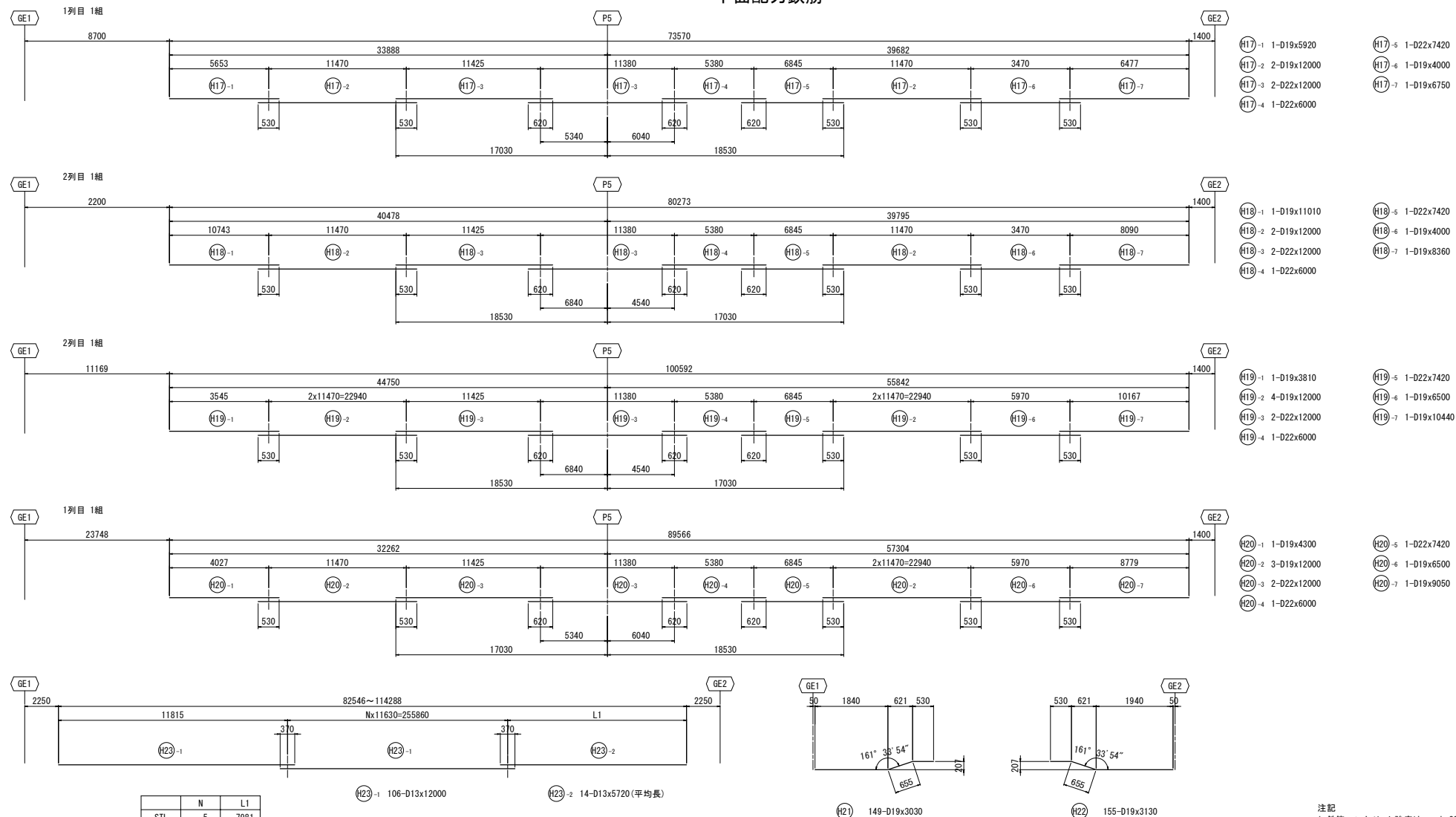
下面配力鉄筋



注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部分) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その9)		
縮尺	図示	図面番号	209 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

下面配力鉄筋

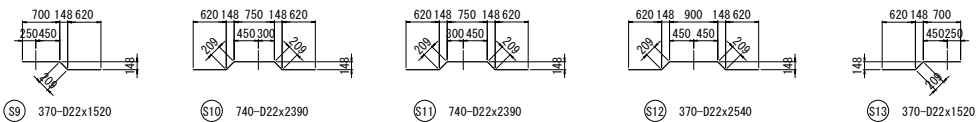
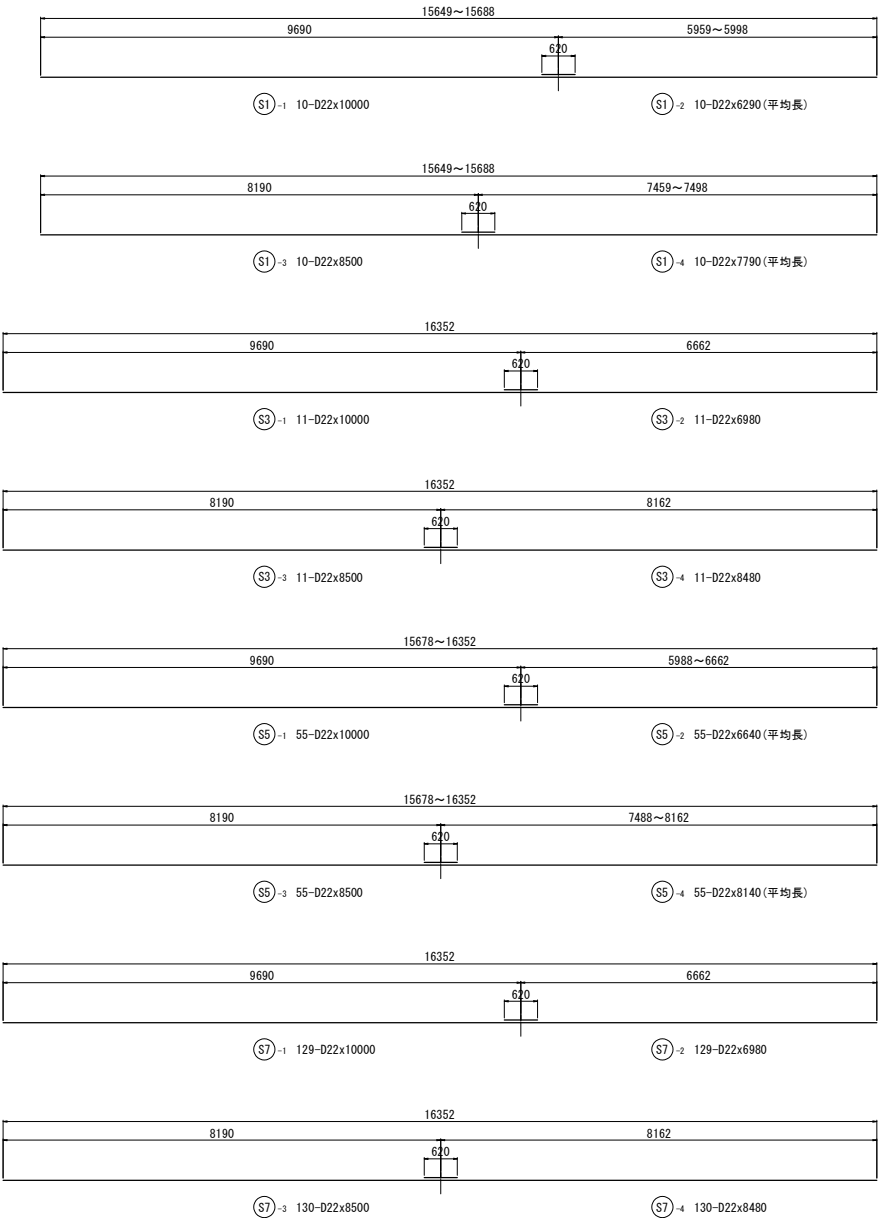


	N	L1
STL	5	7981
G1L	6	2079
G1R	6	6496
ST	7	711
G2L	7	6109
G2R	7	10526
STR	8	4833

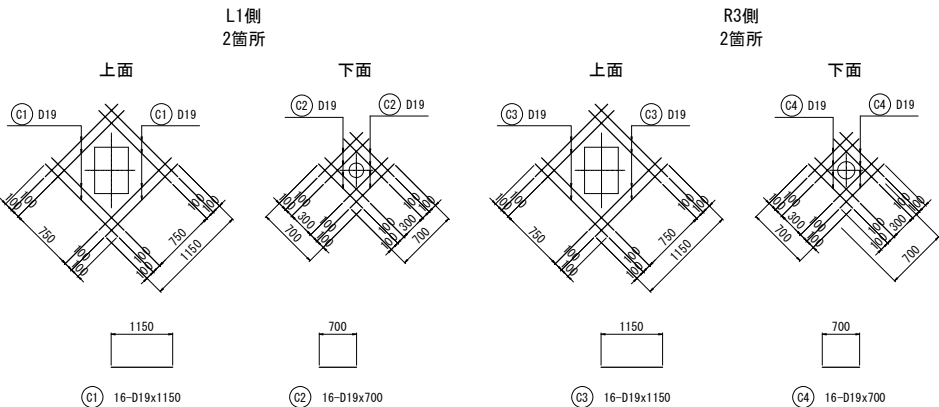
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図（その10）
縮 尺	図 示 図面番号 210 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野土木事務所

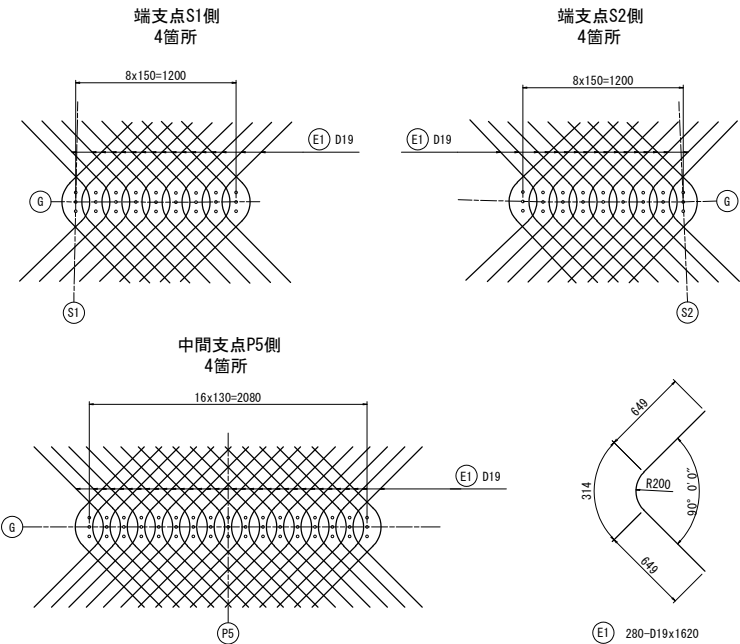
上面主鉄筋



排水桟補強鉄筋 S=1:60



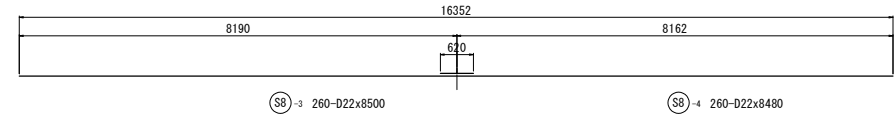
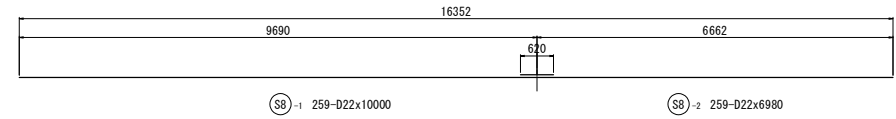
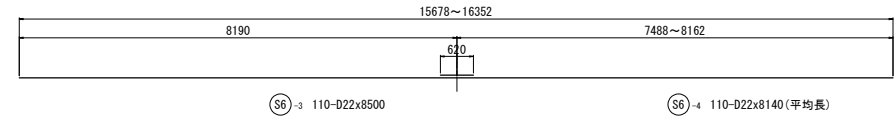
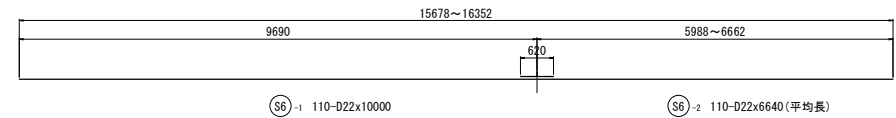
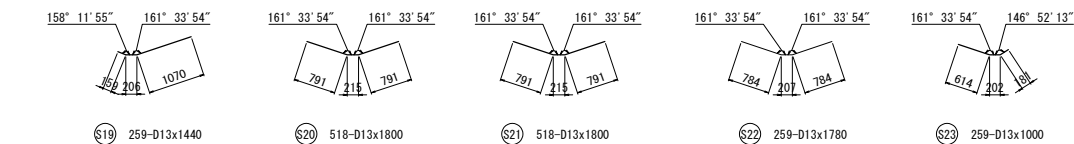
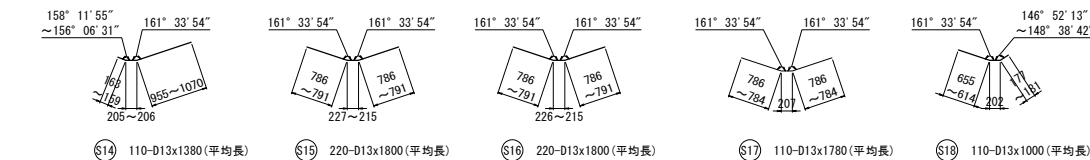
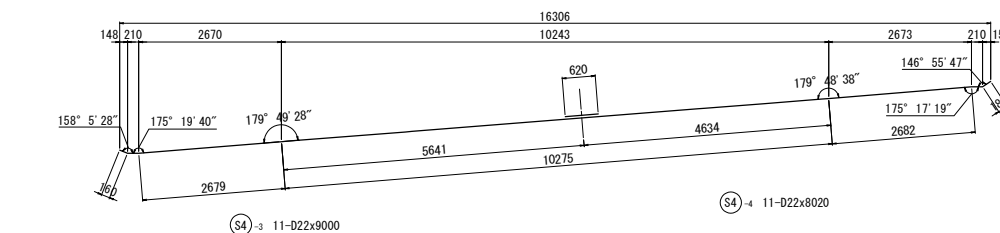
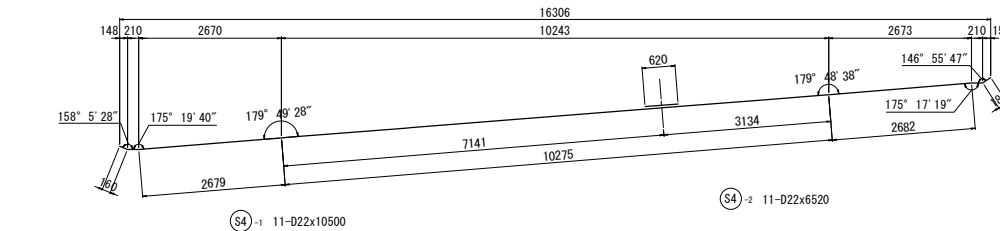
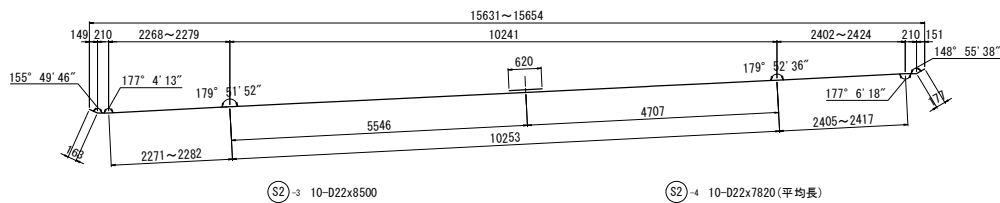
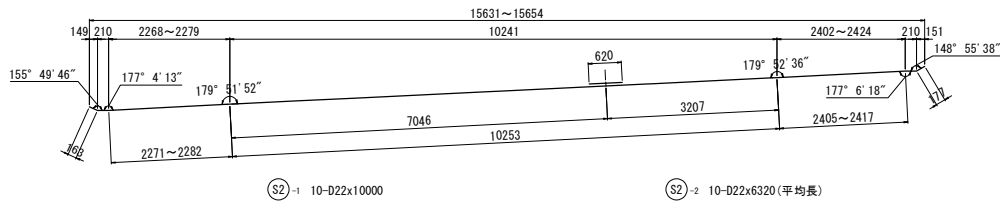
せん断補強筋配置図 S=1:40



注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その11)		
縮尺	図示	図面番号	211 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

下面主鉄筋



鉄筋加工寸法表						
$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3\phi$			$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5\phi$			
			$\Delta L = 2L - a$			
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	24	104.5	82	4
D22	66	104	28	121	95	5

- 注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	212 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その13)

S=1:100

213 / 256

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
S1-1	D22	10000	10	3.04	30.40	304	—— (平均長)
S1-2	D22	6290	10	3.04	19.12	191	—— (平均長)
S1-3	D22	8500	10	3.04	25.84	258	—— (平均長)
S1-4	D22	7790	10	3.04	23.68	237	—— (平均長)
S2-1	D22	10000	10	3.04	30.40	304	—— (平均長)
S2-2	D22	6320	10	3.04	19.21	192	—— (平均長)
S2-3	D22	8500	10	3.04	25.84	258	—— (平均長)
S2-4	D22	7820	10	3.04	23.77	238	—— (平均長)
S3-1	D22	10000	11	3.04	30.40	334	—— (平均長)
S3-2	D22	6980	11	3.04	21.22	233	—— (平均長)
S3-3	D22	8500	11	3.04	25.84	284	—— (平均長)
S3-4	D22	8480	11	3.04	25.78	284	—— (平均長)
S4-1	D22	10500	11	3.04	31.92	351	—— (平均長)
S4-2	D22	6520	11	3.04	19.82	218	—— (平均長)
S4-3	D22	9000	11	3.04	27.36	301	—— (平均長)
S4-4	D22	8020	11	3.04	24.38	268	—— (平均長)
S5-1	D22	10000	55	3.04	30.40	1672	—— (平均長)
S5-2	D22	6640	55	3.04	20.19	1110	—— (平均長)
S5-3	D22	8500	55	3.04	25.84	1421	—— (平均長)
S5-4	D22	8140	55	3.04	24.75	1361	—— (平均長)
S6-1	D22	10000	110	3.04	30.40	3344	—— (平均長)
S6-2	D22	6640	110	3.04	20.19	2221	—— (平均長)
S6-3	D22	8500	110	3.04	25.84	2842	—— (平均長)
S6-4	D22	8140	110	3.04	24.75	2723	—— (平均長)
S7-1	D22	10000	129	3.04	30.40	3922	—— (平均長)
S7-2	D22	6980	129	3.04	21.22	2737	—— (平均長)
S7-3	D22	8500	130	3.04	25.84	3359	—— (平均長)
S7-4	D22	8480	130	3.04	25.78	3351	—— (平均長)
S8-1	D22	10000	259	3.04	30.40	7874	—— (平均長)
S8-2	D22	6980	259	3.04	21.22	5496	—— (平均長)
S8-3	D22	8500	260	3.04	25.84	6718	—— (平均長)
S8-4	D22	8480	260	3.04	25.78	6703	—— (平均長)
S9	D22	1520	370	3.04	4.62	1709	—— (平均長)
S10	D22	2390	740	3.04	7.27	5380	—— (平均長)
S11	D22	2390	740	3.04	7.27	5380	—— (平均長)
S12	D22	2540	370	3.04	7.72	2856	—— (平均長)
S13	D22	1520	370	3.04	4.62	1709	—— (平均長)
S14	D13	1380	110	0.995	1.37	151	—— (平均長)
S15	D13	1800	220	0.995	1.79	394	—— (平均長)
S16	D13	1800	220	0.995	1.79	394	—— (平均長)
S17	D13	1780	110	0.995	1.77	195	—— (平均長)
S18	D13	1000	110	0.995	1.00	110	—— (平均長)
S19	D13	1440	259	0.995	1.43	370	—— (平均長)
S20	D13	1800	518	0.995	1.79	927	—— (平均長)
S21	D13	1800	518	0.995	1.79	927	—— (平均長)
S22	D13	1780	259	0.995	1.77	458	—— (平均長)
S23	D13	1000	259	0.995	1.00	259	—— (平均長)
H1-1	D19	10680	3	2.25	24.03	72	—— (平均長)
H1-2	D19	4000	12	2.25	9.00	108	—— (平均長)
H1-3	D19	12000	12	2.25	27.00	324	—— (平均長)
H1-4	D22	12000	12	3.04	36.48	438	—— (平均長)
H1-5	D22	6000	6	3.04	18.24	109	—— (平均長)
H1-6	D22	7420	6	3.04	22.56	135	—— (平均長)
H1-7	D19	7450	3	2.25	16.76	50	—— (平均長)
H1-8	D19	9280	3	2.25	20.88	63	—— (平均長)
H1-9	D19	9070	3	2.25	20.41	61	—— (平均長)
H2-1	D19	10450	3	2.25	23.51	71	—— (平均長)
H2-2	D19	7000	12	2.25	15.75	189	—— (平均長)
H2-3	D19	12000	24	2.25	27.00	648	—— (平均長)
H2-4	D22	12000	12	3.04	36.48	438	—— (平均長)
H2-5	D22	6000	6	3.04	18.24	109	—— (平均長)
H2-6	D22	7420	6	3.04	22.56	135	—— (平均長)
H2-7	D19	10430	3	2.25	23.47	70	—— (平均長)
H2-8	D19	8850	3	2.25	19.91	60	—— (平均長)
H2-9	D19	11800	3	2.25	26.55	80	—— (平均長)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
H3-1	D19	9020	34	2.25	20.30	690	—— (平均長)
H3-2	D19	9500	136	2.25	21.38	2908	—— (平均長)
H3-3	D19	12000	136	2.25	27.00	3672	—— (平均長)
H3-4	D22	12000	136	3.04	36.48	4961	—— (平均長)
H3-5	D22	6000	68	3.04	18.24	1240	—— (平均長)
H3-6	D22	7420	68	3.04	22.56	1534	—— (平均長)
H3-7	D19	6730	34	2.25	15.14	515	—— (平均長)
H3-8	D19	7620	34	2.25	17.15	583	—— (平均長)
H3-9	D19	8330	34	2.25	18.74	637	—— (平均長)
H4-1	D19	6670	35	2.25	15.01	525	—— (平均長)
H4-2	D19	7000	138	2.25	15.75	2174	—— (平均長)
H4-3	D19	12000	276	2.25	27.00	7452	—— (平均長)
H4-4	D22	12000	138	3.04	36.48	5034	—— (平均長)
H4-5	D22	6000	69	3.04	18.24	1259	—— (平均長)
H4-6	D22	7420	69	3.04	22.56	1557	—— (平均長)
H4-7	D19	5770	35	2.25	12.98	454	—— (平均長)
H4-8	D19	5170	34	2.25	11.63	395	—— (平均長)
H4-9	D19	7270	34	2.25	16.36	556	—— (平均長)
H5-1	D19	4090	1	2.25	9.20	9	—— (平均長)
H5-2	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H5-3	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H5-4	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H5-5	D19	12000	1	2.25	27.00	27	—— (平均長)
H5-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	—— (平均長)
H5-7	D19	7920	1	2.25	17.82	18	—— (平均長)
H6-1	D19	9090	1	2.25	20.45	20	—— (平均長)
H6-2	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H6-3	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H6-4	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H6-5	D19	12000	1	2.25	27.00	27	—— (平均長)
H6-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	—— (平均長)
H6-7	D19	9540	1	2.25	21.47	21	—— (平均長)
H7-1	D19	5920	1	2.25	13.32	13	—— (平均長)
H7-2	D19	12000	2	2.25	27.00	54	—— (平均長)
H7-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H7-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H7-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H7-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	—— (平均長)
H7-7	D19	8150	1	2.25	18.34	18	—— (平均長)
H8-1	D19	11010	1	2.25	24.77	25	—— (平均長)
H8-2	D19	12000	2	2.25	27.00	54	—— (平均長)
H8-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H8-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H8-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H8-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	—— (平均長)
H8-7	D19	9760	1	2.25	21.96	22	—— (平均長)
H9-1	D19	3810	1	2.25	8.57	9	—— (平均長)
H9-2	D19	12000	4	2.25	27.00	108	—— (平均長)
H9-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H9-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H9-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H9-6	D19	7000	1	2.25	15.75	16	—— (平均長)
H9-7	D19	11340	1	2.25	25.52	26	—— (平均長)
H10-1	D19	4300	1	2.25	9.68	10	—— (平均長)
H10-2	D19	12000	3	2.25	27.00	81	—— (平均長)
H10-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	—— (平均長)
H10-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	—— (平均長)
H10-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	—— (平均長)
H10-6	D19	7000	1	2.25	15.75	16	—— (平均長)
H10-7	D19	9950	1	2.25	22.39	22	—— (平均長)
H11-1	D19	9270	3	2.25	20.86	63	—— (平均長)
H11-2	D19	4000	12	2.25	9.00	108	—— (平均長)
H11-3	D19	12000	12	2.25	27.00	324	—— (平均長)
H11-4	D22	12000	12	3.04	36.48	438	—— (平均長)
H11-5	D22	6000	6	3.04	18.24	109	—— (平均長)
H11-6	D22	7420	6	3.04	22.56	135	—— (平均長)
H11-7	D19	6050	3	2.25	13.61	41	—— (平均長)
H11-8	D19	7870	3	2.25	17.71	53	—— (平均長)
H11-9	D19	7670	3	2.25	17.26	52	—— (平均長)

- 注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上廊下) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	213 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 務 所		

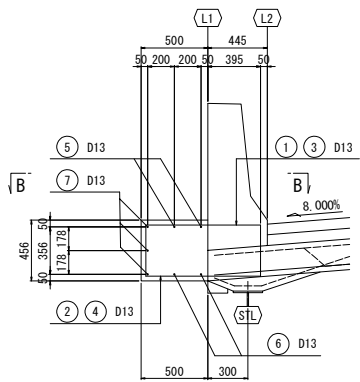
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
H12-1	D19	10040	3	2.25	22.59	68	—— (平均長)
H12-2	D19	6000	12	2.25	13.50	162	——
H12-3	D19	12000	24	2.25	27.00	648	——
H12-4	D22	12000	12	3.04	36.48	438	——
H12-5	D22	6000	6	3.04	18.24	109	——
H12-6	D22	7420	6	3.04	22.56	135	——
H12-7	D19	10020	3	2.25	22.55	68	—— (平均長)
H12-8	D19	8440	3	2.25	18.99	57	—— (平均長)
H12-9	D19	11400	3	2.25	25.65	77	—— (平均長)
H13-1	D19	8110	34	2.25	18.25	621	—— (平均長)
H13-2	D19	9000	136	2.25	20.25	2754	——
H13-3	D19	12000	136	2.25	27.00	3672	——
H13-4	D22	12000	136	3.04	36.48	4961	——
H13-5	D22	6000	68	3.04	18.24	1240	——
H13-6	D22	7420	68	3.04	22.56	1534	——
H13-7	D19	5820	34	2.25	13.10	445	—— (平均長)
H13-8	D19	6700	34	2.25	15.08	513	—— (平均長)
H13-9	D19	7430	34	2.25	16.72	568	—— (平均長)
H14-1	D19	6260	35	2.25	14.09	493	—— (平均長)
H14-2	D19	6000	138	2.25	13.50	1863	——
H14-3	D19	12000	276	2.25	27.00	7452	——
H14-4	D22	12000	138	3.04	36.48	5034	——
H14-5	D22	6000	69	3.04	18.24	1259	——
H14-6	D22	7420	69	3.04	22.56	1557	——
H14-7	D19	5370	35	2.25	12.08	423	—— (平均長)
H14-8	D19	4760	34	2.25	10.71	364	—— (平均長)
H14-9	D19	6870	34	2.25	15.46	526	—— (平均長)
H15-1	D19	4090	1	2.25	9.20	9	——
H15-2	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H15-3	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H15-4	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H15-5	D19	12000	1	2.25	27.00	27	——
H15-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	——
H15-7	D19	6520	1	2.25	14.67	15	——
H16-1	D19	9090	1	2.25	20.45	20	——
H16-2	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H16-3	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H16-4	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H16-5	D19	12000	1	2.25	27.00	27	——
H16-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	——
H16-7	D19	8130	1	2.25	18.29	18	——
H17-1	D19	5920	1	2.25	13.32	13	——
H17-2	D19	12000	2	2.25	27.00	54	——
H17-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H17-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H17-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H17-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	——
H17-7	D19	6750	1	2.25	15.19	15	——
H18-1	D19	11010	1	2.25	24.77	25	——
H18-2	D19	12000	2	2.25	27.00	54	——
H18-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H18-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H18-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H18-6	D19	4000	1	2.25	9.00	9	——
H18-7	D19	8360	1	2.25	18.81	19	——
H19-1	D19	3810	1	2.25	8.57	9	——
H19-2	D19	12000	4	2.25	27.00	108	——
H19-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H19-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H19-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H19-6	D19	6500	1	2.25	14.63	15	——
H19-7	D19	10440	1	2.25	23.49	23	——

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
H20-1	D19	4300	1	2.25	9.68	10	——
H20-2	D19	12000	3	2.25	27.00	81	——
H20-3	D22	12000	2	3.04	36.48	73	——
H20-4	D22	6000	1	3.04	18.24	18	——
H20-5	D22	7420	1	3.04	22.56	23	——
H20-6	D19	6500	1	2.25	14.63	15	——
H20-7	D19	9050	1	2.25	20.36	20	——
H21	D19	3030	149	2.25	6.82	1016	——
H22	D19	3130	155	2.25	7.04	1091	——
H23-1	D13	12000	106	0.995	11.94	1266	——
H23-2	D13	5720	14	0.995	5.69	80	—— (平均長)
C1	D19	1150	16	2.25	2.59	41	——
C2	D19	700	16	2.25	1.58	25	——
C3	D19	1150	16	2.25	2.59	41	——
C4	D19	700	16	2.25	1.58	25	——
E1	D19	1620	280	2.25	3.65	1022	<
鉄筋質量				D22	113409kg		
				D19	48278kg		
				D13	5531kg		
				合計	167218kg		

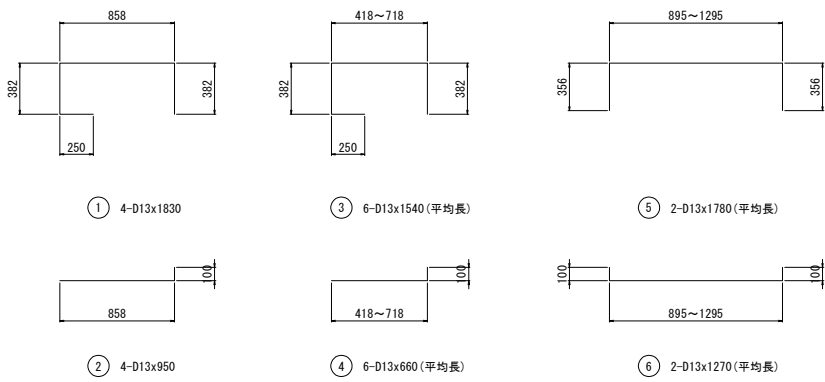
注記
1. 鉄筋コンクリート強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
2. 鉄筋の材質は全てSD345とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 床版配筋図(その14)		
縮尺	図示	図面番号	214 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A - A



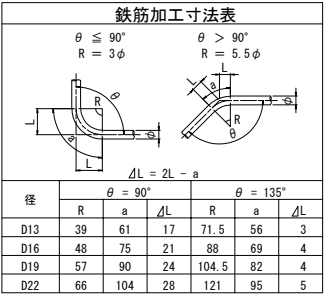
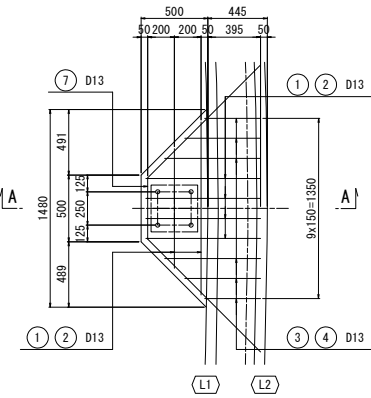
鉄筋加工図



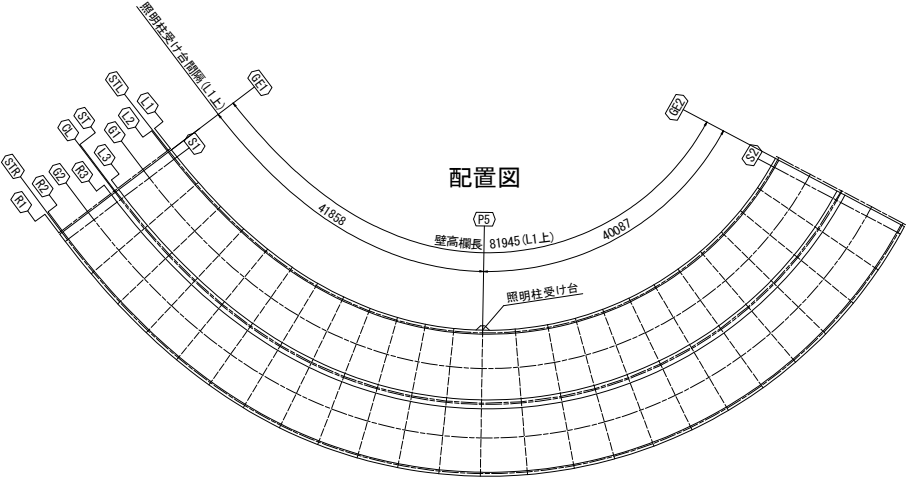
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
1	D13	1830	4	0.995	1.82	7	□
2	D13	950	4	0.995	0.95	4	—
3	D13	1540	6	0.995	1.53	9	□ (平均長)
4	D13	660	6	0.995	0.66	4	— (平均長)
5	D13	1780	2	0.995	1.77	4	□ (平均長)
6	D13	1270	2	0.995	1.26	3	— (平均長)
7	D13	2850	3	0.995	2.84	9	<
合計						40	kg
鉄筋質量							SD345 D13 40 kg
							合計 40 kg

B - B



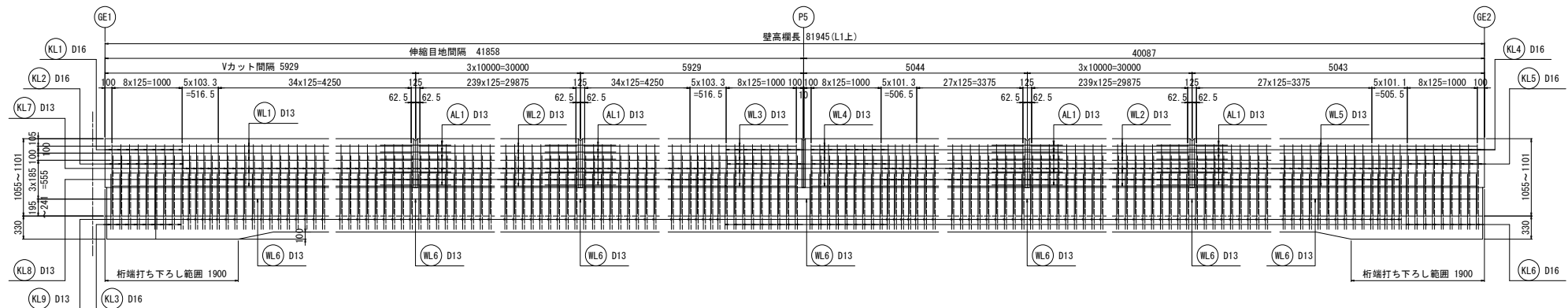
配置図



注記
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

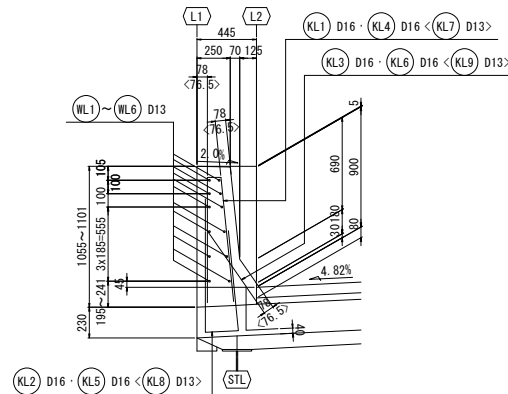
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上組工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 照明柱受け台		
縮 尺	図 示	図面番号	215 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

L1側

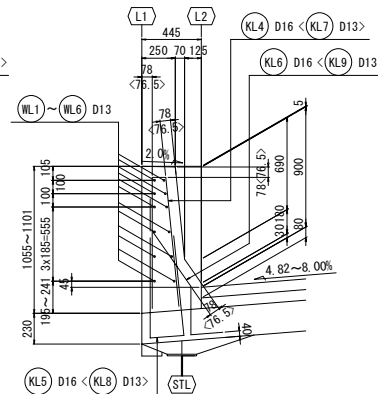


断面図 S=1:40

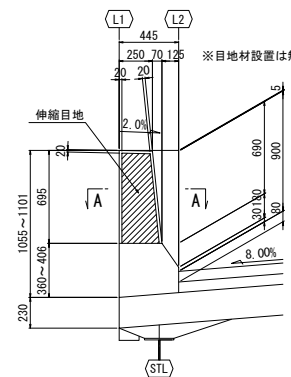
桁端打ち下ろし部



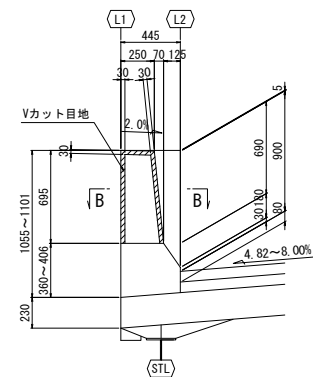
一般部



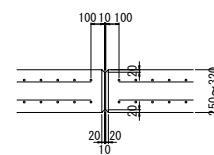
伸縮目地詳細 S=1:40



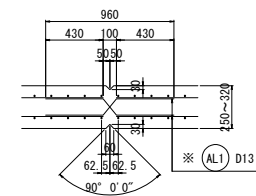
Vカット詳細 S=1:40



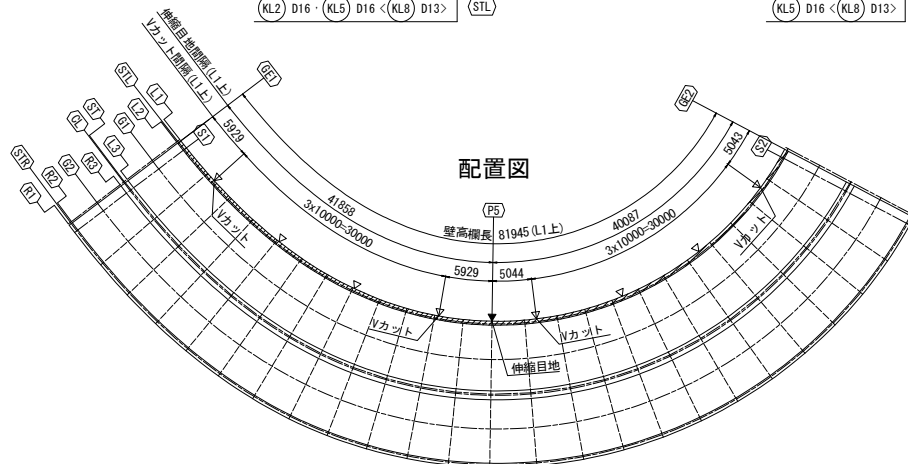
A-A S=1:40



B-B S=1:40



配置図

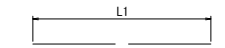
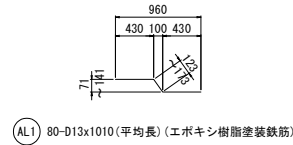
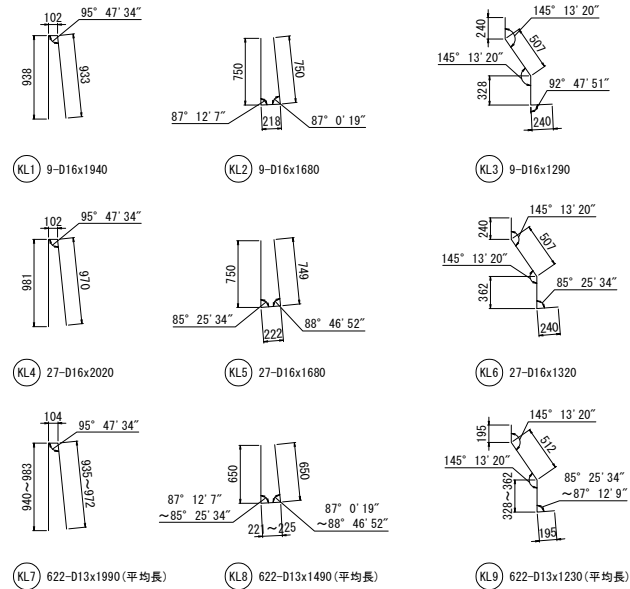


注記

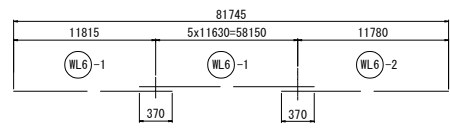
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
3. ※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 壁高欄配筋図 (その1)
縮尺	図示
図番	図番番号 216 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	長野工務事務所

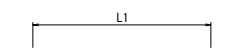
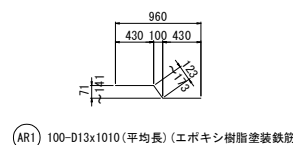
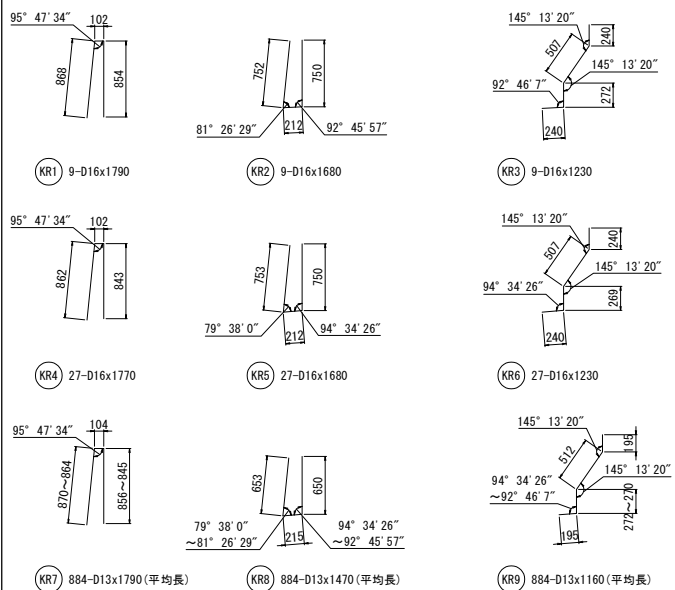
L側 鉄筋加工図



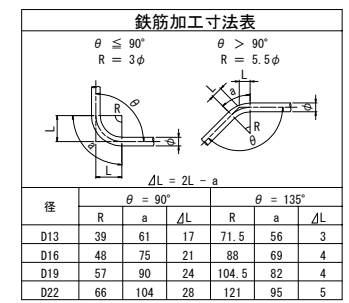
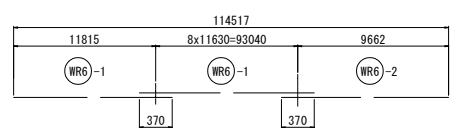
WL.n	N	L1	LL1
WL.1	10	5779	5780
WL.2	60	9900	9900
WL.3	10	5774	5780
WL.4	10	4889	4890
WL.5	10	4893	4900



R側 鉄筋加工図



WR.n	N	L1	LL1
WR.1	10	8145	8150
WR.2	80	9900	9900
WR.3	10	8140	8140
WR.4	10	8909	8910
WR.5	10	8913	8920



L側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
KL1	D16	1940	9	1.56	3.03	27	⌋
KL2	D16	1680	9	1.56	2.62	24	⌋
KL3	D16	1290	9	1.56	2.01	18	⌋
KL4	D16	2020	27	1.56	3.15	85	⌋
KL5	D16	1680	27	1.56	2.62	71	⌋
KL6	D16	1320	27	1.56	2.06	56	⌋
KL7	D13	1990	622	0.995	1.98	1232	⌋ (平均長)
KL8	D13	1490	622	0.995	1.48	922	⌋ (平均長)
KL9	D13	1230	622	0.995	1.22	761	⌋ (平均長)
AL.1	D13	1010	80	0.995	1.01	80	⌋
WL.1	D13	5780	10	0.995	5.75	58	⌋
WL.2	D13	9900	60	0.995	9.85	591	⌋
WL.3	D13	5780	10	0.995	5.75	58	⌋
WL.4	D13	4890	10	0.995	4.87	49	⌋
WL.5	D13	4900	10	0.995	4.88	49	⌋
WL6-1	D13	12000	12	0.995	11.9	143	⌋
WL6-2	D13	11970	2	0.995	11.9	24	⌋
合計						4248	kg
鉄筋質量							SD345 D16 281 kg
"							D13 3887 kg
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (※)							D13 80 kg
合計							4248 kg

※ 印は、エポキシ樹脂鉄筋を示す。

R側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
KR1	D16	1790	9	1.56	2.79	25	⌋
KR2	D16	1680	9	1.56	2.62	24	⌋
KR3	D16	1230	9	1.56	1.92	17	⌋
KR4	D16	1770	27	1.56	2.76	75	⌋
KR5	D16	1680	27	1.56	2.62	71	⌋
KR6	D16	1230	27	1.56	1.92	52	⌋
KR7	D13	1790	884	0.995	1.78	1574	⌋ (平均長)
KR8	D13	1470	884	0.995	1.46	1293	⌋ (平均長)
KR9	D13	1160	884	0.995	1.15	1020	⌋ (平均長)
AR.1	D13	1010	100	0.995	1.01	101	⌋
WR.1	D13	8150	10	0.995	8.11	81	⌋
WR.2	D13	9900	80	0.995	9.85	788	⌋
WR.3	D13	8140	10	0.995	8.10	81	⌋
WR.4	D13	8910	10	0.995	8.87	89	⌋
WR.5	D13	8920	10	0.995	8.88	89	⌋
WR6-1	D13	12000	18	0.995	11.9	215	⌋
WR6-2	D13	9850	2	0.995	9.80	20	⌋
合計						5615	kg
鉄筋質量							SD345 D16 264 kg
"							D13 5250 kg
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (※)							D13 101 kg
合計							5615 kg

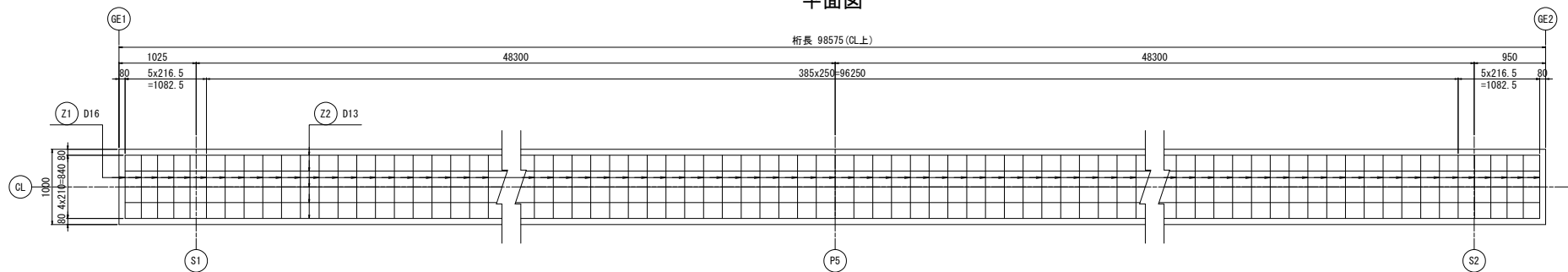
※ 印は、エポキシ樹脂鉄筋を示す。

注記

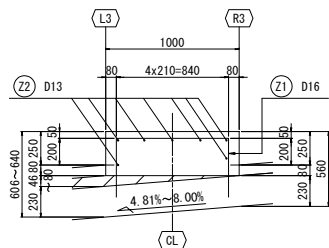
- 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
- コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上廊工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 壁高欄配筋図 (その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	218 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

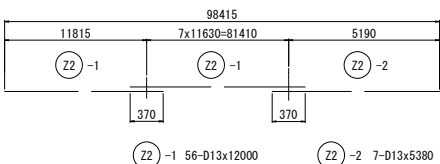
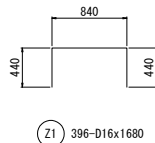
平面図



断面図 S=1:40



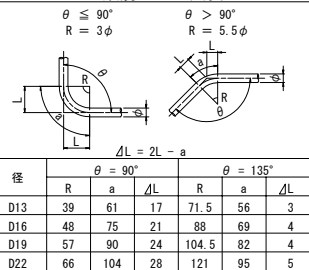
鉄筋加工図



鉄筋表 (中央分離帯)

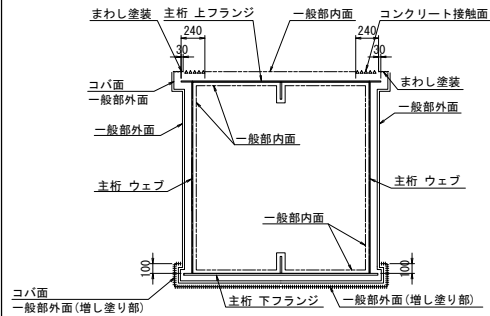
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	質量 (kg)	摘 要
Z1	D16	1680	396	1.56	2.62	1038	
Z2-1	D13	12000	56	0.995	11.9	669	
Z2-2	D13	5380	7	0.995	5.35	37	
合計						1744	kg
鉄筋質量		SD345	D16			1038	kg
		"	D13			706	kg
合計						1744	kg

鉄筋加工寸法表

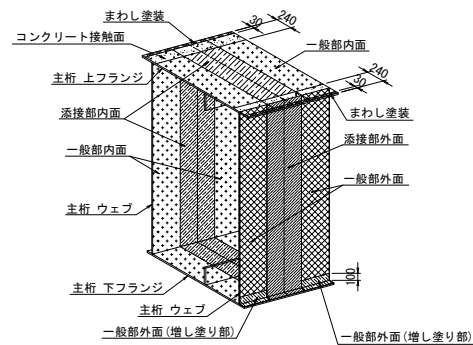


注記
1. 特記なき鉄筋の材質は、SD345とする。
2. コンクリート基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。

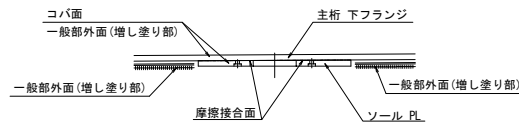
主桁一般部



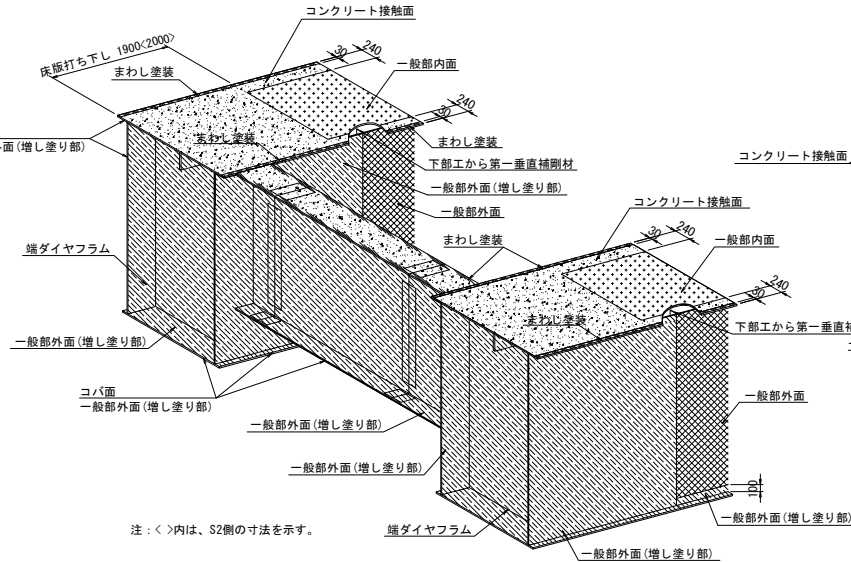
※ 主桁の上フランジ上面は塗装を30mm塗り込む。
主桁の下フランジおよび下フランジ側ウェブ100mmは塗装を増し塗る。



ソールプレート

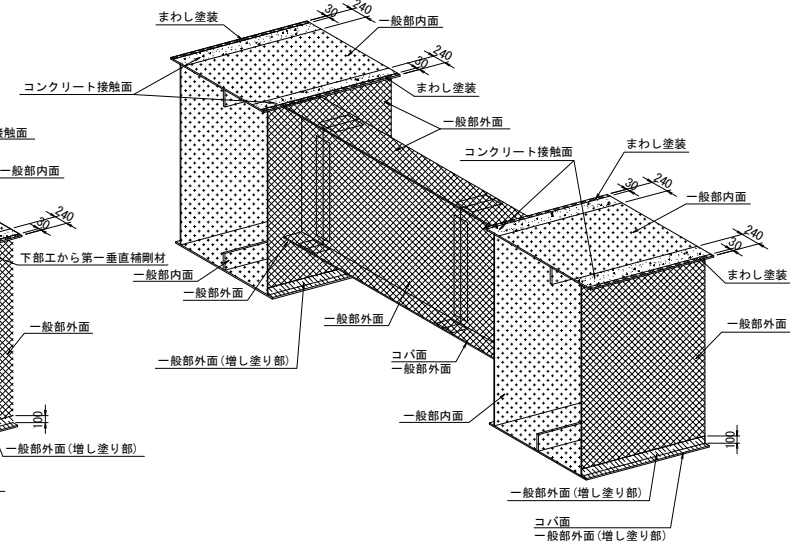


桁端部

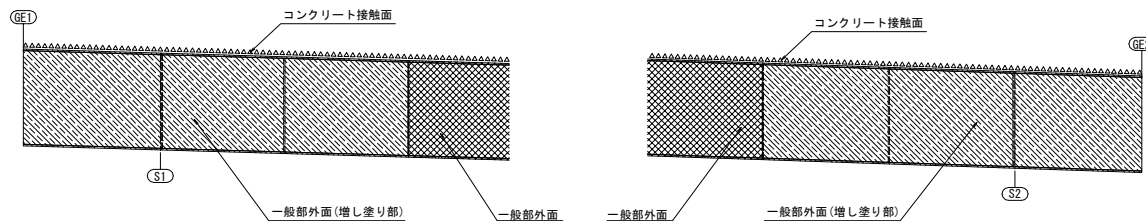


注：〈 〉内は、S2側の寸法を示す。

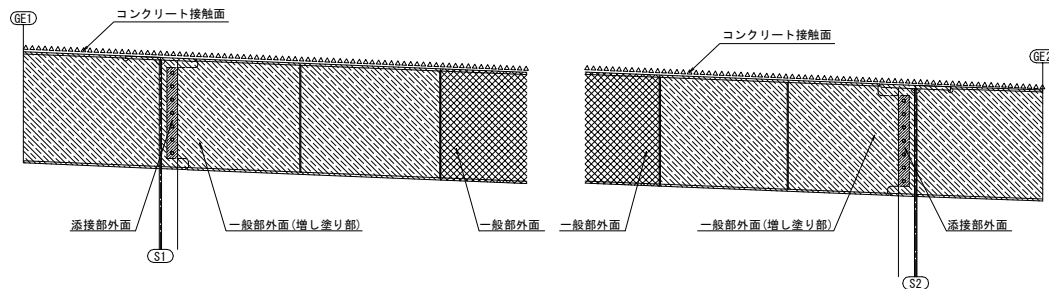
一般部













側縱桁



中縦桁

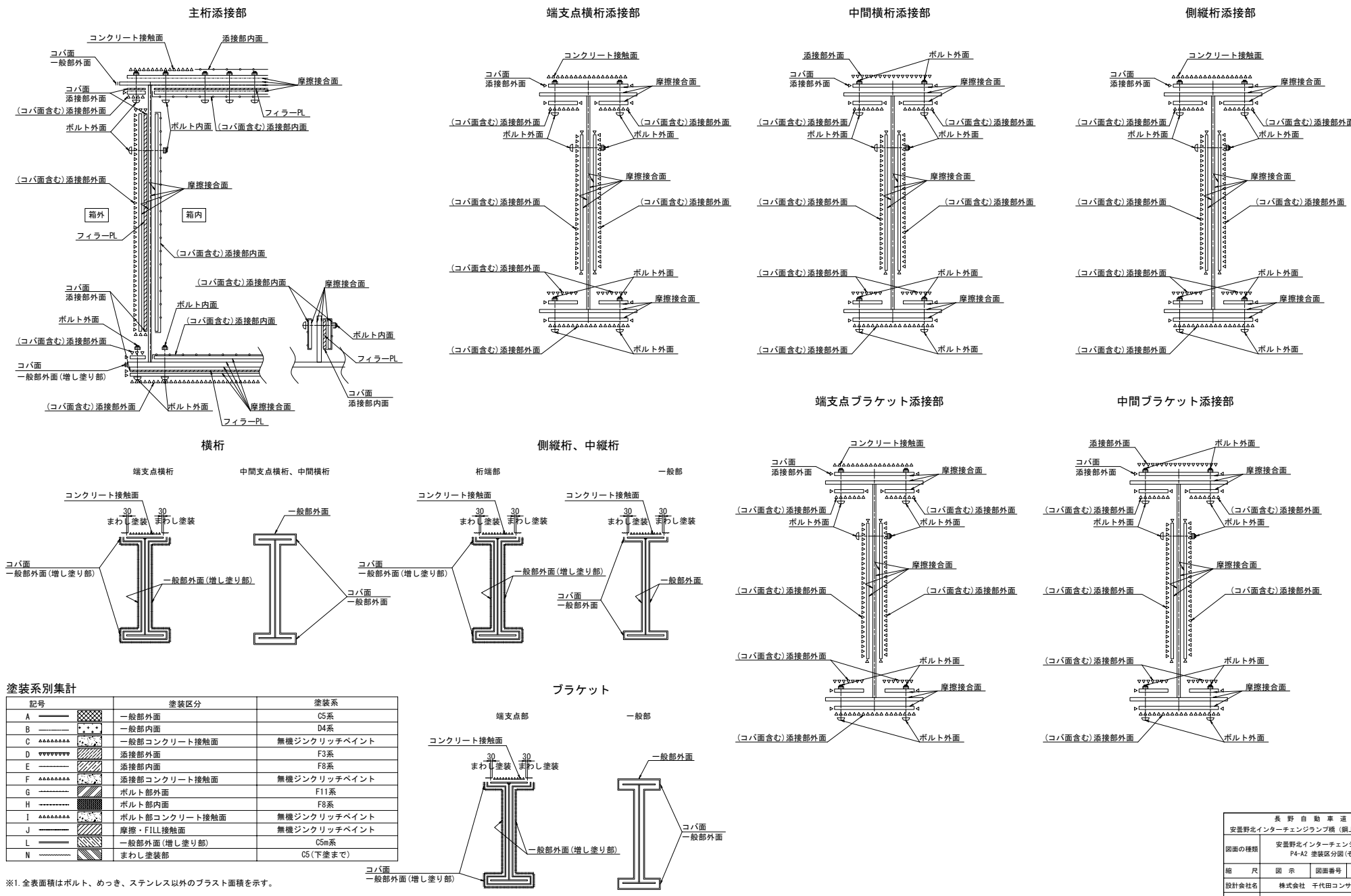


塗装系別集計

記号	塗装区分	塗装系
A 	一般部外面	C5系
B 	一般部内面	D4系
C 	一般部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
D 	添接部外面	F3系
E 	添接部内面	F8系
F 	添接部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
G 	ボルト部外面	F11系
H 	ボルト部内面	F8系
I 	ボルト部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
J 	摩擦・FILL接触面	無機ジンクリッチペイント
L 	一般部外面(増し塗り部)	C5m系
N 	まわし塗装部	C5(下塗まで)

※1.全表面積はボルト、めっき、ステンレス以外のブラスト面積を示す。

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(網上部工)工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 塗装区分図(その1)
縮 尺	図 示 図面番号 220 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工区事務所



塗装系集計

記号	塗装区分	塗装系
A	一般部外面	C5系
B	一般部内面	D4系
C	一般部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
D	添接部外面	F3系
E	添接部内面	F8系
F	添接部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
G	ボルト部外面	F11系
H	ボルト部内面	F8系
I	ボルト部コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント
J	摩擦・FILL接触面	無機ジンクリッチペイント
L	一般部外面(増し塗り部)	C5m系
N	まわし塗装部	C5(下塗りまで)

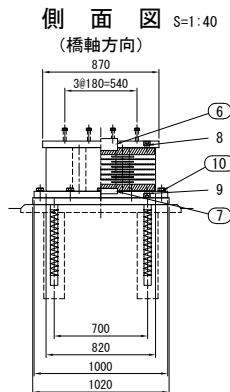
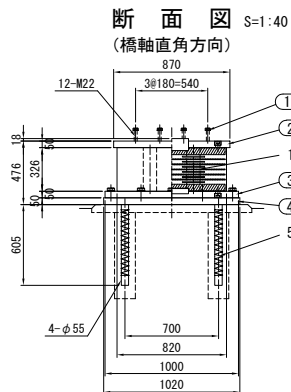
※1. 全表面積はボルト、めっき、ステンレス以外のプラスト面積を示す。

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その1)

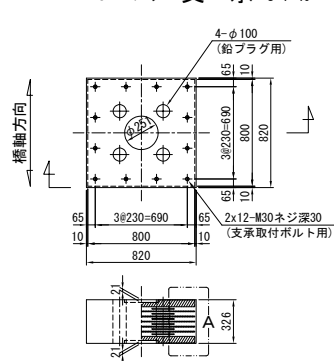
S=1:40

支承 E-2 (A) 820・820・32・6 (1.2)

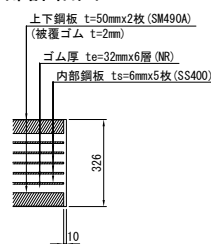
(P4終点側) 設計条件



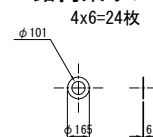
① ゴム支承 S=1:40



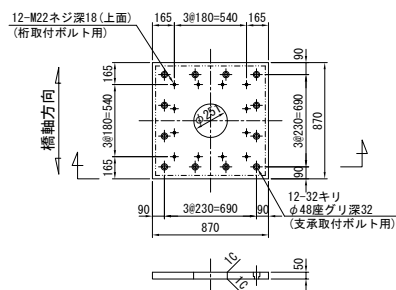
A部詳細図 S=1:20



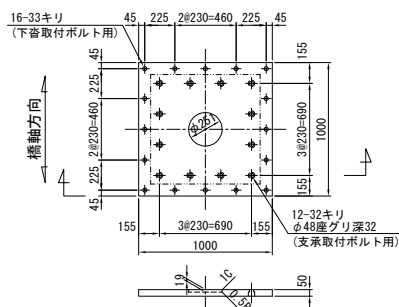
鉛拘束リング S=1:40



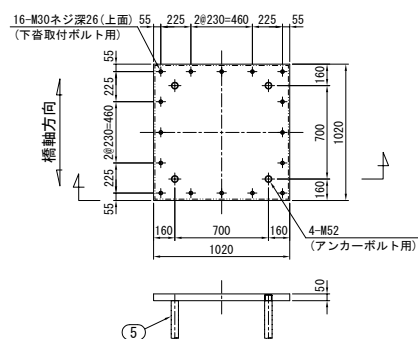
② 上 沓 S=1:40



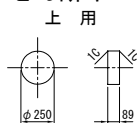
③ 下 沓 S=1:40



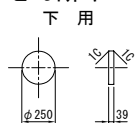
④ ベースプレート S=1:40



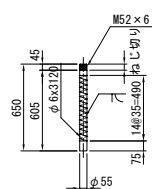
⑥ せん断キー S=1:40



⑦ せん断キー S=1:40



⑤ アンカーボルト S=1:40



反力 (kN)		P4R
最大反力	Rmax	4170
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	2580
死荷重反力	RD	2440
照査荷重	R1L	865
最大水平力	橋軸方向	RHeq1
	橋軸直角方向	RHeq2
	サイドブロック	RHeq3
上向きの地震力	Ru	-768
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	0.600
回転変位量	δr	1.569
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1
	地震時・橋軸方向	ΔLe1
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G12
等価剛性 (kN/mm)	KB	4.037
等価減衰定数 (%)	hB	12.3
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB
1次形状係数	S1	5.94
2次形状係数	S2	4.17
圧縮ばね定数 (kN/mm)※参考	Kv	1017

材料表 (1組当り)

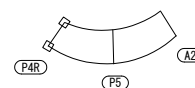
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	925.3	NR(天然ゴム)
②	上 沓	SM490A	1	270.2	
③	下 沓	SM490A	1	372.8	
④	ベースプレート	SM490A	1	402.8	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	51.4	
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	34.3	上 用
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	15.0	下 用
8	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	上 用
9	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	下 用
⑩	下沓取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	11.7	
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	4.7	
合計				2100.8	(kg)

数量表

工 種	単 位	数 量
寄座モルタル	m ³	0.4

- ※1 道路橋支承便覧(H30)準拠。
 ※2 使用材料は道路橋支承便覧第3章に適合。
 ※3 部番で○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
 JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
 ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
 ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
 ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
 ※7 アイボルト穴は用済み後処理のこと。
 ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
 ※9 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
 ※10 部番⑩⑪ボルトは、BBOCAP (シリコーン)を施すこと。

位置図



長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	222 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その2)

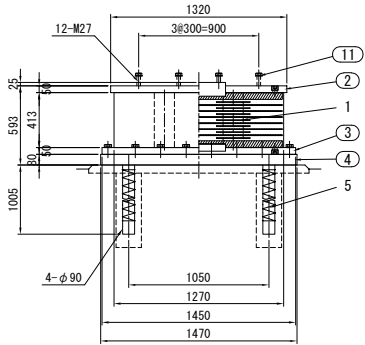
S=1:40

223 / 256

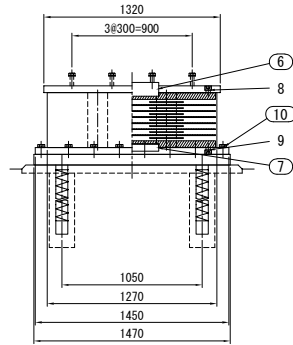
支承 E-8 (A) 1270・1270・39・7 (1.2)

設計条件

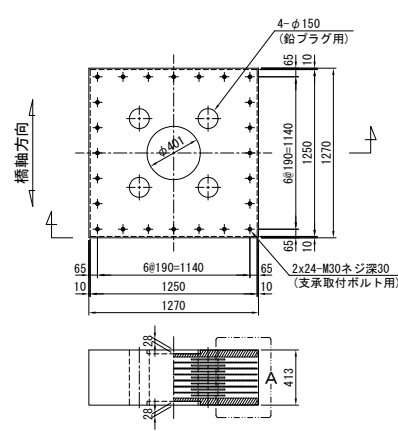
断面図 S=1:40
(橋軸直角方向)



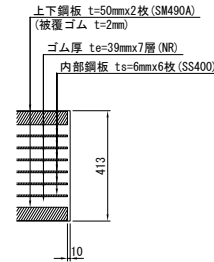
側面図 S=1:40
(橋軸方向)



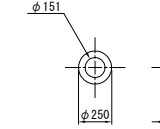
① ゴム支承 S=1:40



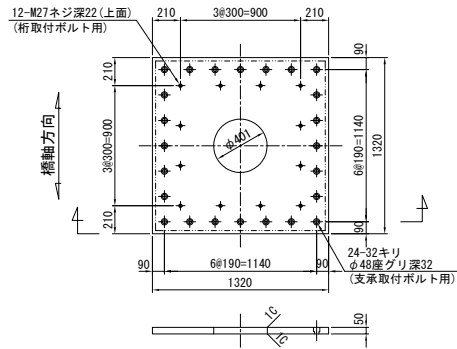
A部詳細図 S=1:20



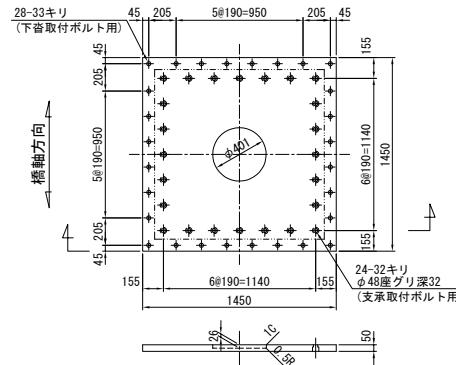
鉛拘束リング S=1:40
4x7=28枚



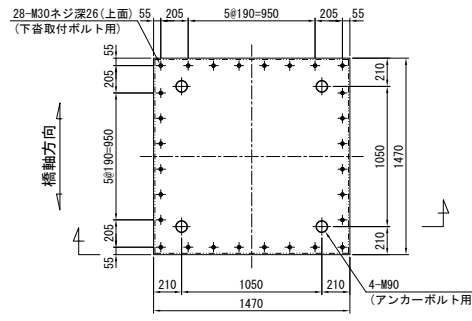
② 上沓 S=1:40



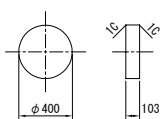
③ 下沓 S=1:40



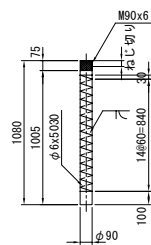
④ ベースプレート S=1:40



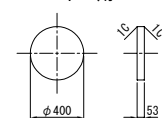
⑥ せん断キー S=1:40
上 用



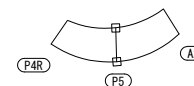
⑤ アンカーボルト S=1:40



⑦ せん断キー S=1:40
下 用



位置図



反力 (kN)		P5
最大反力	Rmax	11000
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	8370
死荷重反力	RD	8140
照査荷重	RIL	-
最大水平力	橋軸方向	RHeq1
	橋軸直角方向	RHeq2
	サイドブロック	RHeq3
上向きの地震力	Ru	-2564
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	-
回転変位量	δr	2.561
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1
	地震時・橋軸方向	ΔLe1
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料-G	NR-G12
等価剛性 (kN/mm)	KB	6.927
等価減衰定数 (%)	hB	11.5
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB
1次形状係数	S1	7.65
2次形状係数	S2	4.58
圧縮ばね定数 (kN/mm)※参考	Kv	2257

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	2548.1	NR(天然ゴム)
②	上 沓	SM490A	1	619.5	
③	下 沓	SM490A	1	776.4	
④	ベースプレート	SM490A	1	1337.0	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	220.1	
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	101.6	上 用
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	52.3	下 用
8	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	24	12.6	上 用
9	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	24	12.6	下 用
⑩	下沓取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	28	20.4	
⑪	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	12	7.8	
合計				5708.4	(kg)

数量表

工 種	単 位	数 量
畜産モルタル	m ³	1.0

- ※1 道路橋支承便覧(H30)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支承便覧第3章に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
- ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※9 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
- ※10 部番⑩⑪ボルトは、BBCAP (シリコン)を施すこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	223 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その3)

S=1:40

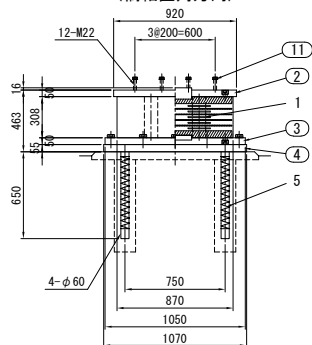
224 / 256

支承 E-4 (A) 870・870・36・5 (1.0)

(A2) 設計条件

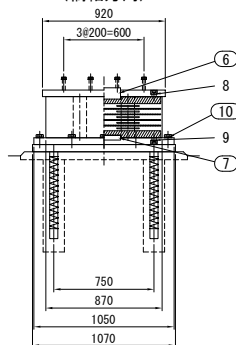
断面図 S=1:40

(橋軸直角方向)

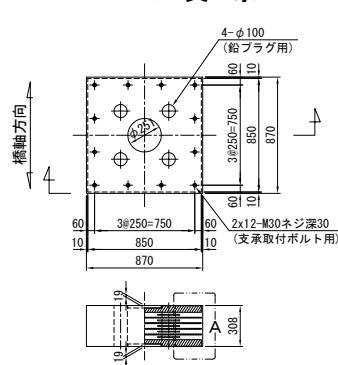


側面図 S=1:40

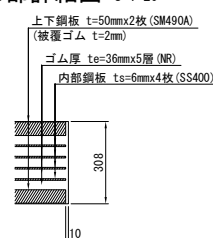
(橋軸方向)



① ゴム支承 S=1:40

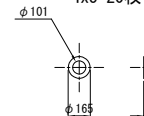


A部詳細図 S=1:20

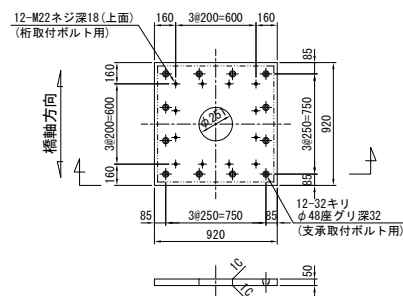


鉛拘束リング S=1:40

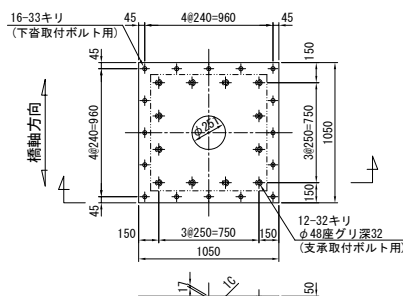
4x5=20枚



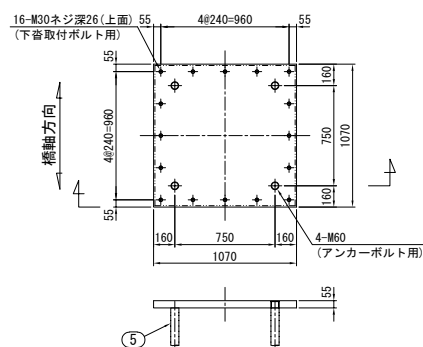
② 上沓 S=1:40



③ 下沓 S=1:40

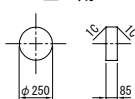


④ ベースプレート S=1:40



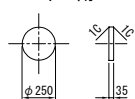
⑥ せん断キー S=1:40

上用

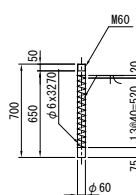


⑦ せん断キー S=1:40

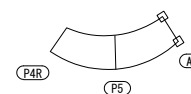
下用



⑤ アンカーボルト S=1:40



位置図



反力 (kN)		A2
最大反力	Rmax	4740
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	2250
死荷重反力	RD	2850
照査荷重	R1L	950
最大水平力	橋軸方向	RHeq1
	橋軸直角方向	RHeq2
	サイドブロック	RHeq3
上向きの地震力	Ru	-896
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	0.973
回転変位量	δr	1.749
水平変位量	温度時・橋軸方向	ΔL1
	地震時・橋軸方向	ΔLe1
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10
等価剛性 (kN/mm)	KB	4.089
等価減衰定数 (%)	hB	13.2
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB
1次形状係数	S1	5.65
2次形状係数	S2	4.72
圧縮ばね定数 (kN/mm)※参考	Kv	976

材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承	NR, SS400, SM490A, Pb	1	981.9	NR(天然ゴム)
②	上沓	SM490A	1	305.3	
③	下沓	SM490A	1	413.8	
④	ベースプレート	SM490A	1	487.1	
5	アンカーボルト	S35CN, SR235	4	65.1	
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	32.8	上用
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	13.5	下用
8	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	上用
9	支承取付ボルト M30	強度区分 10.9	12	6.3	下用
⑩	下沓取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	16	11.7	
⑪	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	12	4.7	
合計				2328.5	(kg)

数量表

工種	単位	数量
寄座モルタル	m3	0.4

- ※1 道路橋支保便覧(H30)準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保便覧第3章に適合。
- ※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
- ※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※9 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
- ※10 部番⑩⑪ボルトは、BBCAP (シリコーン)を施すこと。

- ⑧ 支承取付ボルト M30 x 50 強度区分 10.9 (上用)
- ⑨ 支承取付ボルト M30 x 50 強度区分 10.9 (下用)
- ⑩ 下沓取付ボルト, ワッシャー M30 x 80 強度区分 8.8
- ⑪ 桁取付ボルト, ワッシャー M22 x 100 強度区分 8.8

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 支承詳細図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	224 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

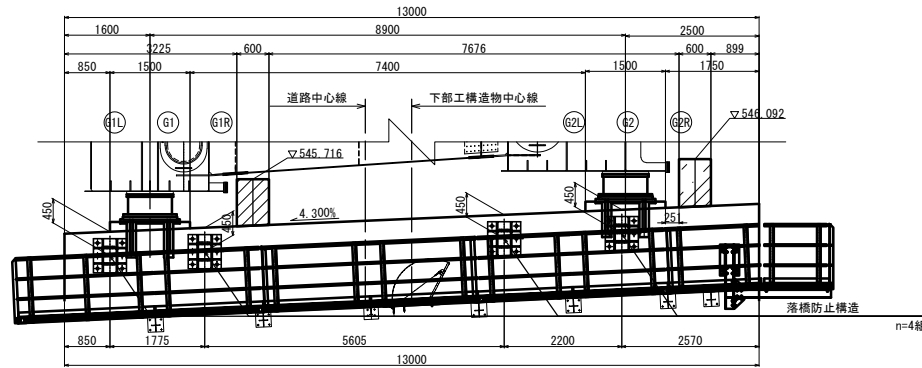
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図(その1) S=1:50

227 / 256

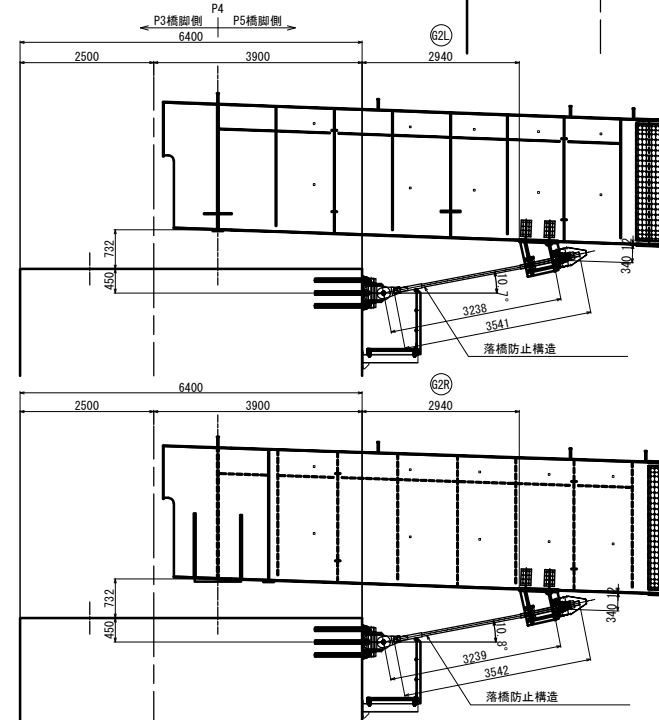
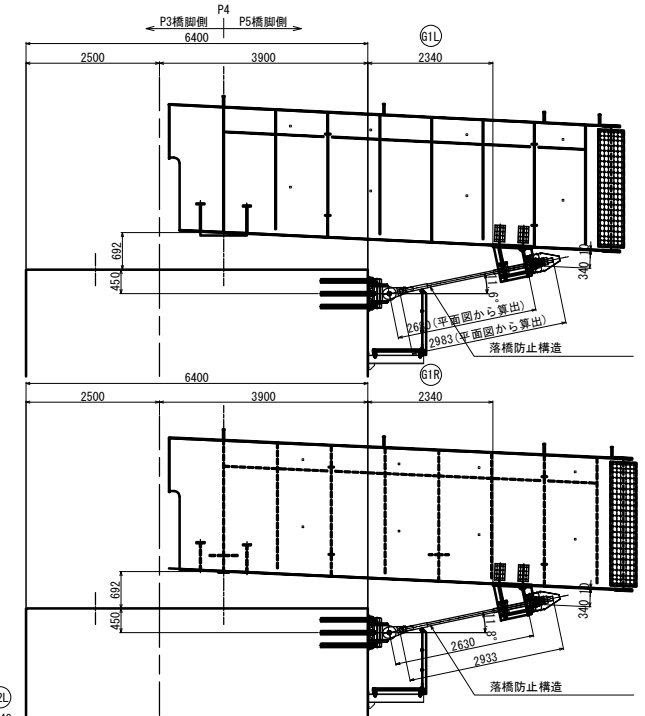
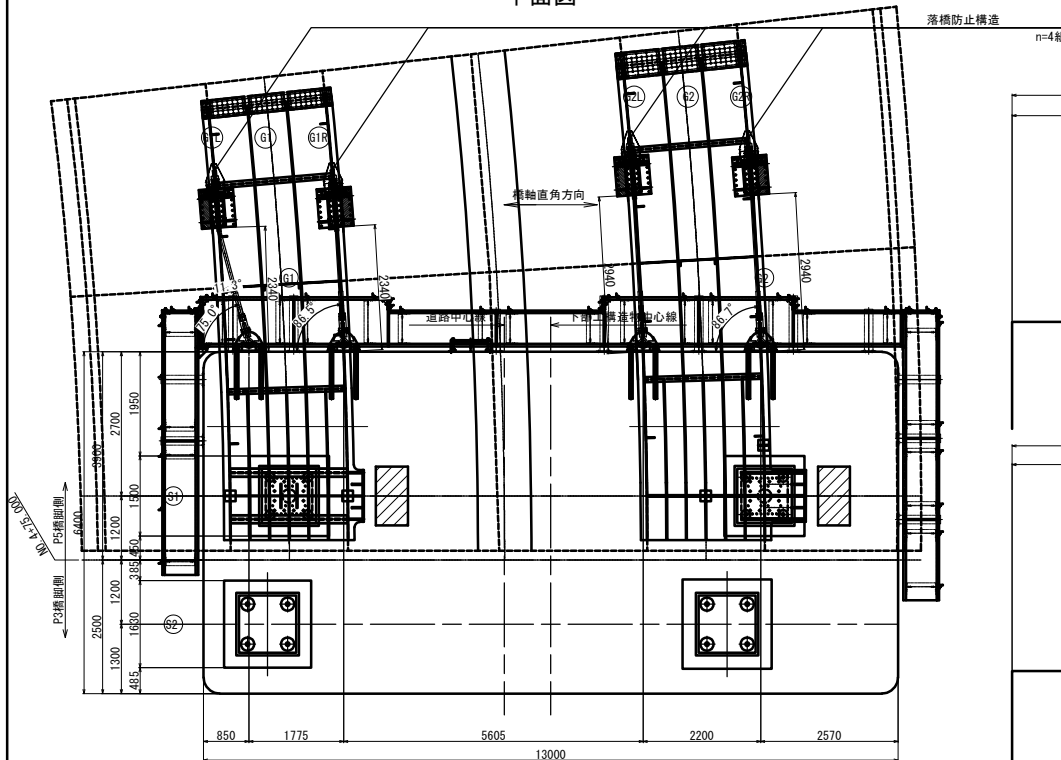
P4橋脚(終点側) : 取付図
落橋防止構造 P 1-1 4 8 8 (1 7 5) (A)

側面図

正面図



平面図



落橋防止構造の仕様表	
死荷重反力 (Rd)	3810 (kN)
設計水平力 (Hf)	5715 (kN)
1本当たりの引張力 (P)	1488 (kN)
設計移動量 (SF)	175mm

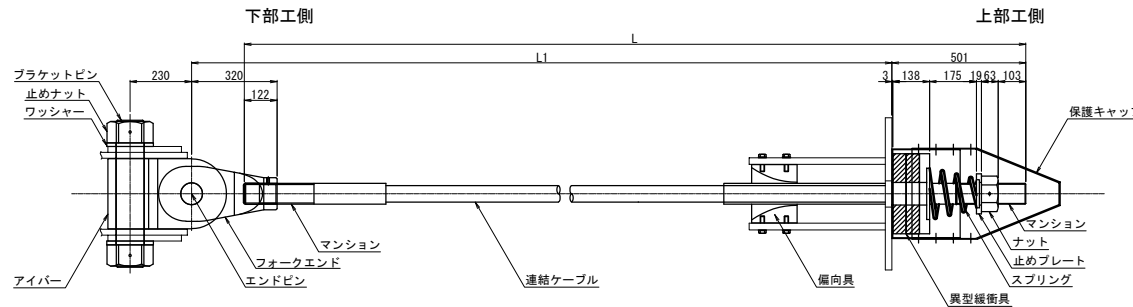
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	227 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図(その2) (参考図) S=1:10

228 / 256

P4橋脚(終点側): 取付詳細図及び部品図
落橋防止構造 P 1-1 4 8 8 (1 7 5) (A)

取付詳細図

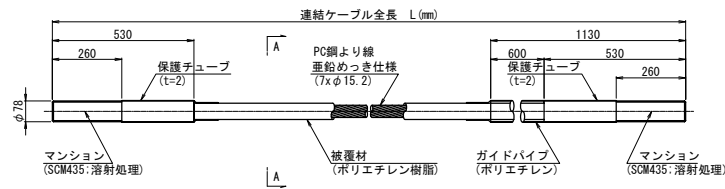


材料表 (落橋防止構造1組当たり)

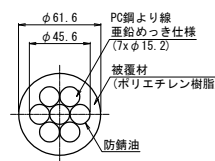
全4組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	重 量 (kg)
連結ケーブル	1554kNタイプ L(mm)	本	1	PC鋼より線、垂鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	
(マンション)	1554kNタイプ標準	個	2	SCM435、垂鉛アルミ溶射、ねじり標準 <ケーブルに組込>	
(ガイドパイプ)	1554kNタイプ 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	A
ナット	1554kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	3.0
止めプレート	1554kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77)	1.6
スプリング	1554kNタイプ L=350	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理	1.5
異型緩衝具	1554kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	26.6
偏向具	1554kNタイプ	個	1	ポリエチレン	7.7
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	2.1
保護キャップ	1554kNタイプ	組	1	ポリエチレン:8-止めビス付	2.5
ブラケットピン	1554kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート	34.9
止めナット	1554kNタイプ	個	2	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	14.6
ワッシャー	1554kNタイプ	個	2	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77)	3.4
アイバー	1554kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	51.9
フォークエンド	1554kNタイプ	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)	37.0
エンドピン (ピン)	1554kNタイプ	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート	
(止めプレート)	1554kNタイプ	個	1	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT77)	6.0
(1組あたり)					B
(全組あたり)					C

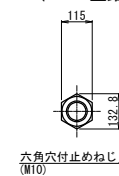
連結ケーブル



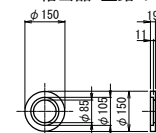
A-A断面図 S=1:2



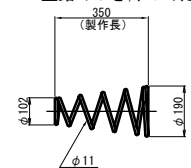
ナット (S45C:垂鉛めっき)



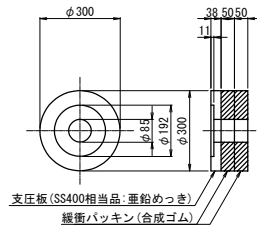
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



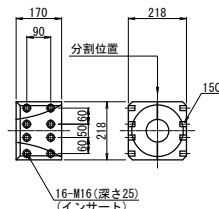
スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



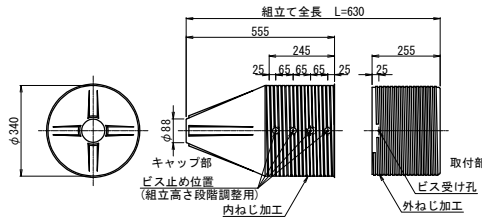
異型緩衝具 (支柱板+緩衝パッキン)



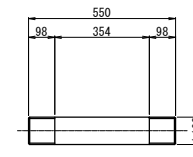
偏向具 (ポリエチレン)



保護キャップ (ポリエチレン)



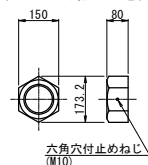
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



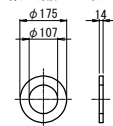
重量表	A (kg)	B (kg)	C (kg)
G1L	58.9	251.7	
G1R	58.4	251.2	
G2L	64.4	257.2	
G2R	64.4	257.2	

寸法表	L1 (mm)	L (mm)
G1L	2680	2983
G1R	2630	2933
G2L	3238	3541
G2R	3239	3542

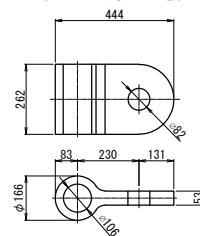
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



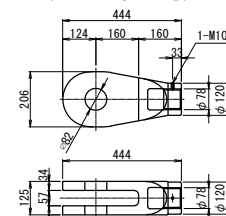
ワッシャー (SS400相当品:垂鉛めっき)



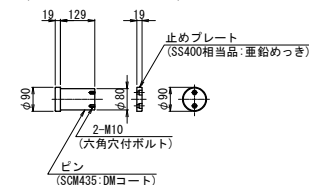
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



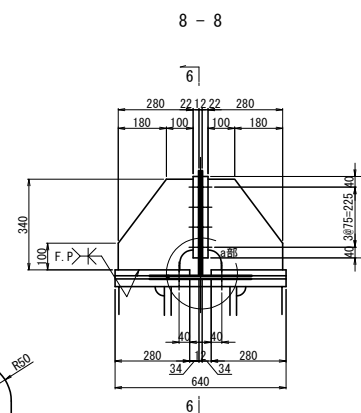
エンドピン (ピン+止めプレート)



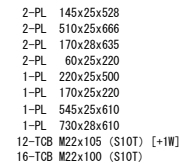
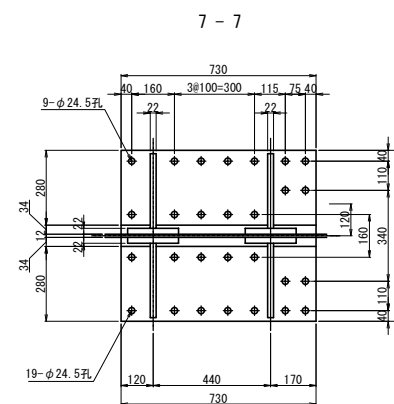
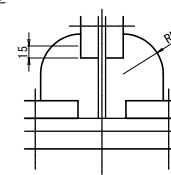
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図 (その2) (参考図)
縮 尺	図 示 図面番号 228 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所

桁補強部材詳細図



a部詳細



2-PL 280x22x730 (SM400A)
4-PL 280x22x340 (SM400A)
4-PL 190x22x305 (SM400A)
16-TCB M22x90 (\$10T)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部エラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. ★の力点ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
6. 「F」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-2 落橋防止構造図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	229 / 250
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野自動車事務所		

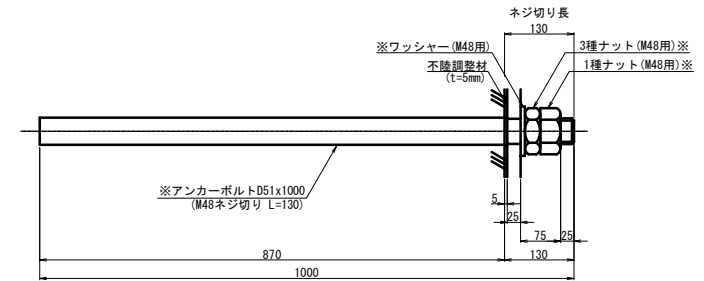
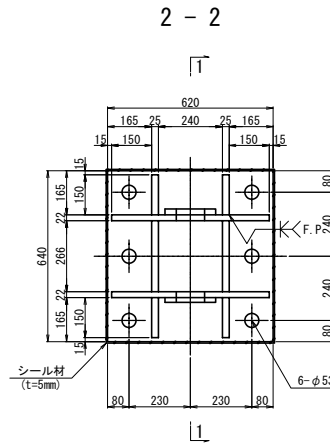
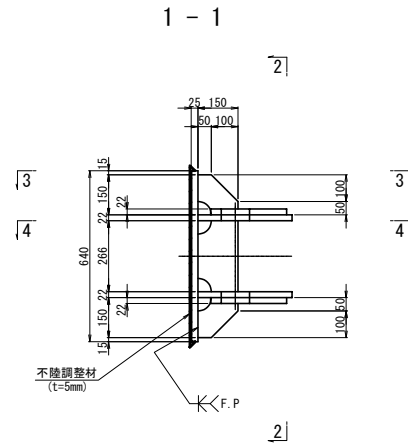
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図(その4) S=1:10

230 / 256

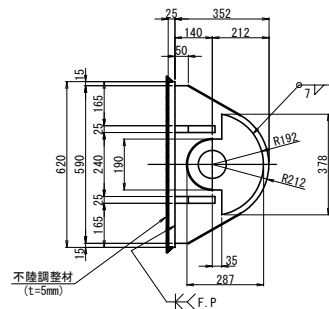
P4橋脚(終点側):下部エブラケット詳細図
落橋防止構造 P 1-1 4 8 8 (1 7 5) (A)

下部エブラケット詳細図

※アンカーボルト詳細図 S=1:5



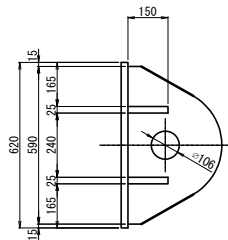
3-3



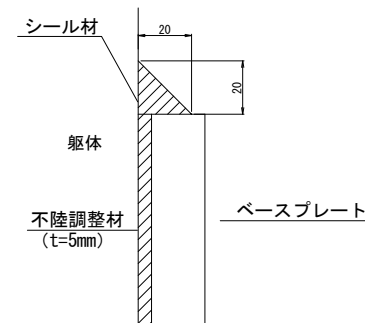
ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 287x22x378
- 2-PL 352x22x590
- 4-PL 150x25x150
- 2-PL 150x25x266
- 1-PL 620x25x640
- 6-Ano Bolt D51x1000 (SD345)
- 6-1種 Nut M48用 (SS400)
- 6-3種 Nut M48用 (SS400)
- 6-Washer M48用 (SS400)

4-4



シール材詳細図 S=1:1



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上りとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
 - ボルト・ナット類はHDZT49とする。ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。
 - 鋼製部材の周囲には、シール材 (t=20mm) によりシーリングを行うこと。
 - 「F.P」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 - ※印 別造工事施工

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図 (その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	230 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

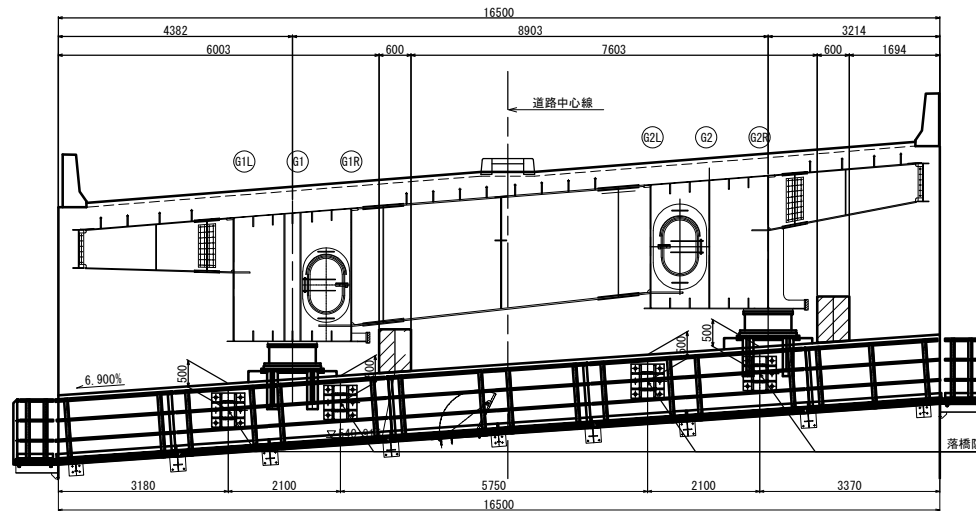
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図(その5) S=1:50

231 / 256

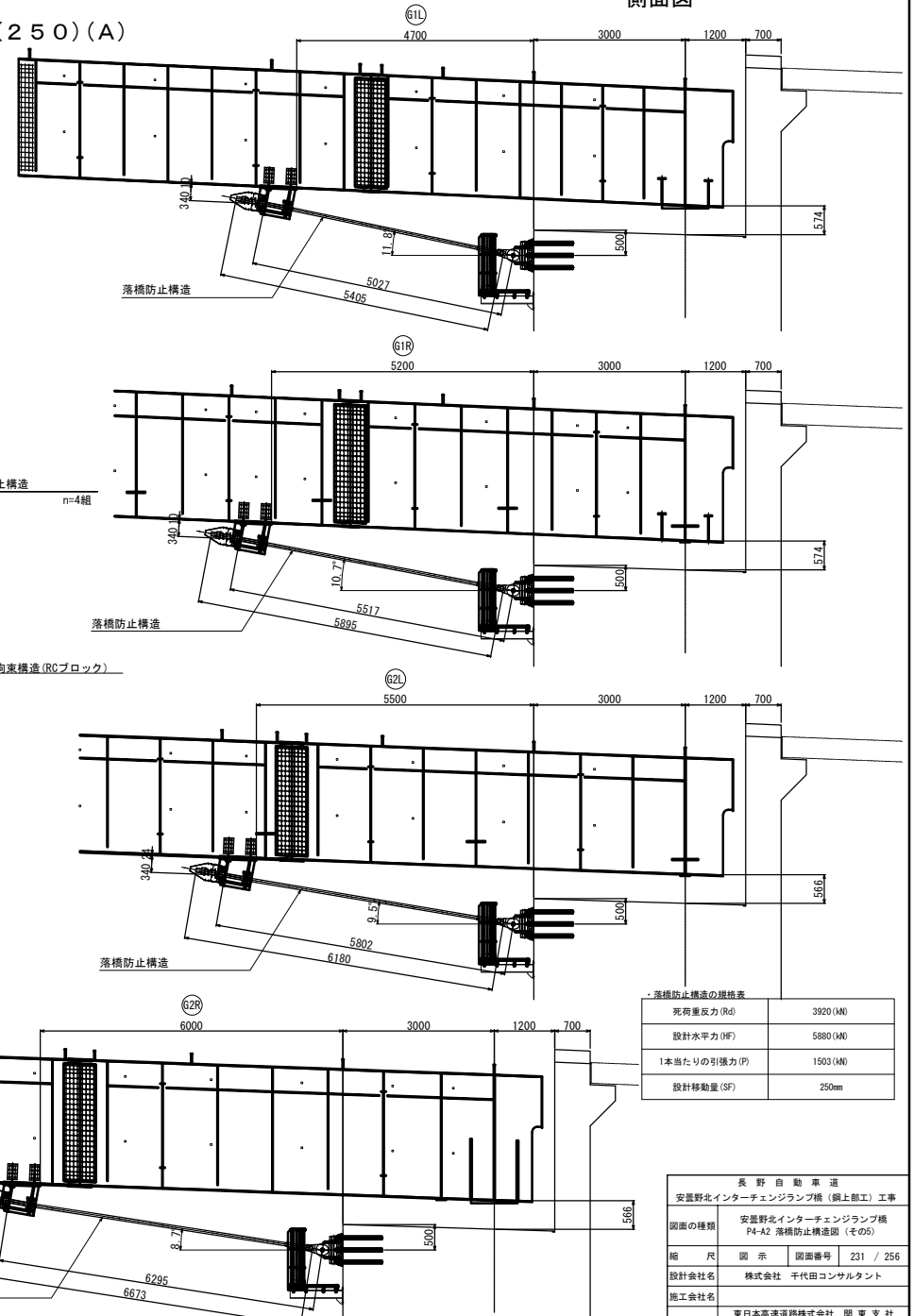
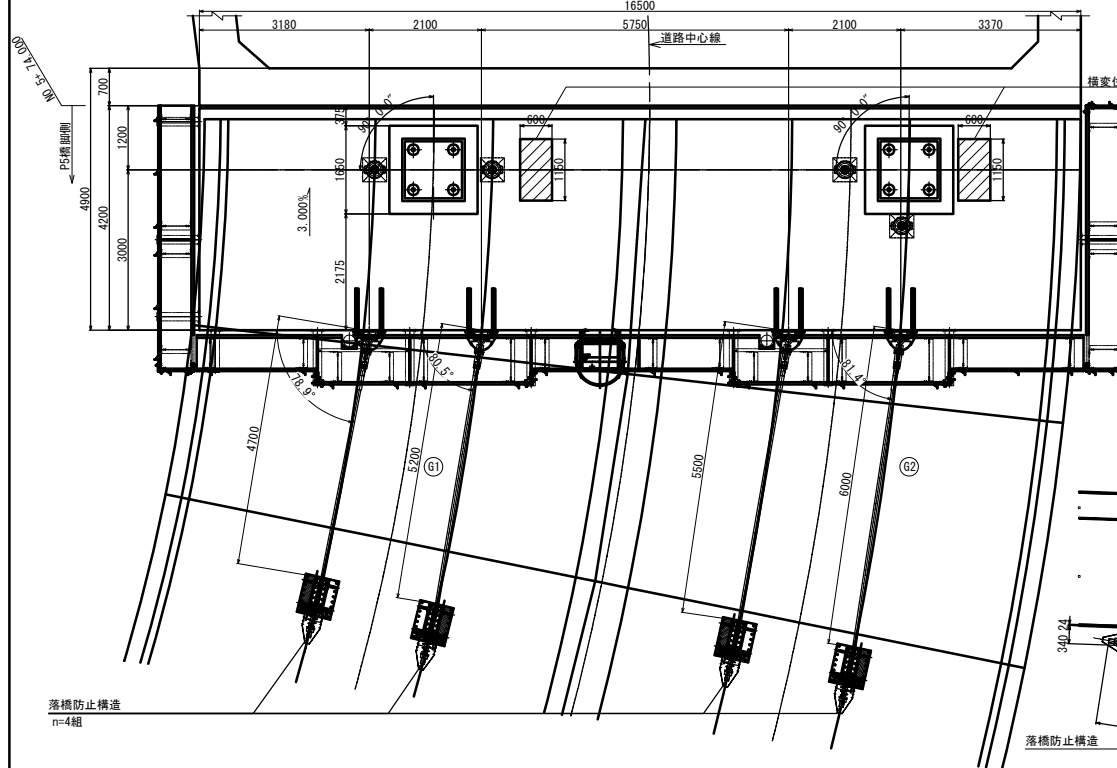
A2橋台：取付図
落橋防止構造 P1-1503(250)(A)

側面図

正面図



平面図



・落橋防止構造の規格表

死荷重反力 (Rd)	3920 (kN)
設計水平力 (Hf)	5880 (kN)
1本当たりの引張力 (P)	1503 (kN)
設計移動量 (SF)	250mm

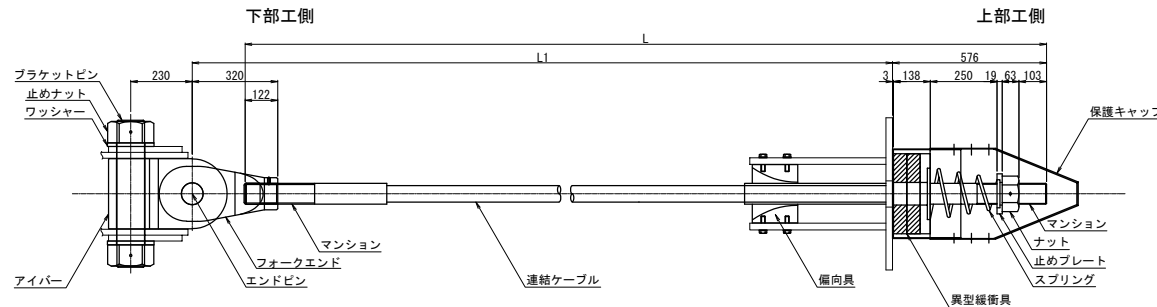
長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上り工）工事
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図（その5）
縮尺	図示
図面番号	231 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

S=1:10

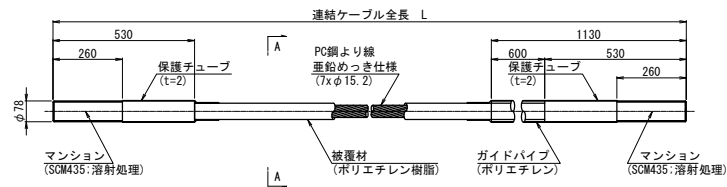
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全4組

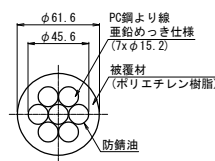
取付詳細図



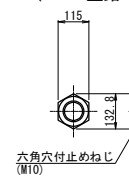
連結ケーブル



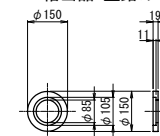
A-A断面图 S=1:2



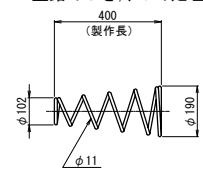
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



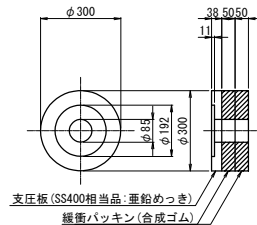
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



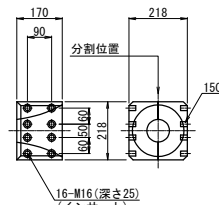
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理)



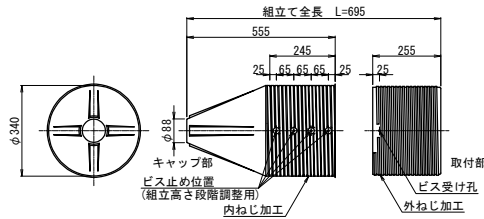
異型緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



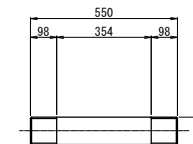
偏 向 具
(ポリエチレン)



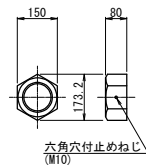
保護キャップ
(ポリエチレン)



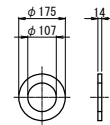
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



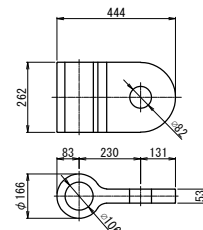
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



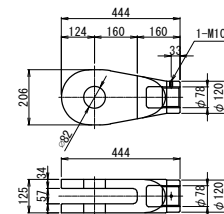
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



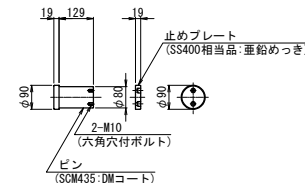
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)



重量表

	A (kg)	B (kg)	C (kg)
G1L	82.7	275.5	1117.8
G1R	87.5	280.3	
G2L	90.3	283.1	
G2R	95.1	278.9	

寸法表

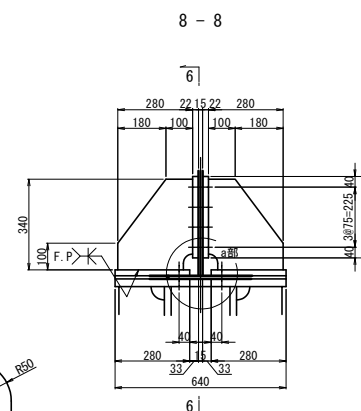
	L1 (mm)	L (mm)
G1L	5027	5405
G1R	5517	5895
G2L	5802	6180
G2R	6295	6673

注記)

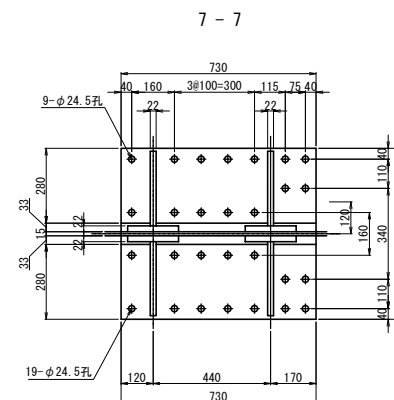
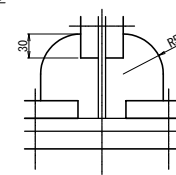
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図（その6）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	232 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

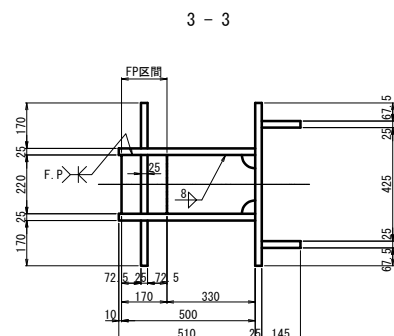
桁補強部材詳細図



a部詳細



a部詳細



ブラケット1基当り(製作数:4基)

2-PL 145x25x51
2-PL 510x25x598
2-PL 170x25x576
2-PL 60x25x220
1-PL 220x25x500
1-PL 170x25x220
1-PL 534x25x610
1-PL 730x28x610
12-TCB M22x115 (S10T) [+1W]
16-TCB M22x110 (S10T)

ブラケット1基当り(製作数:4基)

2-PL 280x22x730 (SM400A)
4-PL 280x22x340 (SM400A)
4-PL 190x22x305 (SM400A)
16-TCB M22x90 (\$10T)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部ワークレット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. ★の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
6. 「F.P.」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上座工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造橋（そのの）			
縮 尺	図 示	図面番号	233 / 25	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

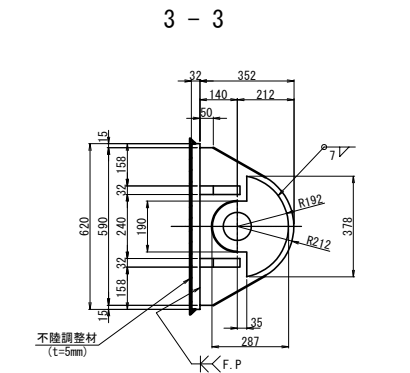
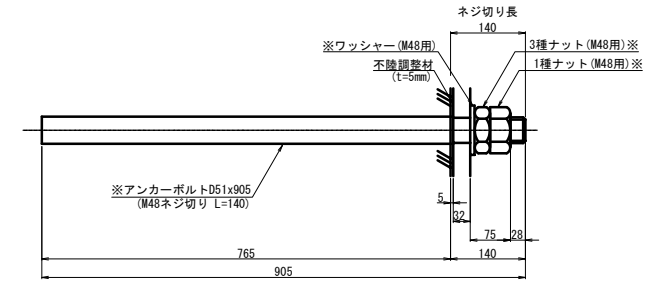
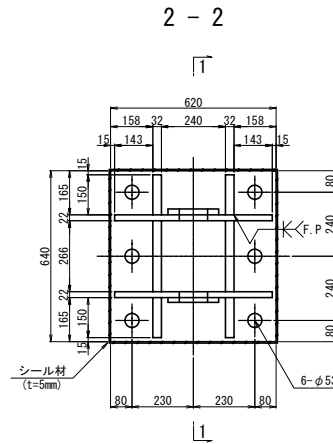
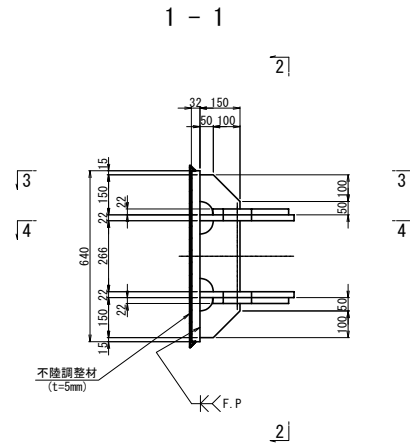
安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図(その8) S=1:10

234 / 256

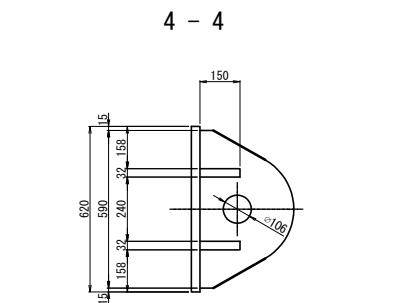
A2橋台:下部エブラケット詳細図
落橋防止構造 P 1-1 5 0 3 (2 5 0) (A)

下部エブラケット詳細図

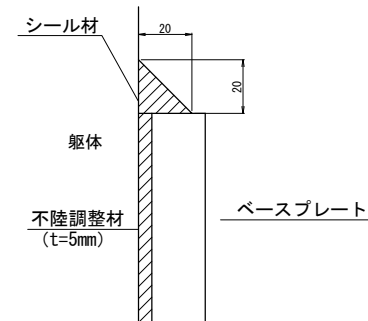
※アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:4基)
2-PL 287x22x378
2-PL 352x22x590
4-PL 150x32x150
2-PL 150x32x266
1-PL 620x32x640
6-Ano Bolt D51x905 (SD345)
6-1種 Nut M48用 (SS400)
6-3種 Nut M48用 (SS400)
6-Washer M48用 (SS400)



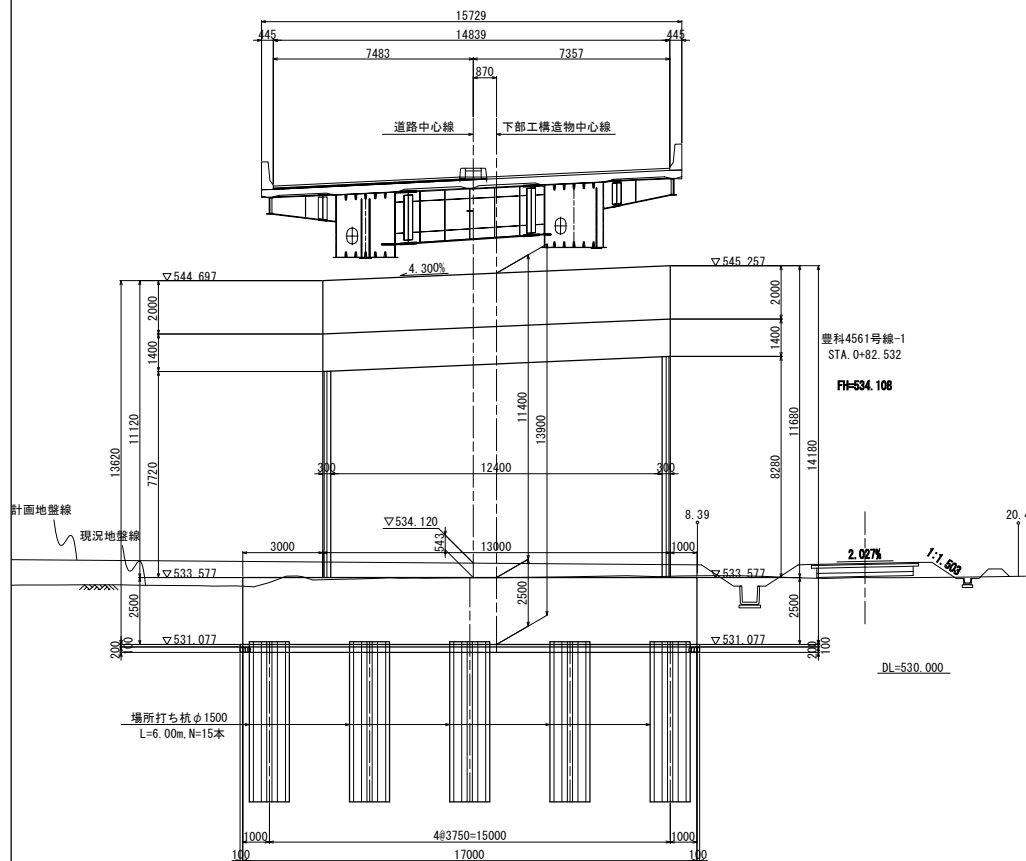
シール材詳細図 S=1:1



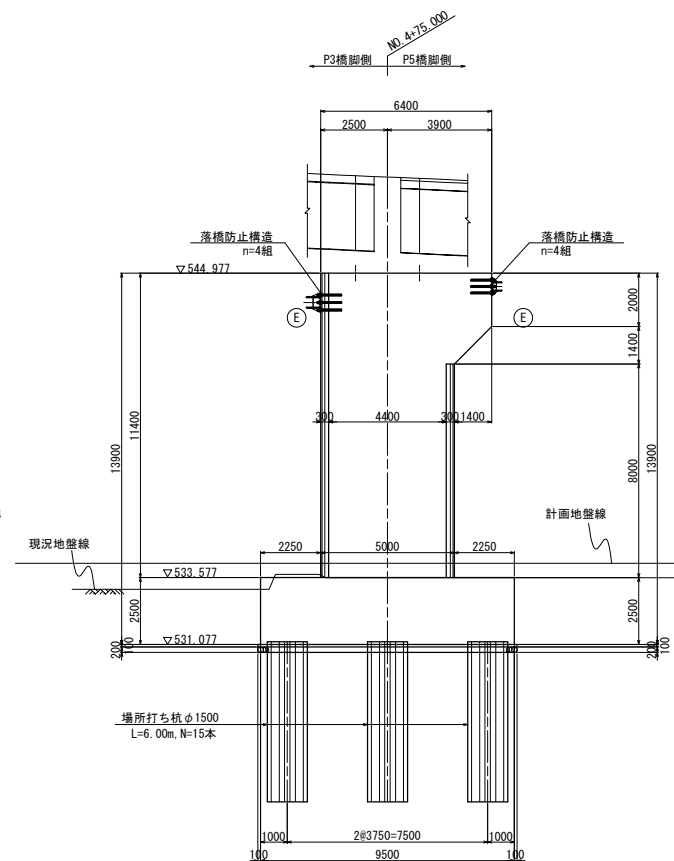
- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400とする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 部材は、全て溶融垂れめつき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
 - ボルト・ナット類はHDZT49とする。但し、ボルト・ナット類は、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。
 - 鋼製部材の周囲には、シール材 (t=20mm) によりシーリングを行うこと。
 - 「F.P」の表記のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 - ※印 別造工事施工

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上り工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4-A2 落橋防止構造図 (その8)		
縮尺	図示	図面番号	234 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

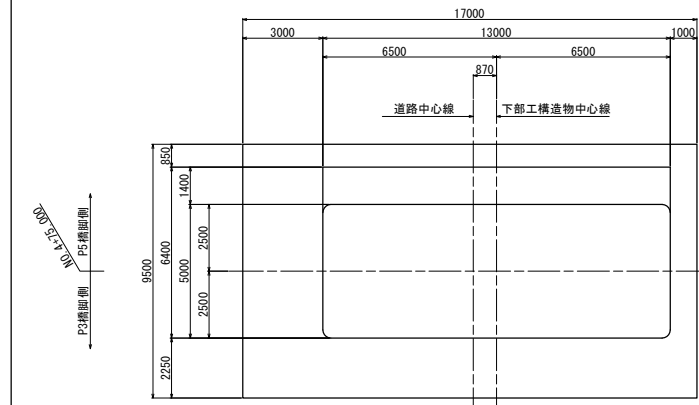
正面図



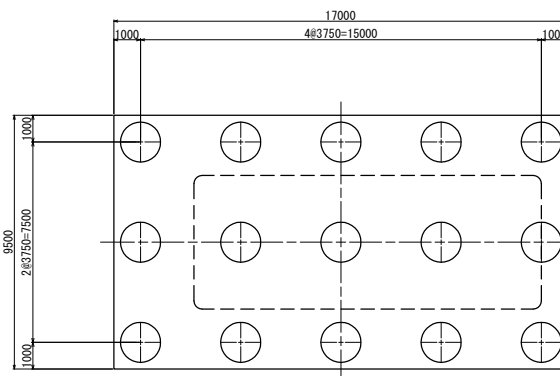
側面図



平面図

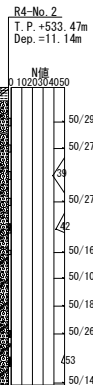
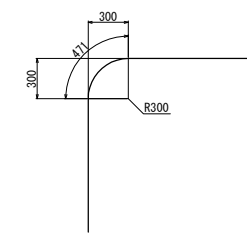


杭配置図



柱面取り詳細図

S=1:40



下部施工材料基準強度

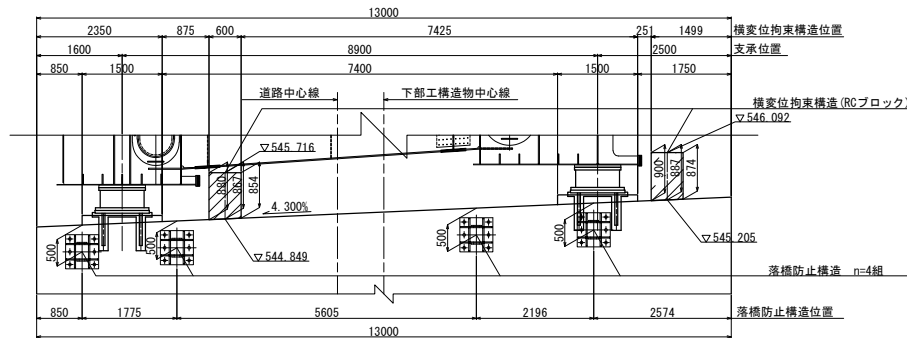
	コンクリート	鉄 筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ (36)	SD490
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

() 内は呼び強度を表す

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上構工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その1) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	235 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 岡 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所		

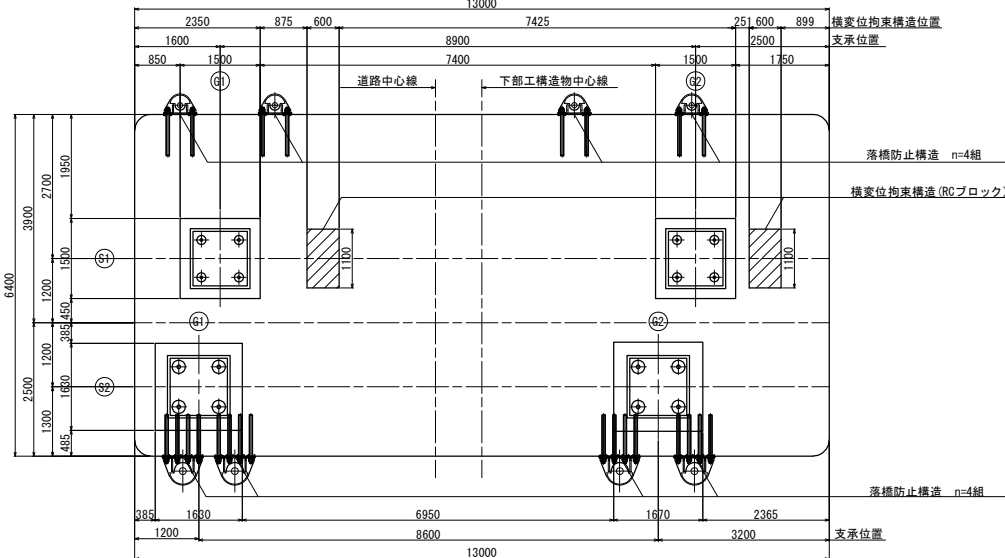
橋座部正面図 S=1:100

終点側(S1)



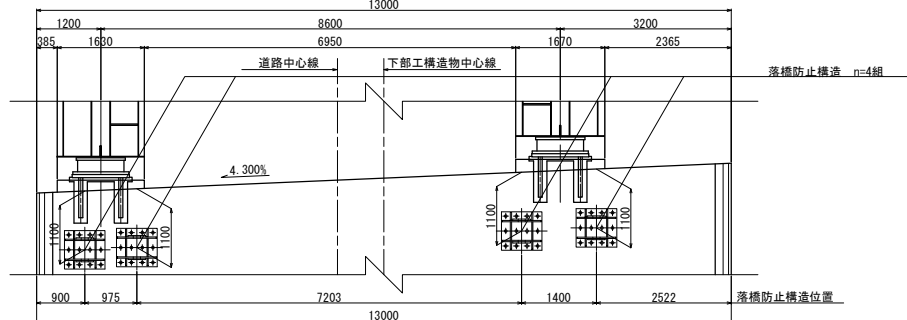
橋座部平面図 S=1:100

橋軸直角方向



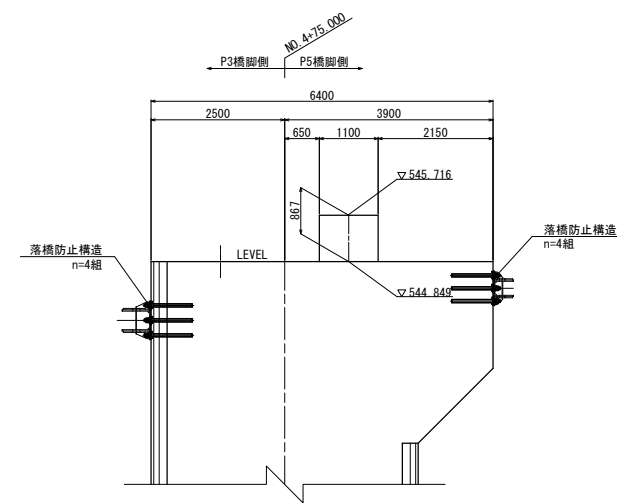
橋座部正面図 S=1:100

起点側(S2)

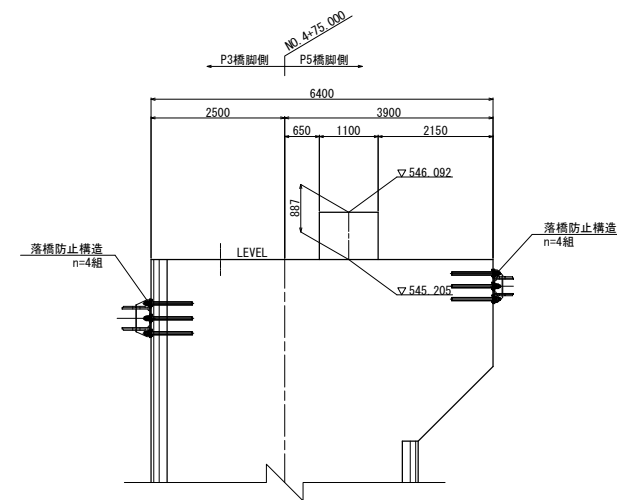


橋座部側面図 S=1:100

(G1桁側)

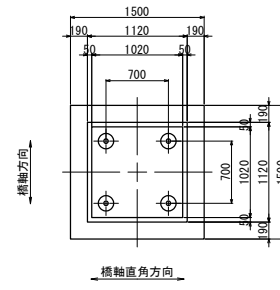
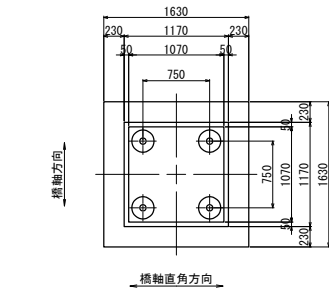
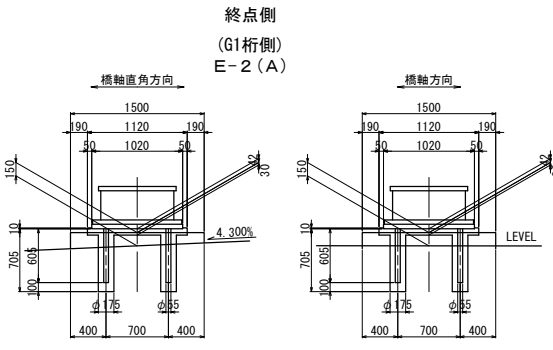
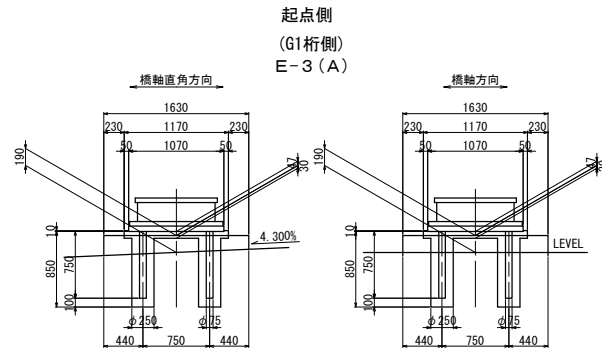


(G2桁側)



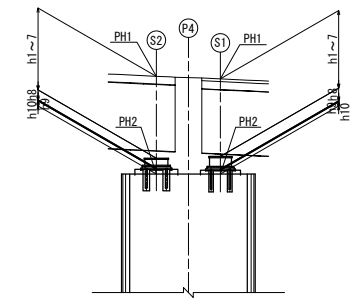
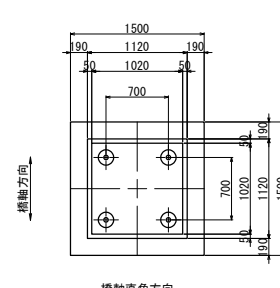
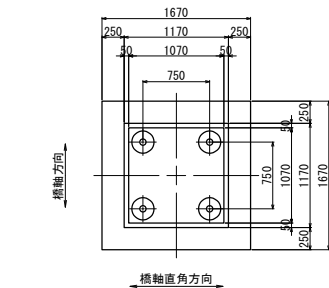
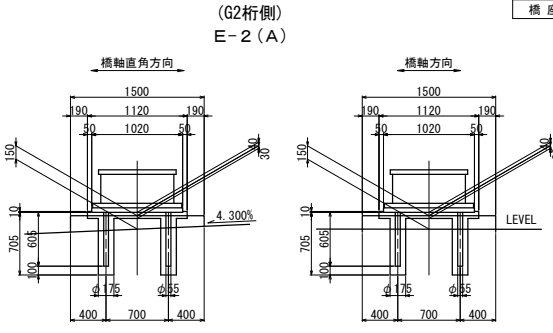
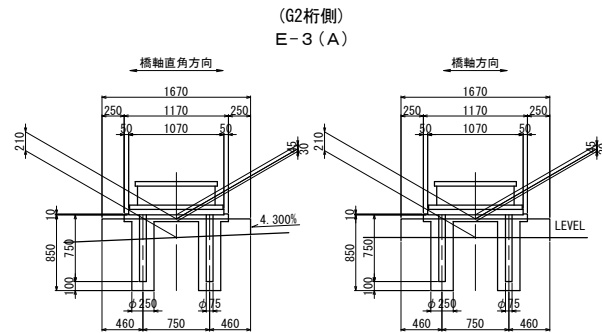
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	236 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

支 承 詳 細 図 S=1:60



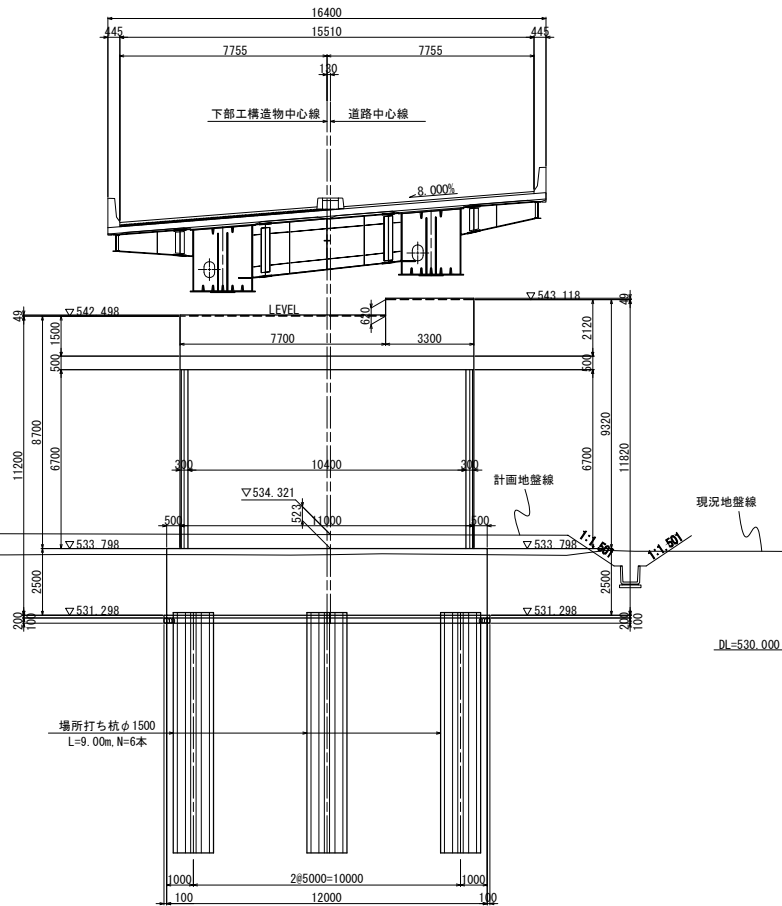
構造高表 (支承ライン)

		起点側支承位置 (S2)				橋脚中心		終点側支承位置 (S1)				
		G1	CL	GOL	G2			G1	CL	GOL	G2	G2 (3)
計 画 高	PH1	548.447		548.639				548.355		548.545	548.686	548.739
舗 装 厚	h1	0.080			0.080			0.080			0.080	
調整コンクリート	h2	0.046			0.000			0.046			0.000	
床 版 厚	h3	0.290			0.290			0.230			0.230	
ハ ン チ 厚	h4	0.100			0.100			0.100			0.100	
桁 高	h5	2.500			2.500			2.400			2.400	
フランジ厚	h6	0.016			0.019			0.010			0.012	
ソール厚	h7	0.055			0.051			0.054			0.050	
支 承 高	h8	0.374			0.374			0.476				0.476
モルタル厚	h9	0.047			0.045			0.041				0.039
台 座 高	h10	0.190			0.210			0.150				0.150
合 計		3.698		3.662	3.669			3.589		3.568		3.537
下部工天端高	PH2	544.749	544.940	544.977	545.119	544.977		544.766	544.987	544.977		545.149
橋 座 面 勾 配	横断	4.300%										

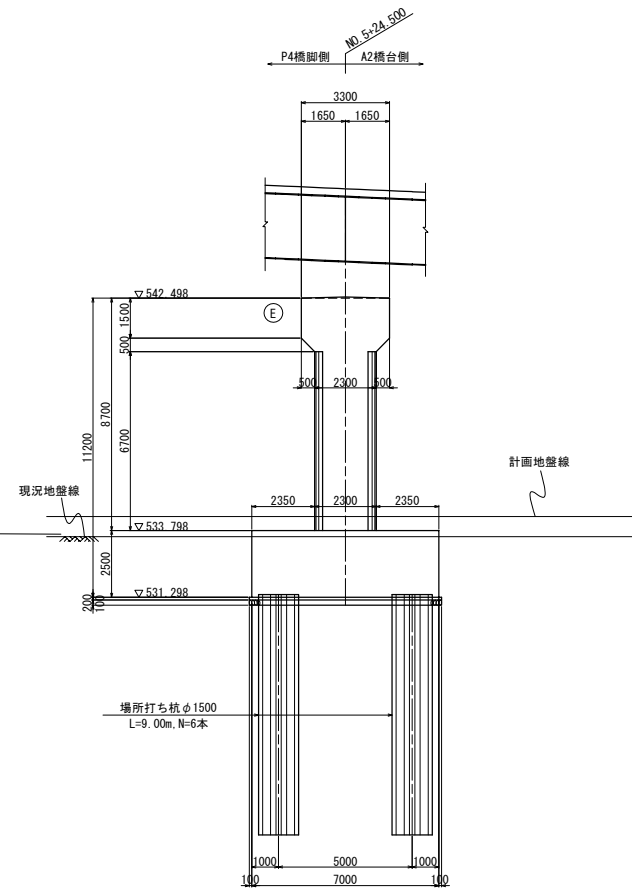


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P4橋脚構造一般図(その3) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	237 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

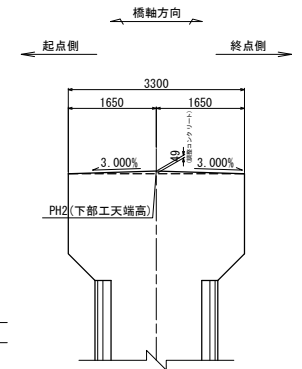
正面図



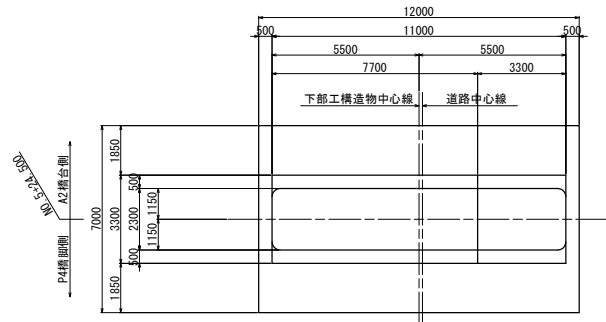
側面図



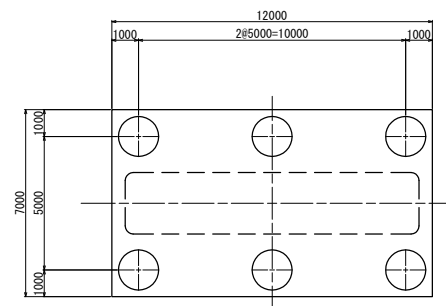
橋脚天端詳細図 S=1:100



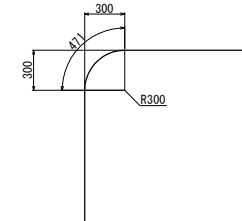
平面図



杭配置図



柱面取り詳細図 S=1:40



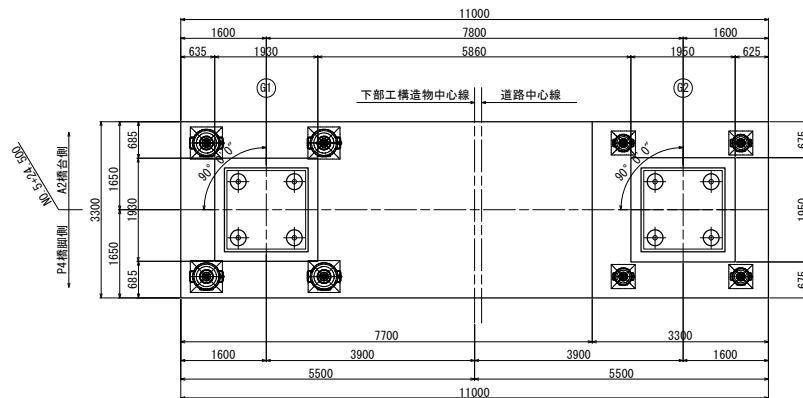
下部工施工材料基準強度

	コンクリート	鉄筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (30)	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

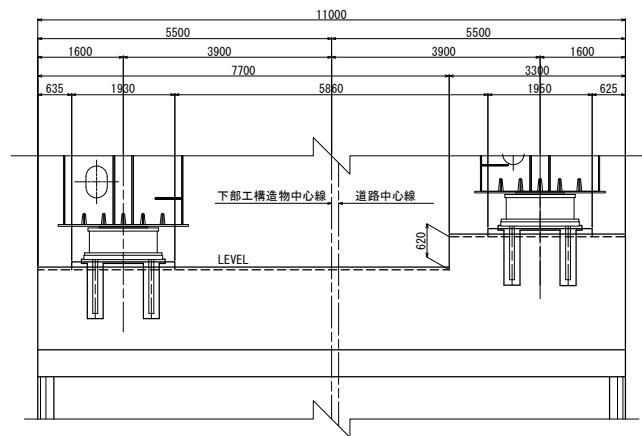
()内は呼び強度を表す

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P5橋脚構造一般図(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	238 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

橋座部平面図 S=1:100

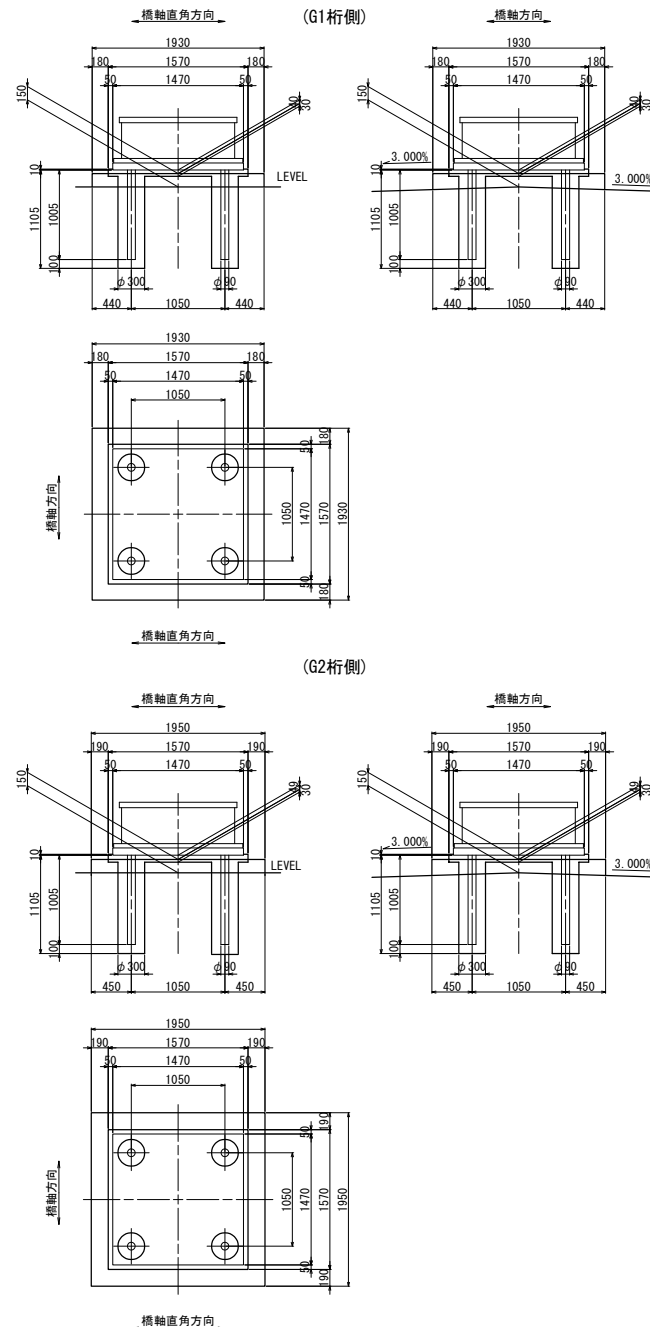


橋座部正面図 S=1:100



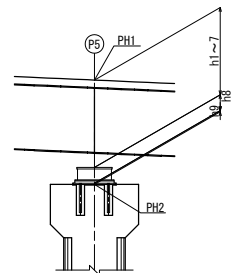
支 承 詳 細 図 S=1:60

E-8 (A)



構造高表 (支承ライン)

		P5			
		G1	GCL	CL	G2
計 画 高	PH1	546.313	546.595		546.857
舗 装 厚	h1	0.080			0.080
調整コンクリート厚	h2	0.080			0.000
床 板 厚	h3	0.230			0.230
ハ ン チ	h4	0.100			0.100
桁 高	h5	2.400			2.400
フ ラ ン ジ 厚	h6	0.032			0.031
ソ ー ル 厚	h7	0.063			0.059
支 承 高	h8	0.593			0.593
モ ル タ ル 高	h9	0.038			0.047
台 座 高	h10	0.150			0.150
合 計		3.766	4.048		3.690
下 部 工 天 端 高	PH2	542.547			543.167
橋 座 面 勾 配	横断	LEVEL			



長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 P5橋脚構造一般図（その2）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	239 / 256	
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

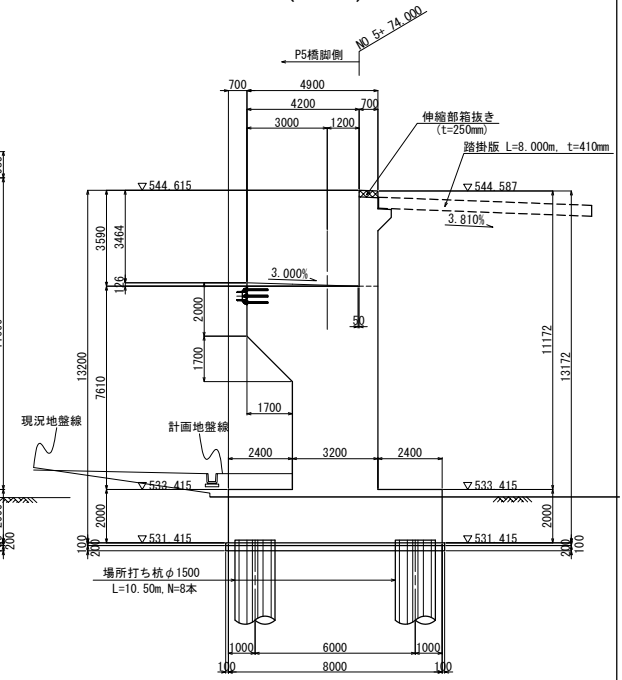
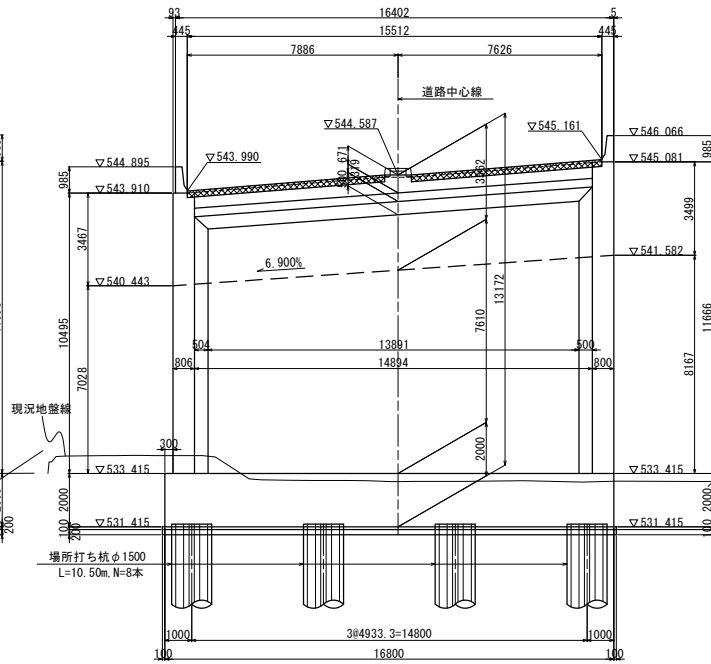
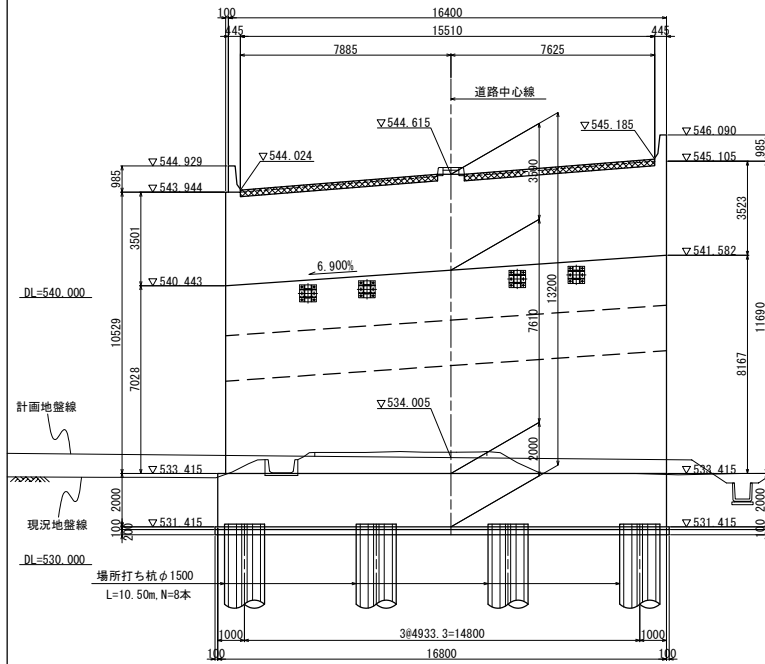
安曇野北インターチェンジランプ橋 A2橋台構造一般図(その1) (参考図) S=1:200

240 / 256

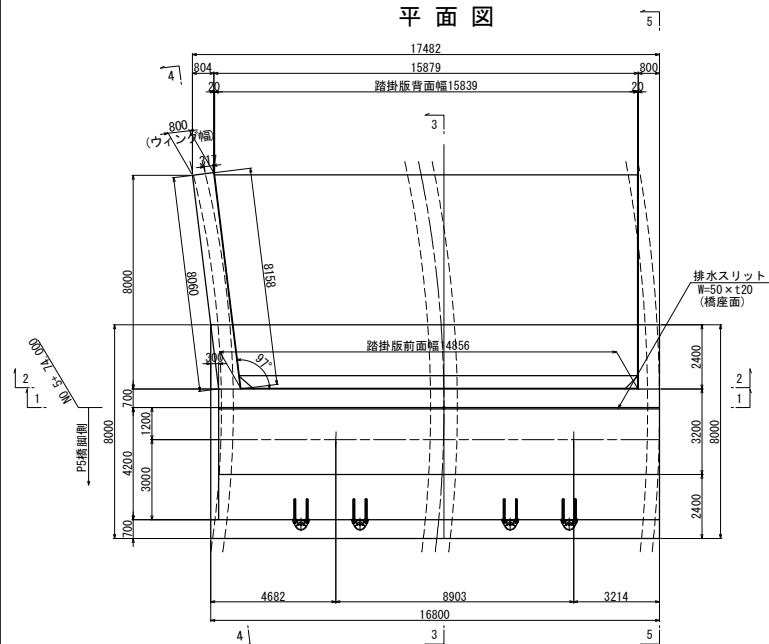
正面図(パラペット前面)
(1-1)

背面図(パラペット背面)
(2-2)

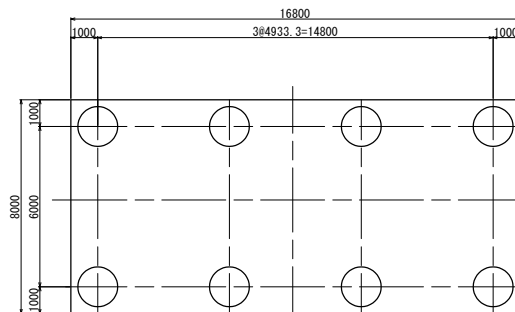
側面図
(3-3)



平面図



杭配置図



下部工施工材料基準強度

	コンクリート	鉄筋
躯体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	S345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	S345
場所打ち杭	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (30)	S345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	—

()内は呼び強度を表す

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A2橋台構造一般図(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	240 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務事務所		

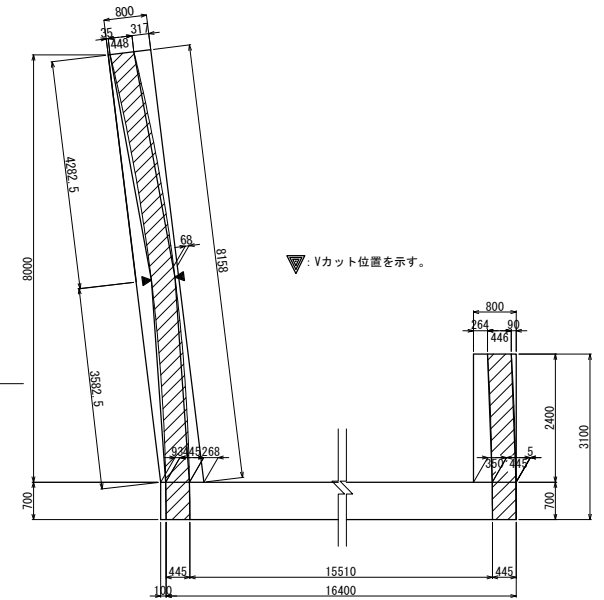
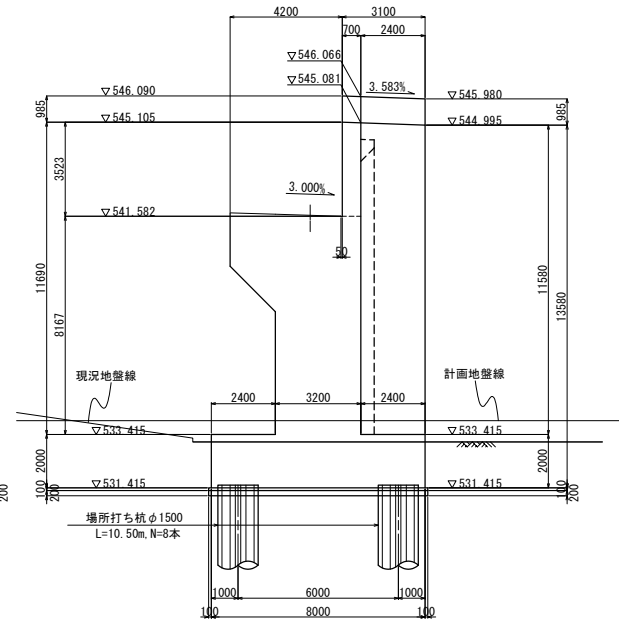
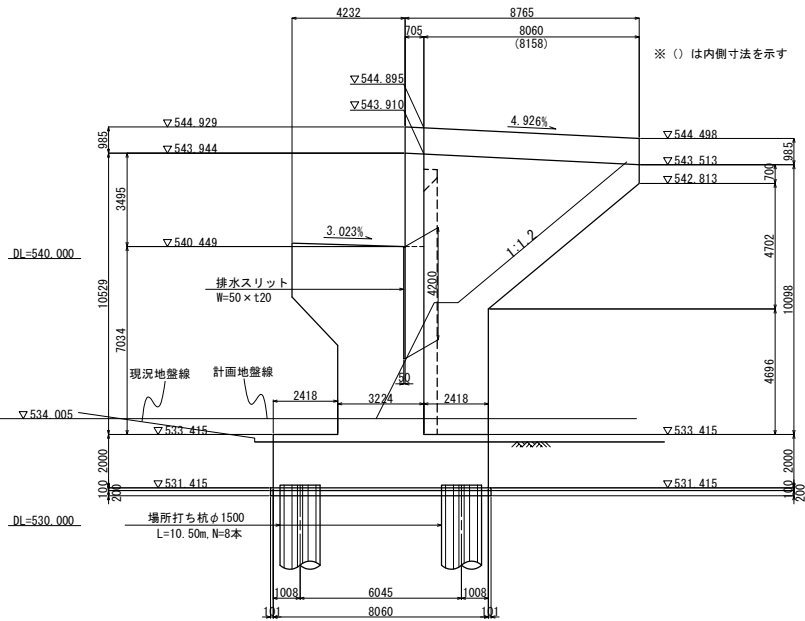
安曇野北インターチェンジランプ橋 A2橋台構造一般図(その2) (参考図) S=1:200

241 / 256

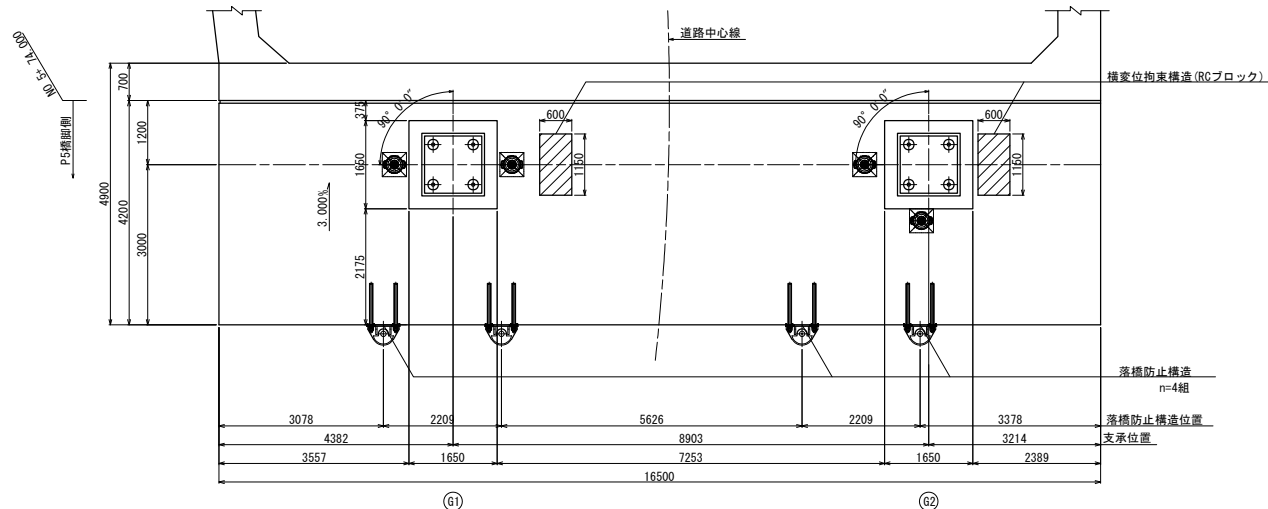
左ウィング側面図
(4-4)

右ウィング側面図
(5-5)

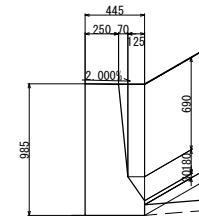
壁高欄シフト図 S=1:100



橋座面詳細図 S=1:100

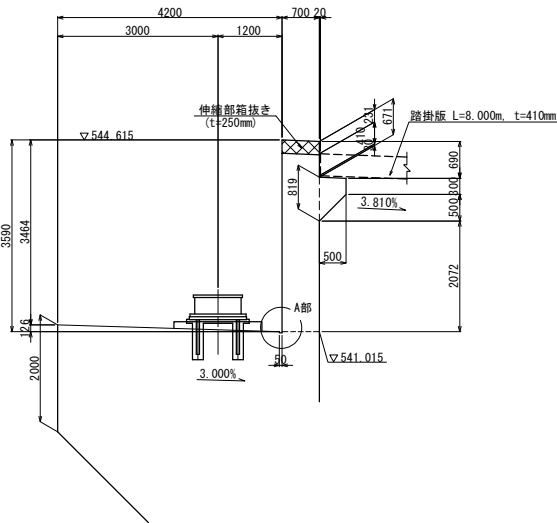


壁高欄詳細図 S=1:40

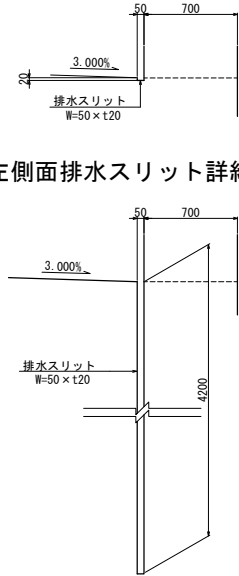


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 A2橋台構造一般図(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	241 / 256
設計会社名	株式会社 千代田コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

パラペット部詳細図 S=1:100

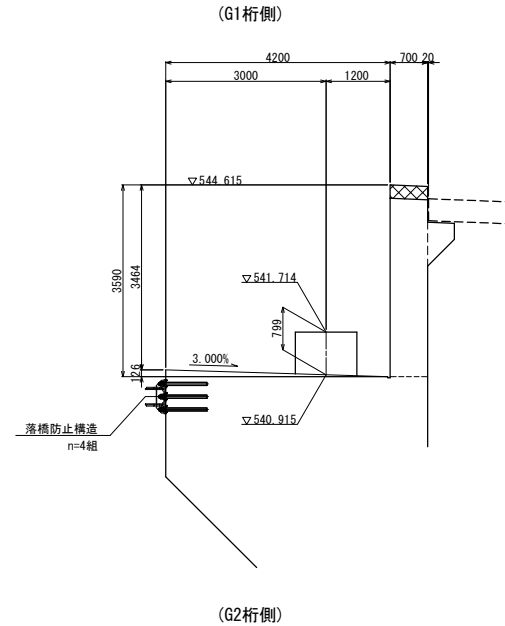


A部詳細図 S=1:40

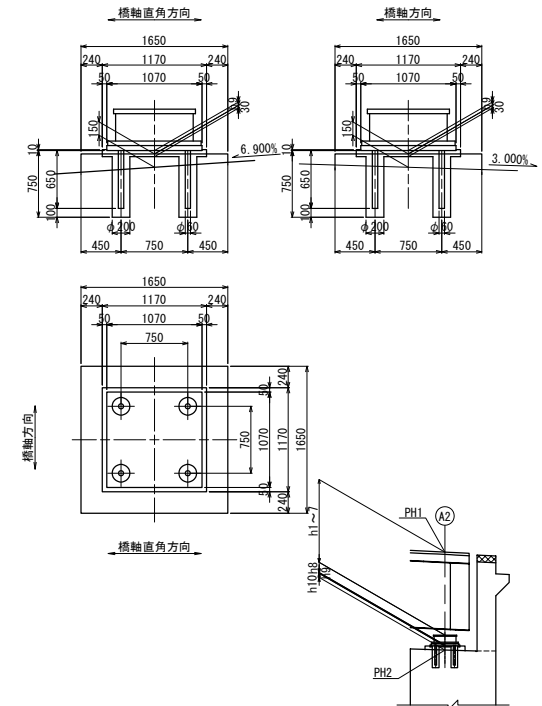


左側面排水スリット詳細図 S=1:40

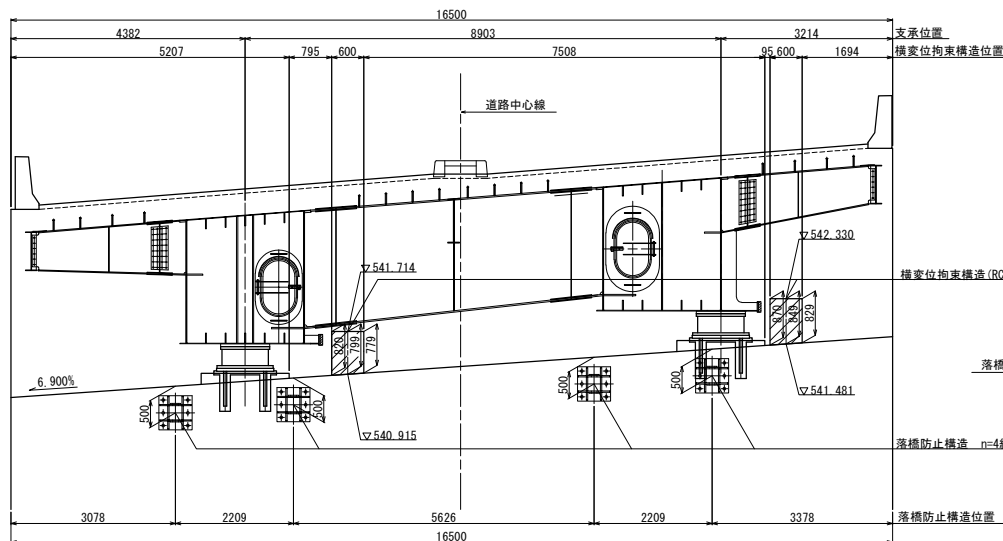
落橋防止装置・横変位拘束構造 側面図 S=1:100



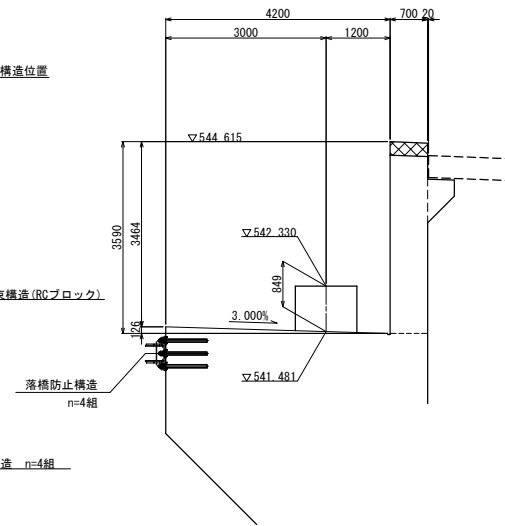
支 承 詳 細 図 S=1:60
E-4 (A)



落橋防止装置及び横変位拘束構造配置図 S=1:100

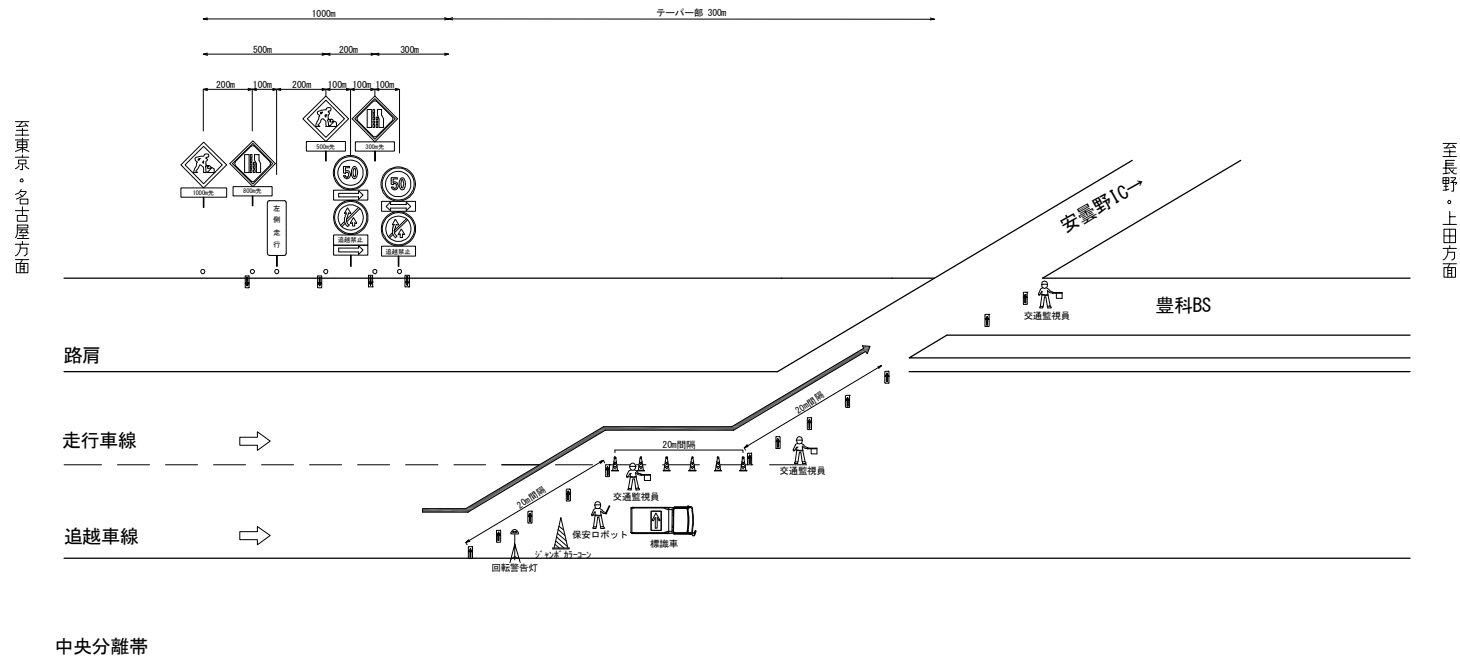


(G2桁側)



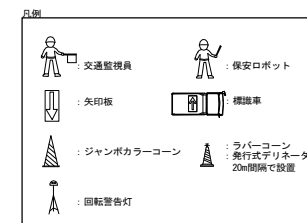
構造高表 (支承ライン)

		A2			
		G1	CL	G2	G2 (3)
計 画 高	PH1	544.385		544.921	545.008
舗 装 厚	h1	0.080		0.080	
調整コンクリート厚	h2	0.080		0.000	
床 板 厚	h3	0.230		0.230	
ハ ン チ 厚	h4	0.100		0.100	
桁 高	h5	2.400		2.400	
フランジ厚	h6	0.010		0.012	
ソール厚	h7	0.054		0.052	
支 承 高	h8	0.463			0.463
モルタル高	h9	0.035			0.037
台 座 高	h10	0.150			0.150
合 計		3.602			3.524
下 部 工 天 端 高	PH2	540.783	541.061		541.397
橋 座 面 勾 配	横断	6.900%			



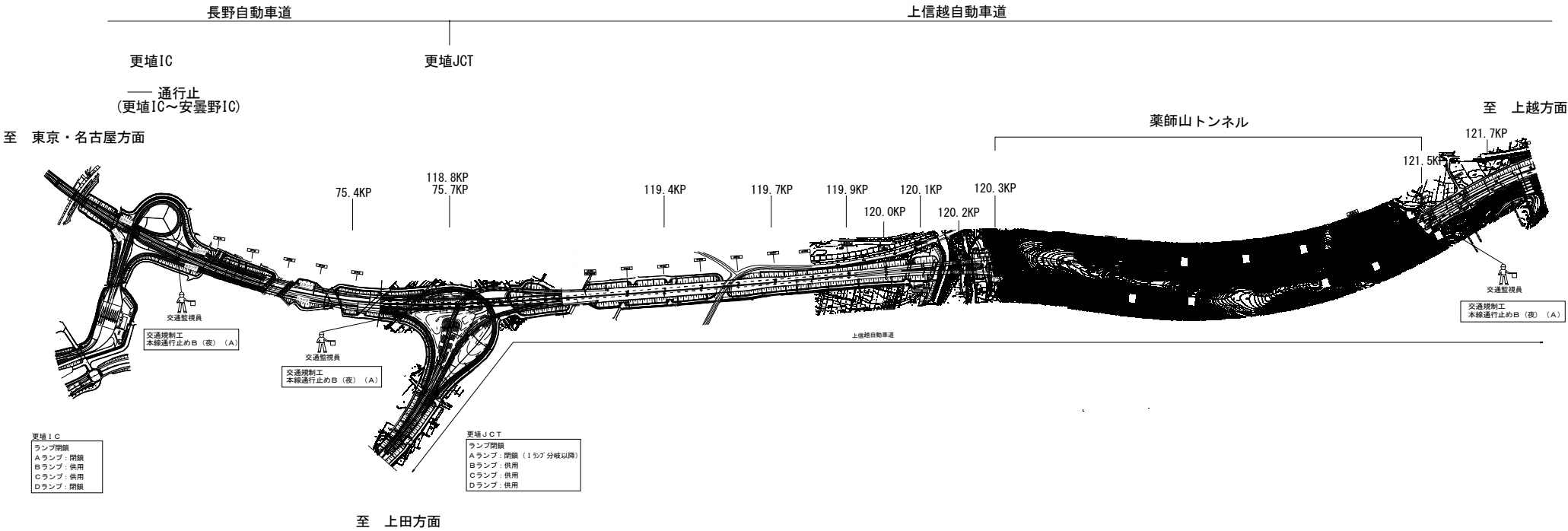
交通規制工本(普通通行止めA夜) (A) 規制数等数量表			(規制相当)
項目	単位	数量	備考
標識車	台	1	車載式標識※1
ラバーコーン(高強度)	個	必要※1	
自発光式デリネータ	個	必要※1	ラバーコーン1本につき1個※1
矢印旗	個	必要※1	テーパー部 ※1
規制用旗	枚	※1	
保安用ポケット	台	1	※1
保安安全施設 (回転警告灯)	台	※1	
標識安全施設 (ジャンボカラーコーン)	個	1	※1
交通監視員 (テーパー部)	人	3	
交通監視員 (規制内巡回等)	人	2	
発炎筒 (設置・撤去)	本	12	発炎筒(5分用) 標準使用本数※1

※1：受注者用意



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上土工）工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制図（その１）		
縮 尺	-	図面番号	243 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

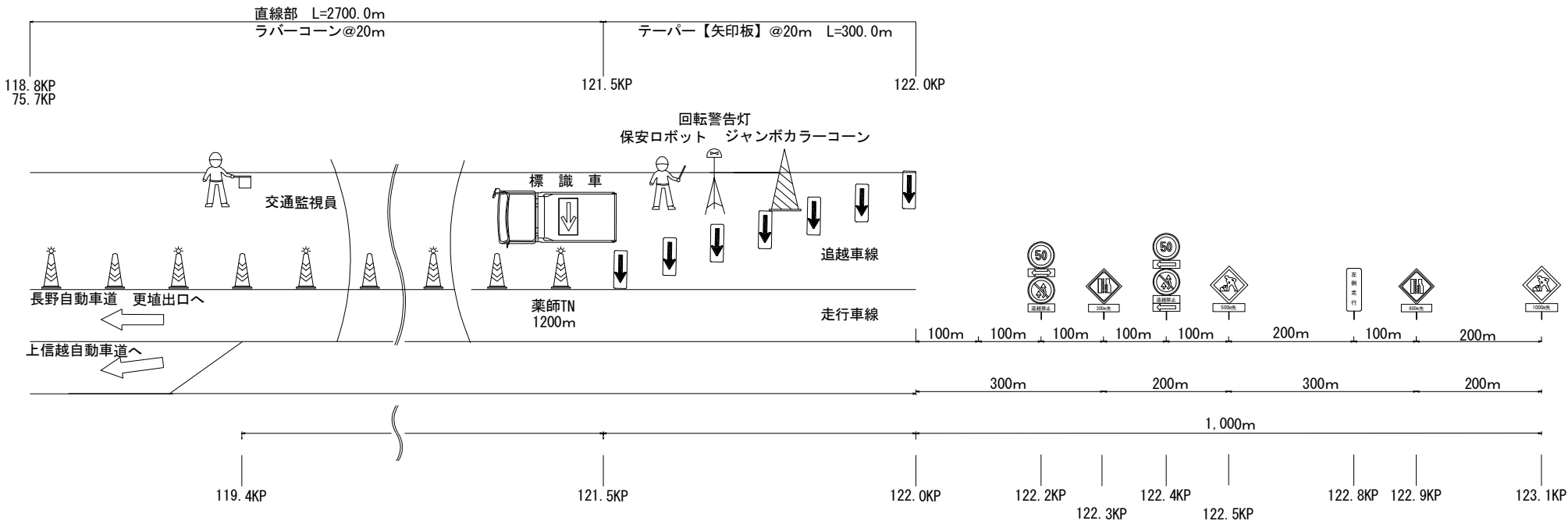
安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その2)
【本線通行止めB(夜)(A)】



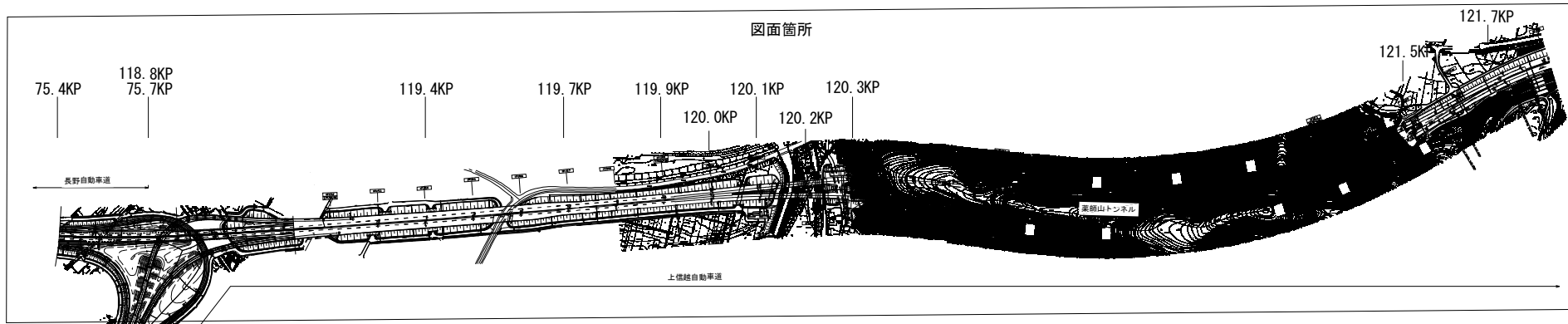
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上欄工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その2)		
縮尺	-	図面番号	244 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その3)
【本線通行止めB(夜)(A)】

詳細平面図



広域平面図

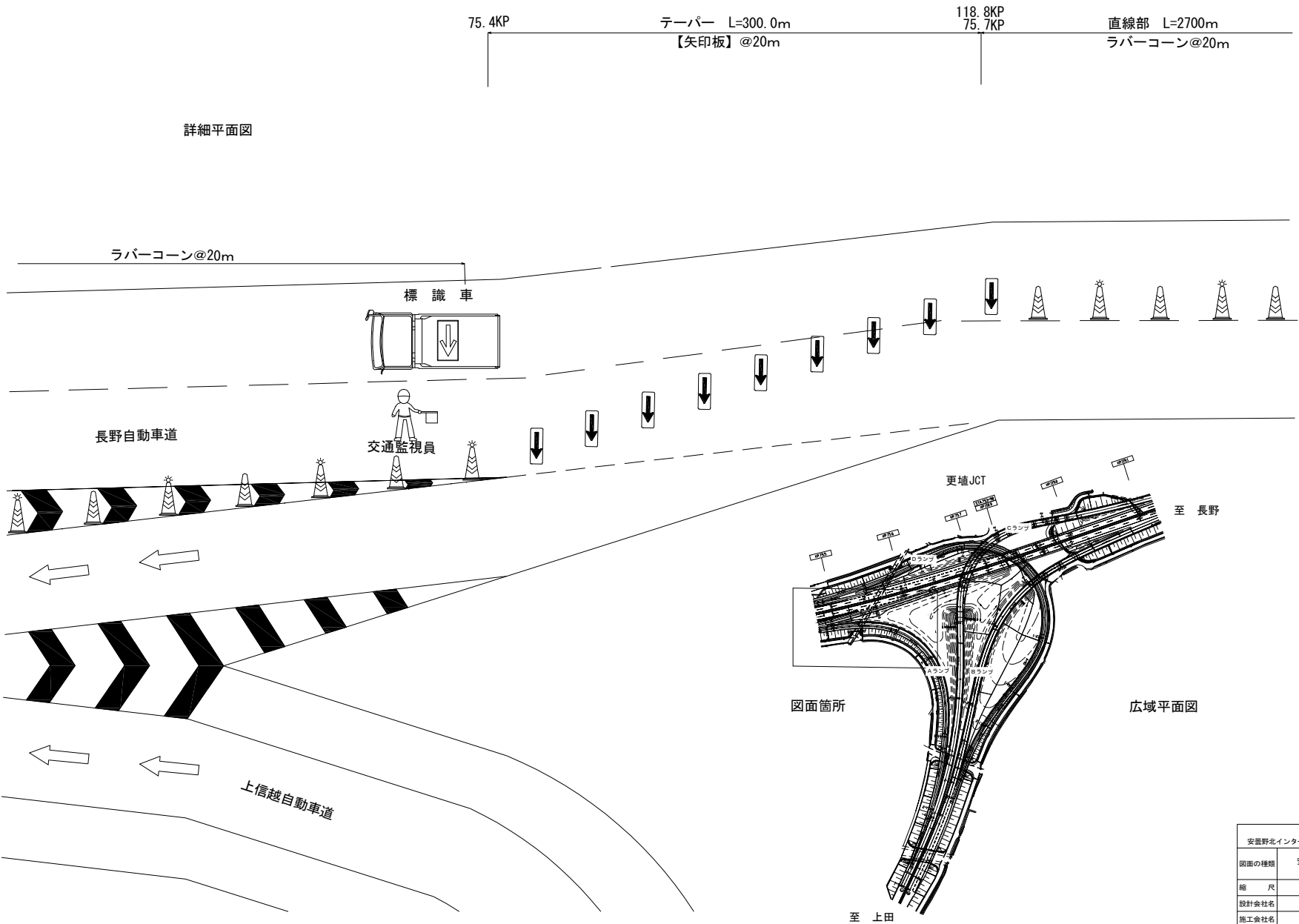


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その3)		
縮尺	-	図面番号	245 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その4)

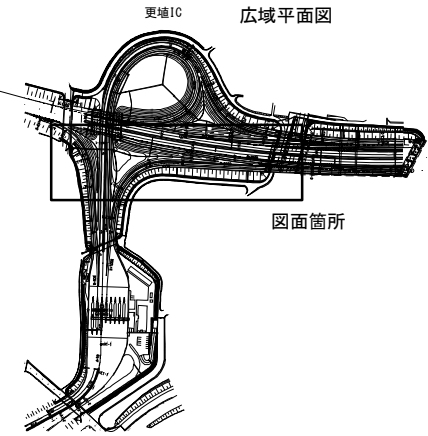
【本線通行止めB(夜)(A)】

詳細平面図

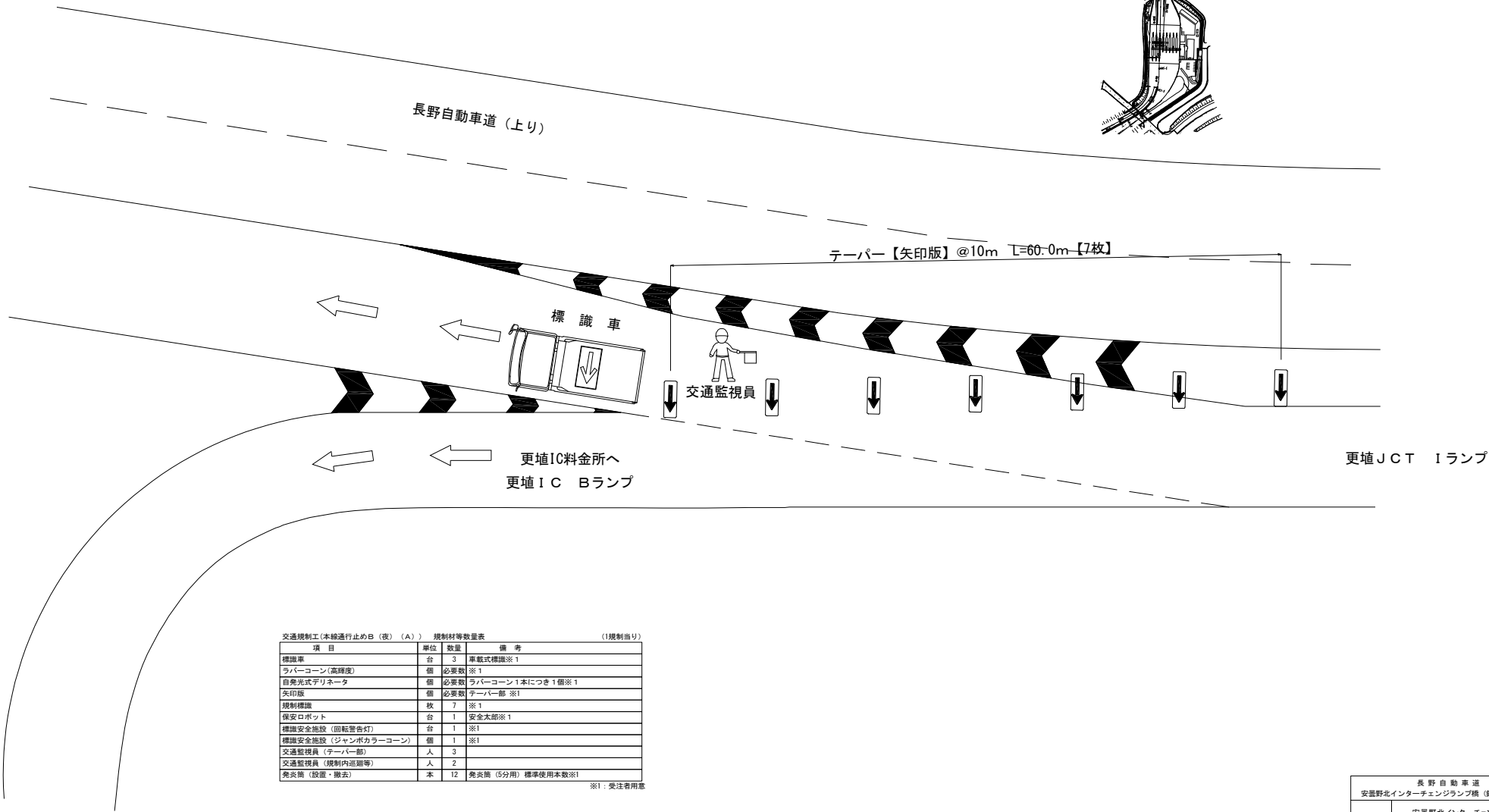


長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その4)		
縮尺	-	図面番号	246 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その5)
【本線通行止めB(夜)(A)】



詳細平面図



交通規制工(本線通行止めB(夜)(A)) 規制材等数量表 (1規制当り)			
項目	単位	数量	備考
標識車	台	3	車載式標識※1
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	※1
自発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1
矢印版	個	必要数	テーパー部 ※1
規制標識	枚	7	※1
保安口ポット	台	1	安全太郎※1
標識安全施設(回転警告灯)	台	1	※1
標識安全施設(ジャンボカラーコーン)	個	1	※1
交通監視員(テーパー部)	人	3	
交通監視員(規制内巡回等)	人	2	
発炎筒(設置・撤去)	本	12	発炎筒(5分用) 標準使用本数※1

※1: 受注者用意

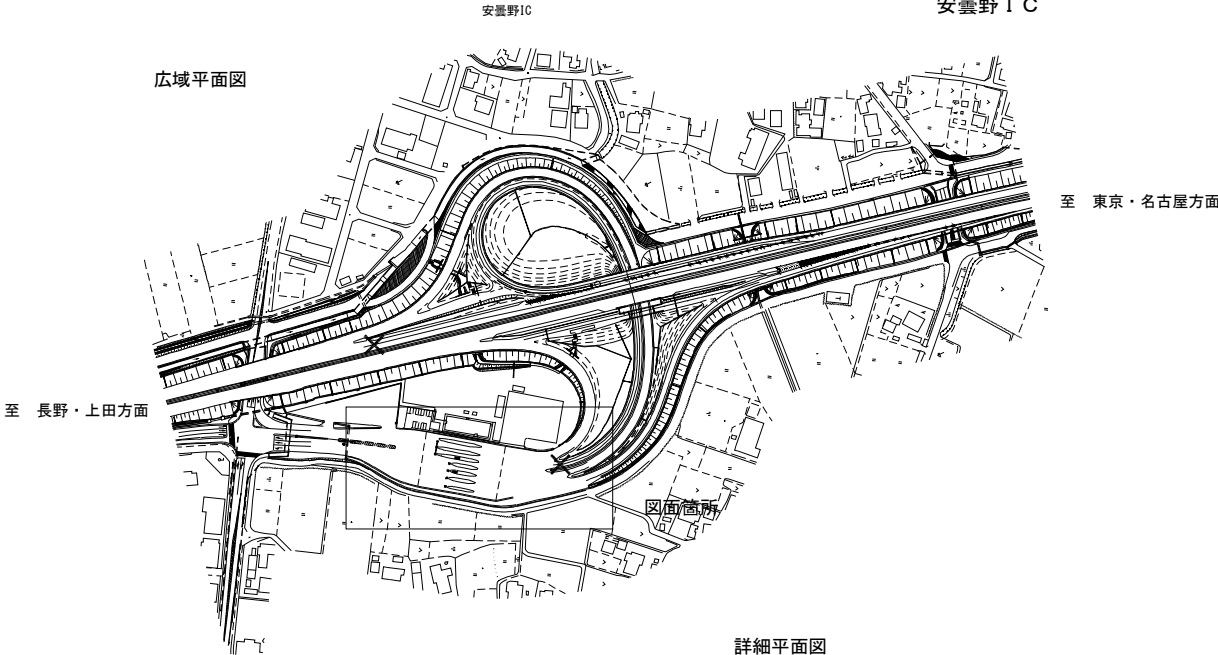
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上り部)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その5)		
縮尺	-	図面番号	247 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その6)

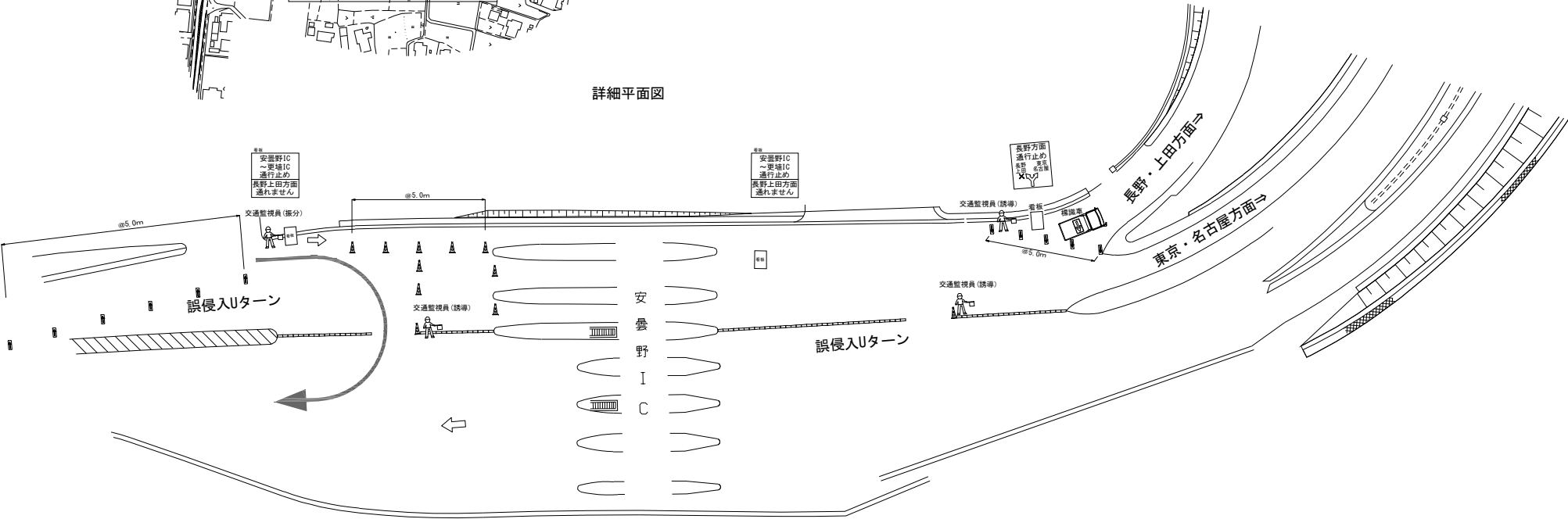
【ランプ閉鎖A(夜)(A)】

安曇野IC

広域平面図



詳細平面図



交通規制工(ランプ閉鎖A(夜)(A)) 規制材等数量表 (1規制当り)				
項目	単位	数量	備考	
標識車	台	1	車載式標識※1	
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	※1	
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1	
矢印板	個	必要数	10内、10外、10内、10外、10内、10外	
交通監視員	人・日	4	交通規制保守に配置	

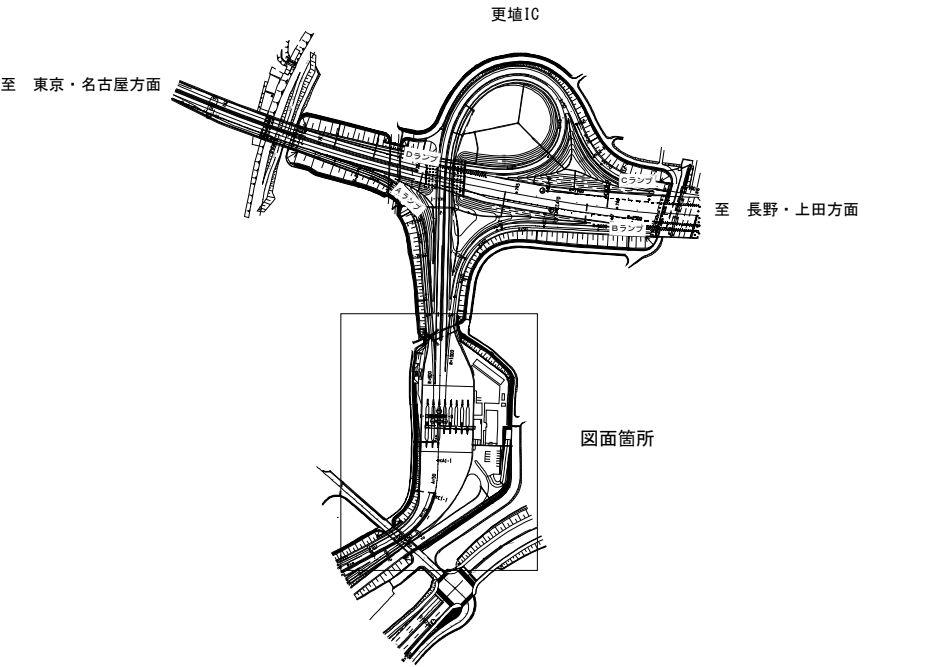
※1: 受注者用意



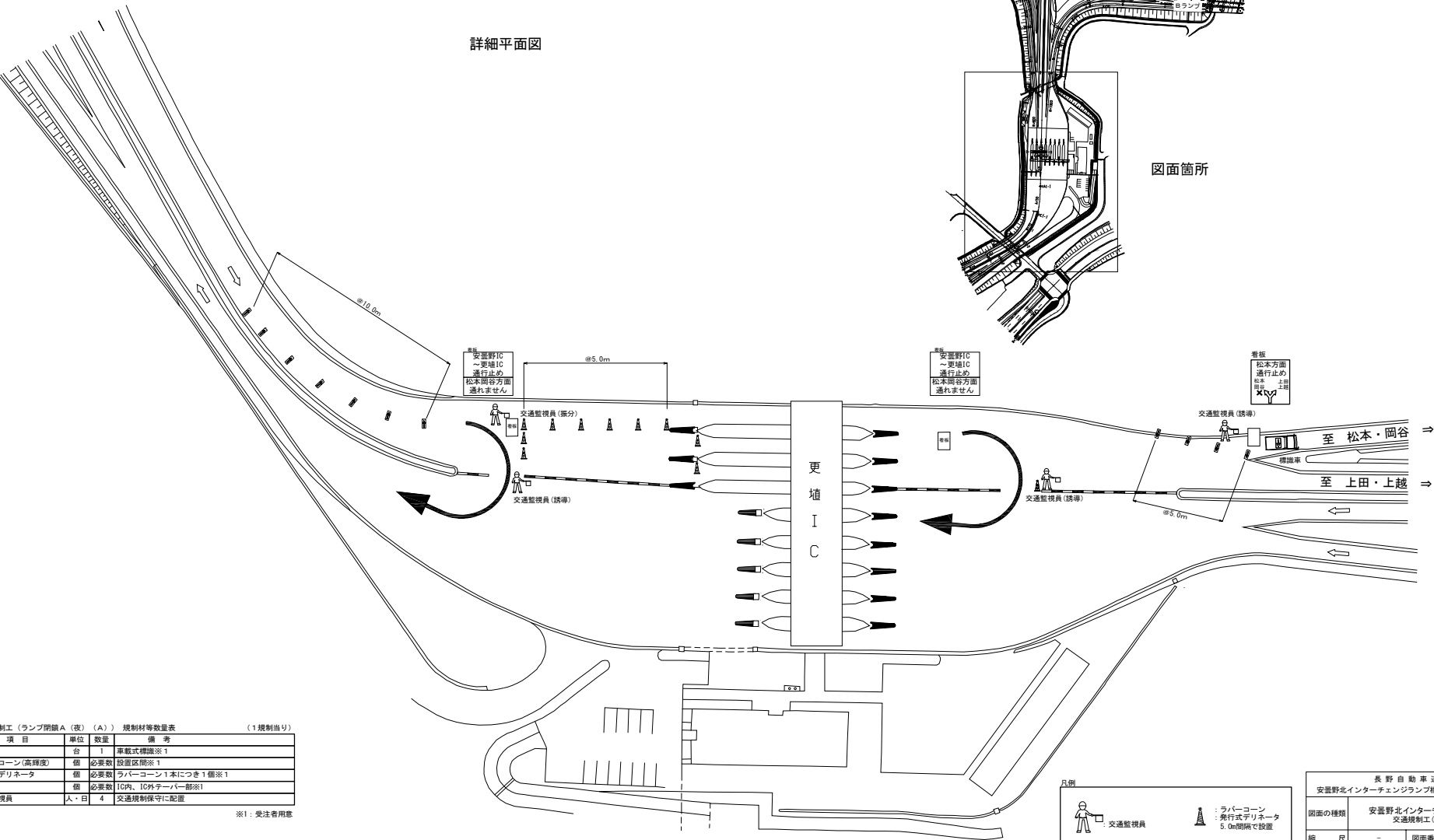
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その6)		
縮尺	-	図面番号	248 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その7)
【ランプ閉鎖A(夜)(A)】
更埴IC

広域平面図



詳細平面図



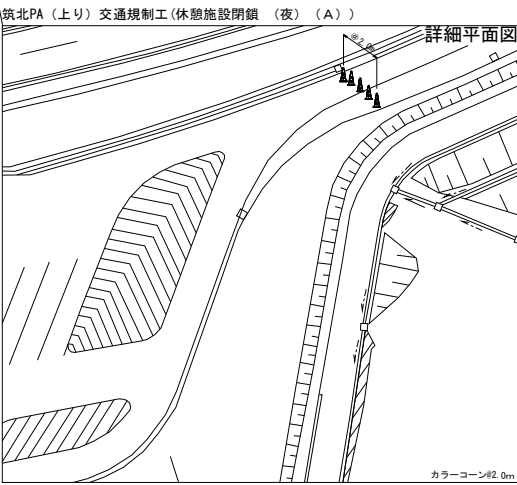
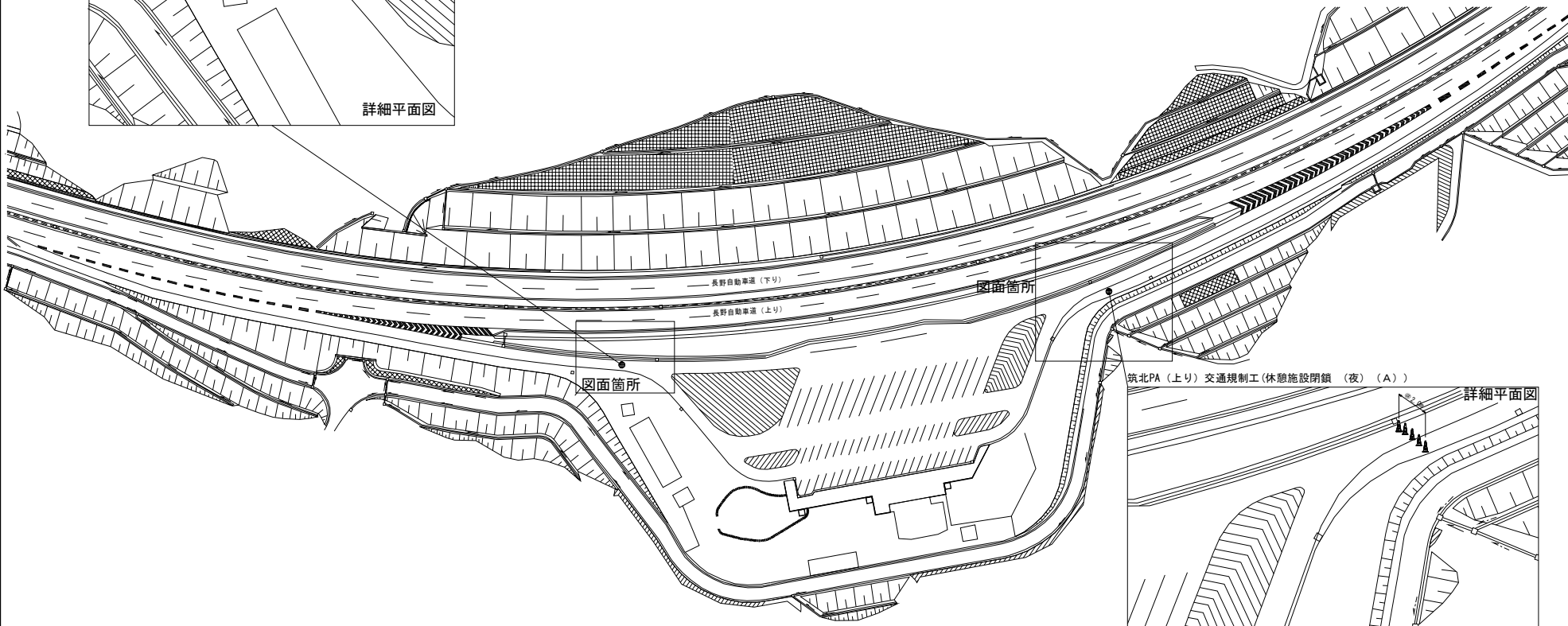
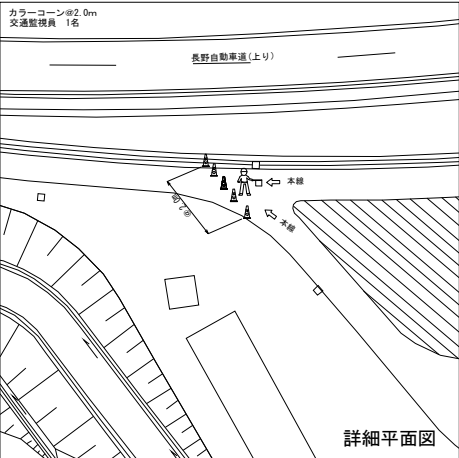
交通規制工(ランプ閉鎖A(夜)(A)) 規制材等数量表 (1規制当り)				
項目	単位	数量	備考	
標識	台	1	車載式標識※1	
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1	
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1	
矢印板	個	必要数	10内、10外デリネータ※1	
交通監視員	人・日	4	交通規制保守に配置	

※1: 受注者用

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋(橋上部分)工事 交通規制工(その7)		
縮尺	-	図面番号	249 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その8)
【休憩施設閉鎖 (夜) (A)】

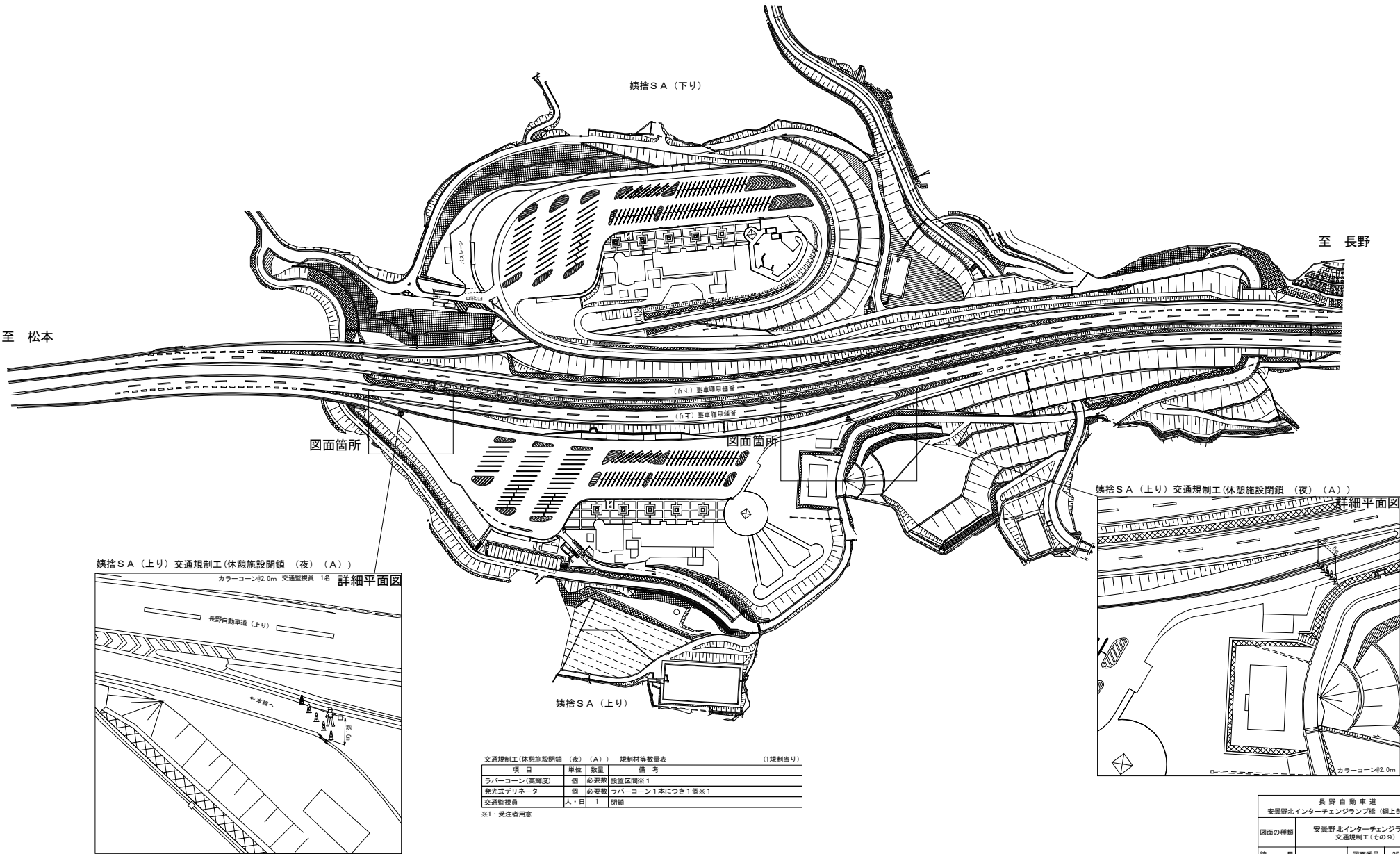
筑北PA(上り) 交通規制工(休憩施設閉鎖 (夜) (A))



交通規制工(休憩施設閉鎖 (夜) (A)) 規制材等数量表 (1規制当り)				
項目	単位	数量	備考	
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1	
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1	
交通監視員	人・日	1	閉鎖	

※1: 発注者用意

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その8)		
縮尺	-	図面番号	250 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



交通規制工(休憩施設閉鎖 (夜) (A)) 規制材等数量表				(1規制箇所)
項目	単位	数量	備考	
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1	
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1	
交通監視員	人・日	1	閉鎖	

※1: 受注者用意

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部分) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その9)		
縮尺	-	図面番号	251 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事	
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋交差橋制工（その10） 参考図
縮 尺	- 図面番号 252 / 250
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その 1 1) 参考図
【通行止め閉鎖箇所 (安曇野IC～更埴IC)】

数量表

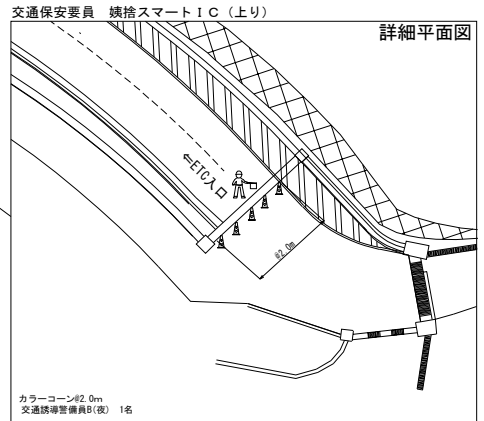
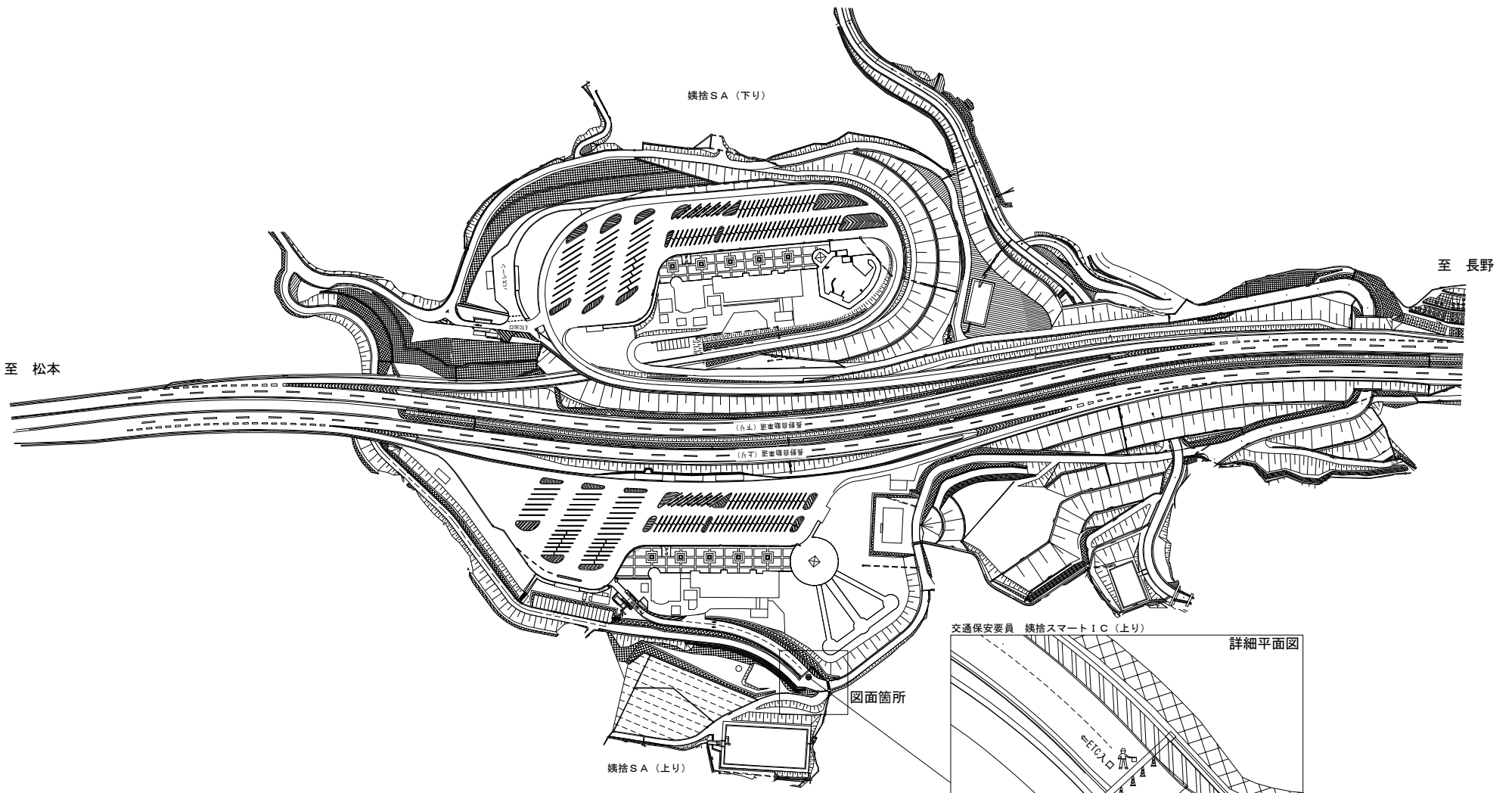
19-(1)交通規制工 交通規制工															
項目		単位	本線（流出部）		IC					SIC		SA・PA		計	備考
					料金所		区域外	流入ランプ		区域外					
			中央自動車道 安曇野下り線	長野自動車道 更埴上り線	安曇野IC	更埴IC		麻績IC	安曇野IC 下り線	更埴IC 上り線	筑北 SIC	碓氷 SIC	筑北 PA上り	碓氷 SA上り	
本線通行止めA（夜）（A）	交通監視員	人・日	5											5	
	標識車	台	1											1	受注者用意
	ラバーコーン（高輝度） 自発光式デリネータ 矢印板	個	必要数												〃
	保安ロケット	台	1											1	〃
	標識安全施設（回転警告灯）	個	1											1	〃
	標識安全施設 （ジャンボカラーコーン）	台	1											1	〃
	1000m 工事中	枚	1											1	〃
	800m 規制標識	枚	1											1	〃
	500m 工事中	枚	1											1	〃
	300m 規制標識	枚	1											1	〃
	○50、追越禁止	枚	2											2	〃
	左側走行	枚	1											1	〃
	発炎筒	本	6											6	〃
本線通行止めB（夜）（A）	交通監視員	人・日	5											5	
	標識車	台	3											3	受注者用意
	ラバーコーン（高輝度） 自発光式デリネータ 矢印板	個	必要数												〃
	保安ロケット	台	1											1	〃
	標識安全施設（回転警告灯）	個	1											1	〃
	標識安全施設 （ジャンボカラーコーン）	台	1											1	〃
	1000m 工事中	枚	1											1	〃
	800m 規制標識	枚	1											1	〃
	500m 工事中	枚	1											1	〃
	300m 規制標識	枚	1											1	〃
	○50、追越禁止	枚	2											2	〃
	左側走行	枚	1											1	〃
	発炎筒	本	6											6	〃
ランプ閉鎖A（夜）（A）	交通監視員	人・日			2	2			2	2				8	
	標識車	台							1	1					受注者用意
	ラバーコーン（高輝度） 自発光式デリネータ 矢印板	個							必要数	必要数					〃
休憩施設閉鎖（夜）（A）	交通監視員	人・日										1	1	2	
	ラバーコーン（高輝度） 自発光式デリネータ 矢印板	個										必要数	必要数		受注者用意

数量表

19-(2)交通保安要員														
項目		単位	本線（流出部）		IC				SIC		SA・PA		計	備考
			追越	追越	料金所		区域外		流入ランプ		区域外			
			中央自動車道 安曇野下り線	長野自動車道 更埴上り線	安曇野IC	更埴IC	麻績IC	安曇野IC 下り線	更埴IC 上り線	筑北 SIC	碓氷 SIC	筑北 PA上り		
交通誘導警備員B（夜）（A）	交通誘導警備員B	人・日					1			2	1		4	休憩時間における 交番要員1人
	ラバーコーン（高輝度） 自発光式デリネータ 矢印板	個					必要数			必要数	必要数			受注者用意

長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部工）工事				
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通規制工(その11)			
縮尺	-	図面番号	253	/ 256
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

安曇野北インターチェンジランプ橋 交通保安要員配置図 (その1)
【通行止め閉鎖箇所 (姨捨スマートIC)】



交通保安要員 姨捨スマートIC (上り) 規制材等数量表 (1規制当り)

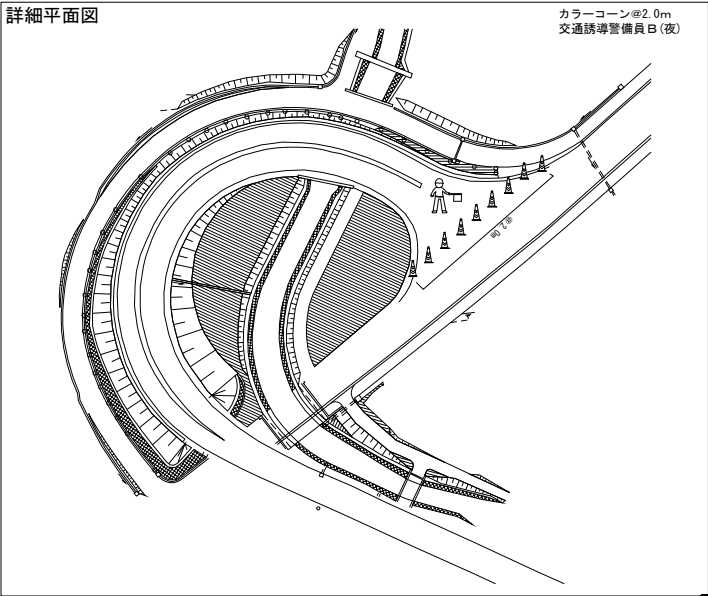
項目	単位	数量	備考
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1
交通誘導警備員B(夜)	人・日	1	一般車対応 ※2

※1: 発注者用意
※2: 姨捨上りETC入口にて上り線の通行止めを通知し振分け誘導するもの

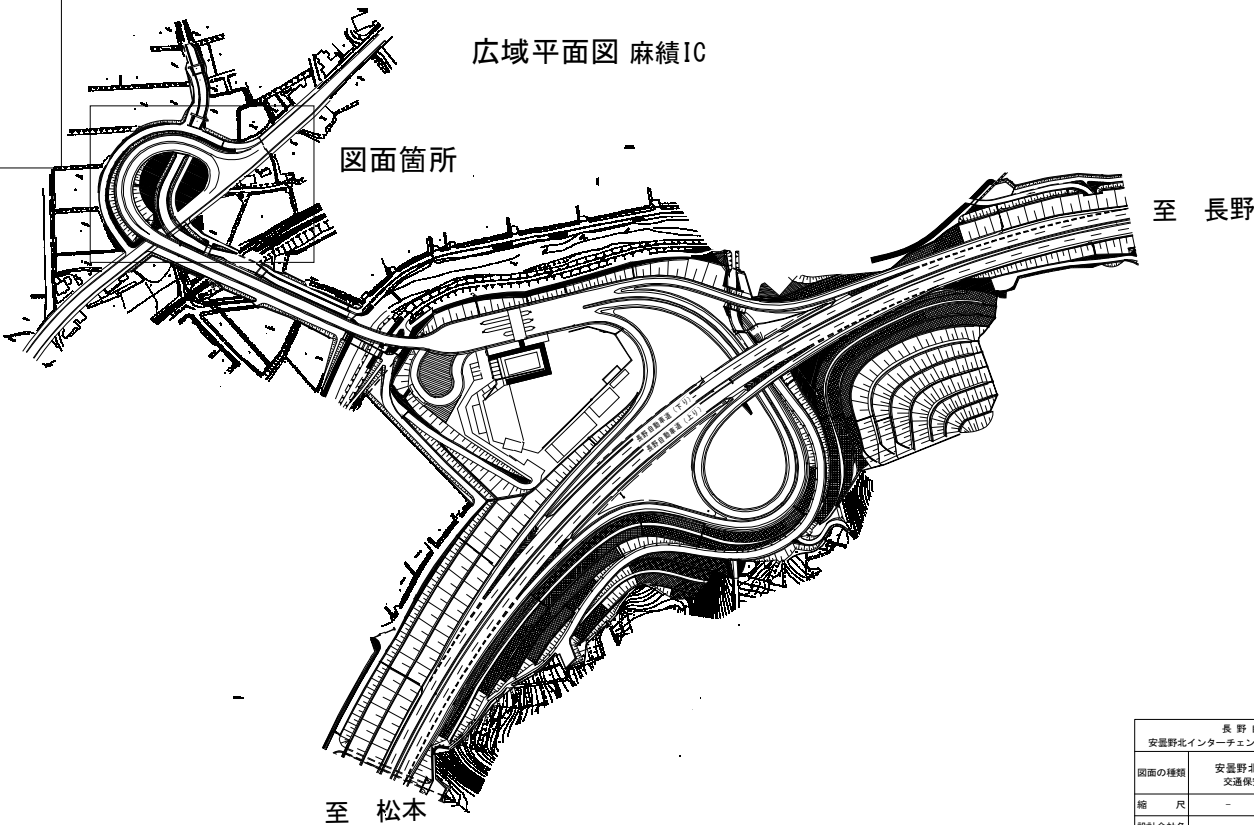
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部分) 工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通保安要員配置図 (その1)		
縮尺	-	図面番号	254 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

交通保安要員 麻績IC

詳細平面図



広域平面図 麻績IC



交通保安要員 麻績IC 規制材等数量表 (1規制当り)

項目	単位	数量	備考
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1
交通誘導警備員B(夜)	人・日	1	一般車対応 ※2

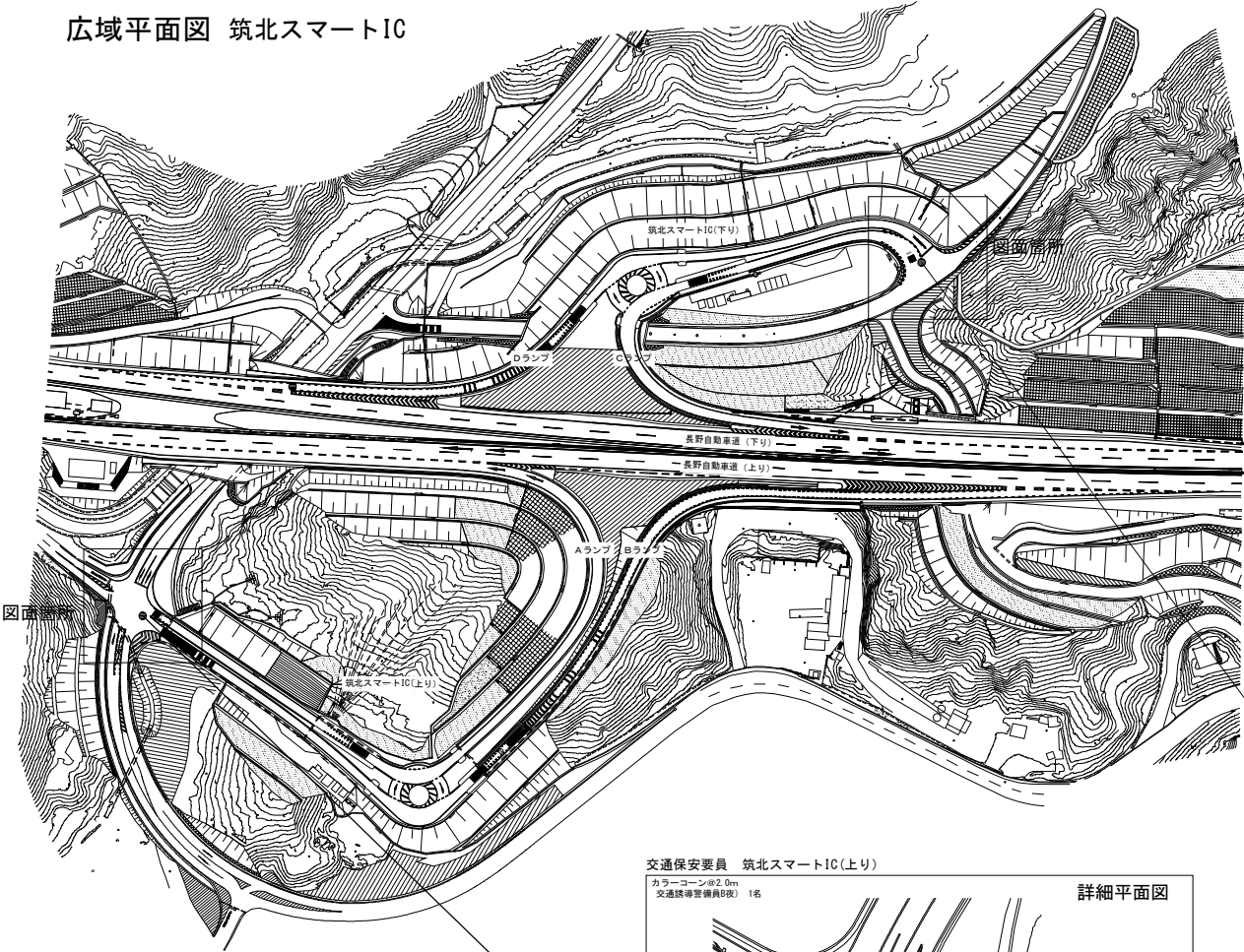
※1：変注者用意
※2：麻績IC入口にて通行止めを通知し掘分け誘導するもの

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通保安要員配置図(その2)		
縮尺	-	図面番号	255 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

広域平面図 筑北スマートIC

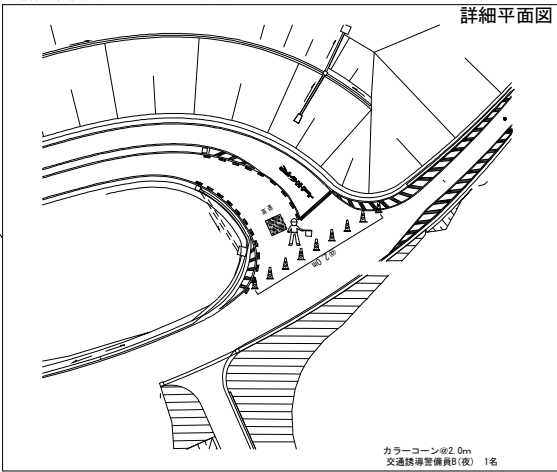
至 松本

至 長野



交通保安要員 筑北スマートIC(下り)

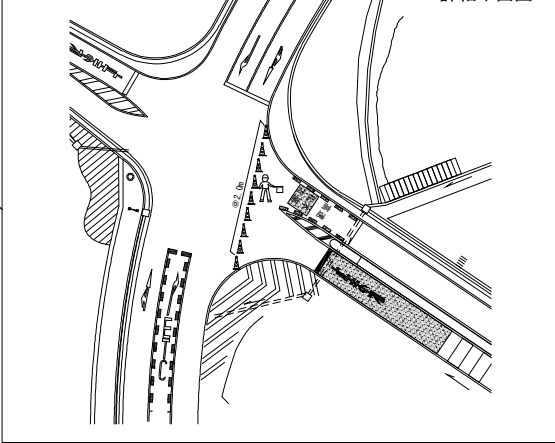
詳細平面図



交通保安要員 筑北スマートIC(上り)

カラーコーン@2.0m
交通誘導警備員B(夜) 1名

詳細平面図



交通保安要員 筑北スマートIC 規制材等数量表 (1規制当り)

項目	単位	数量	備考
ラバーコーン(高輝度)	個	必要数	設置区間※1
発光式デリネータ	個	必要数	ラバーコーン1本につき1個※1
交通誘導警備員B(夜)	人・日	2	一般車対応 ※2

※1: 受注者留意

※2: 筑北スマートIC入口にて通行止めを通知し振分け誘導するもの

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	安曇野北インターチェンジランプ橋 交通保安要員配置図(その3)		
縮尺	-	図面番号	256 / 256
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		